

豊島区読書活動に関する実態調査

報 告 書

令和2年3月

豊 島 区

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の概要	3
2 回答者の属性（一般区民）	5

第2章 小学生調査

1 読書とその他の行動時間	9
(1) 学校が終わってからの行動〔問2〕	9
(2) 学校がない日の行動〔問3〕	11
2 読書の意識・実態	12
(1) 読書が好きかどうか〔問4〕	12
(2) 1日の読書時間〔問5〕	13
(3) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】〔問6〕	14
(4) 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】〔問6〕	17
(5) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】+【電子書籍】計〔問6〕	19
(6) 本（「物語・絵本」）を読まない理由〔問7〕	21
(7) 好きな本の分野・ジャンル〔問8〕	22
(8) 本を読んでみようと思うきっかけ〔問9〕	24
(9) 読みたい本の入手方法〔問11〕	26
(10) 読書頻度〔問12〕	28
(11) 読書の理由〔問14〕	29
3 読書の環境	31
(1) 小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験〔問10〕	31
(2) 読書をする場所〔問13〕	32
(3) 家庭内の本の冊数〔問15〕	33
4 地域の図書館について	34
(1) 地域の図書館の利用経験〔問16〕	34
(2) 地域の図書館の利用回数（1年間）〔問17〕	35
(3) 地域の図書館の利用目的〔問18〕	36
(4) 地域の図書館の参加経験行事・認知行事〔問19〕	38
5 相関関係（クロス集計）	40
(1) 読書の嗜好別	40
(2) 不読者（「紙の本の合計0冊」回答者）	52
(3) 家庭内の本の冊数別	57

第3章 中学生・高校生調査

1 読書とその他の行動時間	69
(1) 読書とその他の行動時間〔問1〕	69
2 読書の意識・実態	73
(1) 読書が好きかどうか〔問2〕	73
(2) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】〔問3〕	75
(3) 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】〔問3〕	79
(4) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】+【電子書籍】計〔問3〕	81
(5) 本（「書籍・絵本」）を読まない理由〔問4〕	83
(6) お気に入りの一冊に出会えた時期〔問5〕	84
(7) 好きな本の分野・ジャンル〔問6〕	85
(8) 本を読んでみようと思うきっかけ〔問7〕	87

目 次

(9) 読みたい本の入手方法【紙の本】〔問8〕	89
(10) 読みたい本の入手方法【電子書籍】〔問8〕	91
(11) 読書頻度〔問9〕	92
(12) 読書の理由〔問11〕	93
3 読書の環境	95
(1) 読書をする場所〔問10〕	95
(2) 家庭内の本の冊数〔問12〕	97
(3) 親（保護者）の読書頻度〔問13〕	98
4 地域の図書館について	100
(1) 地域の図書館の過去1年間の利用頻度〔問14〕	100
(2) 地域の図書館の利用目的〔問15〕	101
(3) 地域の図書館を利用していない状況〔問16〕	102
(4) 地域の図書館を使用したいが利用していない（できない）理由〔問17〕	104
(5) 地域の図書館の改善点・要望〔問18〕	105
(6) 参加してみたい地域の図書館のイベント〔問19〕	107
5 相関関係（クロス集計）	108
(1) 読書の嗜好別	108
(2) 不読者（「紙の本の合計0冊」回答者）	119
(3) 家庭内の本の冊数別	126
(4) 地域の図書館を「ほとんど利用しない」回答者	135
第4章 保護者調査	
1 子どもの読書とその他の行動時間	139
(1) 子どもの読書とその他行動時間の印象〔問2〕	139
2 子どもの読書の環境	144
(1) 子どもの読書の程度〔問3〕	144
(2) 子どもが本をよく読んでいた時期〔問4〕	145
(3) 子どもが本を読む理由〔問5〕	146
(4) 子どもが本を読む本の入手方法【紙の本】〔問6〕	147
(5) 子どもが本を読む本の入手方法【電子書籍】〔問6〕	148
(6) 子どもへの読み聞かせの程度〔問7〕	149
(7) 子どもに読み聞かせをしていた（している）時期〔問8〕	150
(8) 子どもの読書促進に効果的な環境〔問9〕	151
(9) 子どもの読書促進のために普段行っていること〔問10〕	153
(10) 子どもの読書促進のために今後行いたいこと〔問10〕	157
3 保護者の読書の実態	161
(1) 保護者自身が読書が好きかどうか〔問11〕	161
(2) 保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】〔問12〕	162
(3) 保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】〔問12〕	163
(4) 保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】+【電子書籍】計〔問12〕	164
(5) 保護者自身の読書の程度〔問13〕	165
4 地域の図書館について	166
(1) 保護者自身の地域の図書館の利用頻度〔問14〕	166
(2) 子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること〔問15〕	167
(3) 子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと〔問15〕	171
(4) 子どもに参加させたい地域の図書館のイベント〔問16〕	175

目 次

5 相関関係（クロス集計）	178
（1）保護者自身の読書の嗜好別	178
（2）子どもの読書の程度別	190
第5章 一般区民調査	
1 読書の意識・実態	193
（1）読書が好きかどうか〔問1〕	193
（2）本を読むきっかけ〔問2〕	195
（3）1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】〔問3〕	197
（4）1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】〔問3〕	199
（5）1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】＋【電子書籍】計〔問3〕	200
（6）普段読む本のジャンル〔問4〕	202
（7）読みたい本の入手方法〔問5〕	205
（8）知識や情報の入手媒体〔問6〕	208
（9）『電子書籍』の利用状況〔問7〕	211
2 豊島区立図書館について	213
（1）豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験〔問8〕	213
（2）豊島区立図書館のサービス利用意向〔問9〕	219
（3）豊島区立図書館のサービスの認知率と利用意向率〔問8・問9〕	225
（4）豊島区立図書館のサービス等の満足度〔問10〕	226
（5）豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度〔問11〕	231
（6）豊島区立図書館の1回あたりの利用時間〔問12〕	232
（7）豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験〔問13〕	233
（8）豊島区立図書館を平日の夜間（19時～22時）に利用したい時間帯〔問14〕	234
（9）豊島区立図書館をこの1年間に利用していない理由〔問15〕	235
（10）豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス〔問17〕	236
3 相関関係（クロス集計）	240
（1）読書の嗜好別	240
（2）図書館の利用頻度別	253
4 自由記述	254
（1）豊島区立図書館を利用していない理由〔問15〕「その他」の内容	254
（2）豊島区立図書館以外に利用している図書館名と施設・サービスの よい点〔問16〕	255
使用した調査票	
（1）小学生調査	261
（2）中学生・高校生調査	269
（3）保護者調査	277
（4）一般区民調査	284

第1章 調査の概要

1 調査の概要

1. 調査の目的

調査Ⅰ 「豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）」の効果を検証し、次期計画（第四次）策定の基礎資料とする。

調査Ⅱ 「豊島区立図書館基本計画」に基づく事業の検証や区民の読書に関する意識、図書館の利用状況等、図書館運営への要望を把握し、今後の図書館経営及び次期計画策定の基礎資料とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象
- | | |
|-------|-------------------------------|
| 調査Ⅰ－１ | : 区内小学校（10校）2年生・5年生 |
| 調査Ⅰ－２ | : 区内中学校（6校）2年生
区内高校（2校）2年生 |
| 調査Ⅰ－３ | : 調査Ⅰ－１・Ⅰ－２の保護者 |
| 調査Ⅱ | : 一般区民 |
- (3) 抽出方法 調査Ⅱ : 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法
- | | |
|-----------|----------------------|
| 調査Ⅰ－１・Ⅰ－２ | : 学校にて配付・学校にて回収 |
| 調査Ⅰ－３ | : 児童及び生徒より手渡し配付・郵送回収 |
| 調査Ⅱ | : 郵送配付・郵送回収 |
- (5) 調査時期 令和元年9月1日～令和元年9月30日
- (6) 調査機関 株式会社 総合企画

3. 回収結果

		配付数	不在返送数	有効配付数	有効回収数	有効回収率
調査Ⅰ	小学生	1,147人			1,147人	100.0%
	中学生	568人			568人	100.0%
	高校生	599人			599人	100.0%
	保護者	2,314人			750人	32.4%
調査Ⅱ	区民	2,500人	27人	2,473人	560人	22.6%

4. 調査結果の見方

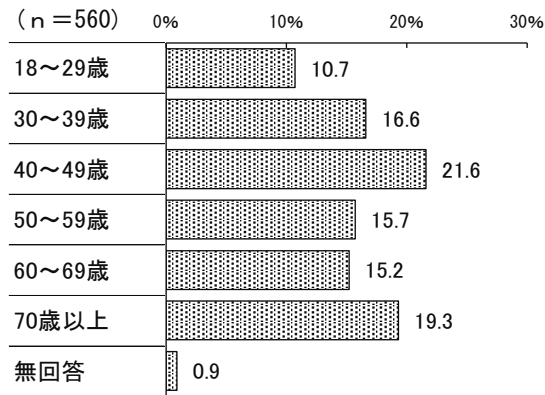
- (1) 図・表中のnは該当質問での回答者総数を表す。
- (2) 複数回答は質問に対する回答がいくつでもよい質問を表し、特にことわり書きのない場合は質問に対する回答が1つの単数回答を表す。
- (3) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。
- (4) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- (5) 図・表について、性別などの基本属性、あるいは読書の嗜好などの分析軸にかかわる回答に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しないことがある。
- (6) 東京都の調査結果との比較は、東京都が令和元年9月上旬～9月中旬に実施した「令和元年度児童・生徒の読書状況等調査」の結果を引用している。

令和元年度児童・生徒の読書状況等調査報告書の掲載URL

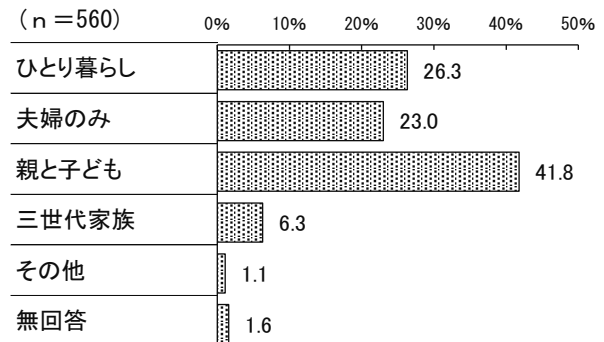
<https://www.kodomo-dokusho.metro.tokyo.lg.jp/shukei/>

2 回答者の属性(一般区民)

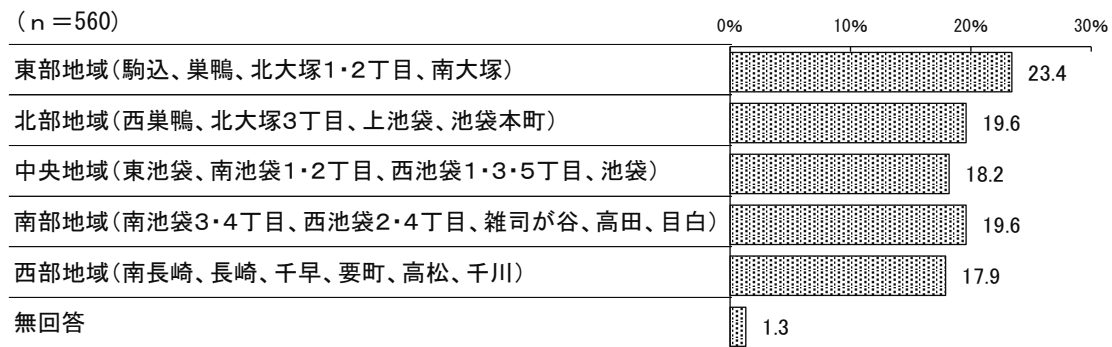
(1) 年齢



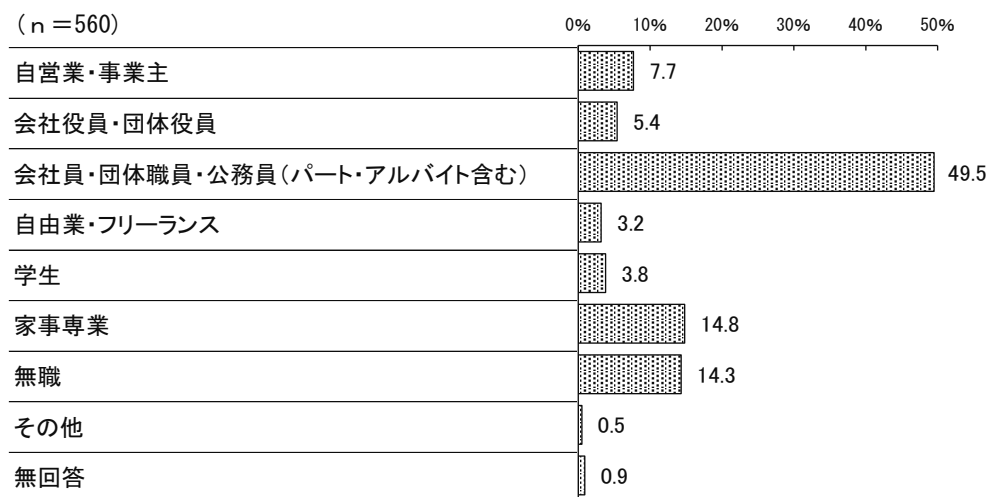
(2) 世帯構成



(3) 居住地域



(4) 職業

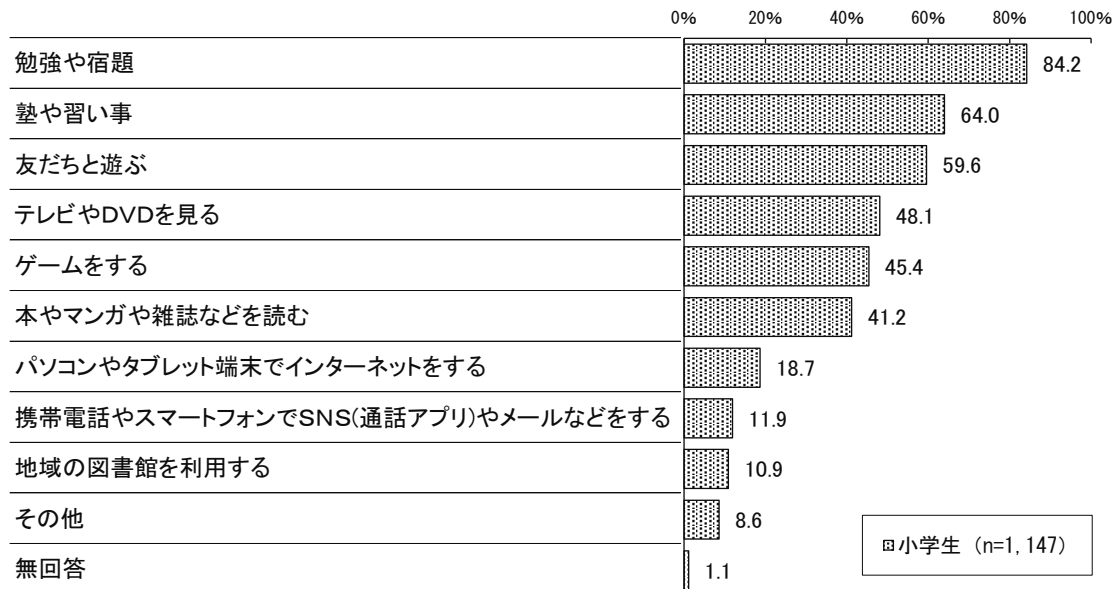


第 2 章 小学生調査

1 読書とその他の行動時間

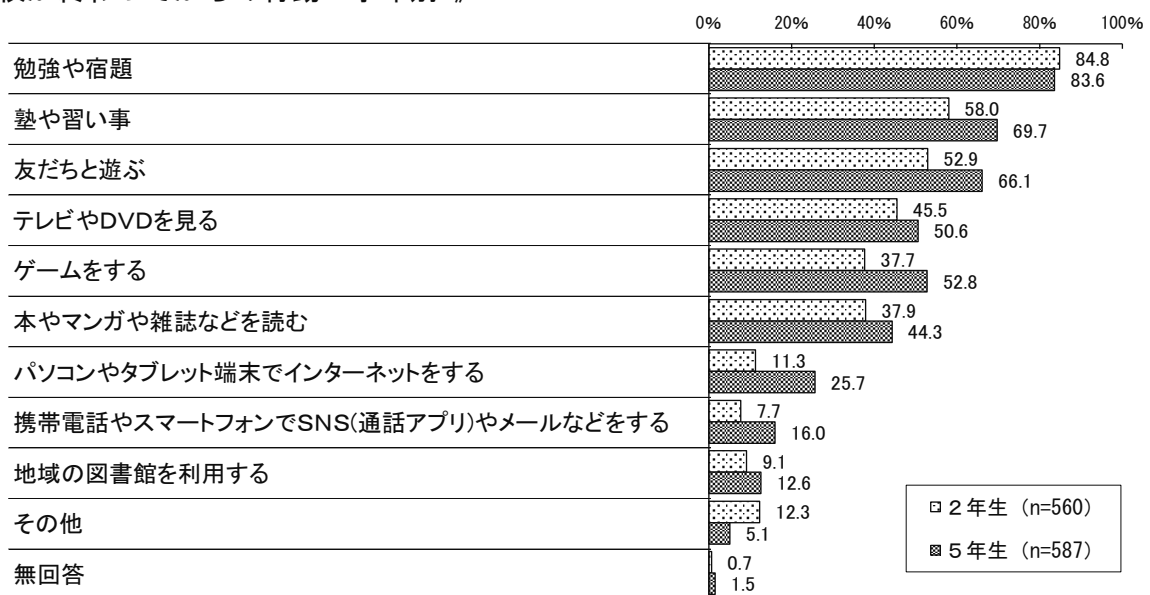
(1) 学校が終わってからの行動

問2 あなたは、学校が終わってから何をしていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



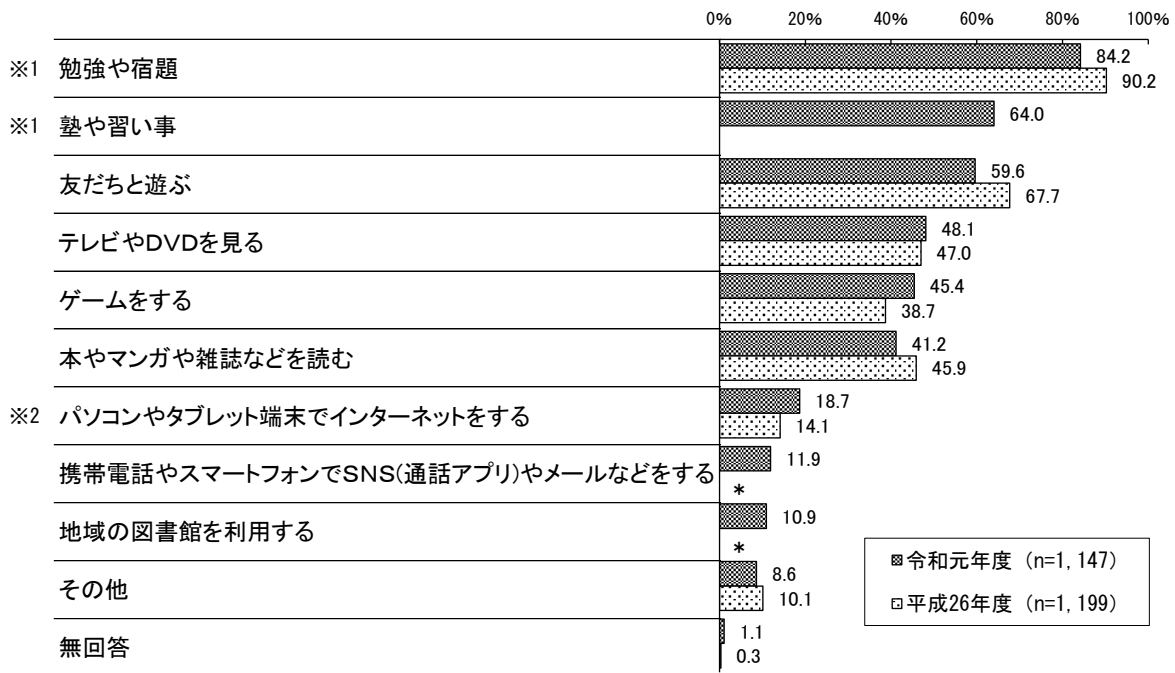
学校が終わってからの行動をたずねたところ、「勉強や宿題」(84.2%)が8割台半ばと最も多く、次いで「塾や習い事」(64.0%)、「友だちと遊ぶ」(59.6%)と続き、「本やマンガや雑誌などを読む」(41.2%)は約4割となっている。

《 学校が終わってからの行動—学年別 》



学年別でみると、5年生は2年生より「ゲームをする」が15.1ポイント、「パソコンやタブレット端末でインターネットをする」が14.4ポイント、「友だちと遊ぶ」が13.2ポイント、「塾や習い事」が11.7ポイント多くなっている。「本やマンガや雑誌などを読む」は5年生は2年生より6.4ポイント多くなっている。

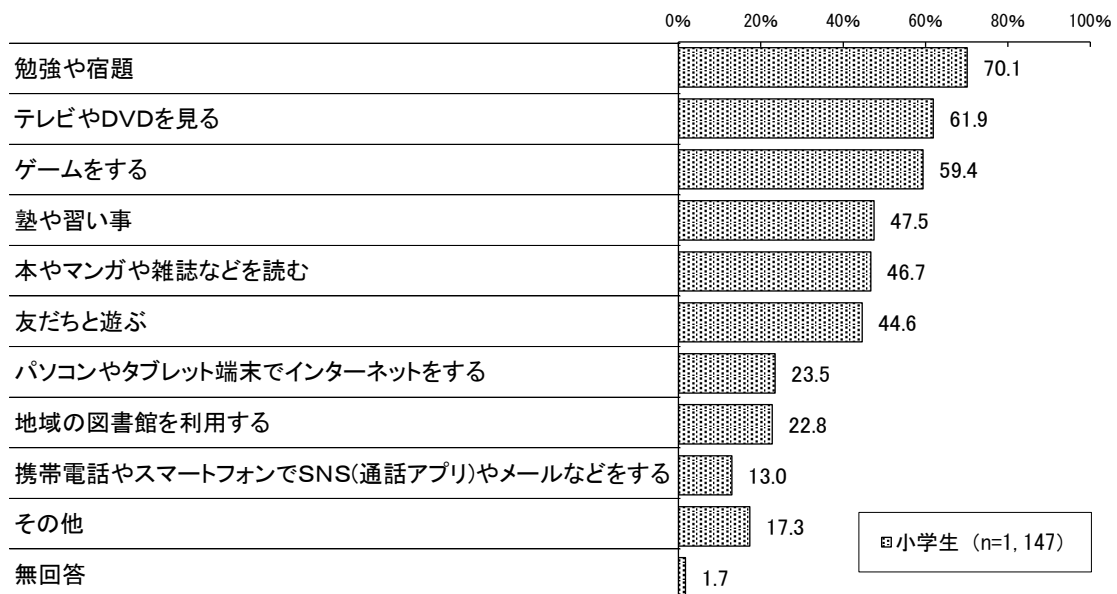
《 学校が終わってからの行動－経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、「ゲームをする」が6.7ポイント、「パソコンやタブレット端末でインターネットをする」が4.6ポイント増加している。一方、「友だちと遊ぶ」が8.1ポイント、「本やマンガや雑誌などを読む」が4.7ポイント減少している。

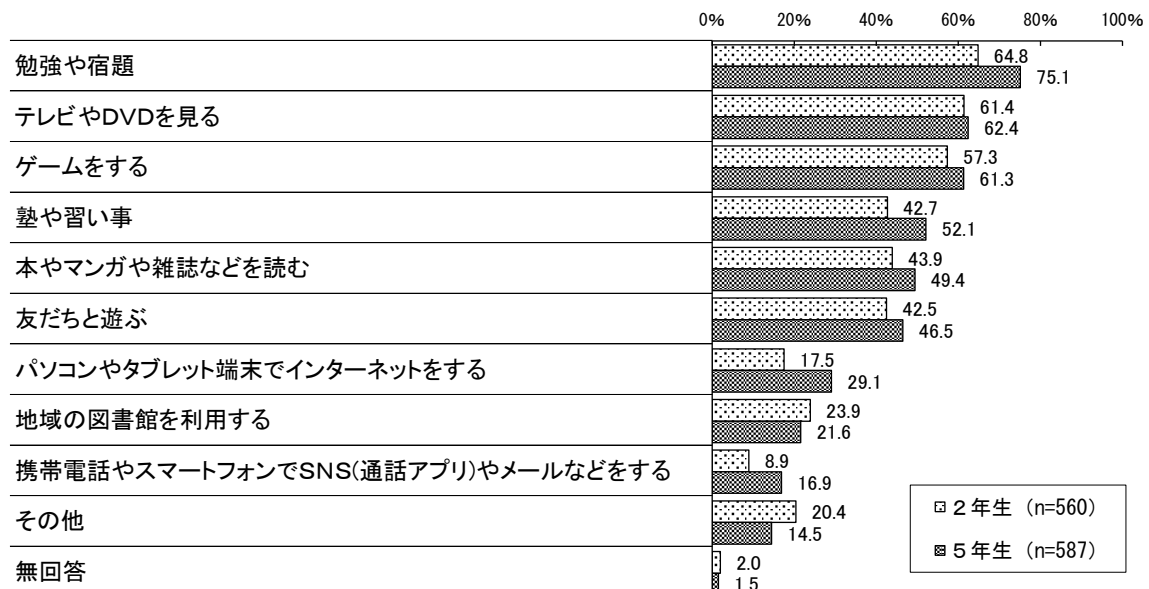
(2) 学校がない日の行動

問3 あなたは、学校がない日は何をしていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



学校がない日の行動をたずねたところ、「勉強や宿題」(70.1%)が約7割と最も多く、次いで「テレビやDVDをみる」(61.9%)、「ゲームをする」(59.4%)と続き、「本やマンガや雑誌などを読む」(46.7%)は4割台半ばとなっている。また、「本やマンガや雑誌などを読む」は学校がある日(41.2%)より5.5ポイント多くなっている。

《 学校がない日の行動—学年別— 》

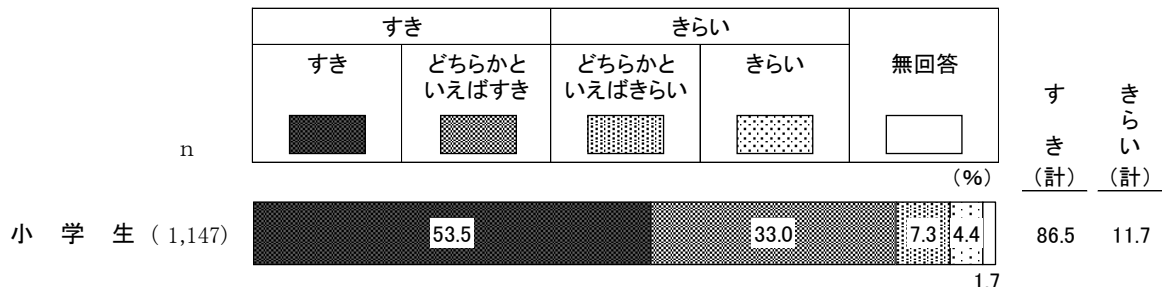


学年別でみると、5年生は2年生より「パソコンやタブレット端末でインターネットをする」が11.6ポイント、「勉強や宿題」が10.3ポイント多くなっている。「本やマンガや雑誌などを読む」は5年生は2年生より5.5ポイント多くなっている。

2 読書の意識・実態

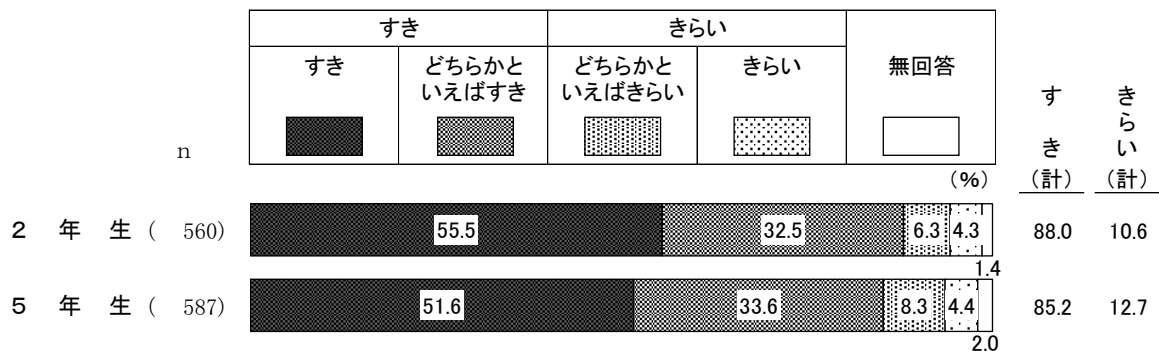
(1) 読書が好きかどうか

問4 あなたは、本を読むことが好きですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)



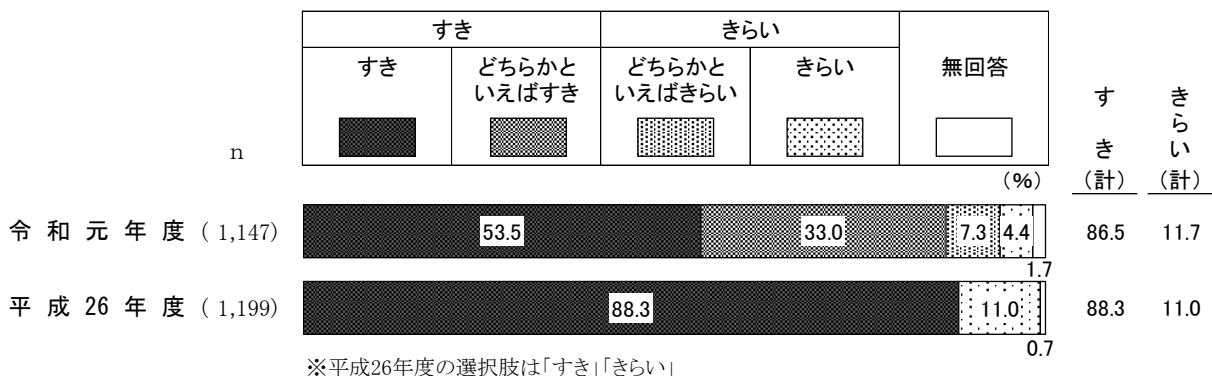
読書が好きかどうかをたずねたところ、「すき」(53.5%)と「どちらかといえはすき」(33.0%)を合わせた『すき』(86.5%)が8割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえはきらい」(7.3%)と「きらい」(4.4%)を合わせた『きらい』(11.7%)は約1割となっている。

《 読書が好きかどうかー学年別 》



学年別でみると、「すき」と「どちらかといえはすき」を合わせた『すき』は2年生(88.0%)は9割近く、5年生(85.2%)は8割台半ばとなっている。

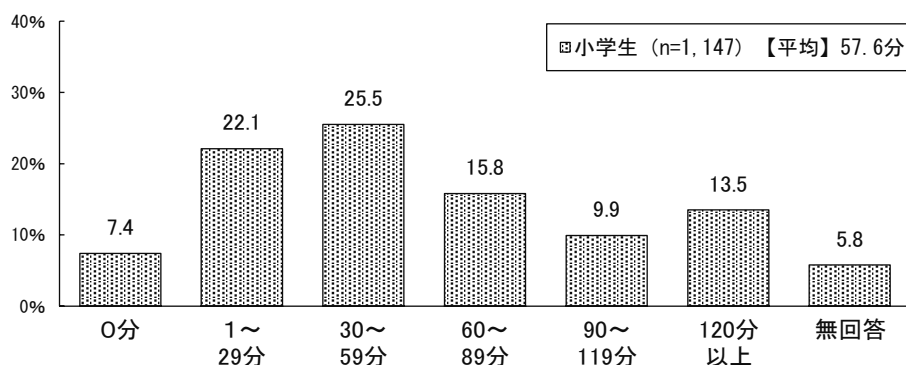
《 読書が好きかどうかー経年比較 》



前回調査(平成26年度)と比較すると、「すき」と「どちらかといえはすき」(平成26年度は「すき」)を合わせた『すき』は大きな差はみられない。

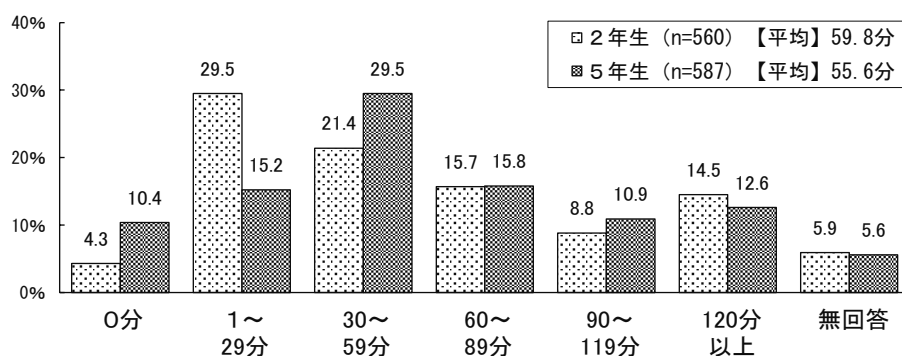
(2) 1日の読書時間

問5 あなたは、1日にどのくらいの時間、本を読みますか。
本をまったく読まないときは、「0（ゼロ）」時間と書いてください。



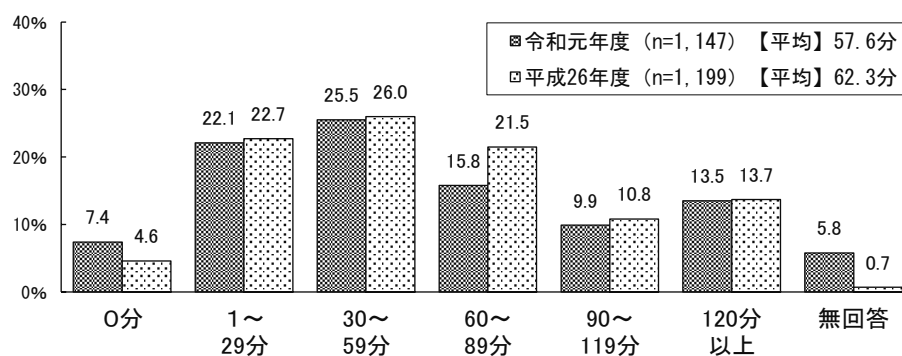
1日の読書時間をたずねたところ、「30～59分」(25.5%)が2割台半ば、「1～29分」(22.1%)が2割台前半、「60～89分」(15.8%)が1割台半ばとなっており、平均は57.6分となっている。

《 1日の読書時間—学年別 —》



学年別でみると、2年生は「1～29分」(29.5%)が約3割、「30～59分」(21.4%)が2割台前半、5年生は「30～59分」(29.5%)が約3割、「60～89分」(15.8%)、「1～29分」(15.2%)が1割台半ばとなっている。また、「0分」は2年生(4.3%)は1割未満、5年生(10.4%)は約1割となっている。平均時間は2年生が59.8分、5年生が55.6分となっている。

《 1日の読書時間—経年比較 —》



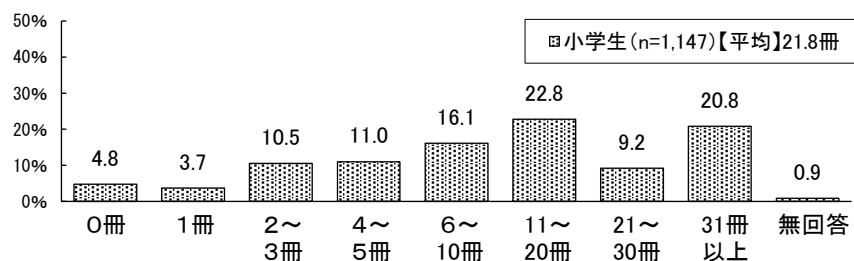
前回調査(平成26年度)と比較すると、「0分」が2.8ポイント増加しており、平均時間は4.7分減少している。

(3) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

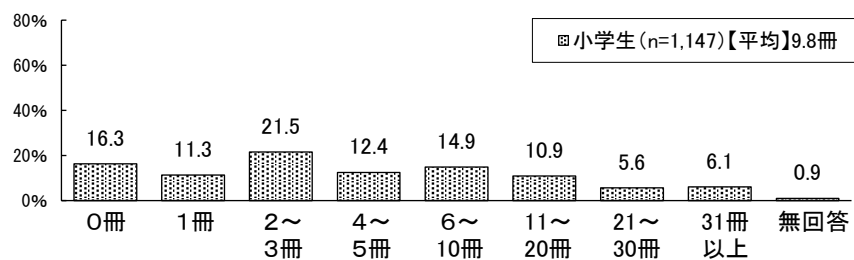
問6 あなたが読むものは何ですか。また、1か月のあいだに何冊くらい読みますか。
 答えには、教科書は入れないでください。
 まったく読まないものは、「0（ゼロ）」冊と書いてください。

【紙の本】

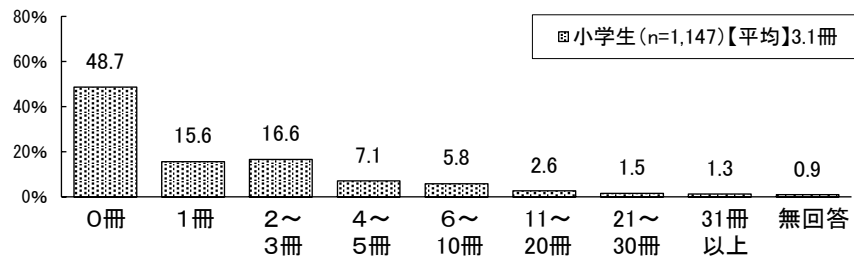
<合計>



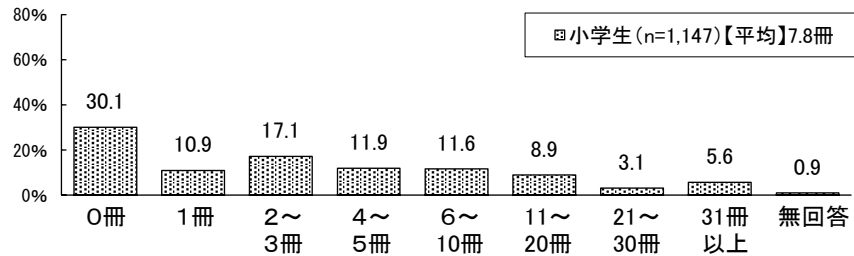
①物語・絵本



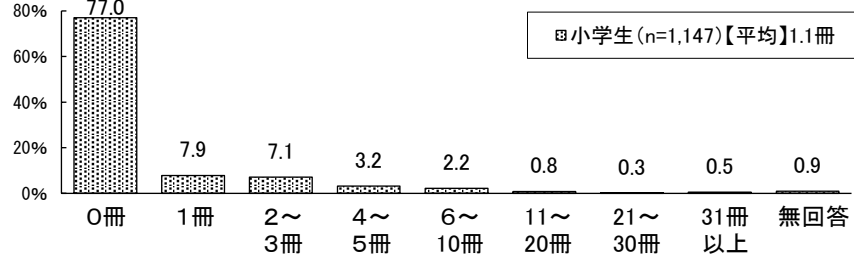
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

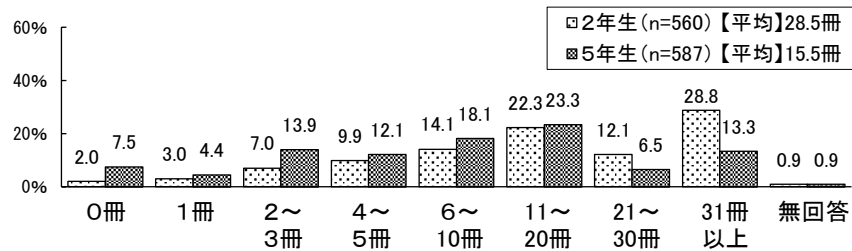


紙の本の1ヵ月間の平均読書冊数についてたずねたところ、平均は合計で21.8冊となっており、①物語・絵本が9.8冊、②学習参考書・図鑑が3.1冊、③マンガ・コミックが7.8冊、④雑誌が1.1冊となっている。

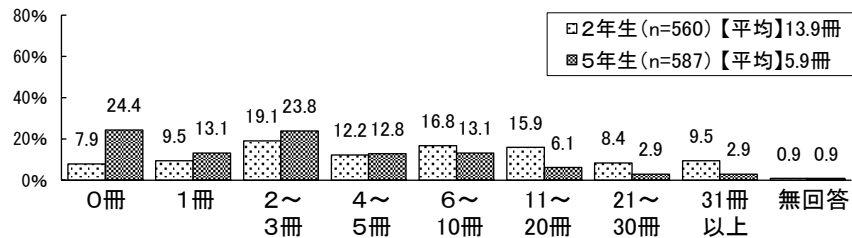
《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】－学年別 》

【紙の本】

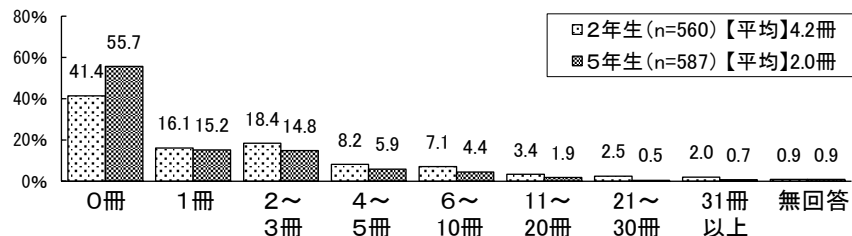
<合計>



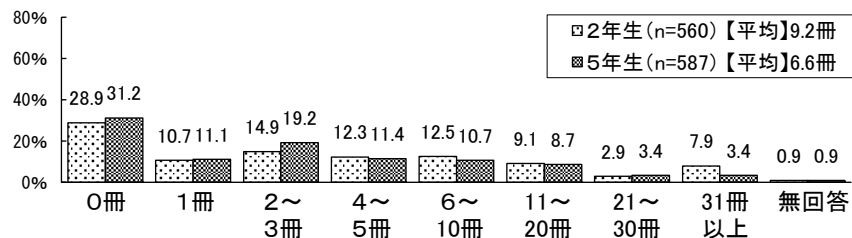
①物語・絵本



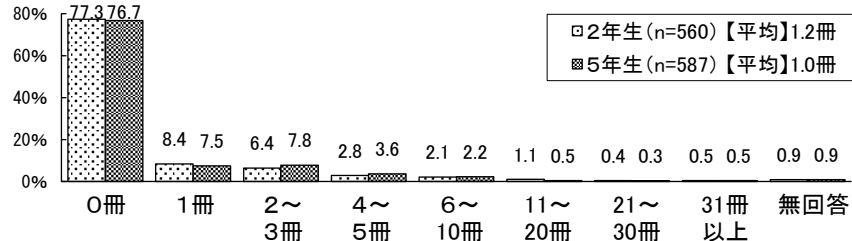
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



学年別で平均をみると、合計は2年生で28.5冊、5年生で15.5冊と2年生のほうが13.0冊多くなっている。①物語・絵本は2年生（13.9冊）は5年生（5.9冊）より8.0冊多く、②学習参考書・図鑑は2年生（4.2冊）は5年生（2.0冊）より2.2冊多く、③マンガ・コミックは2年生（9.2冊）は5年生（6.6冊）より2.6冊多くなっている。紙の本の合計「0冊」（不読率）は、2年生が2.0%、5年生が7.5%となっている。

《 参考：『不読率』－東京都の調査結果との比較 》

	東京都	豊島区
2年生	2.9%	2.0%
5年生	4.2%	7.5%

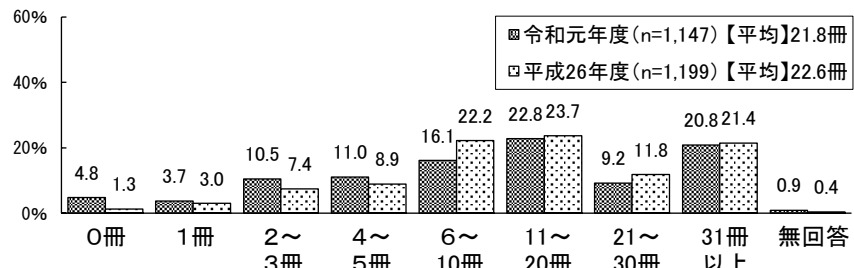
※東京都の不読率は、1か月の間に1冊も「本」（電子書籍を含む）を読まなかった割合を指し、授業中に読んだものは含まない。教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集・絵だけの絵本、画集は「本」に含まない。

※豊島区の不読率は、「紙の本の合計0冊」の回答率とする。

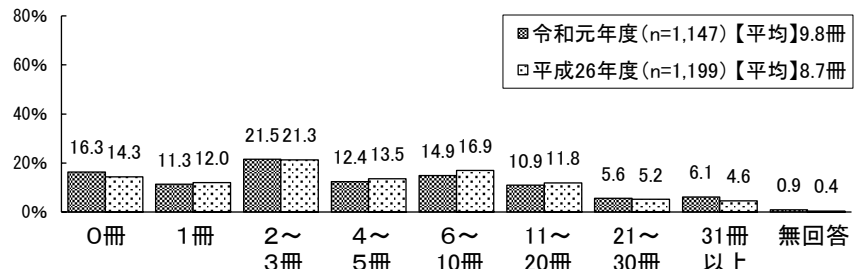
《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】一経年比較 》

【紙の本】 ※平成26年度は「紙の本」「電子書籍」の区別なく聴取している

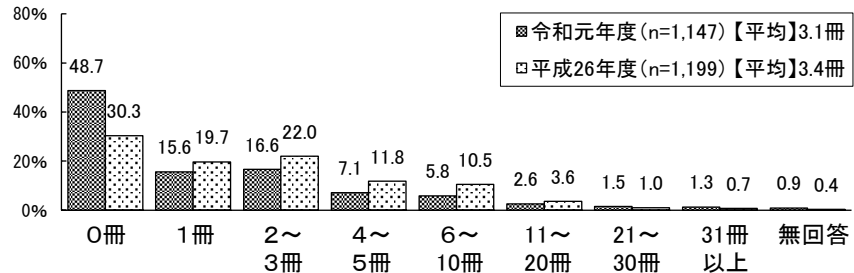
<合計>



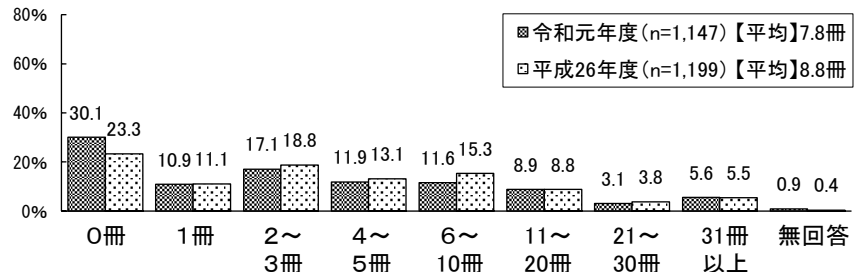
①物語・絵本



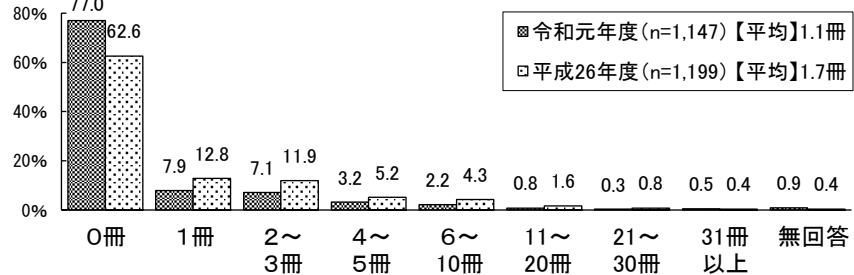
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



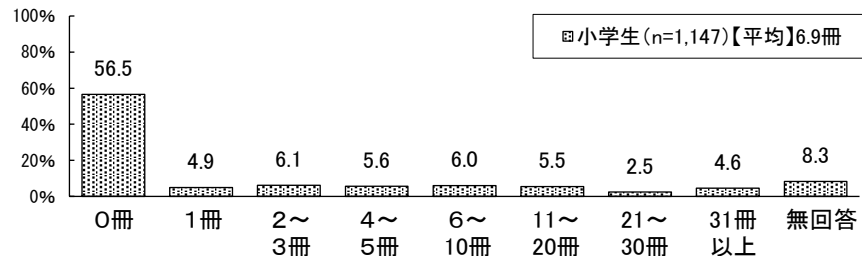
前回調査（平成26年度）と比較すると、合計は平均で0.8冊減少している。今回調査では①物語・絵本が最も多く、前回調査より1.1冊増加しているが、そのほかの分野は減少しており、③マンガ・コミックは前回調査より1.0冊減少している。また、合計「0冊」（不読率）を前回調査（平成26年度）と比較すると、3.5ポイント増加している。

(4) 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

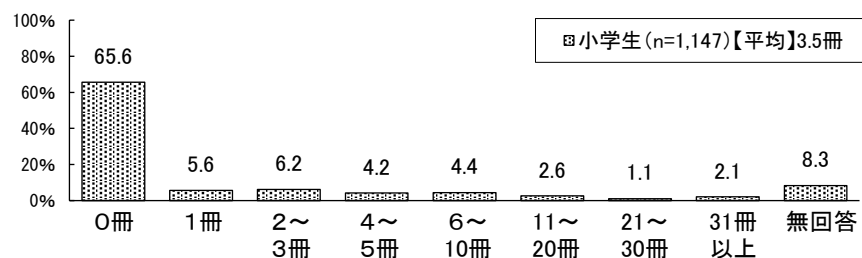
問6 あなたが読むものは何ですか。また、1か月のあいだに何冊くらい読みますか。
 答えには、教科書は入れないでください。
 まったく読まないものは、「0（ゼロ）」冊と書いてください。

【電子書籍】

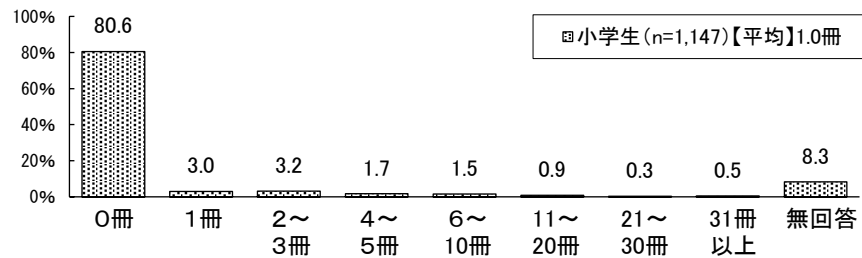
<合計>



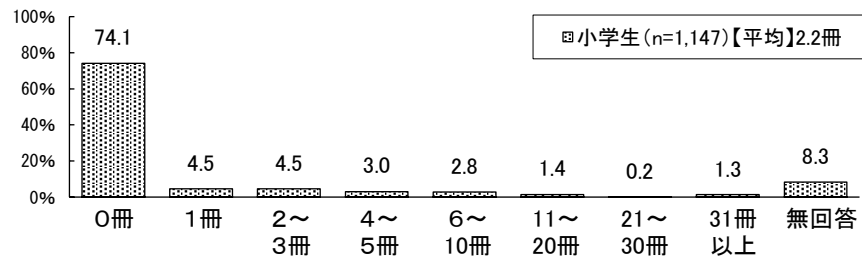
①物語・絵本



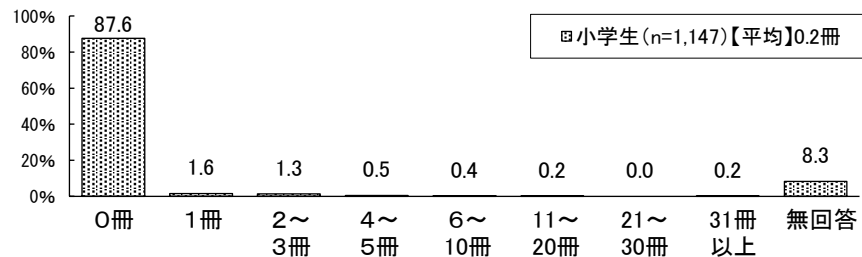
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



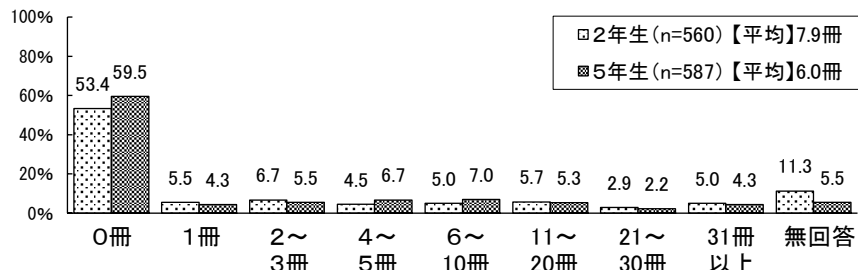
電子書籍の1ヵ月間の平均読書冊数についてたずねたところ、平均は合計で6.9冊となっており、①物語・絵本が3.5冊、②学習参考書・図鑑が1.0冊、③マンガ・コミックが2.2冊、④雑誌が0.2冊となっている。

また、電子書籍を利用している割合（合計の「0冊」と「無回答」を除いた割合）（35.2%）は3割台半ばとなっている。

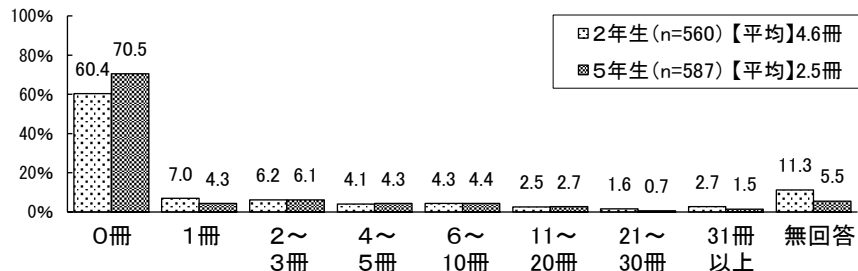
《 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】一学年別 》

【電子書籍】

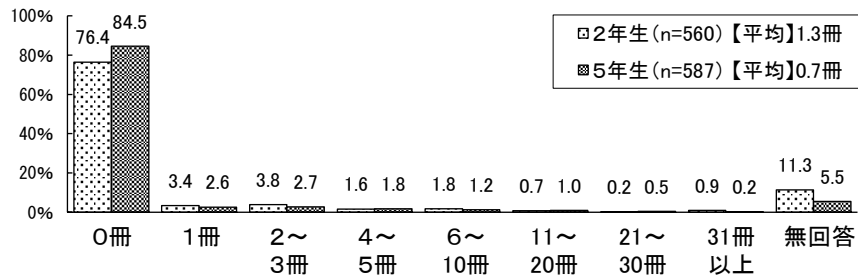
<合計>



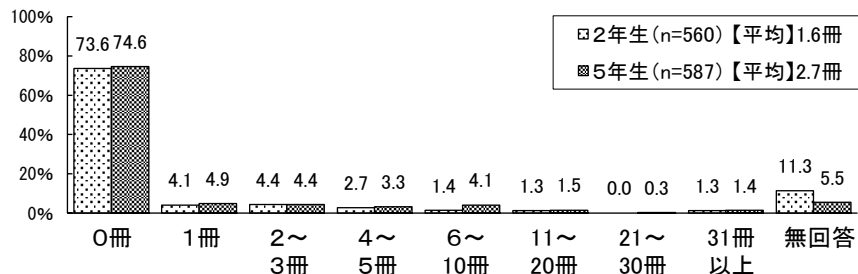
①物語・絵本



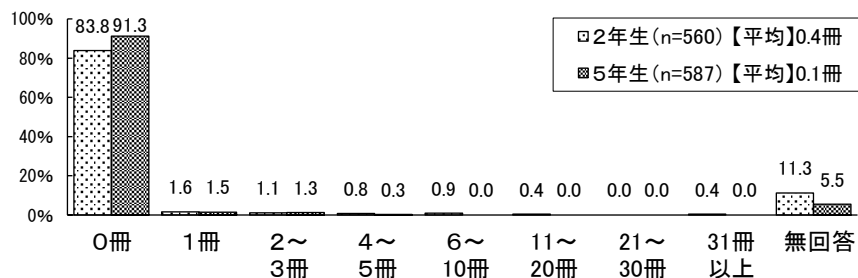
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



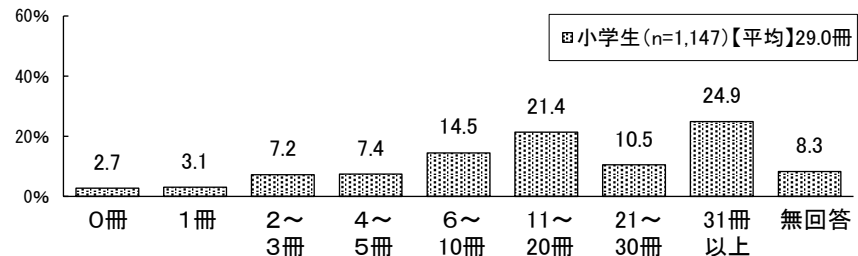
学年別で平均をみると、合計は2年生で7.9冊、5年生で6.0冊と2年生のほうが1.9冊多くなっている。①物語・絵本は2年生（4.6冊）は5年生（2.5冊）より2.1冊多く、②学習参考書・図鑑は2年生（1.3冊）は5年生（0.7冊）より0.6冊多くなっている。③マンガ・コミックは5年生（2.7冊）は2年生（1.6冊）より1.1冊多くなっている。

(5) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】+【電子書籍】計

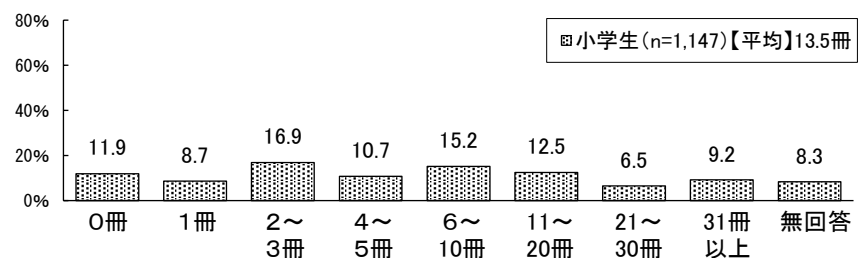
問6 あなたが読むものは何ですか。また、1か月のあいだに何冊くらい読みますか。
 答えには、教科書は入れないでください。
 まったく読まないものは、「0（ゼロ）」冊と書いてください。

【紙の本】+【電子書籍】計

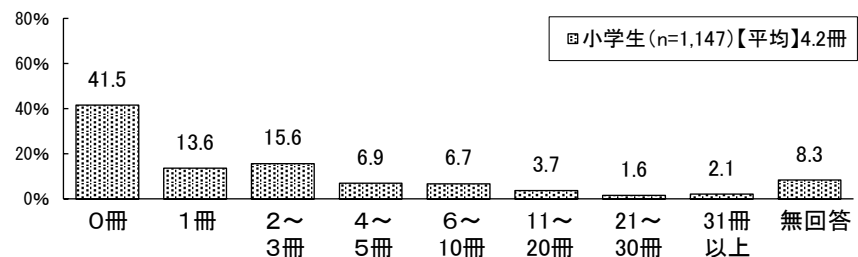
<合計>



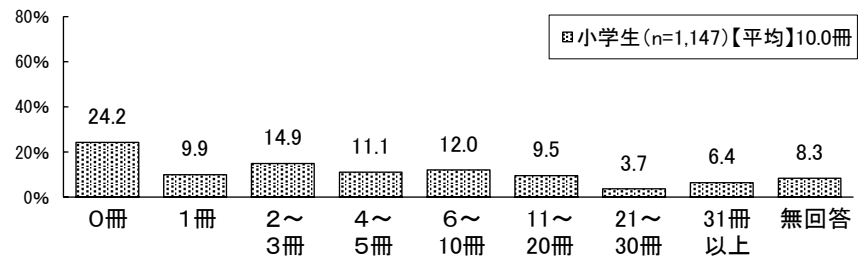
①物語・絵本



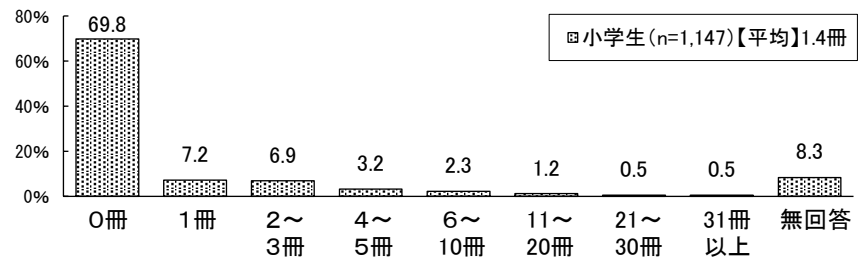
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

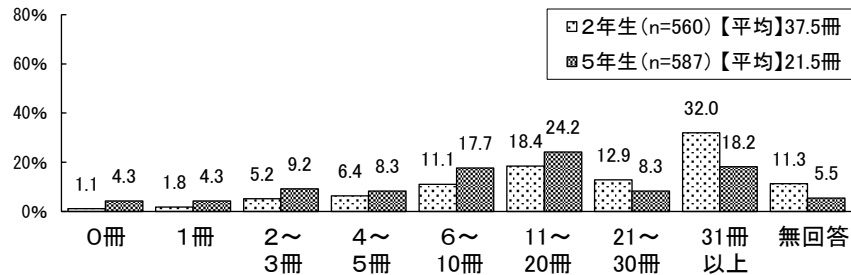


紙の本と電子書籍計の1ヵ月間の平均読書冊数の平均は、合計で29.0冊となっており、①物語・絵本が13.5冊、②学習参考書・図鑑が4.2冊、③マンガ・コミックが10.0冊、④雑誌が1.4冊となっている。

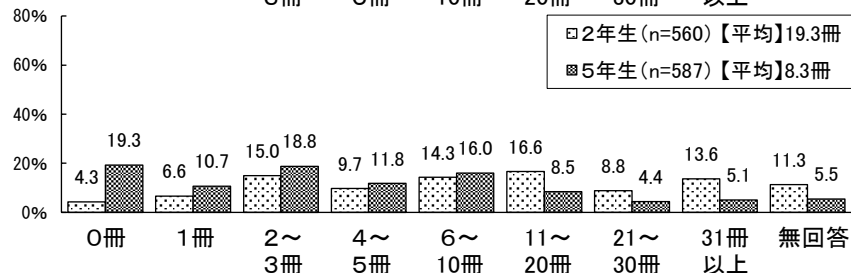
《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】＋【電子書籍】計－学年別 》

【紙の本】＋【電子書籍】計

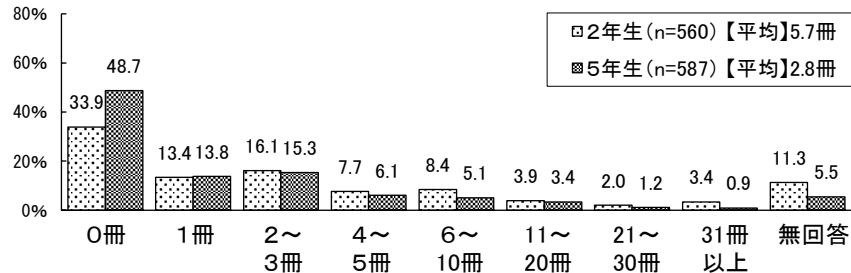
<合計>



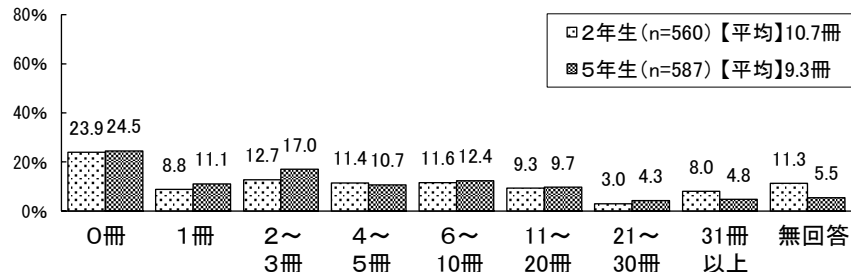
①物語・絵本



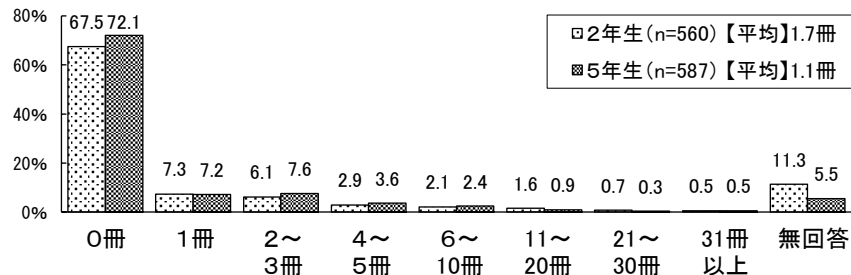
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



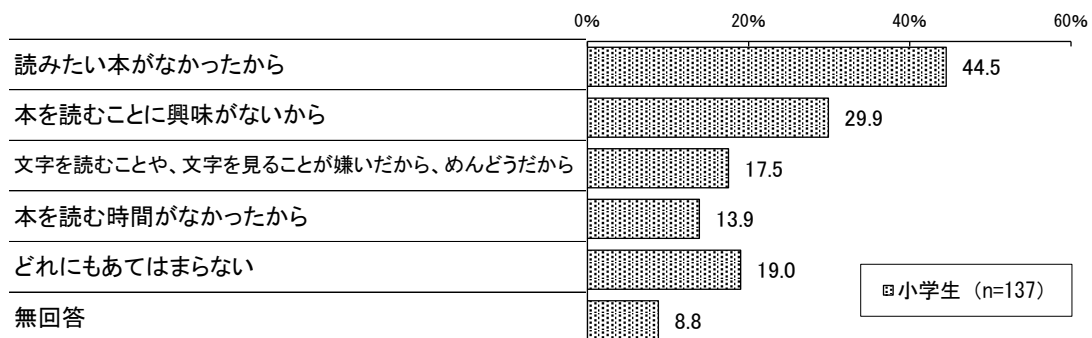
④雑誌



学年別で平均をみると、合計は2年生で37.5冊、5年生で21.5冊と2年生のほうが16.0冊多くなっている。①物語・絵本は2年生（19.3冊）は5年生（8.3冊）より11.0冊多く、②学習参考書・図鑑は2年生（5.7冊）は5年生（2.8冊）より2.9冊多く、③マンガ・コミックは2年生（10.7冊）は5年生（9.3冊）より1.4冊多くなっている。また、合計で「0冊」は2年生で1.1%、5年生で4.3%となっている。

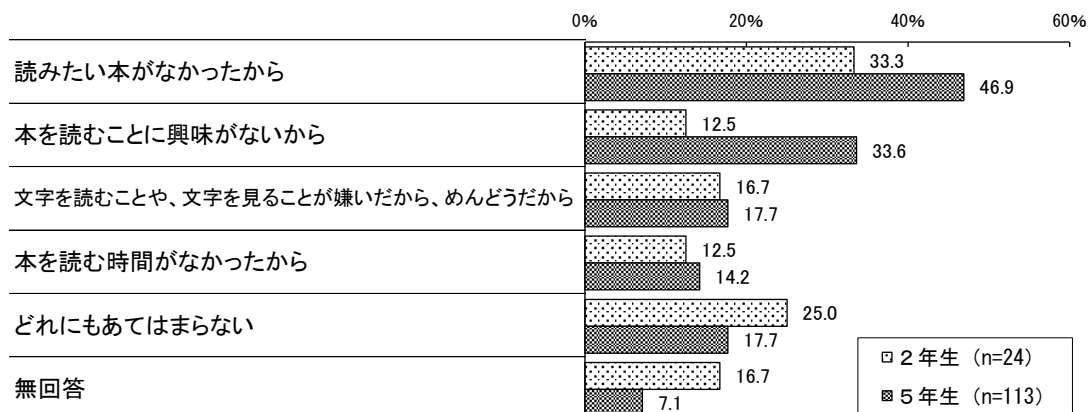
(6) 本（「物語・絵本」）を読まない理由

問7 問6で「1. 物語・絵本」を0冊と答えた方は、読まない理由をお聞かせください。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）



物語・絵本を読まない児童に理由をたずねたところ、「読みたい本がなかったから」（44.5%）が4割台半ばと最も多く、次いで「本を読むことに興味がないから」（29.9%）、「文字を読むことや、文字を見ることが嫌いだから、めんどうだから」（17.5%）の順となっている。

《 本（「物語・絵本」）を読まない理由—学年別 》



学年別でみると、5年生は2年生より「本を読むことに興味がないから」が21.1ポイント、「読みたい本がなかったから」が13.6ポイント多くなっている。

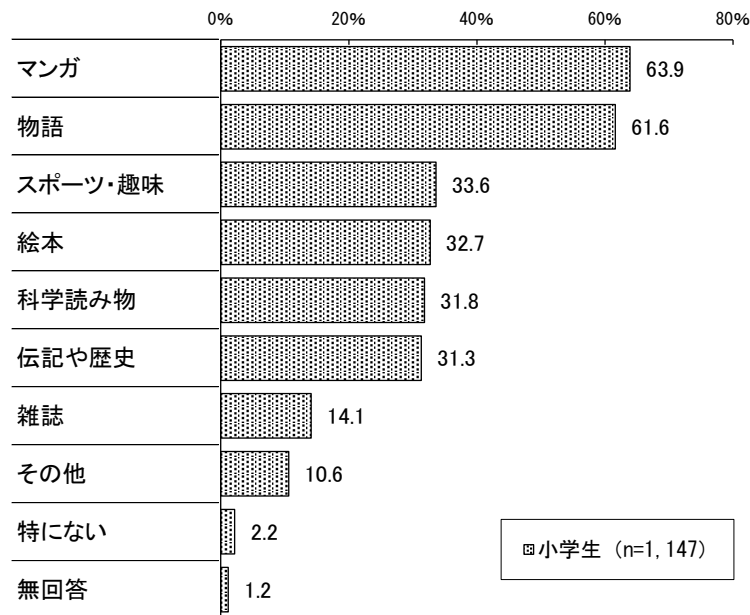
《 参考：本（「物語・絵本」）を読まない理由—東京都の調査結果との比較 》

【2年生】（複数回答）	東京都	豊島区	【5年生】（複数回答）	東京都	豊島区
本を読むことに興味がないから	39.1%	12.5%	読みたい本がなかったから	46.5%	46.9%
読みたい本がなかったから	34.0%	33.3%	本を読むことに興味がないから	43.5%	33.6%
本を読む時間がなかったから	25.0%	12.5%	文章を読むこと、字を見ることがきらい、めんどう	26.5%	17.7%
文章を読むこと、字を見ることがきらい、めんどう	18.6%	16.7%	本を読む時間がなかったから	21.3%	14.2%
どれにもあてはまらない	18.6%	25.0%	どれにもあてはまらない	11.3%	17.7%

東京都の調査結果と比較すると、豊島区2年生は多い順に「読みたい本がなかったから」、「どれにもあてはまらない」、「文字を読むことや、文字を見ることが嫌いだから、めんどうだから」となっている。豊島区5年生は多い順に「読みたい本がなかったから」、「本を読むことに興味がないから」、「文字を読むことや、文字を見ることが嫌いだから、めんどうだから」と「どれにもあてはまらない」となっている。東京都2年生は「本を読むことに興味がないから」、東京都5年生は「読みたい本がなかったから」と答えているが、豊島区の場合は東京都と比較して2年生、5年生ともに「本を読むことに興味がないから」、「本を読む時間がなかったから」のポイントが低くなっている。

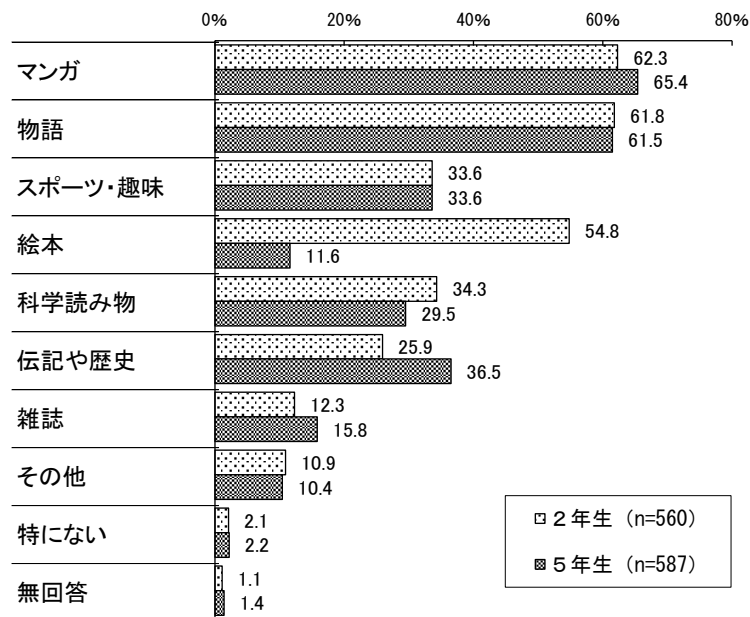
(7) 好きな本の分野・ジャンル

問8 あなたは、どのような内容の本が好きですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



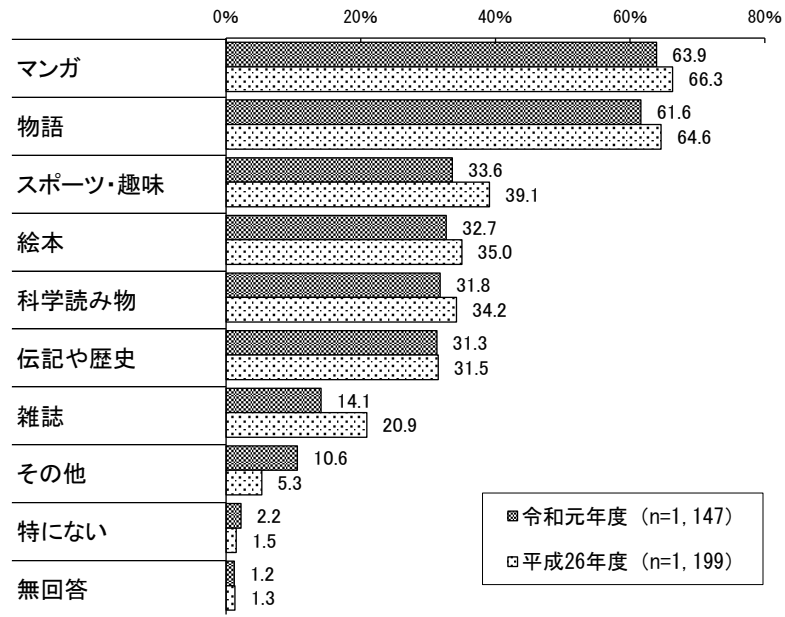
好きな本の分野・ジャンルをたずねたところ、「マンガ」(63.9%)が6割を超えて最も多く、次いで「物語」(61.6%)、「スポーツ・趣味」(33.6%)、「絵本」(32.7%)、「科学読み物」(31.8%)、「伝記や歴史」(31.3%)の順となっている。

《好きな本の分野・ジャンルー学年別》



学年別でみると、2年生は5年生より「絵本」が43.2ポイント多く、5年生は2年生より「伝記や歴史」が10.6ポイント多くなっている。「マンガ」、「物語」、「スポーツ・趣味」は学年による差が小さくなっている。

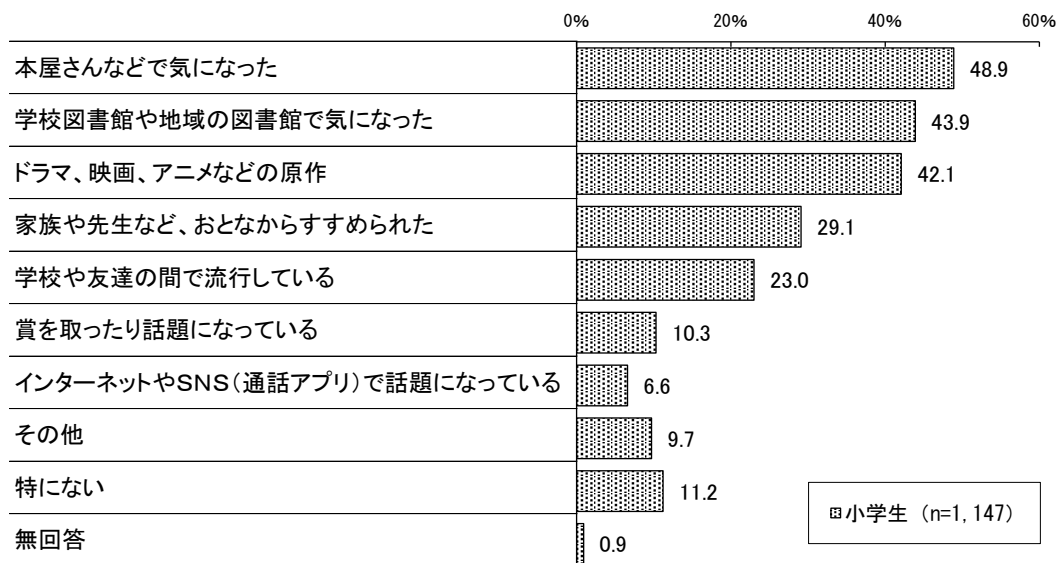
《 好きな本の分野・ジャンルー経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、「雑誌」、「スポーツ・趣味」、「物語」はポイントが減少しているが、そのほかの分野は大きな変化はみられない。また、今回調査、前回調査（平成26年度）ともに「マンガ」が最も多く、次いで「物語」、「スポーツ・趣味」、「絵本」、「科学読み物」の順となっており、順位に変化はみられない。

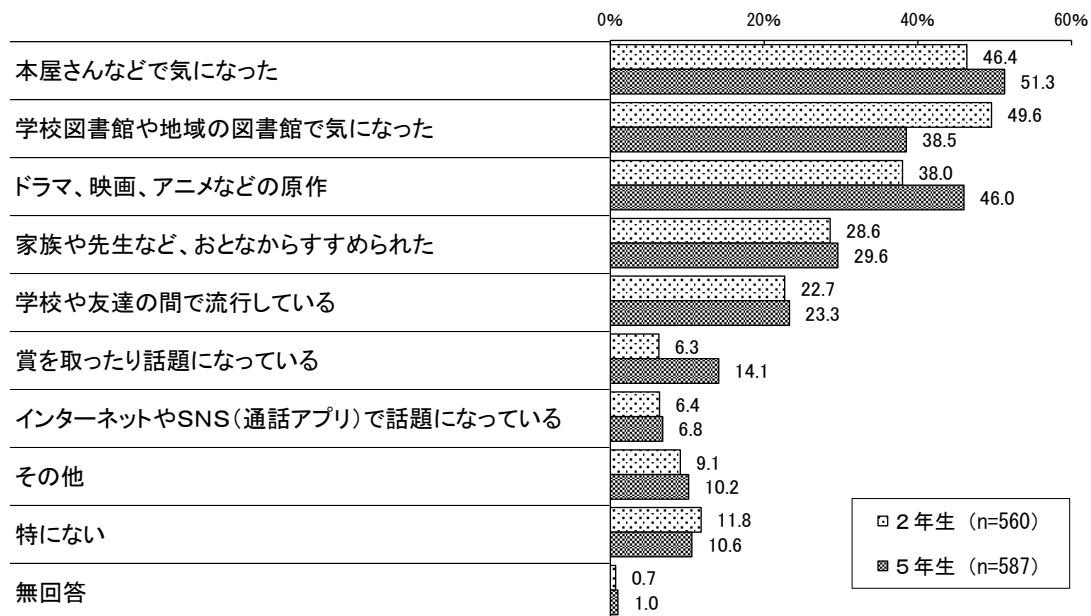
(8) 本を読んでみようと思うきっかけ

問9 あなたが本を読んでみようと思うきっかけは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



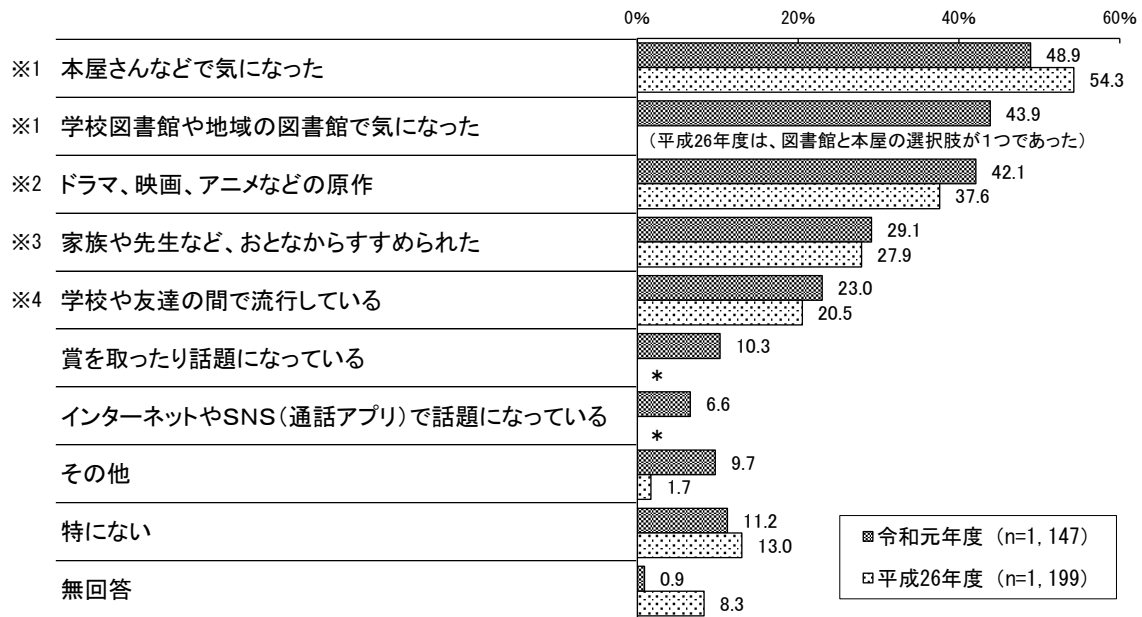
本を読んでみようと思うきっかけをたずねたところ、「本屋さんなどで気になった」(48.9%)が5割近くと最も多く、次いで「学校図書館や地域の図書館で気になった」(43.9%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(42.1%)と続き、「家族や先生など、おとなからすすめられた」(29.1%)は約3割となっている。

《 本を読んでみようと思うきっかけ—学年別 —》



学年別でみると、2年生は多い順に「学校図書館や地域の図書館で気になった」(49.6%)、「本屋さんなどで気になった」(46.4%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(38.0%)となっている。5年生は多い順に「本屋さんなどで気になった」(51.3%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(46.0%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」(38.5%)となっている。

《 本を読んでみようと思うきっかけ—経年比較》



※図中「*」:平成26年度は非聴取

※1:平成26年度の選択肢は「図書館や本屋さんで見たから」

※2:平成26年度の選択肢は「テレビや映画になった本だから」

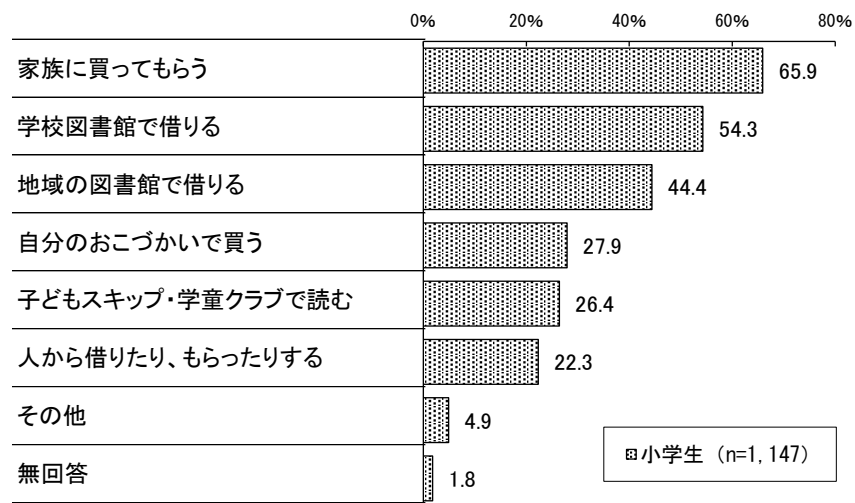
※3:平成26年度の選択肢は「人からすすめられたから」

※4:平成26年度の選択肢は「学校や友達の間で流行っているから」

前回調査（平成26年度）と比較すると、今回調査では多い順に「本屋さんなどで気になった」、「学校図書館や地域の図書館で気になった」、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」となっており、前回調査（平成26年度）では多い順に「図書館や本屋さんで見たから」、「テレビや映画になった本だから」、「人からすすめられたから」となっている。

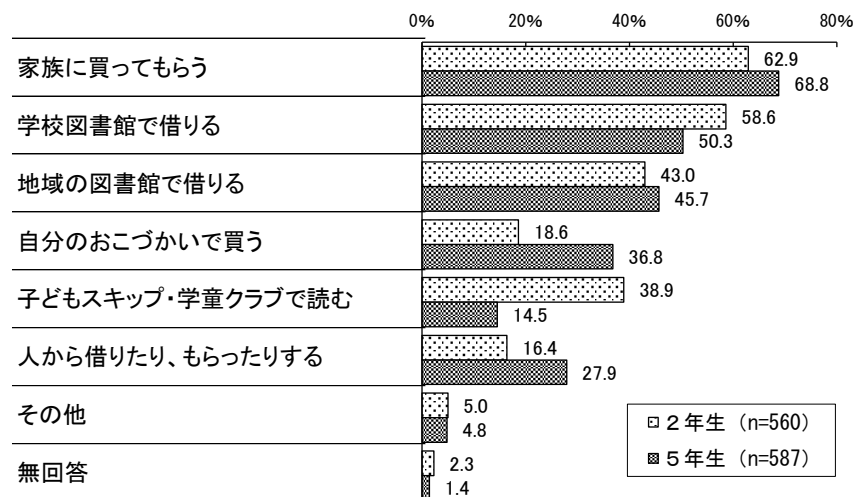
(9) 読みたい本の入手方法

問11 読みたい本があるときはどうしていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



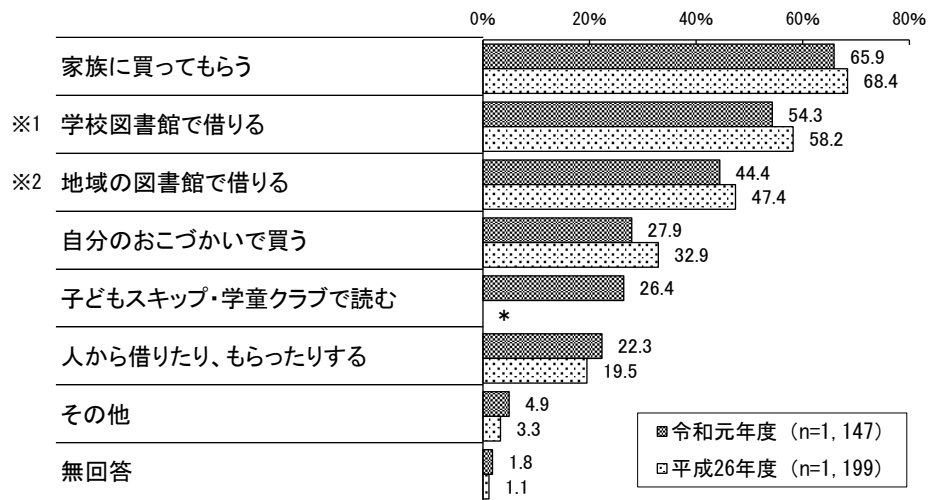
読みたい本の入手方法をたずねたところ、「家族に買ってもらう」(65.9%)が6割台半ばと最も多く、次いで「学校図書館で借りる」(54.3%)、「地域の図書館で借りる」(44.4%)の順となっている。

《 読みたい本の入手方法－学年別 》



学年別でみると、上位3つの順位は学年による差はみられないが、2年生の「子どもスキップ・学童クラブ」は5年生より24.4ポイント多く、順位が高くなっている。

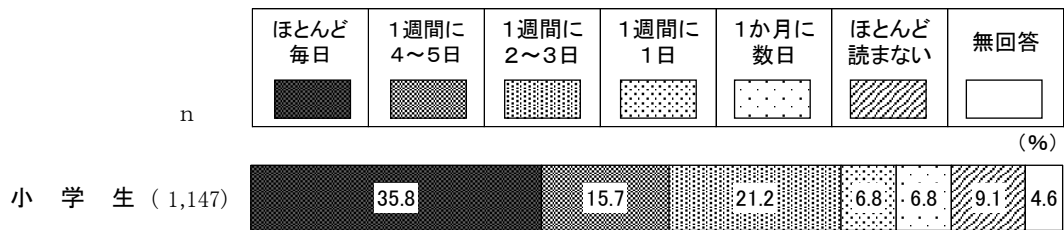
《 読みたい本の入手方法－経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、大きな変化はみられない。

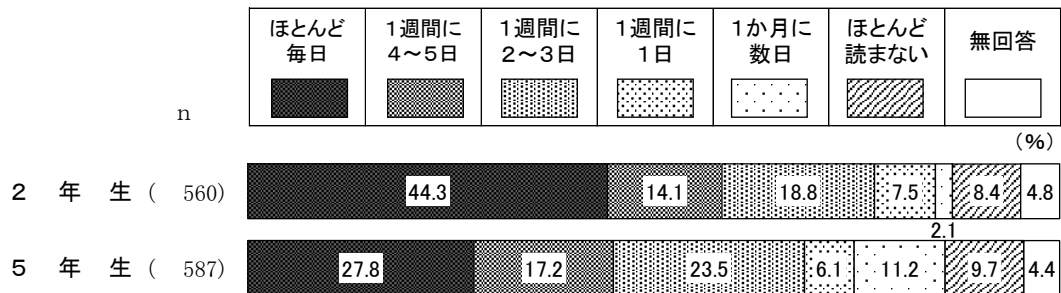
(10) 読書頻度

問12 あなたは、どのくらい本を読みますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)



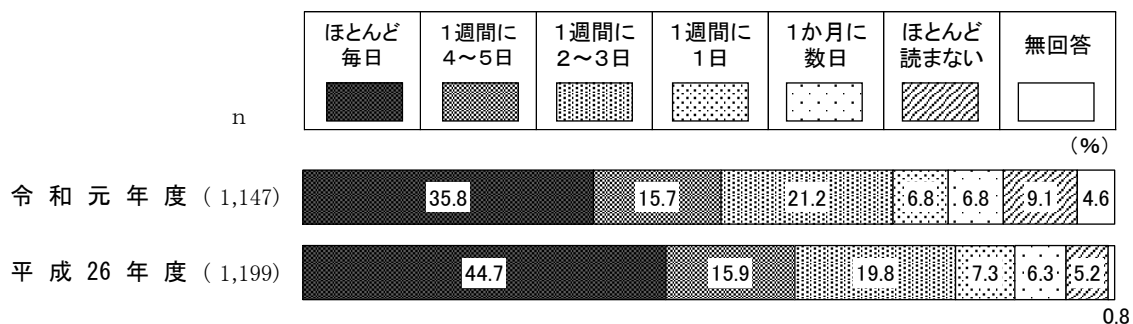
読書の頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」(35.8%)が3割半ばと最も多く、次いで「1週間に2～3日」(21.2%)、「1週間に4～5日」(15.7%)の順となっている。

《 読書頻度－学年別 》



学年別でみると、「ほとんど毎日」は2年生(44.3%)は5年生(27.8%)より16.5ポイント多くなっている。「1か月に数日」は5年生(11.2%)は2年生(2.1%)より9.1ポイント多くなっている。

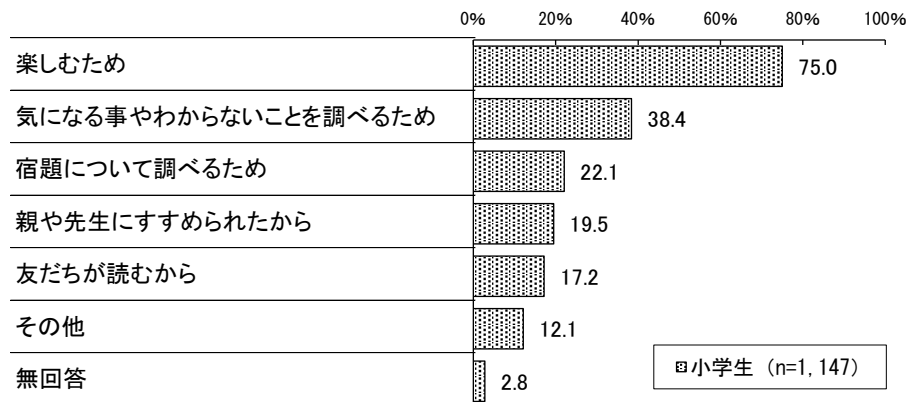
《 読書頻度－経年比較 》



前回調査(平成26年度)と比較すると、「ほとんど毎日」は8.9ポイント減少している。一方、「ほとんど読まない」が3.9ポイント増加している。

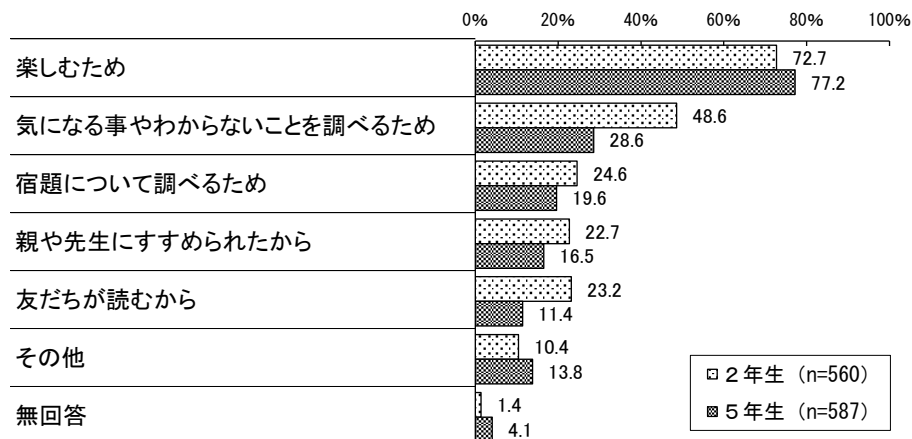
(11) 読書の理由

問14 本を読むのはなぜですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



本を読む理由をたずねたところ、「楽しむため」(75.0%)が7割台半ばと最も多く、次いで「気になる事やわからないことを調べるため」(38.4%)、「宿題について調べるため」(22.1%)の順となっている。

《 読書の理由—学年別 》



学年別でみると、2年生は5年生より「気になる事やわからないことを調べるため」が20.0ポイント、「友達が読むから」が11.8ポイント、「親や先生にすすめられたから」が6.2ポイント多くなっている。5年生は2年生より「楽しむため」が4.5ポイント多くなっている。

《 参考：読書の理由—東京都の調査結果との比較 》

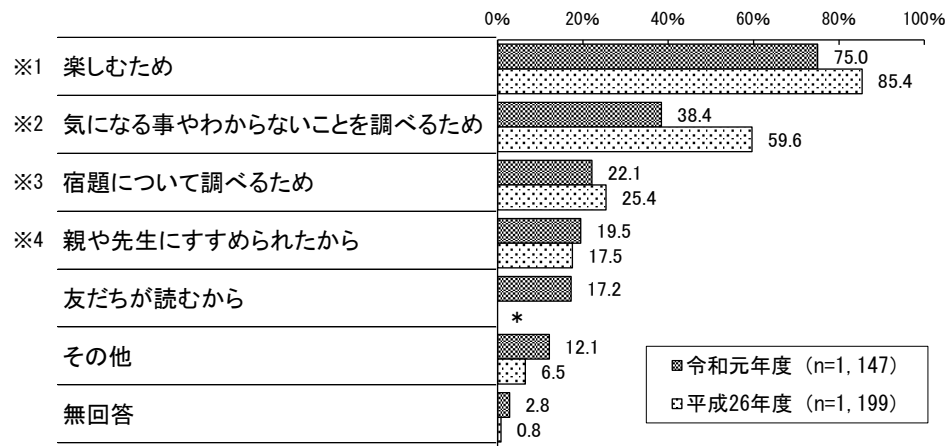
【5年生】(複数回答)		東京都	豊島区
※1	楽しむため	71.4%	77.2%
※2	興味・関心、知識を高めるため	47.5%	28.6%
※2	課題について調べるため	29.8%	19.6%
	親や先生に勧められたから	18.1%	16.5%
	友達が読むから	9.6%	11.4%

※1: 豊島区調査の選択肢は「気になる事やわからないことを調べるため」

※2: 豊島区調査の選択肢は「宿題について調べるため」

5年生について東京都の調査結果と比較すると(東京都は3年生以下は非調査)、「興味・関心、知識を高めるため」が東京都は5割近く、豊島区は3割近く(豊島区は「気になる事やわからないことを調べるため」)となっており、「課題について調べるため」が東京都は約3割、豊島区は約2割(豊島区は「宿題について調べるため」)となっている。

《 読書の理由－経年比較 》

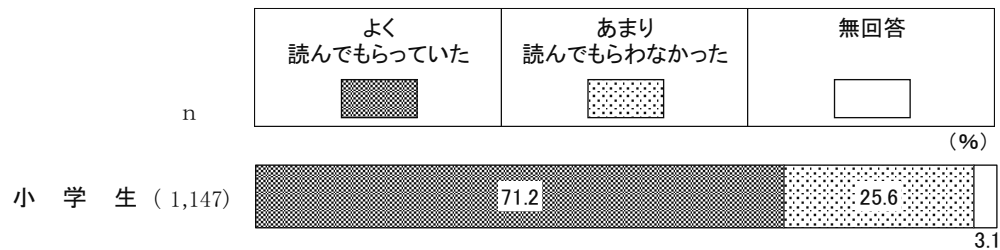


前回調査（平成26年度）と比較すると、「気になる事やわからないことを調べるため」（平成26年度は「知らないことがわかるから」）が21.2ポイント、「楽しむため」（平成26年度は「おもしろいから」）が10.4ポイント減少している。

3 読書の環境

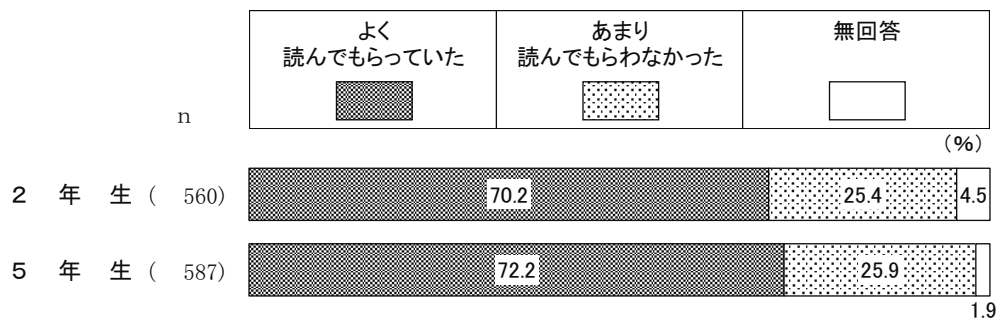
(1) 小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験

問10 あなたは、小学校入学前におとなに本を読んでもらいましたか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)



小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験をたずねたところ、「よく読んでもらっていた」(71.2%)は7割を超えている。一方、「あまり読んでもらわなかった」(25.6%)は2割台半ばとなっている。

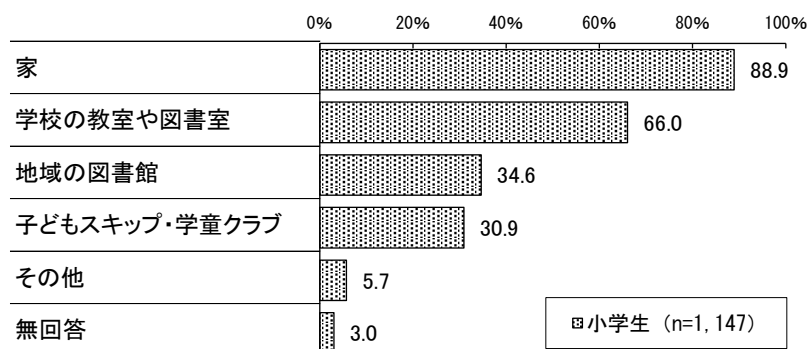
《 小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験—学年別 》



学年別でみると、大きな差はみられない。

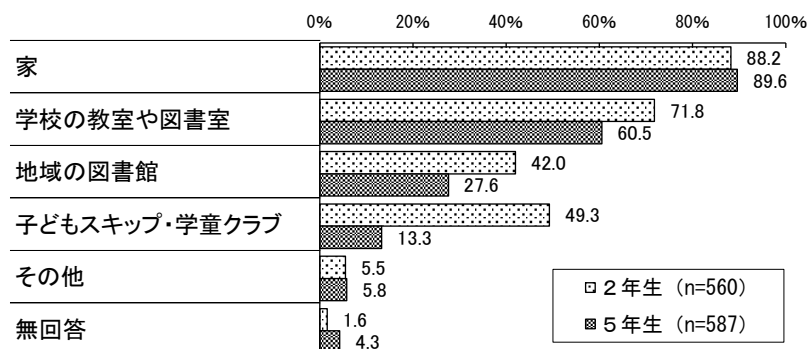
(2) 読書をする場所

問13 あなたは、どこで本を読みますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



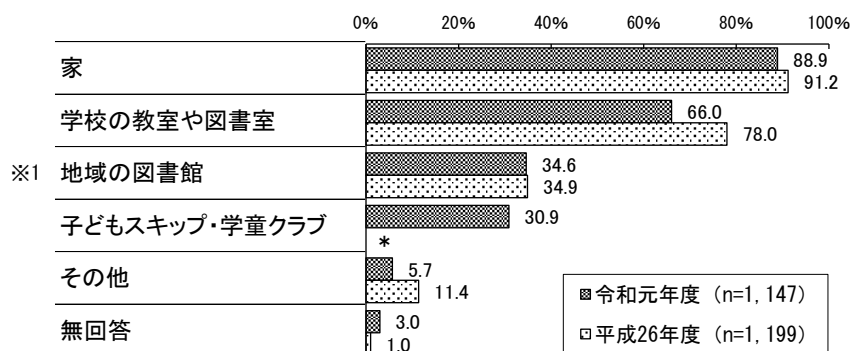
読書をする場所をたずねたところ、「家」(88.9%)が9割近くと最も多く、次いで「学校の教室や図書室」(66.0%)、「地域の図書館」(34.5%)の順となっている。

《 読書をする場所—学年別 》



学年別でみると、「家」、「学校の教室や図書室」は学年による大きな差はみられないが、2年生の「子どもスキップ・学童クラブ」は5年生より36.0ポイント多く、順位が高くなっている。

《 読書をする場所—経年比較 》



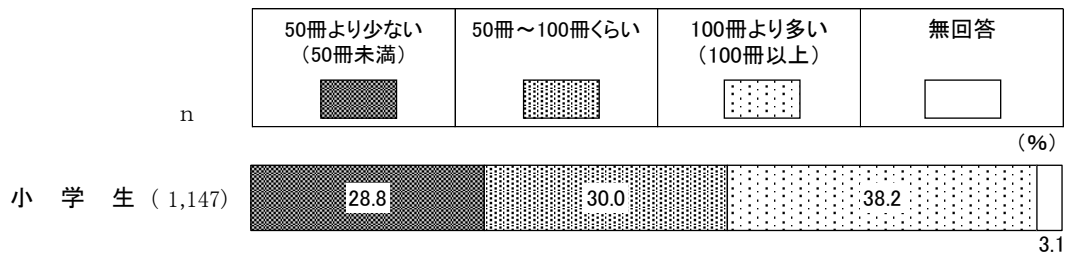
※図中「*」:平成26年度は非聴取

※1:平成26年度の選択肢は「区の図書館」

前回調査(平成26年度)と比較すると、「学校の教室や図書室」が12.0ポイント減少している(平成26年度は選択肢に「子どもスキップ・学童クラブ」がなかったため、「学校の教室や図書室」に子どもスキップ・学童クラブも含まれていたためと思われる)。

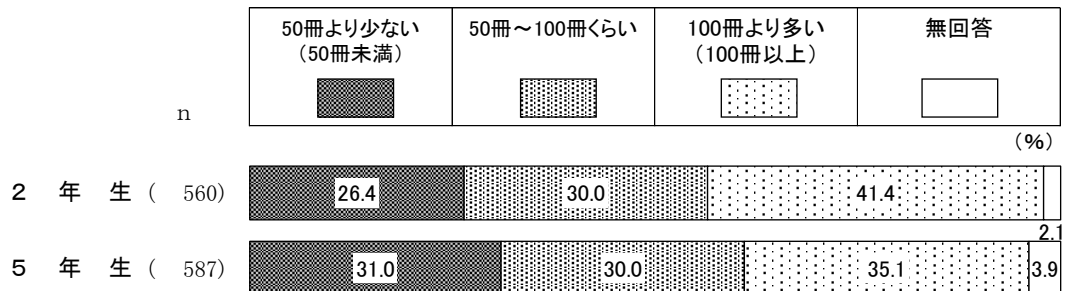
(3) 家庭内の本の冊数

問15 あなたの家には、何冊くらい本がありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)



家庭内の本の冊数をたずねたところ、「100冊より多い（100冊以上）」（38.2％）が4割近くと最も多く、「50冊～100冊くらい」（30.0％）が3割、「50冊より少ない（50冊未満）」（28.8％）が3割近くとなっている。

《 家庭内の本の冊数－学年別 》

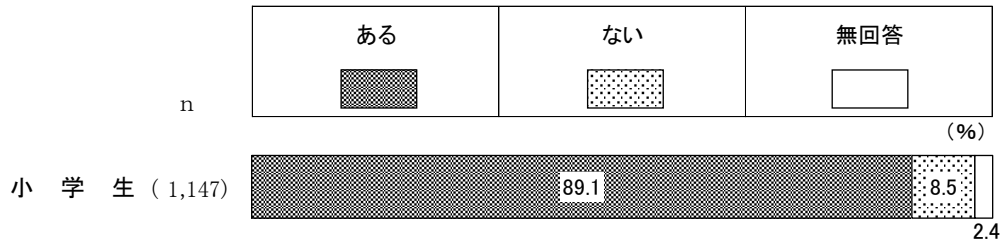


学年別でみると、「100冊より多い（100冊以上）」は2年生（41.4％）は5年生（35.1％）より6.3ポイント多くなっている。

4 地域の図書館について

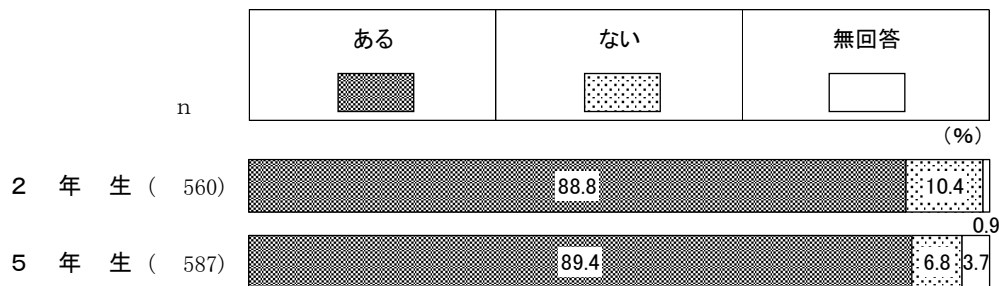
(1) 地域の図書館の利用経験

問16 あなたは地域の図書館へ行ったことがありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)



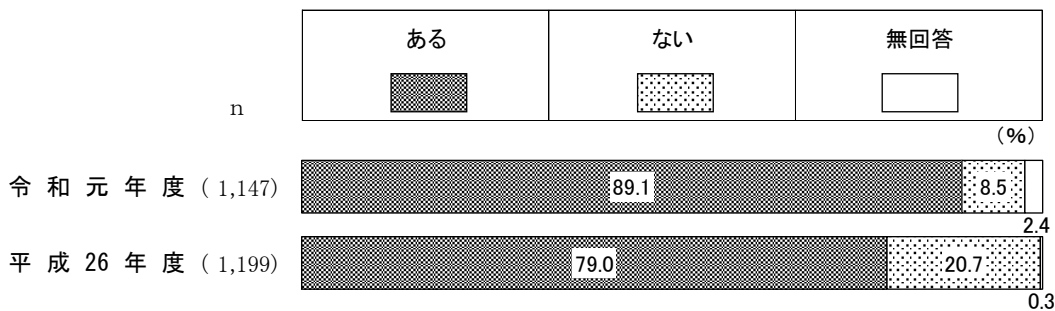
地域の図書館の利用経験をたずねたところ、「ある」(89.1%)が約9割となっている。

《 地域の図書館の利用経験－学年別 》



学年別でみると、「ある」は2年生(88.8%)、5年生(89.4%)ともに約9割となっている。

《 地域の図書館の利用経験－経年比較 》

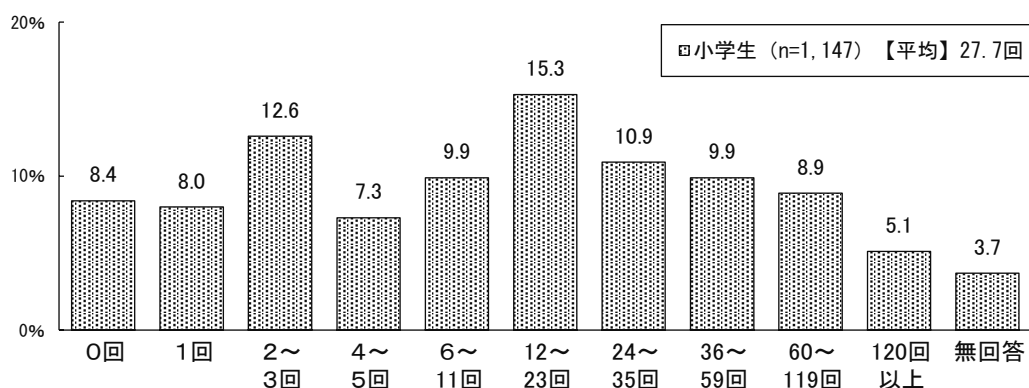


※平成26年度は、小学2年生は1年生になってから、5年生は4年生になってからのことについて聴取

前回調査(平成26年度)では2年生は1年生になってから(小学生になってから)、5年生は4年生になってから(高学年になってから)について聴取しているため参考とする。

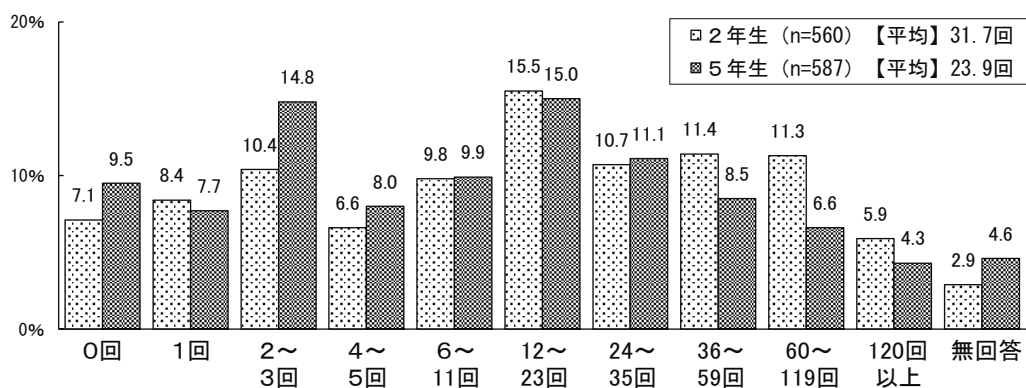
(2) 地域の図書館の利用回数(1年間)

問17 あなたは、地域の図書館に何回行きますか。
(□に数字を書いてください)



地域の図書館の利用回数をたずねたところ、1年間で「12～23回」(15.3%)が1割台半ば、「2～3回」(12.6%)、「24～35回」(10.9%)が1割台となっている。平均は27.7回となっており、1か月あたり2回強となっている。

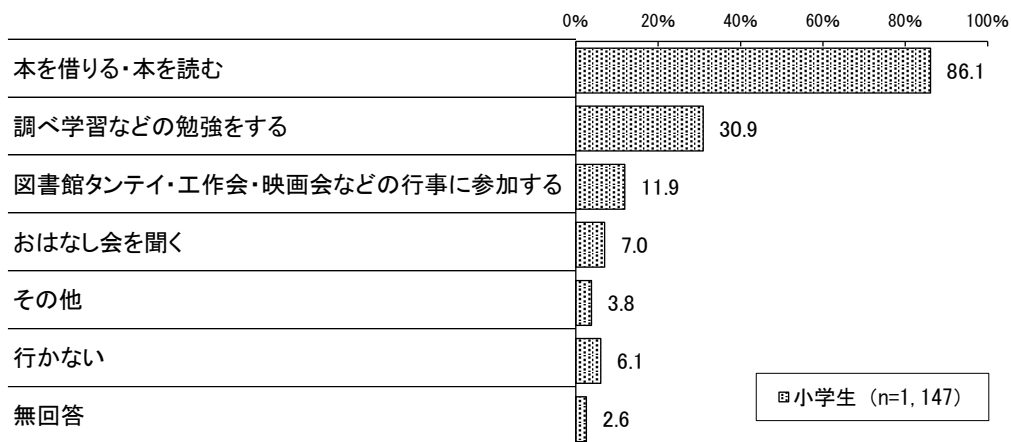
《 地域の図書館の利用回数(1年間)－学年別 》



学年別でみると、平均は2年生が31.7回、5年生が23.9回と2年生のほうが7.8回多くなっている。

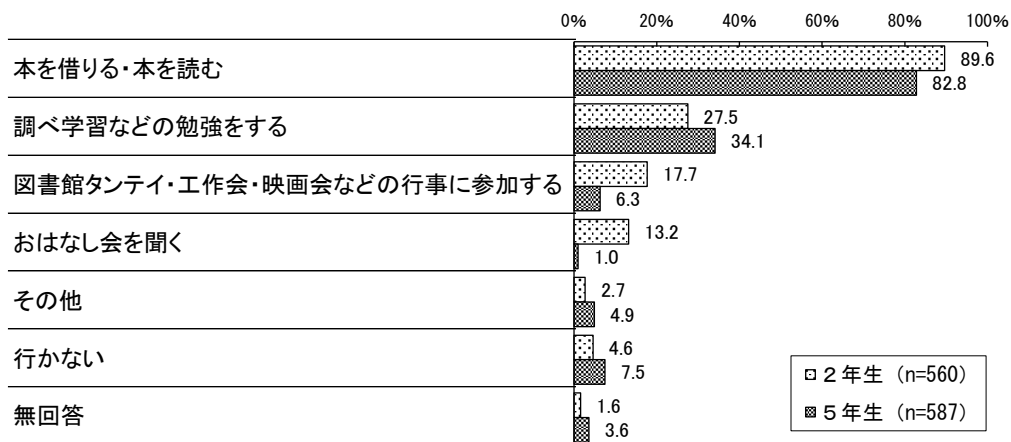
(3) 地域の図書館の利用目的

問18 あなたは、図書館へは何をしに行きますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



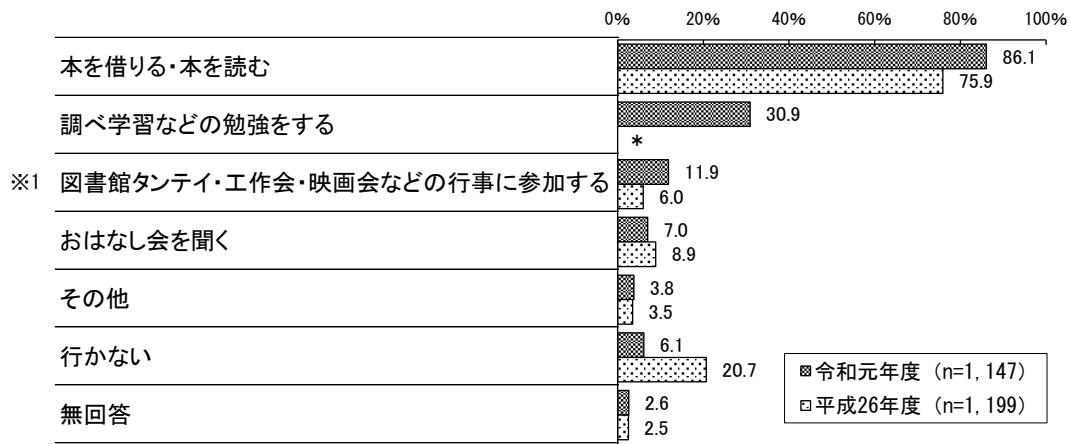
地域の図書館の利用目的をたずねたところ、「本を借りる・本を読む」(86.1%)が8割台半ばと最も多く、次いで「調べ学習などの勉強をする」(30.9%)、「図書館タンテイ・工作会・映画会などの行事に参加する」(11.9%)の順となっている。

《 地域の図書館の利用目的－学年別 》



学年別でみると、2年生は5年生より「おはなし会を聞く」が12.2ポイント、「図書館タンテイ・工作会・映画会などの行事に参加する」が11.4ポイント、「本を借りる・本を読む」が6.8ポイント多くなっている。一方、5年生は2年生より「調べ学習などの勉強をする」が6.6ポイント多くなっている。

《 地域の図書館の利用目的－経年比較 》



※図中「*」:平成26年度は非聴取

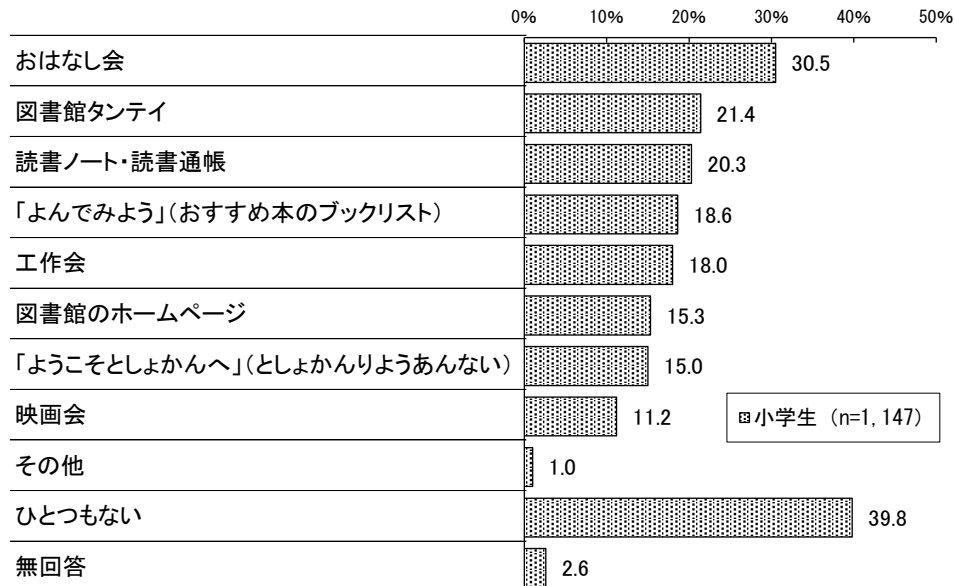
※1:平成26年度の選択肢は「図書館タンテイなどの行事に参加する」

前回調査（平成26年度）と比較すると、「本を借りる・本を読む」が10.2ポイント、「図書館タンテイ・工作会・映画会などの行事」が5.9ポイント増加している。

(4) 地域の図書館の参加経験行事・認知行事

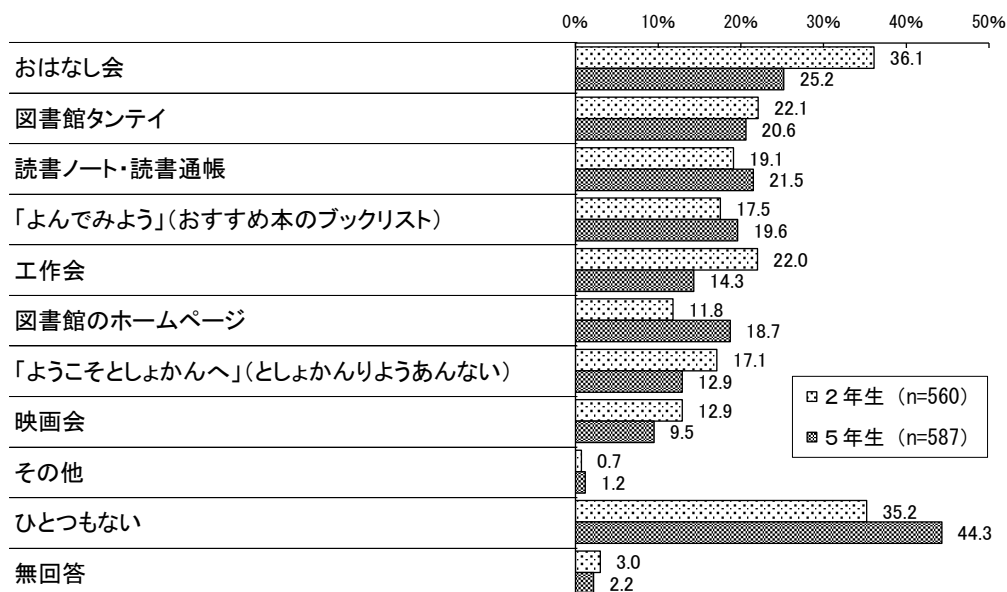
問19 図書館の行事で参加したことがあるものや、図書館について知っているものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



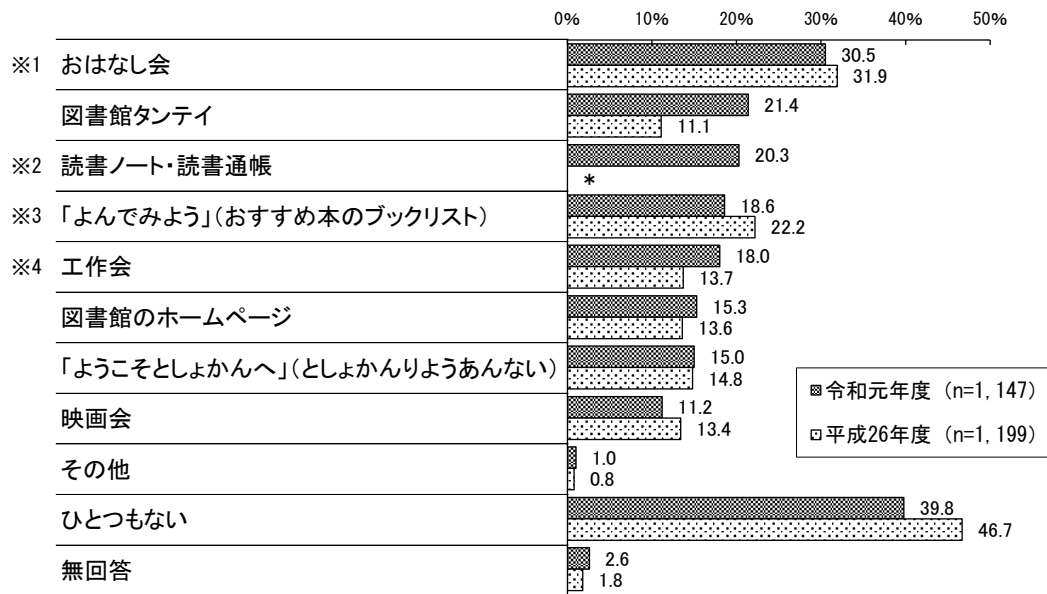
地域の図書館の参加経験行事・認知行事をたずねたところ、「おはなし会」(30.5%)が約3割と最も多く、次いで「図書館タンテイ」(21.4%)、「読書ノート・読書通帳」(20.3%)、「「よんでみよう」(おすすめ本のブックリスト)」(18.6%)、「工作会」(18.0%)の順となっている。一方、「ひとつもない」(39.8%)は約4割となっている。

《 地域の図書館の参加経験行事・認知行事—学年別— 》



学年別でみると、2年生は多い順に「おはなし会」(36.1%)、「ひとつもない」(35.2%)、「図書館タンテイ」(22.1%)、「工作会」(22.0%)となっている。5年生は多い順に「ひとつもない」(44.3%)、「おはなし会」(25.2%)、「読書ノート・読書通帳」(21.5%)、「図書館タンテイ」(20.6%)となっている。

《 地域の図書館の参加経験行事・認知行事一経年比較 》



※図中「*」:平成26年度は非聴取

前回調査（平成26年度）と比較すると、「図書館タンテイ」が10.3ポイント、「工作会」が4.3ポイント増加している。一方、「「よんでみよう」（おすすめ本のブックリスト）」は3.6ポイント減少している。また、「ひとつもない」は6.9ポイント減少している。

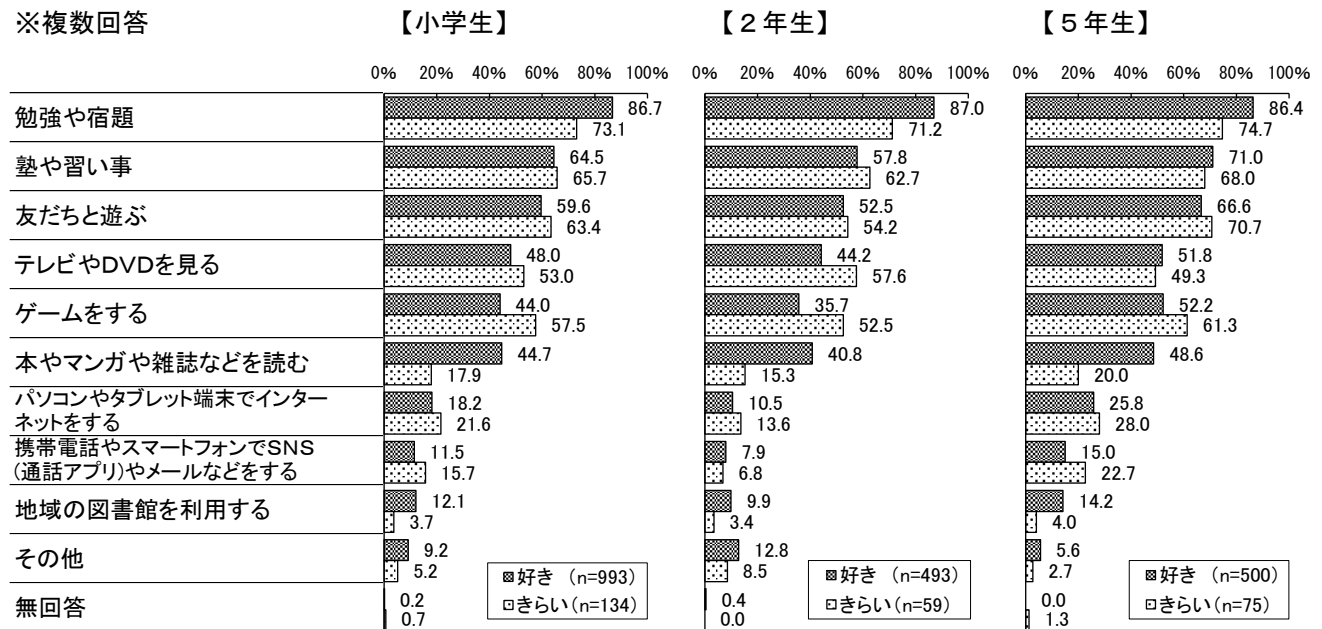
5 相関関係 (クロス集計)

(1) 読書の嗜好別

※「好き」＝「すき」＋「どちらかといえばすき」の計、「きらい」＝「どちらかといえばきらい」＋「きらい」の計

問2：学校が終わってからの行動

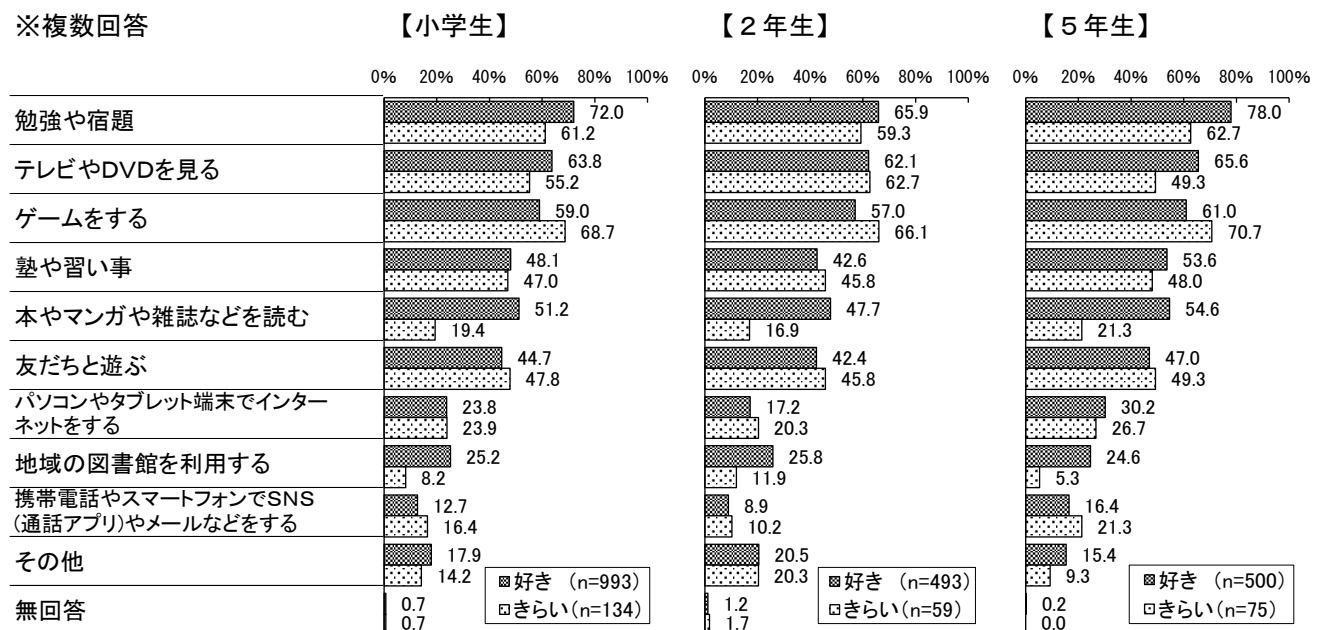
※複数回答



学校が終わってからの行動を読書の嗜好別でみると、読書を好きと回答した児童はきらいと回答した児童より「勉強や宿題」、「本やマンガや雑誌などを読む」、「地域の図書館を利用する」が多く、きらいと回答した児童は好きと回答した児童より「ゲームをする」が多くなっている。

問3：学校がない日の行動

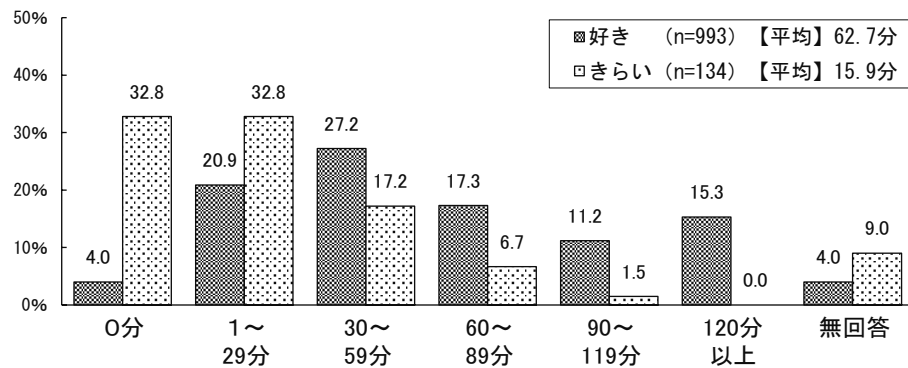
※複数回答



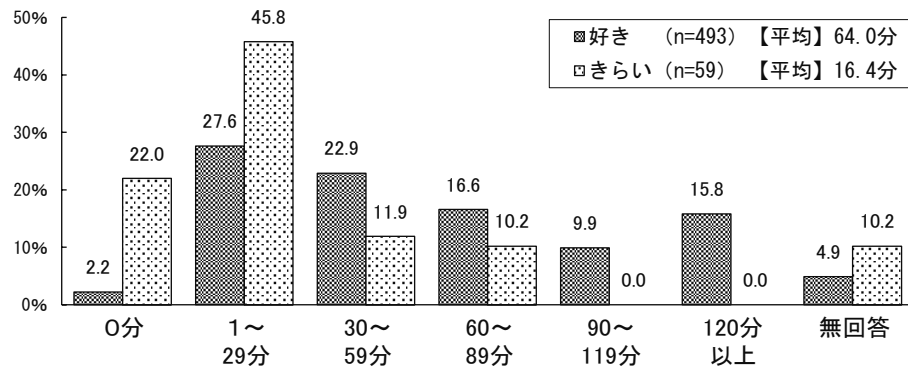
学校がない日の行動を読書の嗜好別でみると、読書を好きと回答した児童はきらいと回答した児童より「勉強や宿題」、「本やマンガや雑誌などを読む」、「地域の図書館を利用する」が多く、きらいと回答した児童は好きと回答した児童より「ゲームをする」が多く、学校がある日と同様の傾向となっている。

問5：1日の読書時間

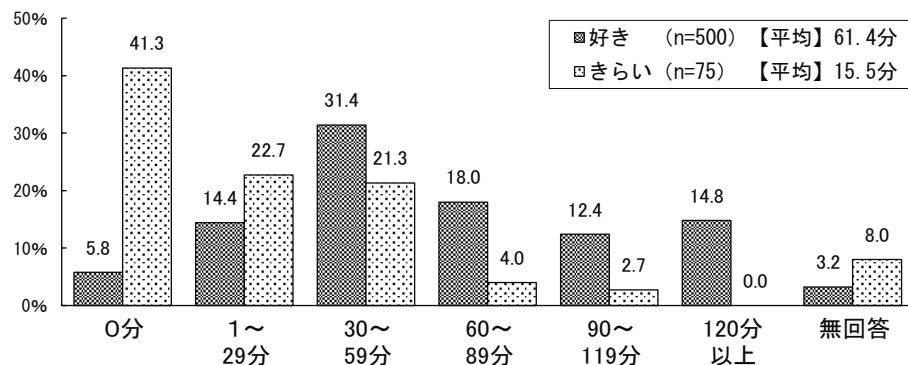
[小学生]



[2年生]



[5年生]

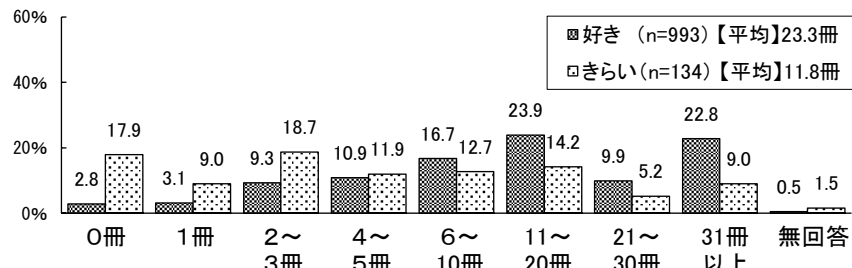


1日の読書時間を読書の嗜好別でみると、小学生全体で読書がきらいと回答した児童は「0分」(32.8%)が3割を超えている。平均時間は好きと回答した児童が62.7分、きらいと回答した児童は15.9分となっている。2年生は読書がきらいと回答した児童は「0分」(22.0%)が2割台前半となっている。平均時間は好きと回答した児童が64.0分、きらいと回答した児童が16.4分となっている。5年生は読書がきらいと回答した児童は「0分」(41.3%)が4割を超えている。平均時間は好きと回答した児童が61.4分、きらいと回答した児童が15.5分となっている。

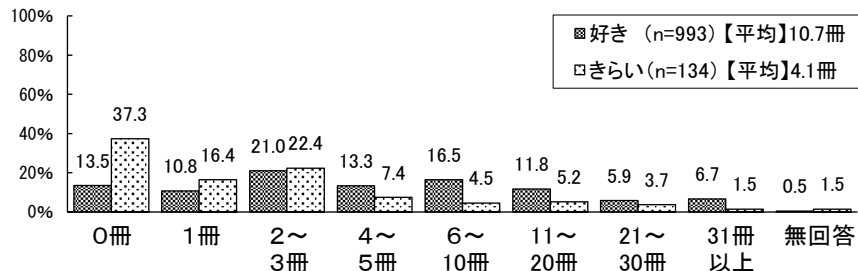
問6：1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

【紙の本】

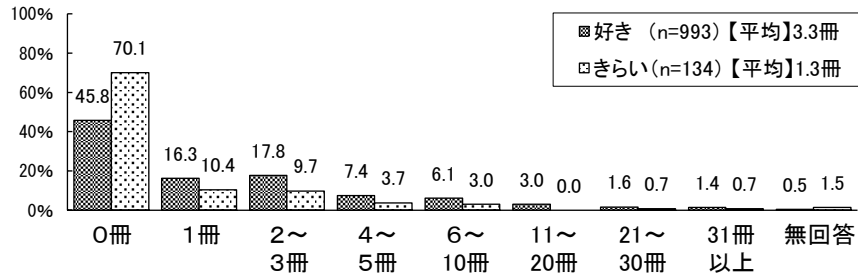
<合計>



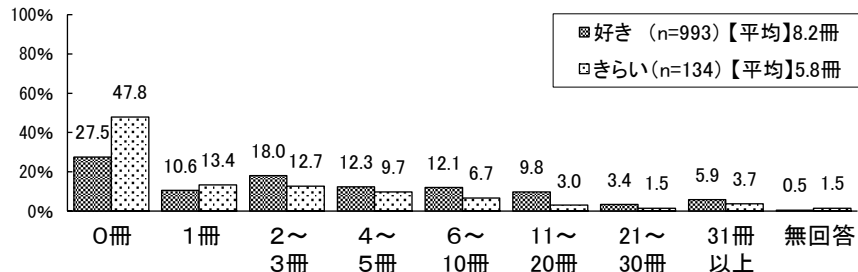
①物語・絵本



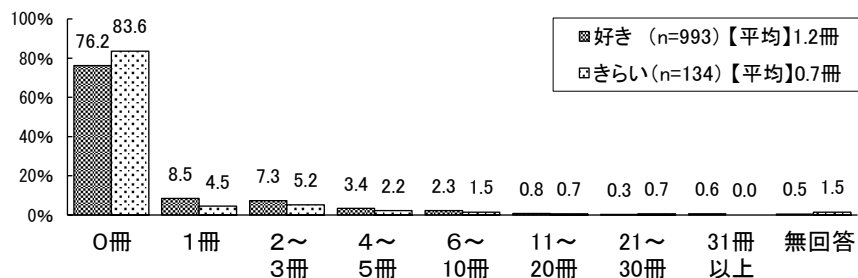
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

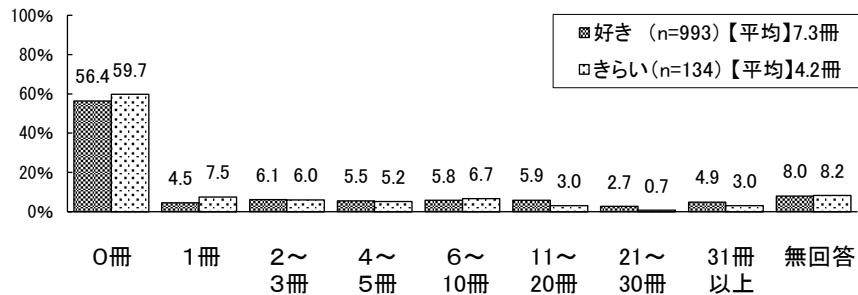


紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、合計は読書が好きと回答した児童（23.3冊）は、きらいと回答した児童（11.8冊）より11.5冊多くなっている。①物語・絵本は読書が好きと回答した児童（10.7冊）はきらいと回答した児童（4.1冊）より6.6冊多く、②学習参考書・図鑑は読書が好きと回答した児童（3.3冊）はきらいと回答した児童（1.3冊）より2.0冊多く、③マンガ・コミックは読書が好きと回答した児童（8.2冊）はきらいと回答した児童（5.8冊）より2.4冊多くなっている。また、合計「0冊」（不読率）と回答した児童を読書の嗜好別でみると、好き2.8%、きらい17.9%で、15.1ポイント差がある。

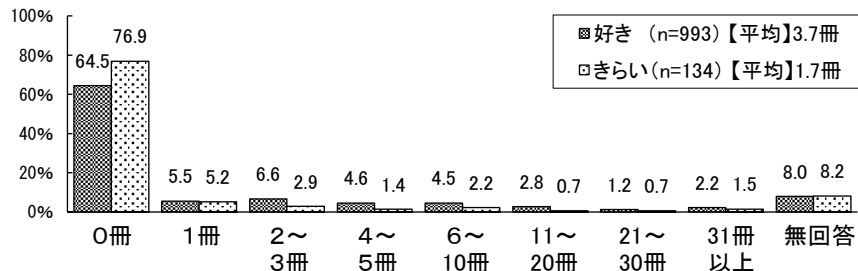
問6：1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

【電子書籍】

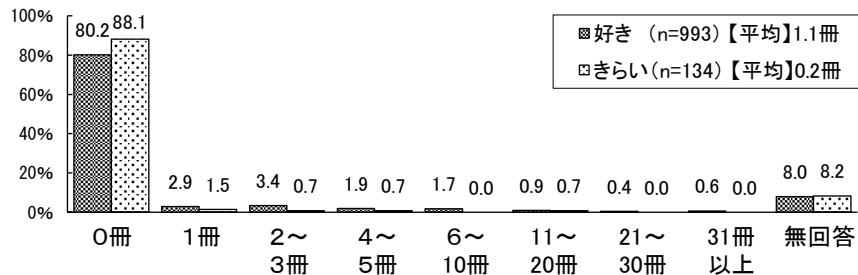
<合計>



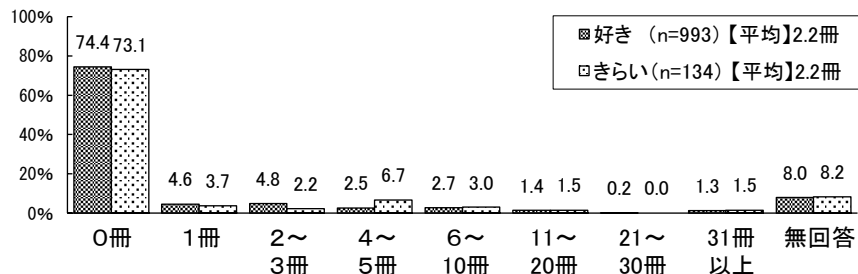
①物語・絵本



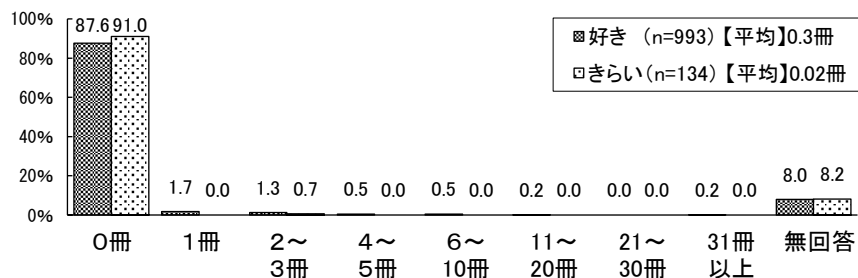
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



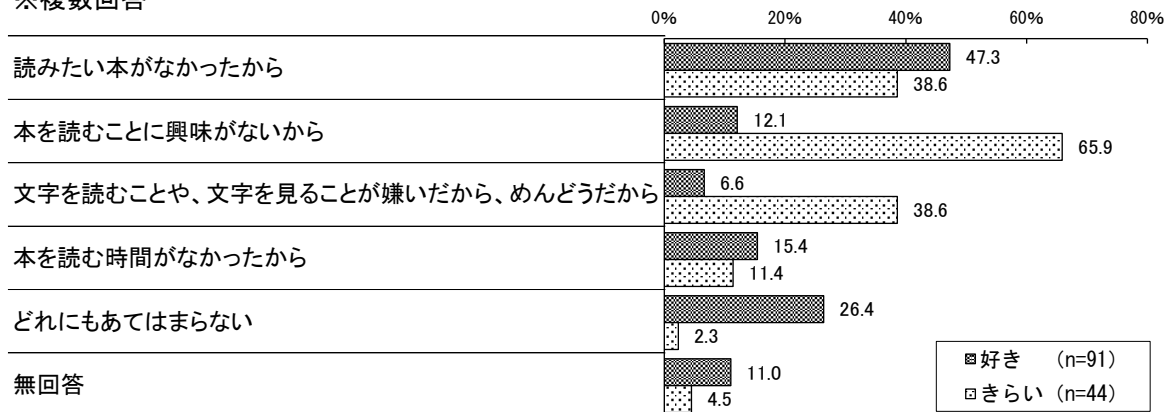
④雑誌



電子書籍の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、合計は読書が好きと回答した児童(7.3冊)はきらいと回答した児童(4.2冊)より3.1冊多くなっている。①物語・絵本は読書が好きと回答した児童(3.7冊)はきらいと回答した児童(1.7冊)より2.0冊多くなっている。

問7：本（「物語・絵本」）を読まない理由

※複数回答



本（「物語・絵本」）を読まない理由を読書の嗜好別でみると、読書がきらいと回答した児童は好きと回答した児童より「本を読むことに興味がないから」が53.8ポイント、「文字を読むことや、文字を見ることが嫌いだから、めんどうだから」が32.0ポイント多くなっている。また、読書が好きと回答した児童の中で「どれにもあてはまらない」と回答した児童は、読書が嫌いと回答した児童より24.1ポイント多くなっている。

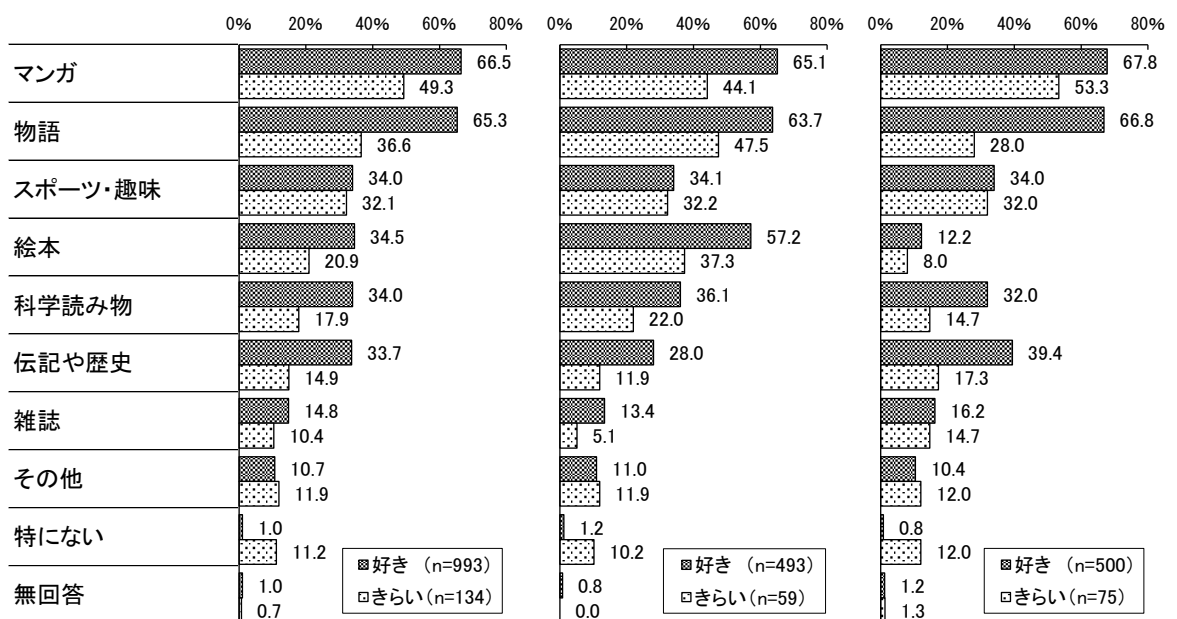
問8：好きな本の分野・ジャンル

※複数回答

【小学生】

【2年生】

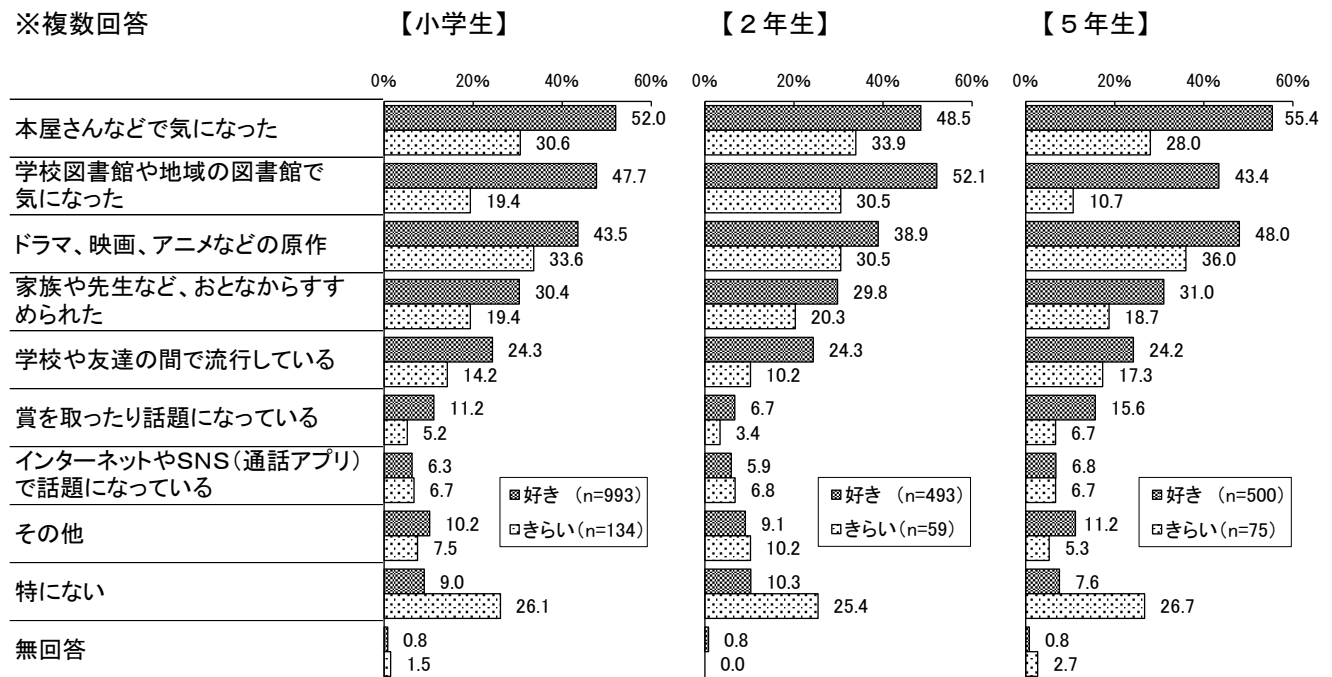
【5年生】



好きな本の分野・ジャンルを読書の嗜好別でみると、小学生全体で読書が好きと回答した児童は多い順に「マンガ」（66.5%）、「物語」（65.3%）、「絵本」（34.5%）となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「マンガ」（49.3%）、「物語」（36.6%）、「スポーツ・趣味」（32.1%）となっている。また、読書が好きと回答した児童はきらいと回答した児童に比べて好きな本のジャンルが分散している傾向となっている。2年生は読書が好きと回答した児童は多い順に「マンガ」（65.1%）、「物語」（63.7%）、「絵本」（57.2%）となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「物語」（47.5%）、「マンガ」（44.1%）、「絵本」（37.3%）となっている。5年生は読書が好きと回答した児童は多い順に「マンガ」（67.8%）、「物語」（66.8%）、「伝記や歴史」（39.4%）となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「マンガ」（53.3%）、「スポーツ・趣味」（32.0%）、「物語」（28.0%）となっている。

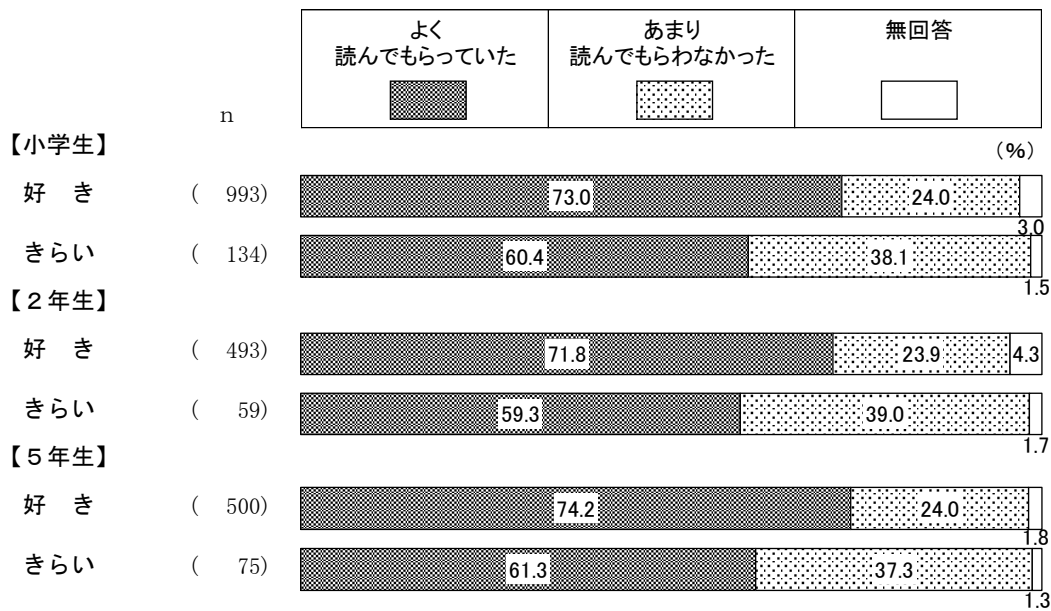
問9：本を読んでみようと思うきっかけ

※複数回答



本を読んでみようと思うきっかけを読書の嗜好別でみると、小学生全体で読書が好きと回答した児童は多い順に「本屋さんなどで気になった」(52.0%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」(47.7%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(43.5%)となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(33.6%)、「本屋さんなどで気になった」(30.6%)、「特にない」(26.1%)となっている。2年生は読書が好きと回答した児童は多い順に「学校図書館や地域の図書館で気になった」(52.1%)、「本屋さんなどで気になった」(48.5%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(38.9%)となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「本屋さんなどで気になった」(33.9%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」と「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(ともに30.5%)となっている。5年生は読書が好きと回答した児童は多い順に「本屋さんなどで気になった」(55.4%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(48.0%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」(43.4%)となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(36.0%)、「本屋さんなどで気になった」(28.0%)、「特にない」(26.7%)となっている。

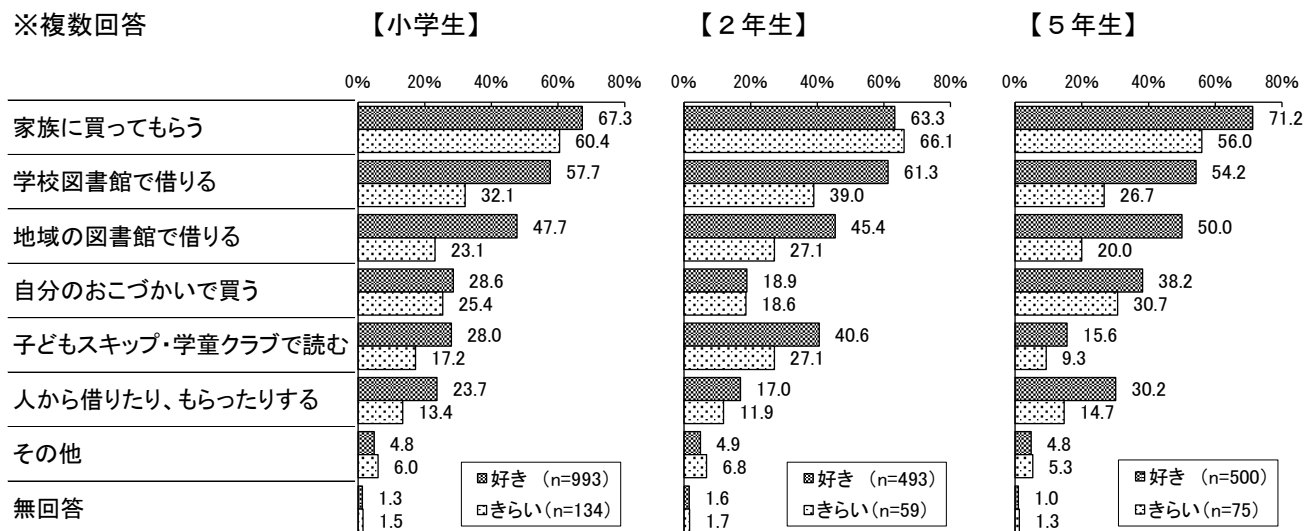
問10：小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験



小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験を読書の嗜好別でみると、「よく読んでもらっていた」は読書が好きと回答した児童で7割を超えており、読書がきらいと回答した児童では約6割となっている。

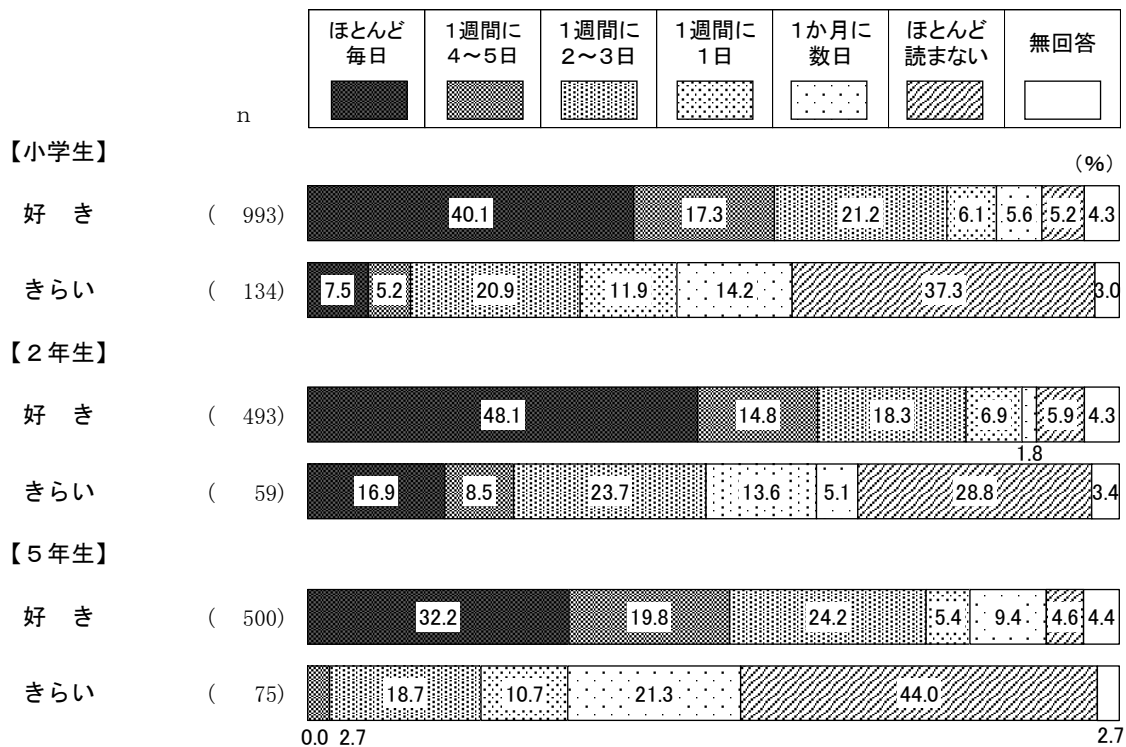
問11：読みたい本の入手方法

※複数回答



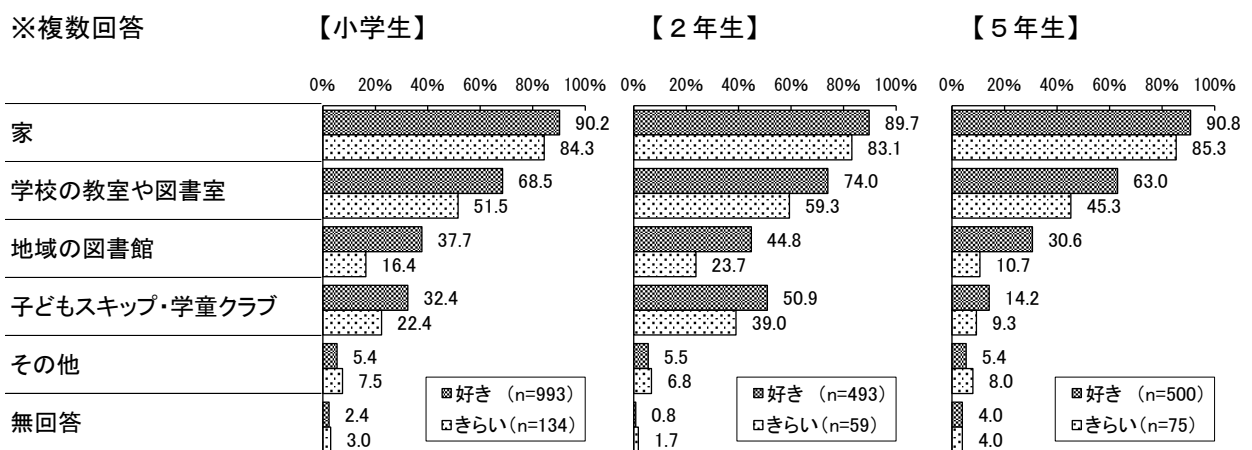
読みたい本の入手方法を読書の嗜好別でみると、小学生全体で読書が好きと回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」(67.3%)、「学校図書館で借りる」(57.7%)、「地域の図書館で借りる」(47.7%)となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」(60.4%)、「学校図書館で借りる」(32.1%)、「自分のおこづかいで買う」(25.4%)となっている。2年生は読書が好きと回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」(63.3%)、「学校図書館で借りる」(61.3%)、「地域の図書館で借りる」(45.4%)となっており、読書がきらいと回答した児童は好きと回答した児童と同順で「家族に買ってもらう」(66.1%)、「学校図書館で借りる」(39.0%)、「地域の図書館で借りる」と「子どもスキップ・学童クラブで読む」(ともに27.1%)となっている。5年生は読書が好きと回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」(71.2%)、「学校図書館で借りる」(54.2%)、「地域の図書館で借りる」(50.0%)となっており、読書がきらいと回答した児童は「家族に買ってもらう」(56.0%)、「自分のおこづかいで買う」(30.7%)、「学校図書館で借りる」(26.7%)となっている。

問12：読書頻度



読書頻度を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した児童は「ほとんど毎日」が小学生全体（40.1%）で約4割、2年生（48.1%）で5割近く、5年生（32.2%）で3割台前半となっている。一方、読書がきらいと回答した児童は「ほとんど読まない」が小学生全体（37.3%）で4割近く、2年生（28.8%）で3割近く、5年生（44.0%）で4割台半ばとなっている。

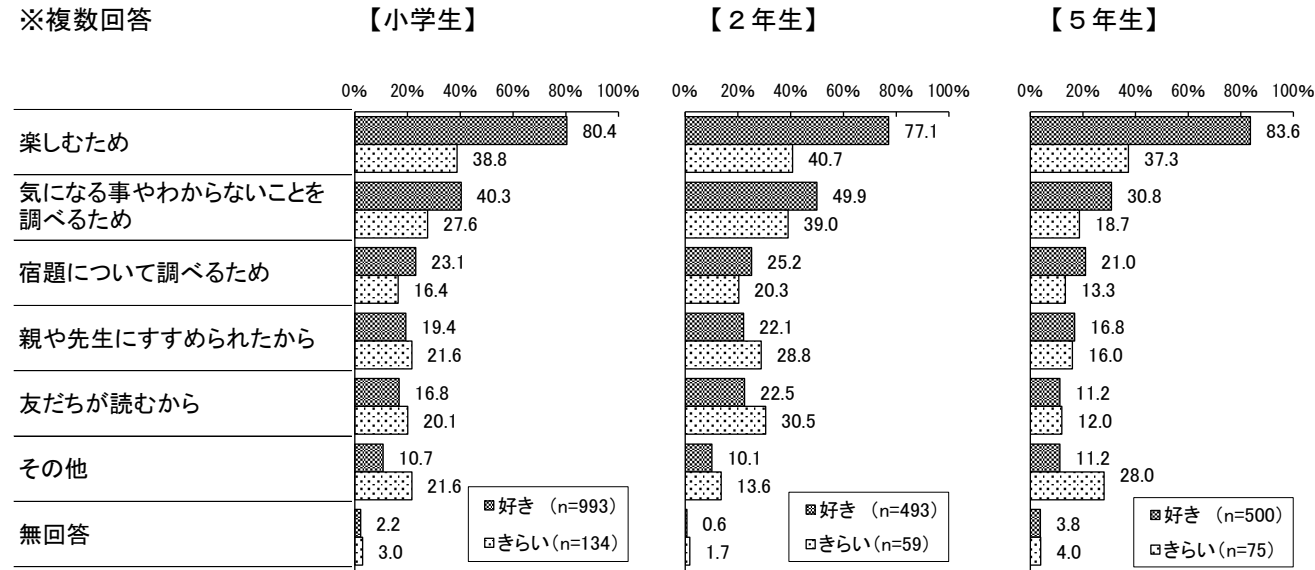
問13：読書をする場所



読書をする場所を読書の嗜好別でみると、小学生全体で読書が好きと回答した児童は多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「地域の図書館」となっており、読書がきらいと回答した児童は多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「子どもスキップ・学童クラブ」となっている。2年生は読書が好きと回答した児童、きらいと回答した児童ともに多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「子どもスキップ・学童クラブ」となっている。5年生は読書が好きと回答した児童、きらいと回答した児童ともに多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「地域の図書館」の順に多くなっている。

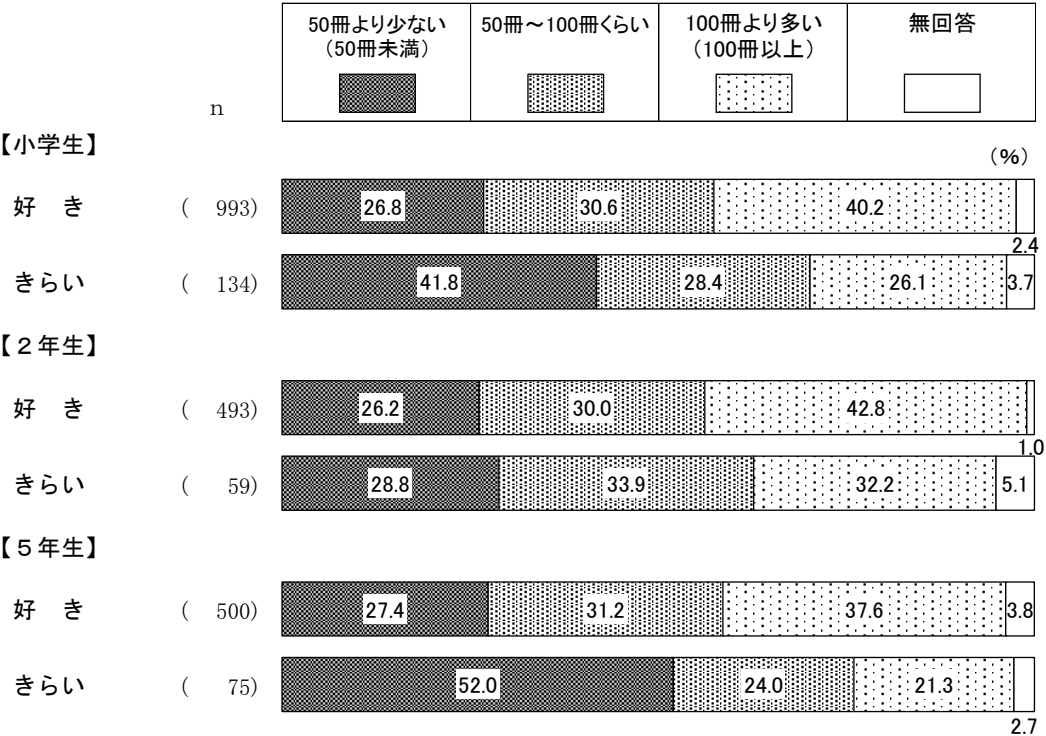
問14：読書の理由

※複数回答



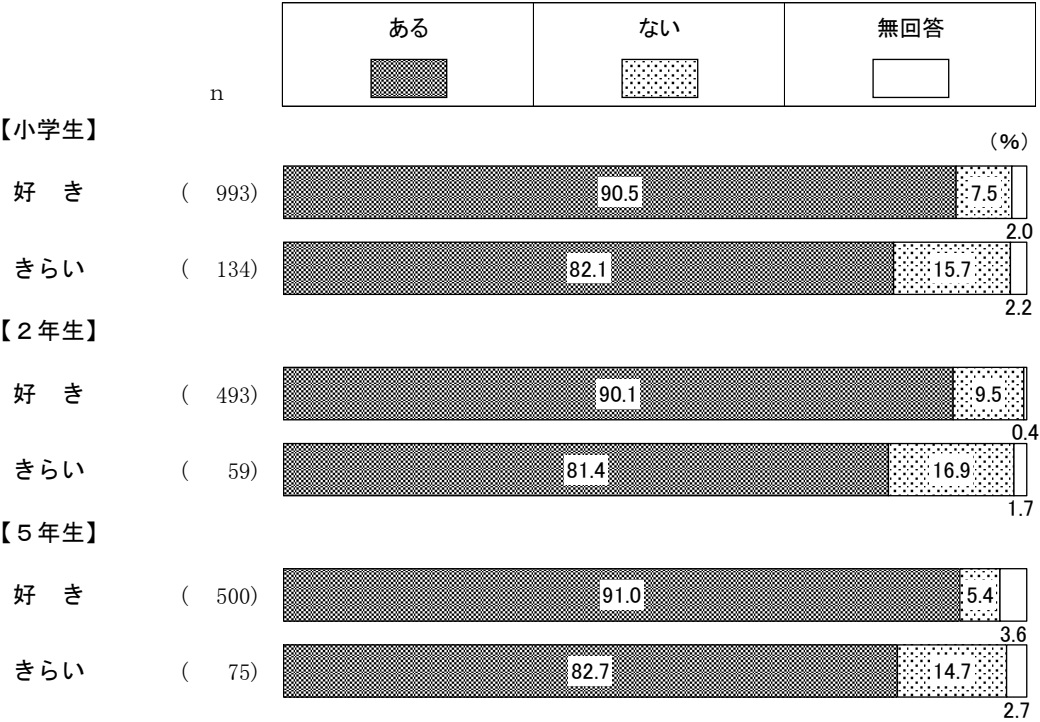
読書の理由を読書の嗜好別でみると、「楽しむため」は読書が好きと回答した児童はきらいと回答した児童より小学生全体で41.6ポイント、2年生で36.4ポイント、5年生で46.3ポイント多くなっている。一方、「親や先生にすすめられたから」は2年生で、「友だちが読むから」は2年生、5年生ともに読書がきらいと回答した児童のほうが多くなっている。

問15：家庭内の本の冊数



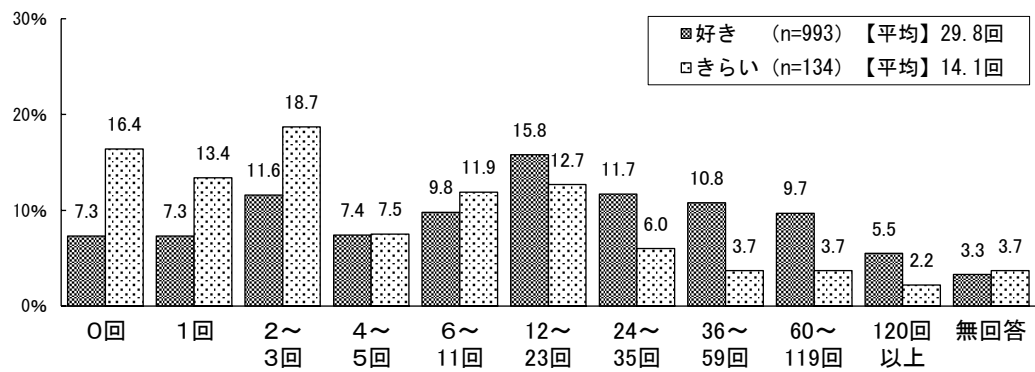
家庭内の本の冊数を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した児童はきらいと回答した児童より「100冊より多い (100冊以上)」が多くなっている。一方、読書がきらいと回答した児童は好きと回答した児童より「50冊より少ない (50冊未満)」が多くなっている。また、読書の嗜好別で2年生と5年生を比較すると、5年生の差が大きくなっている。

問16：地域の図書館の利用経験



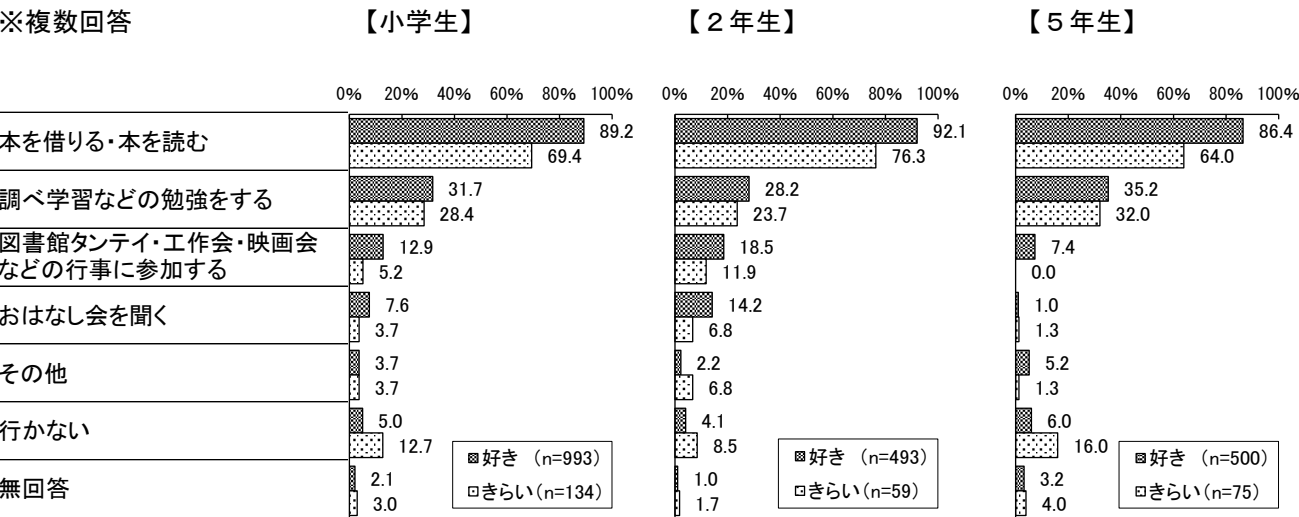
地域の図書館の利用経験を読書の嗜好別でみると、「ある」は読書が好きと回答した児童は約9割、きらいと回答した児童は8割台となっている。

問17：地域の図書館の利用回数（１年間）



地域の図書館の利用回数（１年間）を読書の嗜好別でみると、平均は読書が好きと回答した児童（29.8回）は好き嫌いと回答した児童（14.1回）の約2倍となっており、「0回」は読書が好きと回答した児童（7.3%）は好き嫌いと回答した児童（16.4%）の約半分の割合となっている。

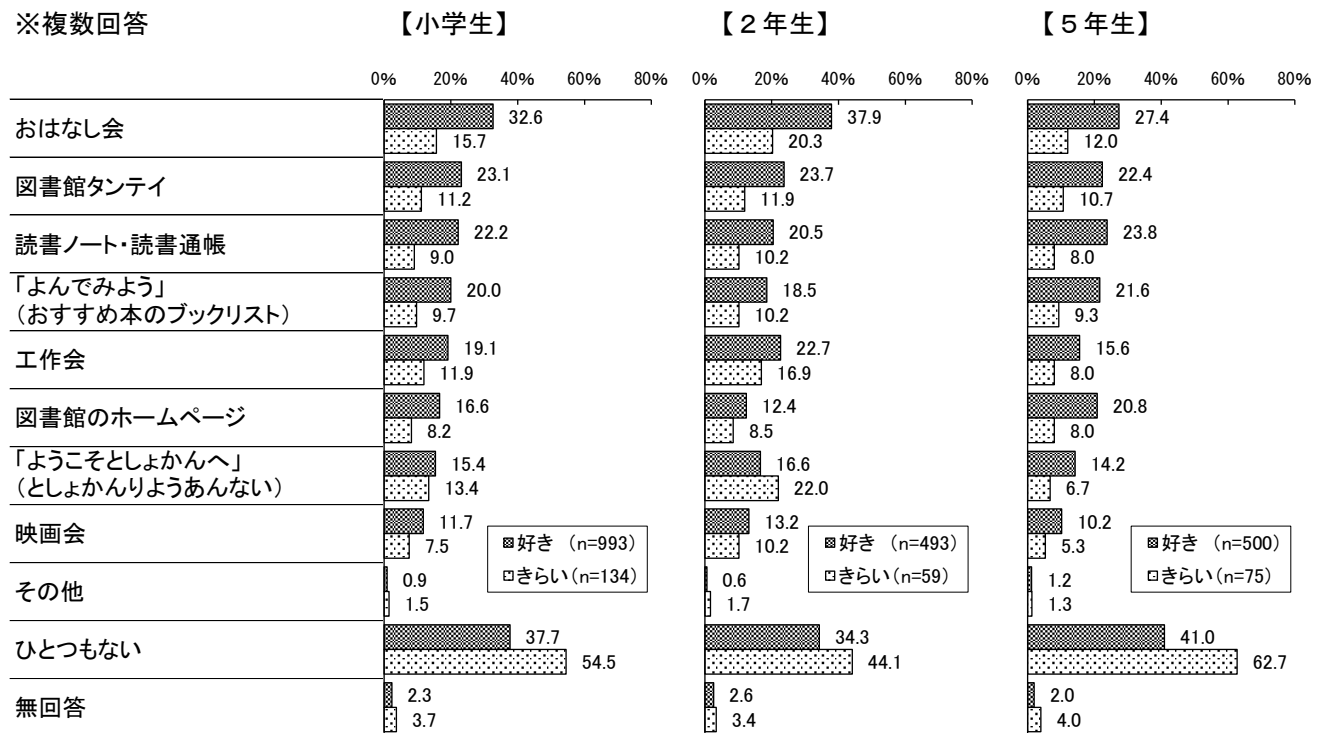
問18：地域の図書館の利用目的



地域の図書館の利用目的を読書の嗜好別でみると、「本を借りる・本を読む」は読書が好きと回答した児童で多くなっている。「調べ学習などの勉強をする」は読書の嗜好による差が小さくなっている。

問19：地域の図書館の参加経験行事・認知行事

※複数回答



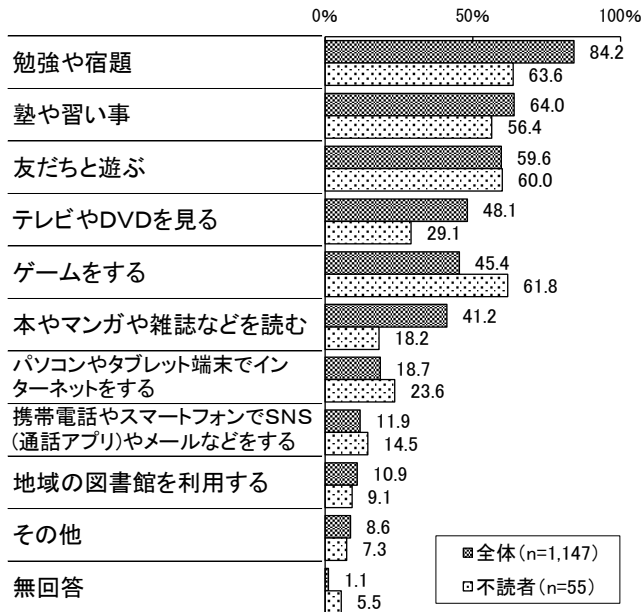
地域の図書館の参加経験行事・認知行事を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した児童はきらいと回答した児童より全般に回答の割合が多くなっており、「おはなし会」、「読書ノート・読書通帳」で差が大きくなっている。一方、きらいと回答した児童は好きと回答した児童より「ひとつもない」が多くなっている。

(2) 不読者(「紙の本の合計0冊」回答者)

問2：学校が終わってからの行動

※複数回答

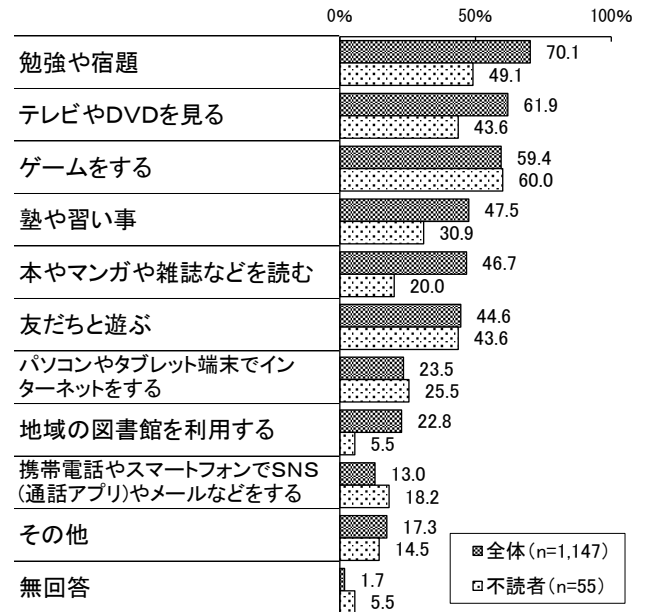
【小学生】



問3：学校がない日の行動

※複数回答

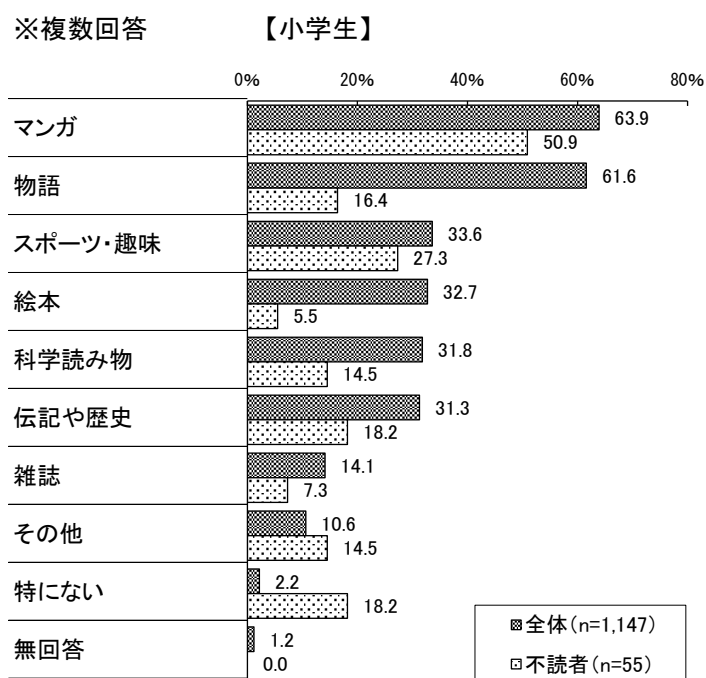
【小学生】



学校が終わってからの行動について、不読者は全体と比べて「ゲームをする」(61.8%)が多い。一方、「勉強や宿題」(63.6%)、「テレビやDVDをみる」(29.1%)などは少なくなっている。「友だちと遊ぶ」、「パソコンやタブレット端末でインターネットをする」などは不読者と全体との差が小さい。

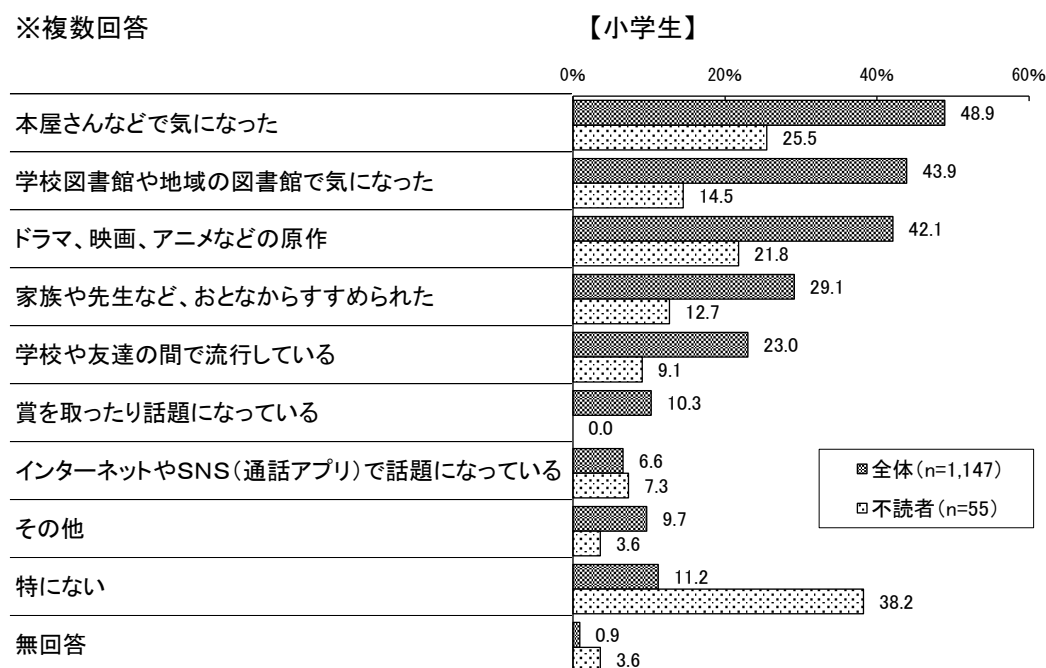
学校がない日の行動について、不読者が全体と変わらないのは「ゲームをする」、「友だちと遊ぶ」で、「勉強や宿題」(49.1%)、「テレビやDVDをみる」(30.9%)、「塾や習い事」(30.9%)、「地域の図書館を利用する」(5.5%)などは全体と比べて少ない。

問8：好きな本の分野・ジャンル



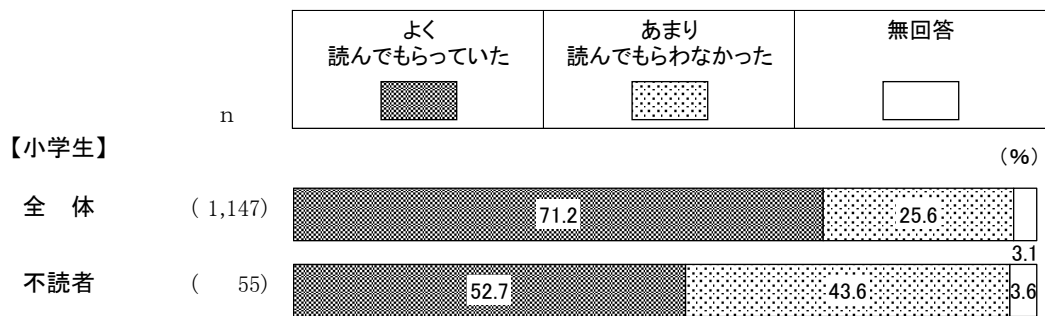
好きな本の分野・ジャンルについて、全体では多い順に「マンガ」（63.9％）、「物語」（61.6％）、「スポーツ・趣味」（33.6％）となっており、不読者は多い順に「マンガ」（50.9％）、「スポーツ・趣味」（27.3％）、「伝記や歴史」（18.2％）となっている。

問9：本を読んでもみようと思うきっかけ



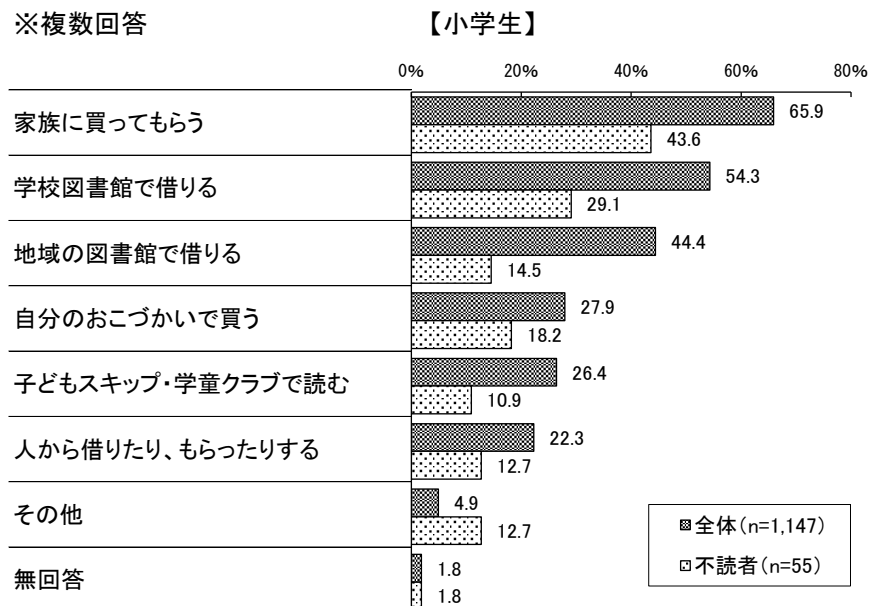
本を読んでもみようと思うきっかけについて、全体では多い順に「本屋さんなどで気になった」（48.9％）、「学校図書館や地域の図書館で気になった」（43.9％）、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」（42.1％）となっており、不読者は多い順に「特にない」（38.2％）、「本屋さんなどで気になった」（25.5％）、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」（21.8％）となっている。

問10：小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験



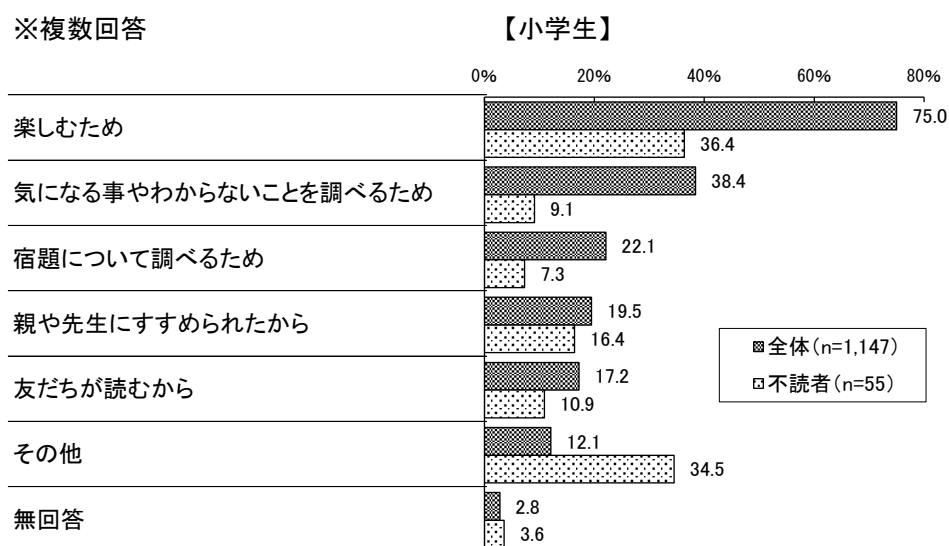
小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験について、不読者は全体と比べて「あまり読んでもらわなかった」(43.6%)が18.0ポイント多く、4割を超えている。

問11：読みたい本の入手方法



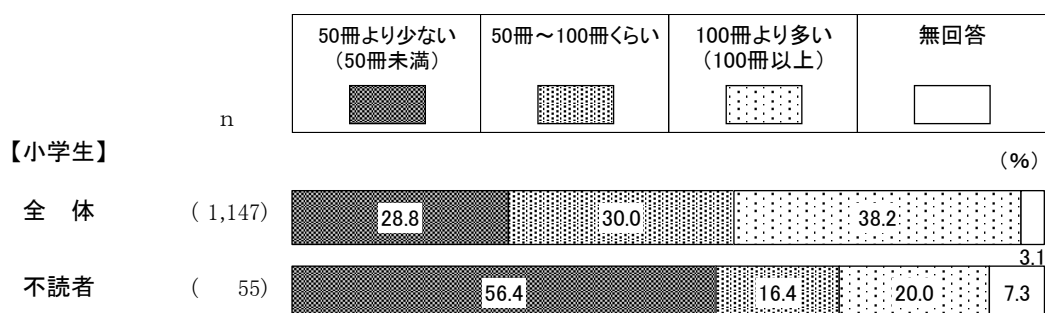
読みたい本の入手方法について、全体では多い順に「家族に買ってもらう」(65.9%)、「学校図書館で借りる」(54.3%)、「地域の図書館で借りる」(44.4%)となっており、不読者は多い順に「家族に買ってもらう」(43.6%)、「学校図書館で借りる」(29.1%)、「自分のおこづかいで買う」(18.2%)となっている。

問14：読書の理由



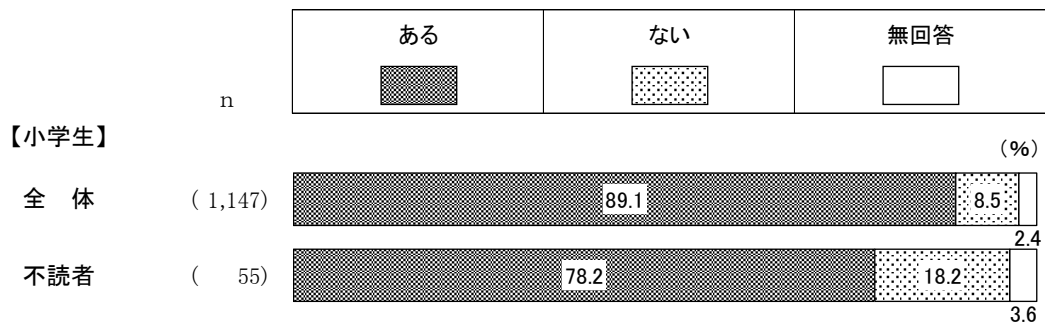
読書の理由について、全体では多い順に「楽しむため」(75.0%)、「気になる事やわからないことを調べるため」(38.4%)、「宿題について調べるため」(22.1%)となっており、不読者は多い順に「楽しむため」(36.4%)、「その他」(34.5%)、「親や先生にすすめられたから」(16.4%)となっている。

問15：家庭内の本の冊数



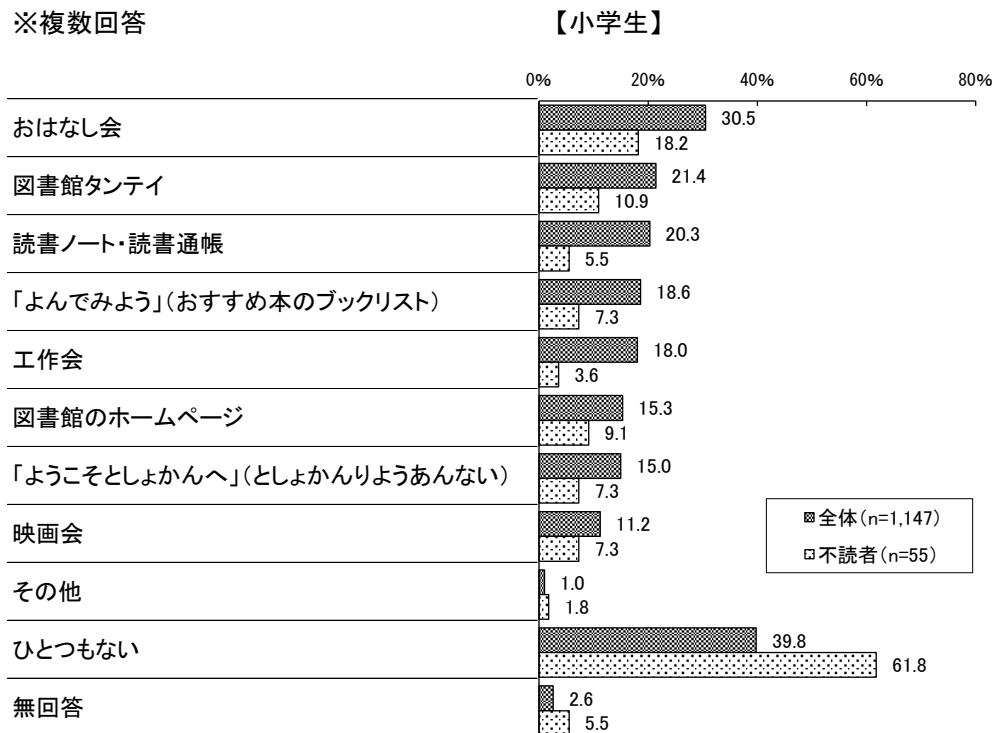
家庭内の本の冊数について、不読者は全体と比べて「50冊より少ない(50冊未満)」(56.4%)が27.6ポイント多く、5割台半ばとなっている。

問16：地域の図書館の利用経験



地域の図書館の利用経験について、「ある」は全体で約9割に対し、不読者は8割近くとなっている。

問19：地域の図書館の参加経験行事・認知行事

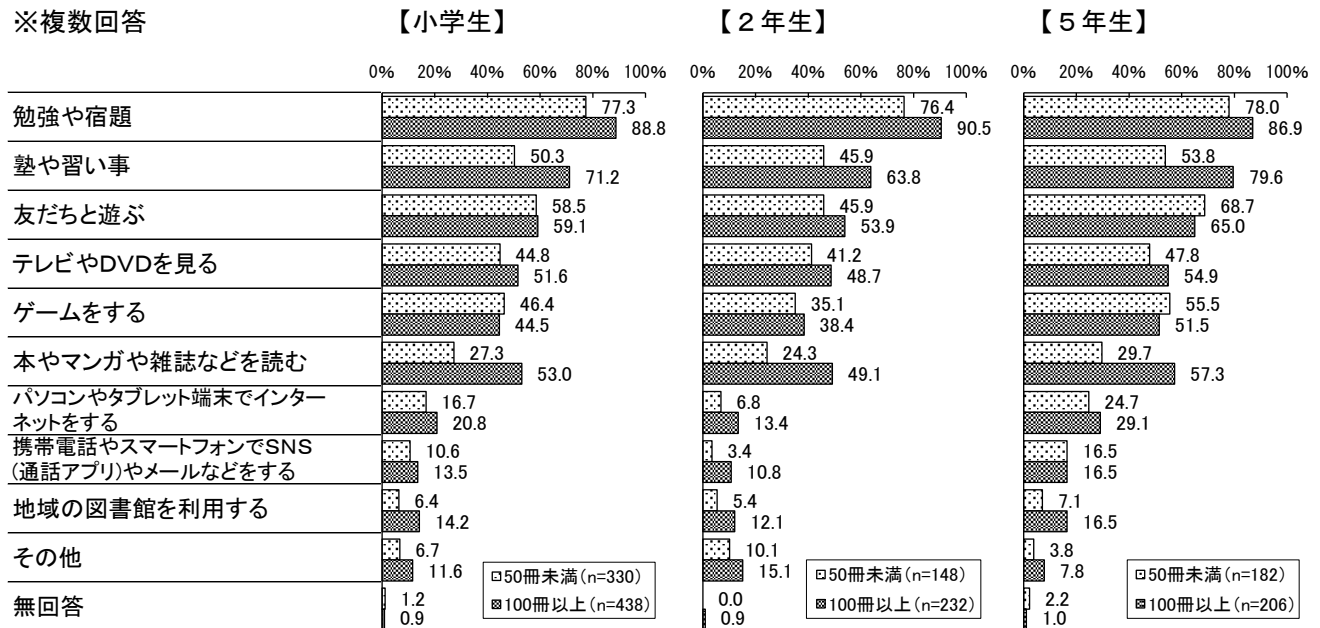


地域の図書館の参加経験行事・認知行事について、全体では多い順に「ひとつもない」、「おはなし会」、「図書館タンテイ」、「読書ノート・読書通帳」となっており、不読者は多い順に「ひとつもない」、「おはなし会」、「図書館タンテイ」、「図書館のホームページ」となっている。

(3) 家庭内の本の冊数別

問2：学校が終わってからの行動

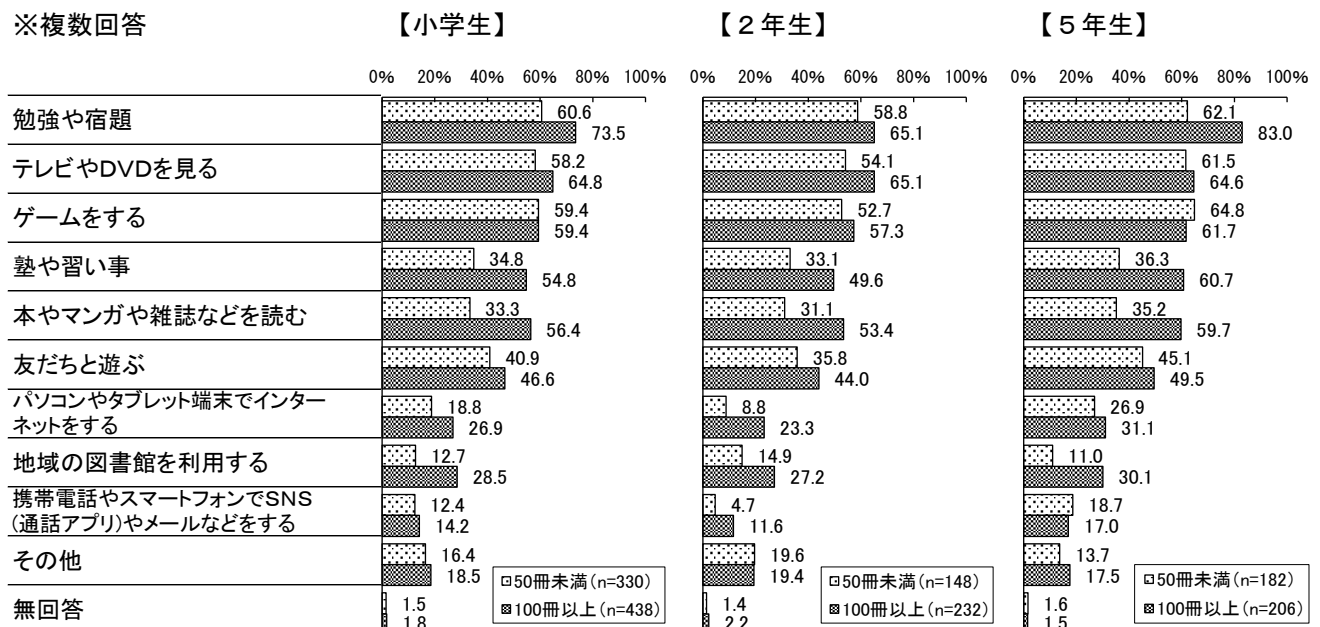
※複数回答



学校が終わってからの行動を家庭内の本の冊数別でみると、100冊以上と回答した児童は50冊未満と回答した児童より「本やマンガや雑誌などを読む」、「勉強や宿題」、「塾や習い事」が多くなっている。「友達と遊ぶ」、「ゲームをする」は差があまりみられない。

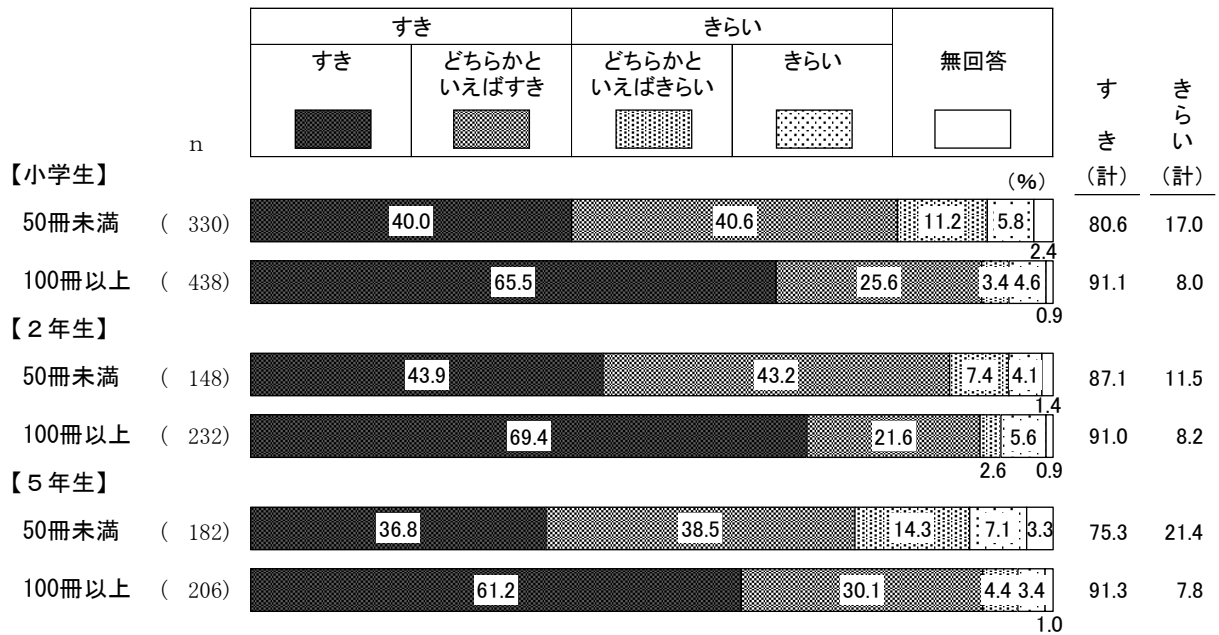
問3：学校がない日の行動

※複数回答



学校がない日の行動を家庭内の本の冊数別でみると、100冊以上と回答した児童は50冊未満と回答した児童より「本やマンガや雑誌などを読む」、「勉強や宿題」、「塾や習い事」、「地域の図書館を利用する」などは差がみられる。一方、50冊未満と回答した児童は100冊以上と回答した児童と比べて「ゲームをする」「友達と遊ぶ」などは差があまりみられない。

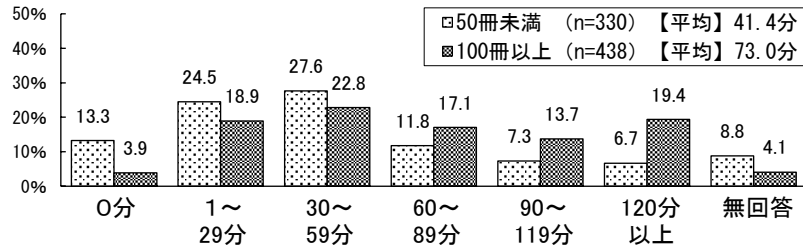
問4：読書が好きかどうか



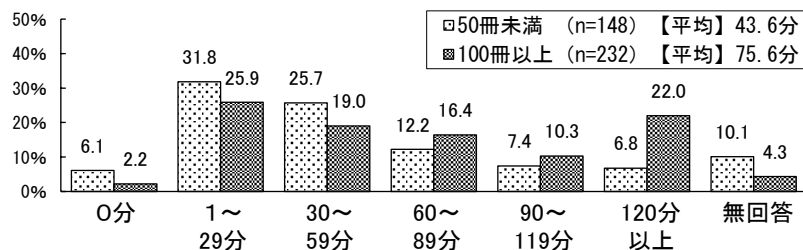
読書が好きかどうかを家庭内の本の冊数別でみると、100冊以上と回答した児童は50冊未満と回答した児童より「すき」が小学生全体で25.5ポイント、2年生で25.5ポイント、5年生で24.4ポイント多くなっている。「どちらかというはすき」を合わせた『すき』は小学生全体で10.5ポイント、2年生で3.9ポイント、5年生で16.0ポイント多くなっている。

問5：1日の読書時間

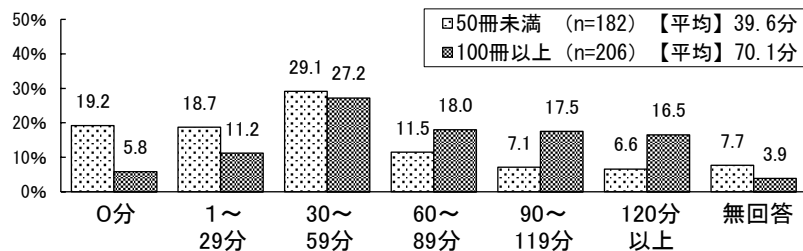
[小学生]



[2年生]



[5年生]

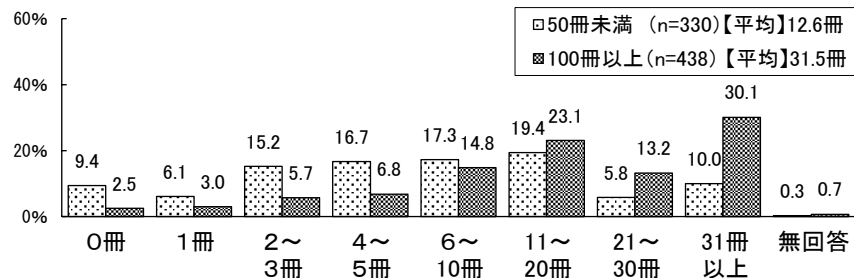


1日の読書時間を家庭内の本の冊数別でみると、50冊未満と回答した児童は100冊以上と回答した児童より「0分」が多くなっており、5年生では13.4ポイントの差がみられる。平均時間は小学生全体で50冊未満と回答した児童で41.4分、100冊以上と回答した児童で73.0分、2年生は50冊未満と回答した児童で43.6分、100冊以上と回答した児童で75.6分、5年生は50冊未満と回答した児童で39.6分、100冊以上と回答した児童で70.1分となっている。

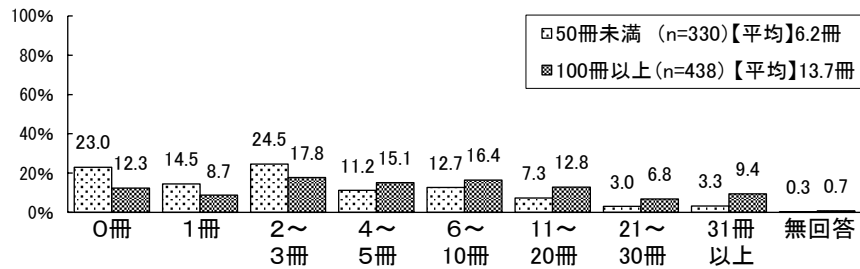
問6：1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

【紙の本】

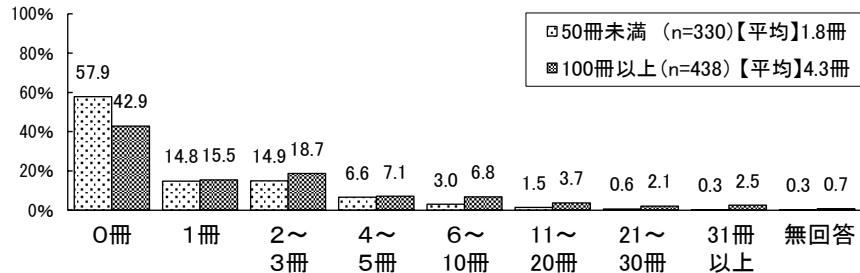
<合計>



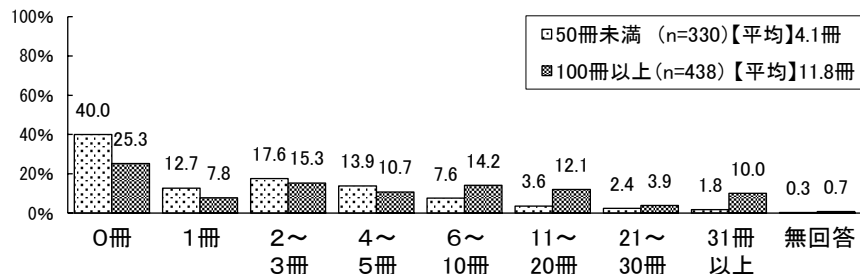
①物語・絵本



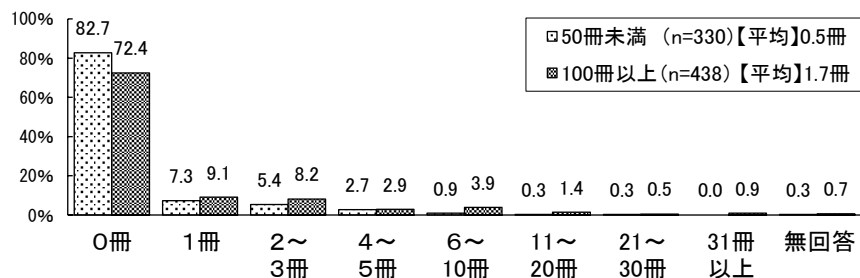
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

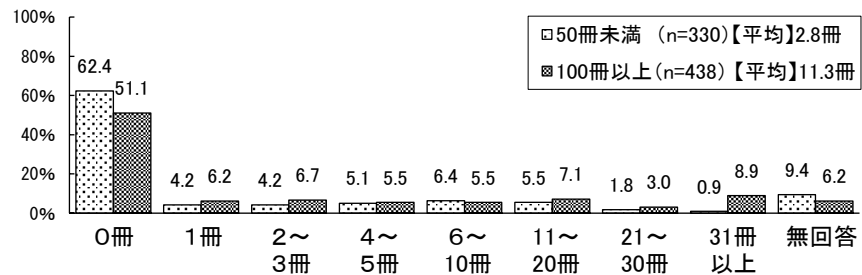


紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を家庭内の本の冊数別でみると、合計は100冊以上と回答した児童(31.5冊)は、50冊未満と回答した児童(12.6冊)より18.9冊多く、2倍以上の差がみられた。①物語・絵本は100冊以上と回答した児童(13.7冊)は50冊未満と回答した児童(6.2冊)より7.5冊多く、②学習参考書・図鑑は100冊以上と回答した児童(4.3冊)は50冊未満と回答した児童(1.8冊)より2.5冊多く、③マンガ・コミックは100冊以上と回答した児童(11.8冊)は50冊未満と回答した児童(4.1冊)より7.7冊多くなっている。

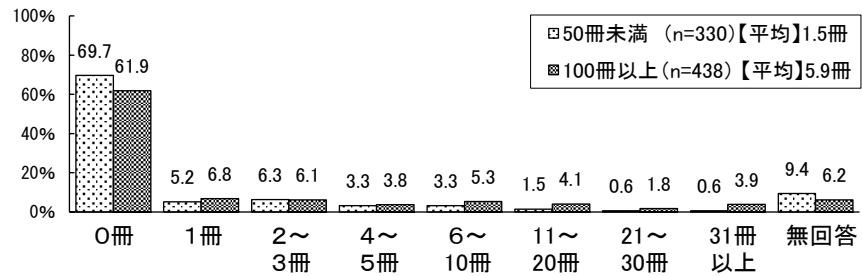
問6：1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

【電子書籍】

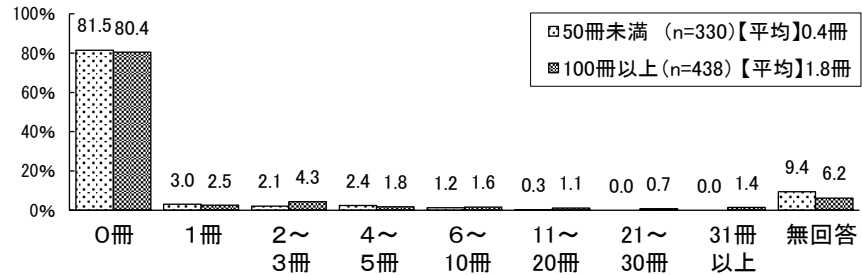
<合計>



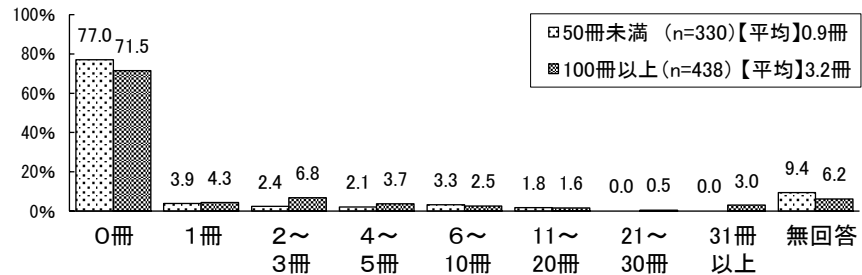
①物語・絵本



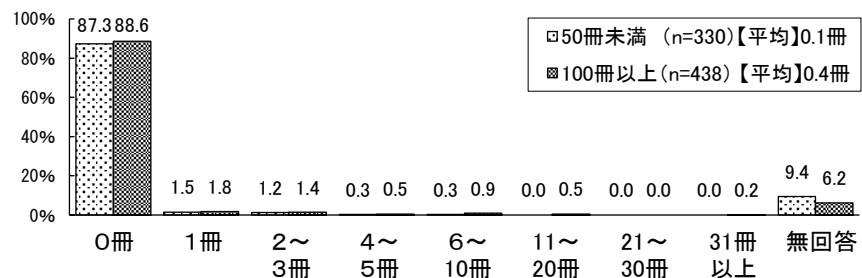
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



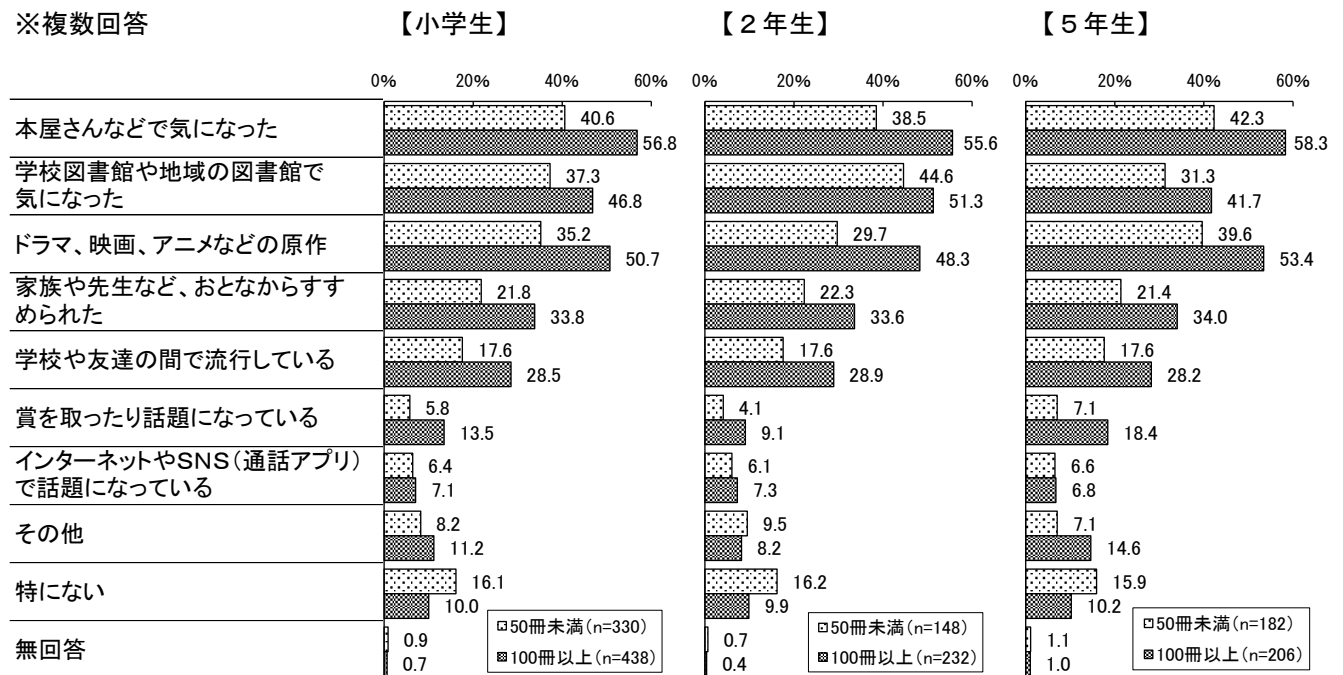
④雑誌



電子書籍の1ヵ月間平均読書冊数を家庭内の本の冊数別でみると、合計は100冊以上と回答した児童（11.3冊）は50冊未満と回答した児童（2.8冊）より8.5冊多くなっている。①物語・絵本は100冊以上と回答した児童（5.9冊）は50冊未満と回答した児童（1.5冊）より4.4冊多くなっている。

問9：本を読んでみようと思うきっかけ

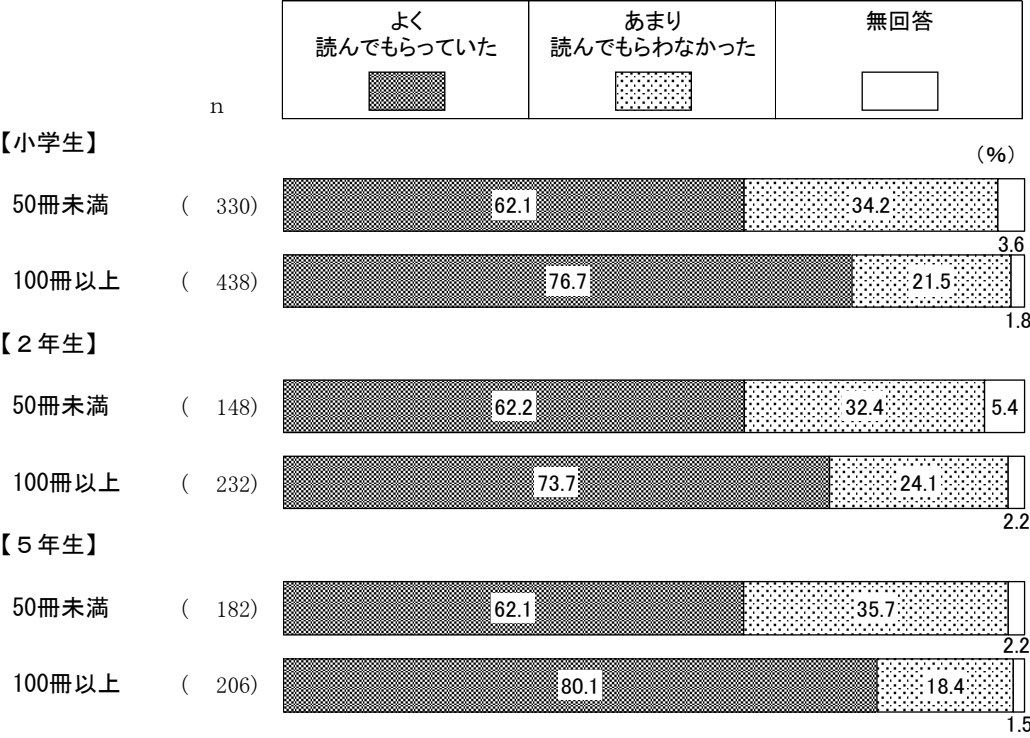
※複数回答



本を読んでみようと思うきっかけを家庭内の本の冊数別でみると、小学生全体では50冊未満と回答した児童は多い順に「本屋さんなどで気になった」、「学校図書館や地域の図書館で気になった」、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」となっており、100冊以上と回答した児童は多い順に「本屋さんなどで気になった」、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」、「学校図書館や地域の図書館で気になった」となっている。2年生は50冊未満と回答した児童は多い順に「学校図書館や地域の図書館で気になった」、「本屋さんなどで気になった」、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」となっており、100冊以上と回答した児童は多い順に「本屋さんなどで気になった」、「学校図書館や地域の図書館で気になった」、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」となっている。5年生は50冊未満と回答した児童、100冊以上と回答した児童ともに多い順に、「本屋さんなどで気になった」、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」、「学校図書館や地域の図書館で気になった」となっている。

「学校図書館や地域の図書館で気になった」は「本屋さんなどで気になった」や「ドラマ、映画、アニメなどの原作」に比べて、50冊未満と回答した児童と100冊以上と回答した児童との差が比較的小さく、家庭内の本の冊数に関わらず共通のきっかけとなっている。

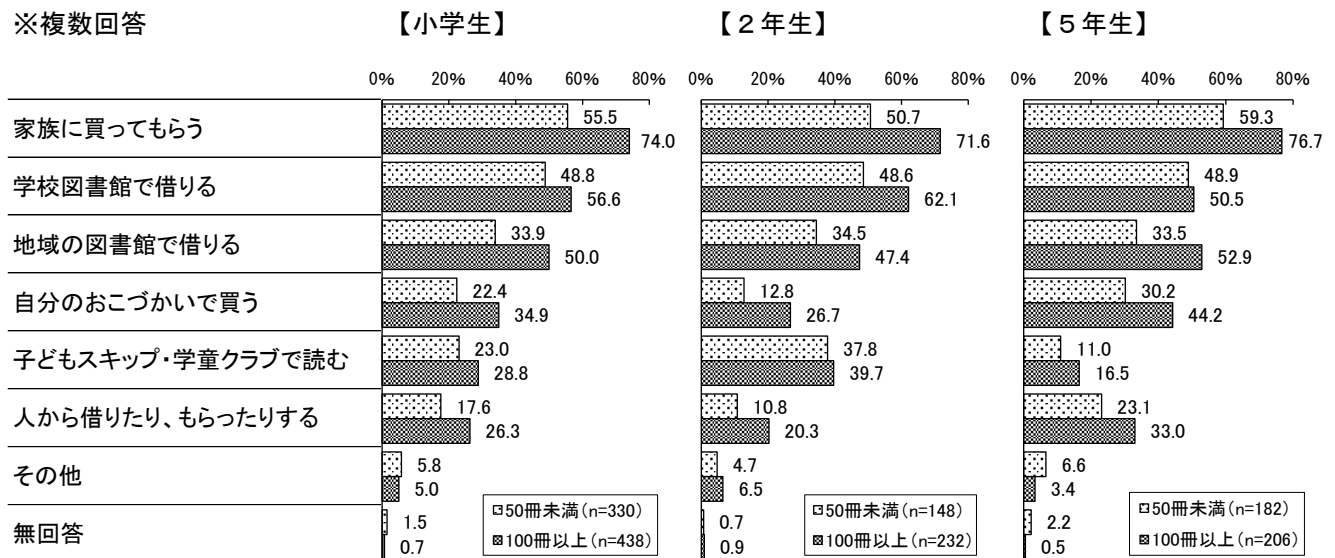
問10：小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験



小学校入学前に大人に本を読んでもらった経験を家庭内の本の冊数別でみると、「よく読んでもらっていた」は100冊以上と回答した児童で7～8割となっており、50冊未満と回答した児童では6割台前半になっている。

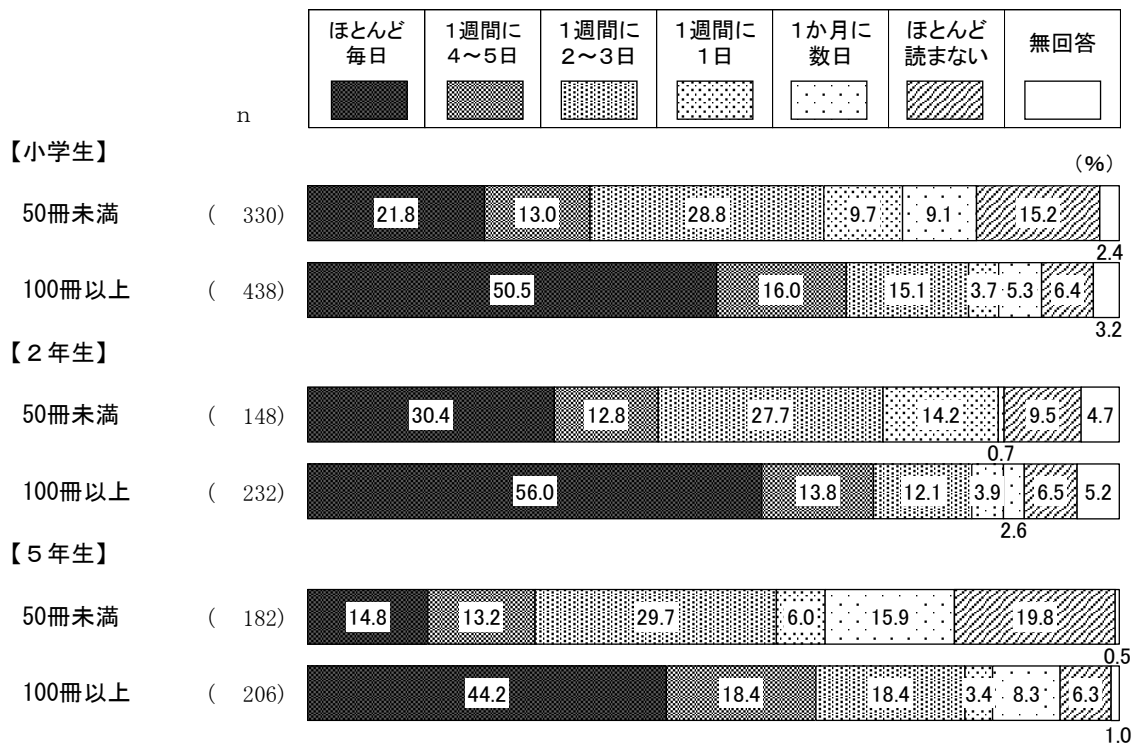
問11：読みたい本の入手方法

※複数回答



読みたい本の入手方法を家庭内の本の冊数別でみると、小学生全体では50冊未満と回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」（55.5%）、「学校図書館で借りる」（48.8%）、「地域の図書館で借りる」（33.9%）となっている。100冊以上と回答した児童は50冊未満と回答した児童と同順で「家族に買ってもらう」（74.0%）、「学校図書館で借りる」（56.6%）、「地域の図書館で借りる」（50.0%）となっている。2年生は50冊未満と回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」（50.7%）、「学校図書館で借りる」（48.6%）、「子どもスキップ・学童クラブで読む」（37.8%）となっており、100冊以上と回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」（71.6%）、「学校図書館で借りる」（62.1%）、「地域の図書館で借りる」（47.4%）となっている。5年生は50冊未満と回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」（59.3%）、「学校図書館で借りる」（48.9%）、「地域の図書館で借りる」（33.5%）となっており、100冊以上と回答した児童は多い順に「家族に買ってもらう」（76.7%）、「地域の図書館で借りる」（52.9%）、「学校図書館で借りる」（50.5%）となっている。

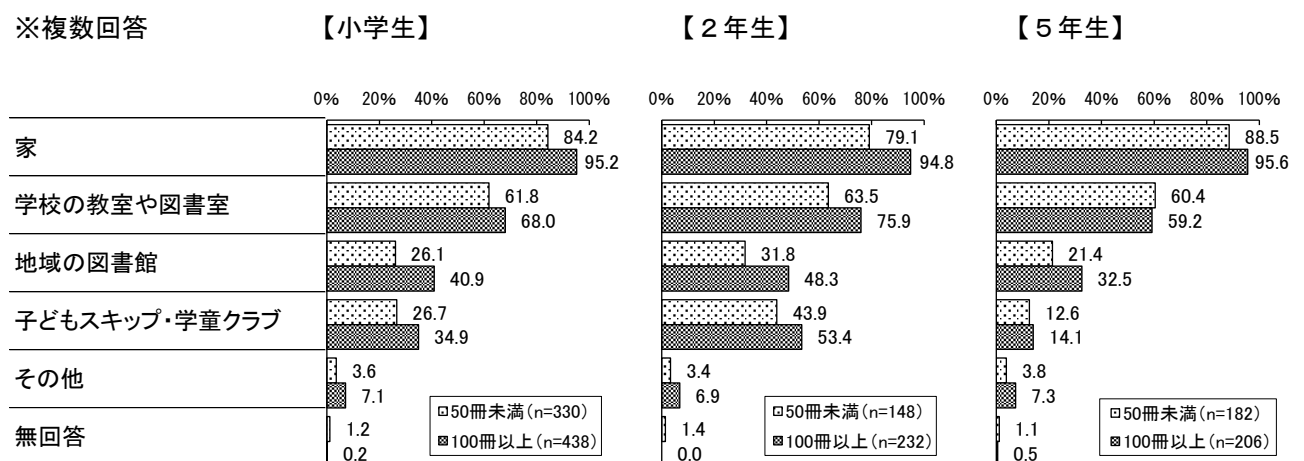
問12：読書頻度



読書頻度を家庭内の本の冊数別でみると、100冊以上と回答した児童は「ほとんど毎日」が小学生全体（50.5%）で約5割、2年生（56.0%）で5割台半ば、5年生（44.2%）で4割台半ばと最も多くなっている。一方、50冊未満と回答した児童は「1週間に2～3日」が小学生全体（28.8%）で3割近く、2年生（27.7%）で3割近く、5年生（29.7%）で約3割と最も多くなっている。

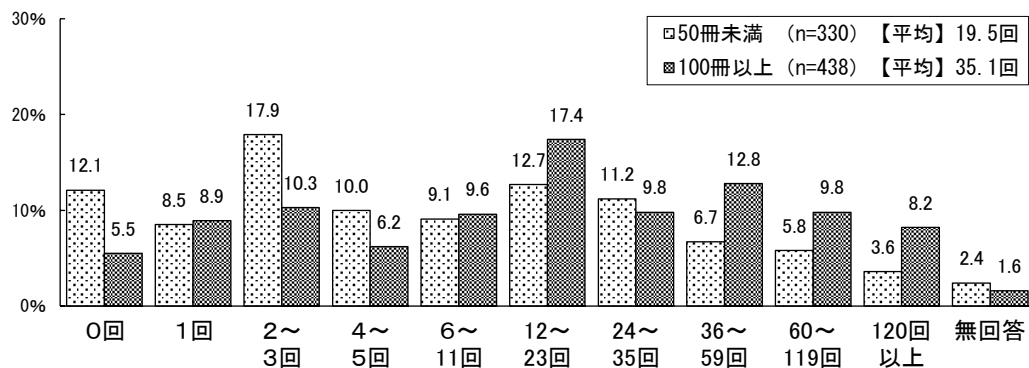
問13：読書をする場所

※複数回答



読書をする場所を家庭内の本の冊数別でみると、小学生全体では50冊未満と回答した児童、100冊以上と回答した児童ともに多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「地域の図書館」となっている。2年生は50冊未満と回答した児童、100冊以上と回答した児童ともに多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「子どもスキップ・学童クラブ」となっている。5年生は50冊未満と回答した児童、100冊以上と回答した児童ともに多い順に「家」、「学校の教室や図書室」、「地域の図書館」となっている。

問17：地域の図書館の利用回数（１年間）



地域の図書館の利用回数（１年間）を家庭内の本の冊数別でみると、平均は100冊以上と回答した児童（35.1回）は50冊未満（19.5回）と回答した児童より15.6回多くなっている。また、「0回」は50冊未満と回答した児童（12.1%）は100冊以上と回答した児童（5.5%）の約2倍となっている。

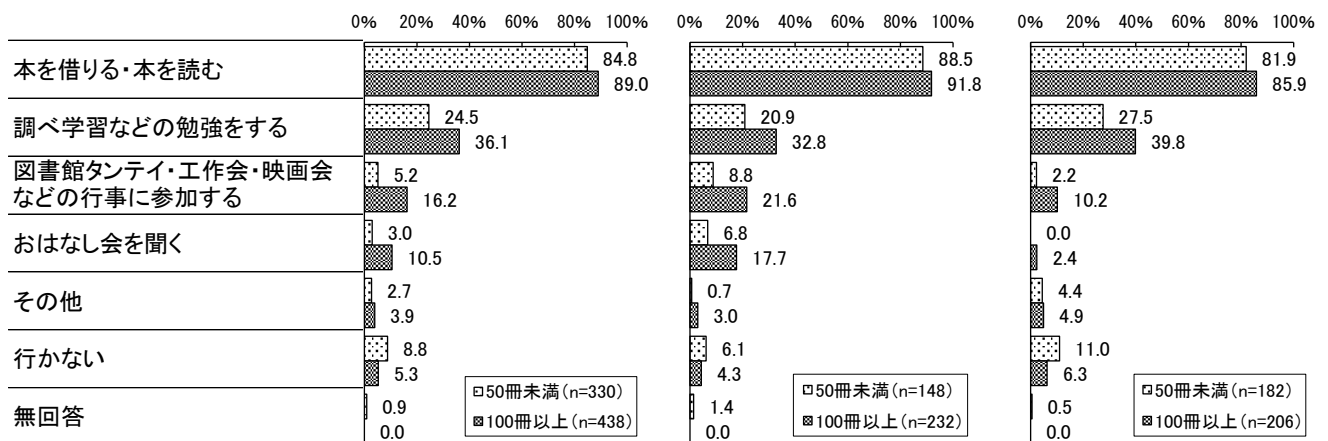
問18：地域の図書館の利用目的

※複数回答

【小学生】

【2年生】

【5年生】



地域の図書館の利用目的を家庭内の本の冊数別でみると、「調べ学習などの勉強をする」は100冊以上と回答した児童で多くなっている。

第 3 章 中学生・高校生調査

1 読書とその他の行動時間

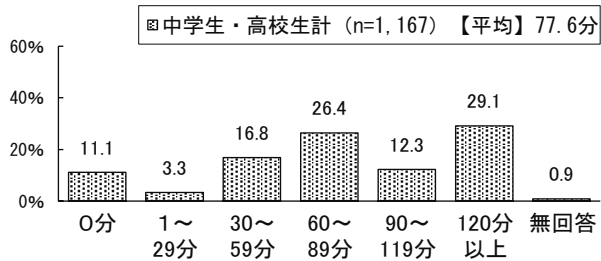
(1) 読書とその他の行動時間

問1 あなたは普段の生活の中で、次にあげる①～⑦を1日に平均どのくらいの時間行っていますか。

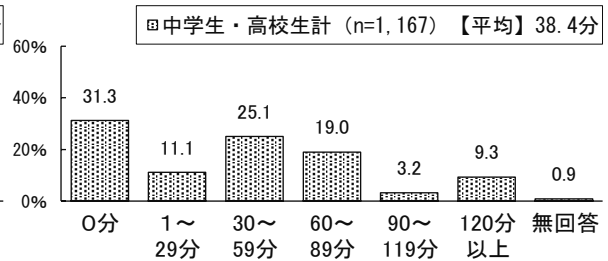
※ 学校の授業は除いてください。

※ 行っていない場合は「0」時間とご記入ください。

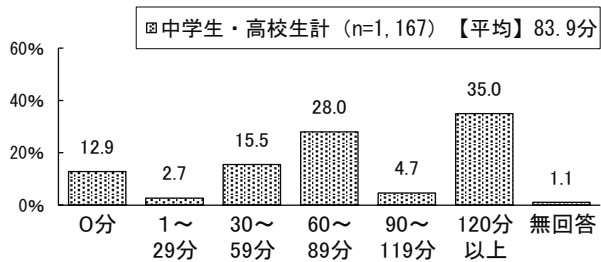
①勉強や宿題をする（塾を含めて）



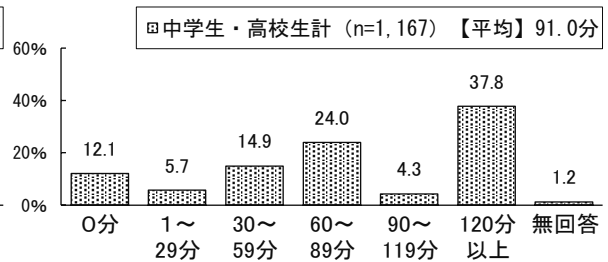
②本・マンガ・雑誌などを読む



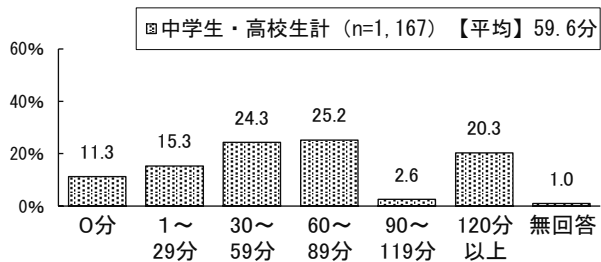
③テレビやDVDをみる



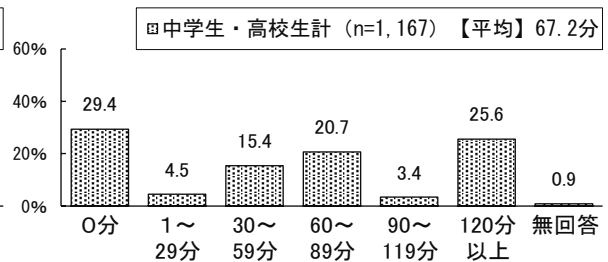
④インターネットをする



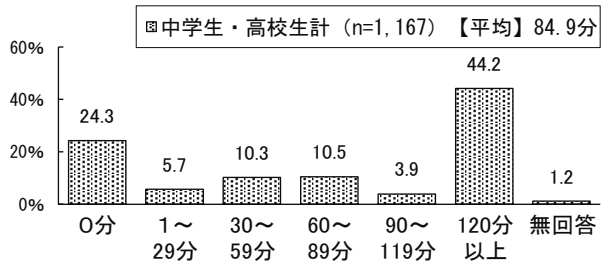
⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする



⑥ゲームをする



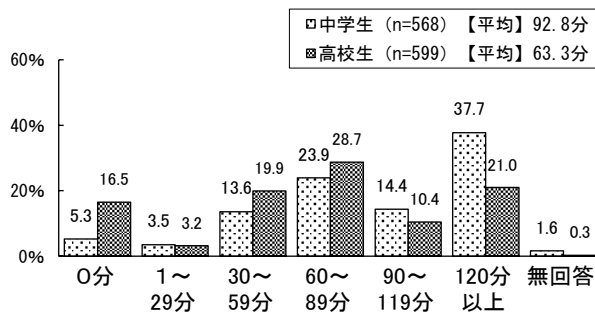
⑦スポーツなど体を動かす



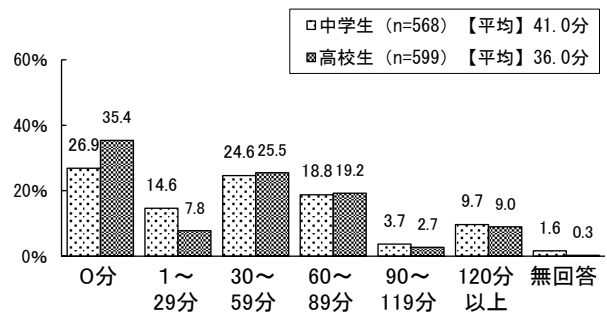
読書とその他の行動時間をたずねたところ、中学生・高校生計の平均は多い順に④インターネットをするが91.0分、⑦スポーツなど体を動かすが84.9分、③テレビやDVDをみるが83.9分、①勉強や宿題をする（塾を含めて）が77.6分、⑥ゲームをするが67.2分、⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをするが59.6分、②本・マンガ・雑誌などを読むが38.4分となっている。

《 読書とその他の行動時間－学年別 》

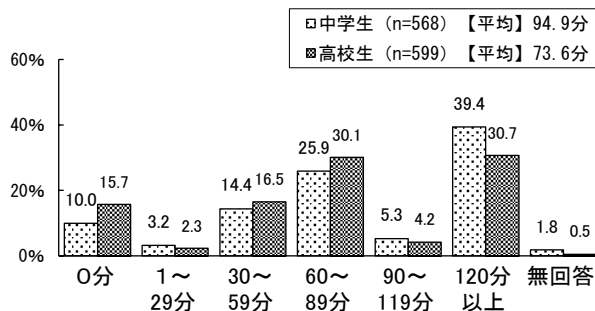
①勉強や宿題をする（塾を含めて）



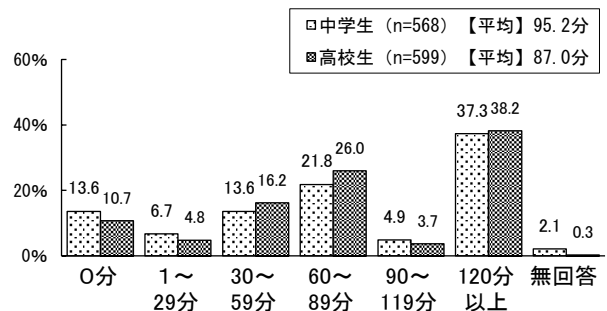
②本・マンガ・雑誌などを読む



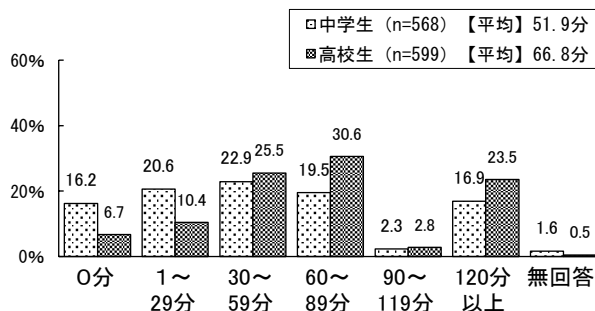
③テレビやDVDをみる



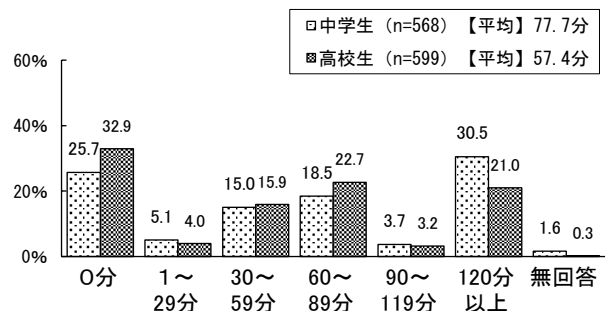
④インターネットをする



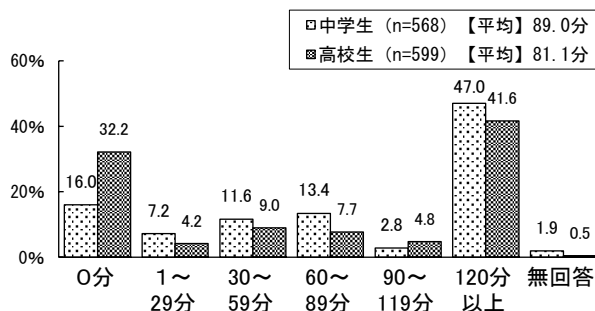
⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする



⑥ゲームをする



⑦スポーツなど体を動かす

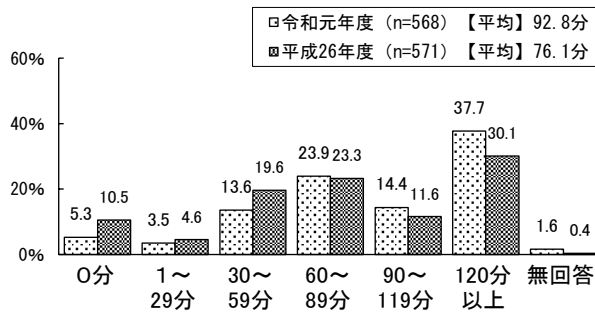


学年別でみると、平均は中学生は多い順に④インターネットをするが95.2分、③テレビやDVDをみるが94.9分、①勉強や宿題をする（塾を含めて）が92.8分、⑦スポーツなど体を動かすが89.0分、⑥ゲームをするが77.7分、⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをするが51.9分、②本・マンガ・雑誌などを読むが41.0分となっている。高校生は多い順に④インターネットをするが87.0分、⑦スポーツなど体を動かすが81.1分、③テレビやDVDをみるが73.6分、⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをするが66.8分、①勉強や宿題をする（塾を含めて）が63.3分、⑥ゲームをするが57.4分、②本・マンガ・雑誌などを読むが36.0分となっている。

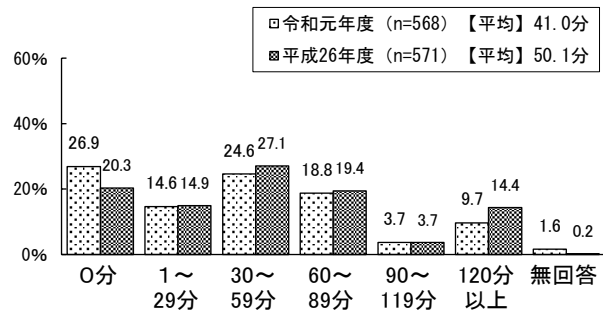
《 読書とその他の行動時間－経年比較 》

【中学生】

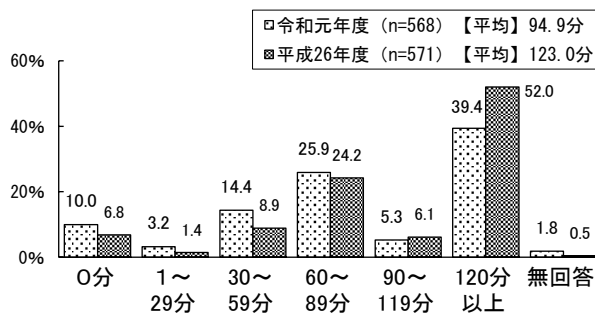
①勉強や宿題をする（塾を含めて）



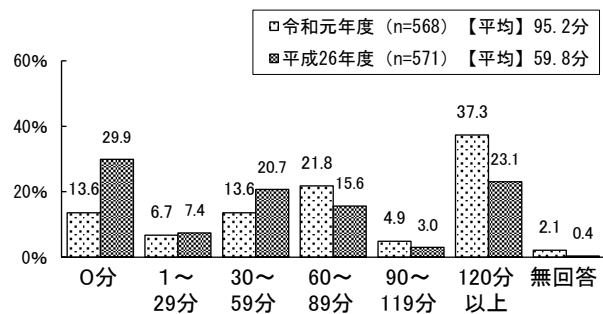
②本・マンガ・雑誌などを読む



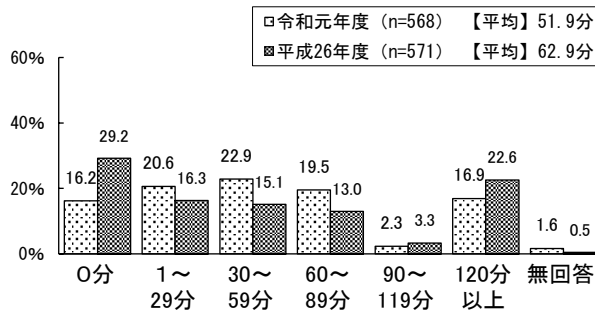
③テレビやDVDをみる



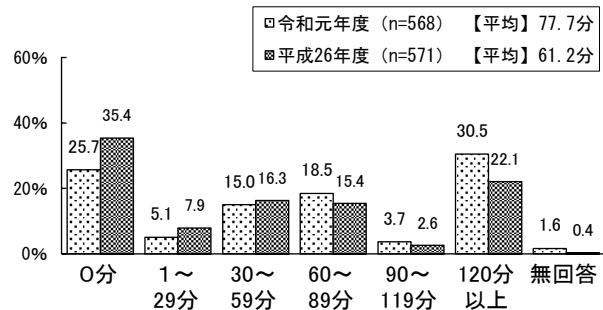
④インターネットをする



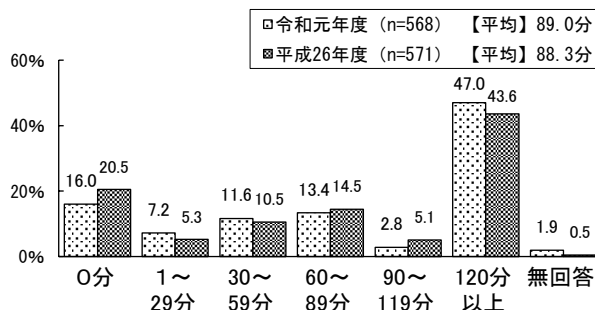
⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする



⑥ゲームをする



⑦スポーツなど体を動かす

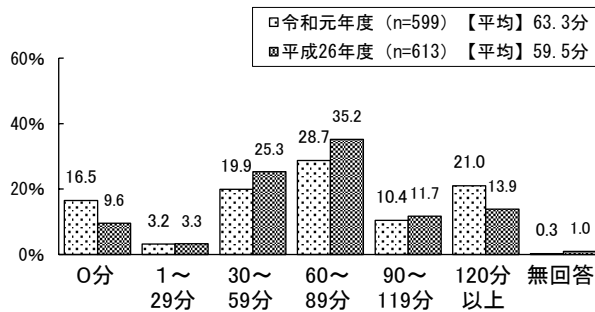


前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生の平均で増加しているのは④インターネットをするで35.4分、①勉強や宿題をする（塾を含めて）で16.7分、⑥ゲームをするで16.5分である。一方、③テレビやDVDをみるは28.1分、⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをするは11.0分、②本・マンガ・雑誌などを読むは9.1分減少している。

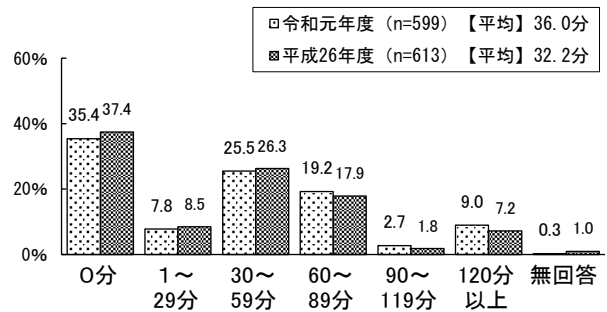
《 読書とその他の行動時間－経年比較 》

【高校生】

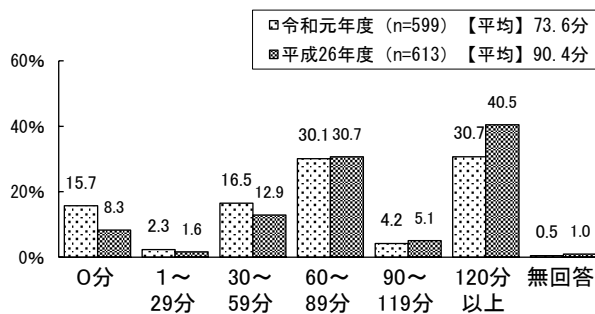
①勉強や宿題をする（塾を含めて）



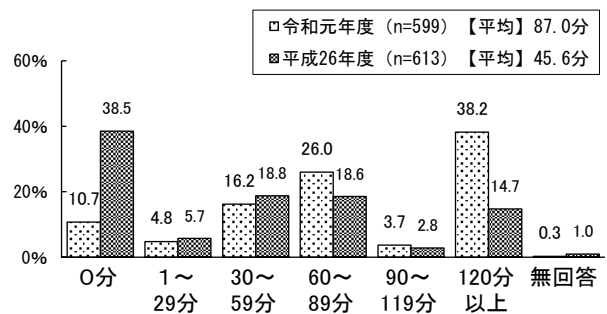
②本・マンガ・雑誌などを読む



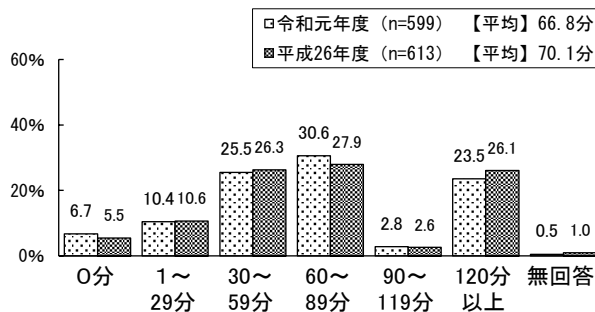
③テレビやDVDをみる



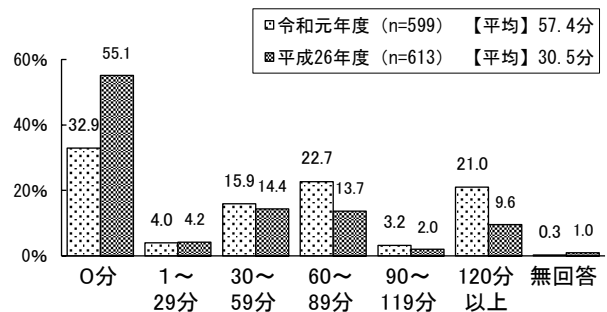
④インターネットをする



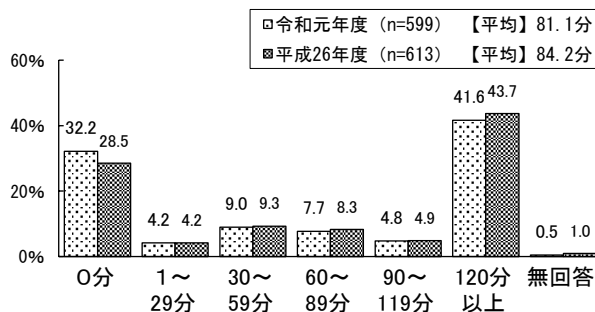
⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする



⑥ゲームをする



⑦スポーツなど体を動かす

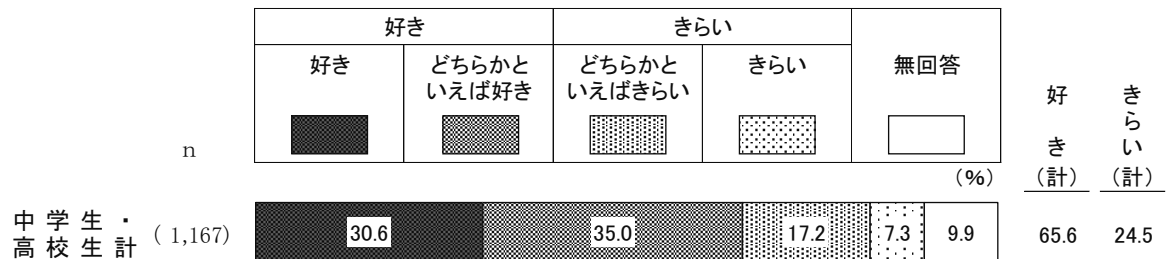


前回調査（平成26年度）と比較すると、高校生の平均で増加しているのは④インターネットをするで41.4分、⑥ゲームをするで26.9分である。一方、③テレビやDVDをみるは16.8分減少している。

2 読書の意識・実態

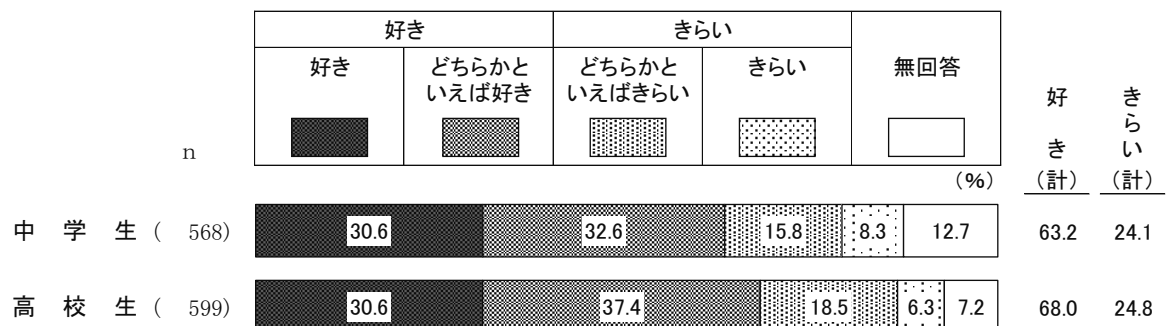
(1) 読書が好きかどうか

問2 あなたは、本を読むことが好きですか。
(あてはまる番号1つに○)



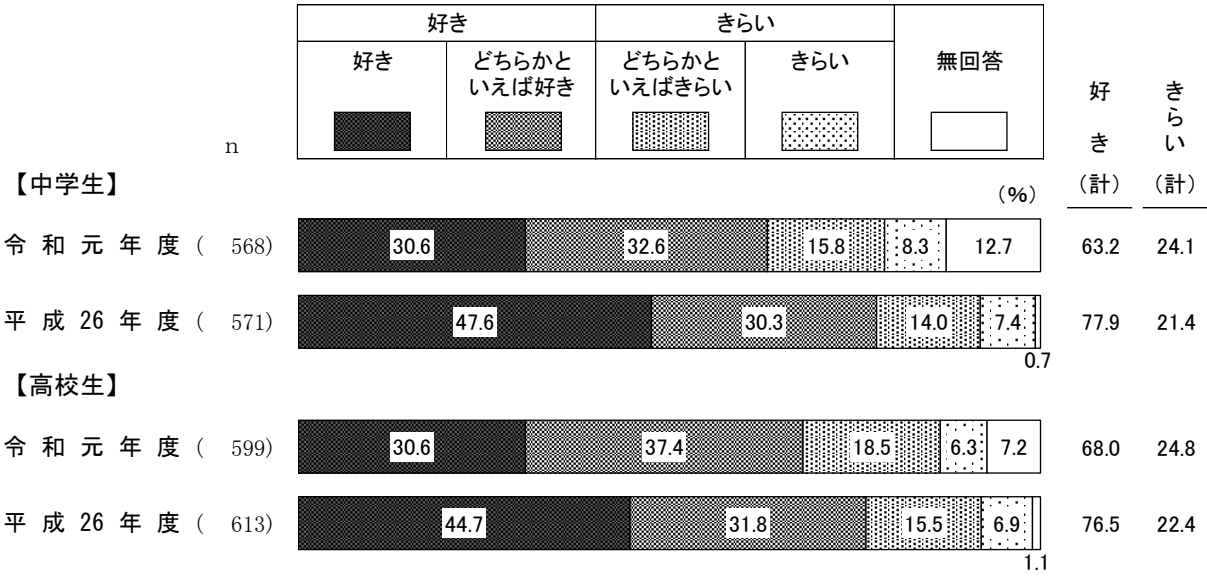
読書が好きかどうかをたずねたところ、中学生・高校生計で「好き」(30.6%)と「どちらかといえば好き」(35.0%)を合わせた『好き』(65.6%)が6割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばきらい」(17.2%)と「きらい」(7.3%)を合わせた『きらい』(24.5%)は2割台半ばとなっている。

《 読書が好きかどうか－学年別 》



学年別でみると、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は中学生(63.2%)が6割台前半、高校生(68.0%)は7割近くとなっている。一方、「どちらかといえばきらい」と「きらい」を合わせた『きらい』は中学生(24.1%)、高校生(24.8%)ともに2割台半ばとなっている。

《 読書が好きかどうか一経年比較 》



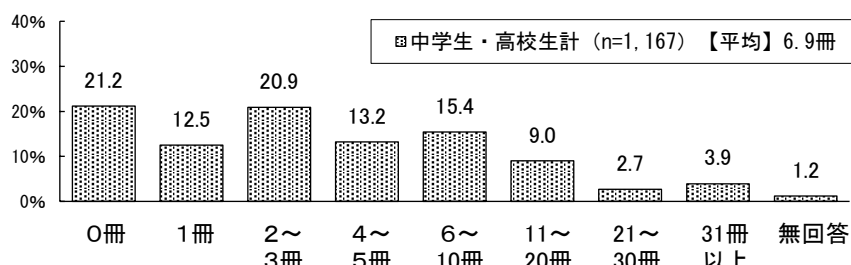
前回調査（平成26年度）と比較すると、「好き」は中学生で17.0ポイント、高校生で14.1ポイント減少しており、「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は中学生で14.7ポイント、高校生で8.5ポイント減少している。

(2) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

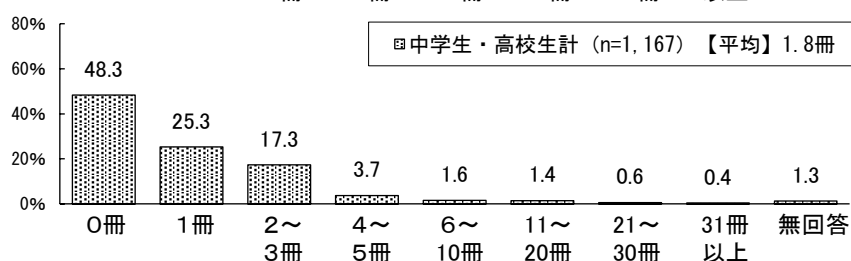
問3 あなたは、1か月に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【紙の本】

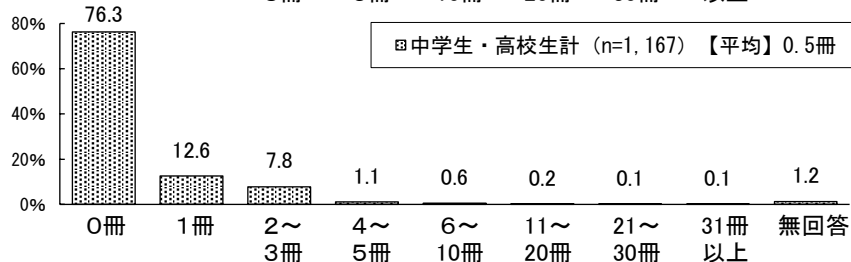
<合計>



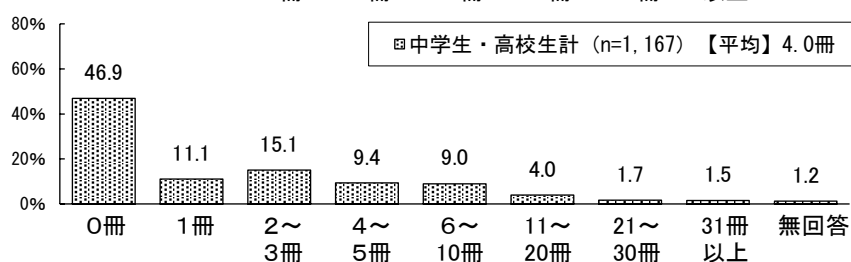
①書籍・絵本



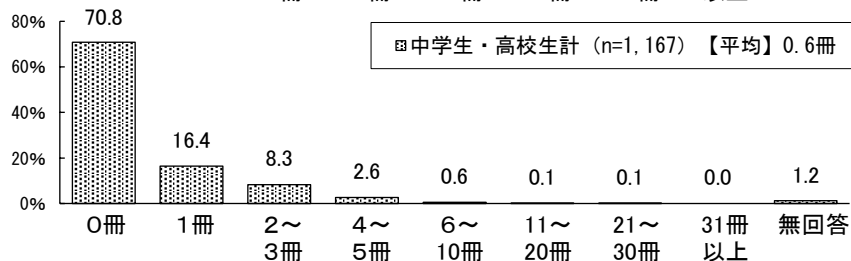
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

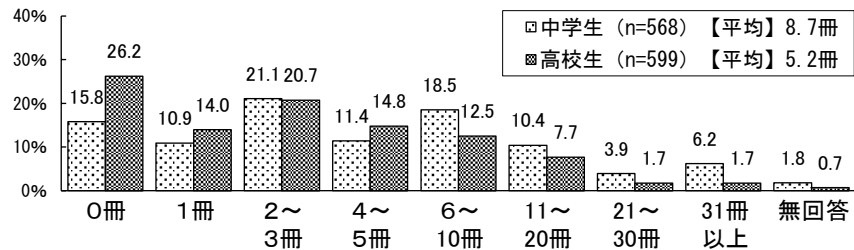


紙の本の1か月の平均読書冊数についてたずねたところ、中学生・高校生計の平均は合計で6.9冊となっており、①書籍・絵本は1.8冊、②学習参考書・図鑑は0.5冊、③マンガ・コミックは4.0冊、④雑誌は0.6冊となっている。

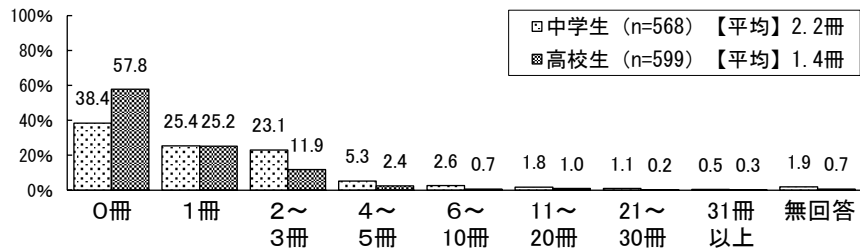
《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】－学年別 》

【紙の本】

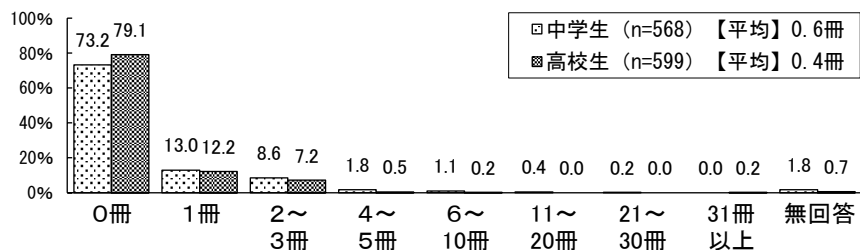
<合計>



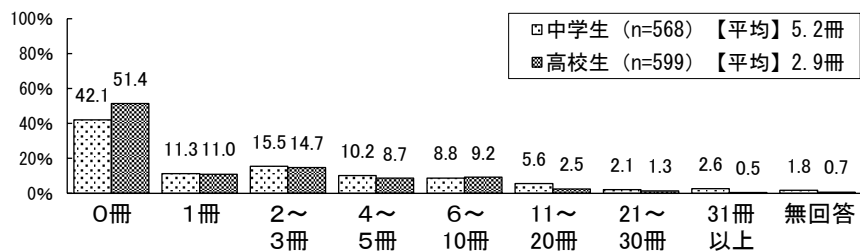
①書籍・絵本



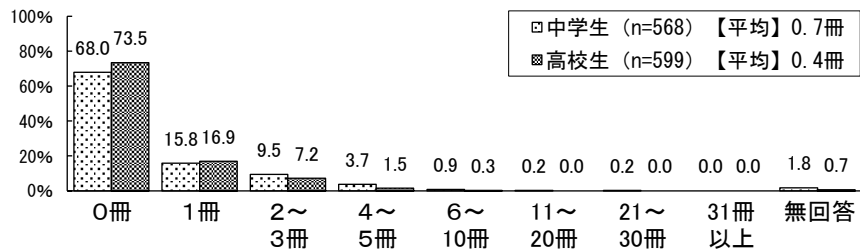
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



学年別でみると、平均は合計で中学生が8.7冊、高校生が5.2冊となっている。①書籍・絵本は中学生が2.2冊、高校生が1.4冊、②学習参考書・図鑑は中学生が0.6冊、高校生が0.4冊、③マンガ・コミックは中学生が5.2冊、高校生が2.9冊、④雑誌は中学生が0.7冊、高校生が0.4冊となっている。紙の本の合計「0冊」（不読率）は、中学生15.8%、高校生26.2%となっている。

《 参考：『不読率』－東京都の調査結果との比較 》

	東京都	豊島区
中学生（2年生）	9.9%	15.8%
高校生（2年生）	30.6%	26.2%

※東京都の不読率は、1か月の間に1冊も「本」（電子書籍を含む）を読まなかった割合を指し、授業中に読んだものは含まない。教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集・絵だけの絵本、画集は「本」に含まない。

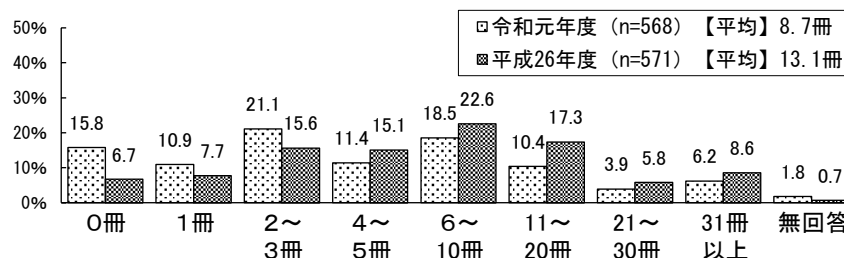
※豊島区の不読率は、「紙の本の合計0冊」の回答率とする。

《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】一経年比較 》

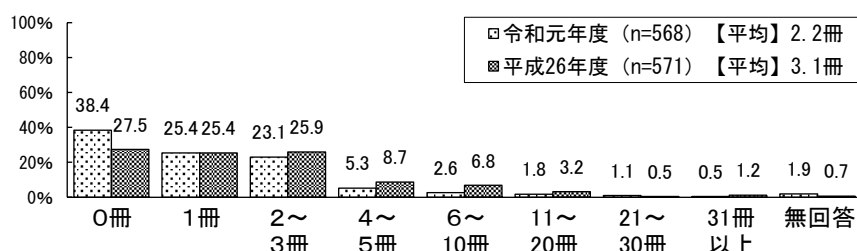
【紙の本】 ※平成26年度は「紙の本」「電子書籍」の区別なく聴取している

【中学生】

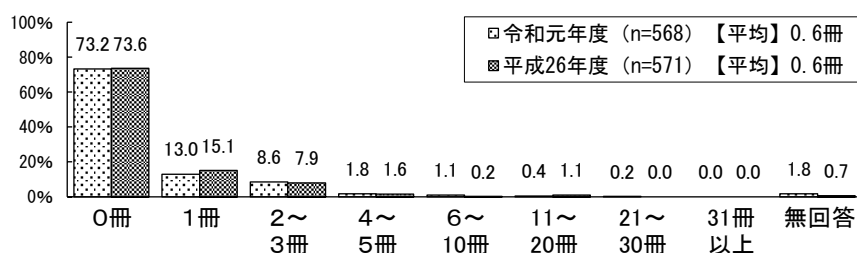
<合計>



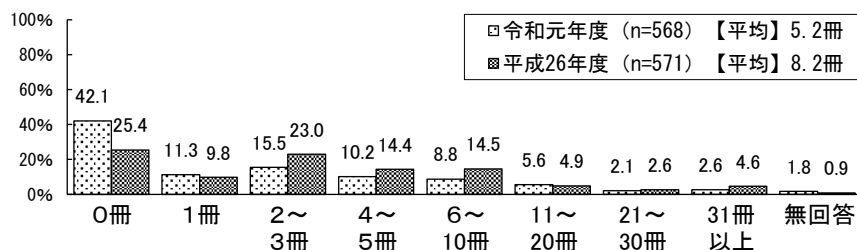
①書籍・絵本



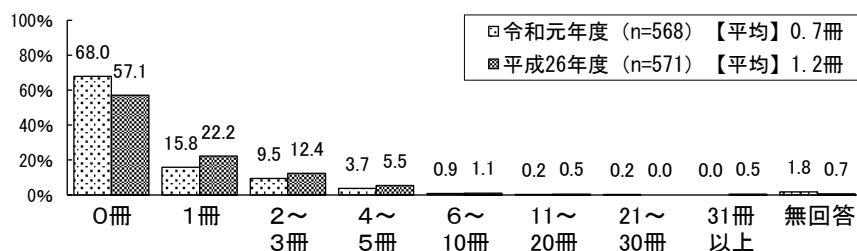
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



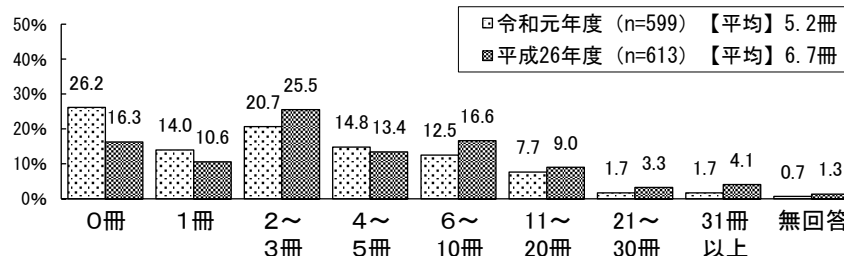
前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生の平均は合計で4.4冊減少している。③マンガ・コミックで3.0冊①書籍・絵本で0.9冊、④雑誌で0.5冊減少している。また、合計で「0冊」（不読率）は9.1ポイント増加し、③マンガ・コミックで16.7ポイント増加している。

《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】一経年比較 》

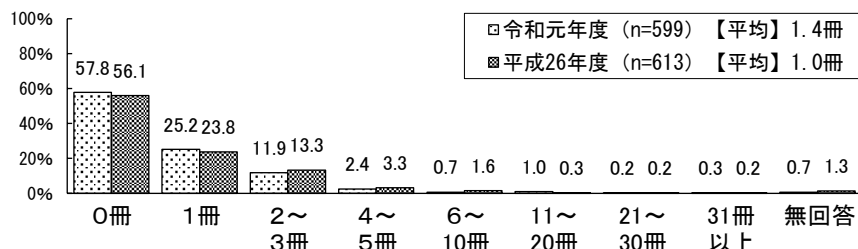
【紙の本】 ※平成26年度は「紙の本」「電子書籍」の区別なく聴取している

【高校生】

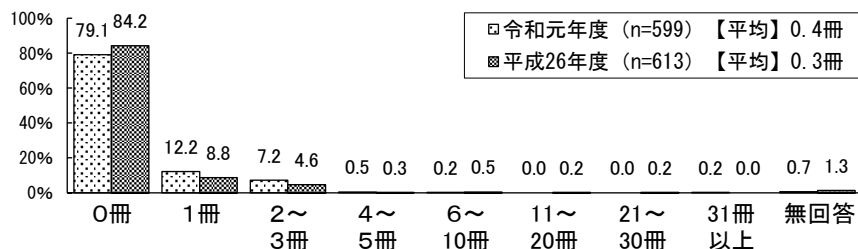
<合計>



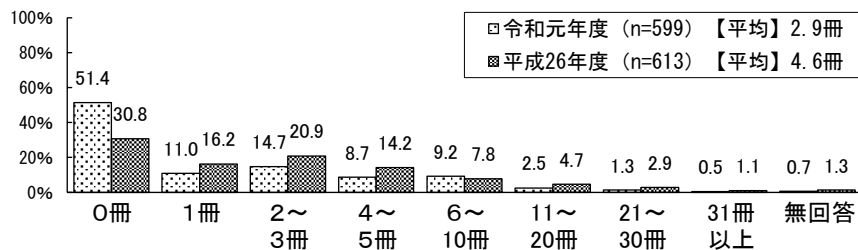
①書籍・絵本



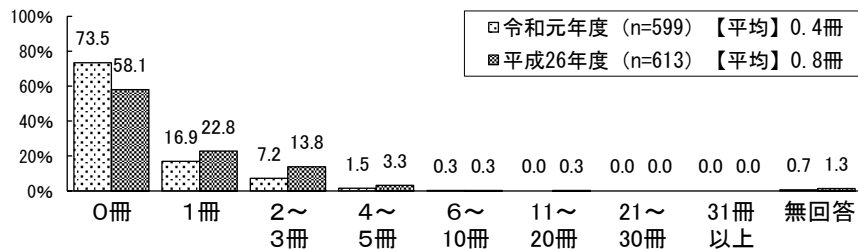
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



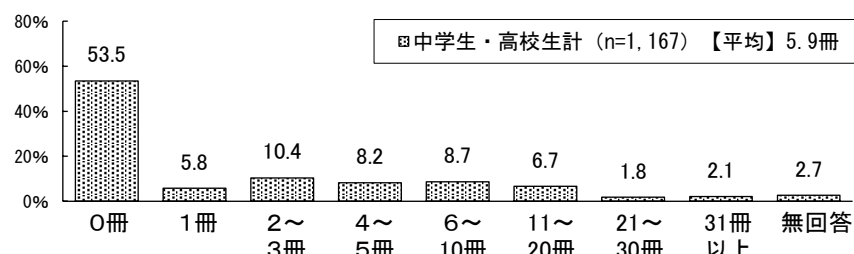
前回調査（平成26年度）と比較すると、高校生の平均は合計で1.5冊減少している。①書籍・絵本で0.4冊増加、③マンガ・コミックで1.7冊④雑誌で0.4冊減少している。また、合計で「0冊」（不読率）は9.9ポイント増加している。

(3) 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

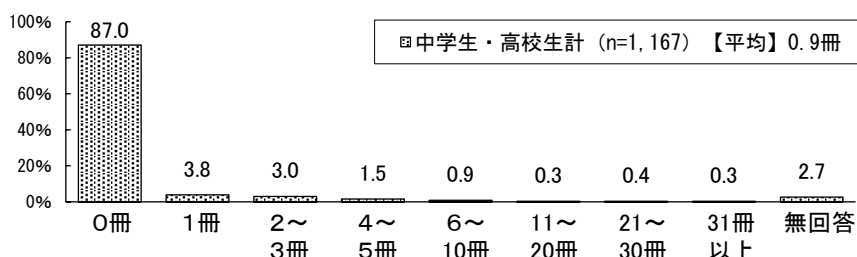
問3 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【電子書籍】

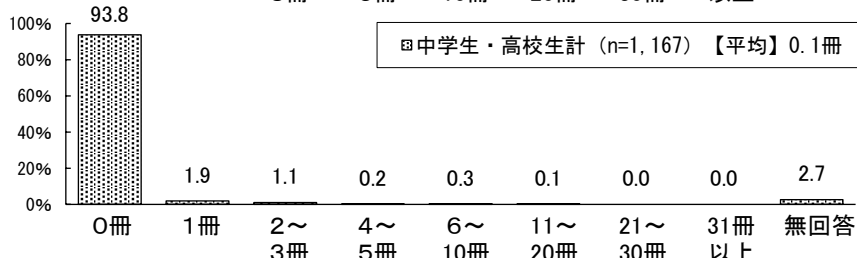
<合計>



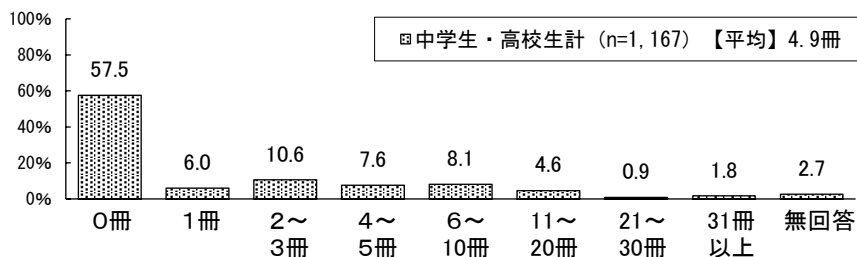
①書籍・絵本



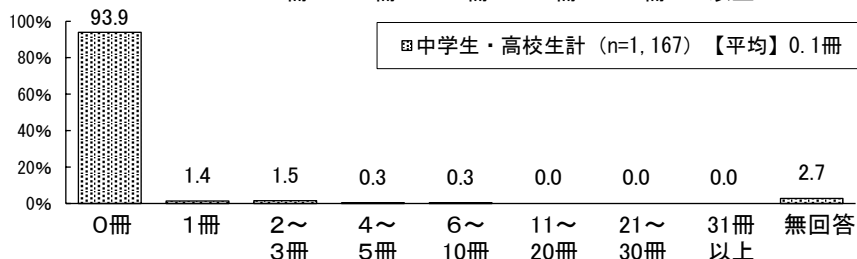
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

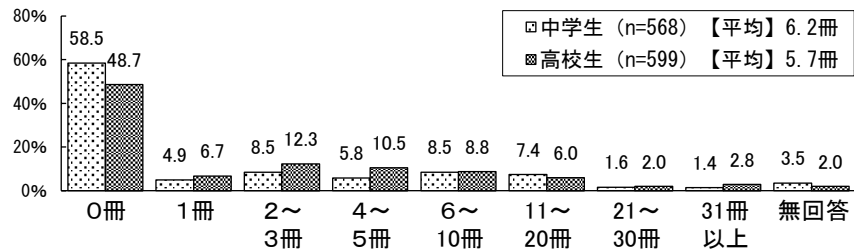


電子書籍の1か月間の平均読書冊数についてたずねたところ、中学生・高校生計の平均は合計で5.9冊となっており、①書籍・絵本は0.9冊、②学習参考書・図鑑は0.1冊、③マンガ・コミックは4.9冊、④雑誌は0.1冊となっている。

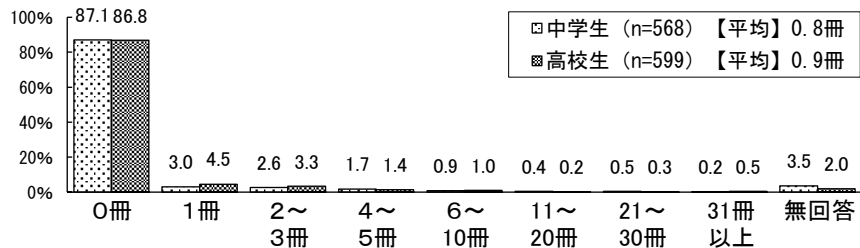
《 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】一学年別 》

【電子書籍】

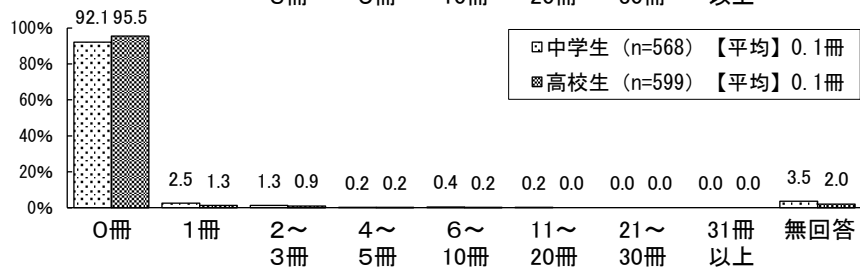
<合計>



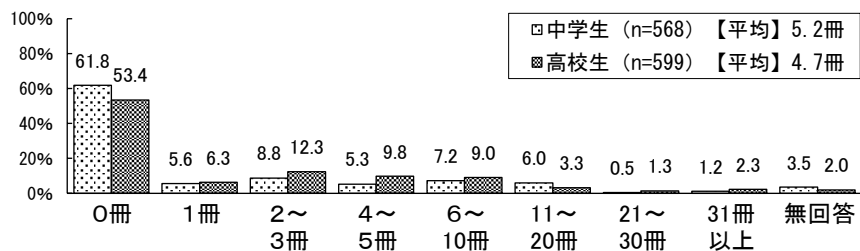
①書籍・絵本



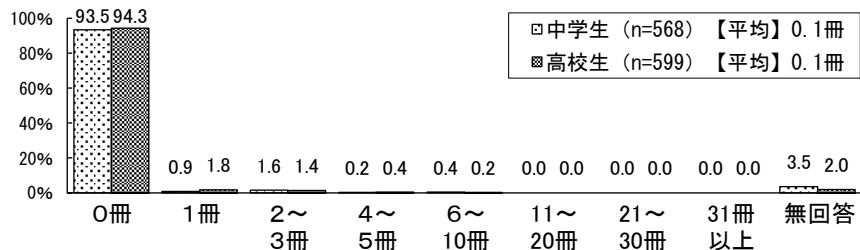
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



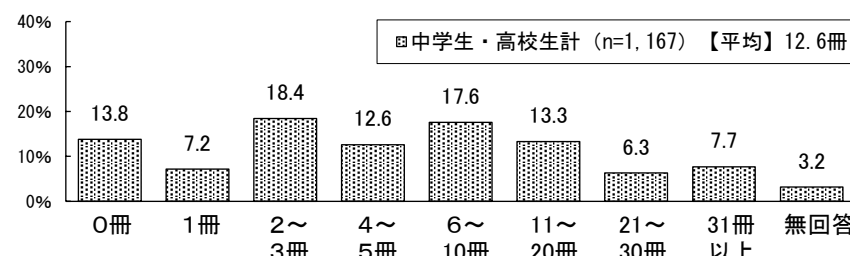
学年別でみると、電子書籍を利用している割合（合計の「0冊」と「無回答」を除いた割合）は中学生（38.1%）が4割近く、高校生（49.1%）が約5割となっており、平均は合計で中学生が6.2冊、高校生が5.7冊となっている。中学生、高校生ともに①書籍・絵本、②学習参考書・図鑑、④雑誌は「0冊」が9割前後、③マンガ・コミックは「0冊」が中学生で約6割、高校生で5割台となっており、平均は①書籍・絵本は中学生が0.8冊、高校生が0.9冊、②学習参考書・図鑑は中学生、高校生ともに0.1冊、③マンガ・コミックは中学生が5.2冊、高校生が4.7冊、④雑誌は中学生、高校生ともに0.1冊となっている。

(4) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】+【電子書籍】計

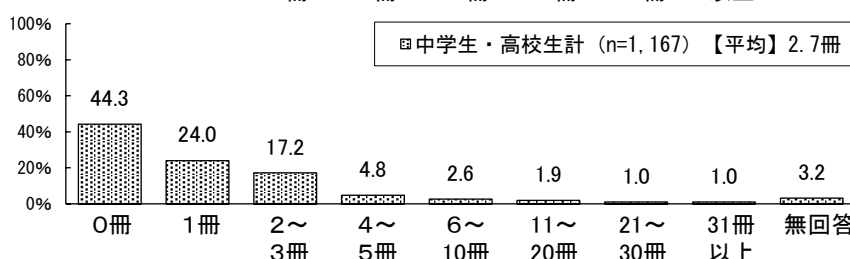
問3 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【紙の本】+【電子書籍】計

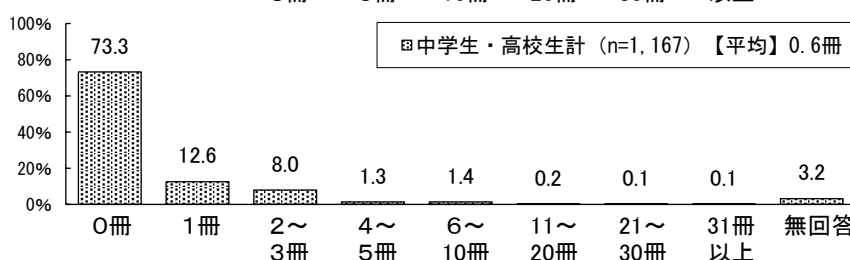
<合計>



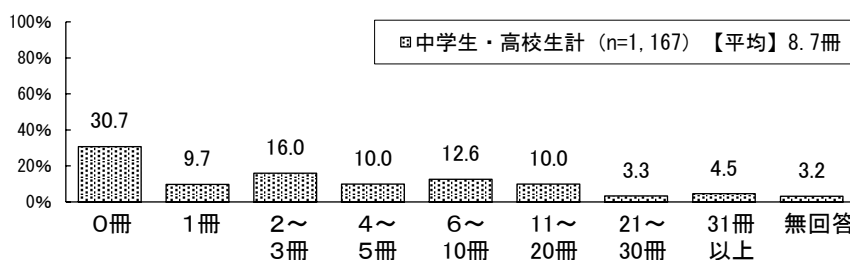
①書籍・絵本



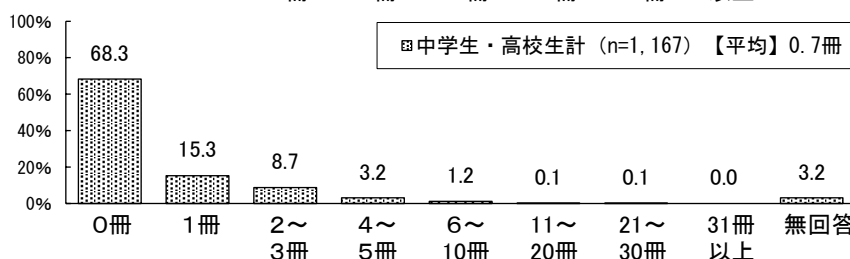
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

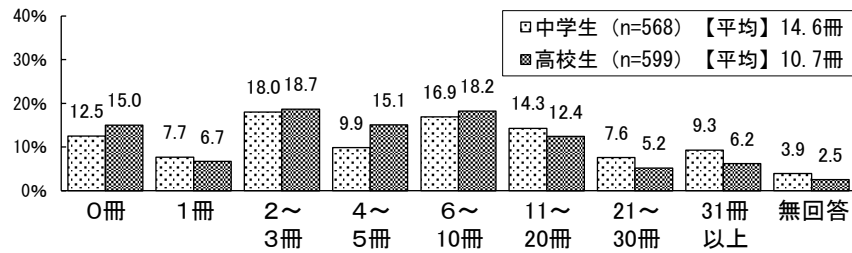


紙の本と電子書籍計の1か月間の平均読書冊数は、中学生・高校生計の平均は合計で12.6冊となっており、①書籍・絵本は2.7冊、②学習参考書・図鑑は0.6冊、③マンガ・コミックは8.7冊、④雑誌は0.7冊となっている。

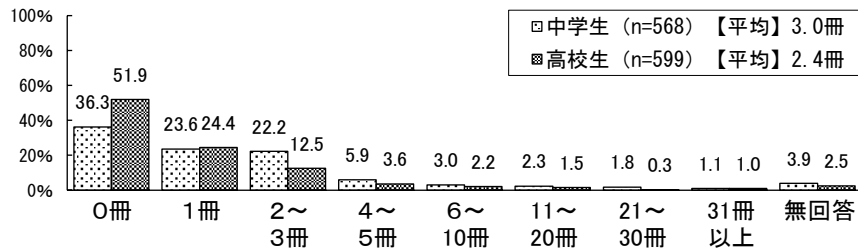
《 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】＋【電子書籍】計一学年別 》

【紙の本】＋【電子書籍】計

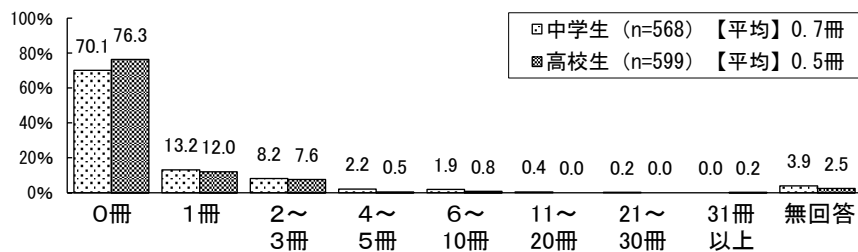
<合計>



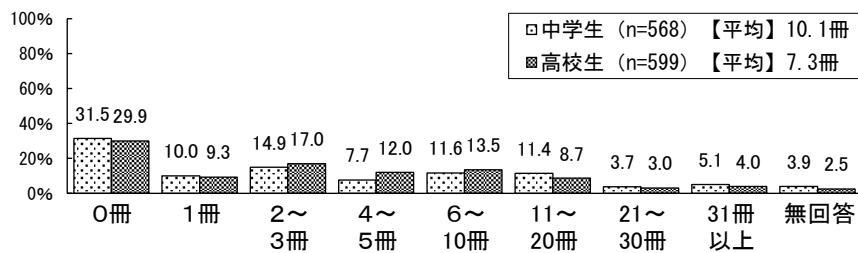
①書籍・絵本



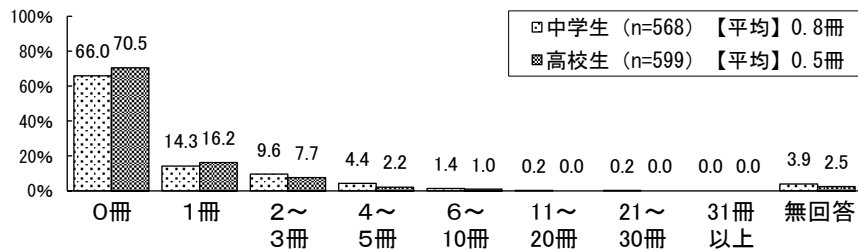
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



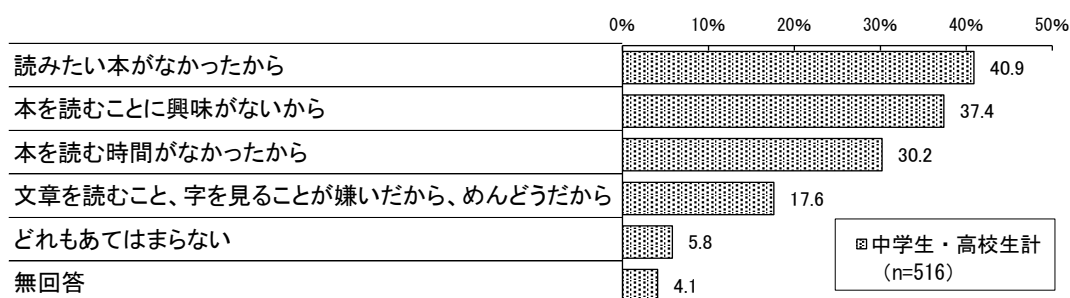
学年別でみると、平均は合計で中学生が14.6冊、高校生が10.7冊となっている。①書籍・絵本は中学生が3.0冊、高校生が2.4冊、②学習参考書・図鑑は中学生が0.7冊、高校生が0.5冊、③マンガ・コミックは中学生が10.1冊、高校生が7.3冊、④雑誌は中学生が0.8冊、高校生が0.5冊となっている。

(5) 本（「書籍・絵本」）を読まない理由

【次の問4は、問3の『①書籍・絵本』で「0冊」と答えた方にお聞きします】

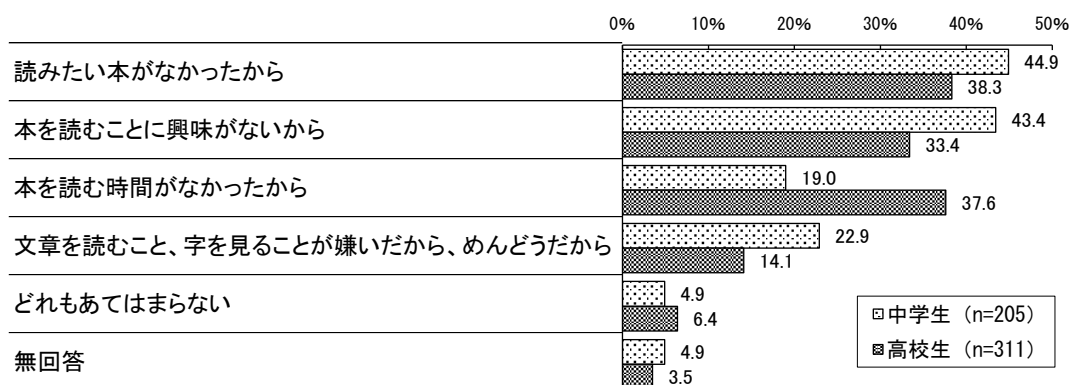
問4 あなたが『書籍・絵本』を読まない理由をお聞かせください。

（あてはまる番号すべてに○）



書籍・絵本を読まない生徒に理由をたずねたところ、中学生・高校生計で「読みたい本がなかったから」（40.9%）が約4割と最も多く、次いで「本を読むことに興味がないから」（37.4%）、「本を読む時間がなかったから」（30.2%）の順となっている。

《 本（「書籍・絵本」）を読まない理由—学年別 》



学年別でみると、中学生は多い順に「読みたい本がなかったから」、「本を読むことに興味がないから」、「文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから、めんどうだから」となっており、高校生は多い順に「読みたい本がなかったから」、「本を読む時間がなかったから」、「本を読むことに興味がないから」となっている。

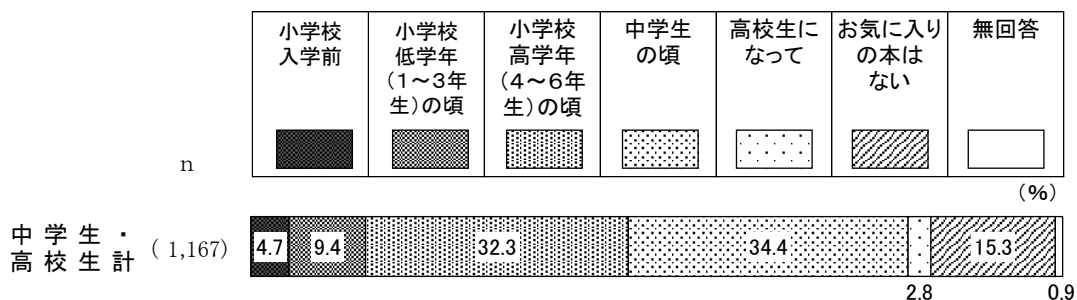
《 参考：本（「書籍・絵本」）を読まない理由—東京都の調査結果との比較 》

【中学生（2年生）】（複数回答）			【高校生（2年生）】（複数回答）		
	東京都	豊島区		東京都	豊島区
本を読むことに興味がないから	53.1%	43.4%	本を読むことに興味がないから	39.4%	33.4%
読みたい本がなかったから	46.5%	44.9%	読みたい本がなかったから	37.0%	38.3%
本を読む時間がなかったから	30.2%	19.0%	本を読む時間がなかったから	36.0%	37.6%
文章を読むこと、字を見ることがきらい、めんどう	27.8%	22.9%	文章を読むこと、字を見ることがきらい、めんどう	16.2%	14.1%
どれもあてはまらない	6.0%	4.9%	どれもあてはまらない	9.2%	6.4%

東京都の調査結果と比較すると、豊島区中学生は「読みたい本がなかったから」が最も多く、次いで「本を読むことに興味がないから」、「文字を読むことや、文字を見ることが嫌いだから」の順となっている。豊島区高校生は「読みたい本がなかったから」が最も多く、「本を読む時間がなかったから」、「本を読むことに興味がないから」の順となっている。東京都中学生、高校生ともに「本を読むことに興味がないから」と答えているが、豊島区の場合は東京都と比較して中学生は「本を読むことに興味がないから」、「本を読む時間がなかったから」のポイントが低く、高校生は差がみられない。

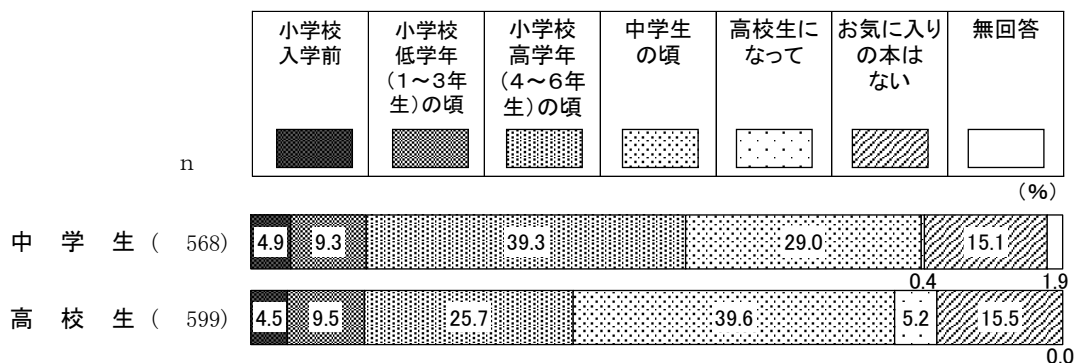
(6) お気に入りの一冊に出会えた時期

問5 あなたがお気に入りの一冊に出会えた時期はいつですか。
(あてはまる番号1つに○)



お気に入りの一冊に出会えた時期をたずねたところ、中学生・高校生計で「中学生の頃」(34.4%)が3割台半ばと最も多く、次いで「小学校高学年(4～6年生)の頃」(32.3%)が3割台前半となっている。

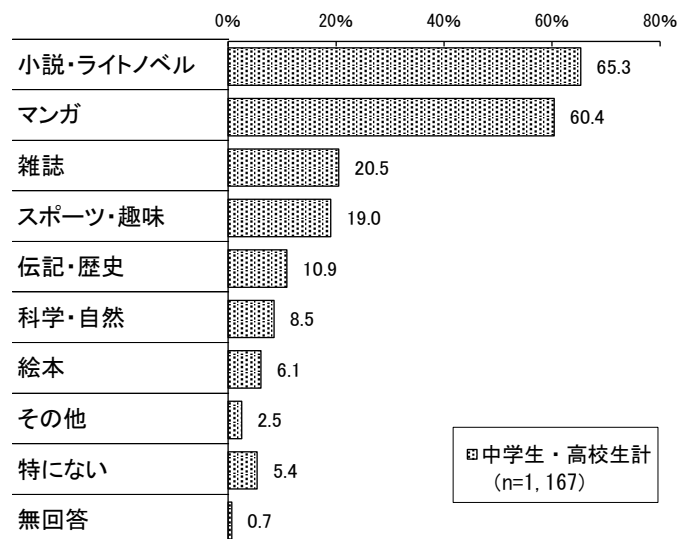
《 お気に入りの一冊に出会えた時期—学年別— 》



学年別でみると、中学生は「小学校高学年(4～6年生)の頃」(39.3%)が約4割と最も多く、次いで「中学生の頃」(29.0%)となっている。高校生は「中学生の頃」(39.6%)が約4割と最も多く、次いで「小学校高学年(4～6年生)の頃」(25.7%)となっている。一方、「お気に入りの本はない」は中学生(15.1%)、高校生(15.5%)ともに1割台半ばとなっている。

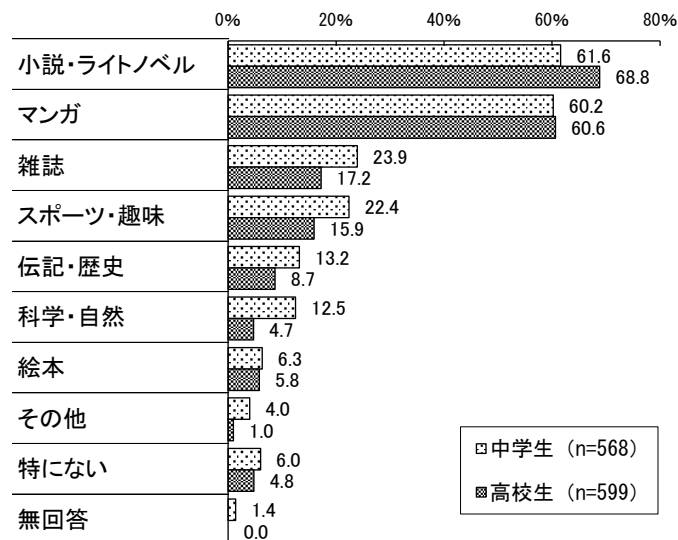
(7) 好きな本の分野・ジャンル

問6 あなたは、どのような内容・ジャンル（分野）の本が好きですか。
（あてはまる番号すべてに○）



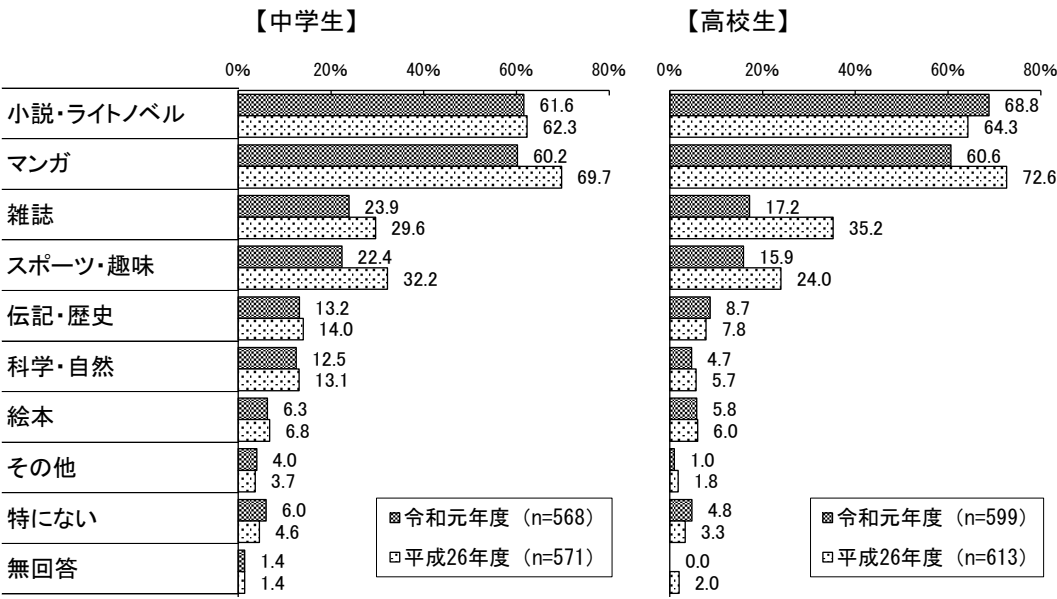
好きな本の分野・ジャンルをたずねたところ、中学生・高校生計で「小説・ライトノベル」（65.3%）が6割台半ばと最も多く、次いで「マンガ」（60.4%）、「雑誌」（20.5%）、「スポーツ・趣味」（19.0%）の順となっている。

《好きな本の分野・ジャンル—学年別—》



学年別でみると、中学生は「小説・ライトノベル」（61.6%）が6割を超えて最も多く、次いで「マンガ」（60.2%）、「雑誌」（23.9%）、「スポーツ・趣味」（22.4%）の順となっている。高校生は「小説・ライトノベル」（68.8%）が7割近くと最も多く、次いで「マンガ」（60.6%）、「雑誌」（17.2%）、「スポーツ・趣味」（15.9%）の順となっている。

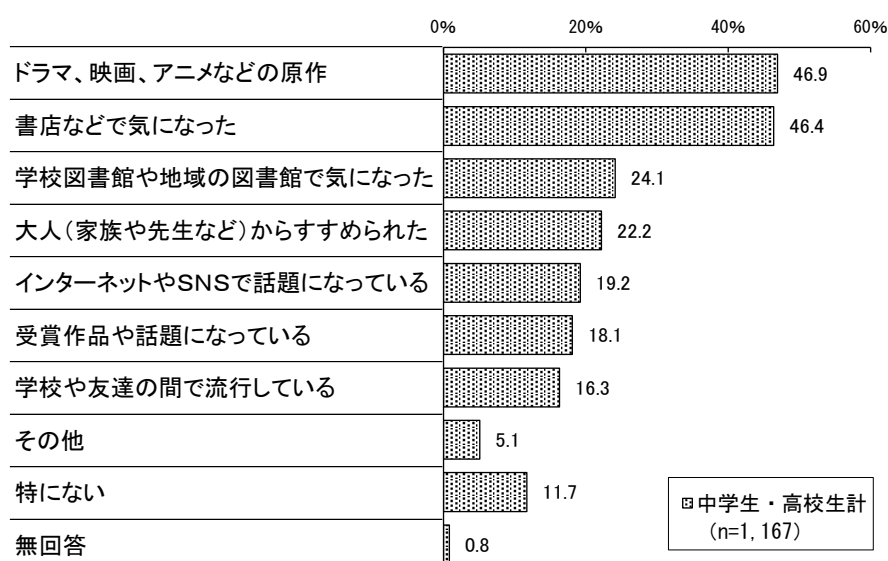
《好きな本の分野・ジャンルー経年比較》



前回調査（平成26年度）と比較すると、全般に減少の傾向となっており、中学生は「スポーツ・趣味」が9.8ポイント、「マンガ」が9.5ポイント、「雑誌」が5.7ポイント減少している。高校生は「小説・ライトノベル」が4.5ポイント増加しているが、「雑誌」が18.0ポイント、「マンガ」が12.0ポイント、「スポーツ・趣味」が8.1ポイント減少している。

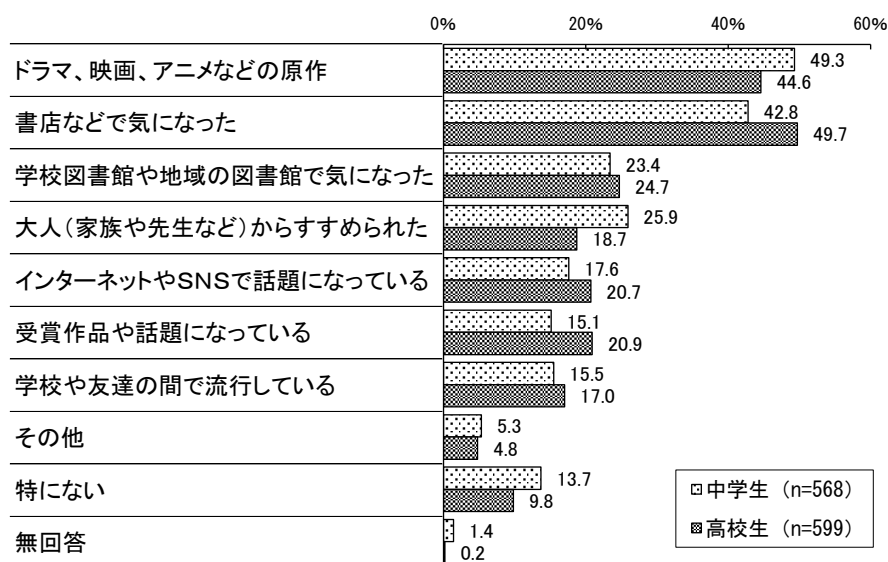
(8) 本を読んでみようと思うきっかけ

問7 あなたが本を読んでみようと思うきっかけは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)



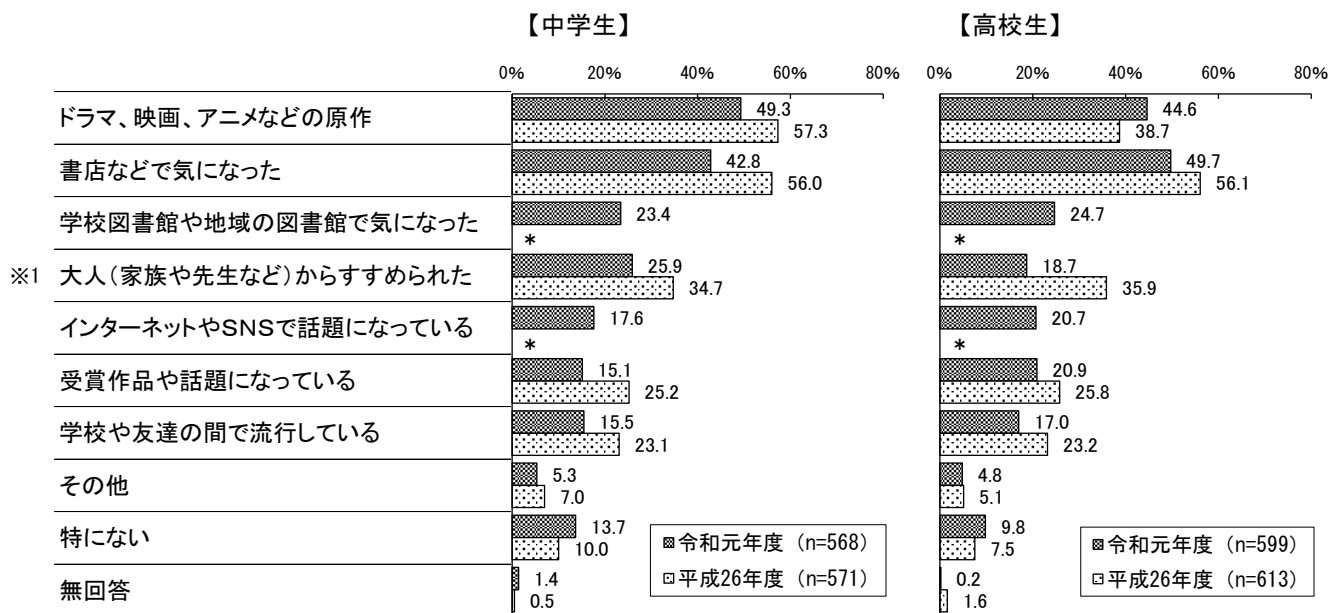
本を読んでみようと思うきっかけをたずねたところ、中学生・高校生計で「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(46.9%)、「書店などで気になった」(46.4%)が4割台半ばと多く、次いで「学校図書館や地域の図書館で気になった」(24.1%)、「大人(家族や先生など)からすすめられた」(22.2%)の順となっている。

《 本を読んでみようと思うきっかけ—学年別 》



学年別でみると、中学生は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(49.3%)、「書店などで気になった」(42.8%)、「大人(家族や先生など)からすすめられた」(25.9%)となっている。高校生は多い順に「書店などで気になった」(49.7%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(44.6%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」(24.7%)となっている。

《 本を読んでみようと思うきっかけ—経年比較》



※図中「*」:平成26年度は非聴取

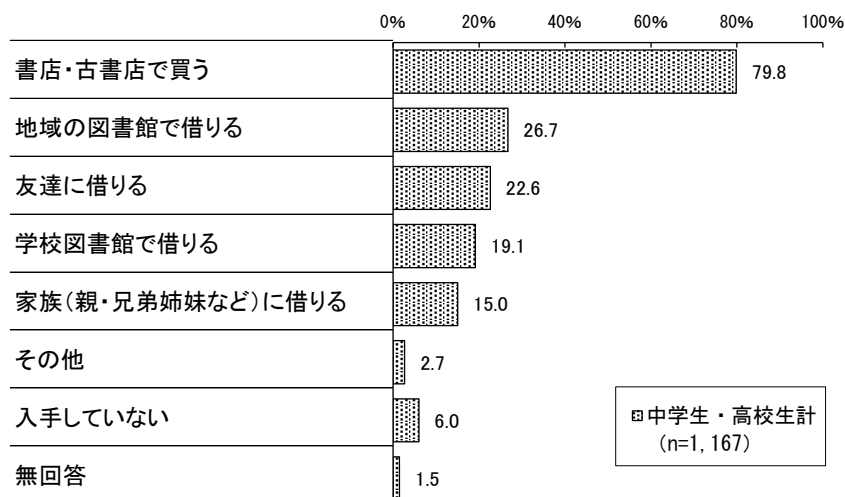
※1:平成26年度の選択肢は「人からすすめられた本」

前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生は減少している傾向があり、「書店などで気になった」が13.2ポイント、「受賞作品や話題になっている」が10.1ポイント、「大人（家族や先生など）からすすめられた」（平成26年度は「人からすすめられた」）が8.8ポイント、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」が8.0ポイント減少している。高校生は「ドラマ、映画、アニメなどの原作」が5.9ポイント増加し、「大人（家族や先生など）からすすめられた」（平成26年度は「人からすすめられた」）が17.2ポイント、「書店などで気になった」が6.4ポイント、「学校や友達の間で流行している」が6.2ポイント減少している。

(9) 読みたい本の入手方法【紙の本】

問8 あなたは普段、読みたい本があるとき、どのように入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

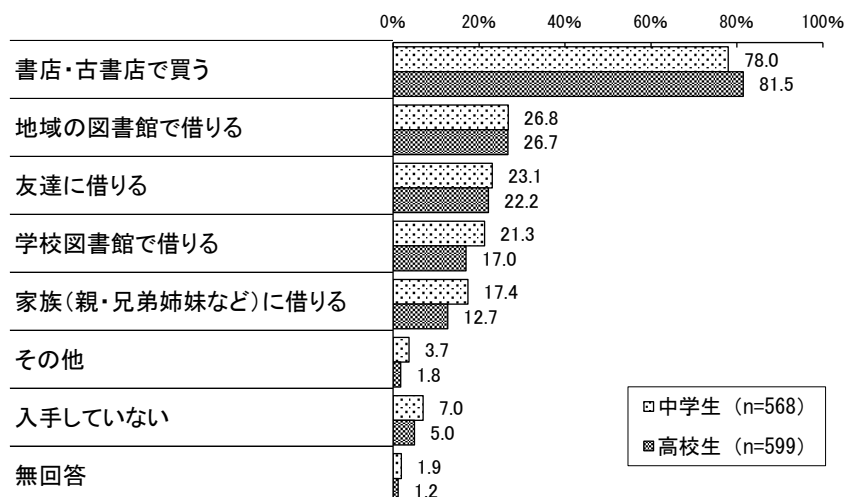
【紙の本】



紙の本について読みたい本の入手方法をたずねたところ、中学生・高校生計で「書店・古書店で買う」(79.8%)が約8割と最も多く、次いで「地域の図書館で借りる」(26.7%)、「友達に借りる」(22.6%)の順となっている。

《 読みたい本の入手方法【紙の本】—学年別— 》

【紙の本】

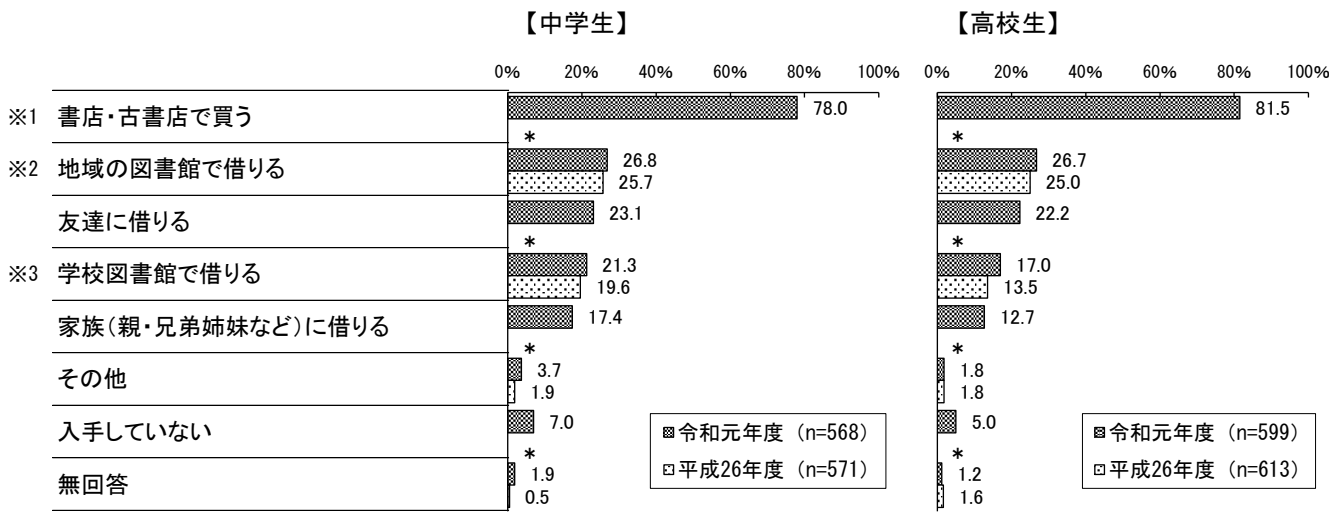


学年別でみると、中学生、高校生ともに多い順に「書店・古書店で買う」、「地域の図書館で借りる」、「友達に借りる」となっている。

《 読みたい本の入手方法【紙の本】－経年比較 》

※平成26年度は「紙の本」「電子書籍」の区別なく聴取している

【紙の本】



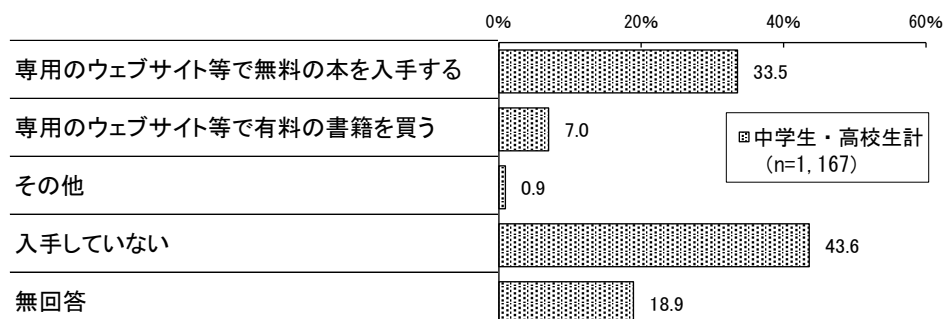
※図中「*」:平成26年度は非聴取
※1:平成26年度の選択肢は「親や家族に買ってもらう」、「自分のおこづかいで買う」で聴取のため掲載していない
※2:平成26年度の選択肢は「公共の図書館を利用する」
※3:平成26年度の選択肢は「学校の図書室を利用する」

前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生、高校生ともに「地域の図書館で借りる」、「学校図書館で借りる」に大きな変化はみられない。

(10) 読みたい本の入手方法【電子書籍】

問8 あなたは普段、読みたい本があるとき、どのように入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

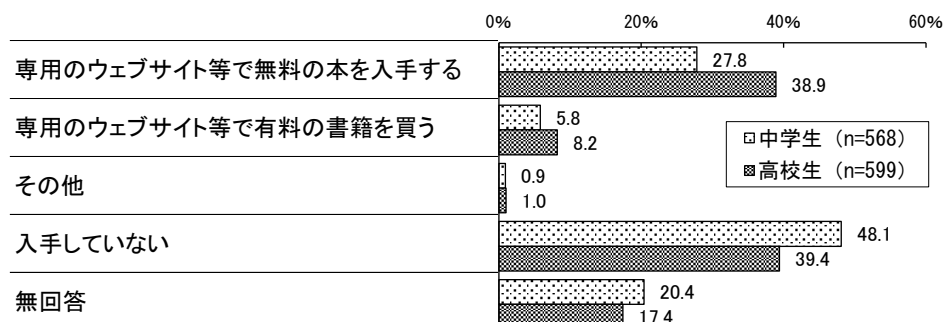
【電子書籍】



電子書籍について読みたい本の入手方法をたずねたところ、中学生・高校生計で「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」(33.5%)が3割を超えている。一方、「入手していない」(43.6%)が4割台前半となっている。

《 読みたい本の入手方法【紙の本】－学年別 》

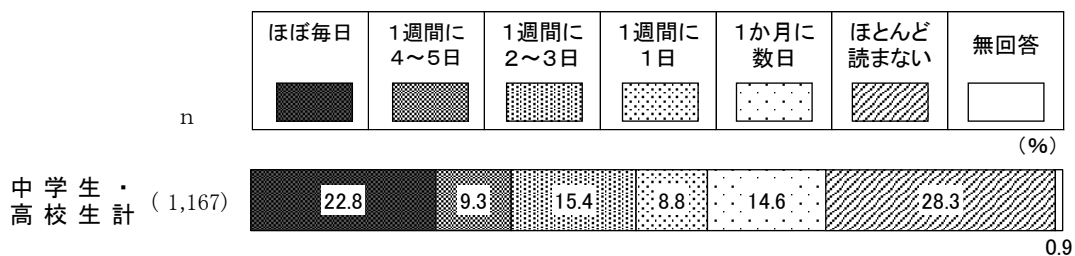
【電子書籍】



学年別でみると、「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」が中学生(27.8%)が3割近く、高校生(38.9%)が4割近くとなっている。

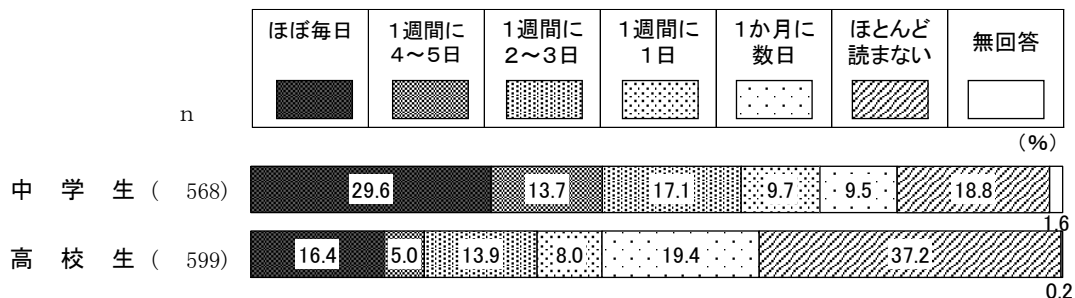
(11) 読書頻度

問9 あなたは普段、どのくらいの頻度で本を読んでいますか。
(あてはまる番号1つに○)



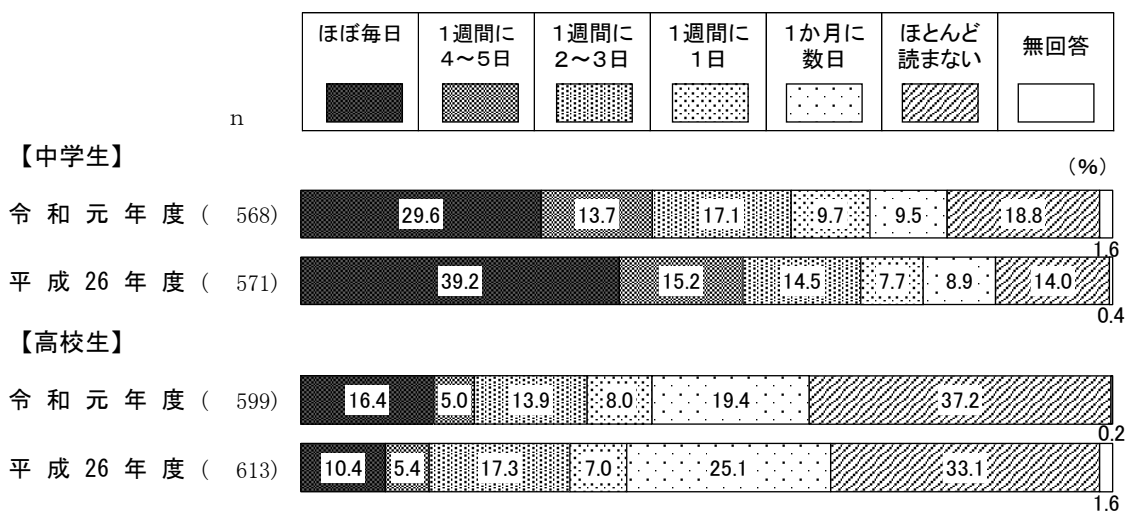
読書の頻度をたずねたところ、中学生・高校生計で「ほとんど読まない」(28.3%)が3割近くと最も多くなっており、「ほぼ毎日」(22.8%)が2割前半、「1週間に2～3日」(15.4%)、「1か月に数日」(14.6%)が1割台半ばとなっている。

《 読書頻度—学年別 》



学年別でみると、中学生は「ほぼ毎日」(29.6%)が約3割、「ほとんど読まない」(18.8%)が2割近くとなっている。高校生は「ほとんど読まない」(37.2%)が4割近く、「1か月に数日」(19.4%)が約2割となっている。

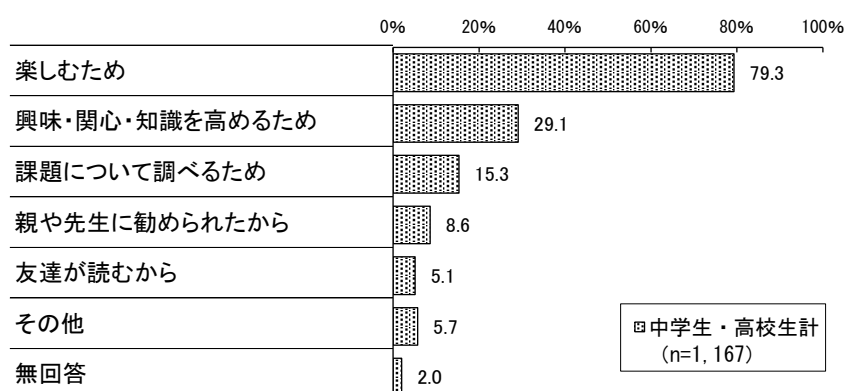
《 読書頻度—経年比較 》



前回調査(平成26年度)と比較すると、中学生は「ほぼ毎日」が9.6ポイント減少し、一方、「ほとんど読まない」が4.8ポイント増加している。高校生は「ほぼ毎日」が6.0ポイント増加し、「1か月に数日」が5.7ポイント減少している。高校生は「ほぼ毎日」が増加した一方で、「ほとんど読まない」も4.1ポイント増加している。

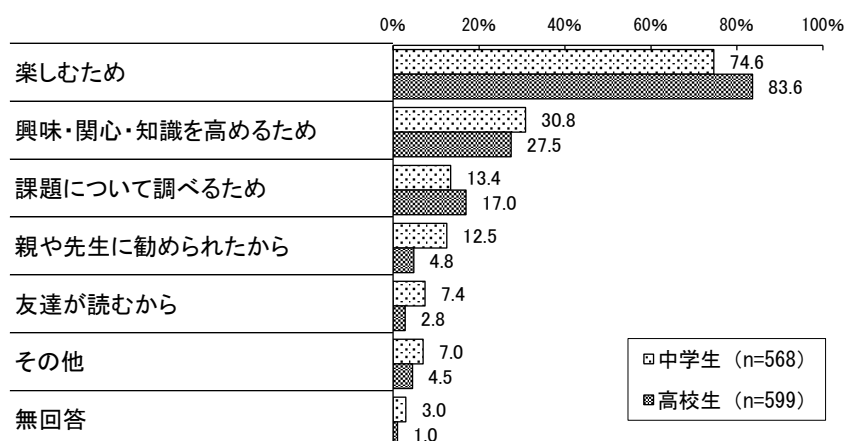
(12) 読書の理由

問11 本を読む理由をお聞かせください。
(あてはまる番号すべてに○)



読書の理由をたずねたところ、中学生・高校生計で「楽しむため」(79.3%)が約8割と最も多く、次いで「興味・関心・知識を高めるため」(29.1%)、「課題について調べるため」(15.3%)の順となっている。

《 読書の理由—学年別 》



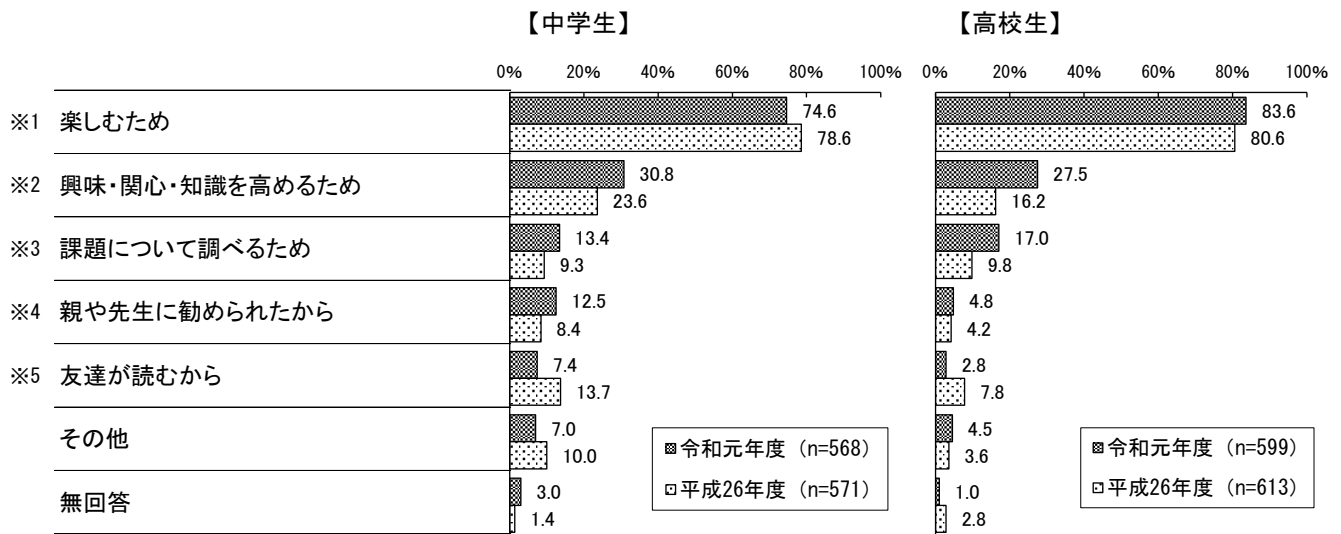
学年別でみると、中学生は「楽しむため」(74.6%)が7割台半ばと最も多く、次いで「興味・関心・知識を高めるため」(30.8%)、「課題について調べるため」(13.4%)の順となっている。高校生は「楽しむため」(83.6%)が8割を超えて最も多く、次いで「興味・関心・知識を高めるため」(27.5%)、「課題について調べるため」(17.0%)の順となっている。

《 参考：読書の理由—東京都の調査結果との比較 》

【中学生(2年生)】(複数回答)	東京都	豊島区	【高校生(2年生)】(複数回答)	東京都	豊島区
楽しむため	73.7%	74.6%	楽しむため	67.0%	83.6%
興味・関心、知識を高めるため	38.2%	30.8%	興味・関心、知識を高めるため	37.6%	27.5%
課題について調べるため	27.4%	13.4%	課題について調べるため	33.5%	17.0%
親や先生に勧められたから	10.9%	12.5%	親や先生に勧められたから	7.9%	4.8%
友達が読むから	6.0%	7.4%	友達が読むから	2.1%	2.8%

東京都の調査結果と比較すると、東京都、豊島区ともに中学生、高校生に共通して「楽しむため」が最も多く、次いで「興味・関心、知識を高めるため」、「課題について調べるため」と同一の順となっている。

《 読書の理由－経年比較 》



※1: 平成26年度の選択肢は「読んでおもしろいから」

※2: 平成26年度の選択肢は「知らないことがわかるから」

※3: 平成26年度の選択肢は「勉強や宿題のため」

※4: 平成26年度の選択肢は「家族や先生から本をすすめられるから」

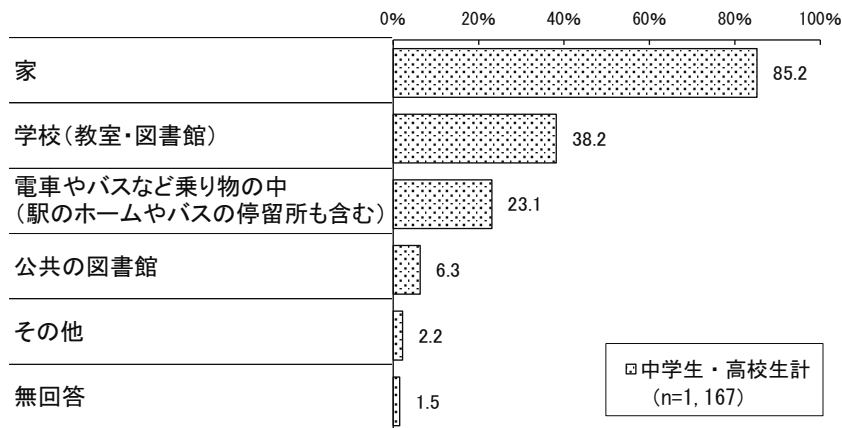
※5: 平成26年度の選択肢は「友だちが読んでいるから・友だちと本について話をするから」

前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生は「興味・関心・知識を高めるため」（平成26年度は「知らないことがわかるから」）が7.2ポイント増加しており、「友達が読むから」（平成26年度は「友だちが読んでいるから・友だちと本について話をするから」）が6.3ポイント減少している。高校生は「興味・関心・知識を高めるため」（平成26年度は「知らないことがわかるから」）が11.3ポイント、「課題について調べるため」（平成26年度は「勉強や宿題のため」）が7.2ポイント増加しており、「友達が読むから」（平成26年度は「友だちが読んでいるから・友だちと本について話をするから」）が5.0ポイント減少している。

3 読書の環境

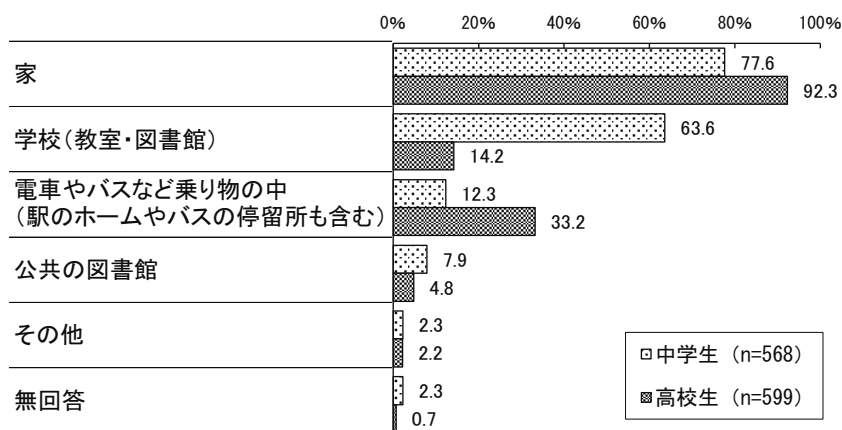
(1) 読書をする場所

問10 あなたは普段、どこで本を読んでいますか。
(あてはまる番号すべてに○)



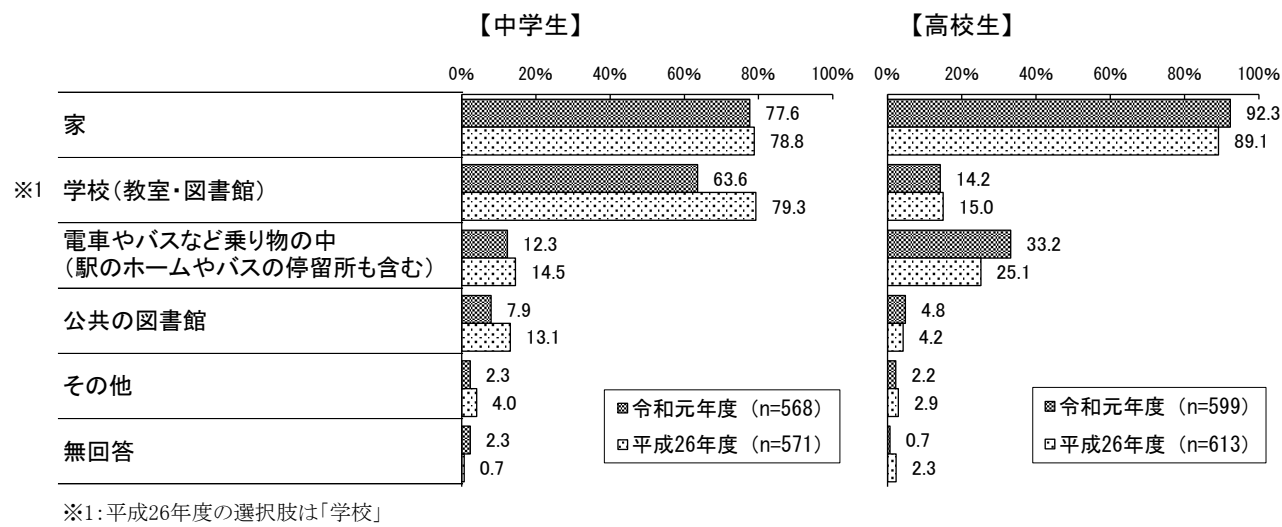
読書をする場所をたずねたところ、中学生・高校生計で「家」(85.2%)が8割台半ばと最も多く、次いで「学校(教室・図書館)」(38.2%)、「電車やバスなど乗り物の中(駅のホームやバスの停留所も含む)」(23.1%)の順となっている。

《 読書をする場所—学年別 》



学年別でみると、中学生は「家」(77.6%)が8割近くと最も多く、次いで「学校(教室・図書館)」(63.6%)、「電車やバスなど乗り物の中(駅のホームやバスの停留所も含む)」(12.3%)の順となっている。高校生は「家」(92.3%)が9割を超えて最も多く、次いで「電車やバスなど乗り物の中(駅のホームやバスの停留所も含む)」(33.2%)、「学校(教室・図書館)」(14.2%)の順となっている。

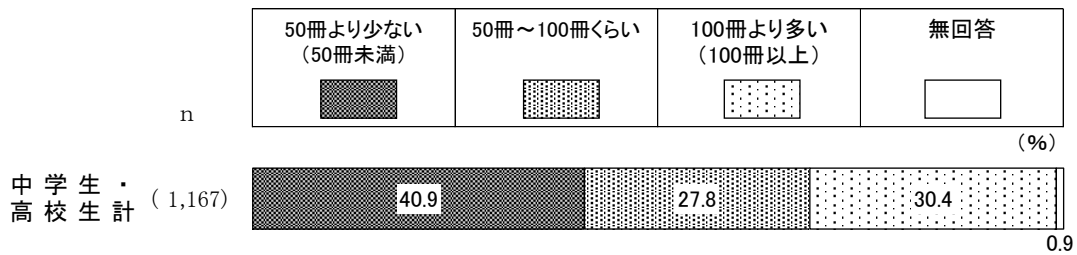
《 読書をする場所－経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生は「学校（教室・図書館）」が15.7ポイント、「公共の図書館」が5.2ポイント減少している。高校生は「電車やバスなど乗り物の中（駅のホームやバスの停留所も含む）」が8.1ポイント、「家」が3.2ポイント増加している。

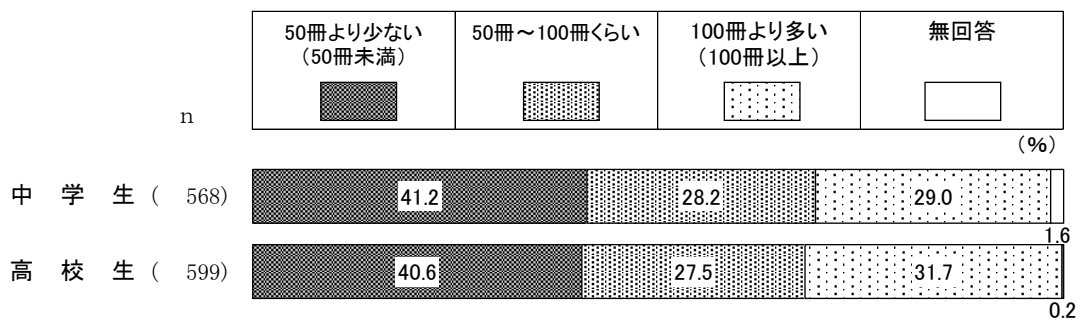
(2) 家庭内の本の冊数

問12 あなたの家には、何冊くらい本がありますか。
(あてはまる番号1つに○)



家庭内の本の冊数をたずねたところ、中学生・高校生計で「50冊より少ない（50冊未満）」（40.9%）が約4割、「100冊より多い（100冊以上）」（30.4%）が約3割、「50～100冊くらい」（27.8%）が3割近くとなっている。

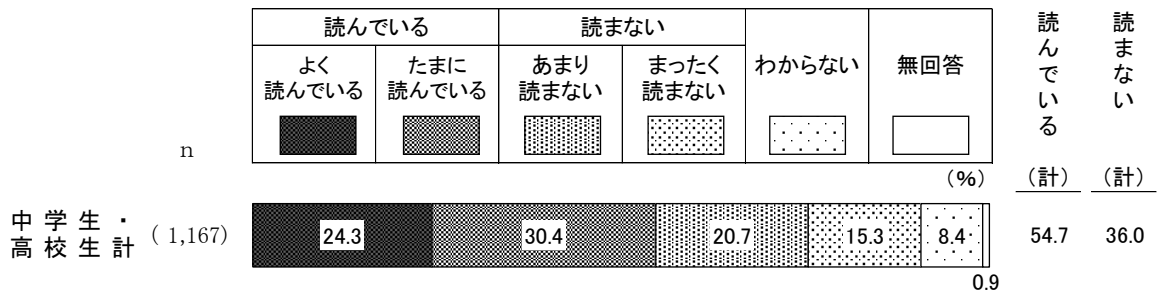
《 家庭内の本の冊数－学年別 》



学年別でみると、中学生、高校生ともに「50冊より少ない（50冊未満）」が約4割、「100冊より多い（100冊以上）」が約3割、「50～100冊くらい」が3割近くとなっている。

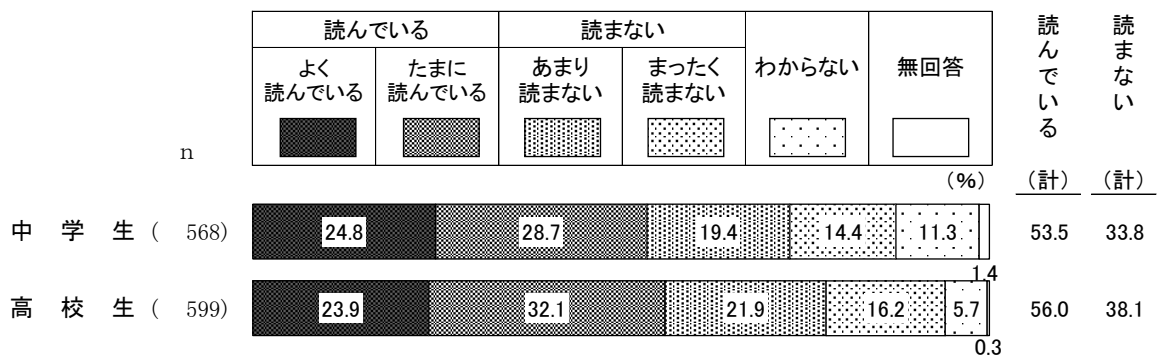
(3) 親（保護者）の読書頻度

問13 あなたの親（保護者）は普段、本を読んでいると思いますか。
（あてはまる番号1つに○）



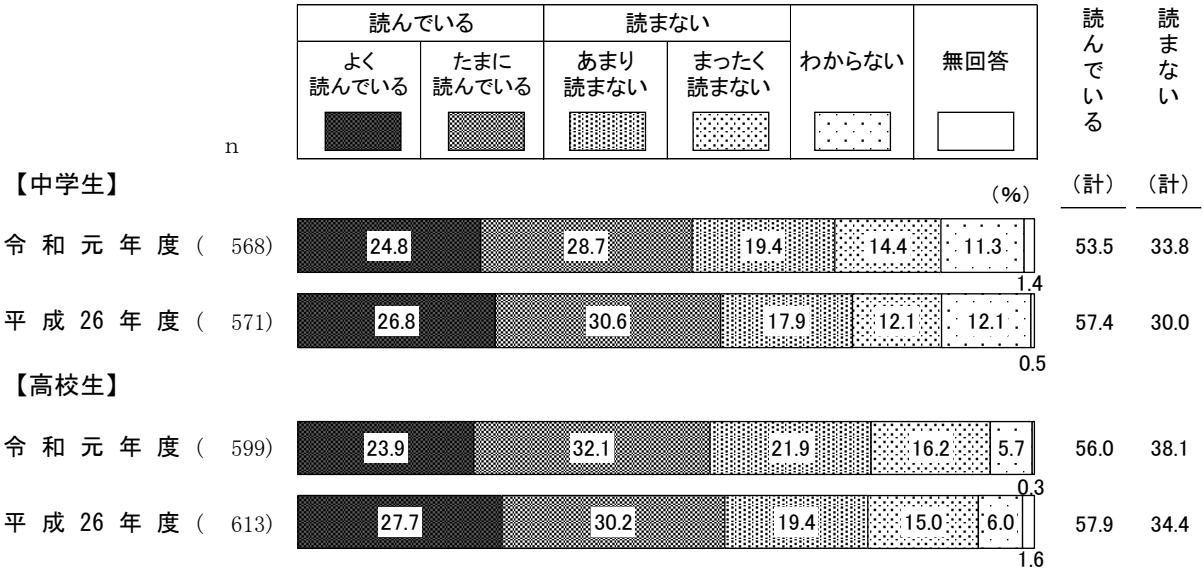
親（保護者）の読書頻度をたずねたところ、中学生・高校生計で「よく読んでいる」（24.3%）と「たまに読んでいる」（30.4%）を合わせた『読んでいる』（54.7%）は5割台半ばとなっている。

《 親（保護者）の読書頻度－学年別 》



学年別でみると、中学生は「よく読んでいる」（24.8%）と「たまに読んでいる」（28.7%）を合わせた『読んでいる』（53.5%）は5割台前半となっている。高校生は「よく読んでいる」（23.9%）と「たまに読んでいる」（32.1%）を合わせた『読んでいる』（56.0%）は5割台半ばとなっている。

《 親（保護者）の読書頻度－経年比較 》

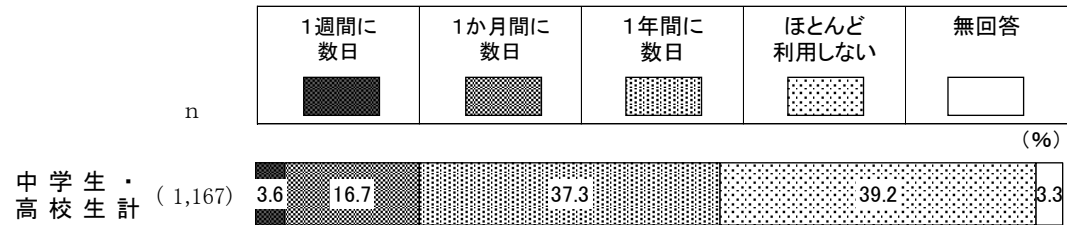


前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生は「よく読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせた『読んでいる』が3.9ポイント減少している。高校生は『読んでいる』が1.9ポイント減少している。

4 地域の図書館について

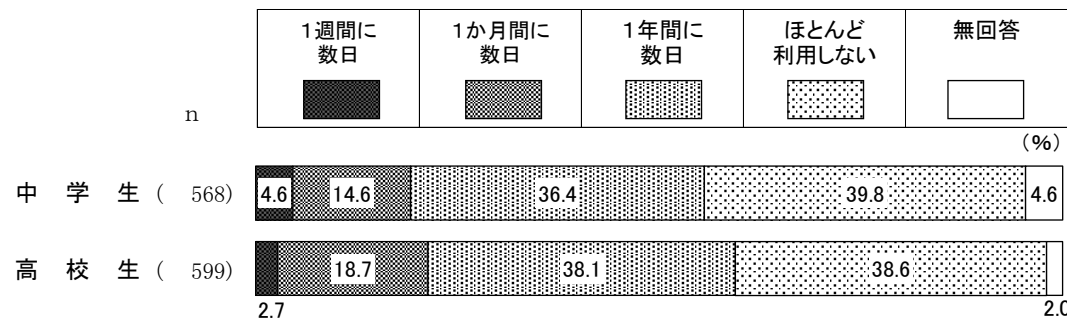
(1) 地域の図書館の過去1年間の利用頻度

問14 あなたは過去1年間に、どのくらいの頻度で地域の図書館を利用しましたか。
(あてはまる番号1つに○)



地域の図書館の過去1年間の利用頻度をたずねたところ、中学生・高校生計で「ほとんど利用しない」(39.2%)が約4割、「1年間に数日」(37.3%)が4割近く、「1か月間に数日」(16.7%)が1割台半ばとなっている。

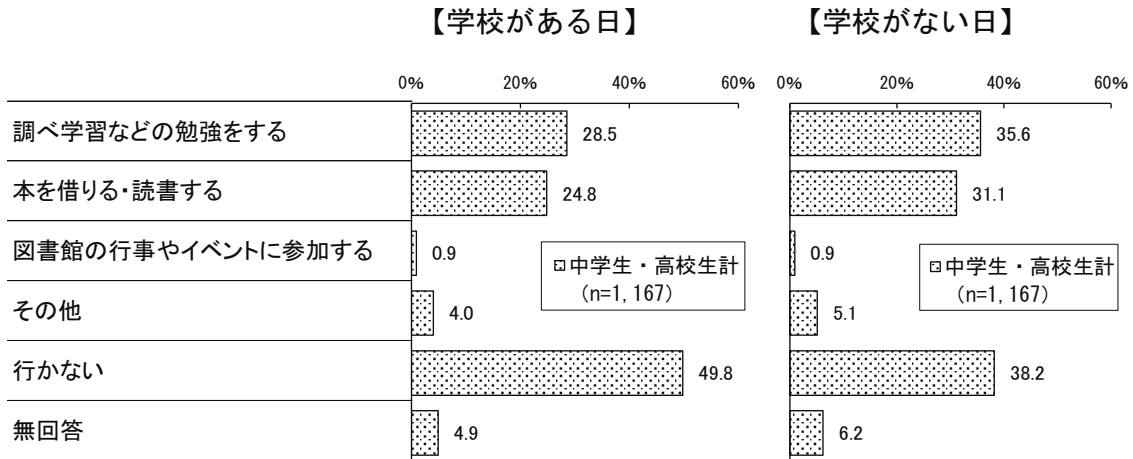
《 地域の図書館の過去1年間の利用頻度—学年別 》



学年別でみると、中学生は「ほとんど利用しない」(39.8%)が約4割、「1年間に数日」(36.4%)が3割台半ば、「1か月間に数日」(14.6%)が1割台半ばとなっている。高校生は「ほとんど利用しない」(38.6%)が4割近く、「1年間に数日」(38.1%)が4割近く、「1か月間に数日」(18.7%)が2割近くとなっている。

(2) 地域の図書館の利用目的

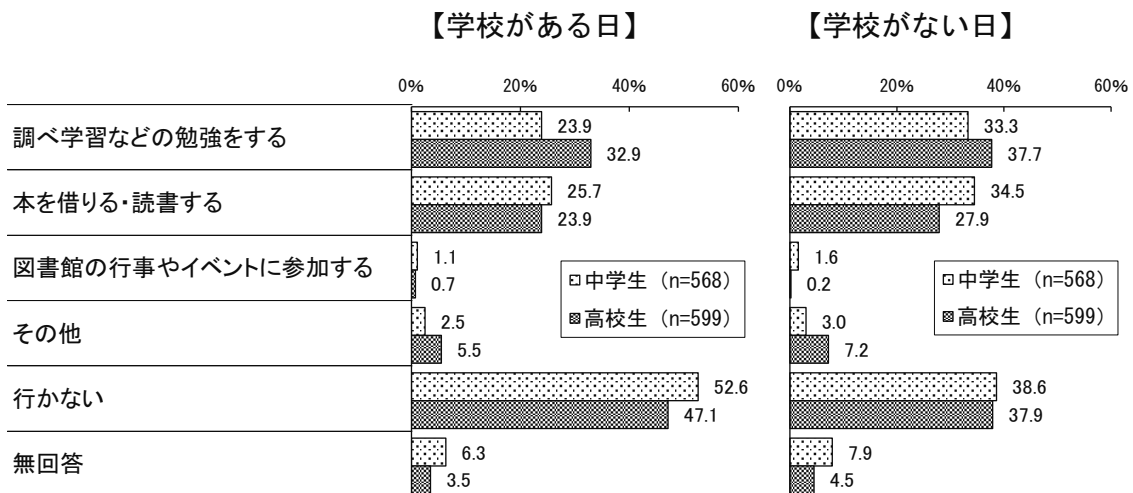
問15 地域の図書館を利用する（行く）目的は何ですか。
 学校がある日、学校がない日それぞれについてお聞かせください。
 （あてはまる番号すべてに○）



地域の図書館の利用目的をたずねたところ、学校がある日は中学生・高校生計で「調べ学習などの勉強をする」（28.5%）が3割近くと最も多く、次いで「本を借りる・読書する」（24.8%）が2割台半ばとなっており、「行かない」（49.8%）が約5割となっている。

学校がない日は中学生・高校生計で「調べ学習などの勉強をする」（35.6%）が3割台半ばと最も多く、次いで「本を借りる・読書する」（31.1%）が3割台前半となっており、「行かない」（38.2%）が4割近くとなっている。

《 地域の図書館の利用目的—学年別 —》



学年別でみると、学校がある日は中学生は「本を借りる・読書する」（25.7%）が2割台半ば、「調べ学習などの勉強をする」（23.9%）が2割台となっており、「行かない」（52.6%）が5割を超えている。高校生は「調べ学習などの勉強をする」（32.9%）が3割台前半、「本を借りる・読書する」（23.9%）が2割台前半となっており、「行かない」（47.1%）が5割近くとなっている。

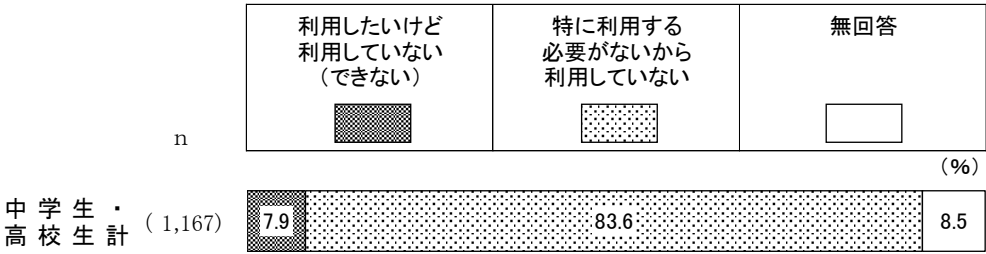
学校がない日は中学生は「本を借りる・読書する」（34.5%）が3割台半ば、「調べ学習などの勉強をする」（33.3%）が3割台となっており、「行かない」（38.6%）が4割近くとなっている。高校生は「調べ学習などの勉強をする」（37.7%）が4割近く、「本を借りる・読書する」（27.9%）が3割近くとなっており、「行かない」（37.9%）が4割近くとなっている。

(3) 地域の図書館を利用していない状況

【次の問16は、問14で「4. ほとんど利用しない」と答えた方にお聞きします】

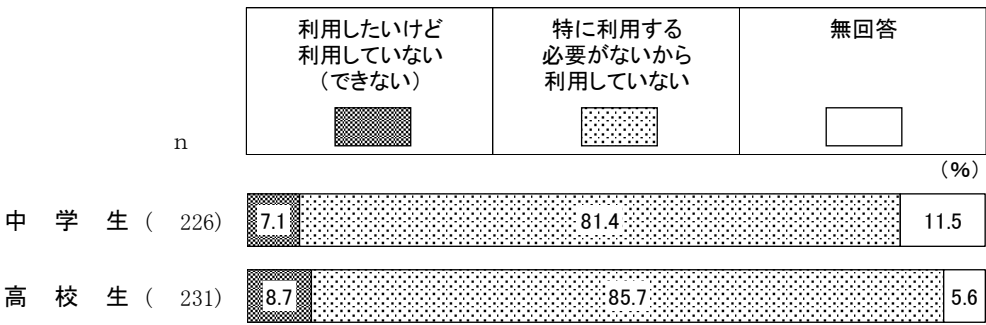
問16 地域の図書館を、過去1年間に利用していないのは、次のうちどちらにあてはまりますか。

(あてはまる番号1つに○)



地域の図書館を過去1年間に利用していないと回答した生徒に地域の図書館を利用していない状況をたずねたところ、中学生・高校生計で「特に利用する必要がないから利用していない」(83.6%)が8割を超えている。

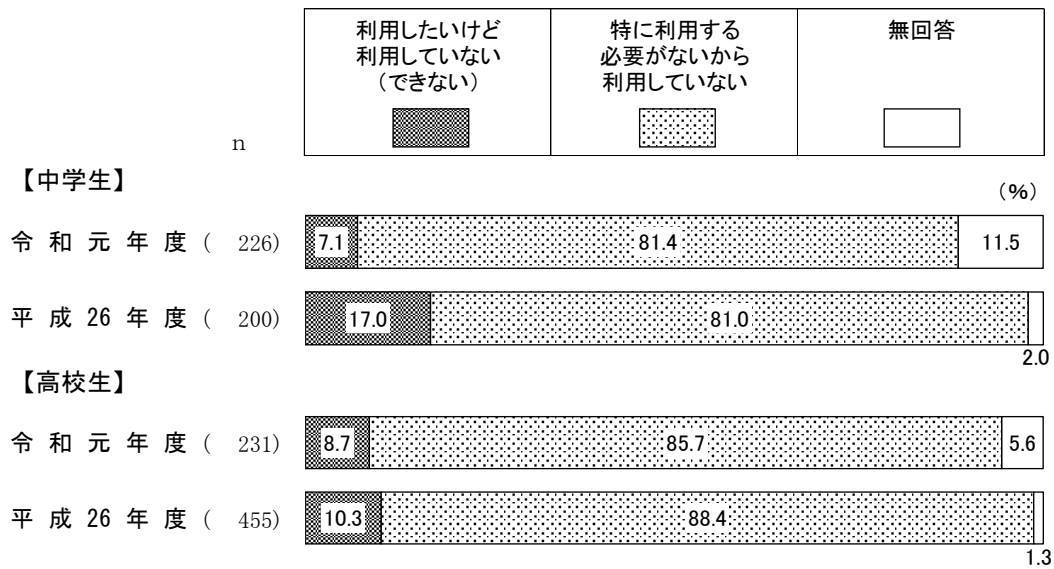
《 地域の図書館を利用していない状況－学年別 》



学年別でみると、「特に利用する必要がないから利用していない」が中学生(81.4%)は8割を超え、高校生(85.7%)は8割台半ばとなっている。

《 地域の図書館を利用していない状況－経年比較 》

※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取

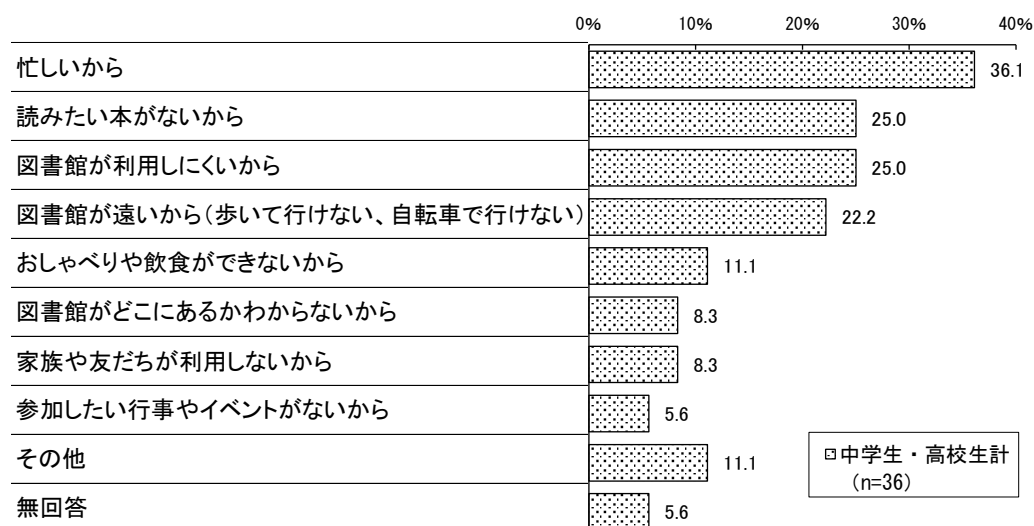


前回調査（平成26年度）と比較すると、中学生は「利用したいけど利用していない（できない）」が9.9ポイント減少している。

(4) 地域の図書館を使用したいが利用していない(できない)理由

【次の問17は、問16で「1. 利用したいけど利用していない(できない)」と答えた方にお聞きします】

問17 地域の図書館を利用したいけど利用していない(できない)理由をお聞かせください。
(あてはまる番号すべてに○)

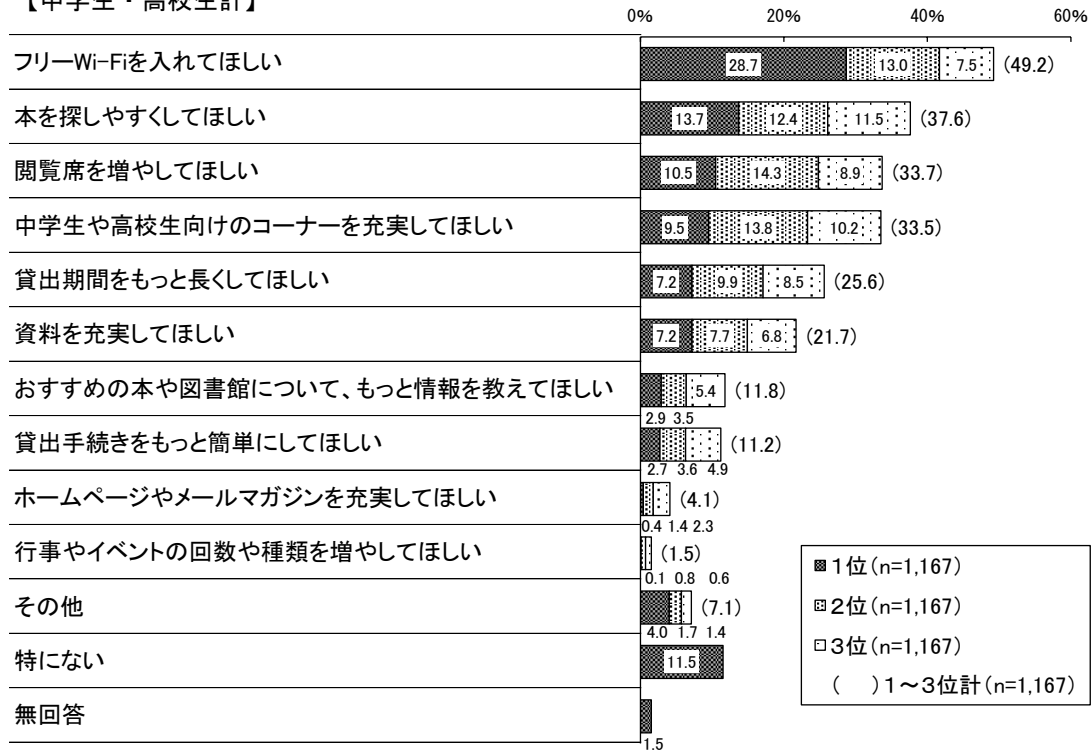


地域の図書館を利用したいけど利用していない(できない)と回答した生徒に理由をたずねたところ、中学生・高校生計で「忙しいから」(36.1%)が3割台半ばと最も多く、次いで「読みたい本がないから」、「図書館が利用しにくいから」(ともに25.0%)、「図書館が遠いから(歩いて行けない、自転車で行けない)」(22.2%)の順となっている。

(5) 地域の図書館の改善点・要望

問18 地域の図書館について、改善してもらいたい点やこうすればもっと利用したくなる（行きたくなる）と思う点がありますか。次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

【中学生・高校生計】



地域の図書館の改善点・要望をたずねたところ、中学生・高校生計で1～3位計は「フリーWi-Fiを入れてほしい」（49.2％）が約5割と最も多く、次いで「本を探しやすくしてほしい」（37.6％）、「閲覧席を増やしてほしい」（33.7％）、「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」（33.5％）の順となっている。

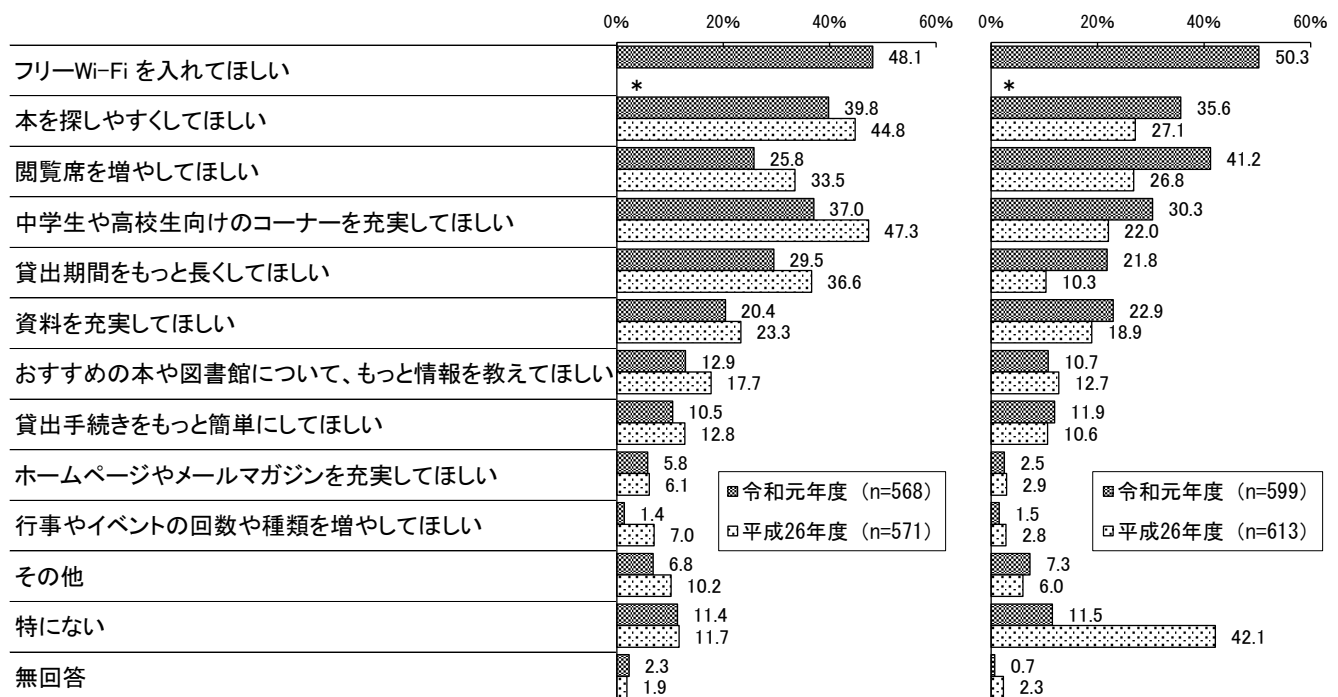
《 地域の図書館の改善点・要望－経年比較 》

※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取

【1～3位計】

【中学生】

【高校生】



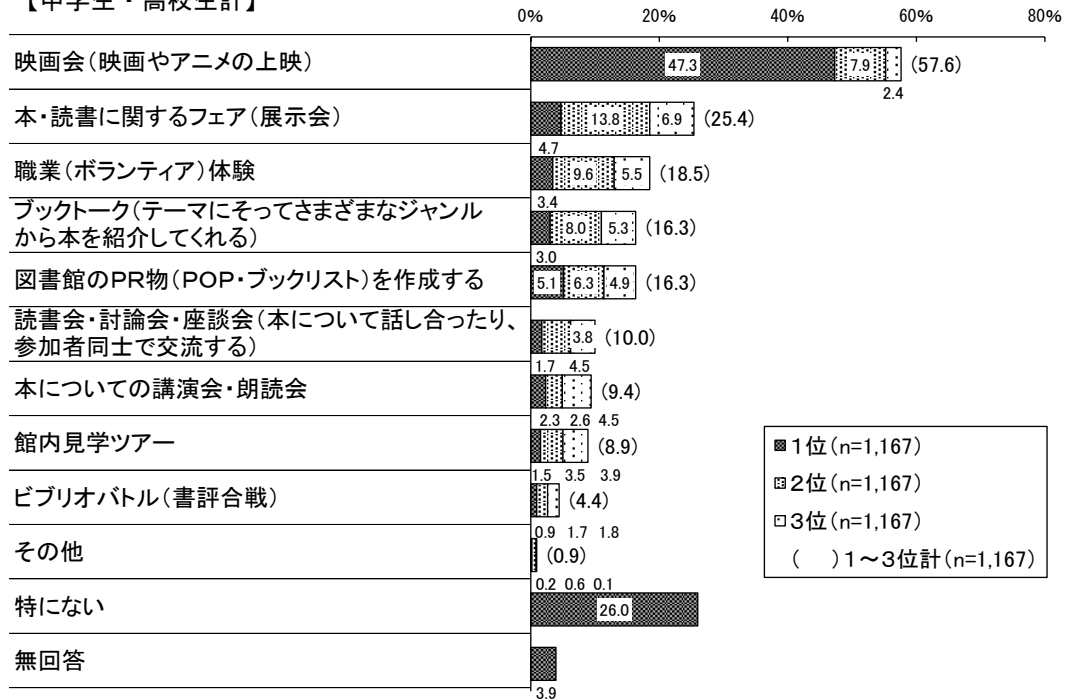
※図中「*」:平成26年度は非聴取

前回調査（平成26年度）と1～3位計を比較すると、中学生は前回調査（平成26年度）では多い順に「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」、「本を探しやすくしてほしい」、「貸出期間をもっと長くしてほしい」となっており、今回調査では多い順に「フリーWi-Fiを入れてほしい」、「本を探しやすくしてほしい」、「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」となっている。高校生は前回調査（平成26年度）では多い順に「特にない」、「本を探しやすくしてほしい」、「閲覧席を増やしてほしい」となっており、今回調査では多い順に「フリーWi-Fiを入れてほしい」、「閲覧席を増やしてほしい」、「本を探しやすくしてほしい」となっている。（なお、「フリーWi-Fiを入れてほしい」は今回調査で新たに選択肢として追加している。また、前回調査では豊島区立図書館に限定して聴取しており、高校生は豊島区に居住していない生徒も含まれるため「特にない」の割合が多かったと考えられる）。

(6) 参加してみたい地域の図書館のイベント

問19 あなたは、地域の図書館でどのようなイベントに参加したいと思いますか。
次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。
※すべて無料です。

【中学生・高校生計】



参加してみたい地域の図書館のイベントをたずねたところ、中学生・高校生計で1～3位計は「映画会(映画やアニメの上映)」(57.6%)が6割近くと最も多く、次いで「本・読書に関するフェア(展示会)」(25.4%)、「職業(ボランティア)体験」(18.5%)の順となっている。

5 相関関係 (クロス集計)

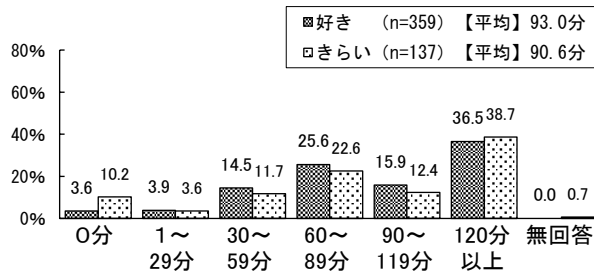
(1) 読書の嗜好別

※「好き」＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計、「きらい」＝「どちらかといえばきらい」＋「きらい」の計

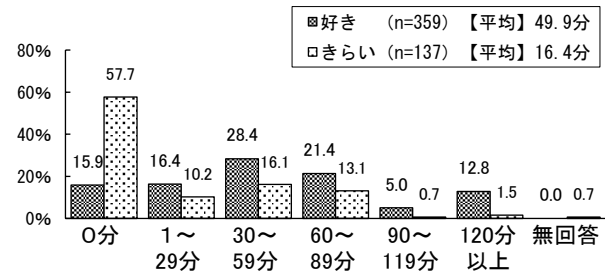
問1：読書とその他の行動時間

【中学生】

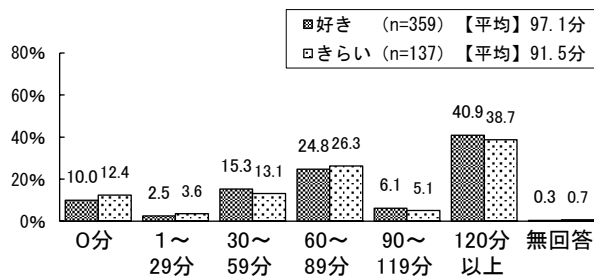
①勉強や宿題をする（塾を含めて）



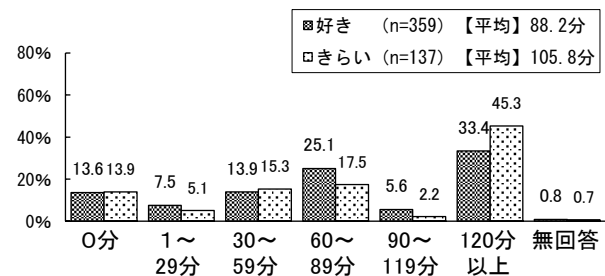
②本・マンガ・雑誌などを読む



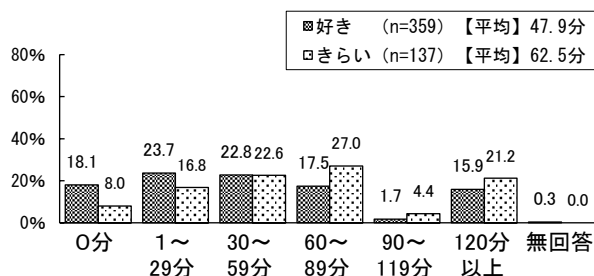
③テレビやDVDをみる



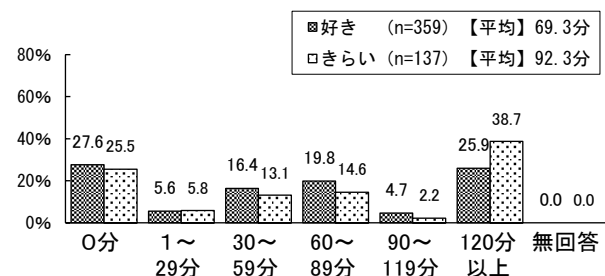
④インターネットをする



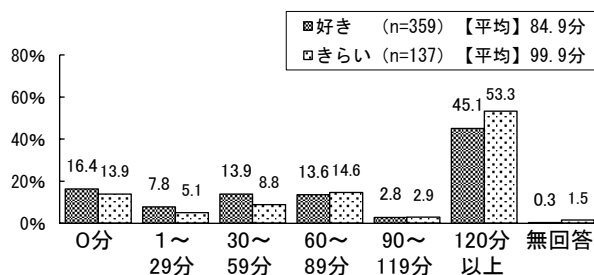
⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする



⑥ゲームをする



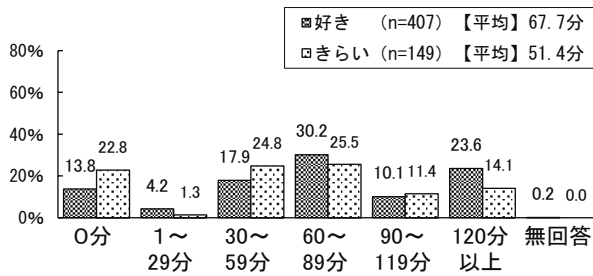
⑦スポーツなど体を動かす



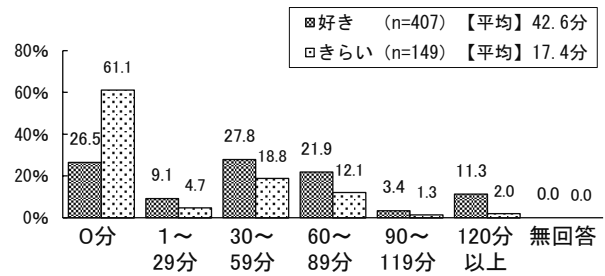
読書とその他の行動時間の平均を読書の嗜好別でみると、中学生は②本・マンガ・雑誌などを読むは読書が好きと回答した生徒が49.9分、きらいと回答した生徒が16.4分となっている。読書がきらいと回答した生徒が好きと回答した生徒より差が大きい順に⑥ゲームをする、④インターネットをする、⑦スポーツなど体を動かす、⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをするが多くなっている。

【高校生】

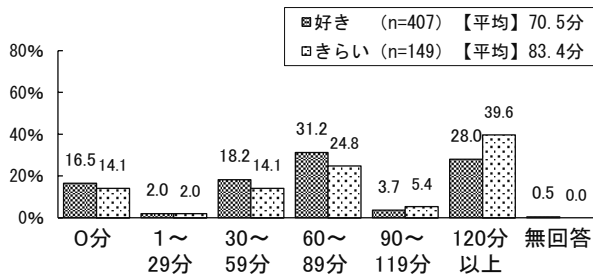
①勉強や宿題をする(塾を含めて)



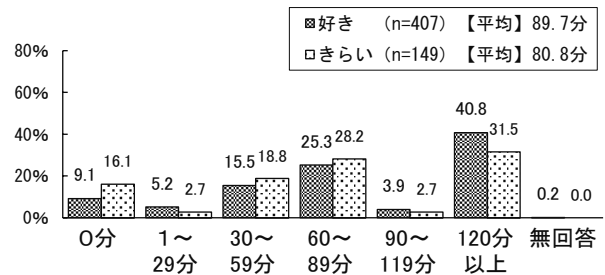
②本・マンガ・雑誌などを読む



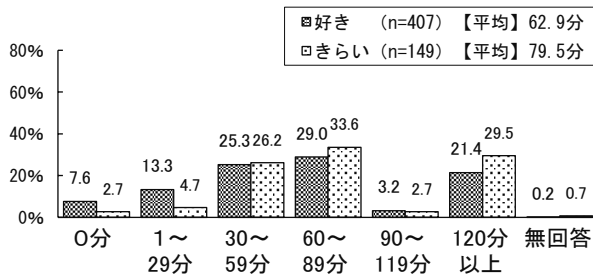
③テレビやDVDをみる



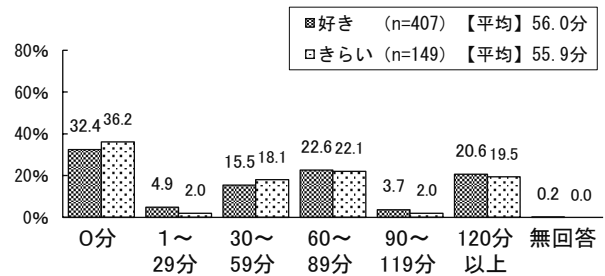
④インターネットをする



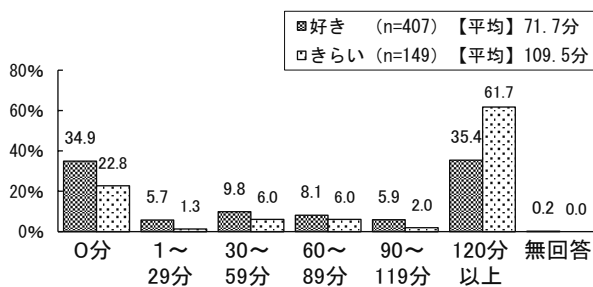
⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをする



⑥ゲームをする



⑦スポーツなど体を動かす



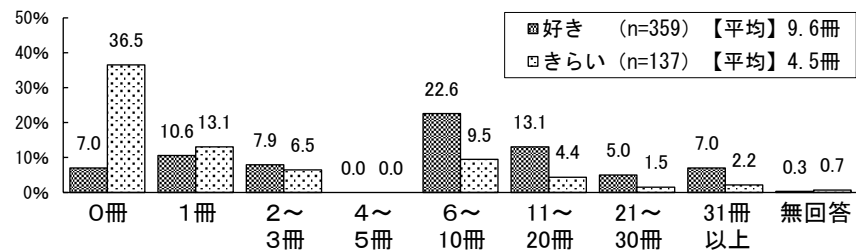
読書とその他の行動時間の平均を読書の嗜好別でみると、高校生は②本・マンガ・雑誌などを読むは読書が好きと回答した生徒が42.6分、きらいと回答した生徒が17.4分となっている。読書がきらいと回答した生徒が好きと回答した生徒より差が大きい順に⑦スポーツなど体を動かす、⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをする、③テレビやDVDをみるが多くなっている。

問3：1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

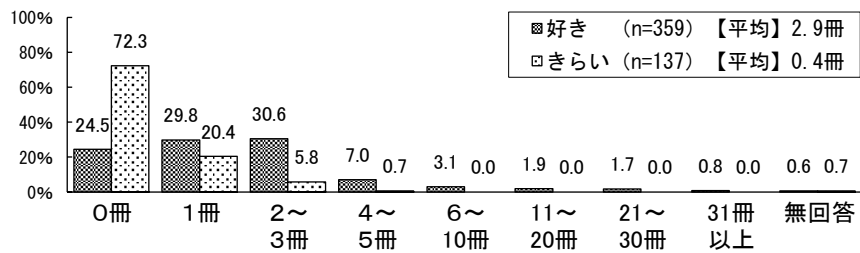
【紙の本】

【中学生】

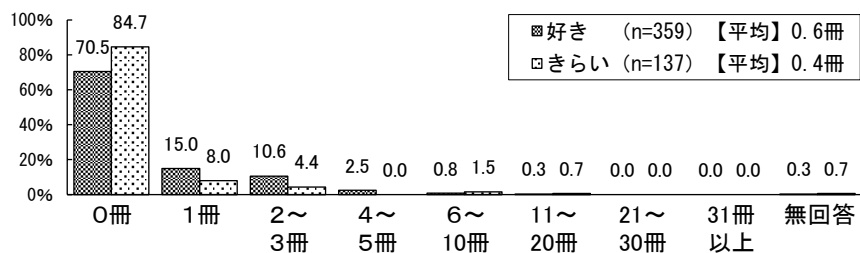
<合計>



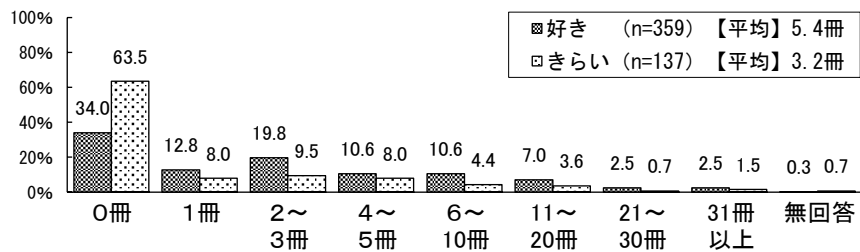
①書籍・絵本



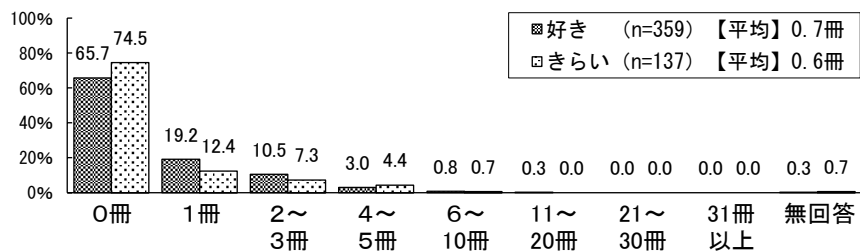
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

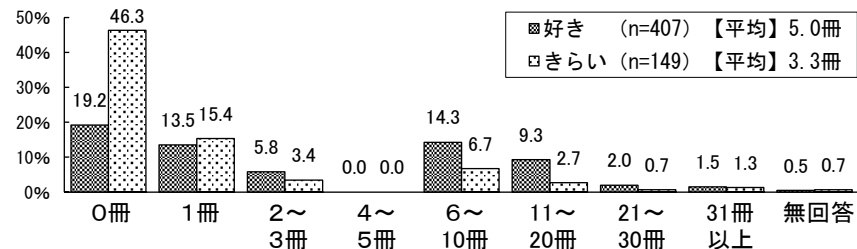


紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、中学生の平均は合計で読書が好きと回答した生徒（9.6冊）はきらいと回答した生徒（4.5冊）より5.1冊多くなっている。①書籍・絵本は読書が好きと回答した生徒（2.9冊）はきらいと回答した生徒（0.4冊）より2.5冊多く、③マンガ・コミックは読書が好きと回答した生徒（5.4冊）はきらいと回答した生徒（3.2冊）より2.2冊多くなっている。合計「0冊」（不読率）と回答した生徒を読書の嗜好別でみると、好き7.0%、きらい36.5%で、29.5ポイント差がある。

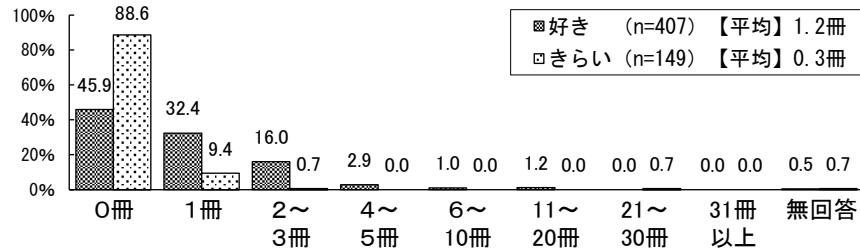
【紙の本】

【高校生】

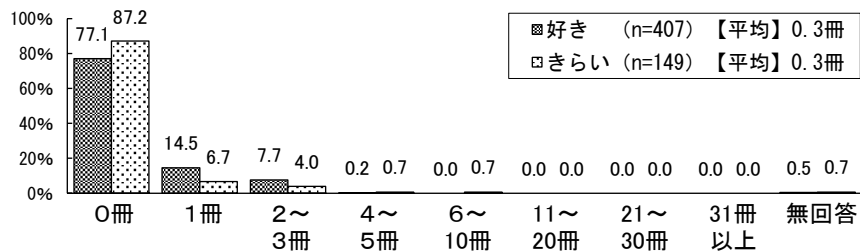
<合計>



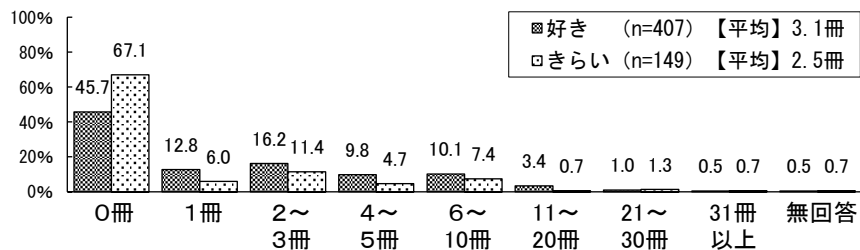
①書籍・絵本



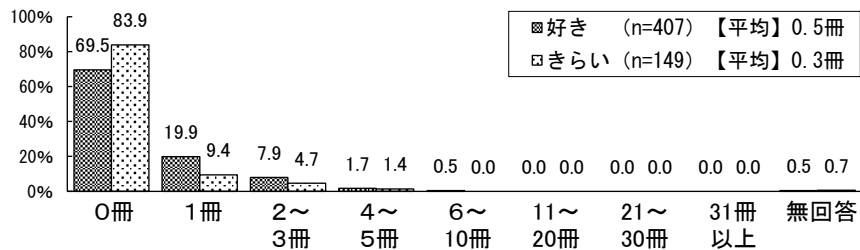
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



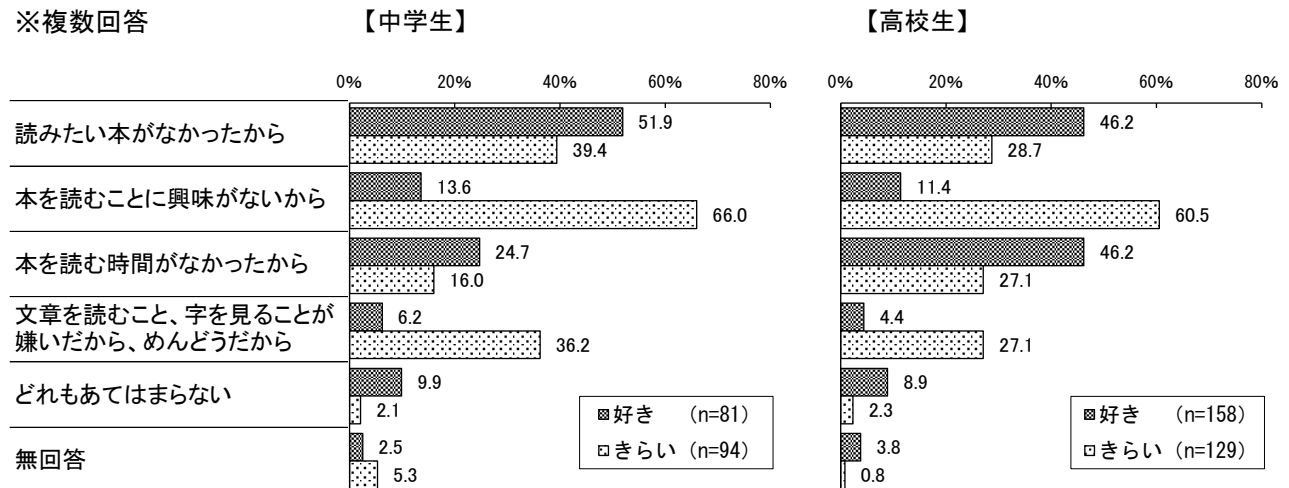
④雑誌



紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、高校生の平均は合計で読書が好きと回答した生徒（5.0冊）はきらいと回答した生徒（3.3冊）より1.7冊多くなっている。①書籍・絵本は読書が好きと回答した生徒（1.2冊）はきらいと回答した生徒（0.3冊）より0.9冊多くなっている。合計「0冊」（不読率）と回答した生徒を読書の嗜好別でみると、好き19.2%、きらい46.3%で、27.1ポイント差がある。

問4：本（「書籍・絵本」）を読まない理由

※複数回答



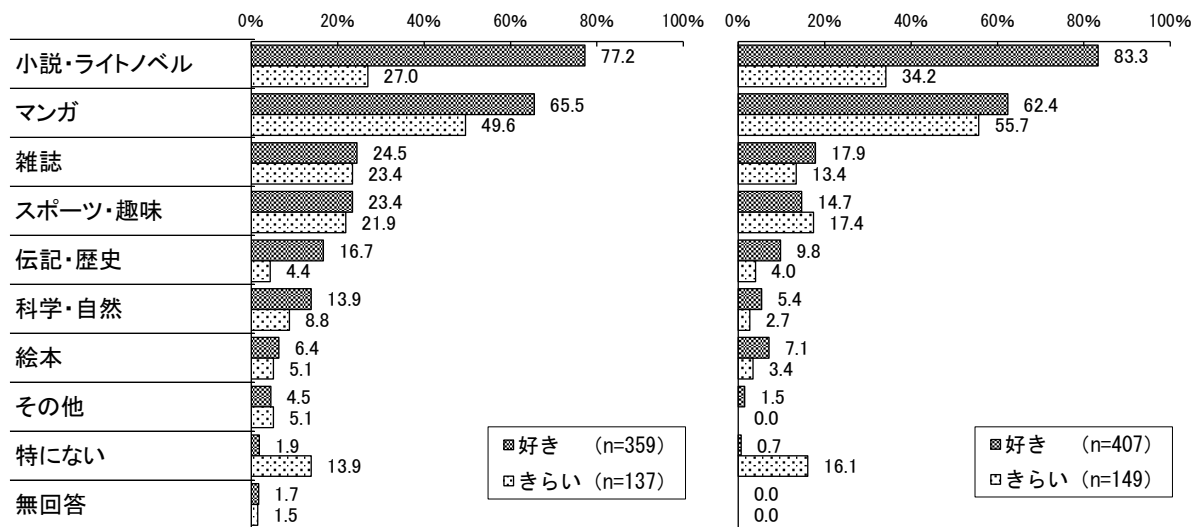
本（「書籍・絵本」）を読まない理由を読書の嗜好別でみると、中学生、高校生ともに読書が好きと回答した生徒は「読みたい本がなかったから」、「本を読む時間がなかったから」が多く、読書がきらいと回答した生徒は「本を読むことに興味がないから」、「文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから、めんどうだから」が多くなっている。

問6：好きな本の分野・ジャンル

※複数回答

【中学生】

【高校生】



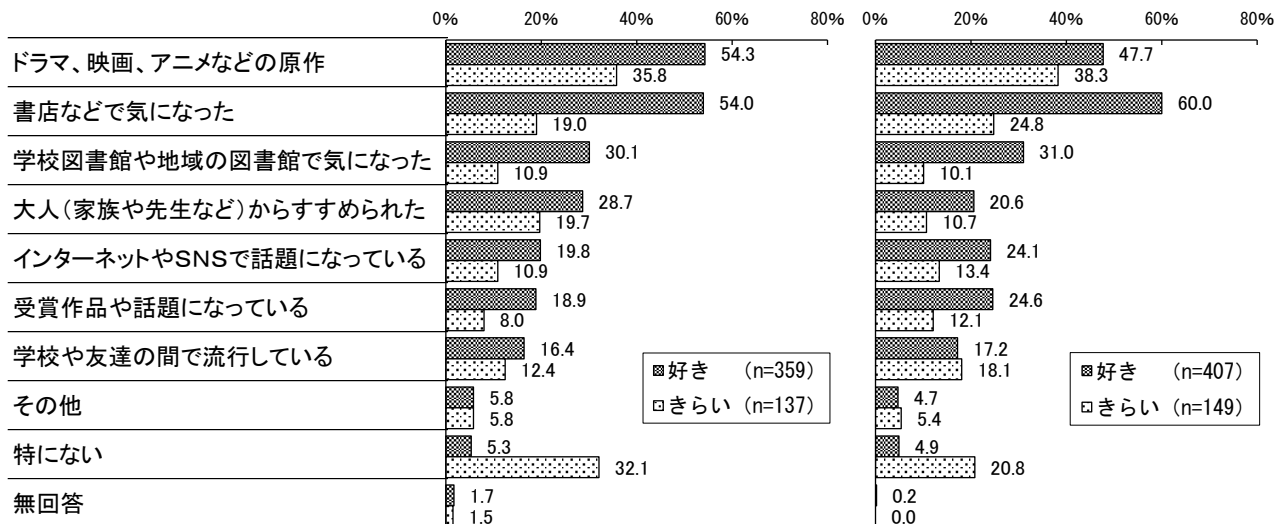
好きな本の分野・ジャンルを読書の嗜好別でみると、中学生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「小説・ライトノベル」(77.2%)、「マンガ」(65.5%)、「雑誌」(24.5%)となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「マンガ」(49.6%)、「小説・ライトノベル」(27.0%)、「雑誌」(23.4%)となっている。高校生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「小説・ライトノベル」(83.3%)、「マンガ」(62.4%)、「雑誌」(17.9%)となっている、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「マンガ」(55.7%)、「小説・ライトノベル」(34.2%)、「スポーツ・趣味」(17.4%)となっている。

問7：本を読んでみようと思うきっかけ

※複数回答

【中学生】

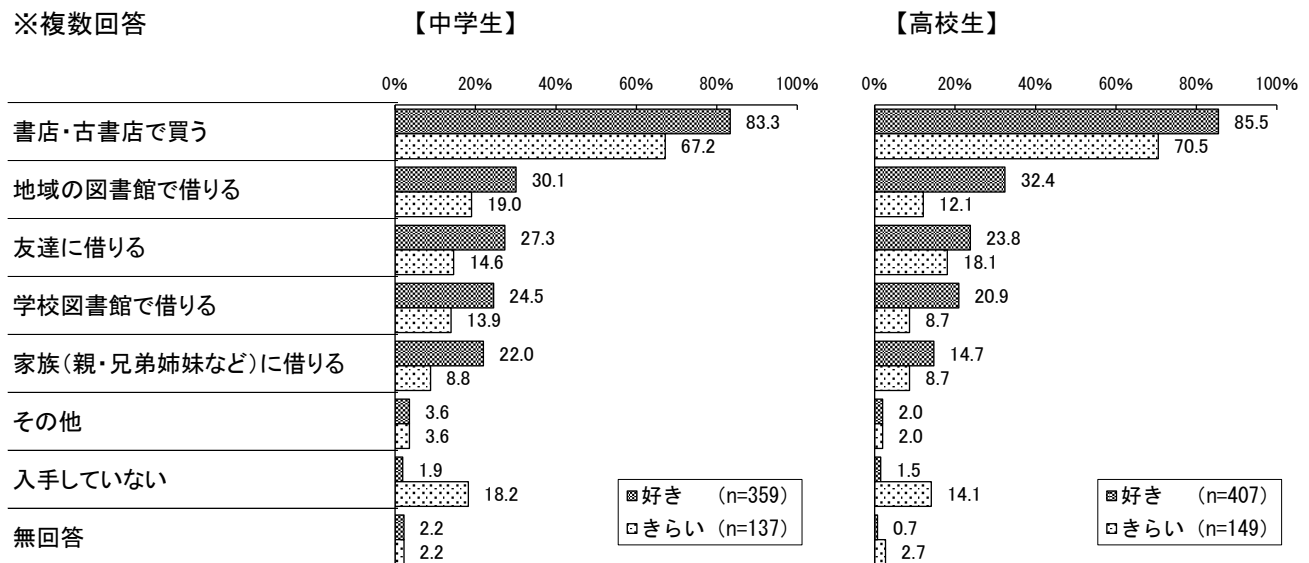
【高校生】



本を読んでみようと思うきっかけを読書の嗜好別でみると、中学生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(54.3%)、「書店などで気になった」(54.0%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」(30.1%)となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(35.8%)、「特にな」(32.1%)、「大人(家族や先生など)からすすめられた」(19.7%)となっている。高校生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「書店などで気になった」(60.0%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(47.7%)、「学校図書館や地域の図書館で気になった」(31.0%)となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(38.3%)、「書店などで気になった」(24.8%)、「特にな」(20.8%)となっている。

問8：読みたい本の入手方法【紙の本】

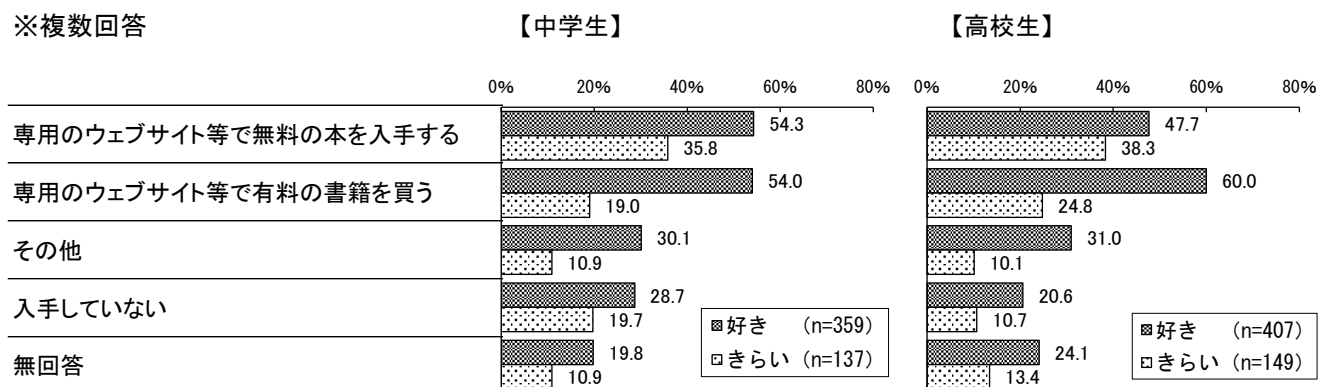
※複数回答



紙の本について読みたい本の入手方法を読書の嗜好別でみると、中学生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「書店・古書店で買う」（83.3%）、「地域の図書館で借りる」（30.1%）、「友達に借りる」（27.3%）となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「書店・古書店で買う」（67.2%）、「地域の図書館で借りる」（19.0%）、「入手していない」（18.2%）となっている。高校生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「書店・古書店で買う」（85.5%）、「地域の図書館で借りる」（32.4%）、「友達に借りる」（23.8%）となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「書店・古書店で買う」（70.5%）、「友達に借りる」（18.1%）、「入手していない」（14.1%）となっている。

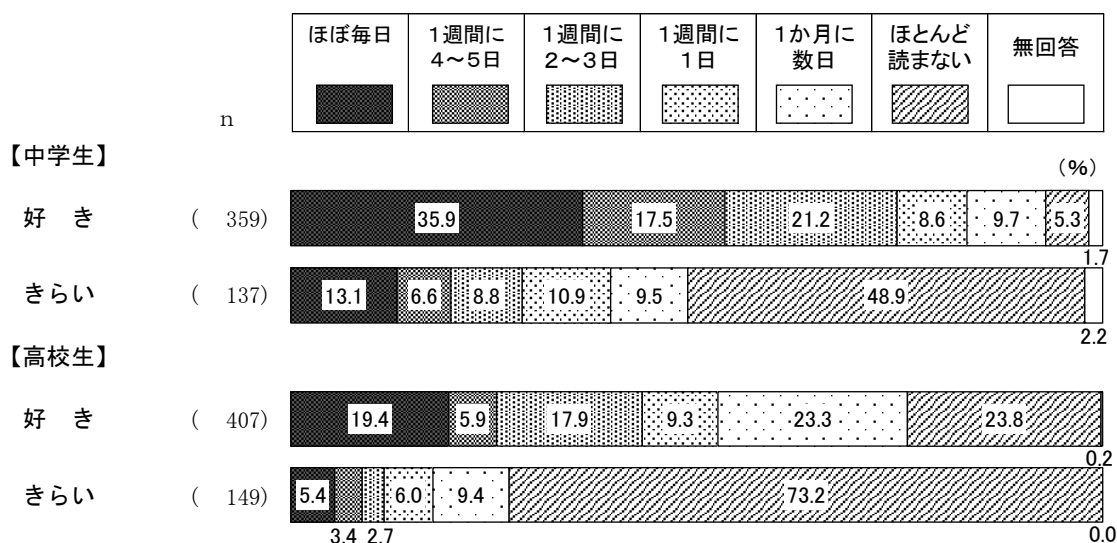
問8：読みたい本の入手方法【電子書籍】

※複数回答



電子書籍について読みたい本の入手方法を読書の嗜好別でみると、中学生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」（54.3%）、「専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う」（54.0%）、「その他」（30.1%）となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」（35.8%）、「入手していない」（19.7%）、「専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う」（19.0%）となっている。高校生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う」（60.0%）、「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」（47.7%）、「その他」（31.0%）となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」（38.3%）、「専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う」（24.8%）、「入手していない」（10.7%）となっている。

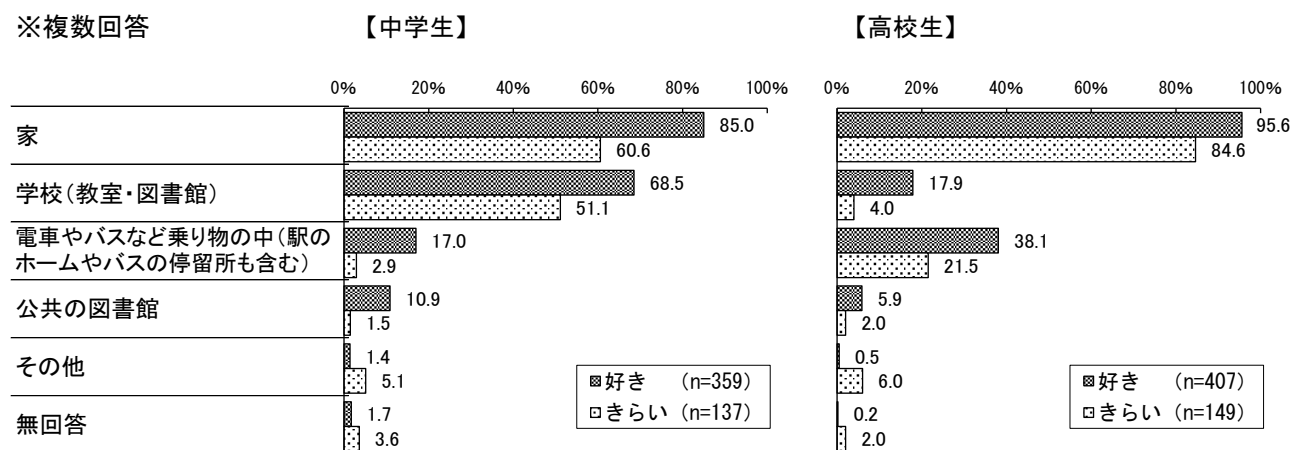
問9：読書頻度



読書頻度を読書の嗜好別でみると、中学生は「ほぼ毎日」は読書が好きと回答した生徒（35.9%）が3割台半ばに対し、きらいと回答した生徒（13.1%）は1割台前半となっている。一方、読書がきらいと回答した生徒は「ほとんど読まない」（48.9%）が5割近くとなっている。高校生は「ほぼ毎日」は読書が好きと回答した生徒（19.4%）が約2割に対し、きらいと回答した生徒（5.4%）は1割を下回っている。一方、読書がきらいと回答した生徒は「ほとんど読まない」（73.2%）が7割を超えている。

問10：読書をする場所

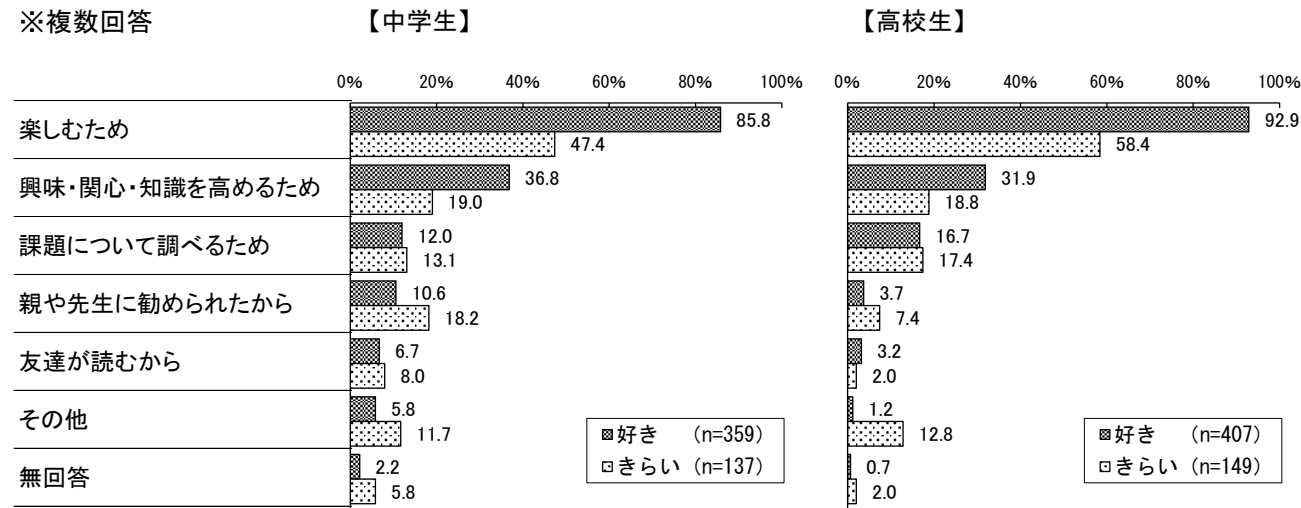
※複数回答



読書をする場所を読書の嗜好別でみると、中学生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「家」（85.0%）、「学校（教室・図書館）」（68.5%）、「電車やバスなど乗り物の中（駅のホームやバスの停留所も含む）」（17.0%）となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「家」（60.6%）、「学校（教室・図書館）」（51.1%）、「その他」（5.1%）となっている。高校生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「家」（95.6%）、「電車やバスなど乗り物の中（駅のホームやバスの停留所も含む）」（38.1%）、「学校（教室・図書館）」（17.9%）となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「家」（84.6%）、「電車やバスなど乗り物の中（駅のホームやバスの停留所も含む）」（21.5%）、「その他」（6.0%）となっている。

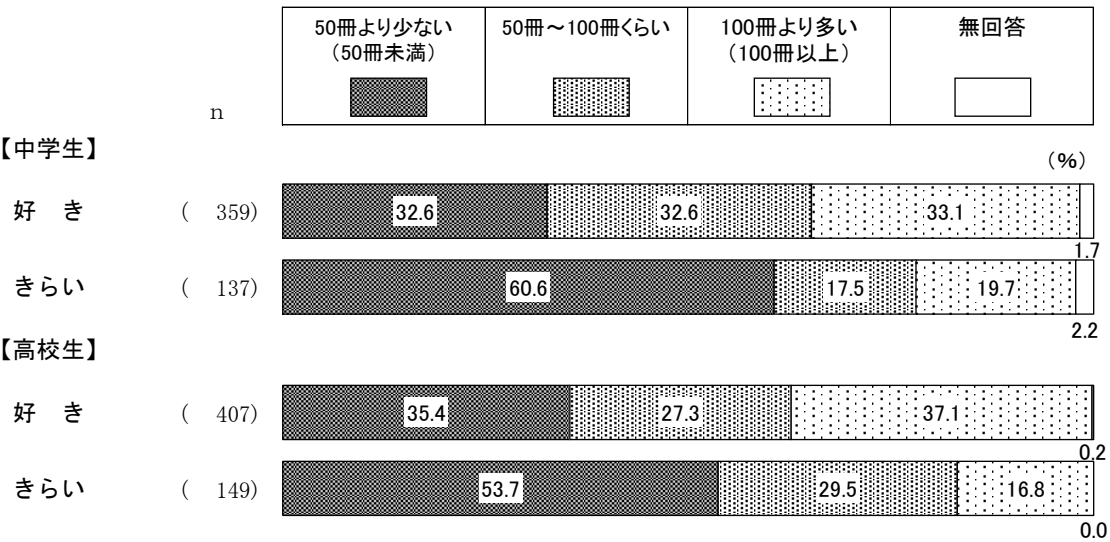
問11：読書の理由

※複数回答



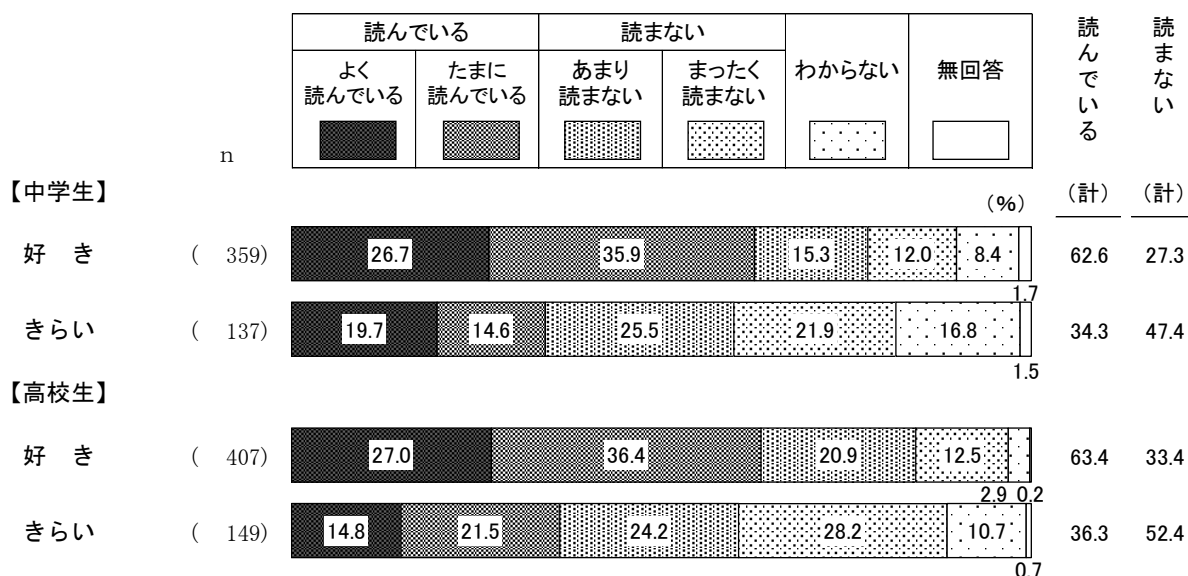
読書の理由を読書の嗜好別でみると、中学生は読書が好きと回答した生徒は多い順に「楽しむため」、「興味・関心・知識を高めるため」、「課題について調べるため」となっており、読書がきらいと回答した生徒は多い順に「楽しむため」、「興味・関心・知識を高めるため」、「親や先生に勧められたから」となっている。高校生は読書が好きと回答した生徒、きらいと回答した生徒ともに多い順に「楽しむため」、「興味・関心・知識を高めるため」、「課題について調べるため」となっている。

問12：家庭内の本の冊数



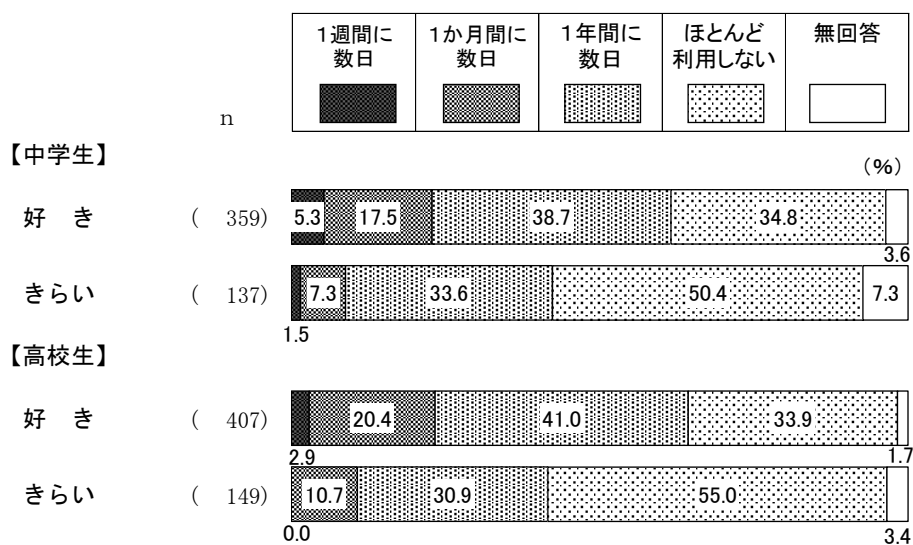
家庭内の本の冊数を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した生徒はきらいと回答した生徒より家庭内の本の冊数が多い傾向となっており、中学生は読書が好きと回答した生徒はきらいと回答した生徒より「100冊より多い (100冊以上)」が13.4ポイント多く、きらいと回答した生徒は好きと回答した生徒より「50冊より少ない (50冊未満)」が28.0ポイント多くなっている。高校生は読書が好きと回答した生徒はきらいと回答した生徒より「100冊より多い (100冊以上)」が20.3ポイント多く、きらいと回答した生徒は好きと回答した生徒より「50冊より少ない (50冊未満)」が18.3ポイント多くなっている。

問13：親（保護者）の読書頻度



子どもからみた親（保護者）の読書頻度を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した生徒はきらいと回答した生徒より親（保護者）が『読んでいる』とする割合が多くなっており、中学生（62.6%）、高校生（63.4%）ともに6割を超えている。一方、読書がきらいと回答した生徒は親（保護者）が『読まない』とする割合が中学生（47.4%）は5割近く、高校生（52.4%）は5割を超えている。

問14：地域の図書館の過去1年間の利用頻度

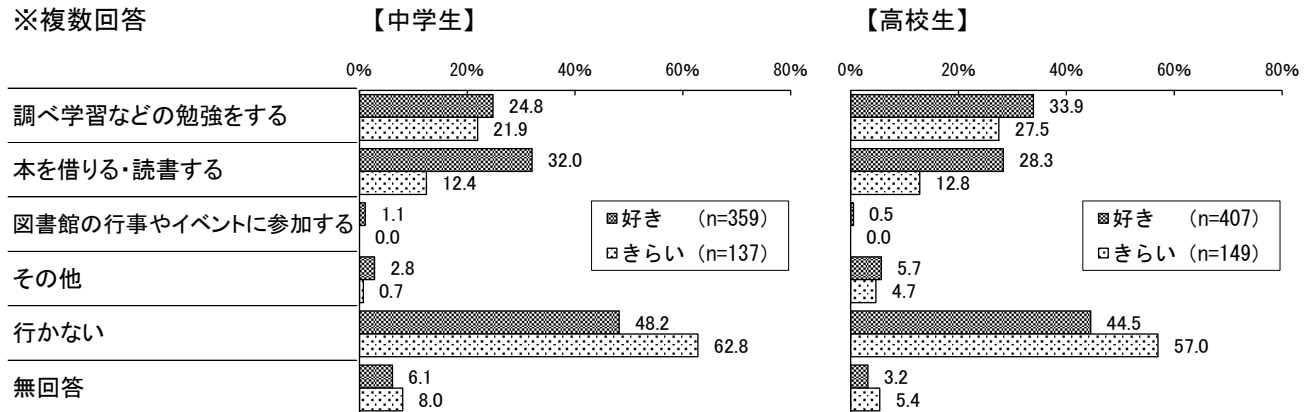


地域の図書館の過去1年間の利用頻度を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した生徒はきらいと回答した生徒より中学生は「1週間に数日」が3.8ポイント、「1か月間に数日」が10.2ポイント、「1年間に数日」が5.1ポイント多くなっている。高校生は「1週間に数日」が2.9ポイント、「1か月間に数日」が9.7ポイント、「1年間に数日」が10.1ポイント多くなっている。一方、読書がきらいと回答した生徒は好きと回答した生徒より「ほとんど利用しない」が中学生は15.6ポイント、高校生は21.1ポイント多くなっている。

問15：地域の図書館の利用目的

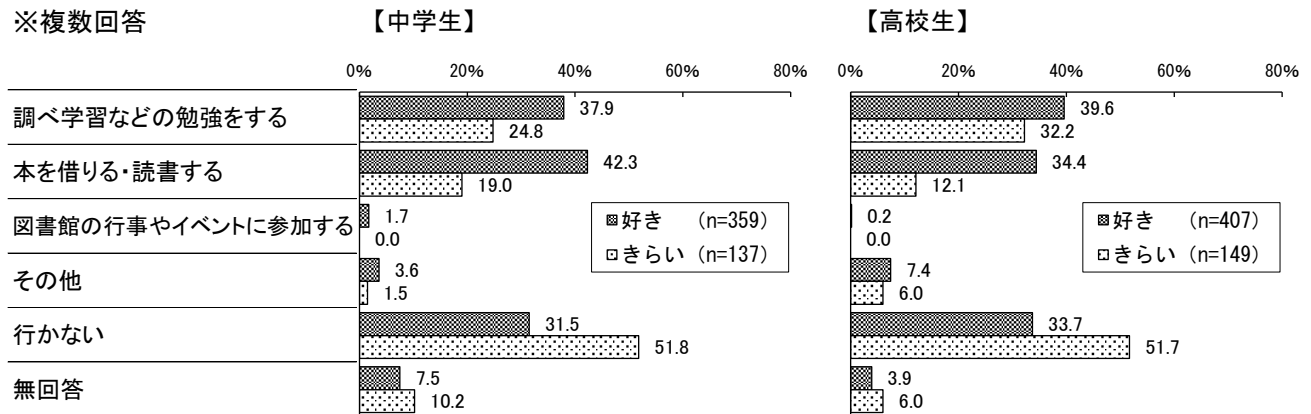
【学校がある日】

※複数回答



【学校がない日】

※複数回答



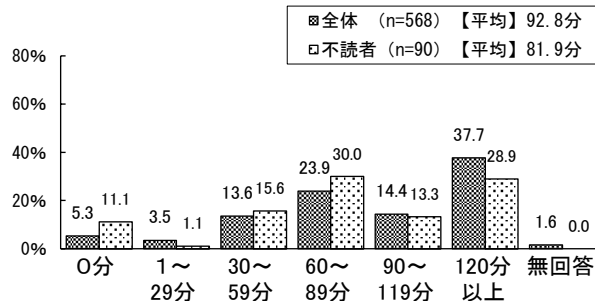
地域の図書館の利用目的を読書の嗜好別でみると、学校がある日、ない日いずれも、中学生、高校生ともに読書が好きと回答した生徒はきらいと回答した生徒より「本を借りる・読書する」が多くなっている。

(2) 不読者(「紙の本の合計0冊」回答者)

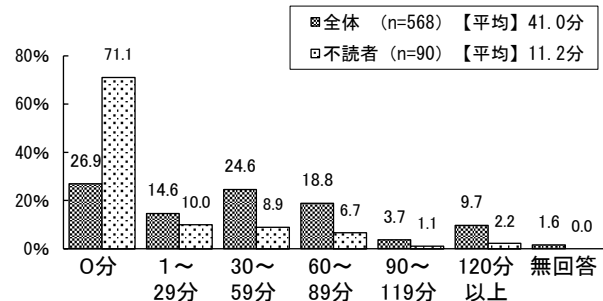
問1: 読書とその他の行動時間

【中学生】

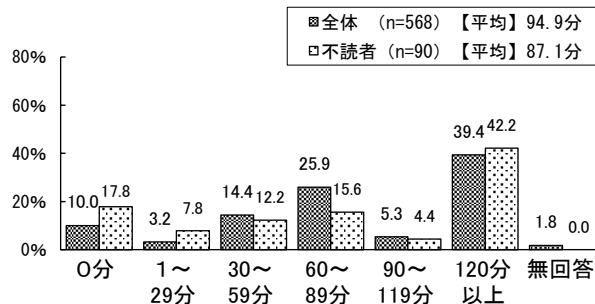
①勉強や宿題をする(塾を含めて)



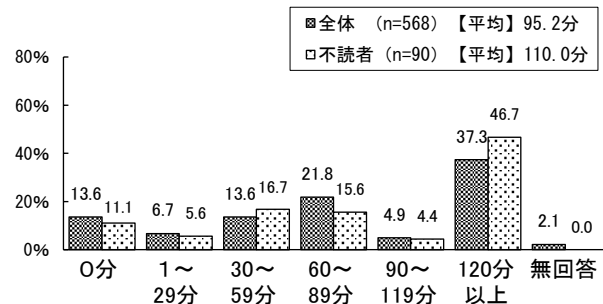
②本・マンガ・雑誌などを読む



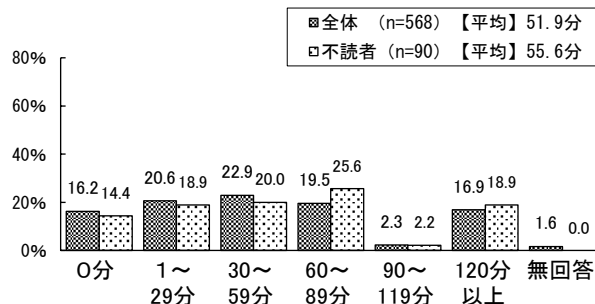
③テレビやDVDをみる



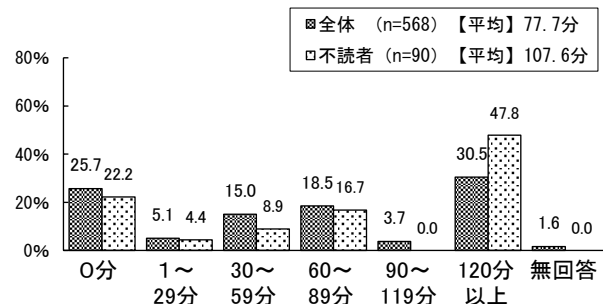
④インターネットをする



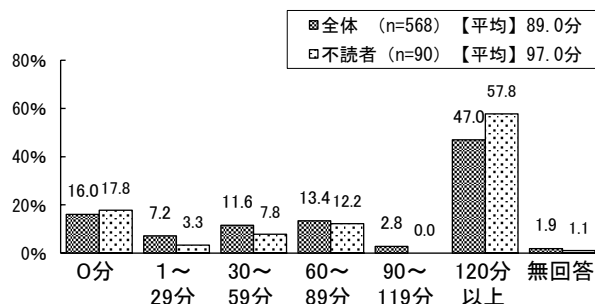
⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをする



⑥ゲームをする



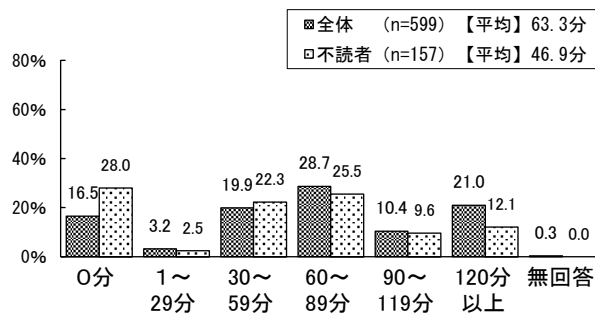
⑦スポーツなど体を動かす



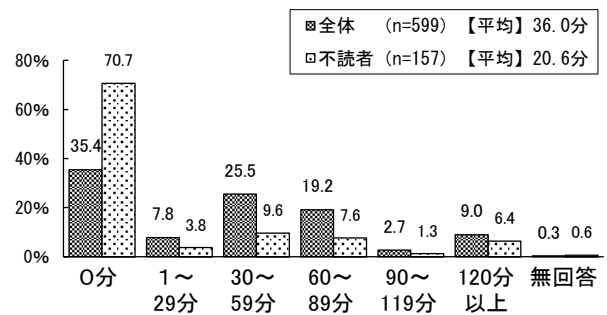
読書とその他の行動時間について、中学生の不読者の平均は多い順に④インターネットをするが110.0分、⑥ゲームをするが107.6分、⑦スポーツなど体を動かすが97.0分となっている。また、全体の平均時間と比較して多いのは順に⑥ゲームをする、④インターネットをするとなっている。一方、全体の平均時間と比較して少ないのは順に②本・マンガ・雑誌などを読む、①勉強や宿題をする(塾を含めて)となっている。不読者は②本・マンガ・雑誌などを読むは11.2分と全体より29.8分少なくなっている。

【高校生】

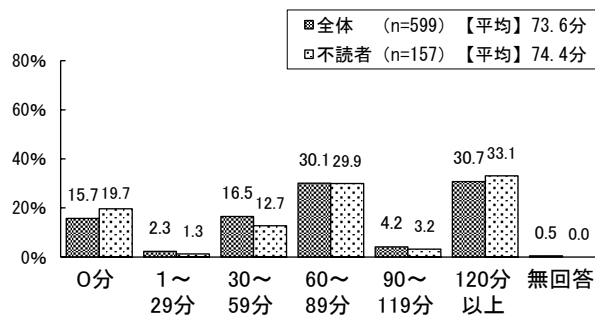
①勉強や宿題をする(塾を含めて)



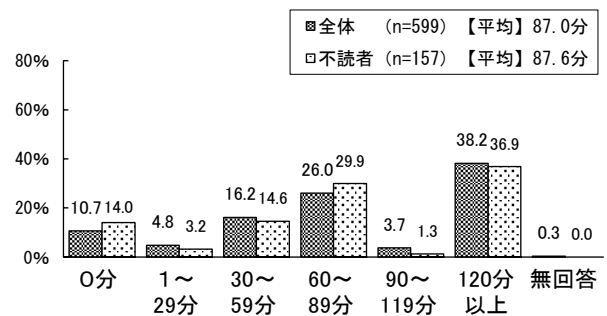
②本・マンガ・雑誌などを読む



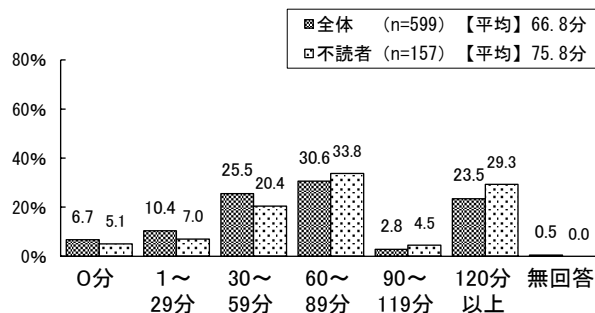
③テレビやDVDをみる



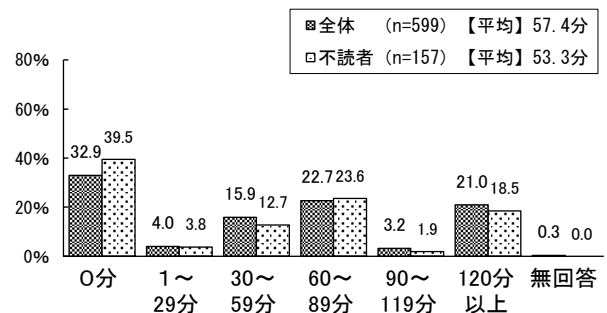
④インターネットをする



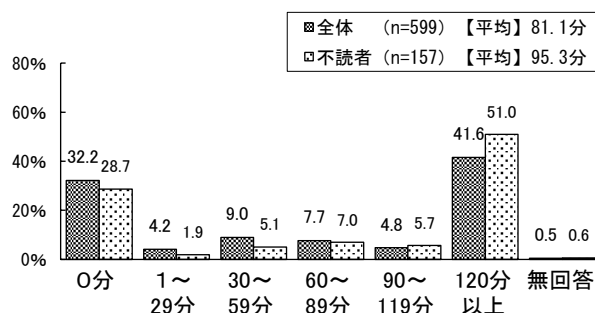
⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをする



⑥ゲームをする

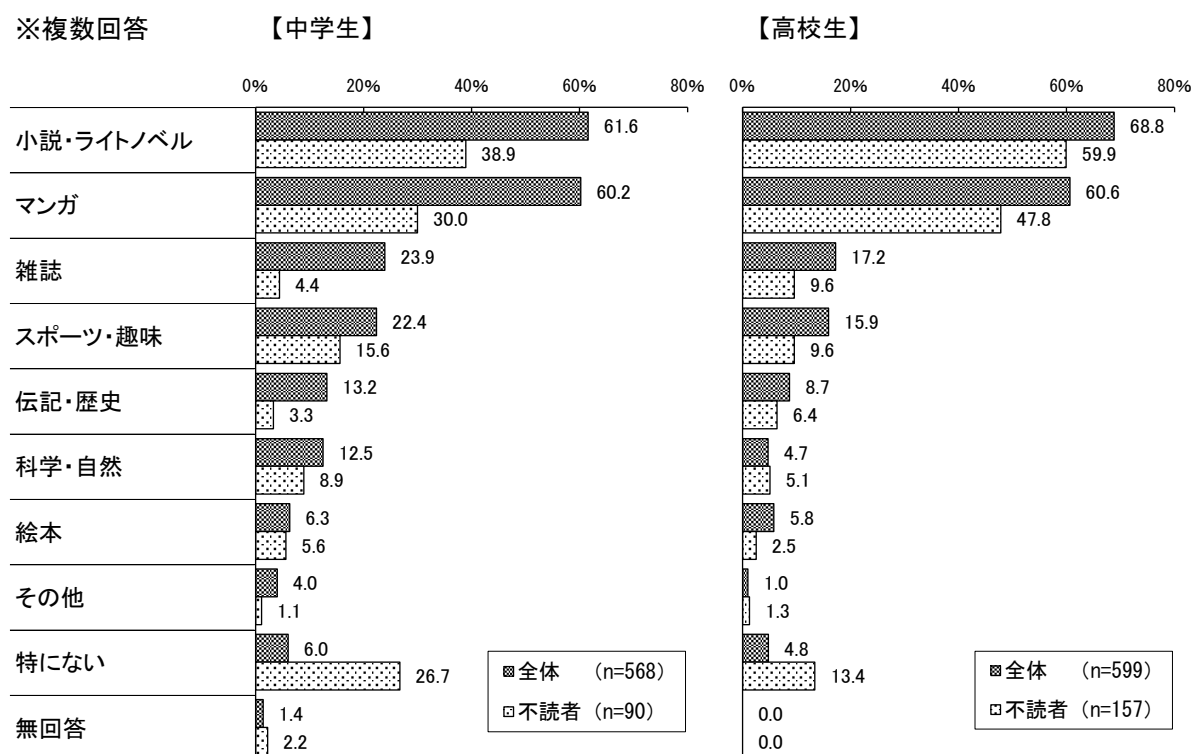


⑦スポーツなど体を動かす



読書とその他の行動時間について、高校生の不読者の平均は多い順に⑦スポーツなど体を動かすが95.3分、④インターネットをするが87.6分、⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをするが75.8分となっている。また、全体の平均時間と比較して多いのは⑦スポーツなど体を動かすとなっている。一方、全体の平均時間と比較して少ないのは順に①勉強や宿題をする(塾を含めて)、②本・マンガ・雑誌などを読むとなっている。不読者は②本・マンガ・雑誌などを読むは20.6分と全体より15.4分少なくなっている。

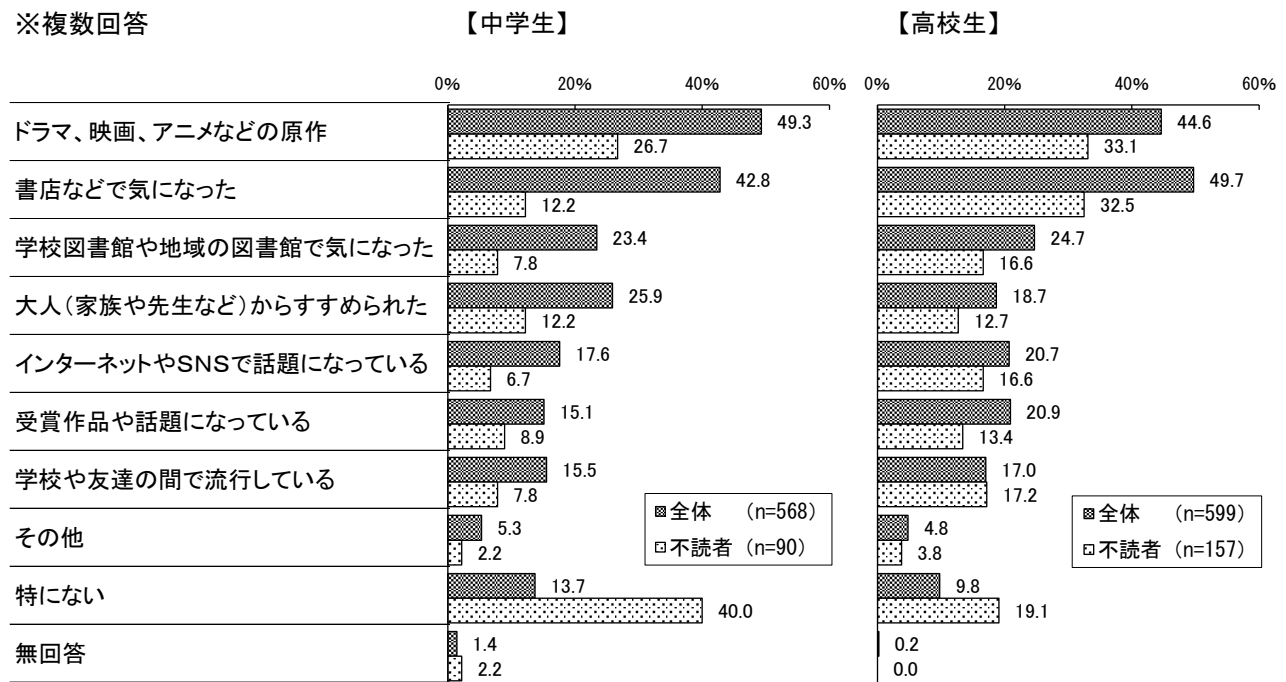
問6：好きな本の分野・ジャンル



好きな本の分野・ジャンルについて、中学生の不読者は「小説・ライトノベル」(38.9%)、「マンガ」(30.0%)、「特にない」(26.7%)の順に多くなっている。高校生の不読者は「小説・ライトノベル」(59.9%)、「マンガ」(47.8%)、「特にない」(13.4%)の順に多くなっている。

問7：本を読んでみようと思うきっかけ

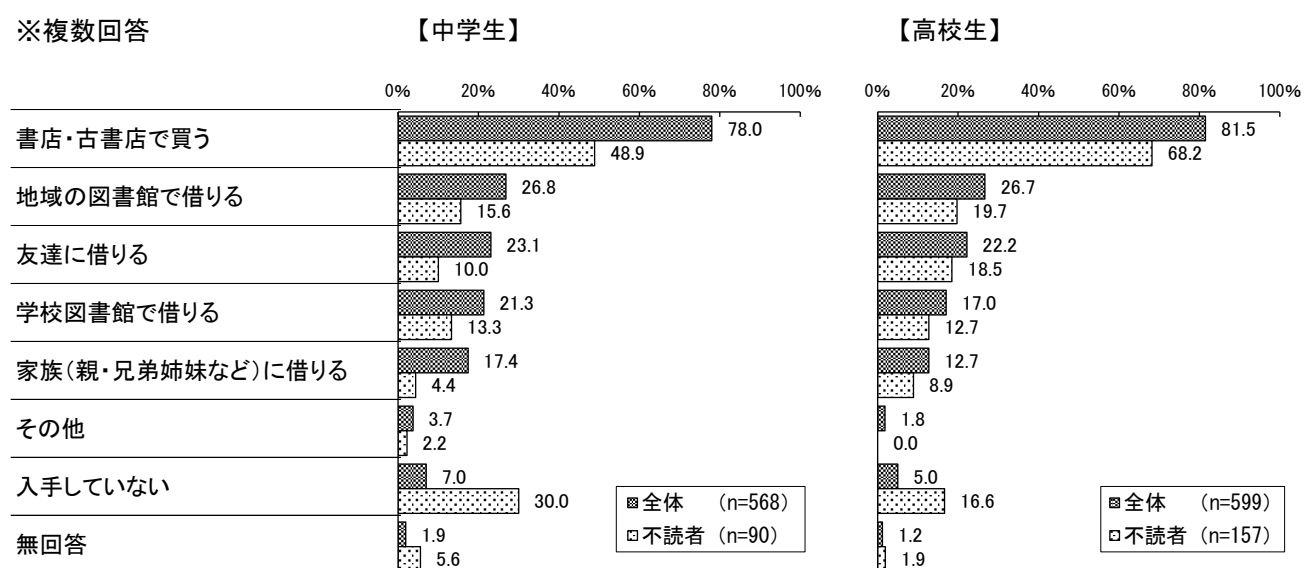
※複数回答



本を読んでみようと思うきっかけについて、中学生の不読者は多い順に「特にない」(40.0%)、「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(26.7%)、「書店などで気になった」(12.2%)となっている。高校生の不読者は多い順に「ドラマ、映画、アニメなどの原作」(33.1%)、「書店などで気になった」(32.5%)、「特にない」(19.1%)となっている。

問8：読みたい本の入手方法【紙の本】

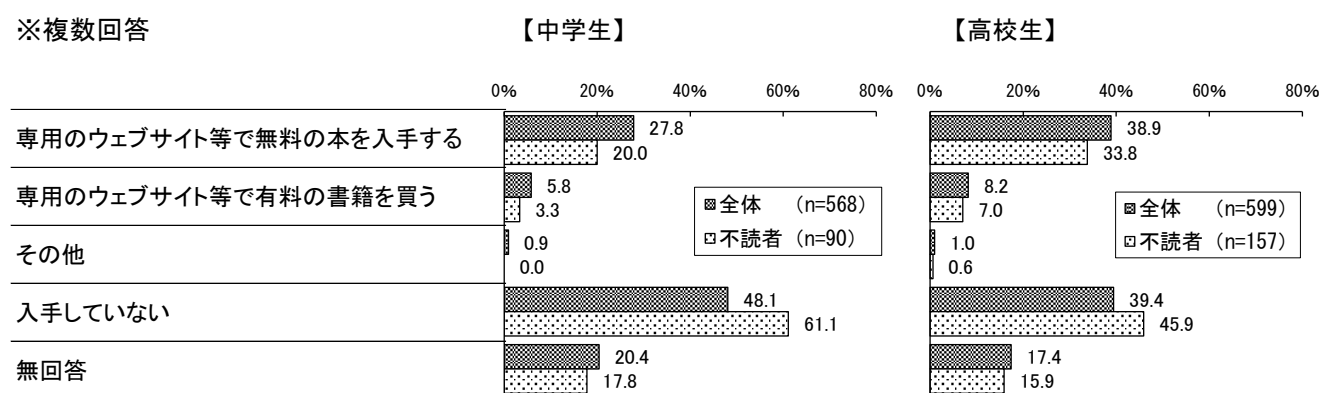
※複数回答



紙の本の読みたい本の入手方法について、中学生の不読者は多い順に「書店・古書店で買う」(48.9%)、「入手していない」(30.0%)、「地域の図書館で借りる」(15.6%)となっている。高校生の不読者は多い順に「書店・古書店で買う」(68.2%)、「地域の図書館で借りる」(19.7%)、「友達に借りる」(18.5%)となっている。

問8：読みたい本の入手方法【電子書籍】

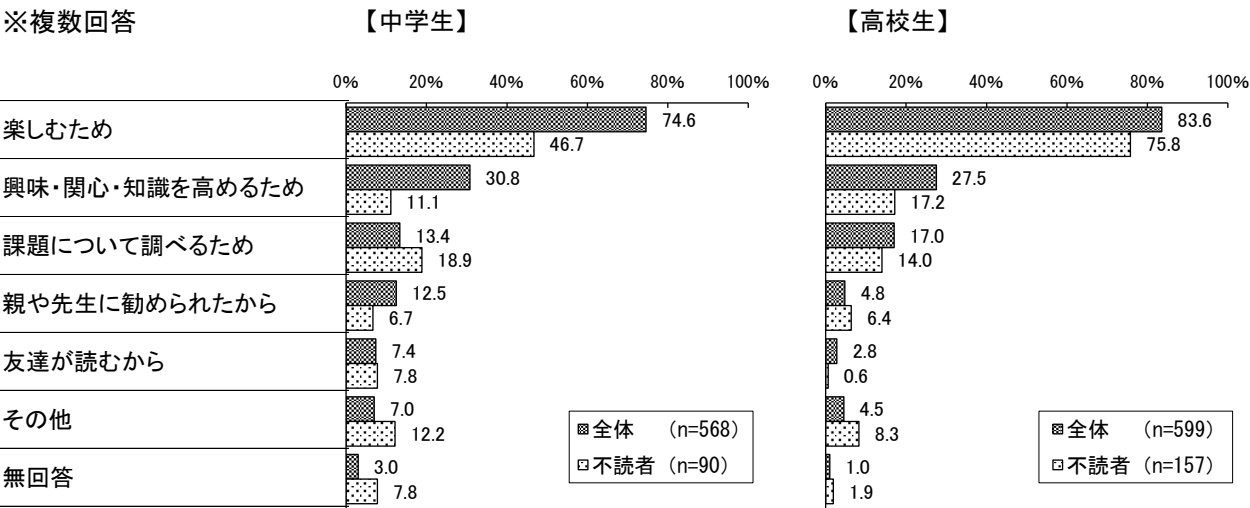
※複数回答



電子書籍の読みたい本の入手方法について、中学生の不読者は多い順に「入手していない」(61.1%)、「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」(20.0%)、高校生の不読者は同順で「入手していない」(45.9%)、「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」(33.8%)となっている。

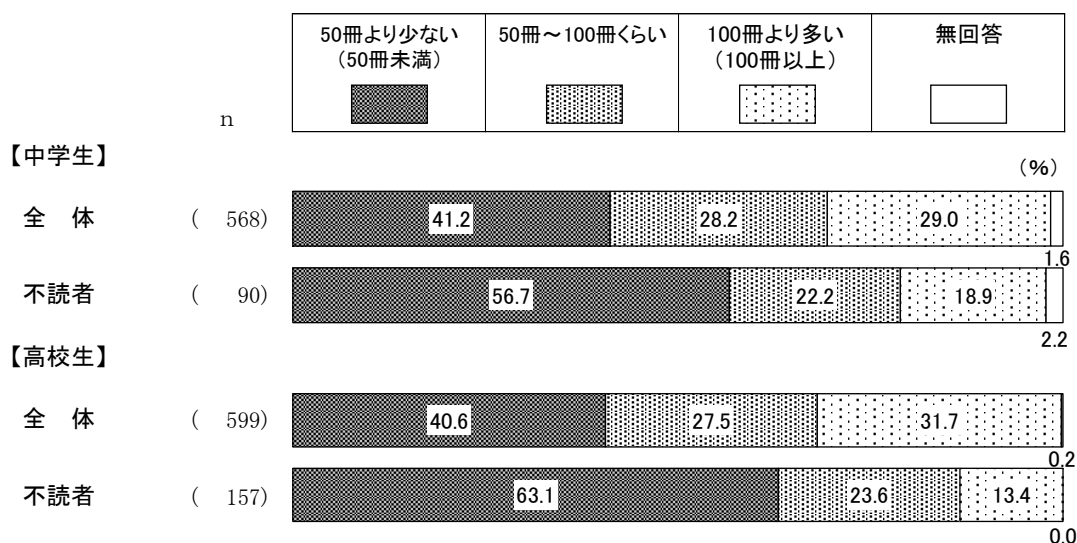
問11：読書の理由

※複数回答



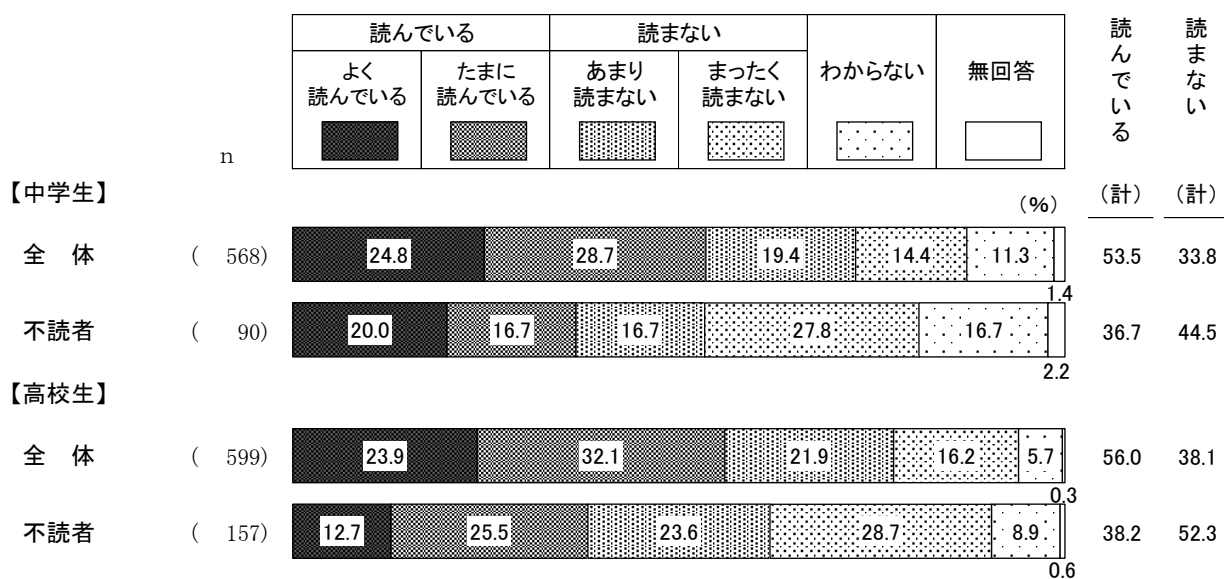
読書の理由について、中学生の不読者は多い順に「楽しむため」（46.7％）、「課題について調べるため」（18.9％）、「その他」（12.2％）、「興味・関心・知識を高めるため」（11.1％）となっている。高校生の不読者は多い順に「楽しむため」（75.8％）、「興味・関心・知識を高めるため」（17.2％）、「課題について調べるため」（14.0％）、「その他」（8.3％）となっている。

問12：家庭内の本の冊数



家庭内の本の冊数について、不読者は全体と比べて、「50冊より少ない（50冊未満）」が多く、中学生（56.7%）が5割台半ば、高校生（63.1%）が6割を超えている。

問13：親（保護者）の読書頻度



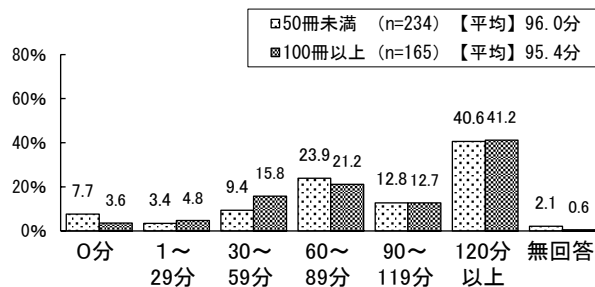
子どもからみた親（保護者）の読書頻度について、不読者は全体と比べて、「あまり読まない」と「まったく読まない」を合わせた『読まない』が多く、中学生（44.4%）が4割台半ば、高校生（52.3%）が5割を超えている。

(3) 家庭内の本の冊数別

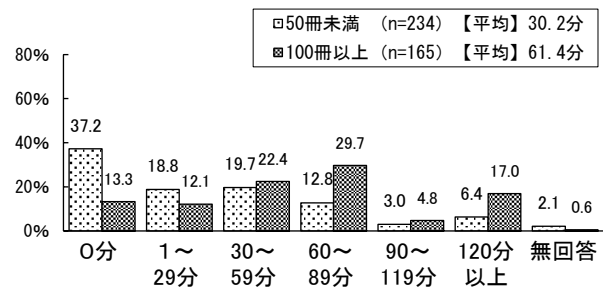
問1：読書とその他の行動時間

【中学生】

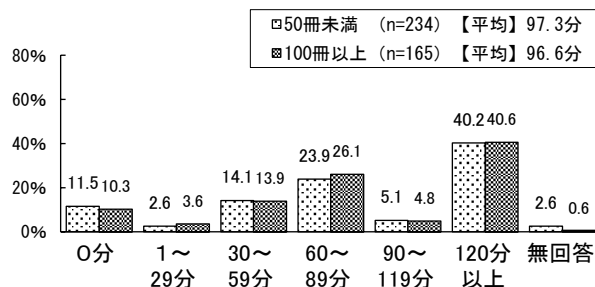
①勉強や宿題をする（塾を含めて）



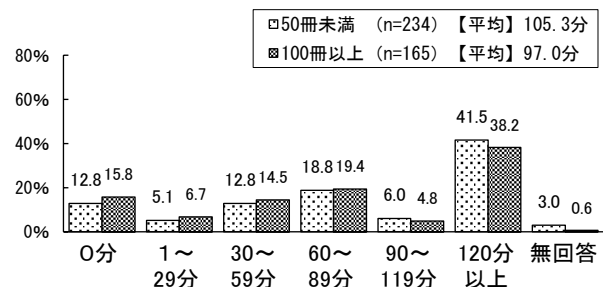
②本・マンガ・雑誌などを読む



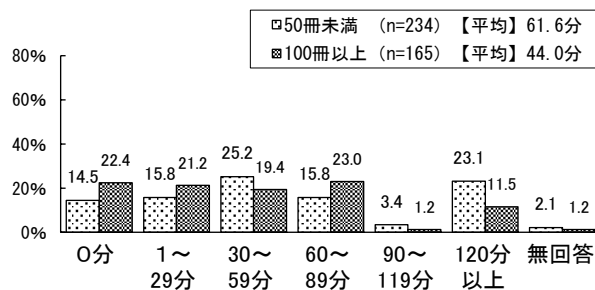
③テレビやDVDをみる



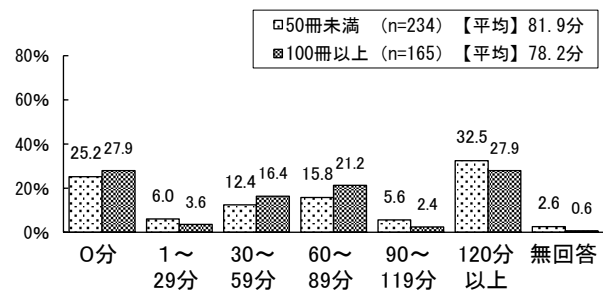
④インターネットをする



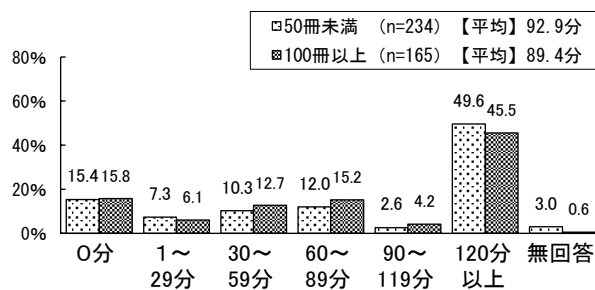
⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする



⑥ゲームをする



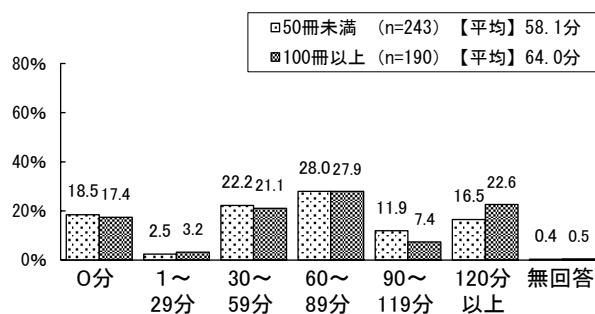
⑦スポーツなど体を動かす



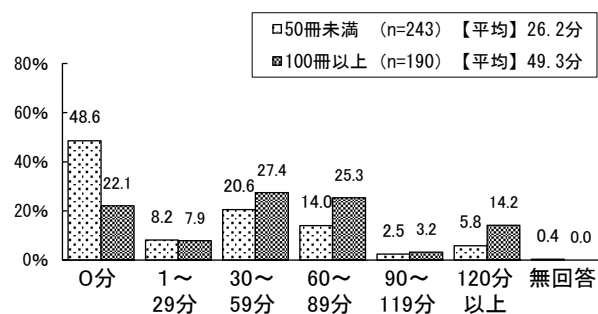
読書とその他の行動時間について、中学生の50冊未満と回答した生徒の平均は多い順に④インターネットをするが105.3分、③テレビやDVDをみるが97.3分、①勉強や宿題をする（塾を含めて）が96.0分となっている。また、100冊以上と回答した生徒の平均時間と比較して多いのは順に⑤SNS（通話アプリ）やメールなどをする、④インターネットをするとなっている。一方、100冊以上と回答した生徒と比較して少ないのは②本・マンガ・雑誌などを読むとなっている。50冊未満と回答した生徒は②本・マンガ・雑誌などを読むは30.2分と100冊以上と回答した生徒より31.2分少なくなっている。

【高校生】

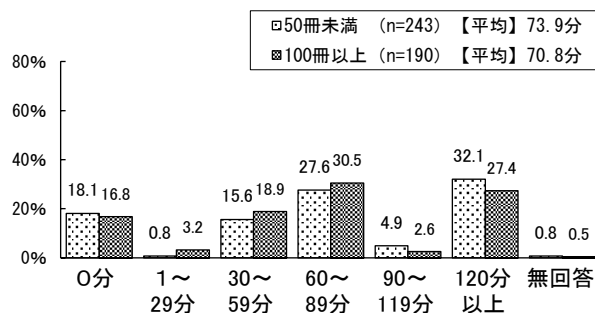
①勉強や宿題をする(塾を含めて)



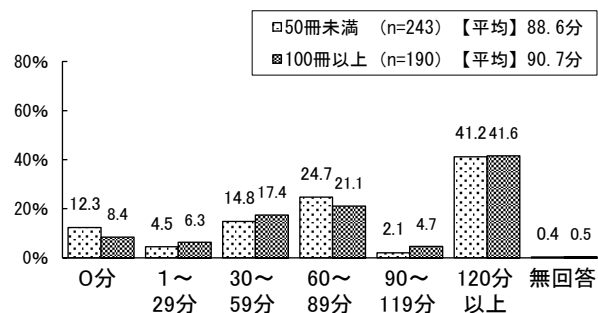
②本・マンガ・雑誌などを読む



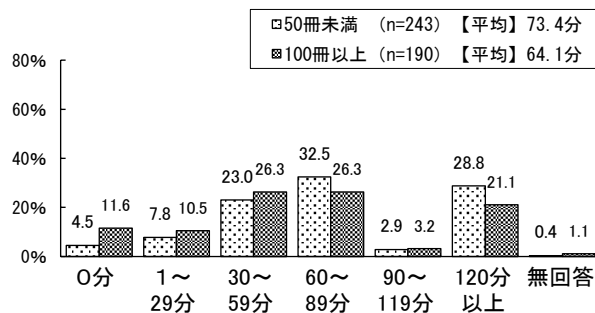
③テレビやDVDをみる



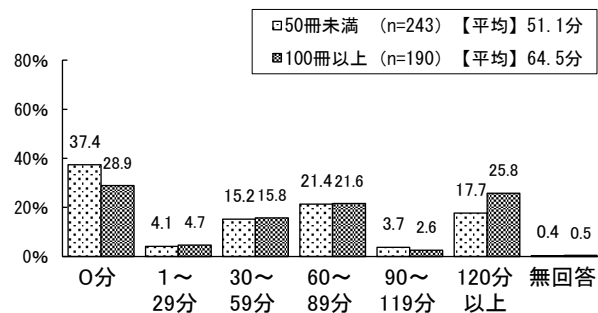
④インターネットをする



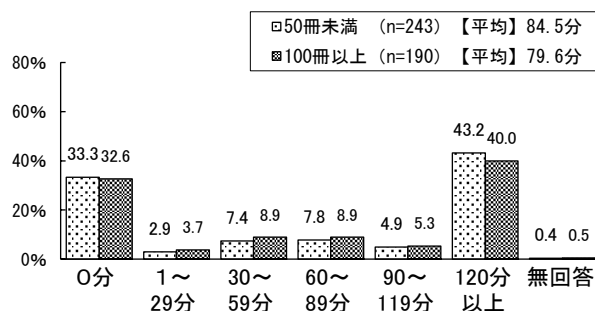
⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをする



⑥ゲームをする

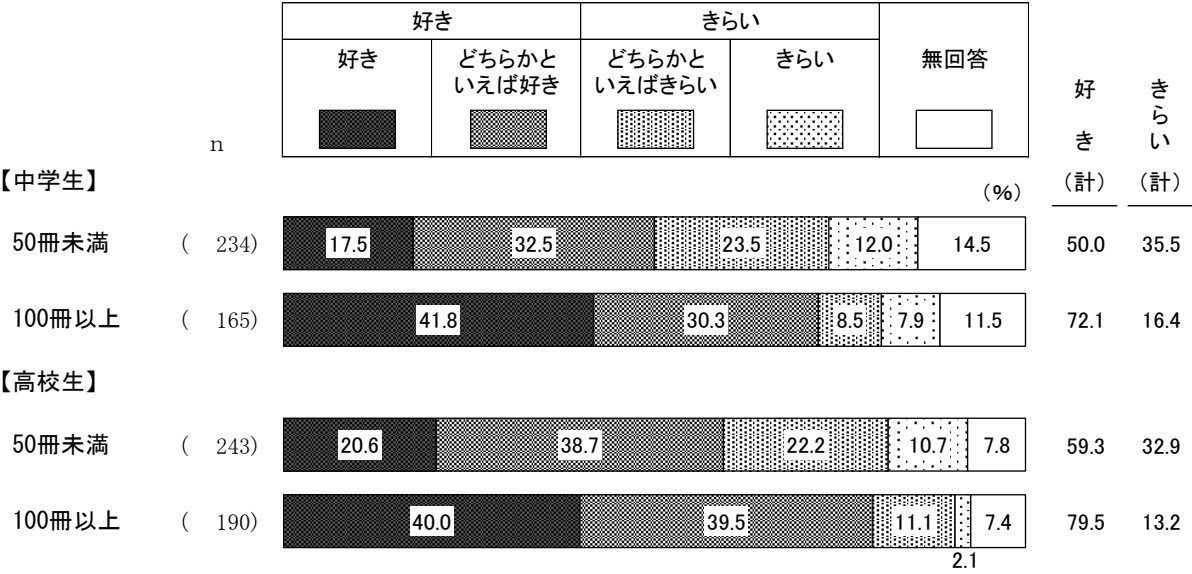


⑦スポーツなど体を動かす



読書とその他の行動時間について、高校生の50冊未満と回答した生徒の平均は多い順に④インターネットをするが88.6分、⑦スポーツなど体を動かすが84.5分、③テレビやDVDをみるが73.9分となっている。また、100冊以上と回答した生徒の平均時間と比較して多いのは⑤SNS(通話アプリ)やメールなどをするとなっている。一方、100冊以上と回答した生徒と比較して少ないのは順に②本・マンガ・雑誌などを読む、⑥ゲームをするとなっている。50冊未満と回答した生徒は②本・マンガ・雑誌などを読むは26.2分と100冊以上と回答した生徒より23.1分少なくなっている。

問 2：読書が好きかどうか



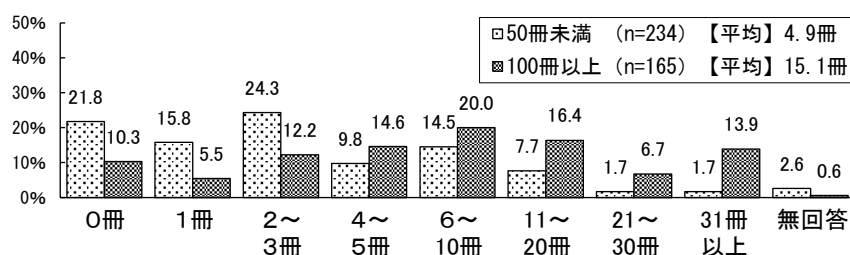
読書が好きかどうかを家庭内の本の冊数別でみると、中学生、高校生ともに100冊以上と回答した生徒は50冊未満と回答した生徒より「好き」が多く、「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は中学生が22.1ポイント、高校生は20.2ポイント多くなっている、

問3：1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

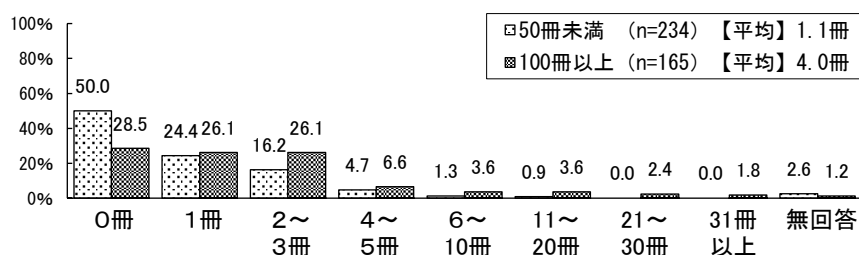
【紙の本】

【中学生】

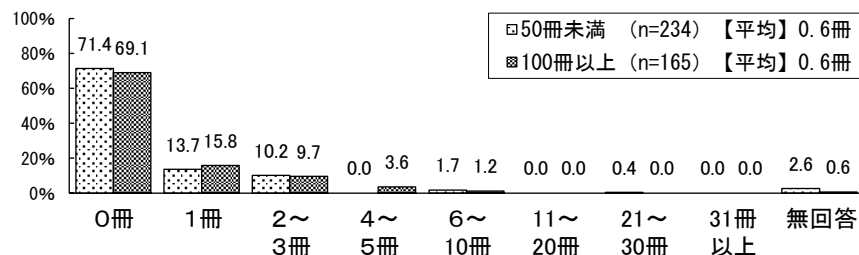
<合計>



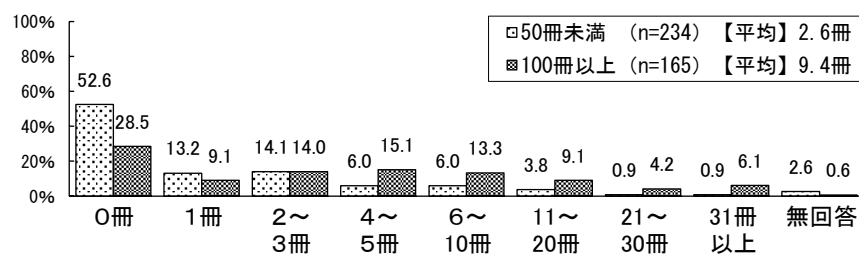
①書籍・絵本



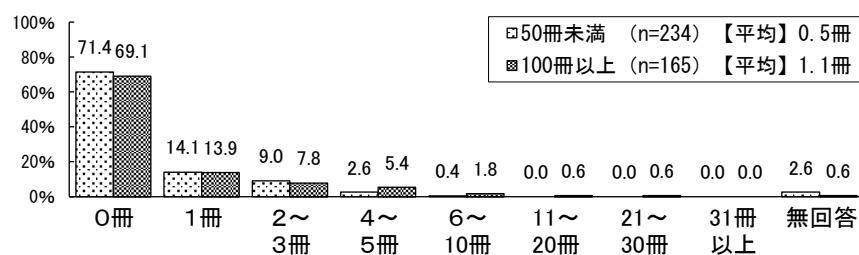
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

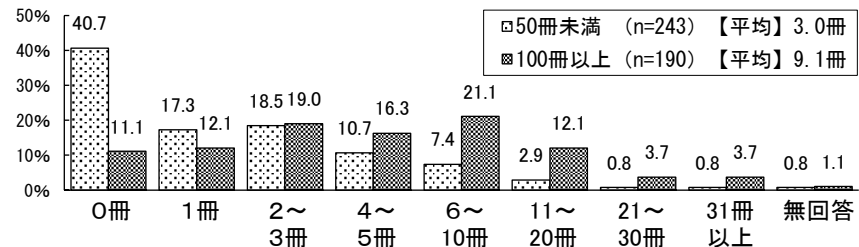


紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を家庭内の本の冊数別でみると、中学生の合計は100冊以上と回答した生徒（15.1冊）は50冊未満と回答した生徒（4.9冊）より10.2冊多くなっている。①書籍・絵本は100冊以上と回答した生徒（4.0冊）は50冊未満と回答した生徒（1.1冊）より2.9冊多く、③マンガ・コミックは100冊以上と回答した生徒（9.4冊）は50冊未満と回答した生徒（2.6冊）より6.8冊多くなっている。また、合計「0冊」（不読率）は100冊以上と回答した生徒が約1割であるのに対し、50冊未満と回答した生徒は約2割となっている。

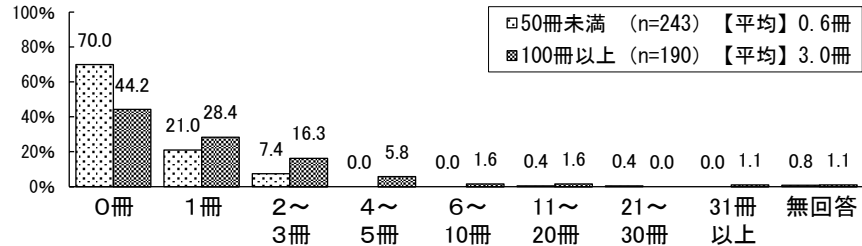
【紙の本】

【高校生】

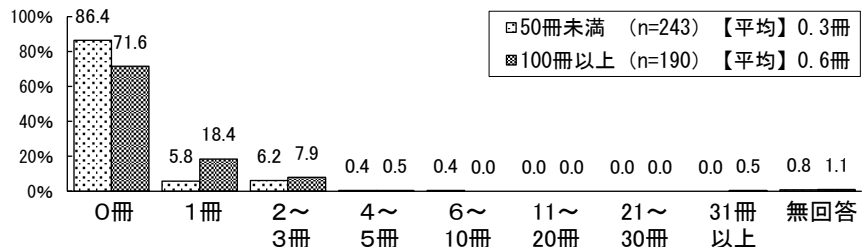
<合計>



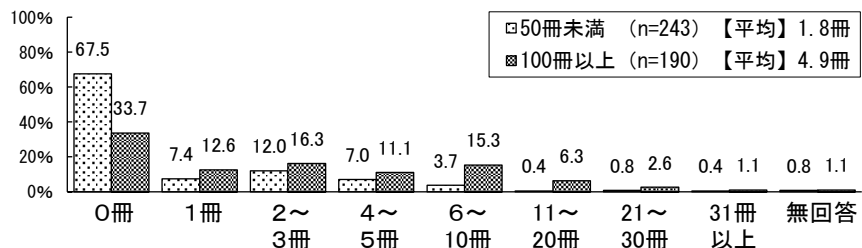
①書籍・絵本



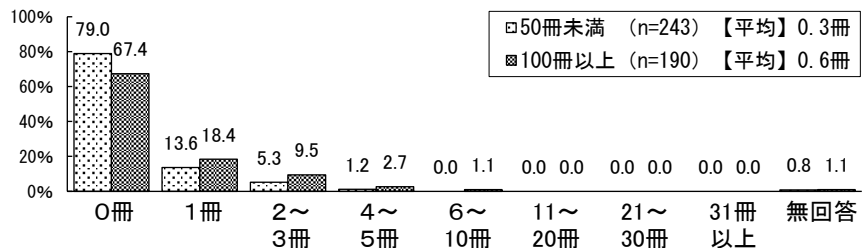
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



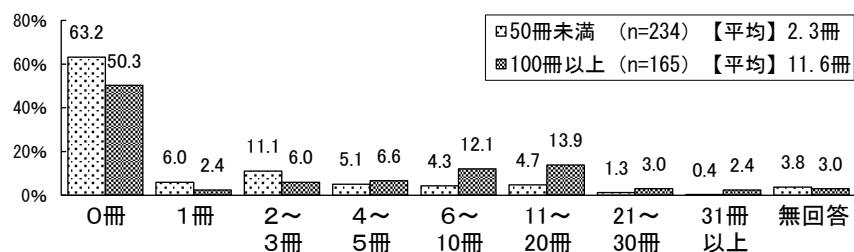
紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を家庭内の本の冊数別でみると、高校生の合計は100冊以上と回答した生徒（9.1冊）は50冊未満と回答した生徒（3.0冊）より6.1冊多くなっている。①書籍・絵本は100冊以上と回答した生徒（3.0冊）は50冊未満と回答した生徒（0.6冊）より2.4冊多く、③マンガ・コミックは100冊以上と回答した生徒（4.9冊）は50冊未満と回答した生徒（1.8冊）より3.1冊多くなっている。また、合計「0冊」（不読率）は100冊以上と回答した生徒が約1割であるのに対し、50冊未満と回答した生徒は約4割となっている。

問3：1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

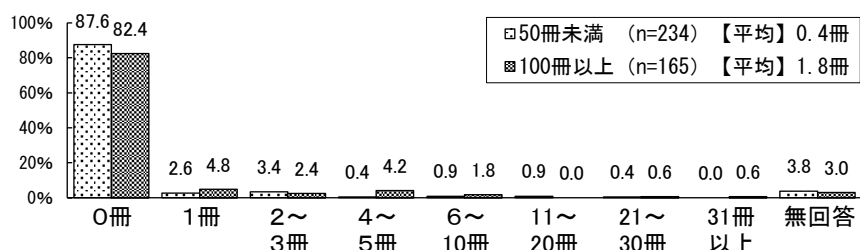
【電子書籍】

【中学生】

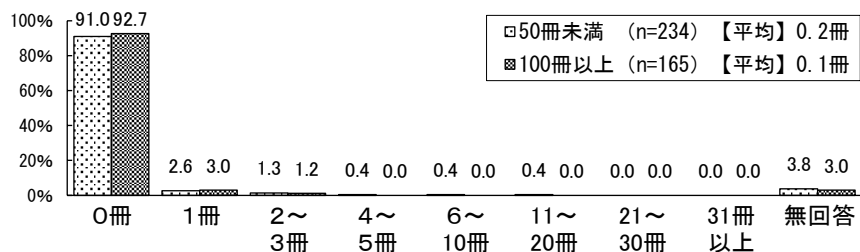
<合計>



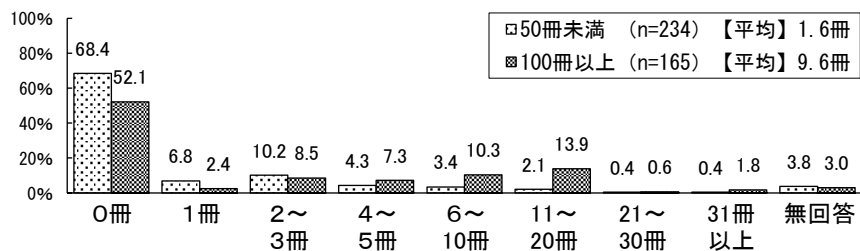
①書籍・絵本



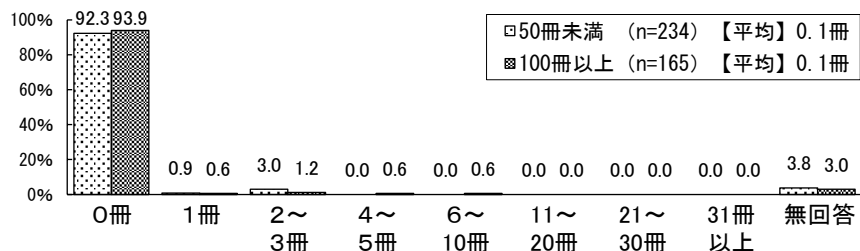
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌

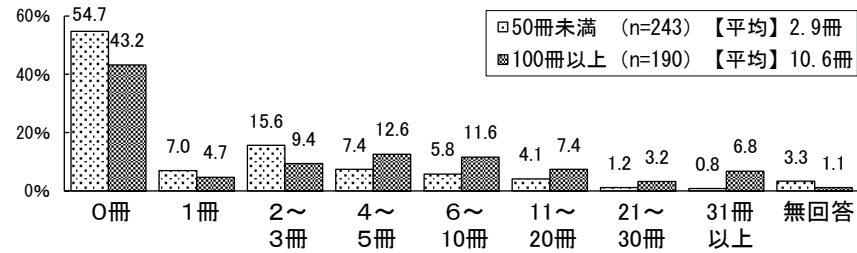


電子書籍の1ヵ月間平均読書冊数を家庭内の本の冊数別でみると、中学生の合計は100冊以上と回答した生徒（11.6冊）は50冊未満と回答した生徒（2.3冊）より9.3冊多くなっている。①書籍・絵本は100冊以上と回答した生徒（1.8冊）は50冊未満と回答した生徒（0.4冊）より1.4冊多く、③マンガ・コミックは100冊以上と回答した生徒（9.6冊）は50冊未満と回答した生徒（1.6冊）より8.0冊多くなっている。

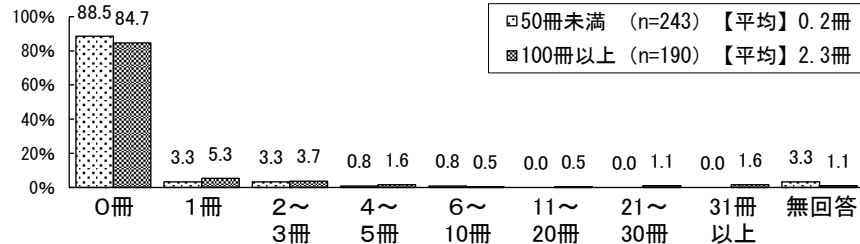
【電子書籍】

【高校生】

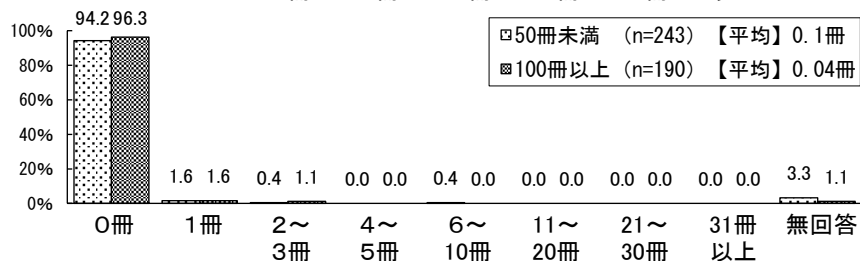
<合計>



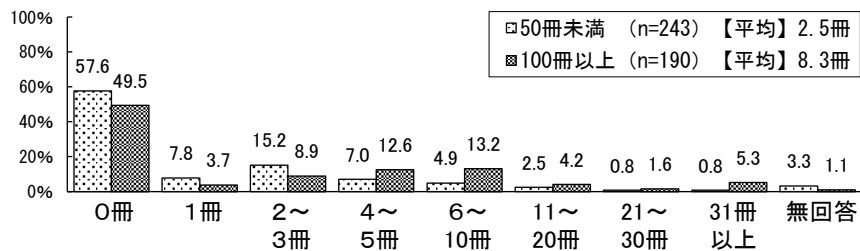
①書籍・絵本



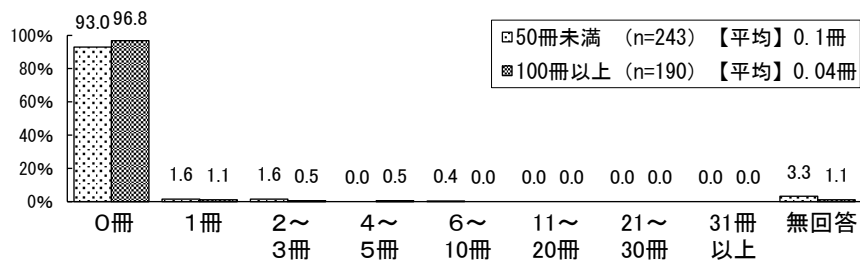
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック

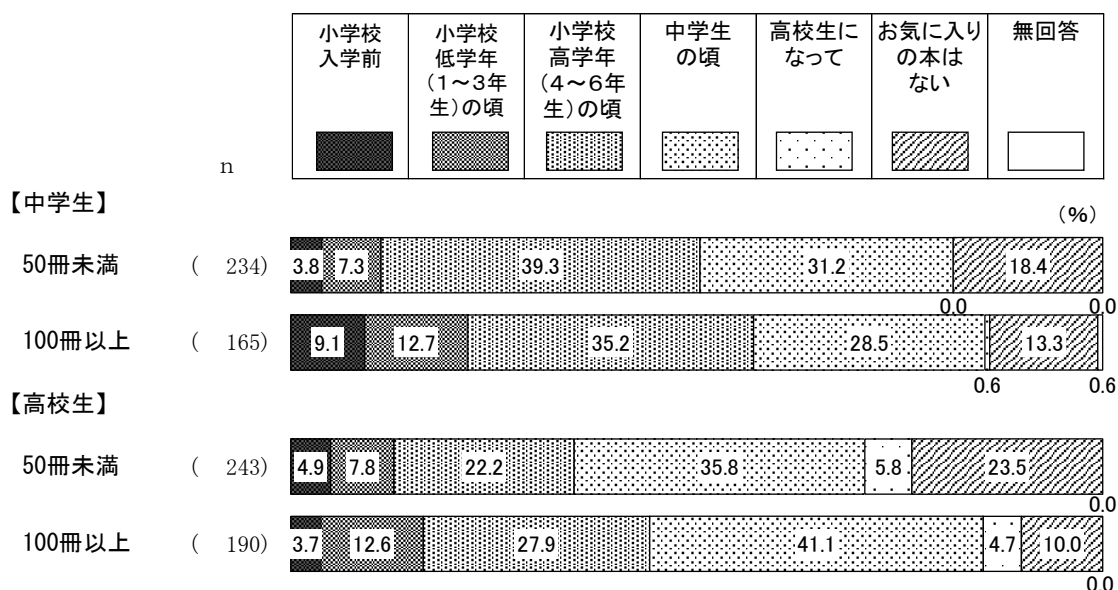


④雑誌



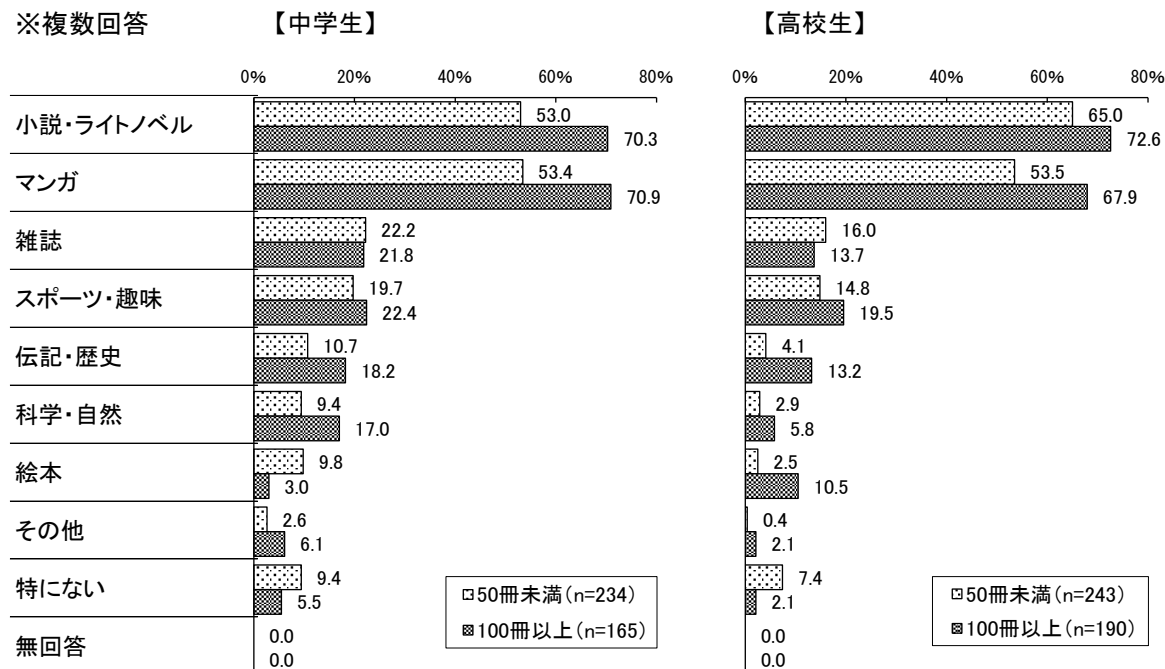
電子書籍の1ヵ月間平均読書冊数を家庭内の本の冊数別でみると、高校生の合計は100冊以上と回答した生徒（10.6冊）は50冊未満と回答した生徒（2.9冊）より7.7冊多くなっている。①書籍・絵本は100冊以上と回答した生徒（2.3冊）は50冊未満と回答した生徒（0.2冊）より2.1冊多く、③マンガ・コミックは100冊以上と回答した生徒（8.3冊）は50冊未満と回答した生徒（2.5冊）より5.8冊多くなっている。

問5：お気に入りの一冊に出会えた時期



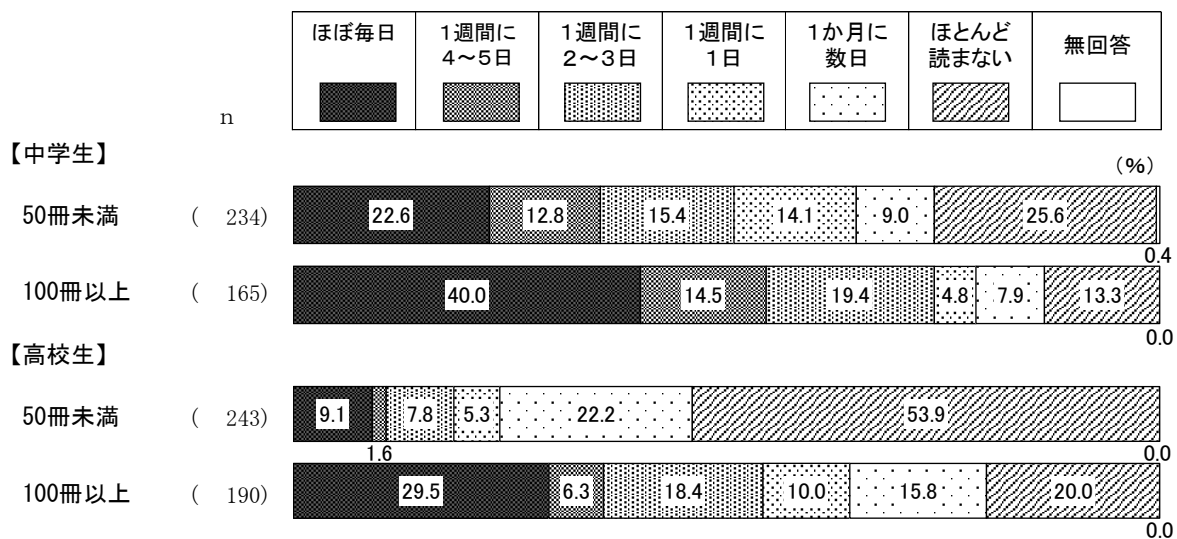
お気に入りの一冊に出会えた時期を家庭内の本の冊数別でみると、中学生、高校生ともに100冊以上と回答した生徒は50冊未満と回答した生徒より早い時期にお気に入りの本と出会えたとする割合が多い傾向となっている。一方、50冊未満と回答した生徒は100冊以上と回答した生徒に比べ「お気に入りの本はない」が多く、高校生で差が大きくなっている。

問6：好きな本の分野・ジャンル



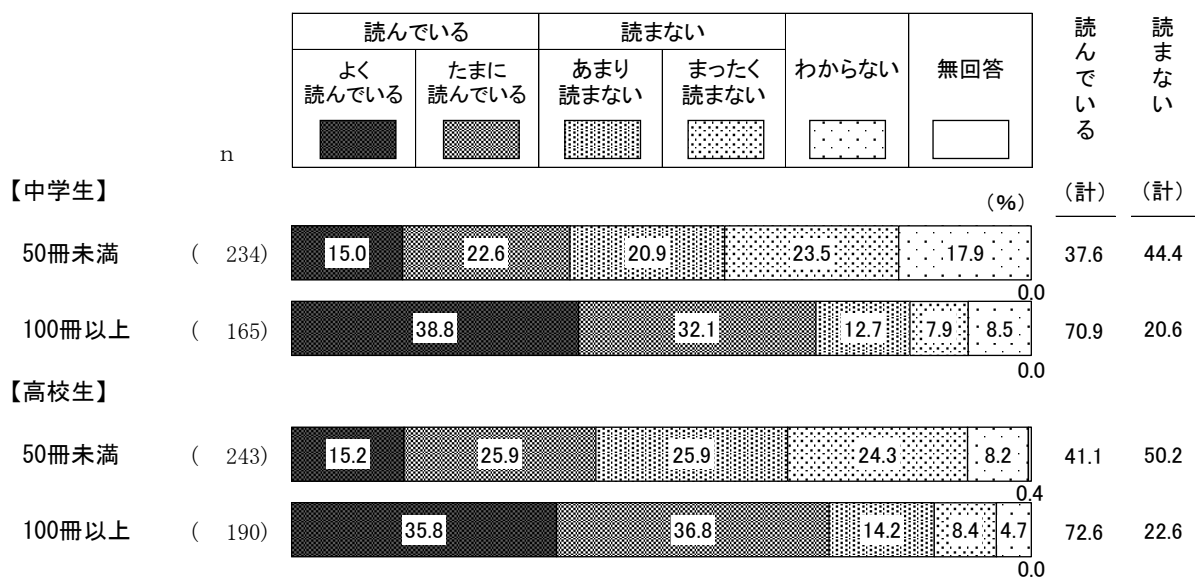
好きな本の分野・ジャンルを家庭内の本の冊数別でみると、中学生、高校生ともに100冊以上と回答した生徒は50冊未満と回答した生徒より全般に回答の割合が多く、「小説・ライトノベル」、「マンガ」、「伝記・歴史」などで差がみられる。一方、「雑誌」、「スポーツ・趣味」は差がみられない。

問9：読書頻度



読書頻度を家庭内の本の冊数別でみると、中学生は「ほぼ毎日」は100冊以上と回答した生徒（40.0%）は50冊未満と回答した生徒（22.6%）より17.4ポイント多くなっている。一方、50冊未満と回答した生徒は「ほとんど読まない」（25.6%）が2割台半ばとなっている。高校生は「ほぼ毎日」は100冊以上と回答した生徒（29.5%）は50冊未満と回答した生徒（9.1%）より20.4ポイント多くなっている。一方、50冊未満と回答した生徒は「ほとんど読まない」（53.9%）が5割を超えている。

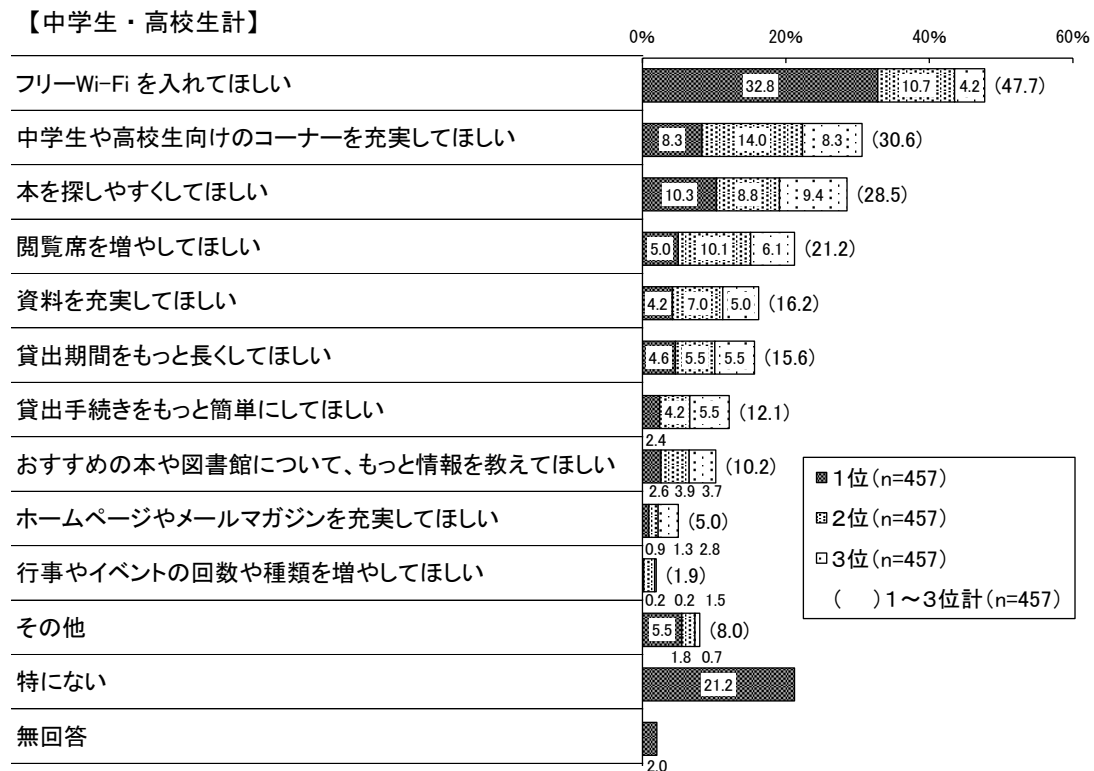
問13：親（保護者）の読書頻度



子どもからみた親（保護者）の読書頻度を家庭内の本の冊数別でみると、100冊以上と回答した生徒は50冊未満と回答した生徒より親（保護者）が『読んでいる』とする割合が多くなっており、中学生（70.9%）、高校生（72.6%）ともに7割を超えている。一方、50冊未満と回答した生徒は親（保護者）が『読まない』とする割合が中学生（44.4%）は4割台半ば、高校生（50.2%）は約5割となっている。

(4) 地域の図書館を「ほとんど利用しない」回答者

問18：地域の図書館の改善点・要望



地域の図書館を「ほとんど利用しない」と回答した人の地域の図書館の改善点・要望をみると、中学生・高校生計で1～3位計は「フリーWi-Fiを入れてほしい」(47.7%)が最も多く、次いで「中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい」(30.6%)、「本を探しやすくしてほしい」(28.5%)の順となっている。

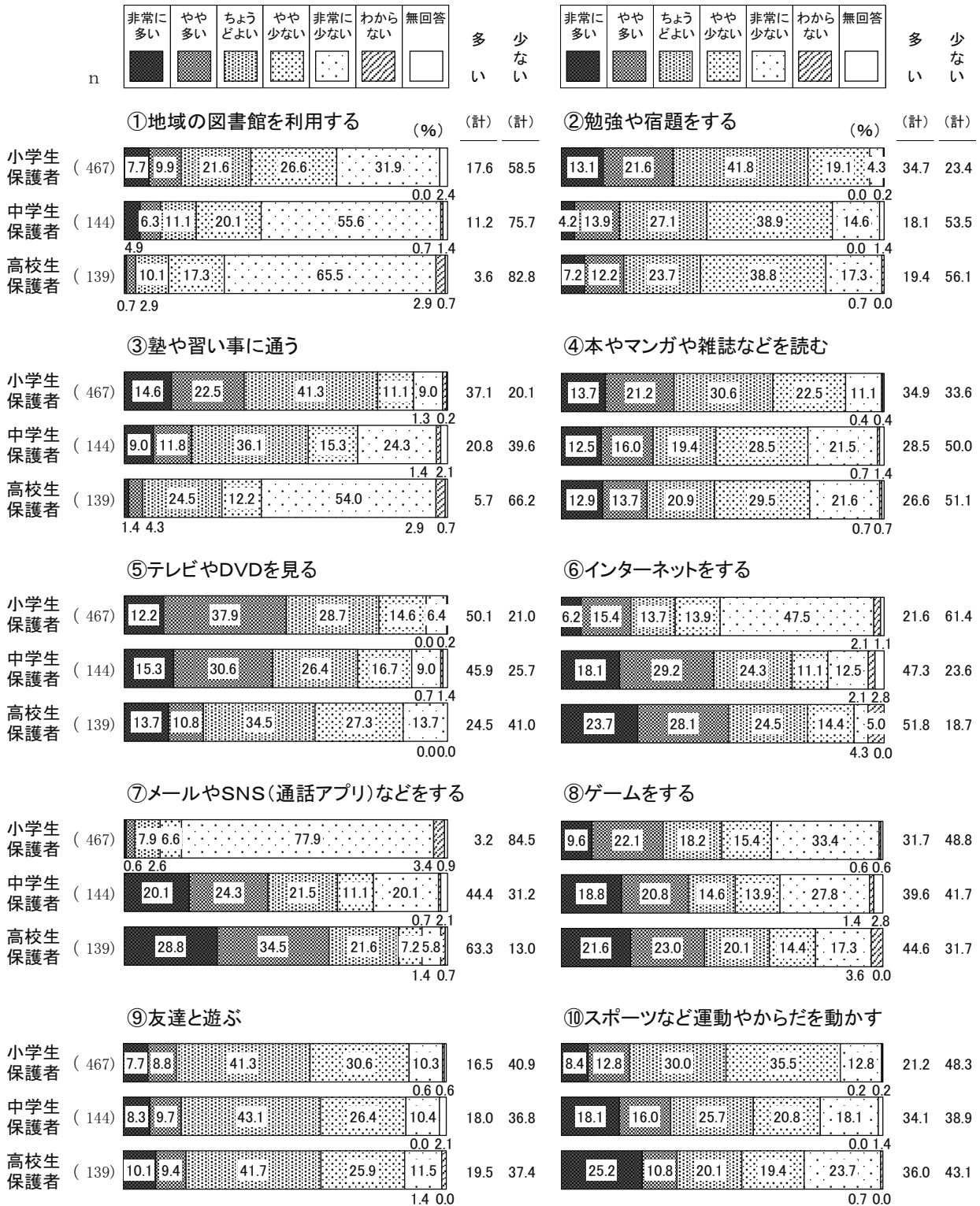
第 4 章 保護者調査

1 子どもの読書とその他の行動時間

(1) 子どもの読書とその他行動時間の印象

問2 対象のお子様が、普段の生活の中で次にあげる①～⑩のことを行っている時間について、どのように感じになりますか。

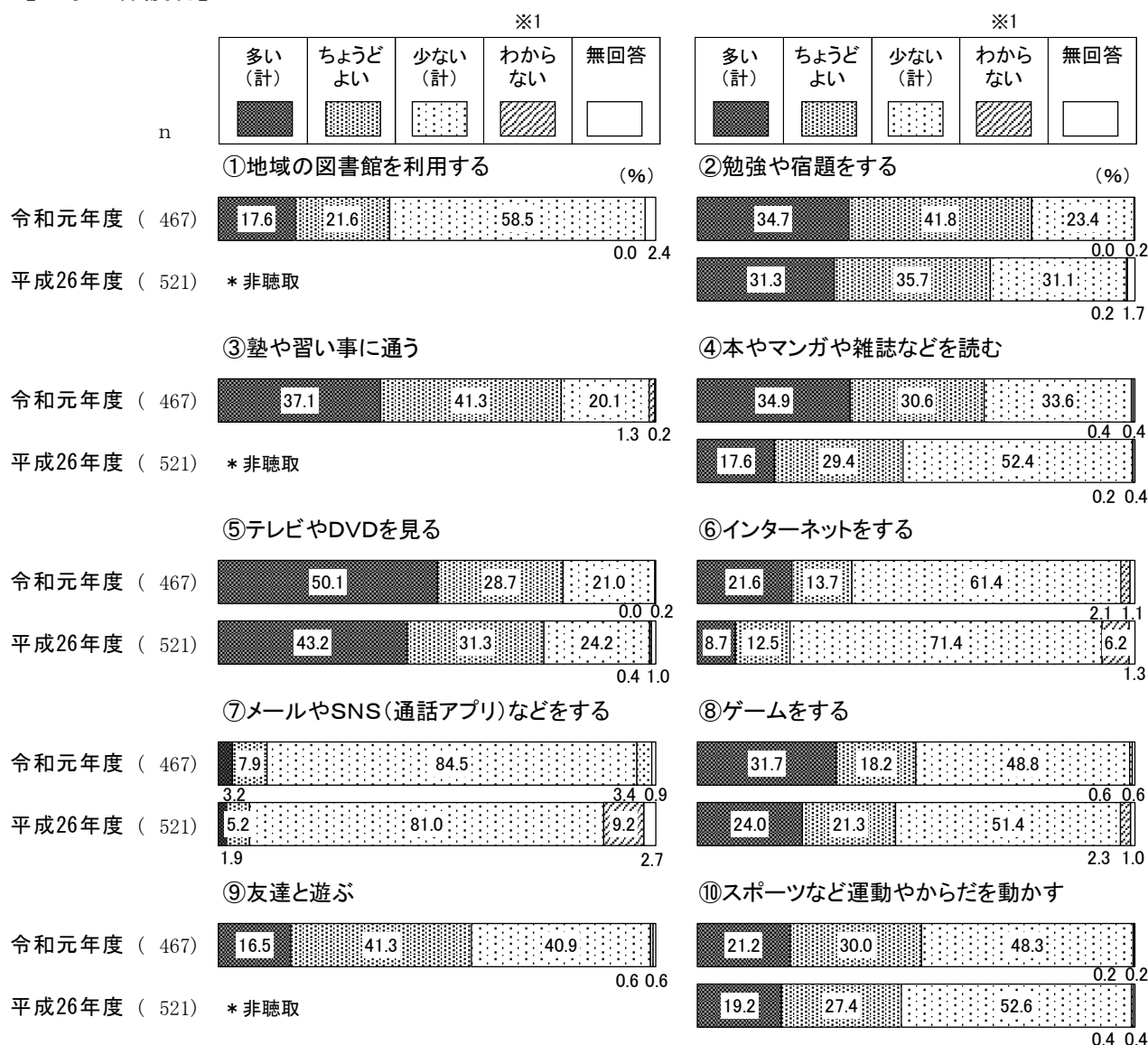
(あてはまる番号1つずつに○)



子どもの読書時間とその他の行動時間の印象をたずねたところ、①地域の図書館を利用するは「ちょうどよい」は小学生保護者（21.6%）が2割を超え、中学生保護者（11.1%）、高校生保護者（10.1%）が約1割となっており、「やや少ない」と「非常に少ない」を合わせた『少ない』が小学生保護者（58.5%）が6割近く、中学生保護者（75.7%）が7割台半ば、高校生保護者（82.8%）が8割を超えている。④本やマンガや雑誌などを読むは「ちょうどよい」は小学生保護者（30.6%）が約3割、中学生保護者（19.4%）、高校生保護者（20.9%）が約2割となっており、小学生保護者は『多い』（34.9%）と『少ない』（33.6%）が3割台前半、中学生保護者は『少ない』（50.0%）が5割、高校生保護者は『少ない』（51.1%）が5割を超えている。②勉強や宿題をするは小学生保護者は「ちょうどよい」（41.8%）が4割を超えているのに対し、中学生保護者は『少ない』（53.5%）が5割を超え、高校生保護者は『少ない』（56.1%）が5割台半ばとなっている。

《 子どもの読書とその他行動時間の印象－経年比較 》

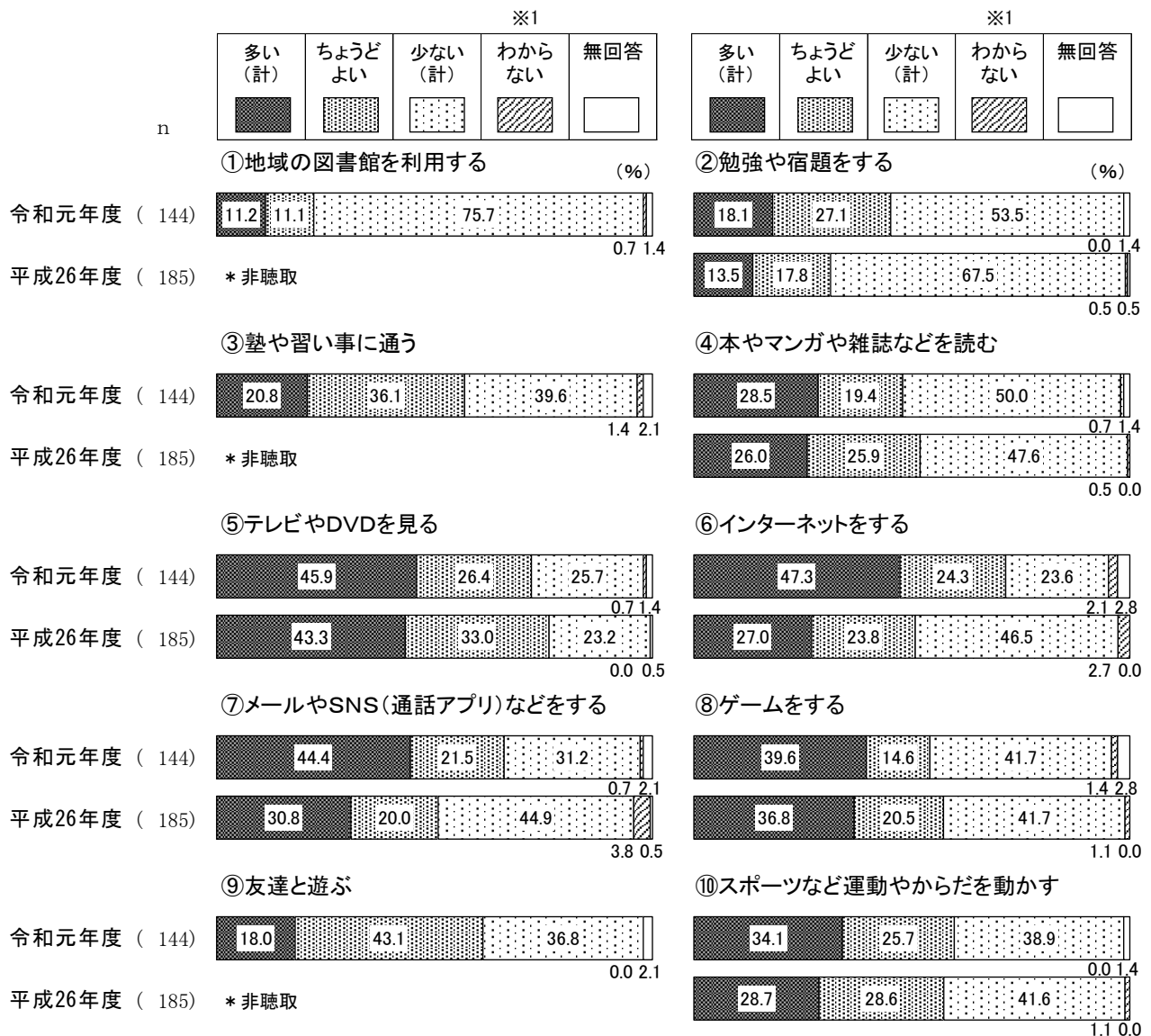
【小学生保護者】



小学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、④本やマンガや雑誌などを読むは『多い』が17.3ポイント増加している。②勉強や宿題をするは「ちょうどよい」が6.1ポイント増加している。⑤テレビやDVDを見るは『多い』が6.9ポイント、⑥インターネットをするは『多い』が12.9ポイント、⑧ゲームをするは『多い』が7.7ポイント増加している。

《 子どもの読書とその他行動時間の印象－経年比較 》

【中学生保護者】

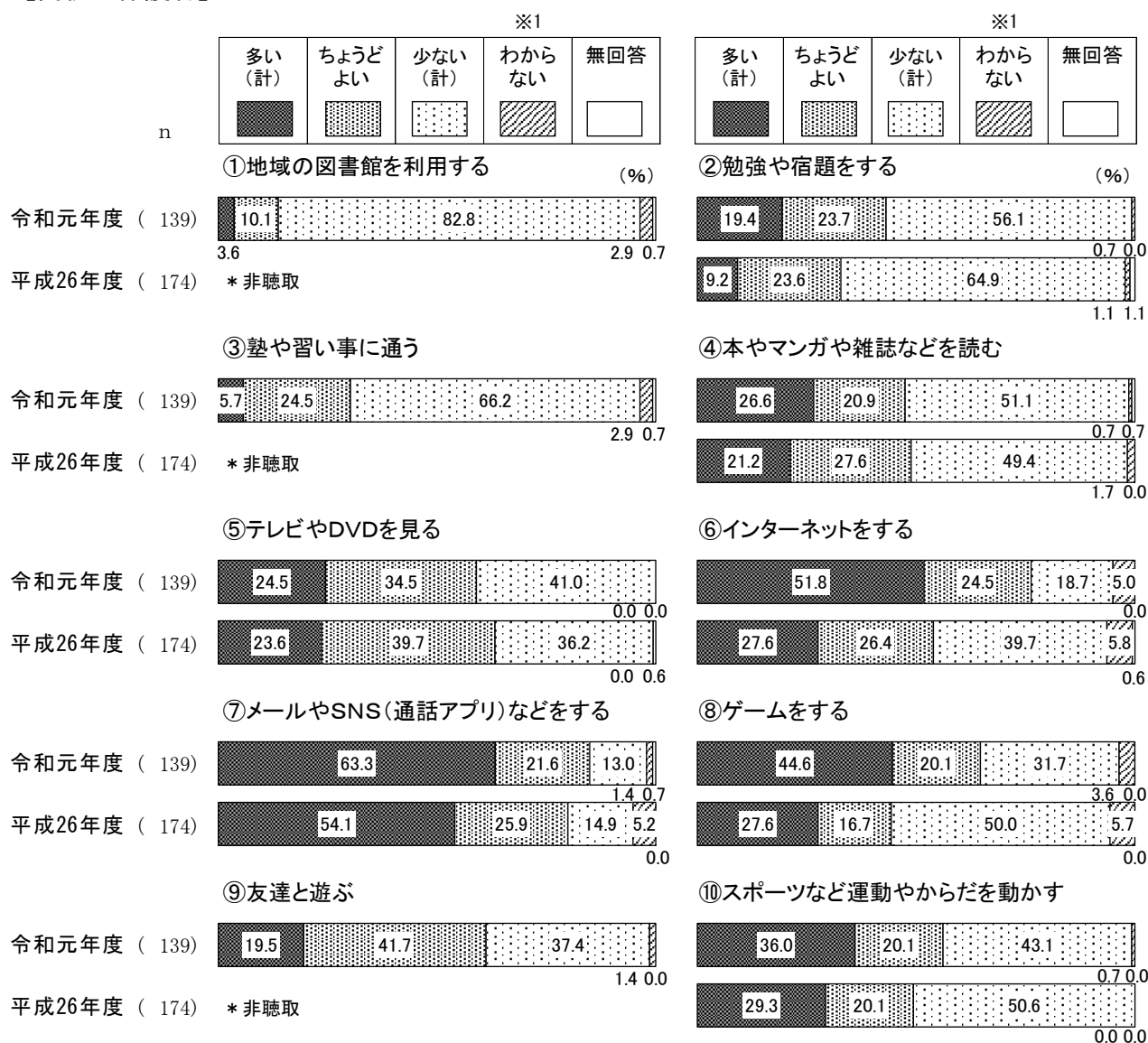


※平成26年度の選択肢「実施していない」は「わからない」と合算している

中学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、④本やマンガや雑誌などを読むは「ちょうどよい」が6.5ポイント減少し、『多い』が2.5ポイント、『少ない』が2.4ポイント増加している。②勉強や宿題をするは「ちょうどよい」が9.3ポイント、『多い』が4.6ポイント増加している。⑥インターネットをするは『多い』が20.3ポイント、⑦メールやSNS（通話アプリ）などをするは『多い』が13.6ポイント増加している。

《 子どもの読書とその他行動時間の印象－経年比較 》

【高校生保護者】

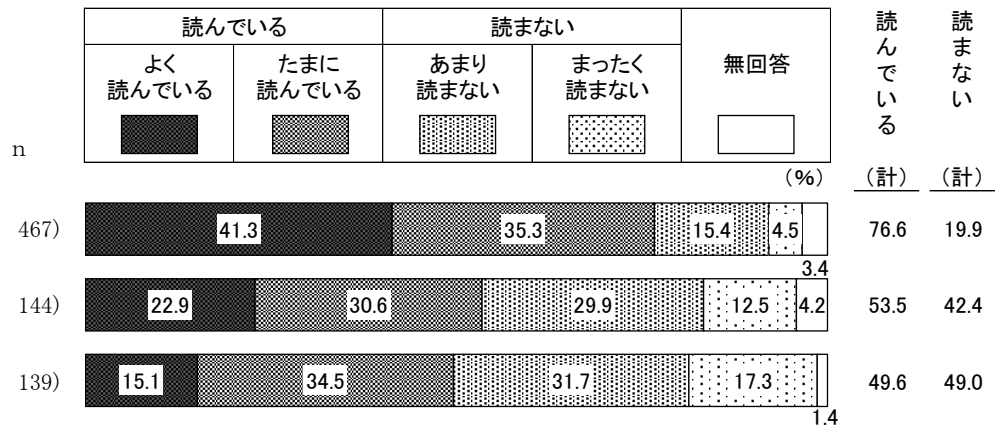


高校生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、④本やマンガや雑誌などを読むは『多い』が5.4ポイント増加している。②勉強や宿題をするは『多い』が10.2ポイント増加している。⑥インターネットをするは『多い』が24.2ポイント、⑦メールやSNS（通話アプリ）などをするは『多い』が9.2ポイント、⑧ゲームをするは『多い』が17.0ポイント増加している。

2 子どもの読書の環境

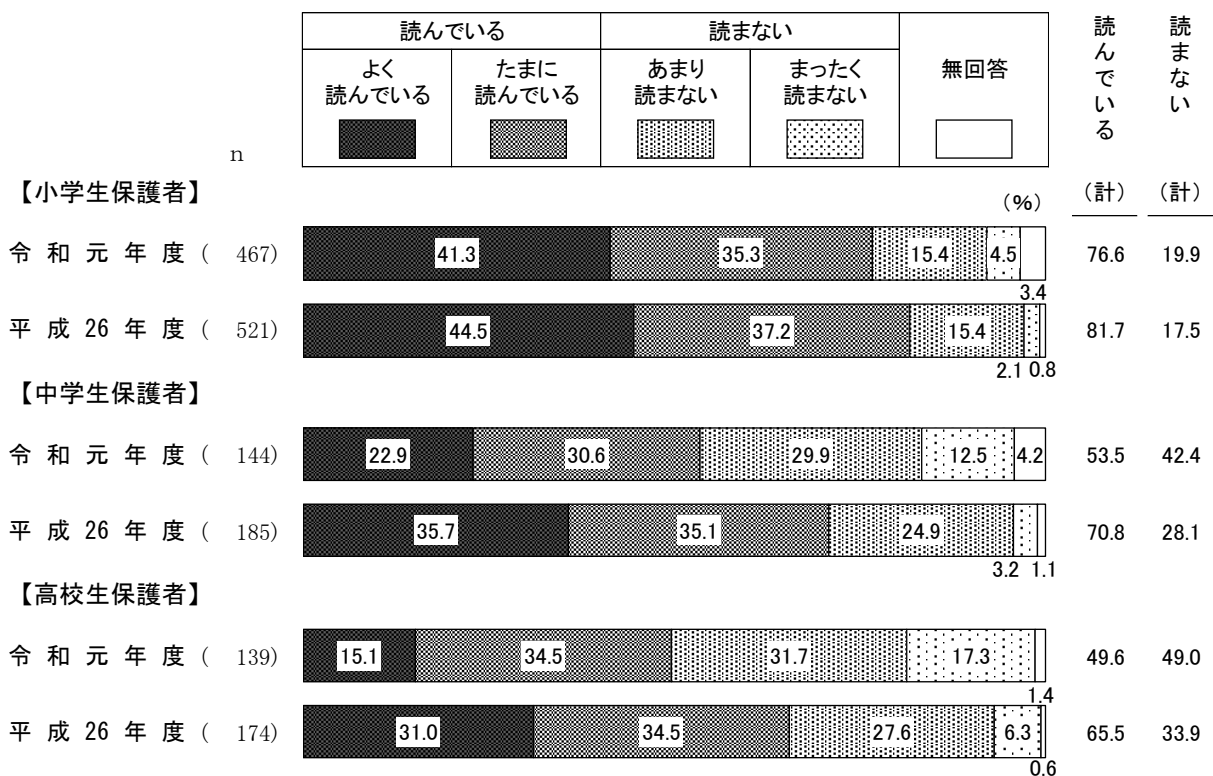
(1) 子どもの読書の程度

問3 対象のお子様は普段、どの程度本を読んでいますか。
(あてはまる番号1つに○)



子どもの読書の程度をたずねたところ、小学生保護者は「よく読んでいる」(41.3%)と「たまに読んでいる」(35.3%)を合わせた『読んでいる』(76.6%)が7割台半ばとなっている。中学生保護者は『読んでいる』(53.5%)が5割を超え、高校生保護者は『読んでいる』(49.6%)が約5割となっている。

《 子どもの読書の程度—経年比較 》



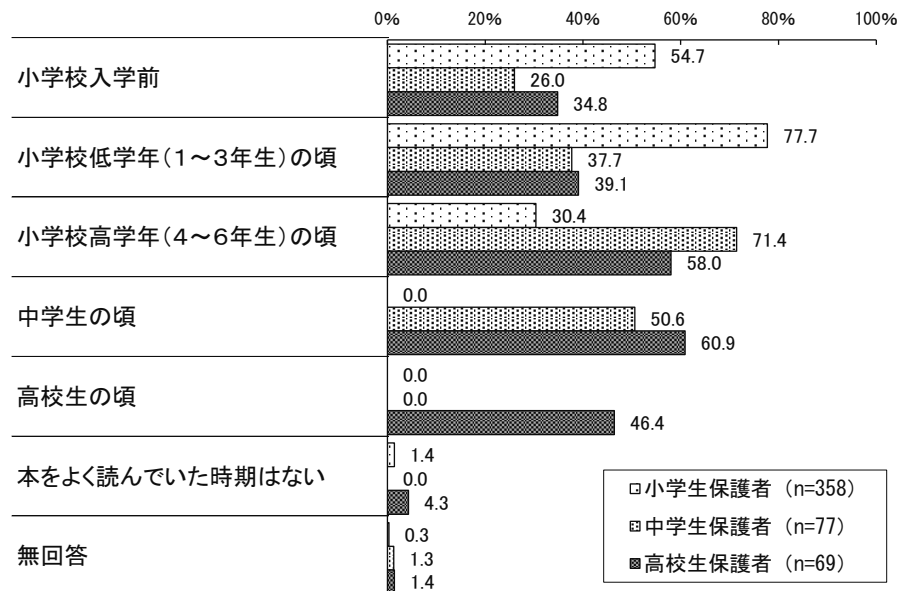
前回調査(平成26年度)と比較すると、『読んでいる』はいずれの保護者も減少しており、小学生保護者は5.1ポイント、中学生保護者は17.3ポイント、高校生保護者は15.9ポイント減少している。

(2) 子どもが本をよく読んでいた時期

【次の問4～問6は、問3で「1」「2」（読んでいる）と答えた方におたずねします】

問4 対象のお子様が本をよく読んでいた時期はいつですか。

(あてはまる番号すべてに○)



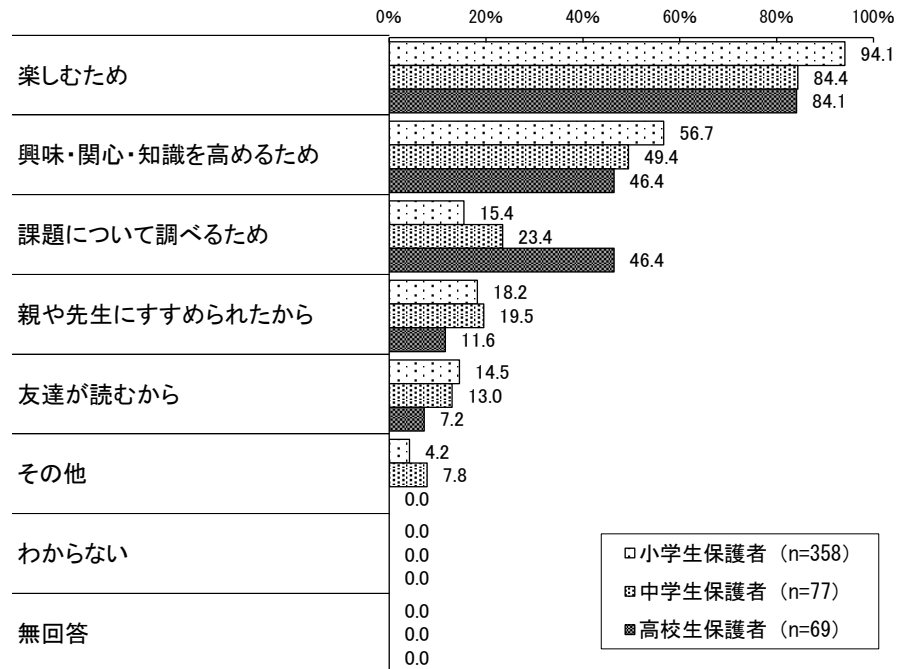
子どもが本を読んでいると回答した保護者に本をよく読んでいた時期をたずねたところ、小学生保護者は「小学校低学年（1～3年生）の頃」（77.7%）が8割近くと最も多く、次いで「小学校入学前」（54.7%）となっている。中学生保護者は「小学校高学年（4～6年生）の頃」（71.4%）が7割を超えて最も多く、次いで「中学生の頃」（50.6%）となっている。高校生保護者は「中学生の頃」（60.9%）が約6割と最も多く、次いで「高校生の頃」（46.4%）となっている。

(3) 子どもが本を読む理由

【次の問4～問6は、問3で「1」「2」（読んでいる）と答えた方におたずねします】

問5 対象のお子様が生本を読む理由は何だと思いますか。

（あてはまる番号すべてに○）

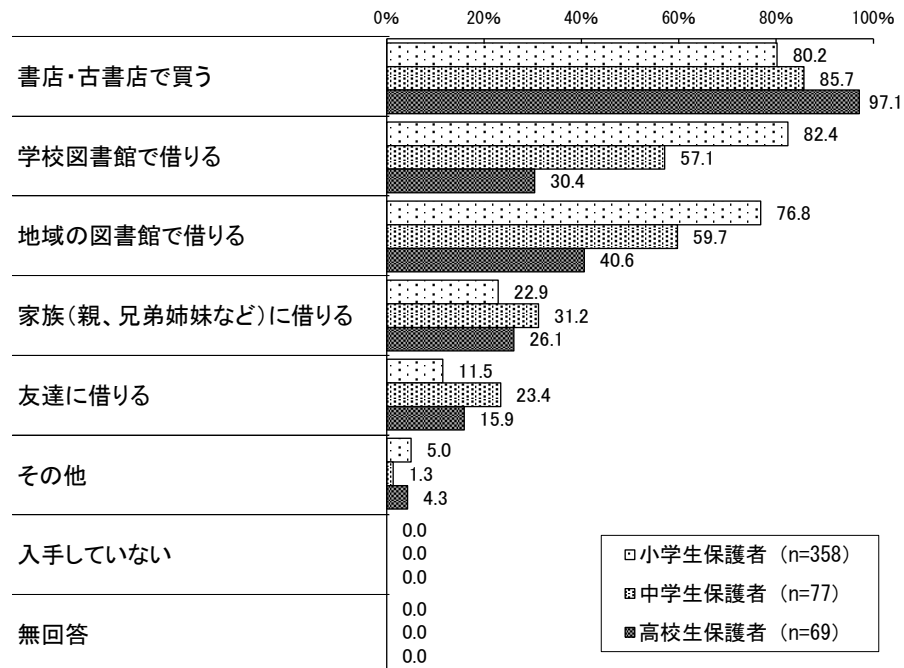


子どもが本を読んでいると回答した保護者に子どもが本を読む理由をたずねたところ、小学生保護者は「楽しむため」（94.1％）が9割台半ばと最も多く、次いで「興味・関心・知識を高めるため」（56.7％）、「親や先生にすすめられたから」（18.2％）の順となっている。中学生保護者は「楽しむため」（84.4％）が8割台半ばと最も多く、次いで「興味・関心・知識を高めるため」（49.4％）、「課題について調べるため」（23.4％）の順となっている。高校生保護者は「楽しむため」（84.1％）が8割台半ばと最も多く、次いで「興味・関心・知識を高めるため」、「課題について調べるため」（ともに46.4％）の順となっている。

(4) 子どもが本を読む本の入手方法【紙の本】

【次の問4～問6は、問3で「1」「2」（読んでいる）と答えた方におたずねします】
 問6 対象のお子様が読む本は、どのように入手していますか。
 （あてはまる番号すべてに○）

【紙の本】



子どもが本を読んでいると回答した保護者に子どもが読む本の入手方法をたずねたところ、紙の本については、小学生の保護者は「学校図書館で借りる」（82.4%）が8割を超えて最も多く、次いで「書店・古書店で買う」（80.2%）、「地域の図書館で借りる」（76.8%）の順となっている。中学生保護者は「書店・古書店で買う」（85.7%）が8割台半ばと最も多く、次いで「地域の図書館で借りる」（59.7%）、「学校図書館で借りる」（57.1%）の順となっている。高校生保護者は「書店・古書店で買う」（97.1%）が10割近くと最も多く、次いで「地域の図書館で借りる」（40.6%）、「学校図書館で借りる」（30.4%）の順となっている。

「書店・古書店で買う」は子どもの学年が大きくなるほど多くなり、「学校図書館で借りる」、「地域の図書館で借りる」は子どもの学年が小さいほど多い傾向となっている。

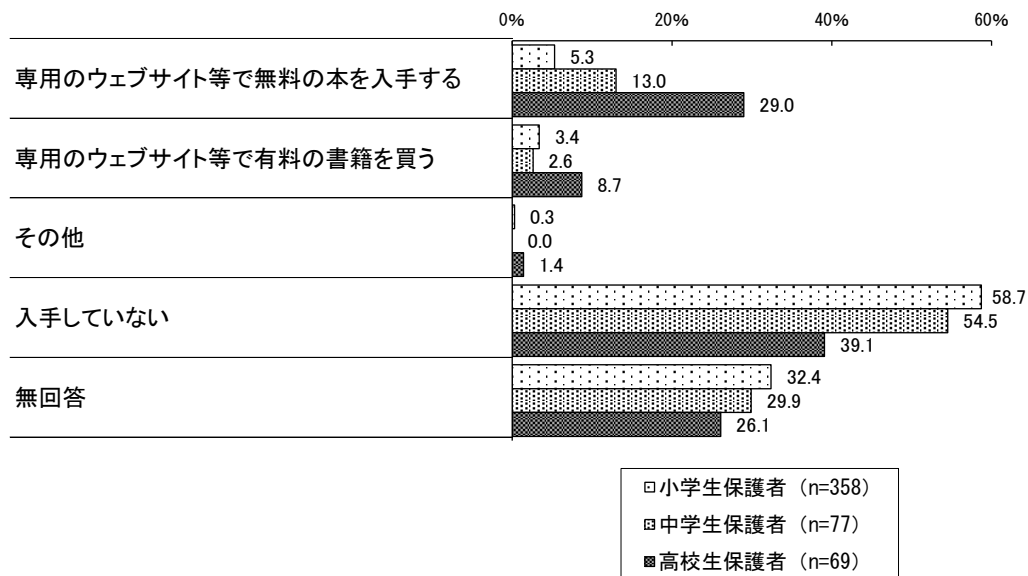
(5) 子どもが本を読む本の入手方法【電子書籍】

【次の問4～問6は、問3で「1」「2」（読んでいる）と答えた方におたずねします】

問6 対象のお子様を読む本は、どのように入手していますか。

（あてはまる番号すべてに○）

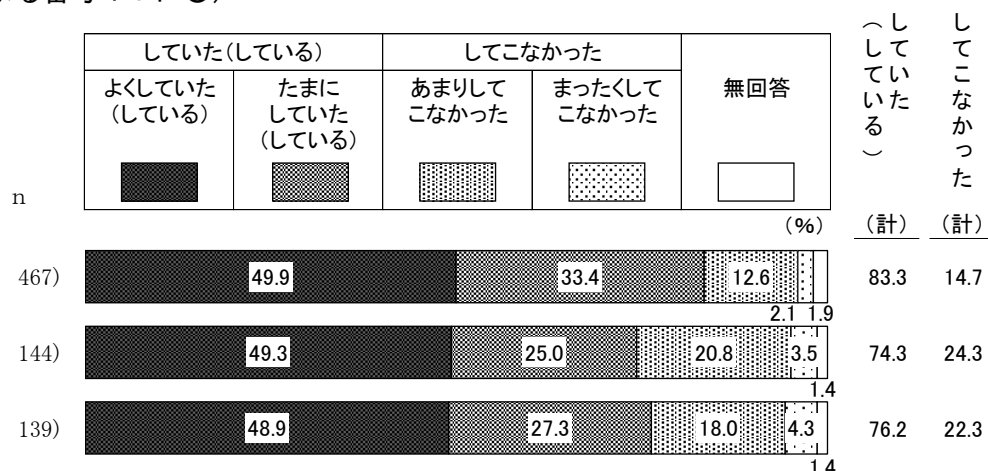
【電子書籍】



子どもが本を読んでいると回答した保護者に子どもが読む本の入手方法をたずねたところ、電子書籍については、「入手していない」が小学生保護者（58.7%）が6割近く、中学生保護者（54.5%）が5割台半ば、高校生保護者（39.1%）が約4割となっている（「無回答」も「入手していない」が含まれると思われる）。「専用のウェブサイト等で無料の本を入手する」は小学生保護者（5.3%）は1割を下回り、中学生保護者（13.0%）は1割台前半、高校生保護者（29.0%）は約3割となっている。

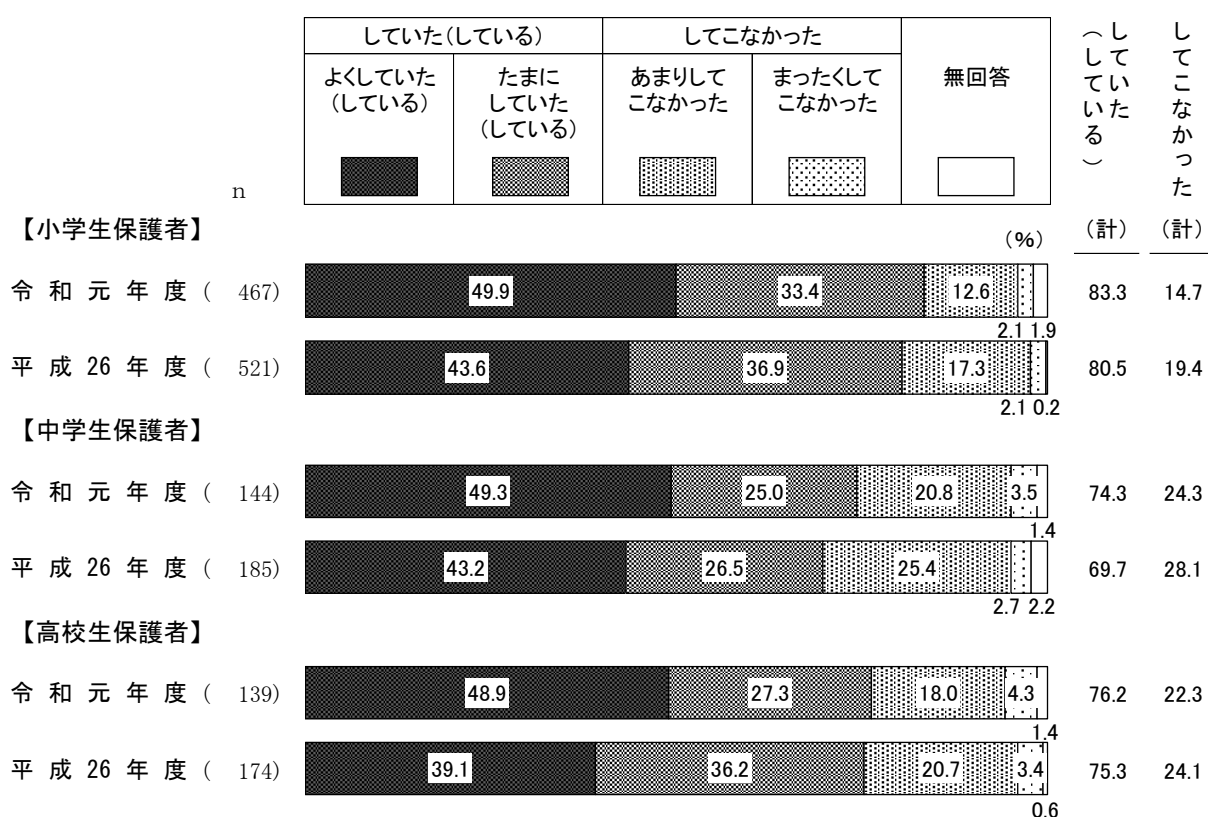
(6) 子どもへの読み聞かせの程度

問7 あなたはこれまでの間、対象のお子様にどの程度読み聞かせをしてきましたか。
(あてはまる番号1つに○)



子どもへの読み聞かせの程度をたずねたところ、「よくしていた(している)」と「たまにしていた(している)」を合わせた『していた(している)』は小学生保護者(83.3%)は8割を超えている。中学生保護者(74.3%)、高校生保護者(76.2%)は7割台半ばとなっている。

《 子どもへの読み聞かせの程度－経年比較 》



前回調査(平成26年度)と比較すると、「よくしていた(している)」は小学生保護者は6.3ポイント、中学生保護者は6.1ポイント、高校生保護者は9.8ポイント増加している。「よくしていた(している)」と「たまにしていた(している)」を合わせた『していた(している)』は小学生保護者は2.8ポイント、中学生保護者は4.6ポイント増加している。

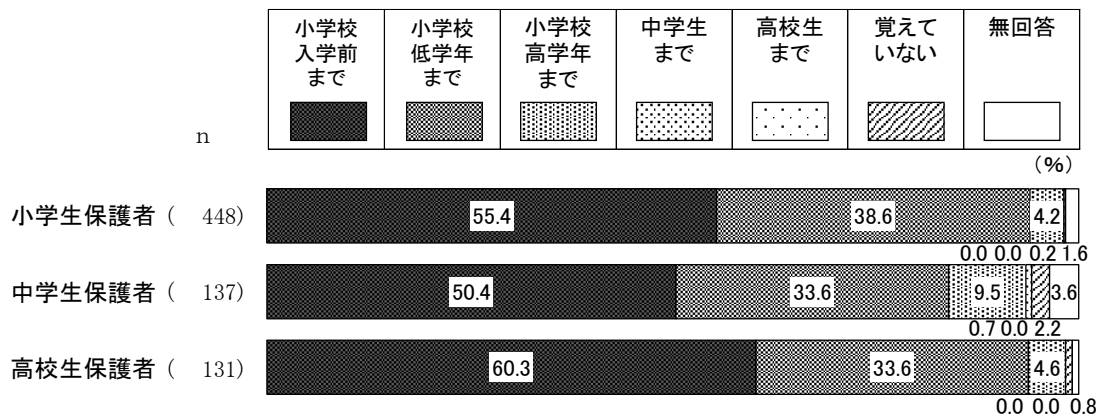
(7) 子どもに読み聞かせをしていた(している)時期

【次の問8は、問7で「1」「2」「3」と答えた方におたずねします】

問8 対象のお子様がいつ頃まで読み聞かせをしていましたか。

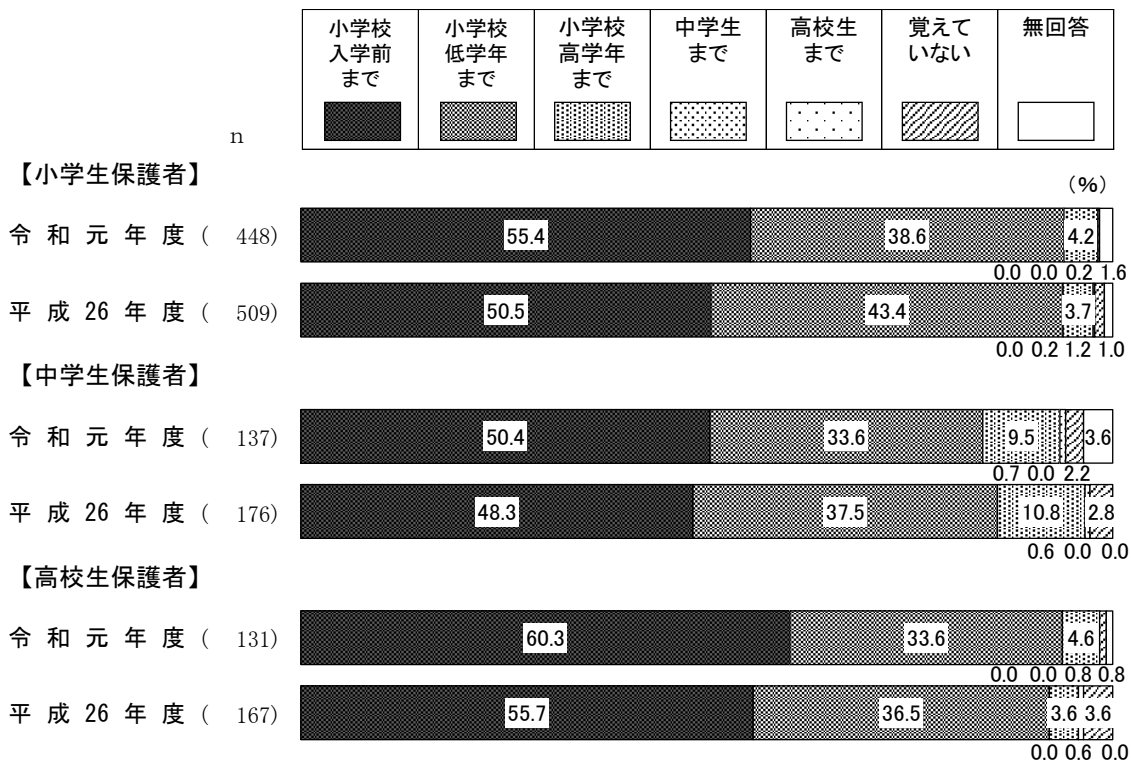
現在も読み聞かせをしている場合は、対象のお子様の年齢に該当する番号をお選びください。

(あてはまる番号1つに○)



子どもに読み聞かせをしていた(している)保護者に読み聞かせをしていた(している)時期をたずねたところ、いずれの保護者も「小学校入学前まで」が最も多く、小学生保護者(55.4%)で5割台半ば、中学生保護者(50.4%)で約5割、高校生保護者(60.3%)で約6割となっている。

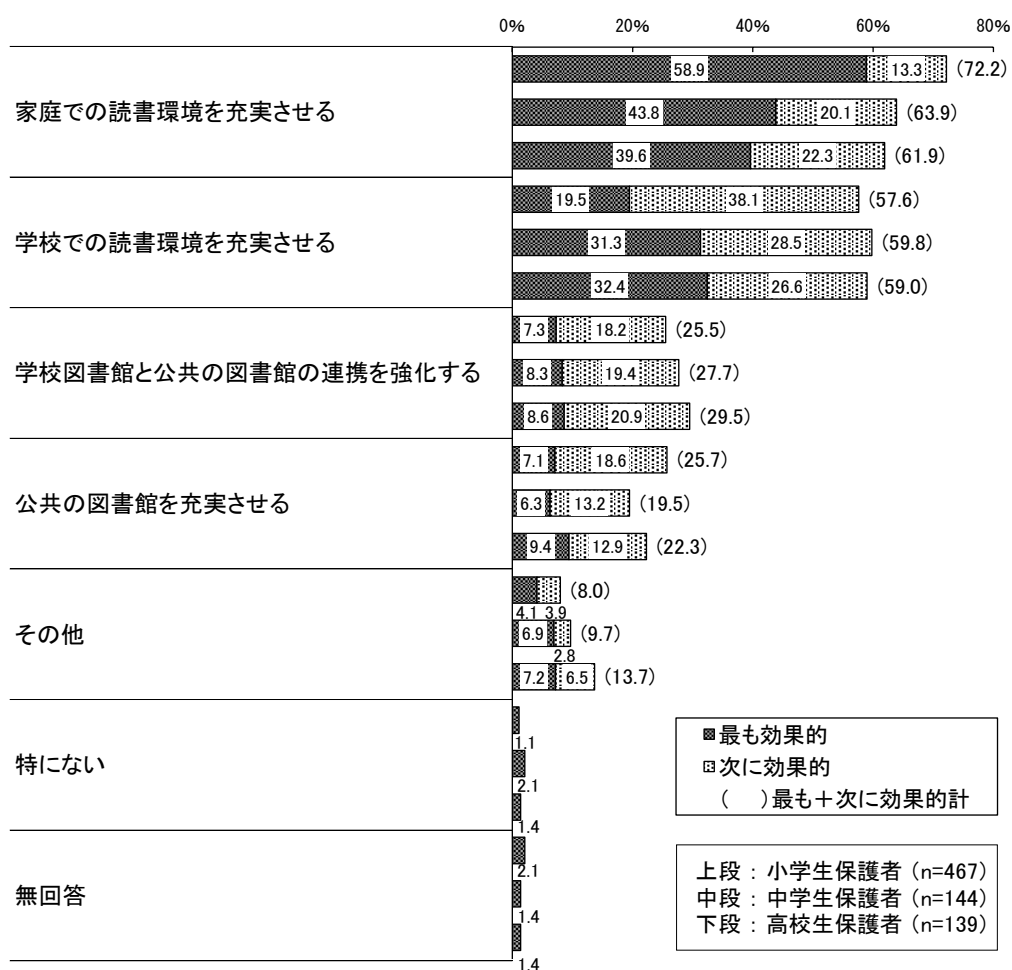
《 子どもに読み聞かせをしていた(している)時期一経年比較 》



前回調査(平成26年度)と比較すると、いずれの保護者も「小学校入学前まで」が増加しており、小学生保護者は4.9ポイント、中学生保護者は2.1ポイント、高校生保護者は4.6ポイント増加している。一方、「小学校低学年まで」はいずれの保護者も減少しており、小学生保護者は4.8ポイント、中学生保護者は3.9ポイント、高校生保護者は2.9ポイント減少している。

(8) 子どもの読書促進に効果的な環境

問9 対象のお子様の読書活動を促すために、どのような環境が必要と思いますか。次の中から効果的と思う順に2つ選んで右の口の中に番号をご記入ください。

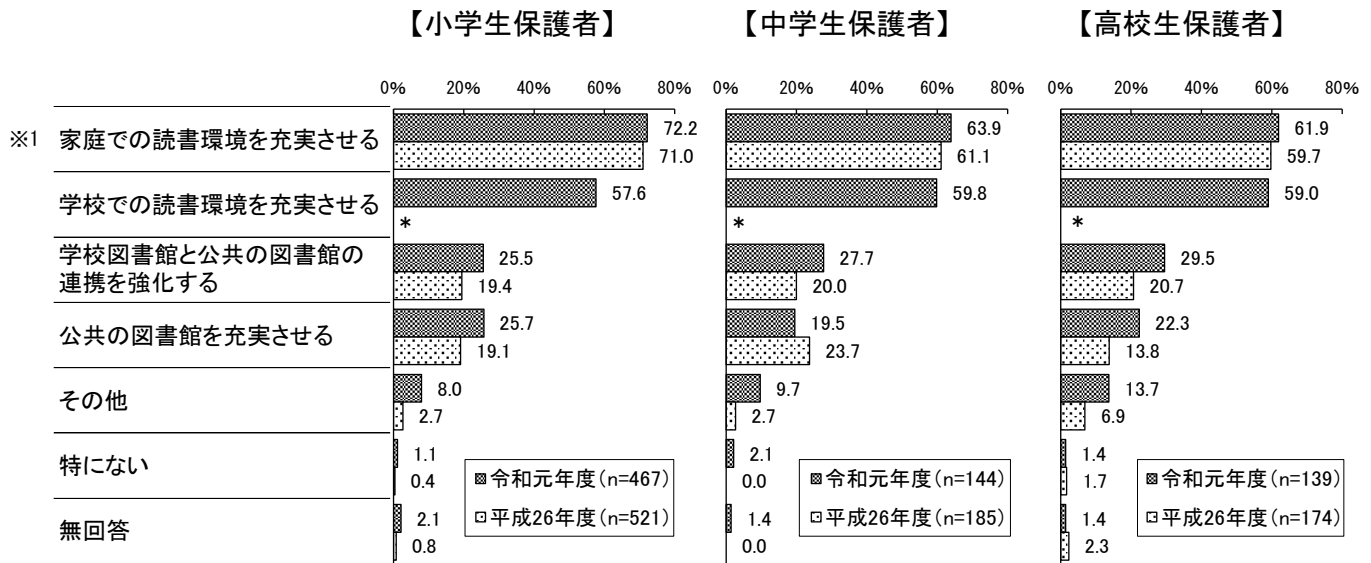


子どもの読書促進に効果的な環境をたずねたところ、最も効果的と思う環境はいずれの保護者も「家庭での読書環境を充実させる」が最も多く、小学生保護者（58.9%）が6割近く、中学生保護者（43.8%）が4割台前半、高校生保護者（39.6%）が約4割となっている。次いで「学校での読書環境を充実させる」となっており、小学生保護者（19.5%）が約2割、中学生保護者（31.3%）、高校生保護者（32.4%）が3割台前半となっている。

次に効果的と思う環境はいずれの保護者も「学校での読書環境を充実させる」が最も多く、小学生保護者（38.1%）が4割近く、中学生保護者（28.5%）が3割近く、高校生保護者（26.6%）が2割台半ばとなっている。

《 子どもの読書促進に効果的な環境－経年比較 》

【最も＋次に効果的計】



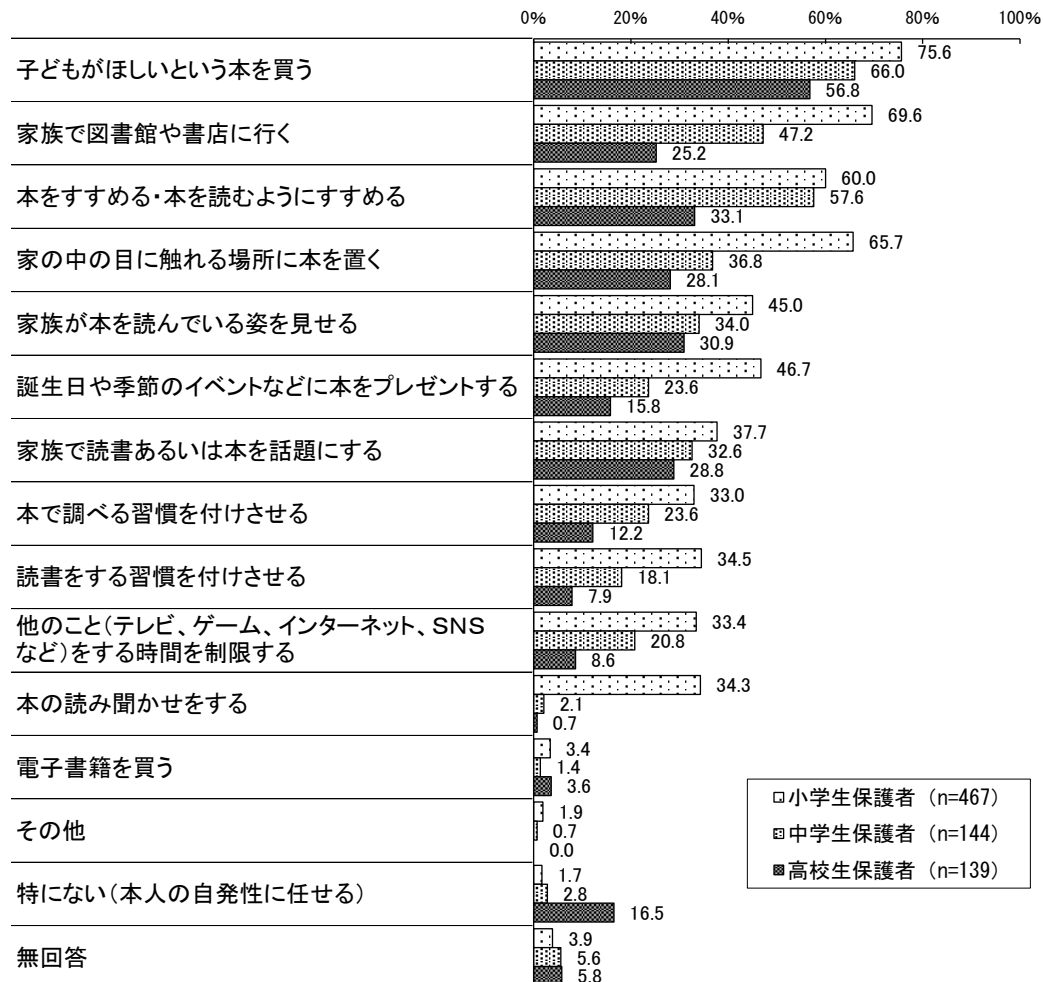
※1: 平成26年度の選択肢は「家庭での読書環境を整える」

※図中「*」: 平成26年度は非聴取(「学校での読書時間を増やす」と「学校の図書室を充実させる」を分けて聴取)

前回調査(平成26年度)と最も＋次に効果的計を比較すると、「家庭での読書環境を充実させる」はいずれの保護者も大きな変化はみられない。「学校図書館と公共の図書館の連携を強化する」は小学生保護者が6.1ポイント、中学生保護者が7.7ポイント、高校生保護者が8.8ポイント増加している。「公共の図書館を充実させる」は小学生保護者が6.6ポイント、高校生保護者が8.5ポイント増加している。

(9) 子どもの読書促進のために普段行っていること

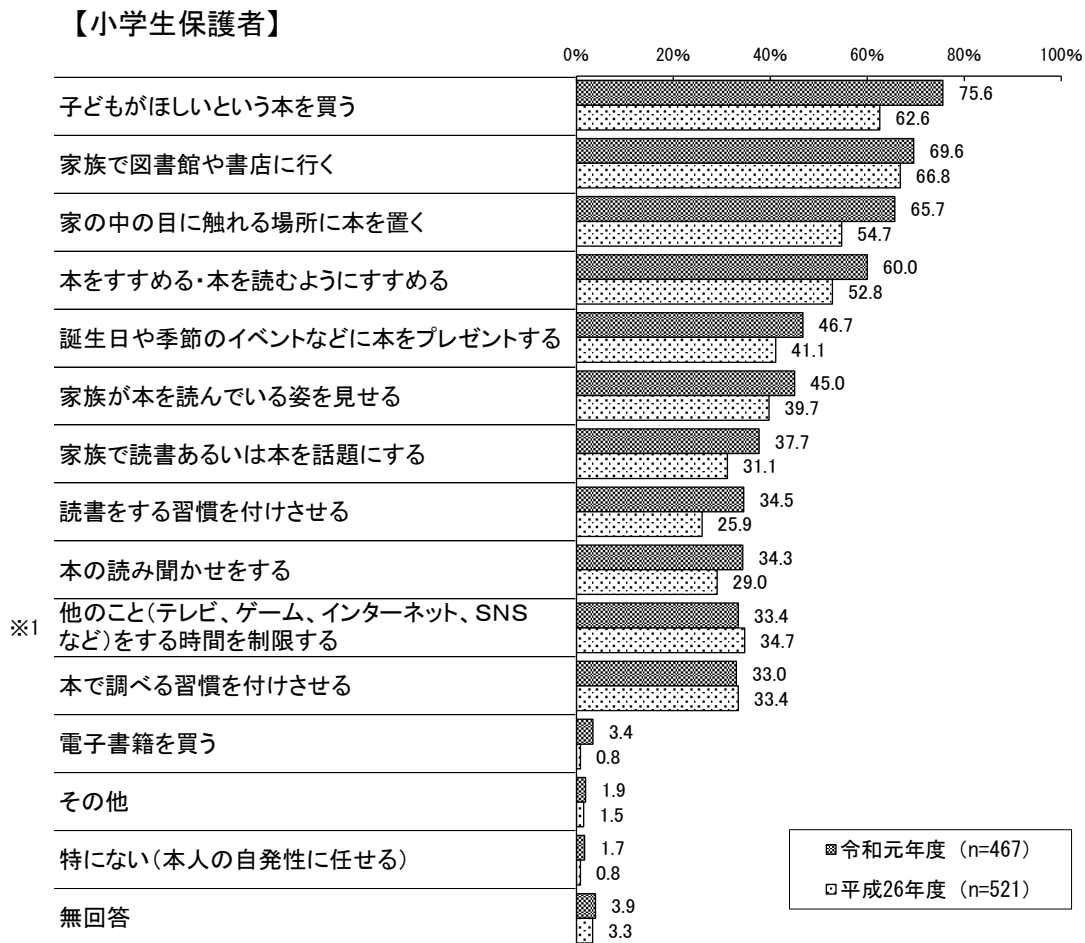
問10 対象のお子様の読書活動を促すために、あなたや家族で行っていることはありますか。また、対象のお子様がもっと本を読むように、今後は（今後も）行っていきたいと思うことはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）



子どもの読書促進のために普段行っていることをたずねたところ、以下のとおりとなっている。

小学生保護者 (n=467)	1 位	子どもがほしいという本を買う	75.6%
	2 位	家族で図書館や書店に行く	69.6%
	3 位	家の中の目に触れる場所に本を置く	65.7%
中学生保護者 (n=144)	1 位	子どもがほしいという本を買う	66.0%
	2 位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	57.6%
	3 位	家族で図書館や書店に行く	47.2%
高校生保護者 (n=139)	1 位	子どもがほしいという本を買う	56.8%
	2 位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	33.1%
	3 位	家族が本を読んでいる姿を見せる	30.9%

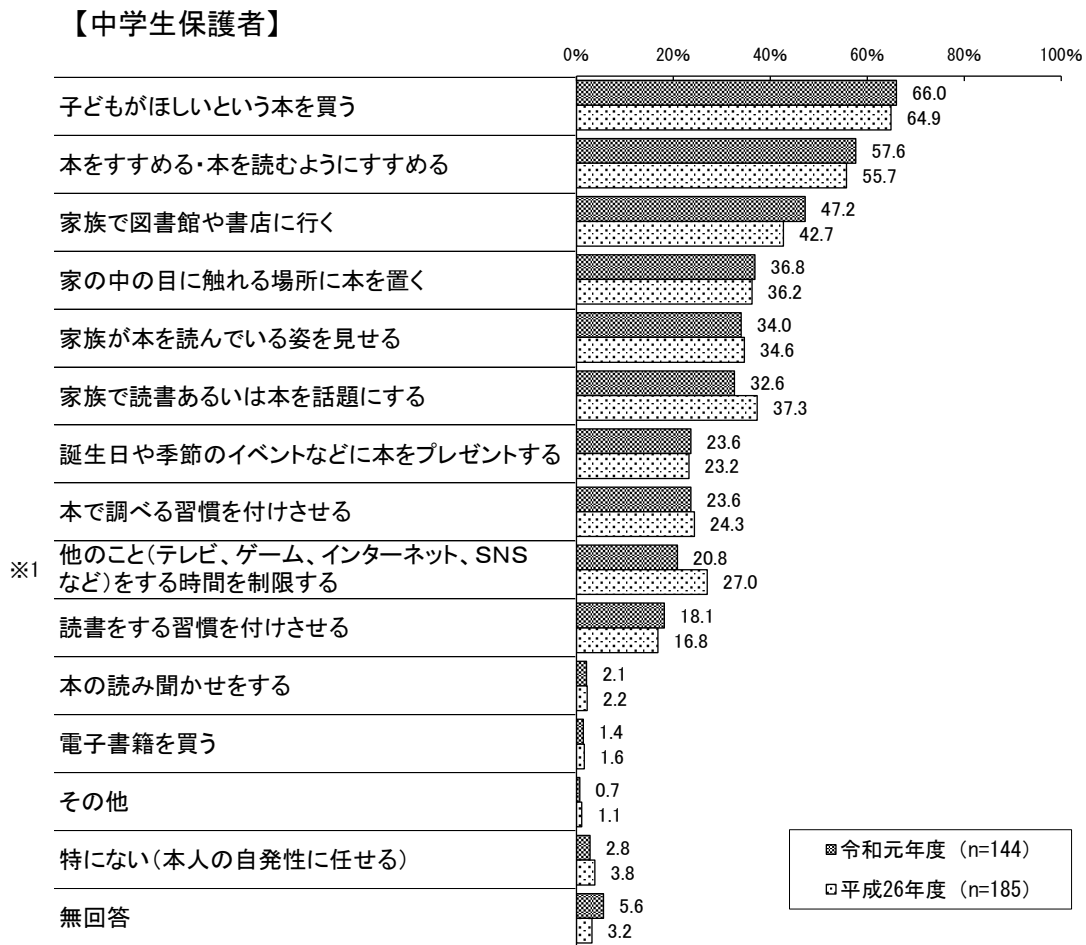
《 子どもの読書促進のために普段行っていること一経年比較 》



※1: 平成26年度の選択肢は「他なこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する」

小学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、全般に増加の傾向となっており、「子どもがほしいという本を買う」が13.0ポイント、「家の中の目に触れる場所に本を置く」が11.0ポイント、「読書をする習慣を付けさせる」が8.6ポイント、「本をすすめる・本を読むようにすすめる」が7.2ポイント増加している。

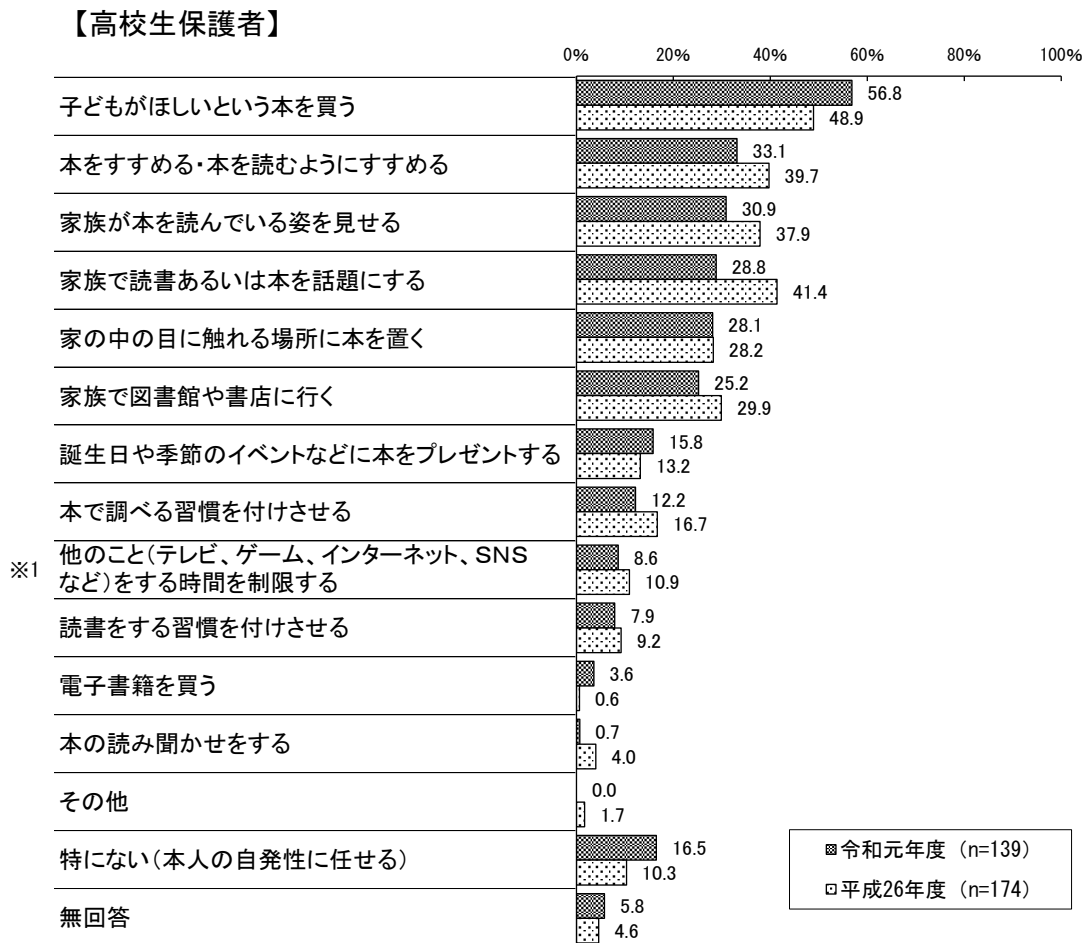
《 子どもの読書促進のために普段行っていること一経年比較 》



※1: 平成26年度の選択肢は「他なこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する」

中学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、「家族で図書館や書店に行く」が4.5ポイント増加している。一方、「他なこと（テレビ、ゲーム、インターネット、SNSなど）をする時間を制限する」が6.2ポイント、「家族で読書あるいは本を話題にする」が4.7ポイント減少している。

《 子どもの読書促進のために普段行っていること一経年比較 》

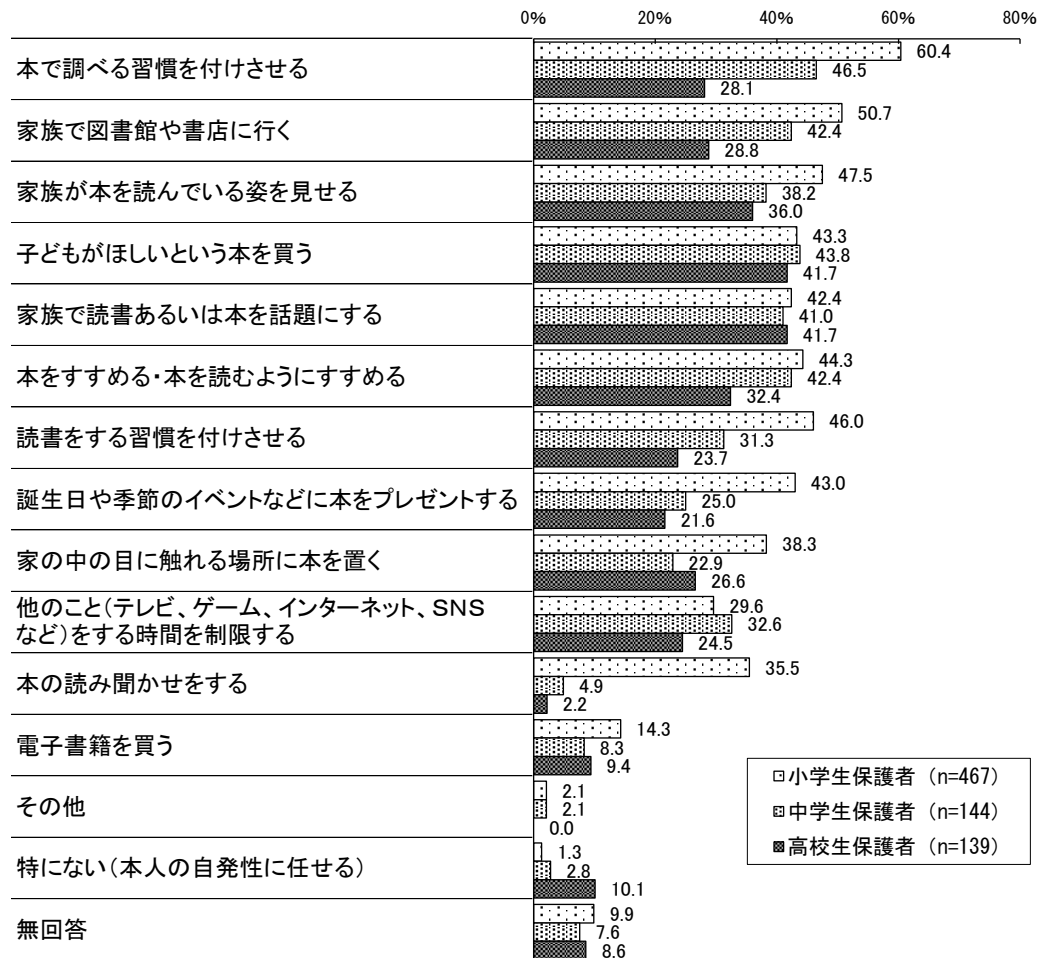


※1: 平成26年度の選択肢は「他なこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する」

高校生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、「子どもがほしいという本を買う」が7.9ポイント、「特にない（本人の自発性に任せる）」が6.2ポイント増加している。一方、「家族で読書あるいは本を話題にする」が12.6ポイント、「家族が本を読んでいる姿を見せる」が7.0ポイント、「本をすすめる・本を読むようにすすめる」が6.6ポイント減少している。

(10) 子どもの読書促進のために今後行いたいこと

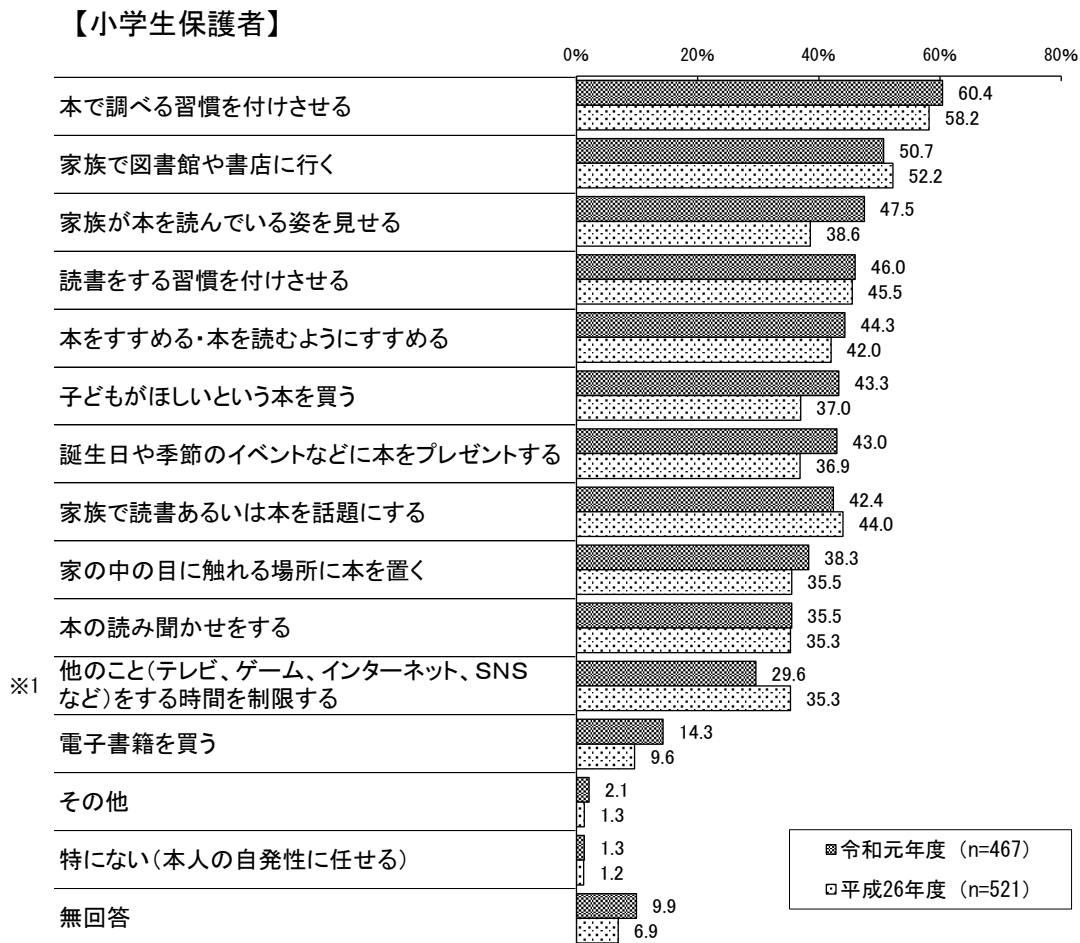
問10 対象のお子様の読書活動を促すために、あなたや家族で行っていることはありますか。また、対象のお子様がもっと本を読むように、今後は（今後も）行っていききたいと思うことはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）



子どもの読書促進のために今後行いたいことをたずねたところ、以下のとおりとなっている。

小学生保護者 (n=467)	1位	本で調べる習慣を付けさせる	60.4%
	2位	家族で図書館や書店に行く	50.7%
	3位	家族が本を読んでいる姿を見せる	47.5%
中学生保護者 (n=144)	1位	本で調べる習慣を付けさせる	46.5%
	2位	子どもがほしいという本を買う	43.8%
	3位	家族で図書館や書店に行く	42.4%
高校生保護者 (n=139)	1位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	42.4%
	1位	子どもがほしいという本を買う	41.7%
	3位	家族で読書あるいは本を話題にする	41.7%
		家族が本を読んでいる姿を見せる	36.0%

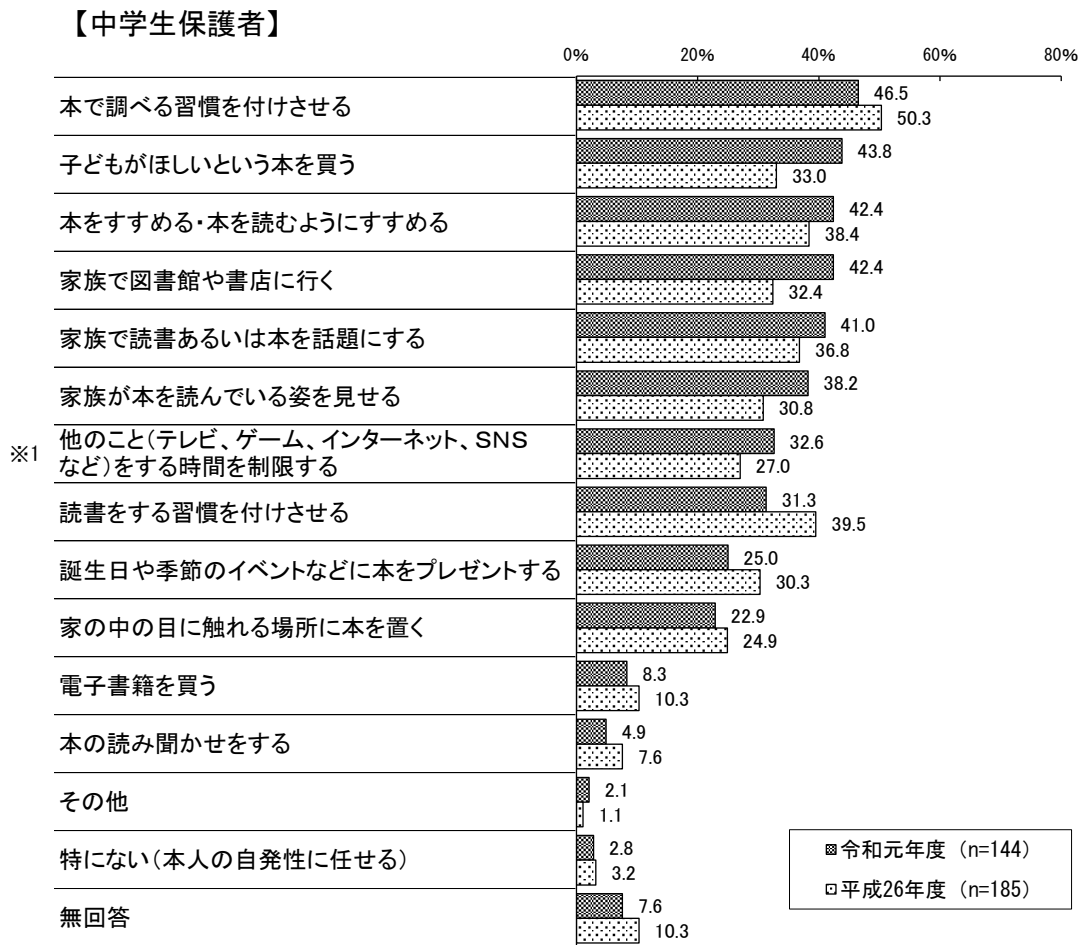
《 子どもの読書促進のために今後行いたいこと一経年比較 》



※1: 平成26年度の選択肢は「他のこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する」

小学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、「家族が本を読んでいる姿を見せる」が8.9ポイント、「子どもがほしいという本を買う」が6.3ポイント、「誕生日や季節のイベントなどに本をプレゼントする」が6.1ポイント増加している。一方、「他のこと（テレビ、ゲーム、インターネット、SNSなど）をする時間を制限する」が5.7ポイント減少している。

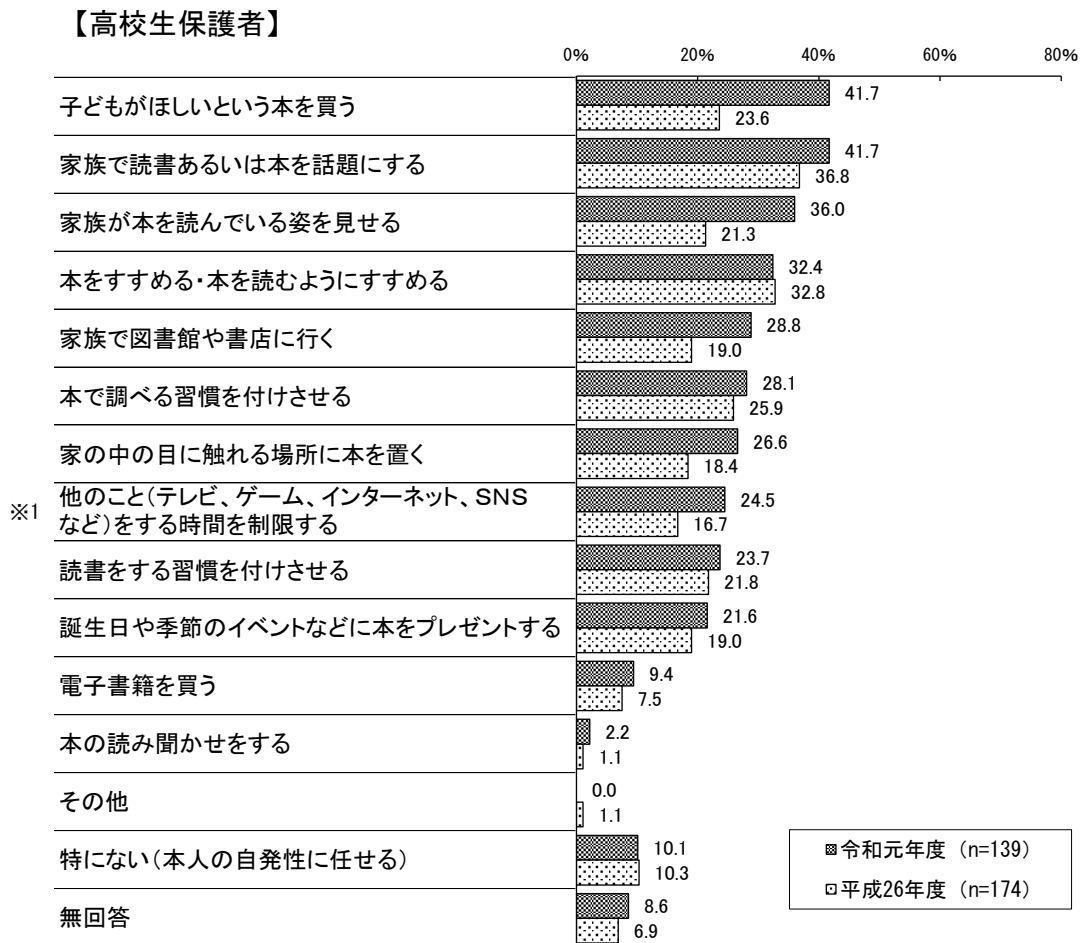
《 子どもの読書促進のために今後行いたいこと一経年比較 》



※1: 平成26年度の選択肢は「他なこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する」

中学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、「子どもがほしいという本を買う」が10.8ポイント、「家族で図書館や書店に行く」が10.0ポイント、「家族が本を読んでいる姿を見せる」が7.4ポイント増加している。一方、「読書をする習慣を付けさせる」が8.2ポイント、「誕生日や季節のイベントなどに本をプレゼントする」が5.3ポイント減少している。

《 子どもの読書促進のために今後行いたいこと－経年比較 》



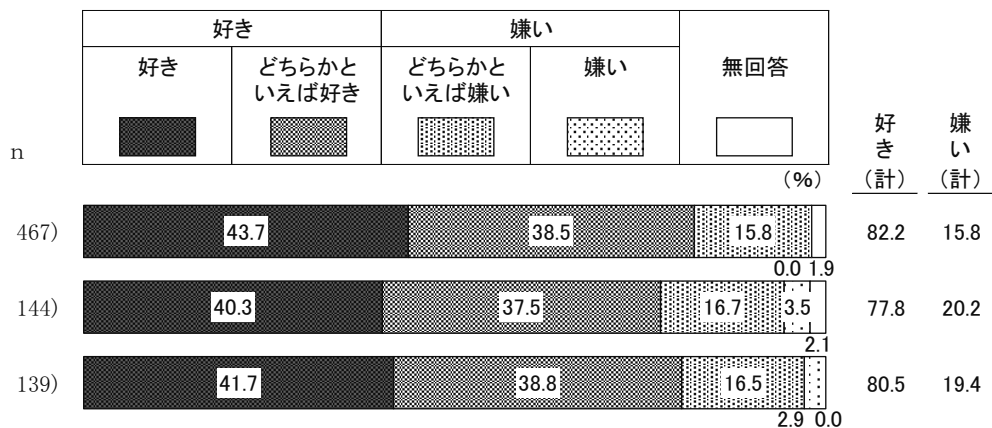
※1: 平成26年度の選択肢は「他のこと(テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話など)をする時間を制限する」

高校生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、「子どもがほしいという本を買う」が18.1ポイント、「家族が本を読んでいる姿を見せる」が14.7ポイント、「家族で図書館や書店に行く」が9.8ポイント、「家の中の目に触れる場所に本を置く」が8.2ポイント、「他のこと（テレビ、ゲーム、インターネット、SNSなど）をする時間を制限する」が7.8ポイント増加している。

3 保護者の読書の実態

(1) 保護者自身が読書が好きかどうか

問11 あなたは、本を読むことが好きですか。
(あてはまる番号1つに○)



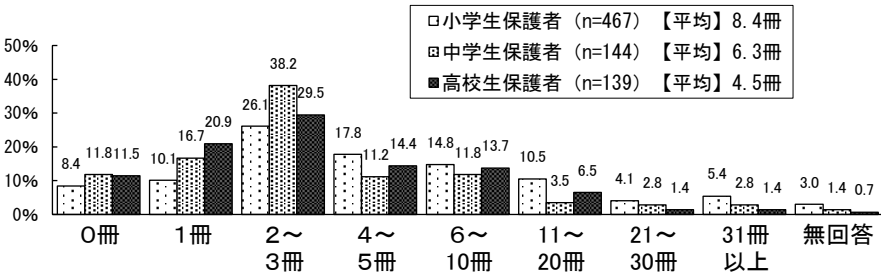
保護者自身が読書が好きかどうかをたずねたところ、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は小学生保護者（82.2%）は8割を超え、中学生保護者（77.8%）は8割近く、高校生保護者（80.5%）は約8割となっている。

(2) 保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

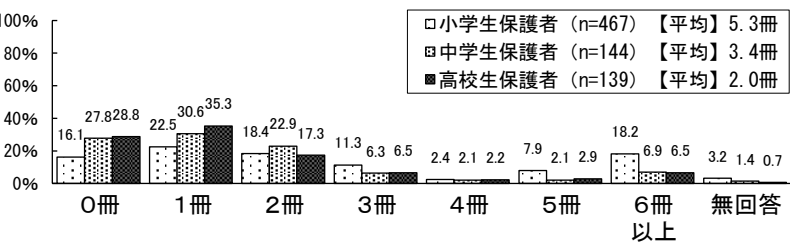
問12 あなたは、1ヵ月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【紙の本】

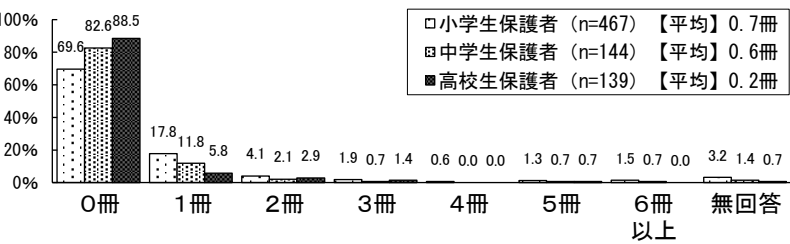
<合計>



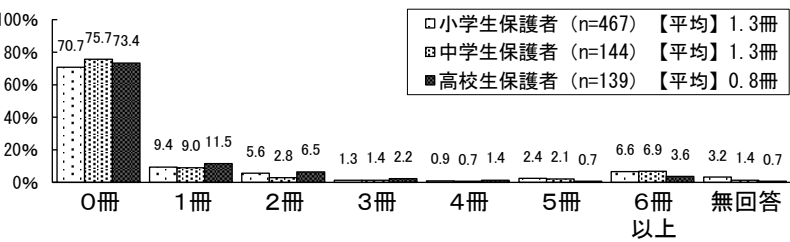
①書籍・絵本



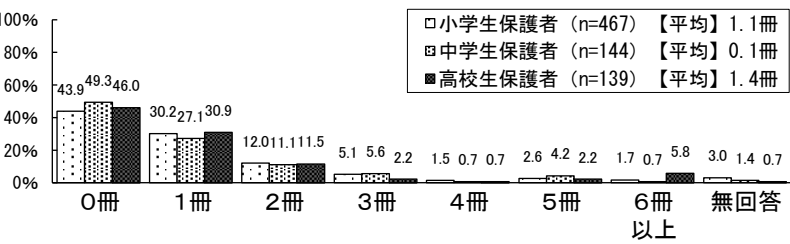
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



《『不読率』》

小学生保護者	8.4%
中学生保護者	11.8%
高校生保護者	11.5%

※不読率は、「紙の本の合計0冊」の回答率とする。

保護者自身の紙の本の1ヵ月間平均読書冊数をたずねたところ、平均は合計で小学生保護者が8.4冊、中学生保護者が6.3冊、高校生保護者が4.5冊となっている。また、『不読率』（0冊）は小学生保護者が8.4%、中学生保護者が11.8%、高校保護者が11.5%となっている。分野別の平均は①書籍・絵本は小学生保護者が5.3冊、中学生保護者が3.4冊、高校生保護者が2.0冊となっている。

(3) 保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

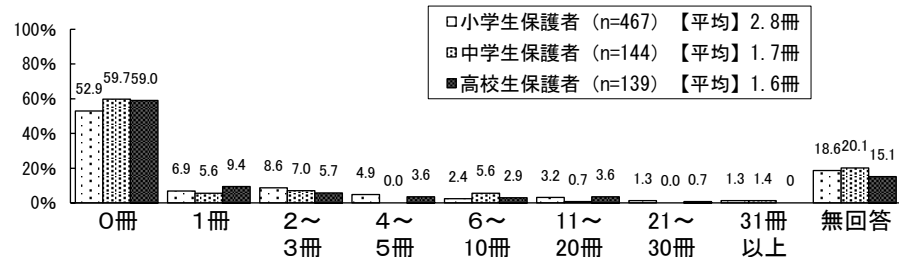
問12 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。

紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。

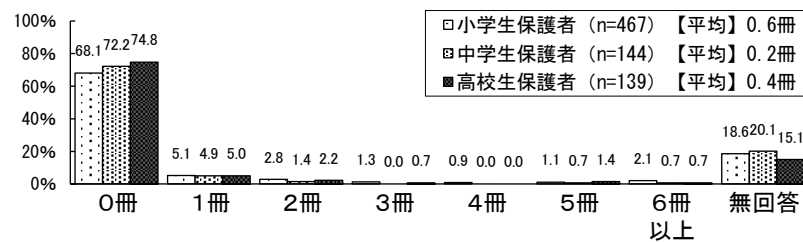
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【電子書籍】

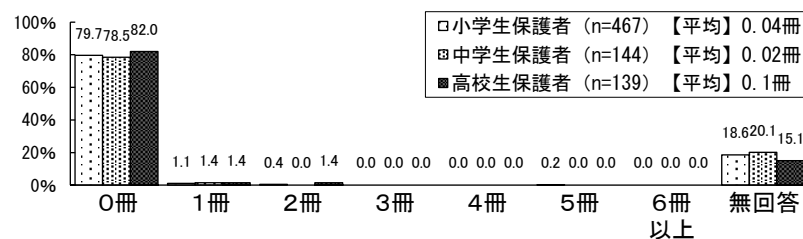
<合計>



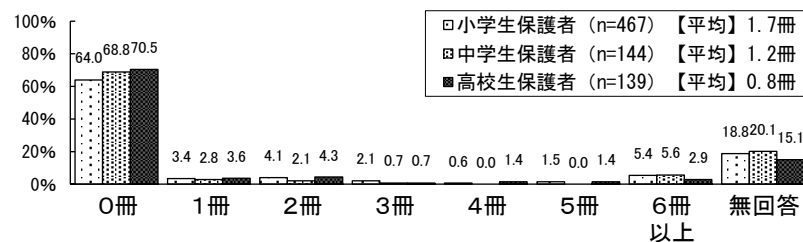
①書籍・絵本



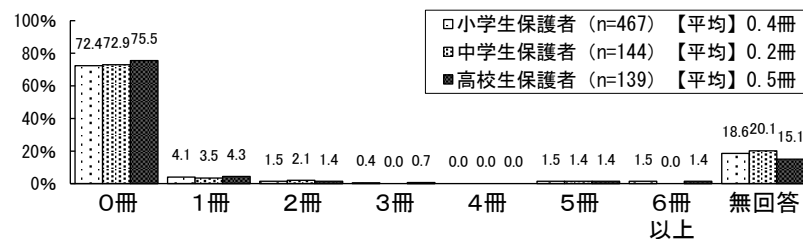
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



④雑誌



保護者自身の電子書籍の1ヵ月間平均読書冊数をたずねたところ、平均は合計で小学生保護が2.8冊、中学生保護者が1.7冊、高校生保護者が1.6冊となっている。

(4) 保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】+【電子書籍】計

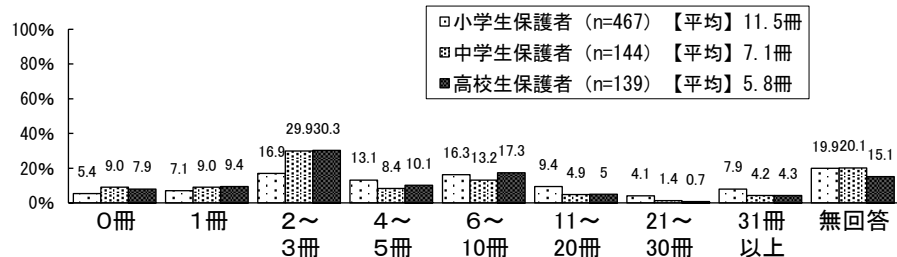
問12 あなたは、1ヵ月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。

紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。

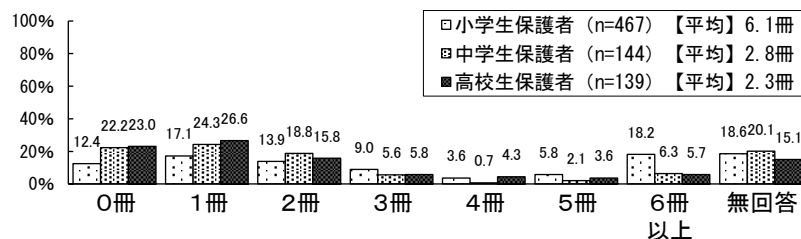
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【紙の本】+【電子書籍】計

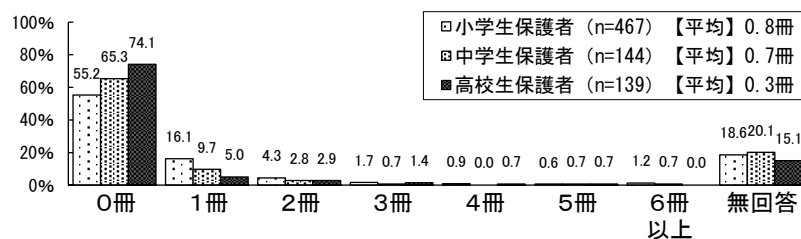
<合計>



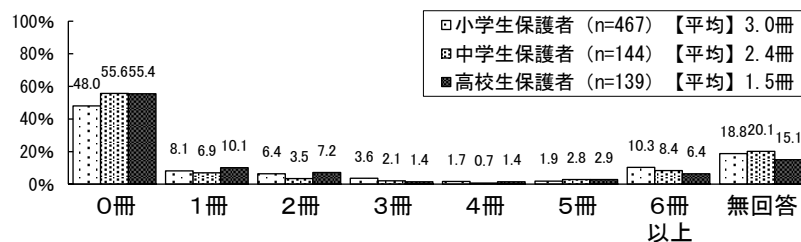
①書籍・絵本



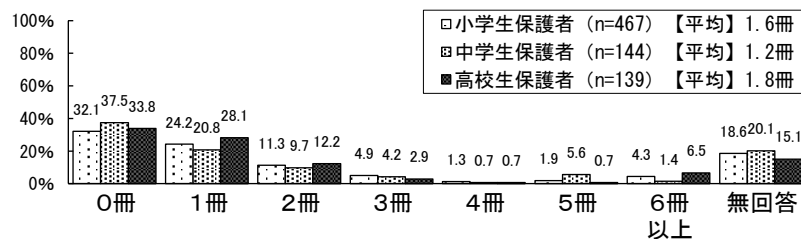
②学習参考書・図鑑



③マンガ・コミック



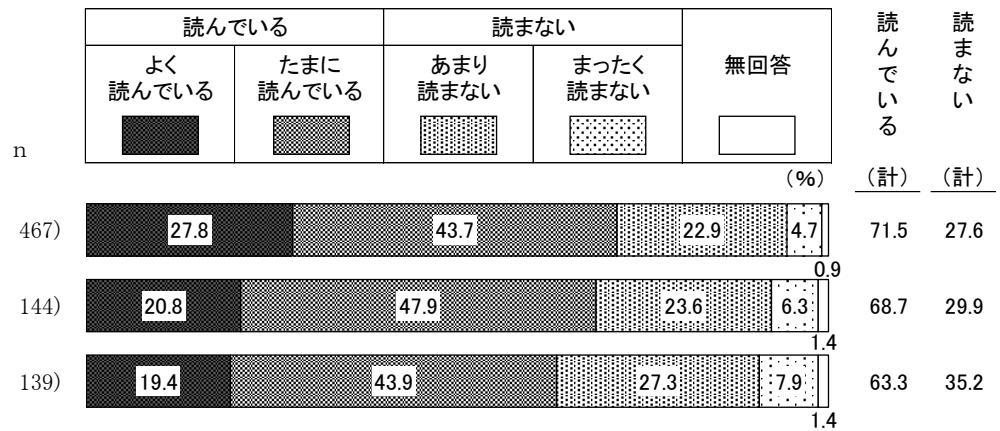
④雑誌



保護者自身の紙の本と電子書籍計の1ヵ月間平均読書冊数は、平均は合計で小学生保護が11.5冊、中学生保護者が7.1冊、高校生保護者が5.8冊となっている。

(5) 保護者自身の読書の程度

問13 あなたは、本をよく読みますか。
(あてはまる番号1つに○)

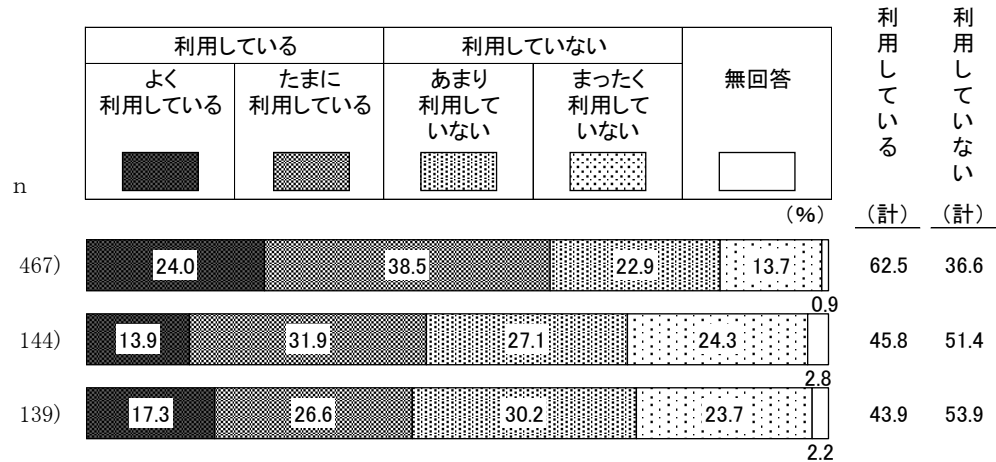


保護者自身の読書の程度をたずねたところ、「よく読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせた『読んでいる』は小学生保護者（71.5%）は7割を超え、中学生保護者（68.7%）は7割近く、高校生保護者（63.3%）は6割台前半となっている。

4 地域の図書館について

(1) 保護者自身の地域の図書館の利用頻度

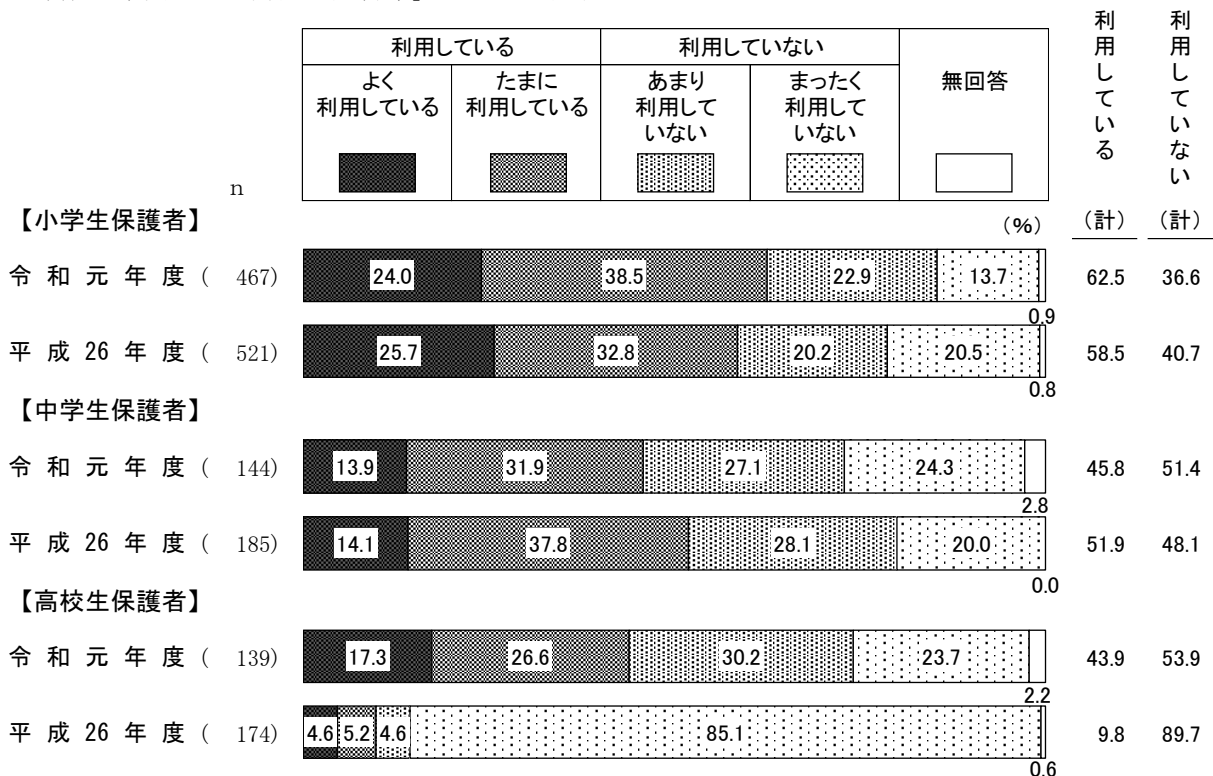
問14 あなたご自身は普段、地域の図書館を利用していますか。
(あてはまる番号1つに○)



保護者自身の地域の図書館の利用頻度をたずねたところ、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している』は小学生保護者（62.5%）は6割を超え、中学生保護者（45.8%）は4割台半ば、高校生保護者（43.9%）は4割台前半となっている。

《 保護者自身の地域の図書館の利用頻度－経年比較 》

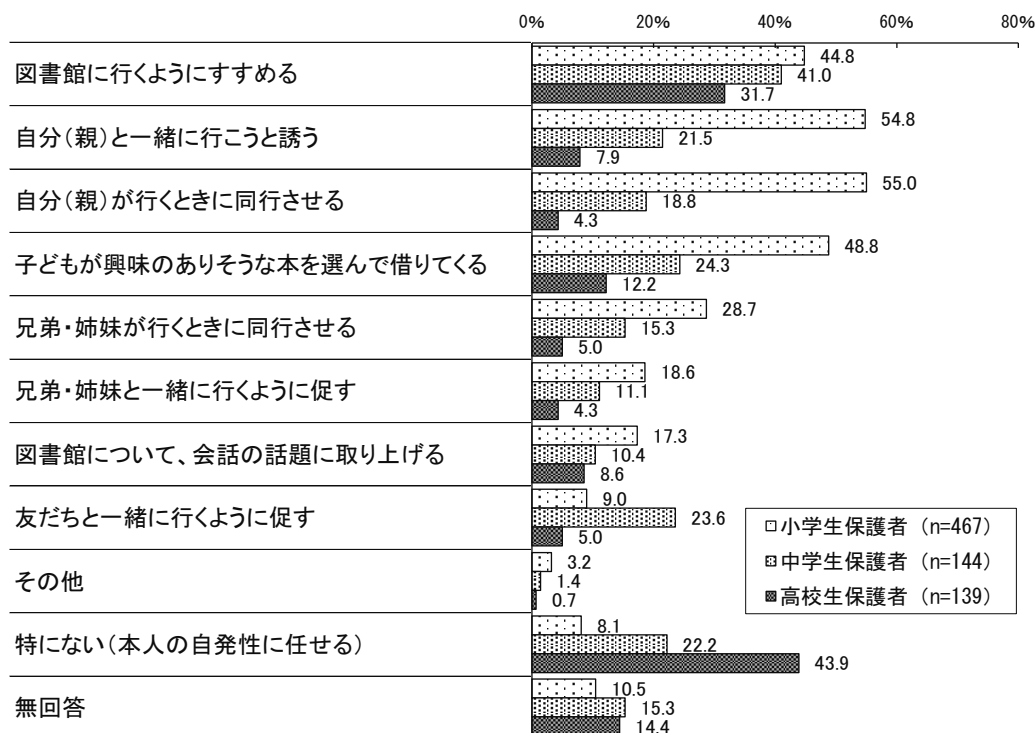
※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取



前回調査（平成26年度）と比較すると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している』は小学生保護者は4.0ポイント増加し、中学生保護者は6.1ポイント減少している。（高校生保護者は平成26年度は豊島区立図書館として聴取したため居住地域と異なることで利用していると回答した割合が少なかったため参考とする）。

(2) 子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること

問15 対象のお子様地域図書館を利用するように、あなたが普段行っていることはありますか。また、今後は（今後も）行いたいことはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

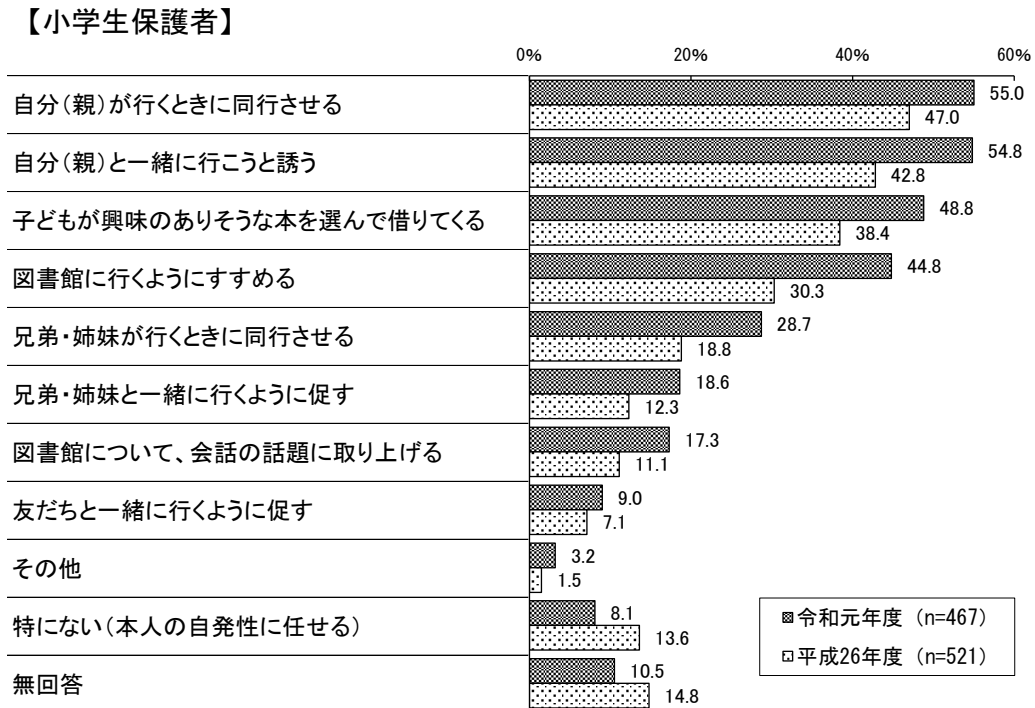


子どもの地域の図書館利用のために普段行っていることをたずねたところ、以下のとおりとなっている。

小学生保護者 (n=467)	1位	自分(親)が行くときに同行させる	55.0%
	2位	自分(親)と一緒にいこうと誘う	54.8%
	3位	子どもが興味のありそうな本を選んで借りてくる	48.8%
中学生保護者 (n=144)	1位	図書館に行くようにすすめる	41.0%
	2位	子どもが興味のありそうな本を選んで借りてくる	24.3%
	3位	友だちと一緒にいこうように促す	23.6%
高校生保護者 (n=139)	1位	特になし(本人の自発性に任せる)	43.9%
	2位	図書館に行くようにすすめる	31.7%
	3位	子どもが興味のありそうな本を選んで借りてくる	12.2%

《 子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること一経年比較 》

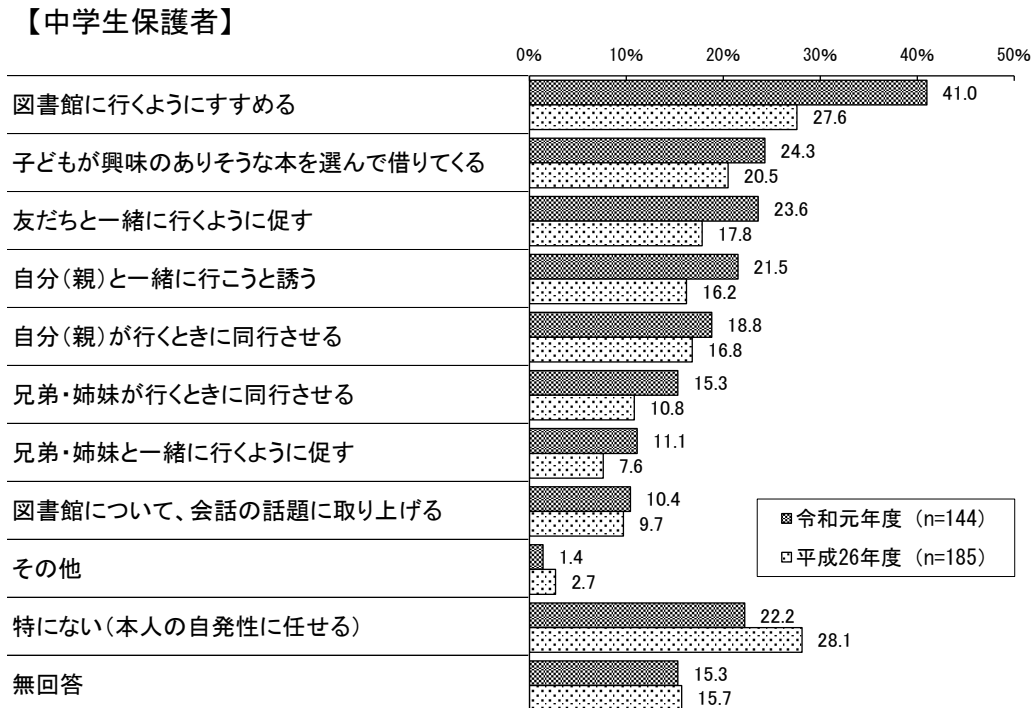
※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取



小学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、全的に増加の傾向となっており、「図書館に行くようにすすめる」が14.5ポイント、「自分（親）と一緒に行こうと誘う」が12.0ポイント、「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」が10.4ポイント、「兄弟・姉妹が行くときに同行させる」が9.9ポイント、「自分（親）が行くときに同行させる」が8.0ポイント増加している。

《 子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること一経年比較 》

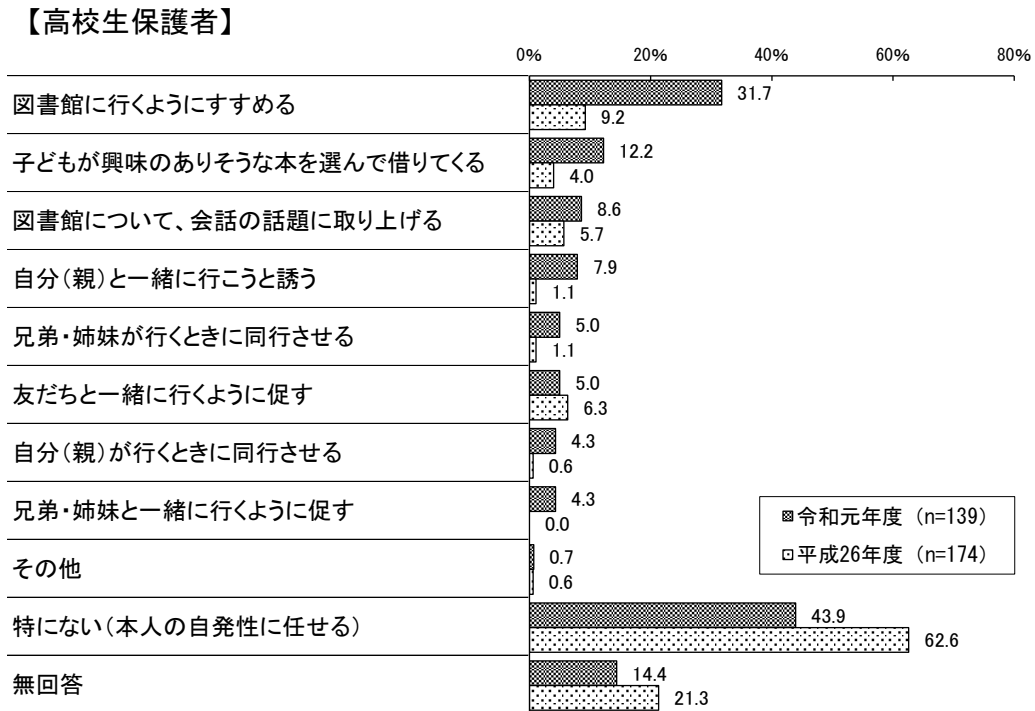
※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取



中学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、全的に増加の傾向となっており、「図書館に行くようにすすめる」が13.4ポイント、「友だちと一緒に行くように促す」が5.8ポイント、「自分（親）と一緒に行こうと誘う」が5.3ポイント、「兄弟・姉妹が行くときに同行させる」が4.5ポイント増加している。

《 子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること一経年比較 》

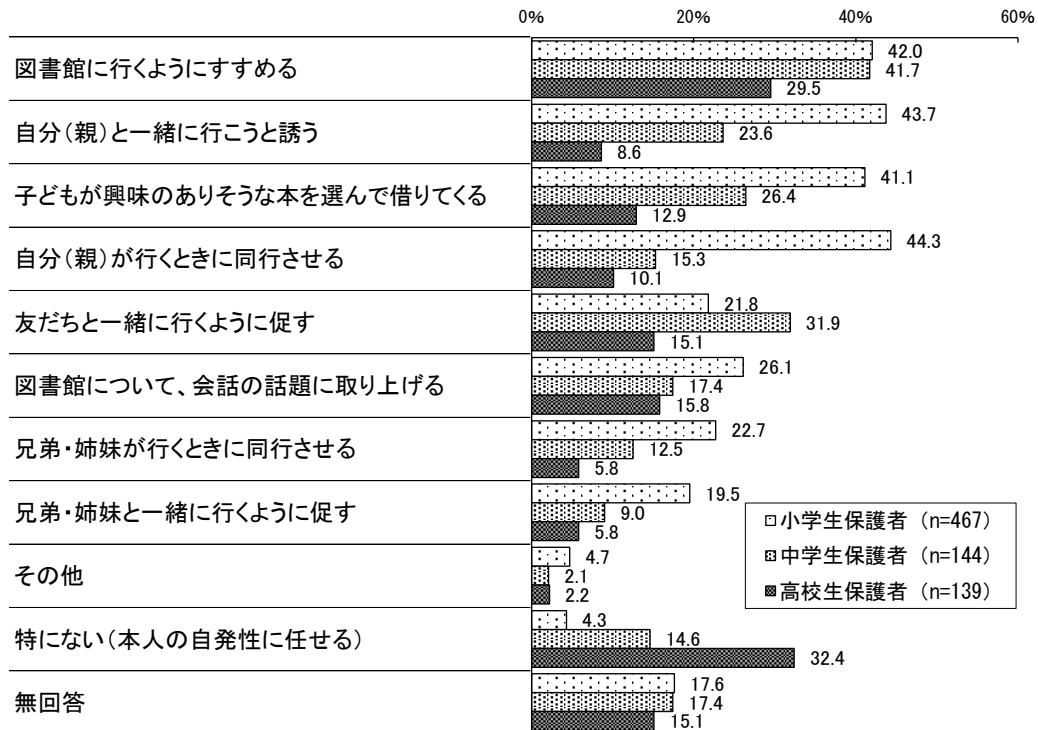
※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取



高校生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、全的に増加の傾向となっており、「図書館に行くようにすすめる」が22.5ポイント、「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」が8.2ポイント、「自分（親）と一緒に行こうと誘う」が6.8ポイント増加している。一方、「特にない（本人の自発性に任せる）」は18.7ポイント減少している。

(3) 子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと

問15 対象のお子様地域が地域の図書館を利用するように、あなたが普段行っていることはありますか。また、今後は（今後も）行いたいことはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

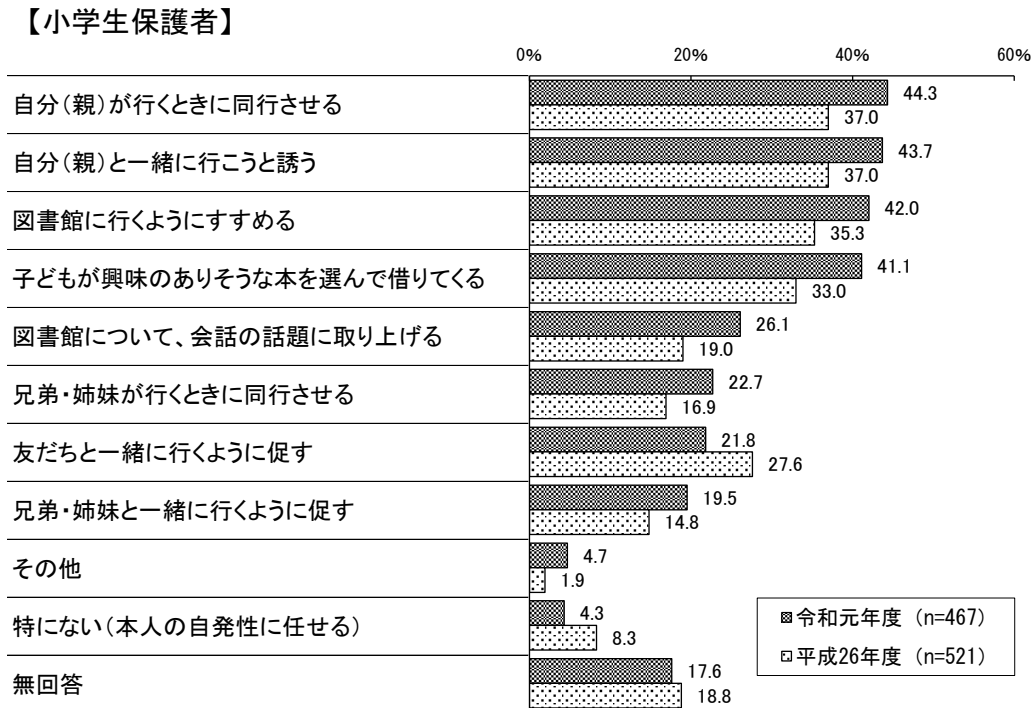


子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいことをたずねたところ、以下のとおりとなっている。

小学生保護者 (n=467)	1位	自分(親)が行くときに同行させる	44.3%
	2位	自分(親)と一緒にいこうと誘う	43.7%
	3位	図書館に行くようにすすめる	42.0%
中学生保護者 (n=144)	1位	図書館に行くようにすすめる	41.7%
	2位	友だちと一緒にいこうと促す	31.9%
	3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	26.4%
高校生保護者 (n=139)	1位	特になし(本人の自発性に任せる)	32.4%
	2位	図書館に行くようにすすめる	29.5%
	3位	図書館について、会話の話題に取り上げる	15.8%

《 子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと一経年比較 》

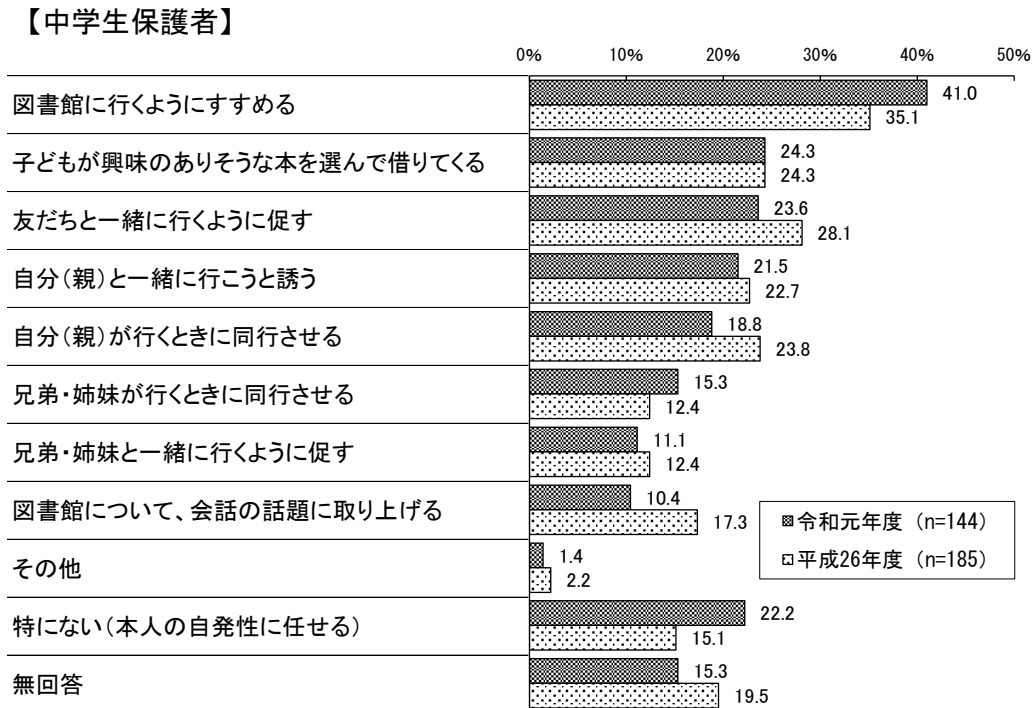
※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取



小学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、全的に増加の傾向となっており、「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」が8.1ポイント、「自分（親）が行くときに同行させる」が7.3ポイント、「図書館について、会話の話題に取り上げる」が7.1ポイント増加している。

《 子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと一経年比較 》

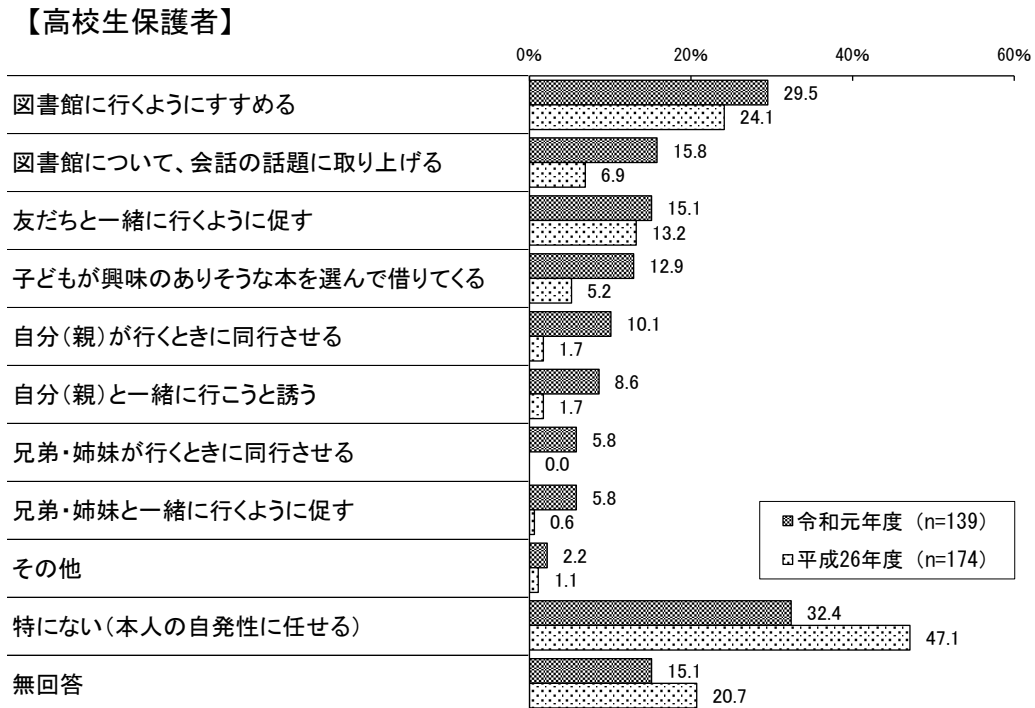
※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取



中学生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、「特にない（本人の自発性に任せる）」が7.1ポイント、「図書館に行くようにすすめる」が5.9ポイント増加している。一方、「図書館について、会話の話題に取り上げる」が6.9ポイント、「自分（親）が行くときに同行させる」が5.0ポイント、「友だちと一緒に行くように促す」が4.5ポイント減少している。

《 子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと一経年比較 》

※平成26年度は「豊島区立図書館」について聴取

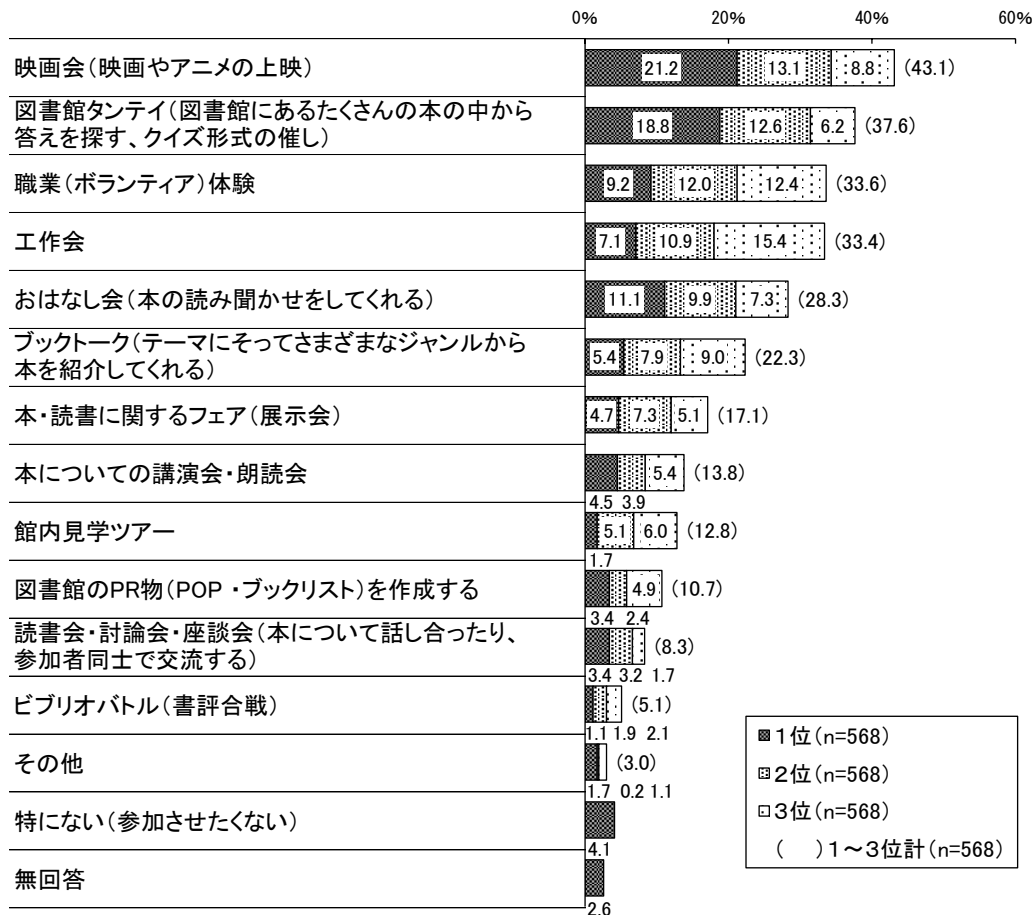


高校生保護者について前回調査（平成26年度）と比較すると、全的に増加の傾向となっており、「図書館について、会話の話題に取り上げる」が8.9ポイント、「自分（親）が行くときに同行させる」が8.4ポイント、「子どもが興味のある本を選んで借りてくる」が7.7ポイント、「自分（親）と一緒に行こうと誘う」が6.9ポイント増加している。一方、「特にない（本人の自発性に任せる）」が14.7ポイント減少している。

(4) 子どもに参加させたい地域の図書館のイベント

問16 対象のお子様について、地域の図書館でどのようなイベントに参加させたいと思いますか。次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。
※すべて無料です。

【小学生保護者】

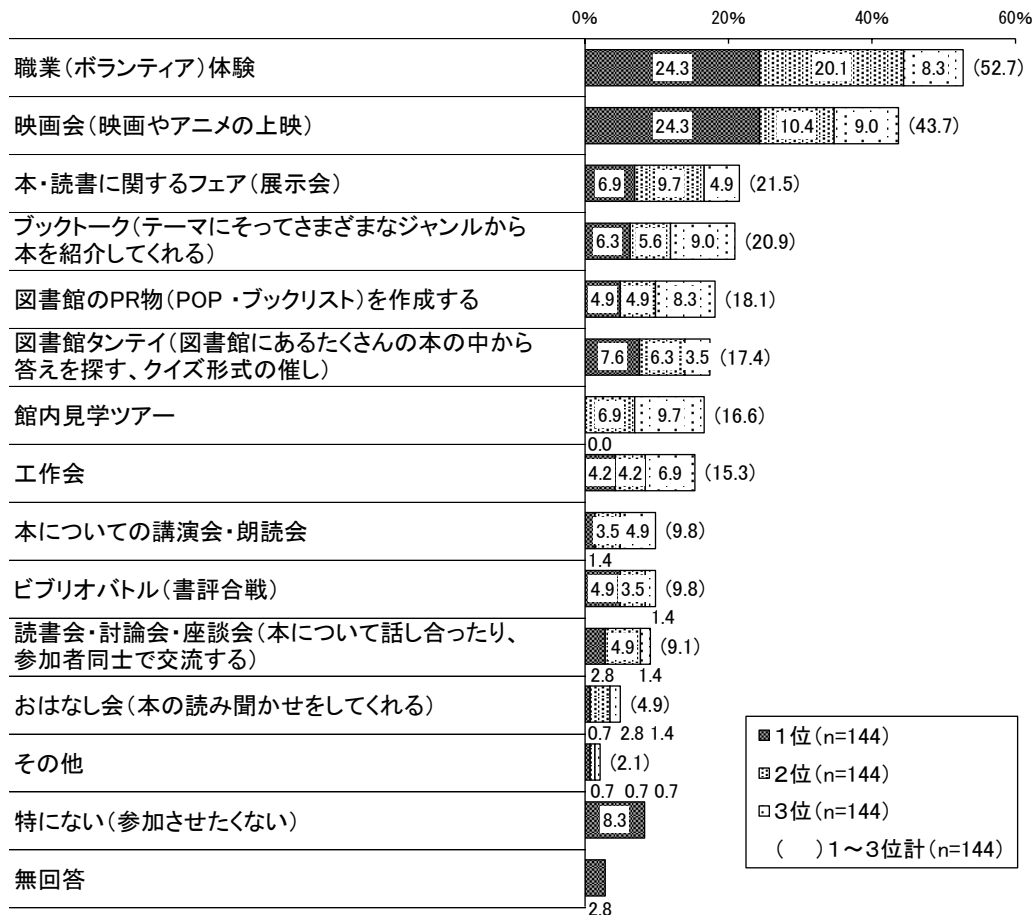


子どもに参加させたい地域の図書館のイベントをたずねたところ、小学生保護者の1～3位計は「映画会(映画やアニメの上映)」(43.1%)が4割を超えて最も多く、次いで「図書館タンテイ(図書館にあるたくさんの中から答えを探す、クイズ形式の催し)」(37.6%)、「職業(ボランティア)体験」(33.6%)、「工作会」(33.4%)の順となっている。

(4) 子どもに参加させたい地域の図書館のイベント（続き）

問16 対象のお子様について、地域の図書館でどのようなイベントに参加させたいと思いますか。次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。
※すべて無料です。

【中学生保護者】

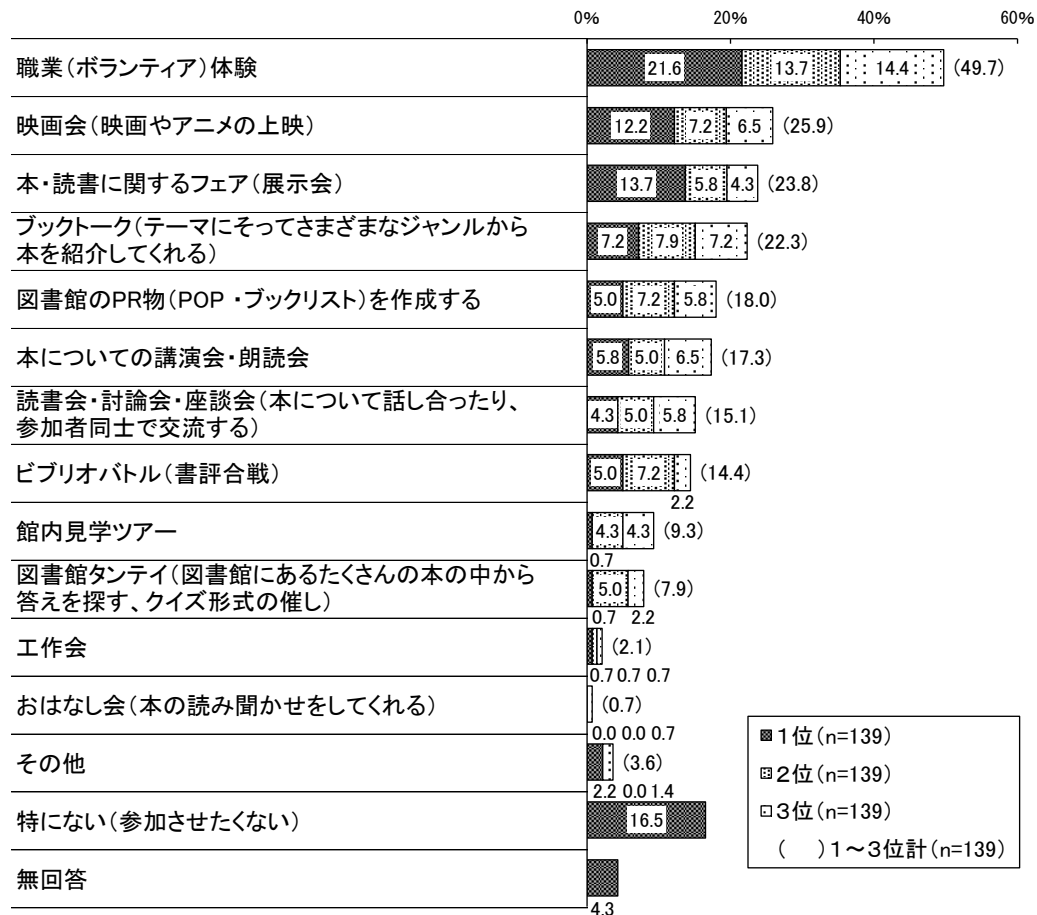


子どもに参加させたい地域の図書館のイベントをたずねたところ、中学生保護者の1～3位計は「職業(ボランティア)体験」(52.7%)が5割を超えて最も多く、次いで「映画会(映画やアニメの上映)」(43.7%)、「本・読書に関するフェア(展示会)」(21.5%)、「ブックトーク(テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介してくれる)」(20.9%)の順となっている。

(4) 子どもに参加させたい地域の図書館のイベント（続き）

問16 対象のお子様について、地域の図書館でどのようなイベントに参加させたいと思いますか。次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。
※すべて無料です。

【高校生保護者】



子どもに参加させたい地域の図書館のイベントをたずねたところ、高校生保護者の1～3位計は「職業(ボランティア)体験」(49.7%)が約5割と最も多く、次いで「映画会(映画やアニメの上映)」(25.9%)、「本・読書に関するフェア(展示会)」(23.8%)、「ブックトーク(テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介してくれる)」(22.3%)の順となっている。

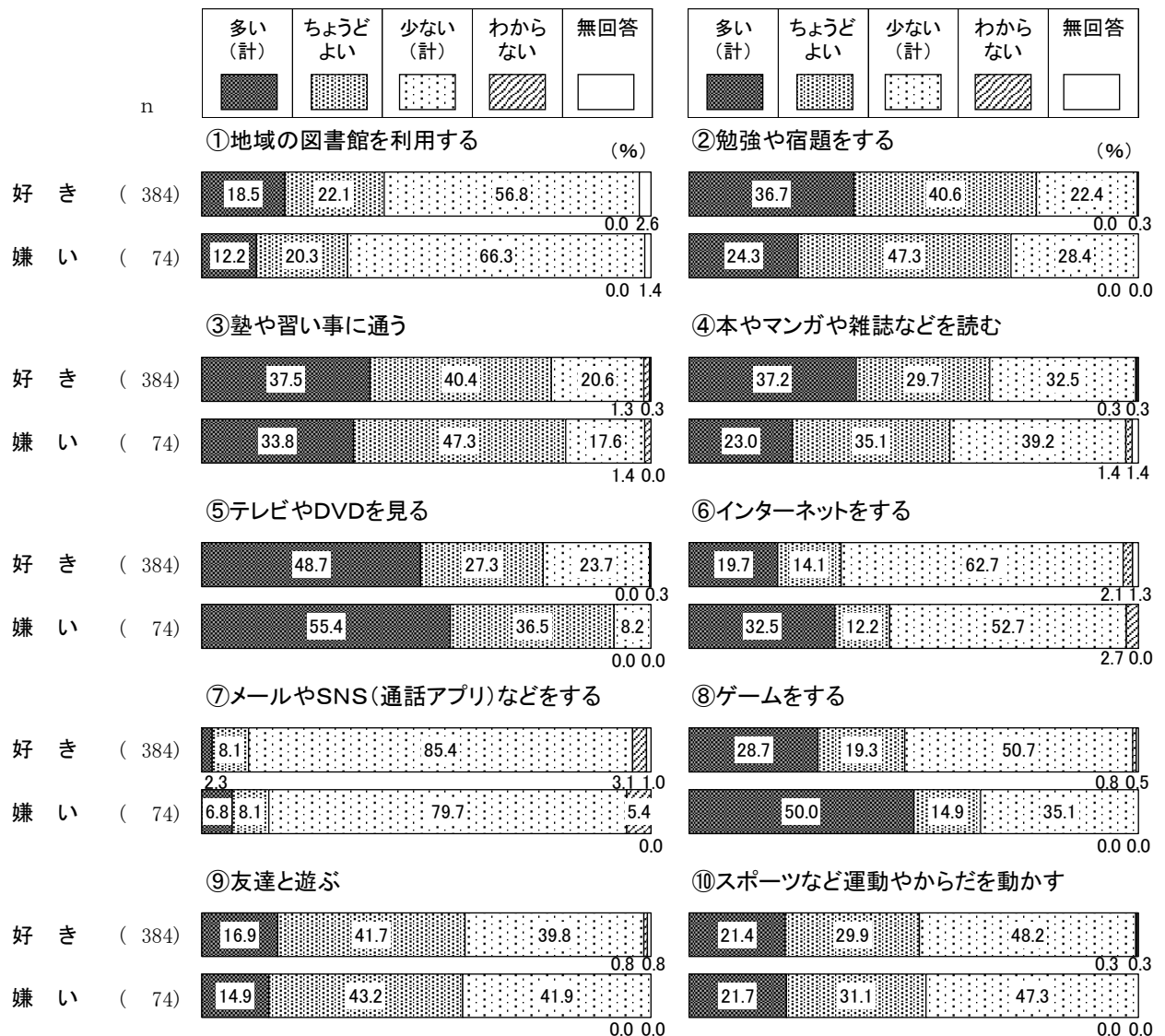
5 相関関係 (クロス集計)

(1) 保護者自身の読書の嗜好別

※「好き」＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計、「嫌い」＝「どちらかといえば嫌い」＋「嫌い」の計

問2：子どもの読書とその他行動時間の印象

【小学生保護者】

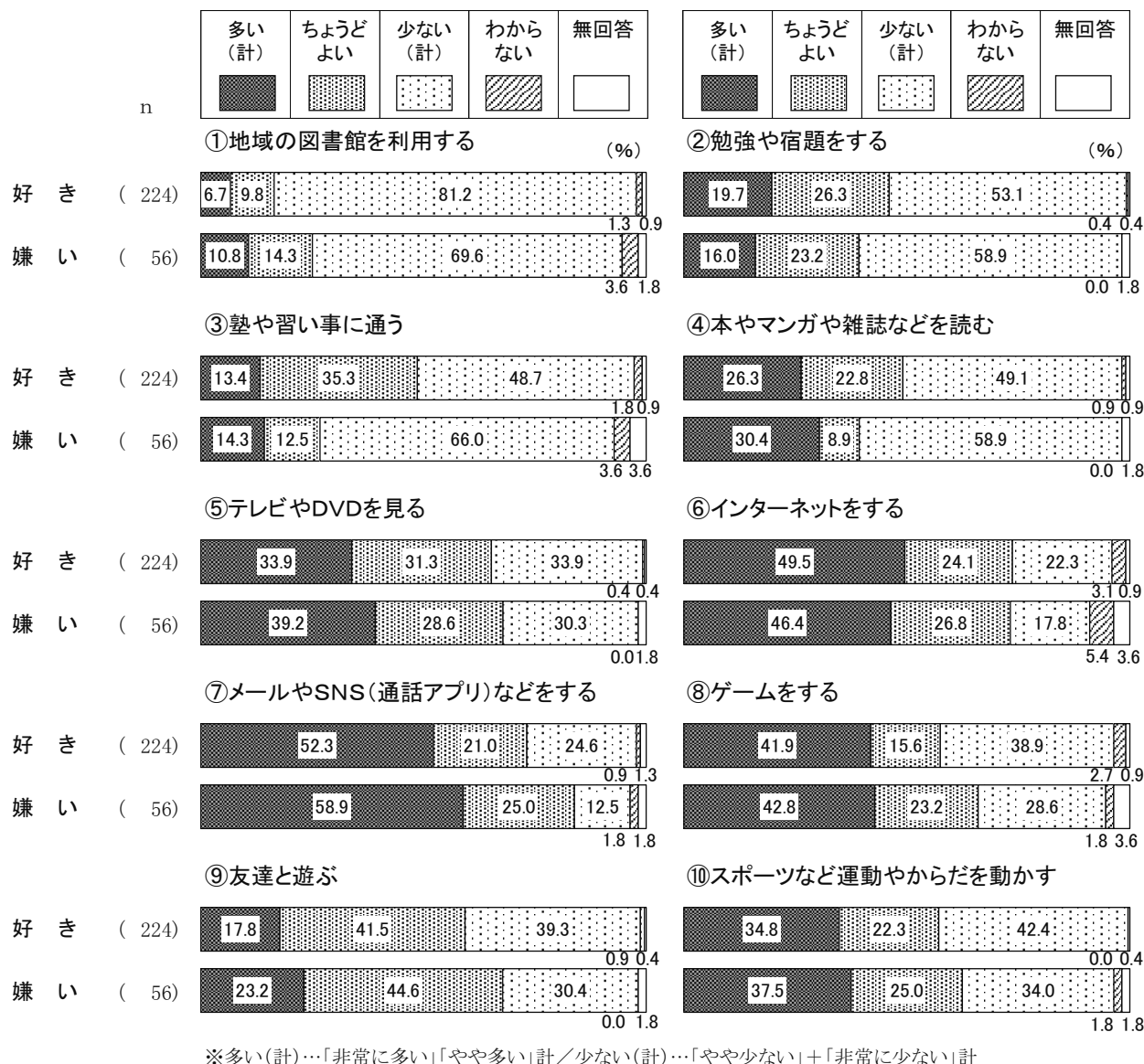


※多い(計)・・・「非常に多い」「やや多い」計／少ない(計)・・・「やや少ない」「非常に少ない」計

子どもの読書とその他行動時間の印象を保護者自身の読書の嗜好別でみると、小学生保護者は自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より②勉強や宿題をする、④本やマンガや雑誌などを読むなどが『多い』と回答する割合が多くなっている。一方、自身が読書が嫌いと回答した保護者は好きと回答した保護者より⑤テレビやDVDを見る、⑥インターネットをする、⑧ゲームをするなどが『多い』と回答する割合が多くなっている。

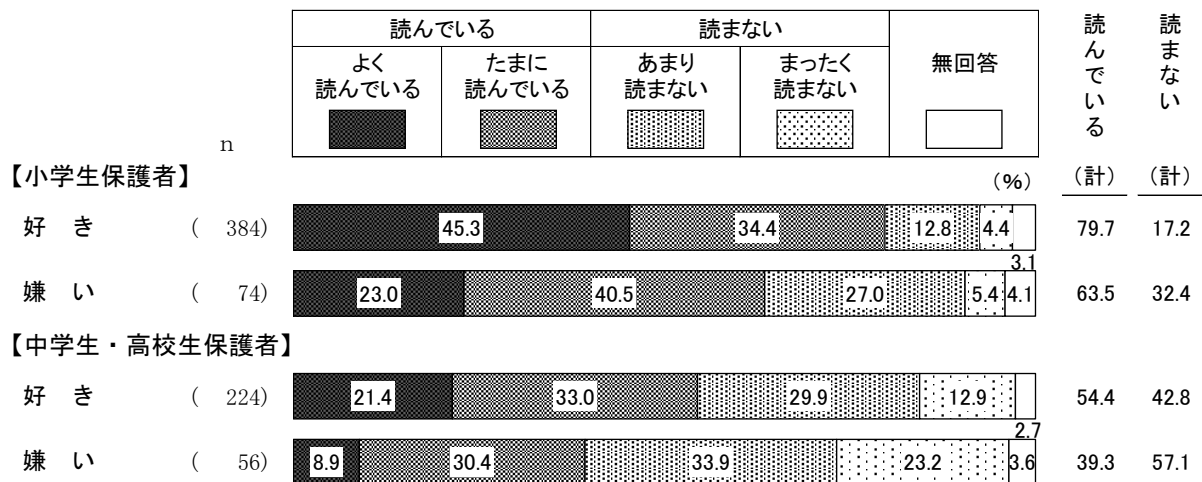
問2：子どもの読書とその他行動時間の印象

【中学生・高校生保護者】



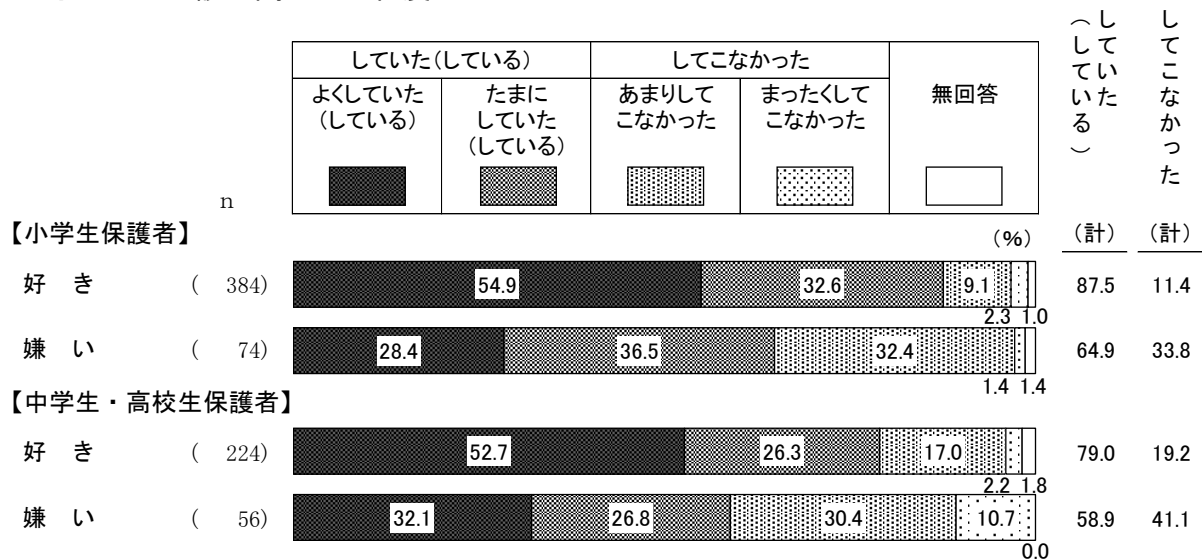
子どもの読書とその他行動時間の印象を保護者自身の読書の嗜好別でみると、中学生・高校生保護者は自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より③塾や習い事に通う、④本やマンガや雑誌などを読むなどが「ちょうどよい」と回答する割合が多く、①地域の図書館を利用するは『少ない』と回答する割合が多くなっている。一方、自身が読書が嫌いと回答した保護者は好きと回答した保護者より⑤テレビやDVDを見る、⑦メールやSNS（通話アプリ）などをするなどが『多い』と回答する割合が多くなっている。

問3：子どもの読書の程度



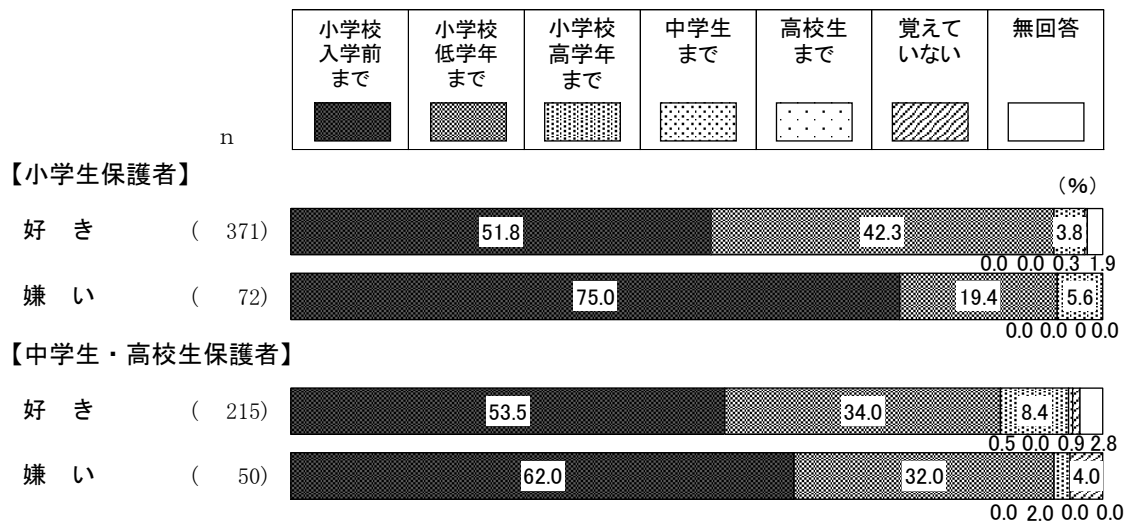
子どもの読書の程度を保護者自身の読書の嗜好別でみると、自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より子どもが本を読んでいると回答する割合が多く、「よく読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせた『読んでいる』は小学生保護者は16.2ポイント、中学生・高校生保護者は15.1ポイント多くなっている。

問7：子どもへの読み聞かせの程度



子どもへの読み聞かせの程度を保護者自身の読書の嗜好別でみると、自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より子どもに読み聞かせをしていた(している)と回答する割合が多く、「よくしていた(している)」と「たまにしていた(している)」を合わせた『していた(している)』は小学生保護者は22.6ポイント、中学生・高校生保護者は20.1ポイント多くなっている。

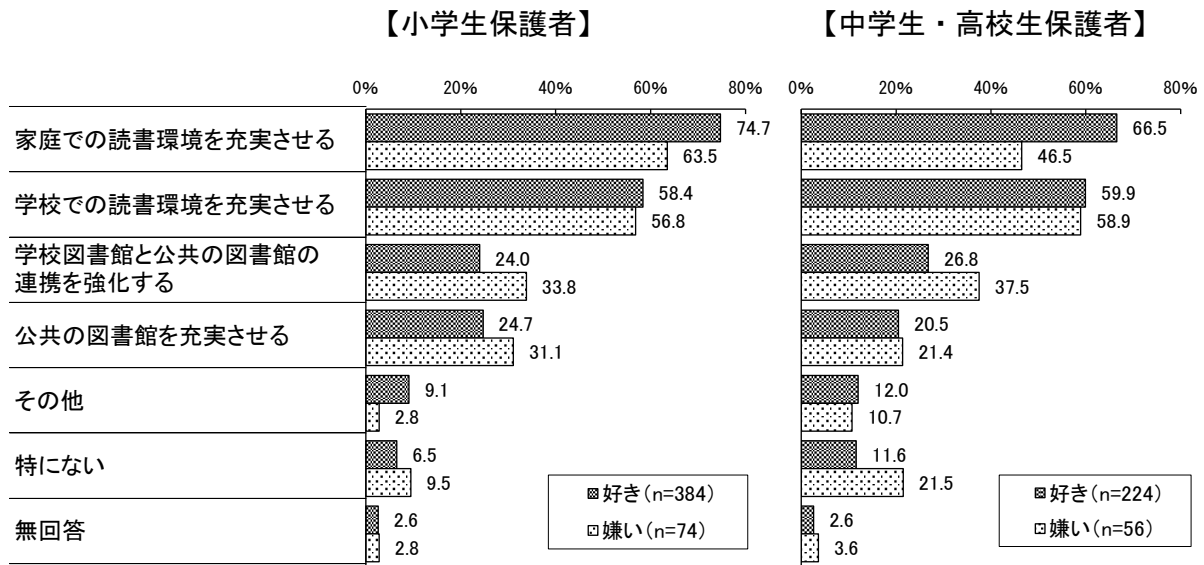
問8：子どもに読み聞かせをしていた（している）時期



子どもに読み聞かせをしていた（している）時期を保護者自身の読書の嗜好別でみると、小学生保護者、中学生・中学生保護者ともに自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より「小学校低学年まで」が多くなっている。

問9：子どもの読書促進に効果的な環境

【最も＋次に効果的計】

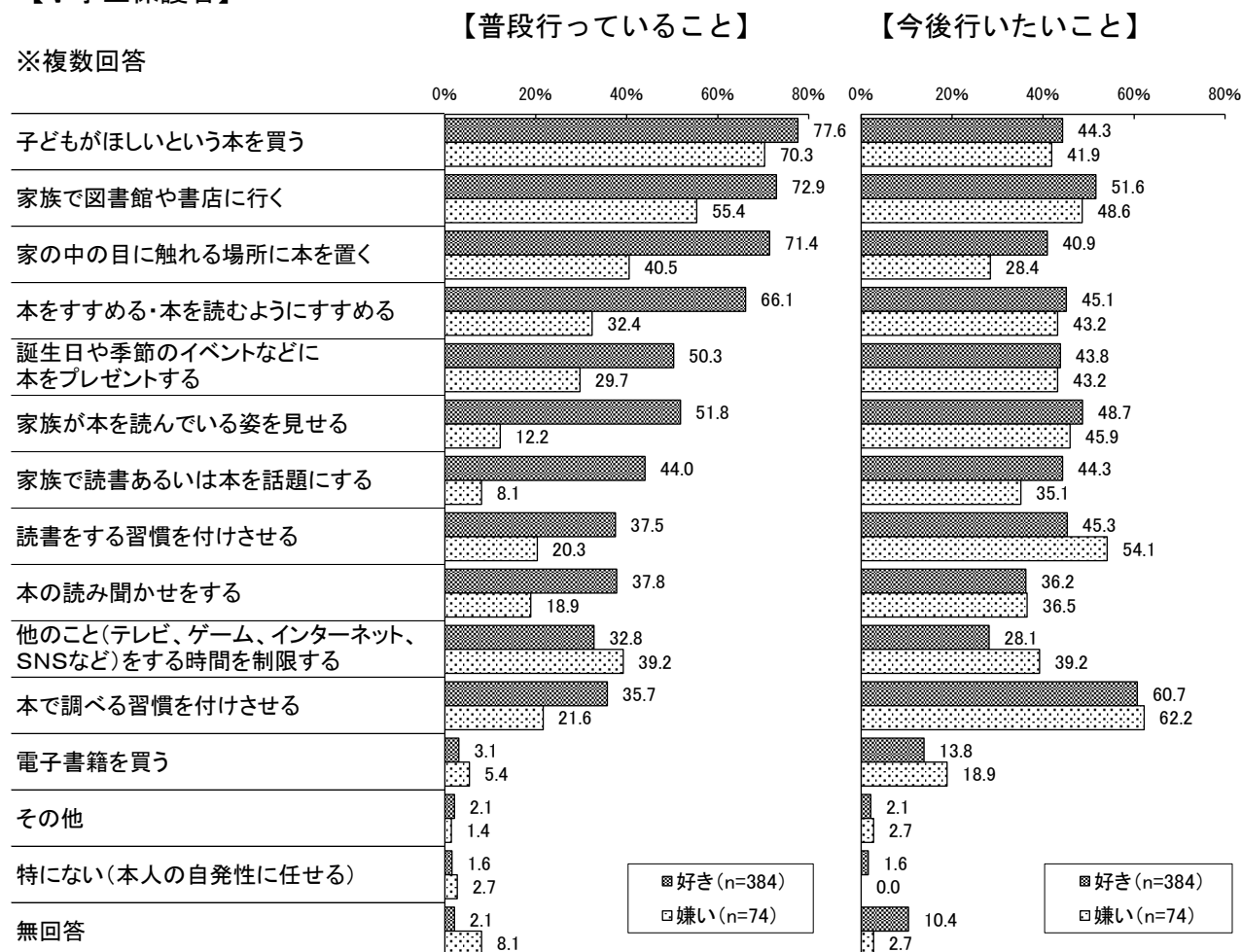


子どもの読書促進に効果的な環境を保護者自身の読書の嗜好別でみると、最も＋次に効果的計は小学生保護者、中学生・高校生保護者ともに自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より「家庭での読書環境を充実させる」が多くなっている。一方、自身が読書が嫌いと回答した保護者は好きと回答した保護者より「学校図書館と公共の図書館の連携を強化する」が多くなっている。

問10：子どもの読書促進のために普段行っていること
/子どもの読書促進のために今後行いたいこと

【小学生保護者】

※複数回答



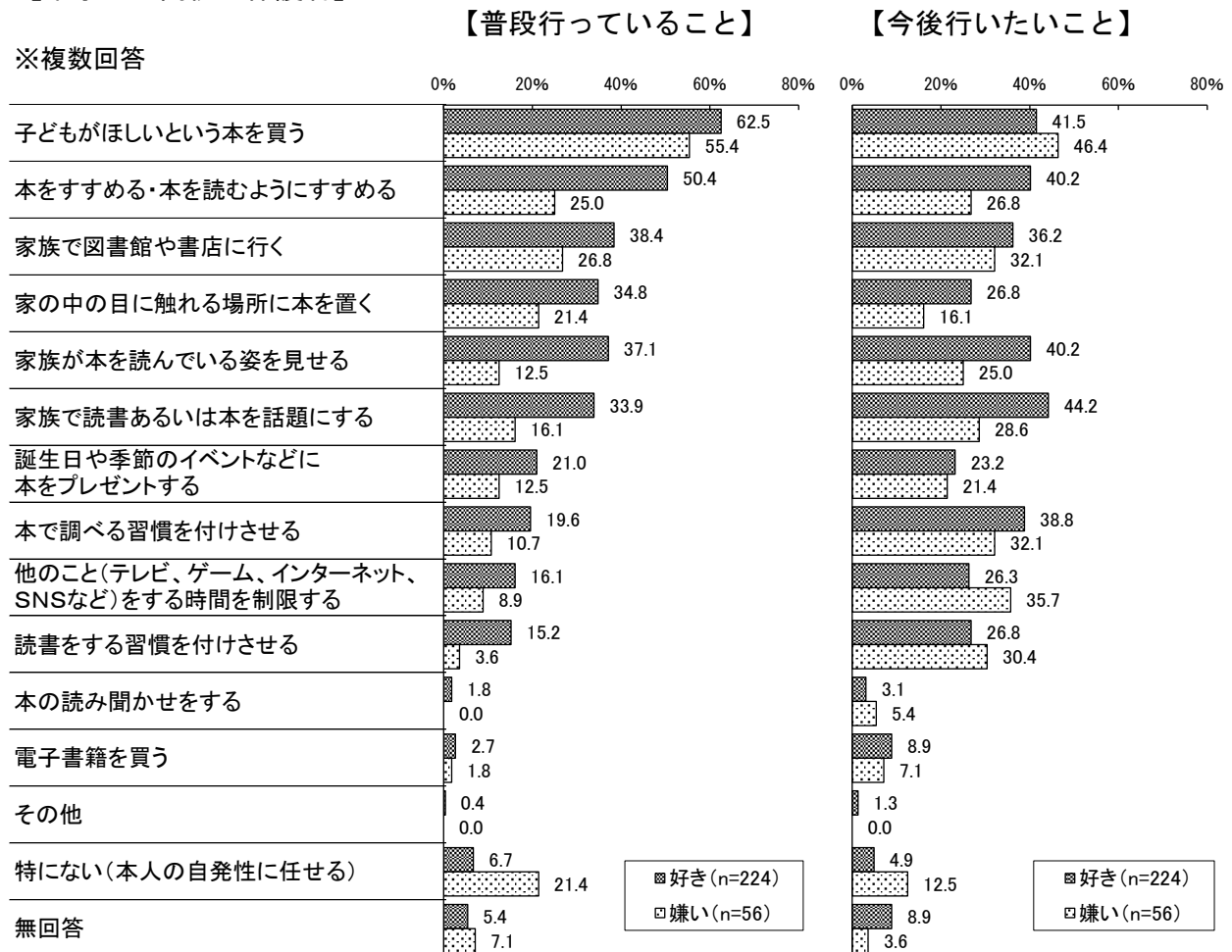
子どもの読書促進のために普段行っていること、子どもの読書促進のために今後行いたいことを保護者自身の読書の嗜好別でみると、以下のとおりとなっている。

【普段行っていること】				【今後行いたいこと】	
<好き>	1位	子どもがほしいという本を買う	77.6%	本で調べる習慣を付けさせる	60.7%
	2位	家族で図書館や書店に行く	72.9%	家族で図書館や書店に行く	51.6%
	3位	家の中の目に触れる場所に本を置く	71.4%	家族が本を読んでいる姿を見せる	48.7%
<嫌い>	1位	子どもがほしいという本を買う	70.3%	本で調べる習慣を付けさせる	62.2%
	2位	家族で図書館や書店に行く	55.4%	読書をする習慣を付けさせる	54.1%
	3位	家の中の目に触れる場所に本を置く	40.5%	家族で図書館や書店に行く	48.6%

問10：子どもの読書促進のために普段行っていること
/子どもの読書促進のために今後行いたいこと

【中学生・高校生保護者】

※複数回答



子どもの読書促進のために普段行っていること、子どもの読書促進のために今後行いたいことを保護者自身の読書の嗜好別でみると、次のとおりとなっている。

【普段行っていること】				【今後行いたいこと】			
<好き>	1位	子どもがほしいという本を買う	62.5%	<好き>	家族で読書あるいは本を話題にする	44.2%	
	2位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	50.4%		子どもがほしいという本を買う	41.5%	
	3位	家族で図書館や書店に行く	38.4%		本をすすめる・本を読むようにすすめる	40.2%	
<嫌い>	1位	子どもがほしいという本を買う	55.4%	<嫌い>	子どもがほしいという本を買う	46.4%	
	2位	家族で図書館や書店に行く	26.8%		他のことをする時間を制限する	35.7%	
	3位	本をすすめる・本を読むようにすすめる	25.0%		家族で図書館や書店に行く	32.1%	

問12：保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数（平均値）

【小学生保護者】

(冊)				
① 書籍・絵本	② 学習参考書・図鑑	③ マンガ・コミック	④ 雑誌	合計 ▽
n				

【紙の本】

好 き	(384)	5.5	0.7	1.4	1.2	8.8
嫌 い	(74)	3.9	0.9	0.9	0.7	6.4

【電子書籍】

好 き	(384)	0.8	0.04	1.9	0.5	3.2
嫌 い	(74)	0.1	0.0	0.4	0.3	0.8

【紙の本】+【電子書籍】計

好 き	(384)	6.6	0.8	3.4	1.7	12.4
嫌 い	(74)	3.6	1.1	1.5	0.9	7.0

【中学生・高校生保護者】

(冊)				
① 書籍・絵本	② 学習参考書・図鑑	③ マンガ・コミック	④ 雑誌	合計 ▽
n				

(224)	2.9	0.4	1.3	1.3	5.9
(56)	2.3	0.1	0.3	0.8	3.6

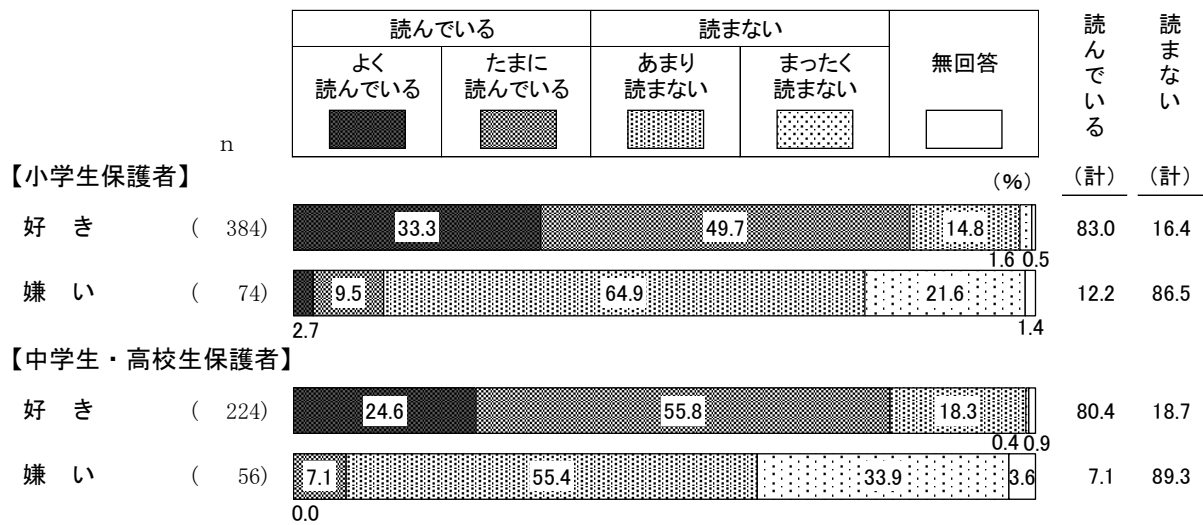
(224)	0.4	0.04	1.1	0.4	1.9
(56)	0.0	0.0	0.5	0.1	0.6

(224)	3.0	0.6	2.2	1.7	7.5
(56)	0.5	0.1	0.9	0.9	2.4

保護者自身の1ヵ月間平均読書冊数を保護者自身の読書の嗜好別でみると、小学生保護者は自身が読書が好きと回答した保護者の紙の本の合計は8.8冊、電子書籍の合計は3.2冊、紙の本と電子書籍計の合計は12.4冊、読書が嫌いと回答した保護者の紙の本の合計は6.4冊、電子書籍の合計は0.8冊、紙の本と電子書籍計の合計は7.0冊となっており、合計は読書が好きと回答した保護者の方が5.4冊多くなっている。

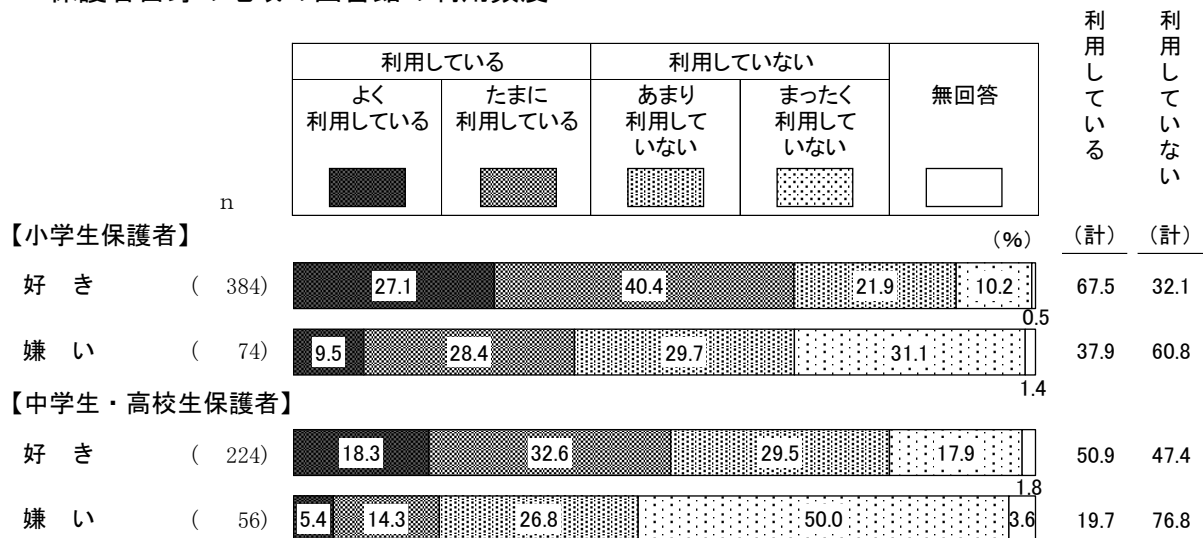
中学生・高校生保護者は自身が読書が好きと回答した保護者の紙の本の合計は5.9冊、電子書籍の合計は1.9冊、紙の本と電子書籍計の合計は7.5冊、読書が嫌いと回答した保護者の紙の本の合計は3.6冊、電子書籍の合計は0.6冊、紙の本と電子書籍計の合計は2.4冊となっており、合計は読書が好きと回答した保護者の方が5.1冊多くなっている。

問13：保護者自身の読書の程度



保護者自身の読書の程度を保護者自身の読書の嗜好別でみると、自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より本を読んでいる割合が多く、「よく読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせた『読んでいる』は小学生保護者は70.8ポイント、中学生・高校生保護者は73.3ポイント多くなっている。

問14：保護者自身の地域の図書館の利用頻度

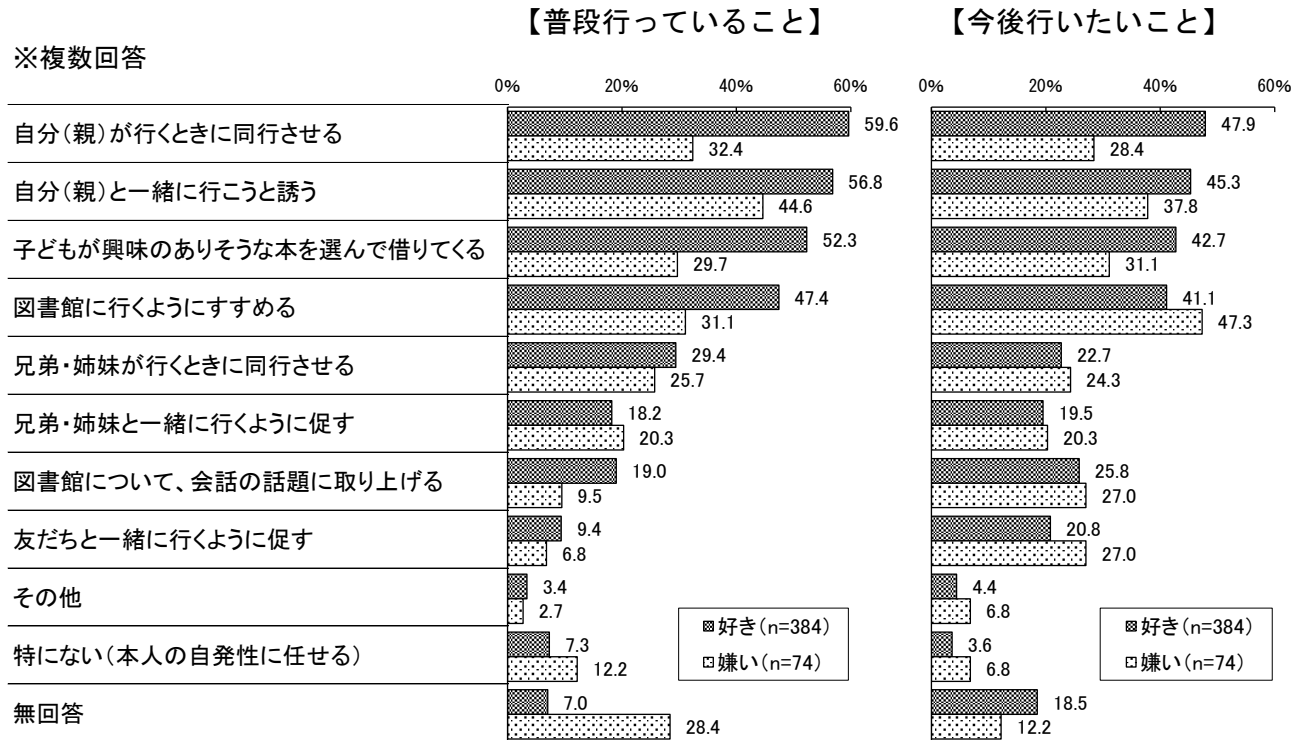


保護者自身の地域の図書館の利用頻度を保護者自身の読書の嗜好別でみると、自身が読書が好きと回答した保護者は嫌いと回答した保護者より地域の図書館を利用している割合が多く、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している』は小学生保護者は29.6ポイント、中学生・高校生保護者は31.2ポイント多くなっている。

問15：子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること
/子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと

【小学生保護者】

※複数回答



子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること、子どもの読書促進のために今後行いたいことを保護者自身の読書の嗜好別でみると、以下のとおりとなっている。

【普段行っていること】

<好き>	1位	自分(親)が行くときに同行させる	59.6%
	2位	自分(親)と一緒に行こうと誘う	56.8%
	3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	52.3%
<嫌い>	1位	自分(親)と一緒に行こうと誘う	44.6%
	2位	自分(親)が行くときに同行させる	32.4%
	3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	29.7%

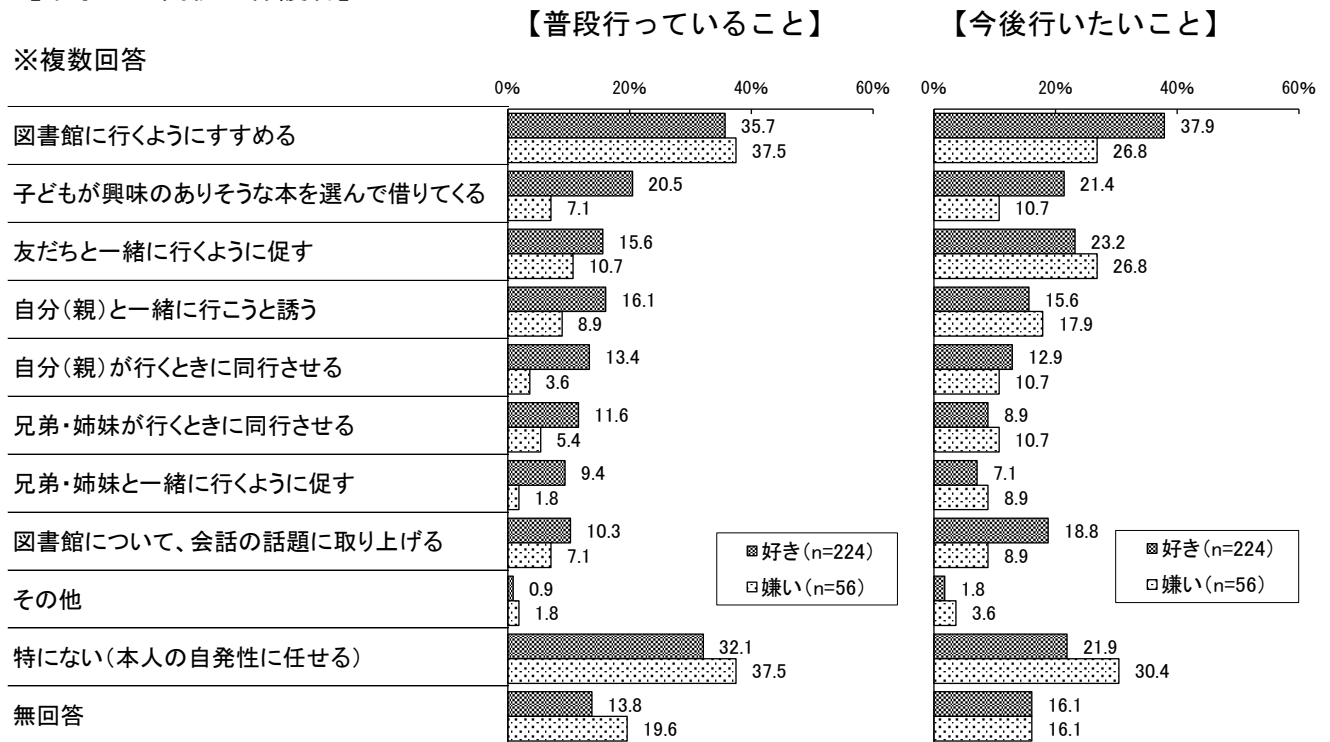
【今後行いたいこと】

自分(親)が行くときに同行させる	47.9%
自分(親)と一緒に行こうと誘う	45.3%
子どもが興味のある本を選んで借りてくる	42.7%
図書館に行くようにすすめる	47.3%
自分(親)と一緒に行こうと誘う	37.8%
子どもが興味のある本を選んで借りてくる	31.1%

問15：子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること
/子どもの地域の図書館利用のために今後行いたいこと

【中学生・高校生保護者】

※複数回答



子どもの地域の図書館利用のために普段行っていること、子どもの読書促進のために今後行いたいことを保護者自身の読書の嗜好別でみると、次のとおりとなっている。

【普段行っていること】

<好き>

1位	図書館に行くようにすすめる	35.7%
2位	特にない(本人の自発性に任せる)	32.1%
3位	子どもが興味のある本を選んで借りてくる	20.5%

<嫌い>

1位	図書館に行くようにすすめる 特にない(本人の自発性に任せる)	37.5%
2位	友だちと一緒にに行くように促す	10.7%
3位	自分(親)と一緒にに行こうと誘う	8.9%

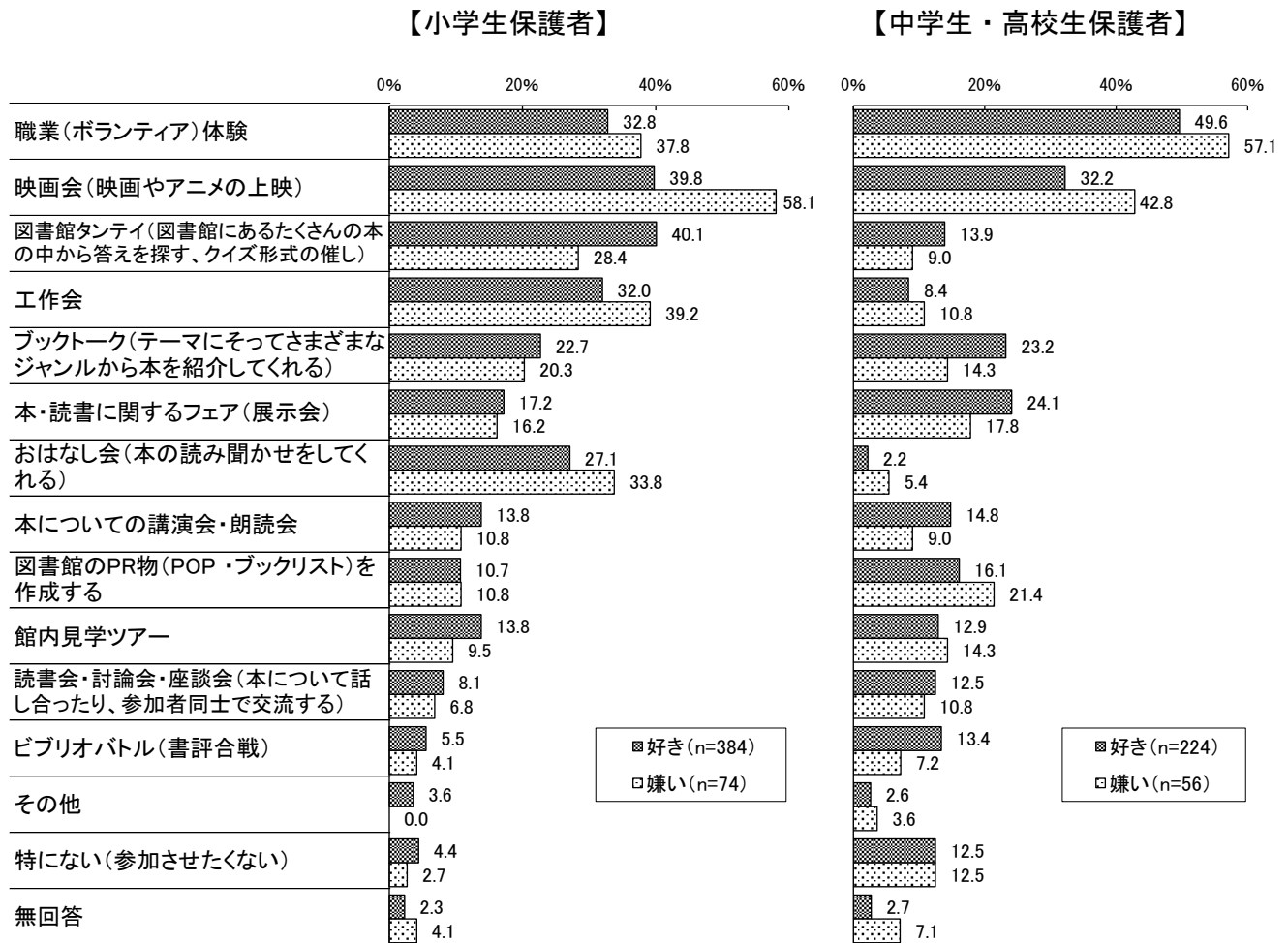
【今後行いたいこと】

図書館に行くようにすすめる	37.9%
友だちと一緒にに行くように促す	23.2%
特にない(本人の自発性に任せる)	21.9%

特にない(本人の自発性に任せる)	30.4%
図書館に行くようにすすめる 友だちと一緒にに行くように促す	26.8%
自分(親)と一緒にに行こうと誘う	17.9%

問9：子どもに参加させたい地域の図書館のイベント

【1～3位計】

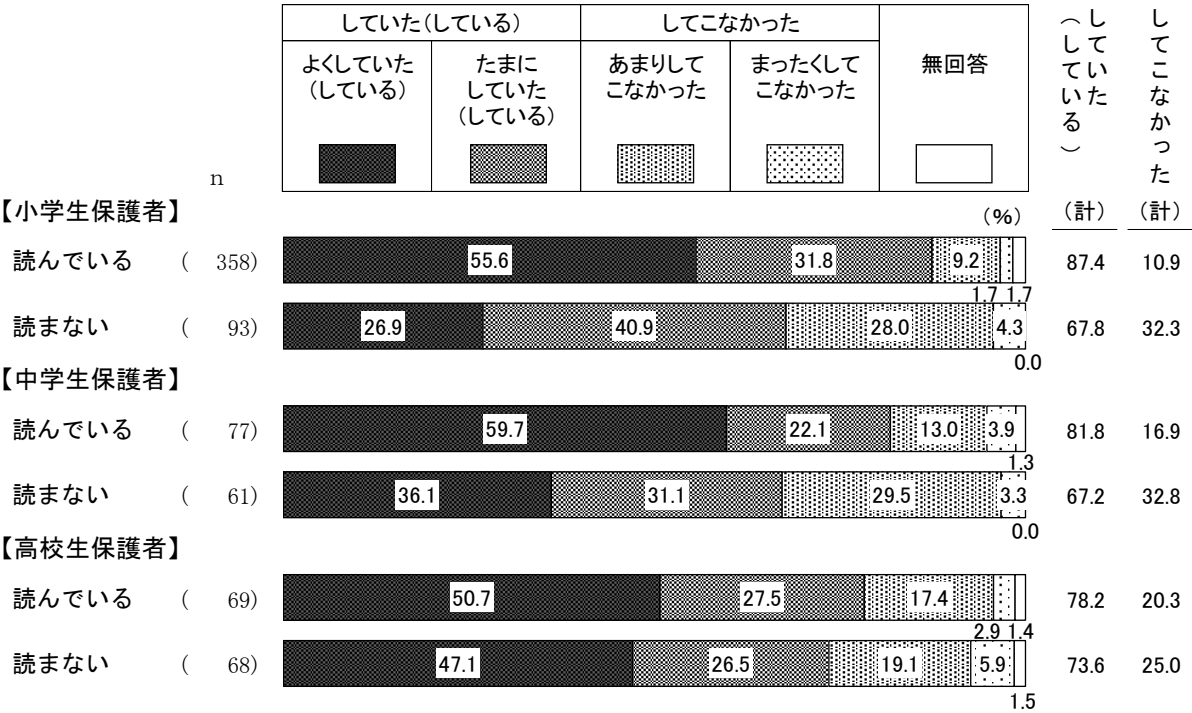


子どもに参加させたい地域の図書館のイベントを保護者自身の読書の嗜好別でみると、以下のとおりとなっている。

【小学生保護者】				【中学生・高校生保護者】	
<好き>	1位	図書館タンテイ	40.1%	職業(ボランティア)体験	49.6%
	2位	映画会	39.8%	映画会	32.2%
	3位	職業(ボランティア)体験	32.8%	本・読書に関するフェア	24.1%
<嫌い>	1位	映画会	58.1%	職業(ボランティア)体験	57.1%
	2位	工作会	39.2%	映画会	42.8%
	3位	職業(ボランティア)体験	37.8%	図書館のPR物を作成	21.4%

(2) 子どもの読書の程度別

問7：子どもへの読み聞かせの程度



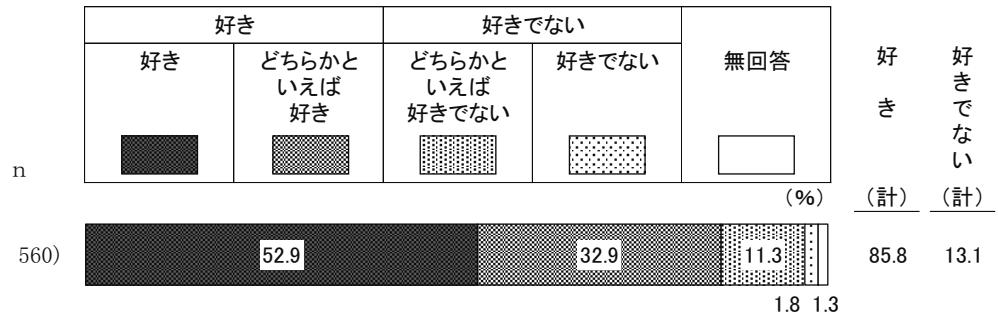
子どもへの読み聞かせの程度を子どもの読書の程度別でみると、子どもが本を読んでいると回答した保護者は読んでいないと回答した保護者より子どもに読み聞かせをしていた（している）と回答する割合が多くなっているが、学年があがるに従って、差が小さくなっている。

第 5 章 一般区民調査

1 読書の意識・実態

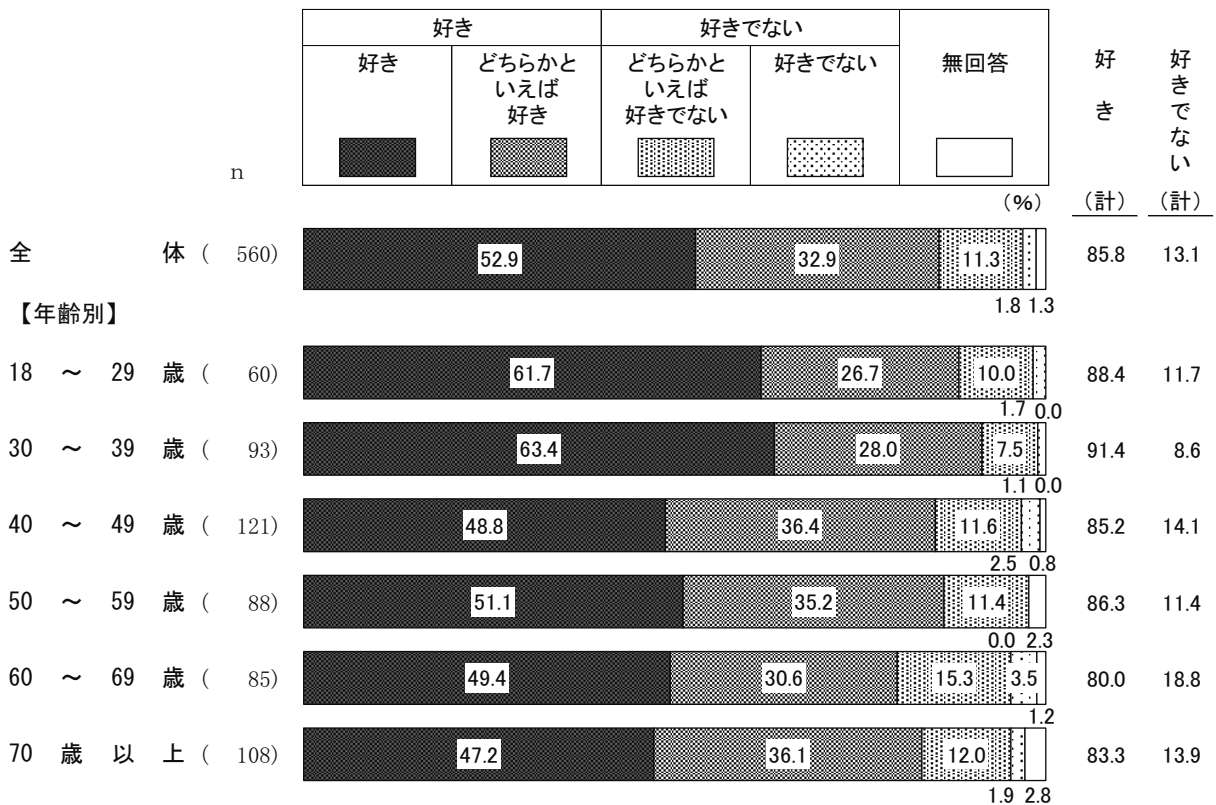
(1) 読書が好きかどうか

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。
(あてはまる番号1つに○)



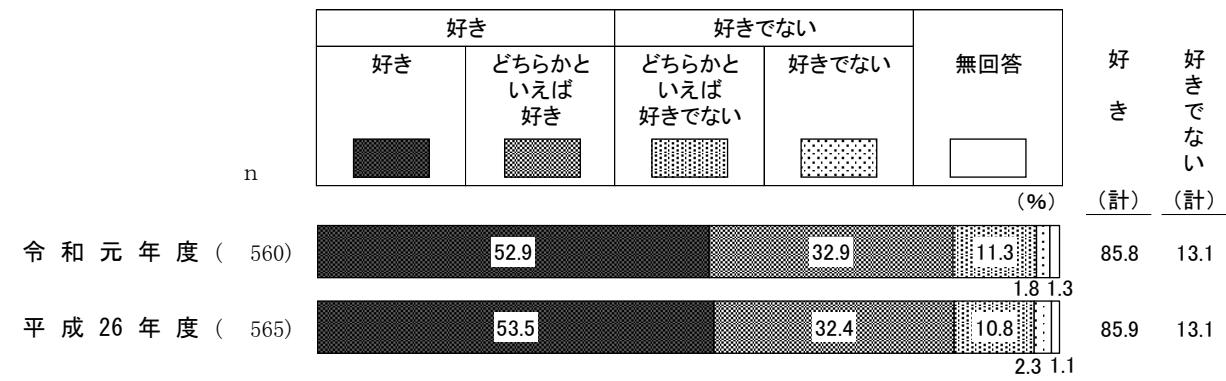
読書が好きかどうかをたずねたところ、「好き」(52.9%)が5割を超え、「どちらかといえば好き」(32.9%)を合わせた『好き』(85.8%)は8割台半ばとなっている。

《 読書が好きかどうか一年齢別 》



年齢別でみると、「好き」は18～29歳(61.7%)、30～39歳(63.4%)で6割を超えており、「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は30～39歳(91.4%)で9割を超え、18～29歳(88.4%)で9割近くとなっている。

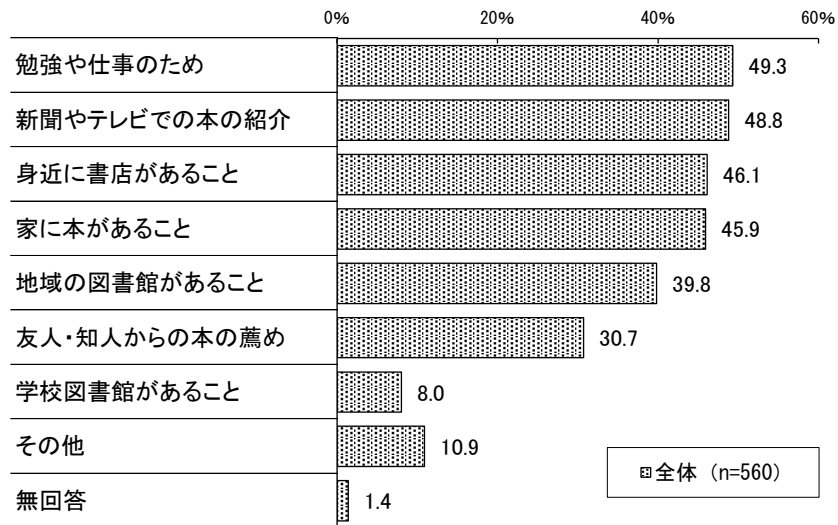
《 読書が好きかどうか一経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、大きな変化はみられない。

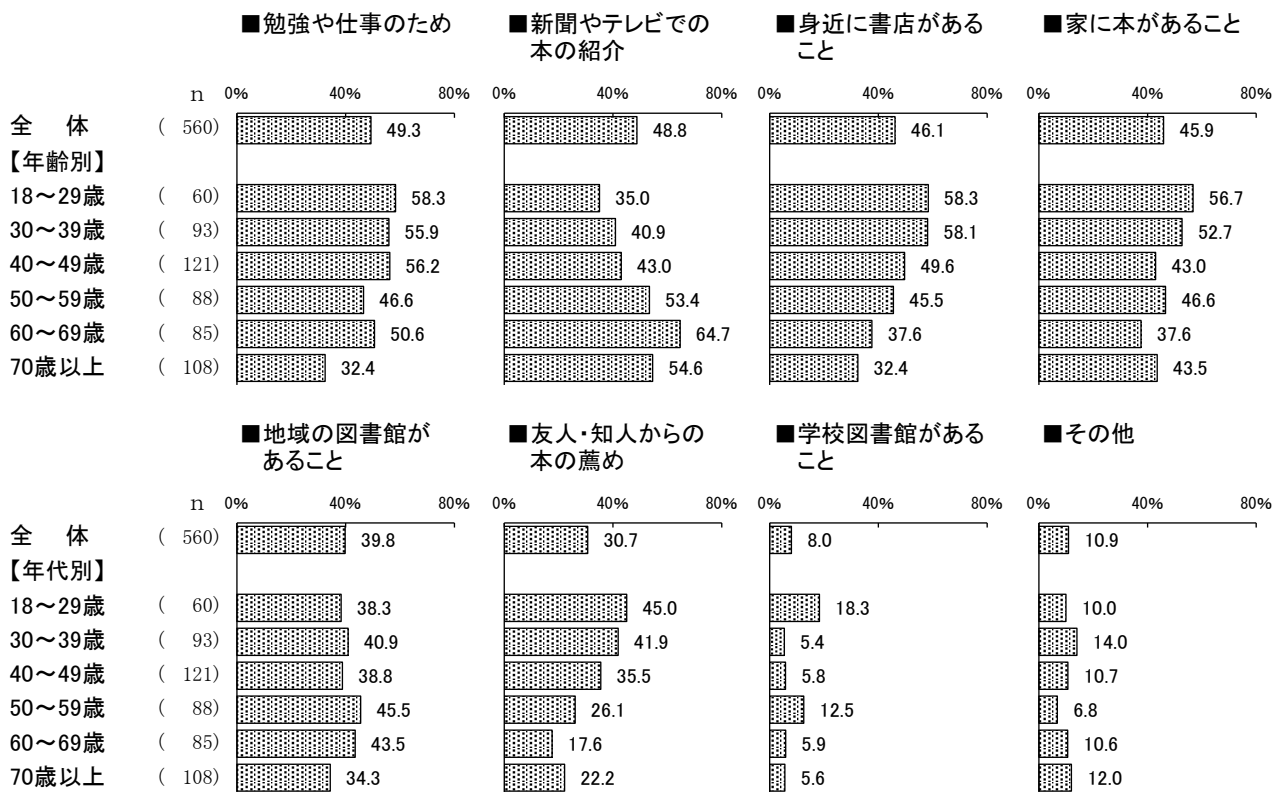
(2) 本を読むきっかけ

問2 あなたが本を読むきっかけとなるのはどのようなことからですか。
(あてはまる番号すべてに○)



本を読むきっかけをたずねたところ、「勉強や仕事のため」(49.3%)が約5割と最も多く、次いで「新聞やテレビでの本の紹介」(48.8%)、「身近に書店があること」(46.1%)、「家に本があること」(45.9%)が4割台後半が続いている。「地域の図書館があること」(39.8%)は約4割となっている。

《 本を読むきっかけ・年齢別 》



年齢別でみると、「勉強や仕事のため」、「身近に書店があること」、「家に本があること」、「友人・知人からの本の薦め」は概ね年齢が低いほど多く、「新聞やテレビでの本の紹介」は概ね年齢が高いほど多い傾向となっている。「地域の図書館があること」は年齢による差が小さく、30～39歳、50～59歳、60～69歳で4割を超えている。

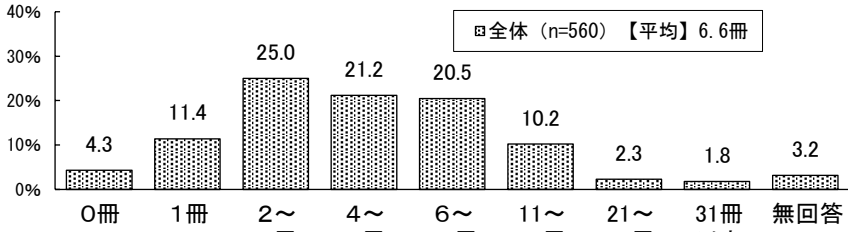
読書の嗜好別でみると、「新聞やテレビでの本の紹介」、「身近に書店があること」、「家に本があること」、「地域の図書館があること」などは読書が好きと回答した人ほど多くなっており、「勉強や仕事のため」、「友人・知人からの本の薦め」は読書の嗜好による差が小さくなっている。

(3) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

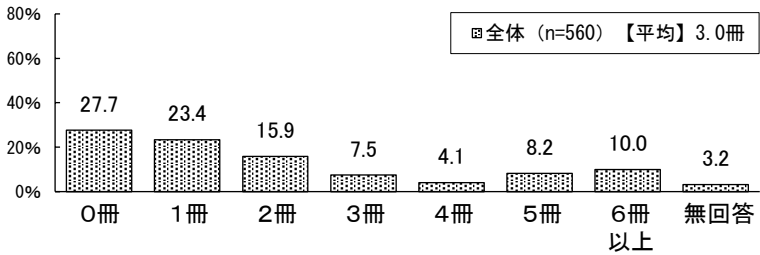
問3 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【紙の本】

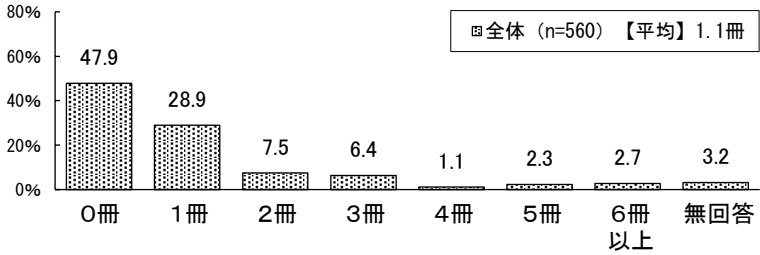
<合計>



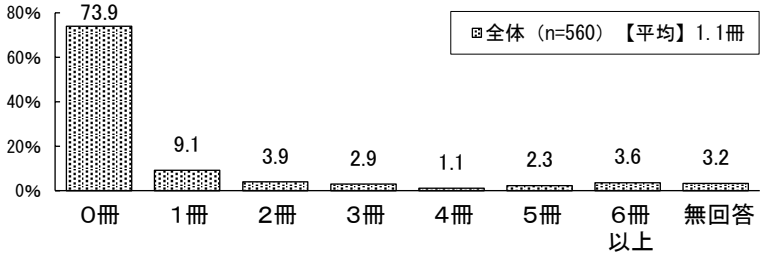
①書籍・絵本



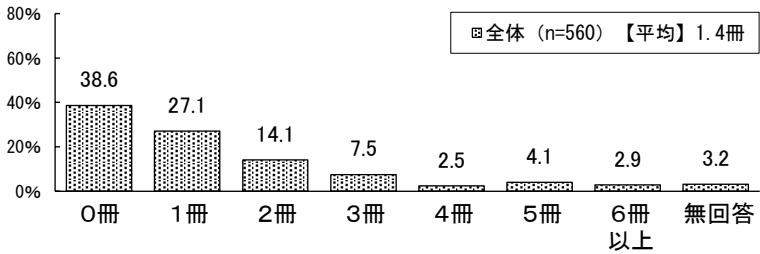
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



④雑誌



《『不読率』》

全 体	4.3%
-----	------

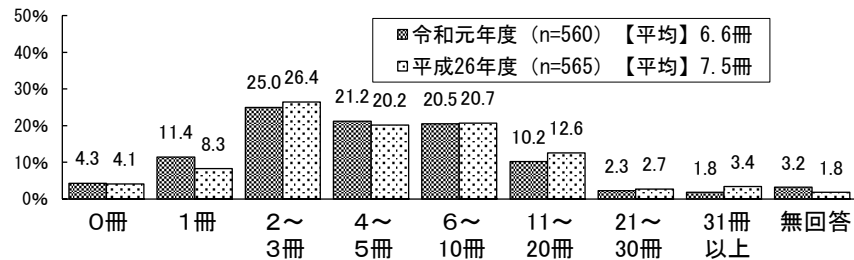
※不読率は、「紙の本の合計0冊」の回答率とする。

紙の本の1か月間の平均読書冊数についてたずねたところ、平均は合計で6.6冊となっている。また、『不読率』（0冊）は4.3%となっている。分野別の平均は①書籍・絵本が3.0冊、②実用書・参考書が1.1冊、③マンガ・コミックが1.1冊、④雑誌が1.4冊となっている。

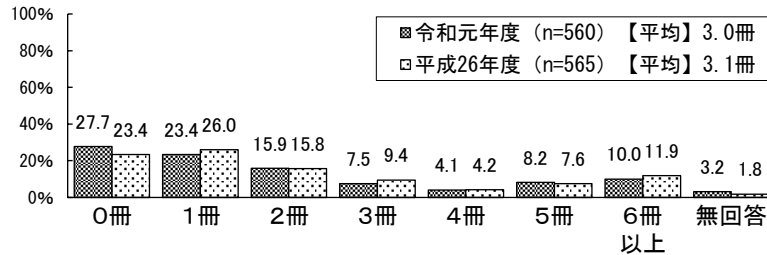
《 1 ヶ月間平均読書冊数【紙の本】—経年比較》

【紙の本】 ※平成26年度は「紙の本」「電子書籍」の区別なく聴取している

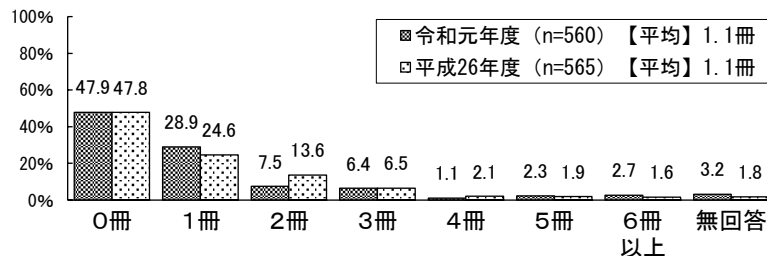
<合計>



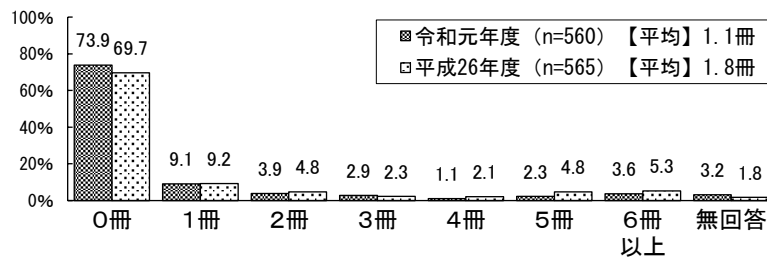
①書籍・絵本



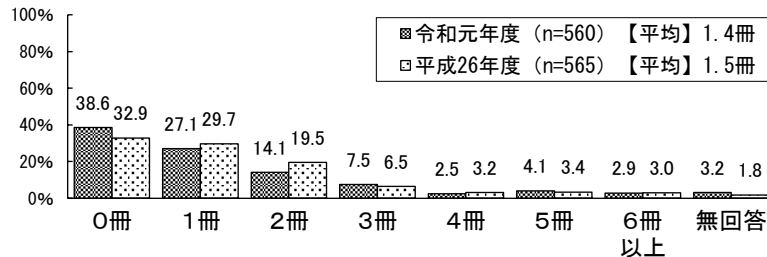
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



④雑誌



前回調査（平成26年度）と比較すると、平均は合計で1.1冊減少している。②実用書・参考書は変化がみられないが、①書籍・絵本、④雑誌が0.1冊、③マンガ・コミックが0.7冊減少している。また、合計「0冊」（不読率）は、ほぼ変わらない。

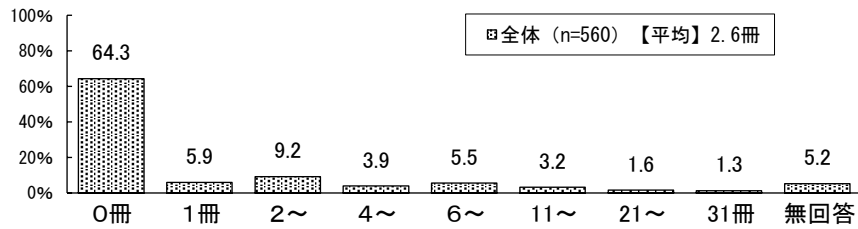
(4) 1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

問3 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。

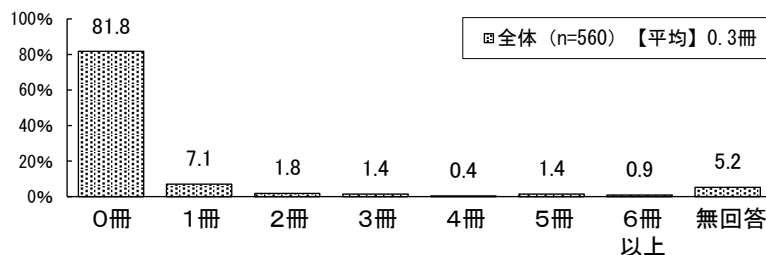
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【電子書籍】

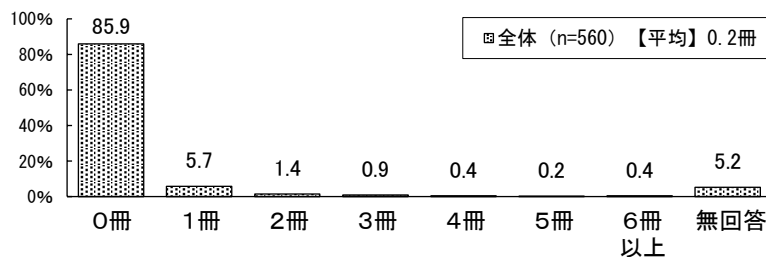
<合計>



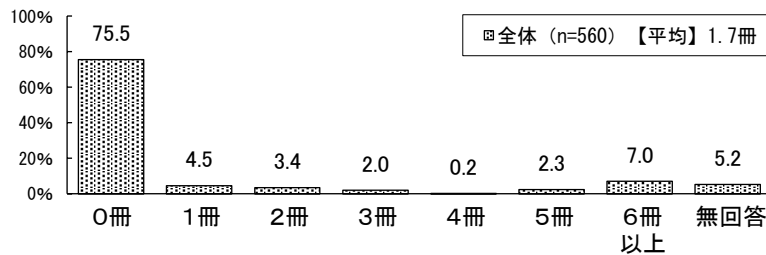
①書籍・絵本



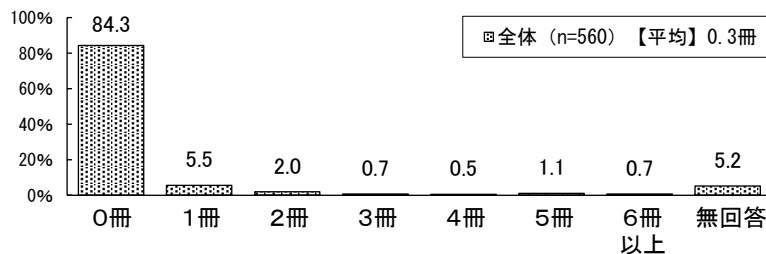
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



④雑誌



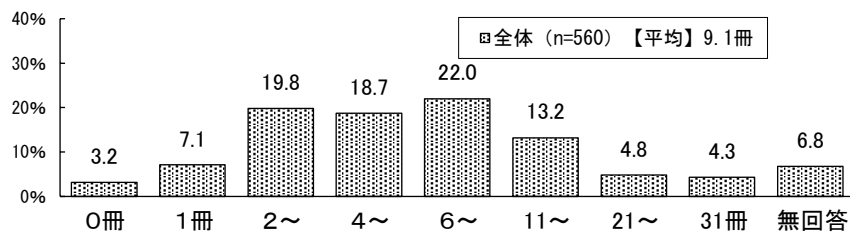
電子書籍の1か月間の平均読書冊数についてたずねたところ、平均は合計で2.6冊となっている。
③マンガ・コミックが1.7冊、①書籍・絵本と④雑誌が0.3冊、②実用書・参考書が0.2冊となっている。

(5) 1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】＋【電子書籍】計

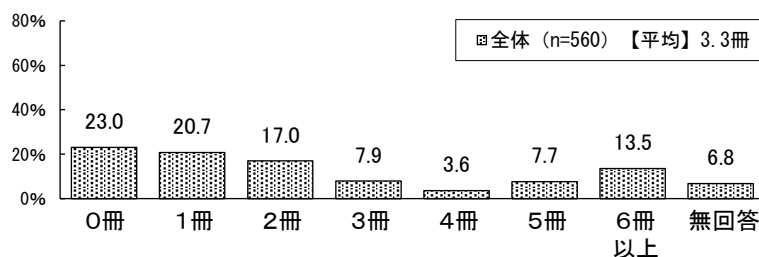
問3 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

【紙の本】＋【電子書籍】計

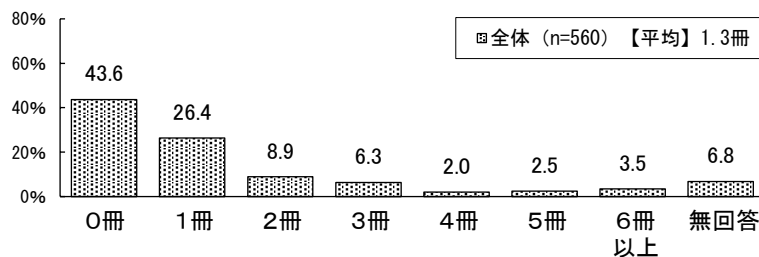
<合計>



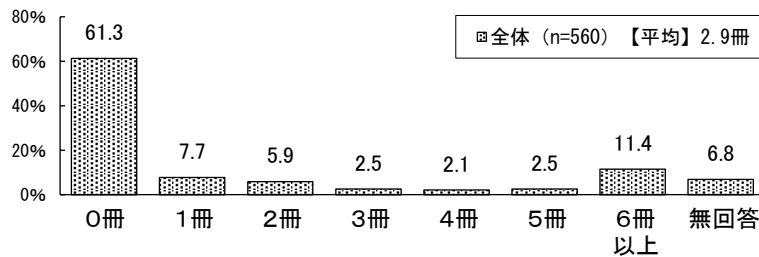
①書籍・絵本



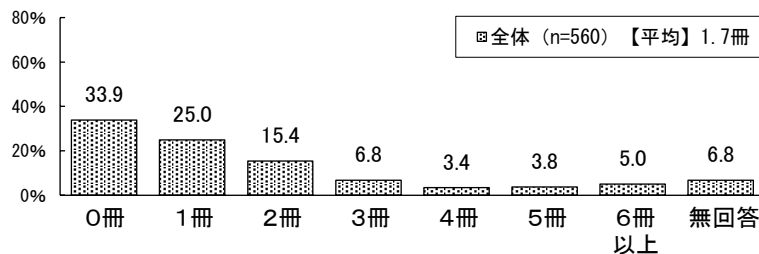
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



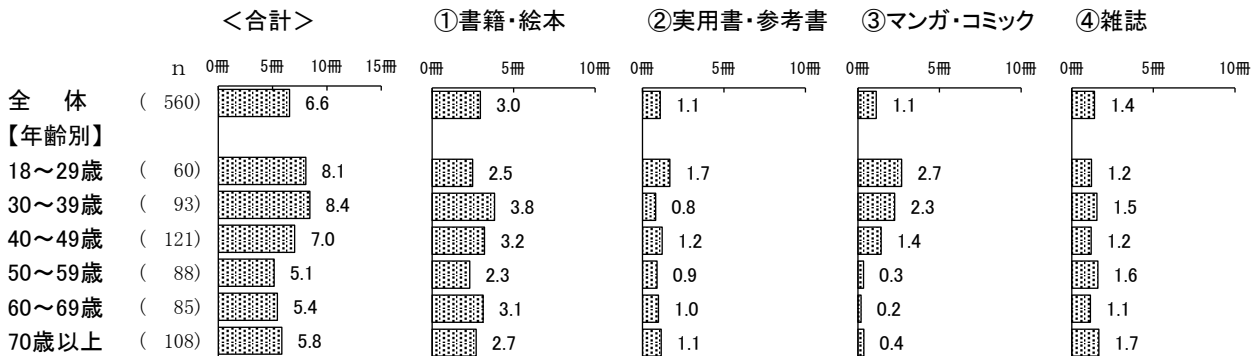
④雑誌



紙の本と電子書籍計は、平均は合計で9.1冊となっている。①書籍・絵本が3.3冊、③マンガ・コミックが2.9冊、④雑誌が1.7冊、②実用書・参考書が1.3冊となっている。

《 1ヵ月間平均読書冊数－年齢別 》

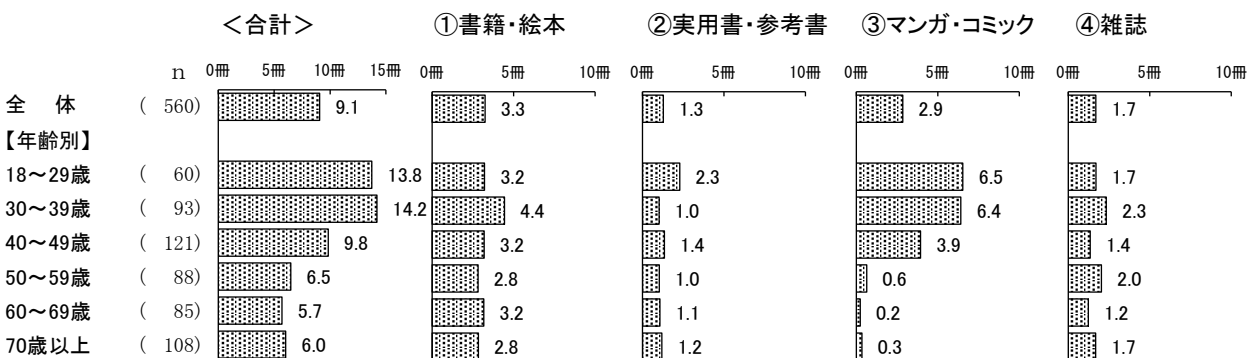
【紙の本】 平均値



【電子書籍】 平均値



【紙の本】 + 【電子書籍】 計 平均値



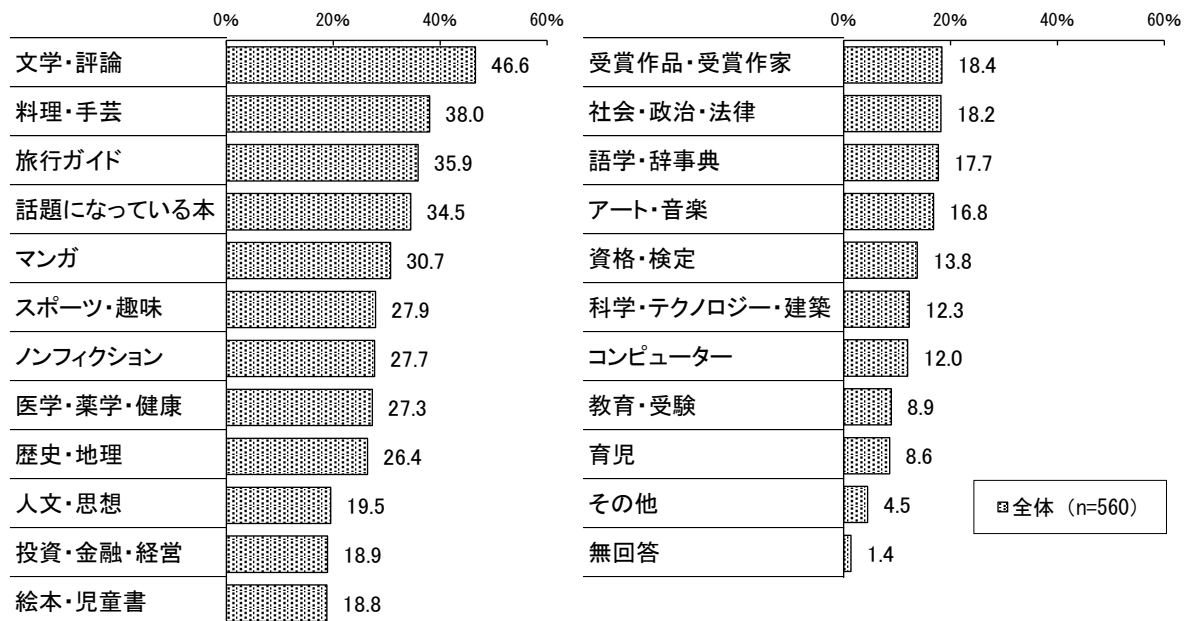
1ヵ月間平均読書冊数の合計を年齢別でみると、紙の本を最も多く読んでいるのは30～39歳（8.4冊）、次いで18～29歳（8.1冊）、40～49歳（7.0冊）となっている。電子書籍を最も多く読んでいるのは18歳～29歳（5.8冊）、次いで30～39歳（5.7冊）、40～49歳（3.2冊）となっている。紙の本と電子書籍計で最も多く読んでいるのは30～39歳（14.2冊）、次いで18～29歳（13.8冊）、40～49歳（9.8冊）となっている。

①書籍・絵本の1ヵ月間平均読書冊数を年齢別でみると、紙の本を最も多く読んでいるのは30～39歳（3.8冊）となっており、紙の本と電子書籍の計で最も多く読んでいるのは30～39歳（4.4冊）となっている。

③マンガ・コミックの1ヵ月間平均読書冊数を年齢別でみると、紙の本を最も多く読んでいるのは18～29歳（2.7冊）となっており、電子書籍を最も多く読んでいるのは30～39歳（4.1冊）、次いで18～29歳（4.0冊）となっている。紙の本と電子書籍の計で最も多く読んでいるのは18～29歳（6.5冊）、次いで30～39歳（6.4冊）となっている。

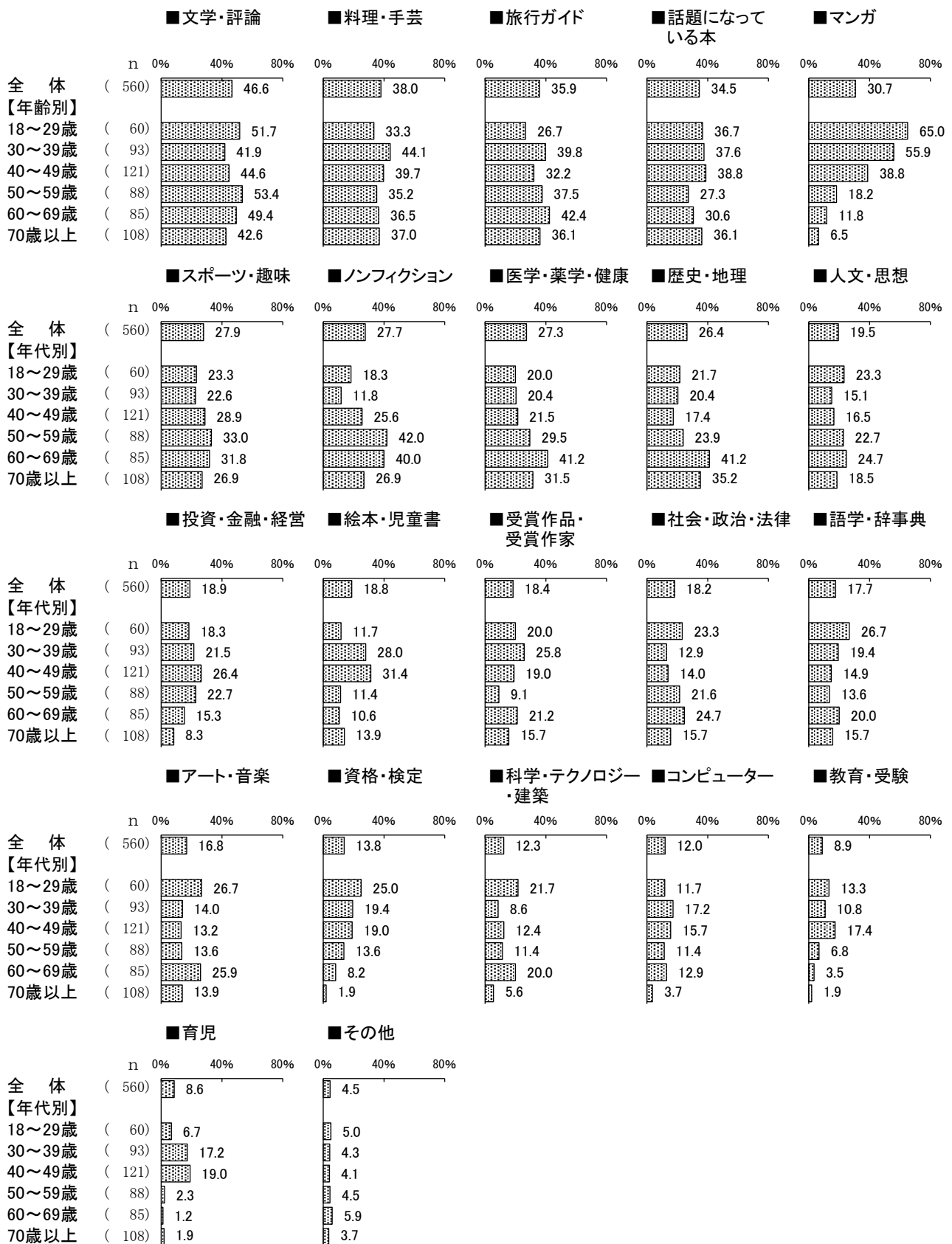
(6) 普段読む本のジャンル

問4 あなたは、どのようなジャンルの本を読みますか。
(あてはまる番号すべてに○)



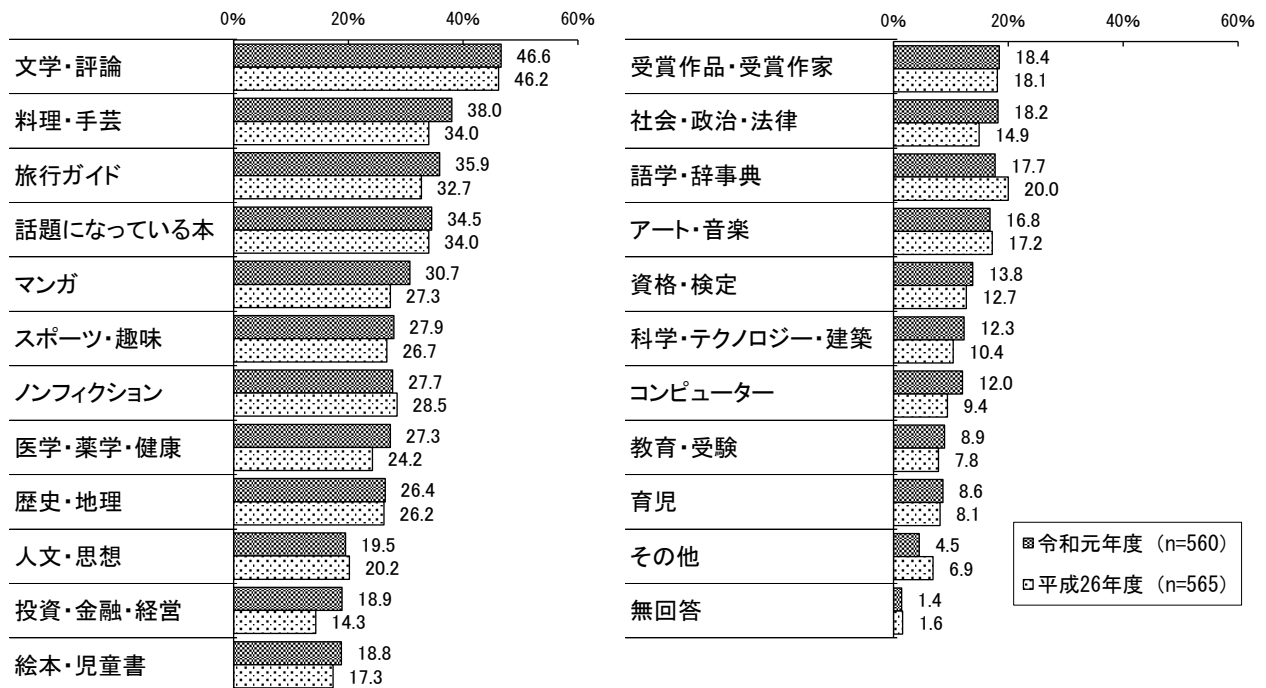
普段読む本のジャンルをたずねたところ、「文学・評論」(46.6%)が4割台半ばと最も多く、次いで「料理・手芸」(38.0%)、「旅行ガイド」(35.9%)、「話題になっている本」(34.5%)、「マンガ」(30.7%)の順となっている。

《 普段読む本のジャンル―年齢別／読書の嗜好別 》



年齢別でみると、「マンガ」、「資格・検定」は年齢が低いほど多い傾向となっている。「ノンフィクション」は50～59歳、60～69歳、「医学・薬学・健康」、「歴史・地理」は60～69歳、「投資・金融・経営」は40～49歳、「絵本・児童書」、「育児」は30～39歳、40～49歳で多い傾向となっている。「料理・手芸」、「話題になっている本」、「スポーツ・趣味」、「人文・思想」などは年齢による差が比較的小さくなっている。

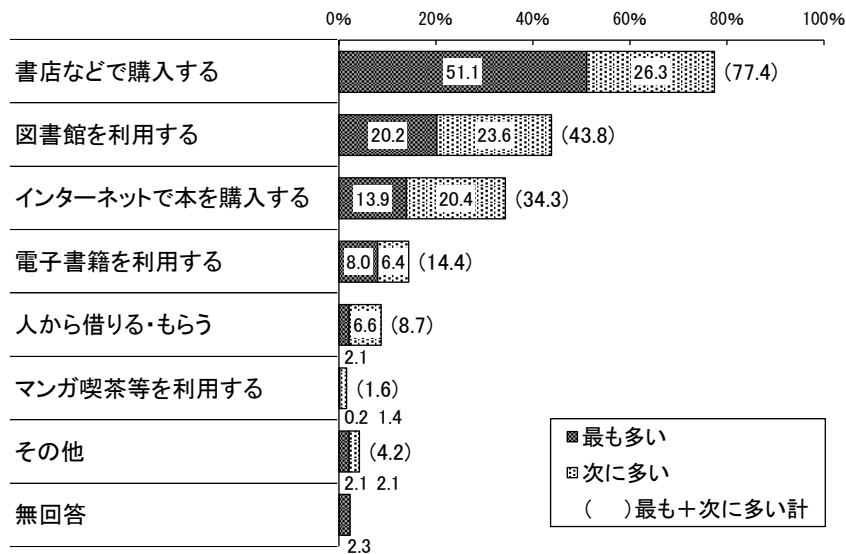
《 普段読む本のジャンルー経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、増加率が高い順に「投資・金融・経営」、「料理・手芸」、「マンガ」となっている。一方、減少率が高い順に「語学・辞事典」、「ノンフィクション」、「人文・思想」となっている。

(7) 読みたい本の入手方法

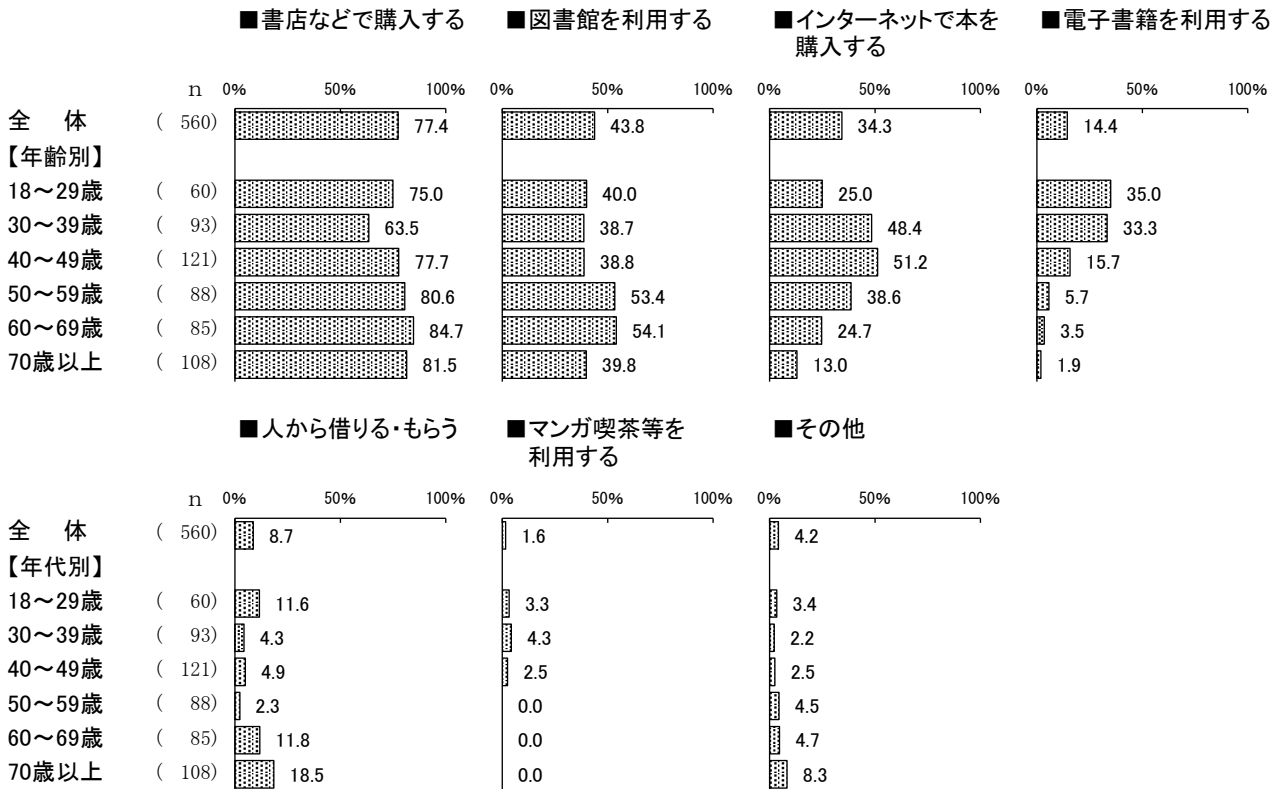
問5 読みたい本があるときには、どのようにして読むことが多いですか。
次の中から効果的と思う順に2つ選んで右の口の中に番号をご記入ください。



読みたい本の入手方法をたずねたところ、最も多い入手方法は「書店などで購入する」(51.1%)が5割を超えて最も多く、次いで「図書館を利用する」(20.2%)、「インターネットで本を購入する」(13.9%)の順となっている。最も多い入手方法と次に多い入手方法計は「書店などで購入する」(77.4%)が8割近くと最も多く、次いで「図書館を利用する」(43.8%)、「インターネットで本を購入する」(34.3%)の順となっている。

《 読みたい本の入手方法―年齢別 》

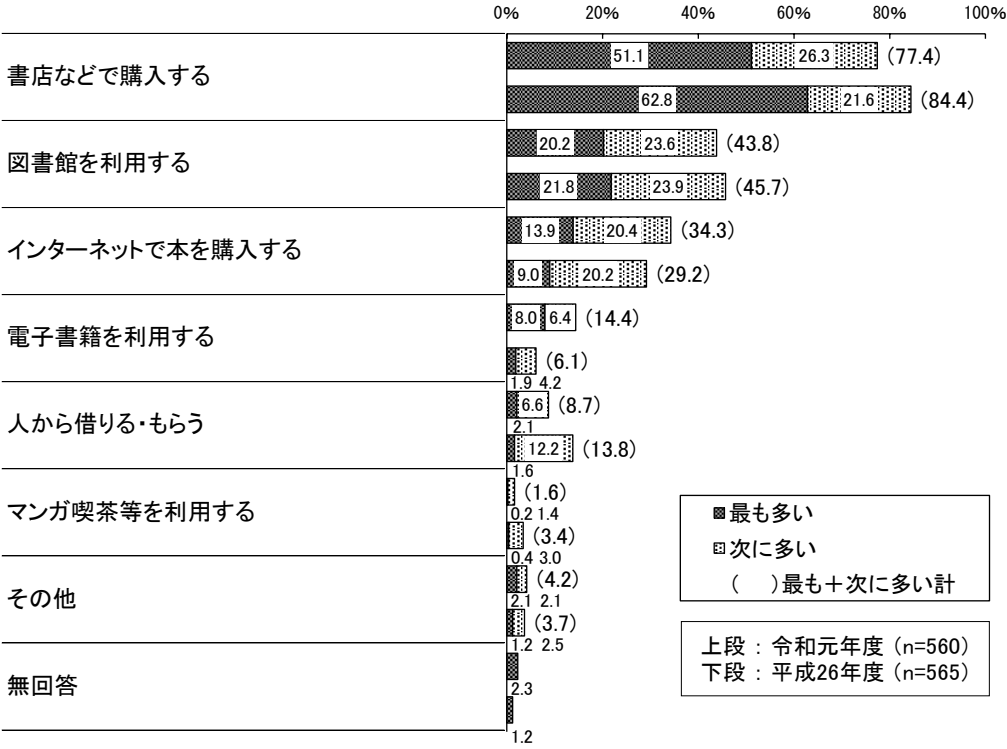
【最も＋次に多い計】



年齢別でみると、最も多い入手方法と次に多い入手方法計は「書店などで購入する」は50歳以上の年齢で8割を超え、「図書館を利用する」は50～59歳、60～69歳で5割を超えている。「インターネットで本を購入する」は30～39歳、40～49歳で5割前後、「電子書籍を利用する」は18～29歳で3割台半ば、30～39歳で3割台前半となっている。

読書の嗜好別でみると、「図書館を利用する」、「電子書籍を利用する」は読書が好きな人ほど多い傾向となっている。「書店などで購入する」、「インターネットで本を購入する」は読書の嗜好による差が小さくなっている。

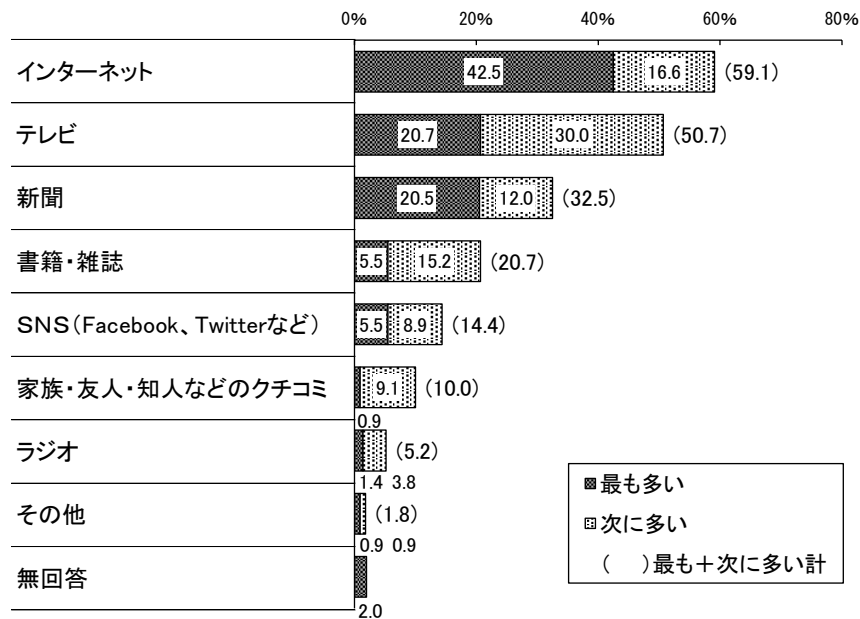
《 読みたい本の入手方法－経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、最も多い入手方法と次に多い入手方法計の増加率が高い順に「電子書籍を利用する」、「インターネットで本を購入する」となっている。一方、減少率が高い順に「書店などで購入する」、「人から借りる・もらう」、「図書館を利用する」となっている。

(8) 知識や情報の入手媒体

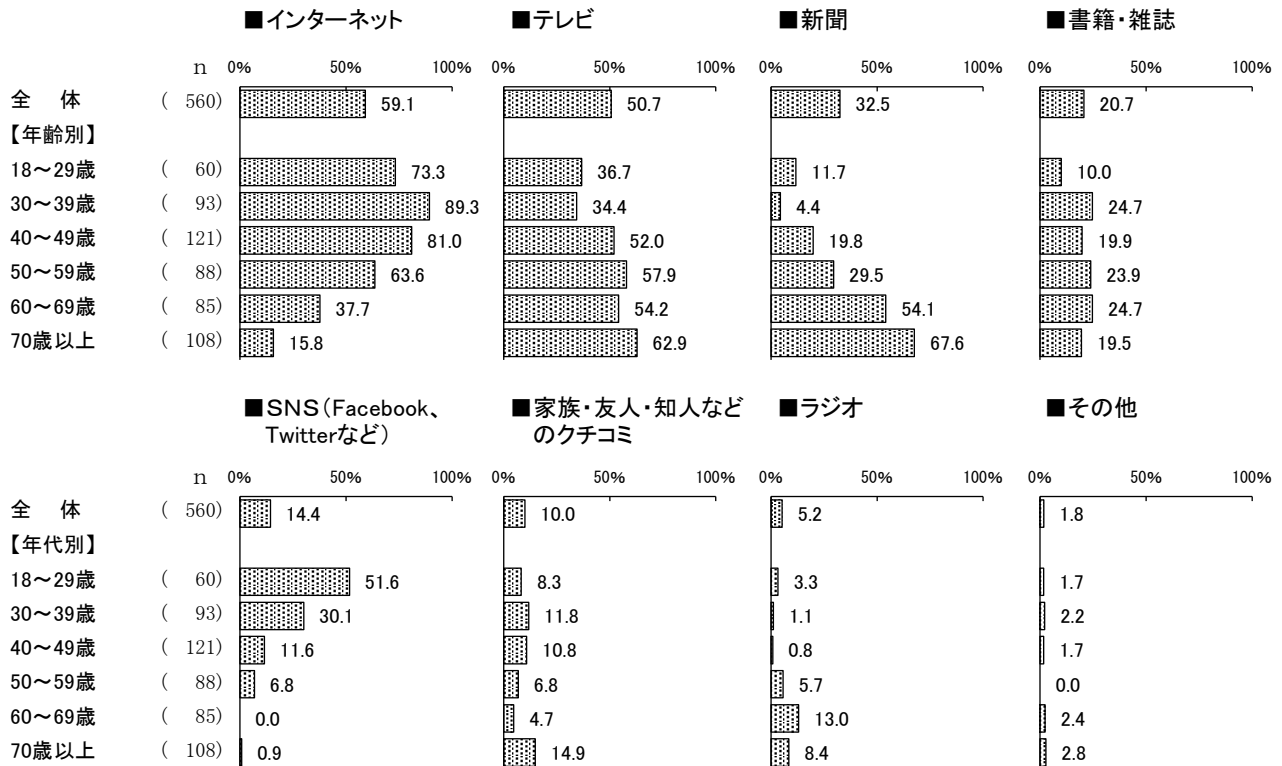
問6 あなたは普段、知識や情報をどの媒体から得ることが多いですか。
次の中から効果的と思う順に2つ選んで右の口の中に番号をご記入ください。



知識や情報の入手媒体をたずねたところ、最も多い入手方法は「インターネット」(42.5%)が4割を超えて最も多く、「テレビ」(20.7%)、「新聞」(20.5%)が約2割と次いでいる。最も多い入手方法と次に多い入手方法計は「インターネット」(59.1%)が約6割と最も多く、次いで「テレビ」(50.7%)、「新聞」(32.5%)の順となっており、「書籍・雑誌」(20.7%)は約2割となっている。

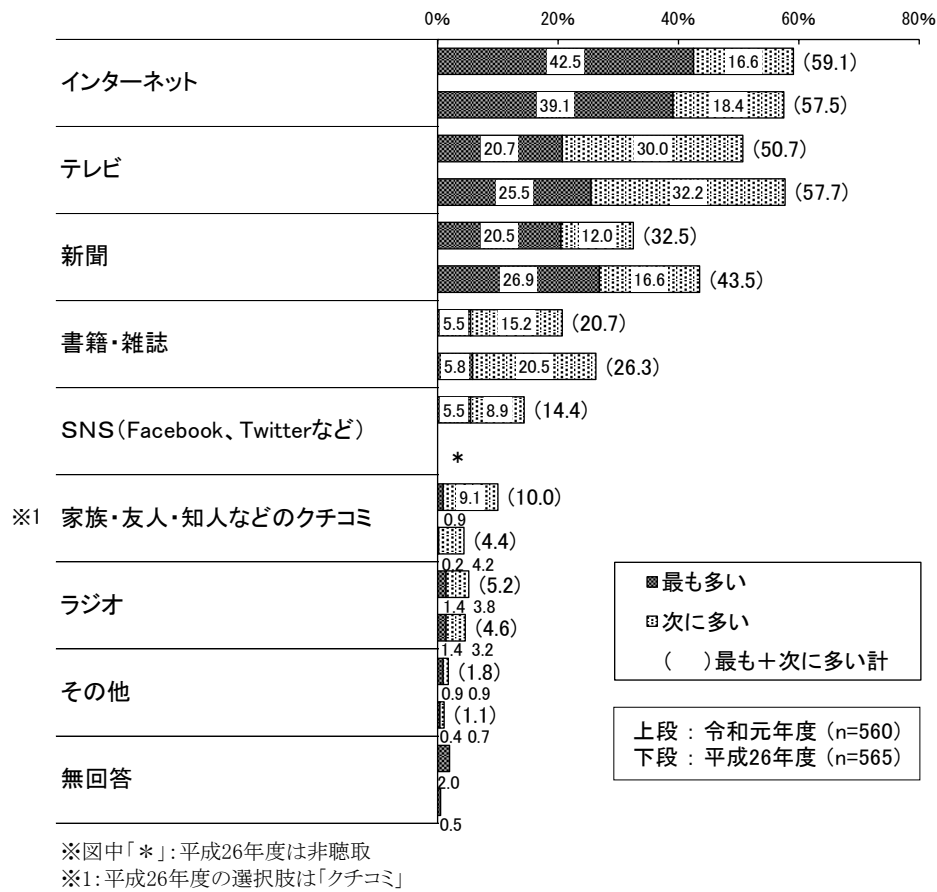
《 知識や情報の入手媒体－年齢別 》

【最も＋次に多い計】



年齢別でみると、最も多い入手媒体と次に多い入手媒体計は「インターネット」は30～39歳で約9割、40～49歳で8割台前半、18～29歳で7割台前半となっている。「テレビ」は40歳以上の年齢で5～6割に対し、18～29歳、30～39歳は3割台となっている。「新聞」は概ね年齢が高いほど多く、70歳以上で7割近くとなっている。「SNS (Facebook、Twitterなど)」は年齢が低いほど多く、18～29歳で5割を超えている。「書籍・雑誌」は年齢による差が比較的小さくなっている。

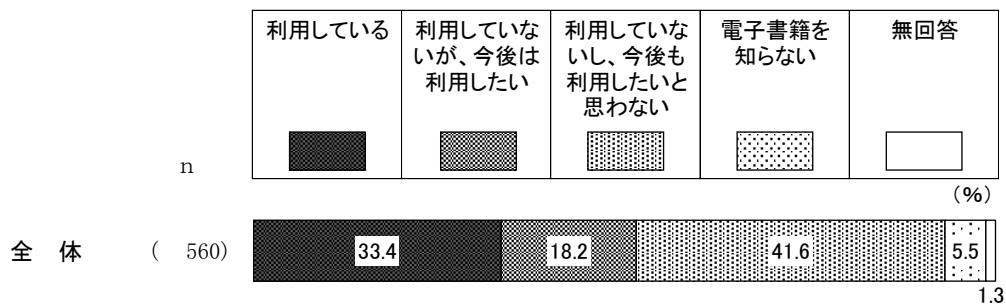
《 知識や情報の入手媒体－経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、最も多い入手方法と次に多い入手方法計の増加率が高い順に「家族・友人・知人などのクチコミ」、「インターネット」となっている。一方、減少率が高い順に「新聞」、「テレビ」、「書籍・雑誌」となっている。

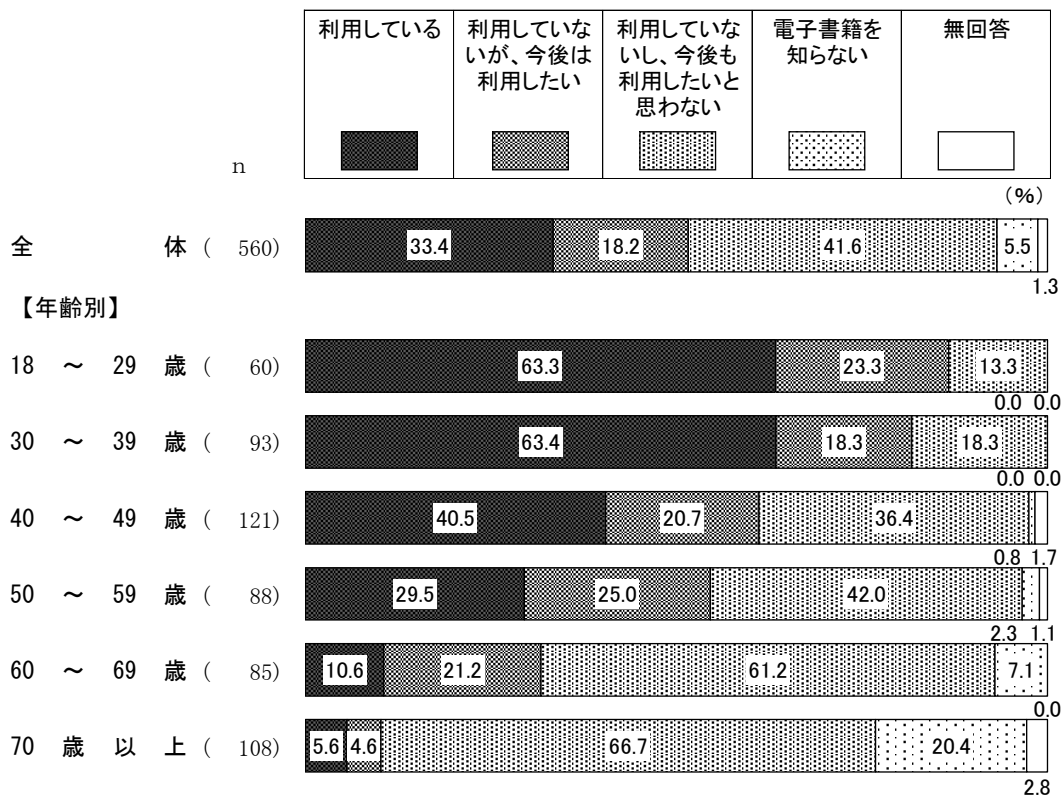
(9) 『電子書籍』の利用状況

問7 あなたは、『電子書籍』を利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)



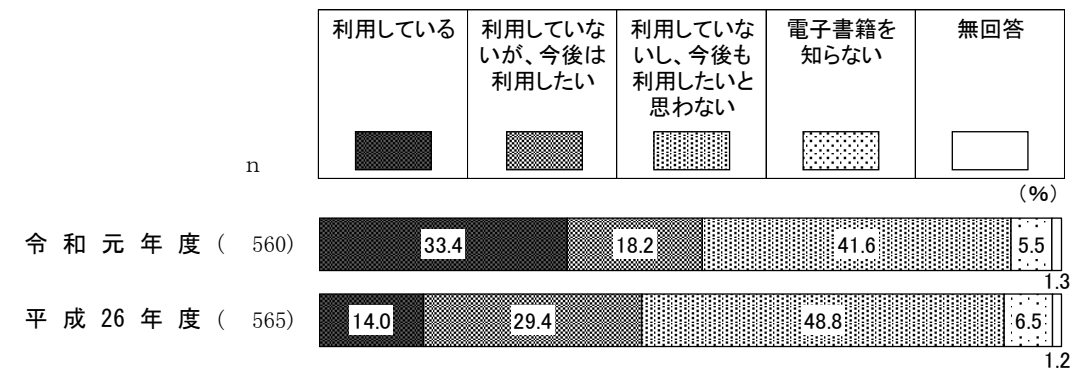
『電子書籍』の利用状況をたずねたところ、「利用している」(33.4%)は3割を超え、「利用していないが、今後は利用したい」(18.2%)は2割近くとなっている。一方、「利用していないし、今後もしないと思わない」(41.6%)は約4割となっている。

《『電子書籍』の利用状況一年齢別》



年齢別でみると、「利用している」は概ね年齢が低いほど多く、18～29歳、30～39歳で6割を超えている。「利用していないが、今後は利用したい」は70歳以上を除く年齢で2割前後となっている。「利用していないし、今後もしないと思わない」は年齢が高いほど多く、70歳以上で6割台半ばとなっている。

《 『電子書籍』 の利用状況－経年比較 》



前回調査（平成26年度）と比較すると、「利用している」が19.4ポイント増加している。一方、「利用していないし、今後も利用したいと思わない」は7.2ポイント減少している。

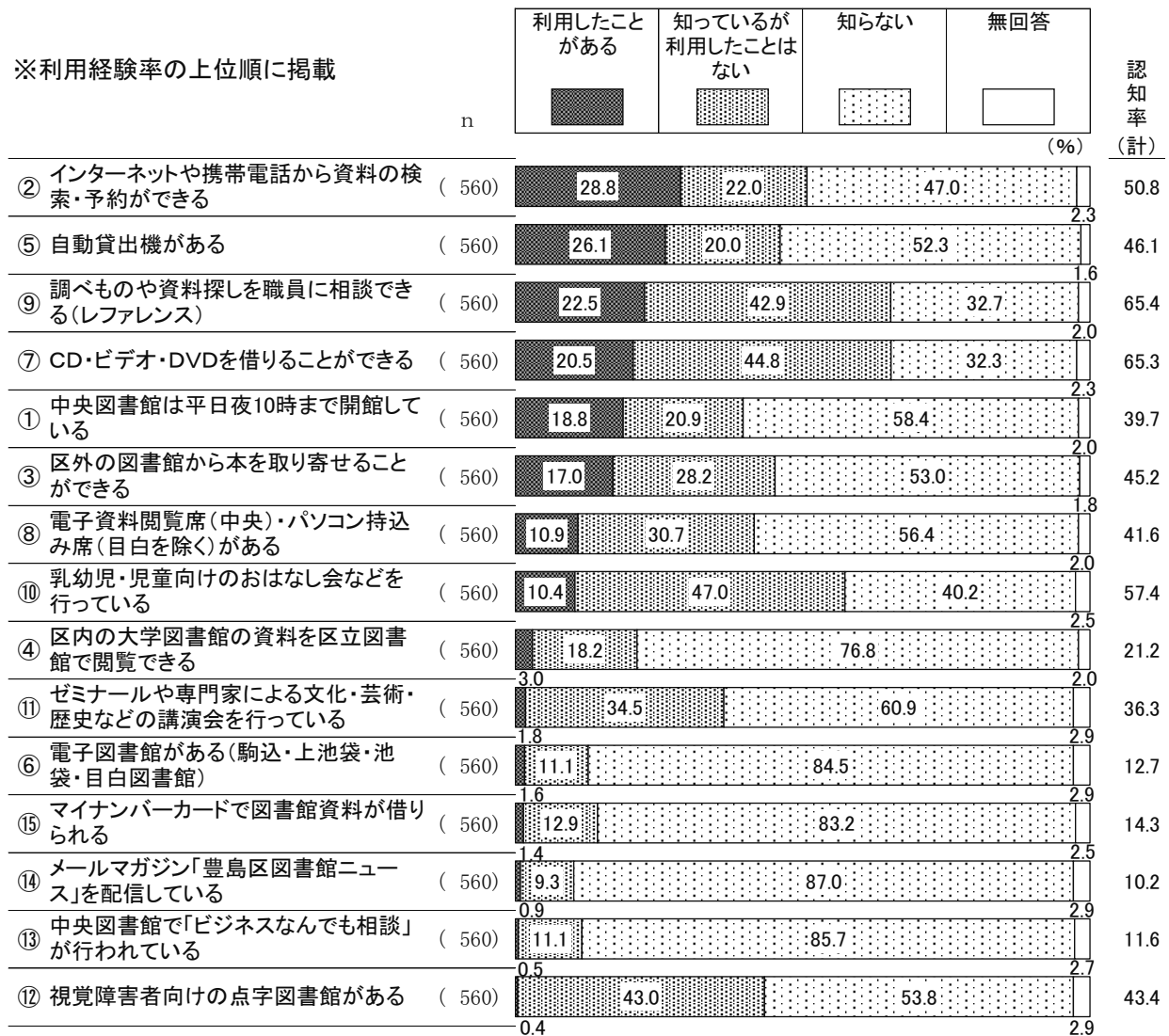
2 豊島区立図書館について

(1) 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験

問8 豊島区立図書館では、下記のようなサービスを全て無料で行っています。

①～⑮の各サービスについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

※利用経験率の上位順に掲載



豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験についてたずねたところ、「利用したことがある」は②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる(28.8%)が3割近くと最も多く、次いで⑤自動貸出機がある(26.1%)が2割台半ば、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)(22.5%)、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる(20.5%)が2割を超え、①中央図書館は平日夜10時まで開館している(18.8%)、③区外の図書館から本を取り寄せることができる(17.0%)が2割近くとなっている。

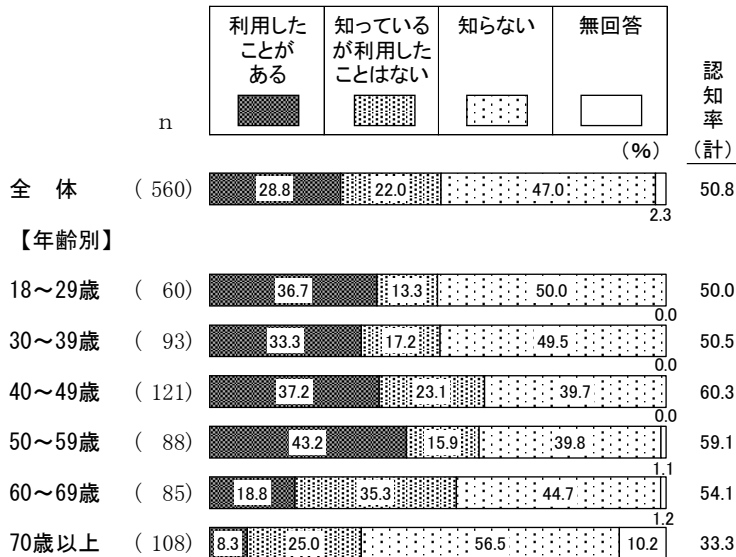
「知っているが利用したことはない」は⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている(47.0%)、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる(44.8%)、⑫視覚障害者向けの点字図書館がある(43.0%)、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)(42.9%)が4割を超えている。

認知率は高い順に⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)(65.4%)、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる(65.3%)、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる(50.8%)となっている。一方、認知率が低い順に⑭メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を配信している(10.2%)、⑬中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が行われている(11.6%)、⑥電子図書館がある(駒込・上池袋・池袋・目白図書館)(12.7%)となっている。

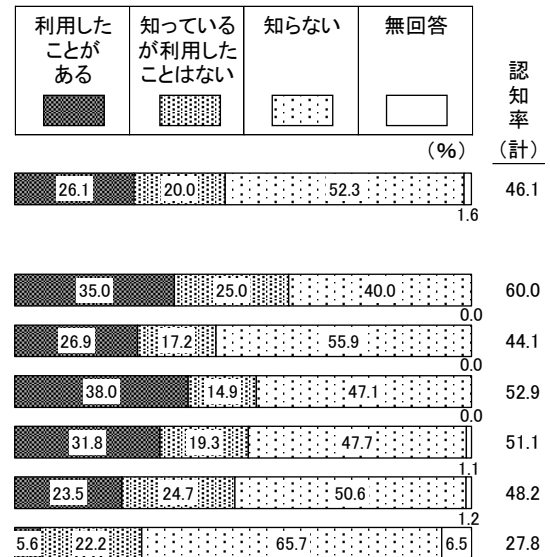
《 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験一年齢別 》

※全体での利用経験率の上位順に掲載

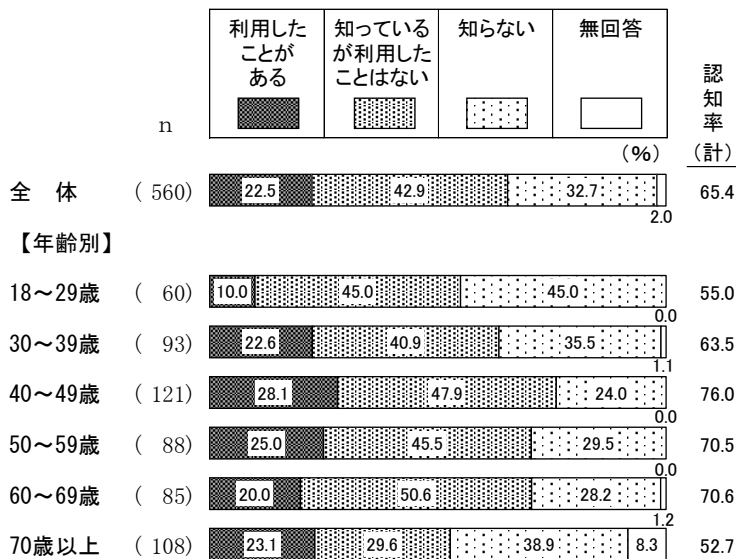
②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる



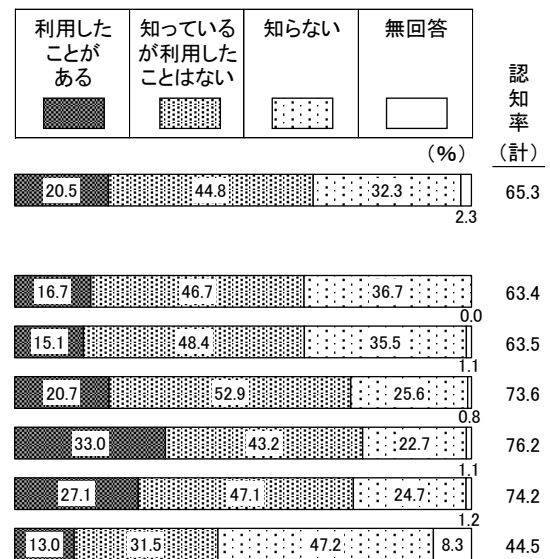
⑤自動貸出機がある



⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)



⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる

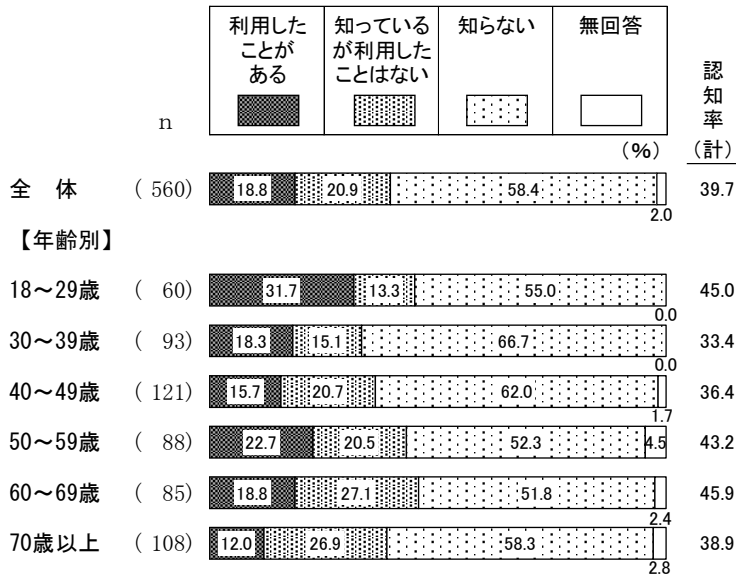


年齢別でみると、「利用したことがある」は②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができるは50～59歳で4割を超え、⑤自動貸出機があるは40～49歳で4割近く、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができるは50～59歳で3割を超えている。①中央図書館は平日夜10時まで開館しているは18～29歳で約3割、⑧電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席(目白を除く)があるは18～29歳で2割を超えている。⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っているのは40～49歳で2割台半ばとなっている。

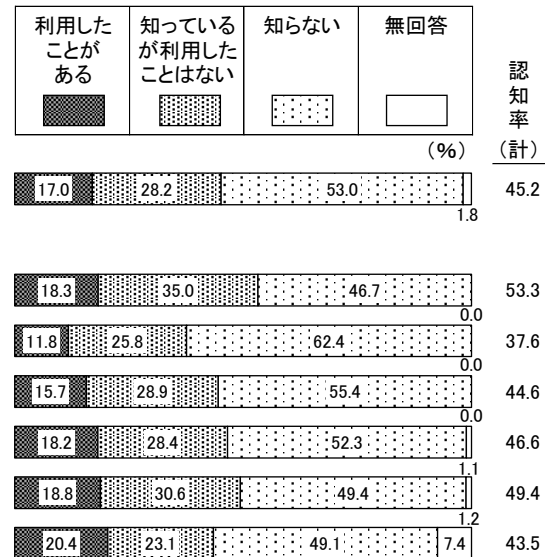
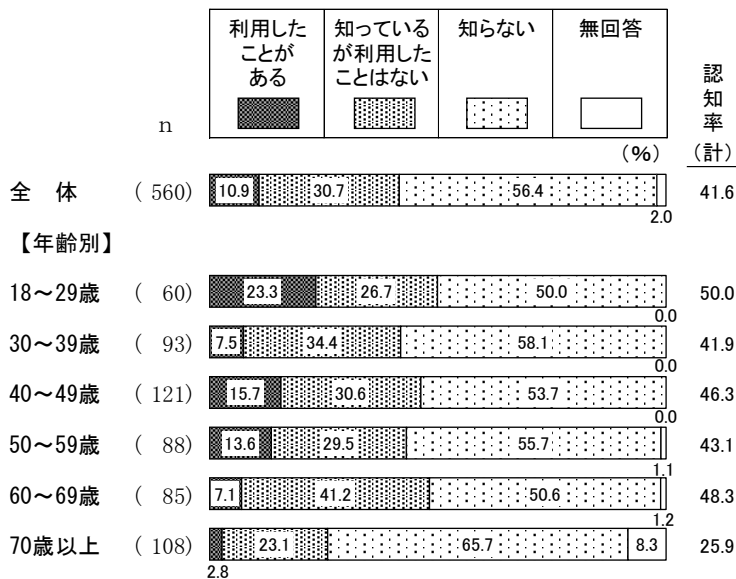
《 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験一年齢別 》

※全体での利用経験率の上位順に掲載

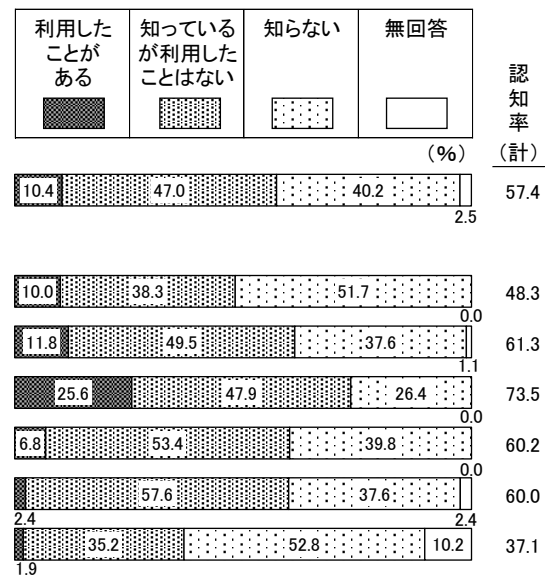
①中央図書館は平日夜10時まで開館している



③区外の図書館から本を取り寄せることができる

⑧電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席
(目白を除く)がある

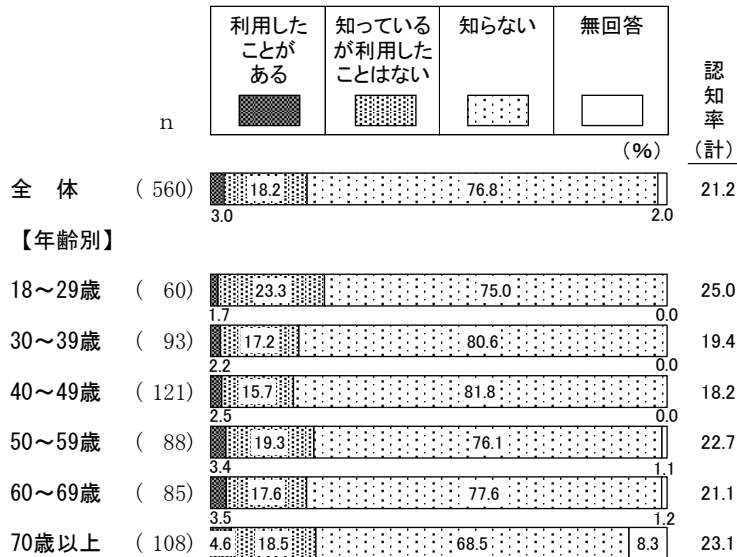
⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている



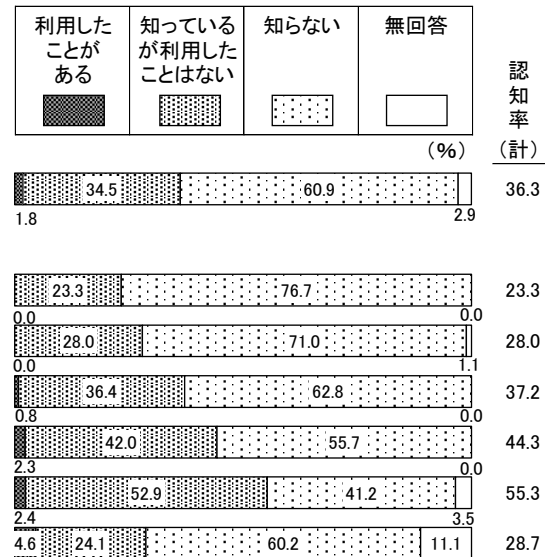
《 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験一年齢別 》

※全体での利用経験率の上位順に掲載

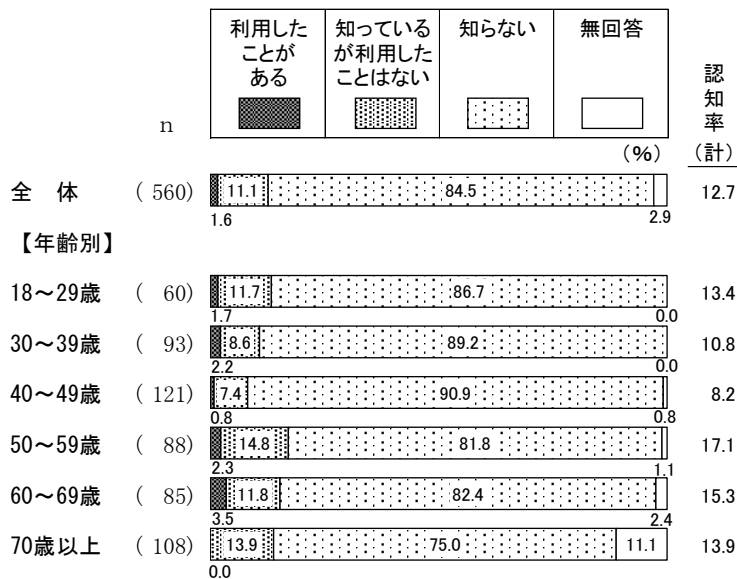
④区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる



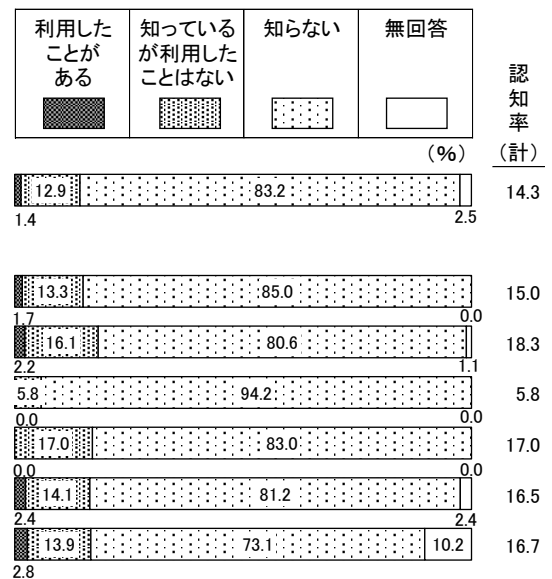
⑪ゼミナールや専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っている



⑥電子図書館がある(駒込・上池袋・池袋・目白図書館)

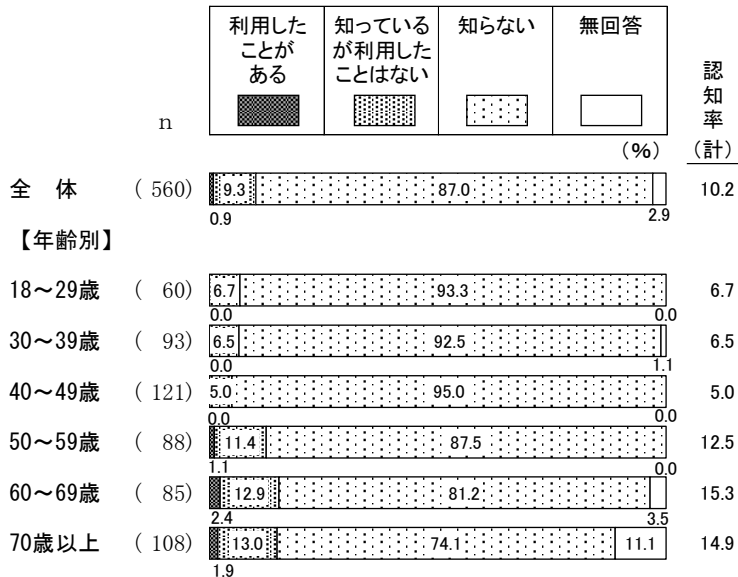
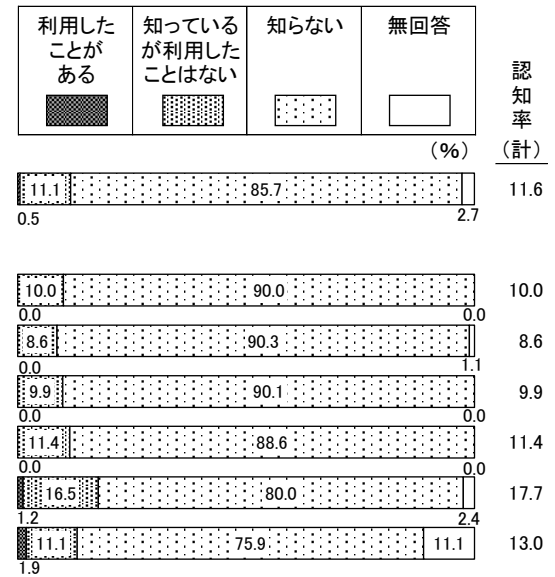


⑮マイナンバーカードで図書館資料が借りられる

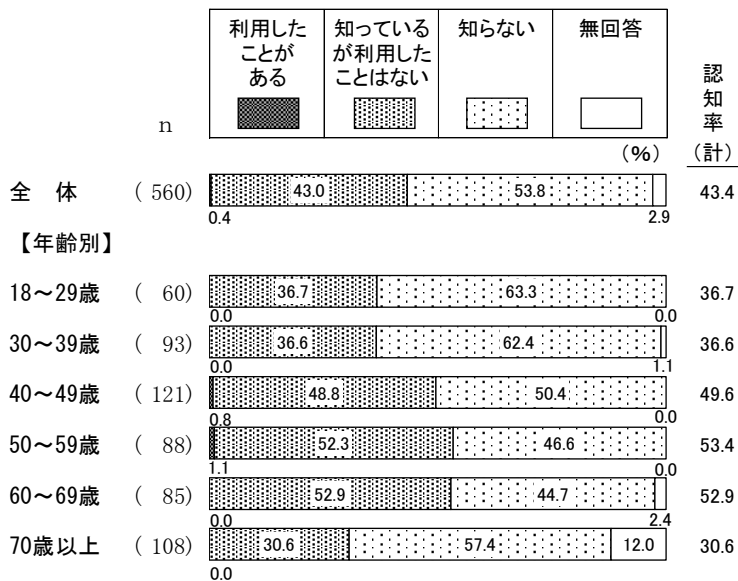


《 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験一年齢別 》

※全体での利用経験率の上位順に掲載

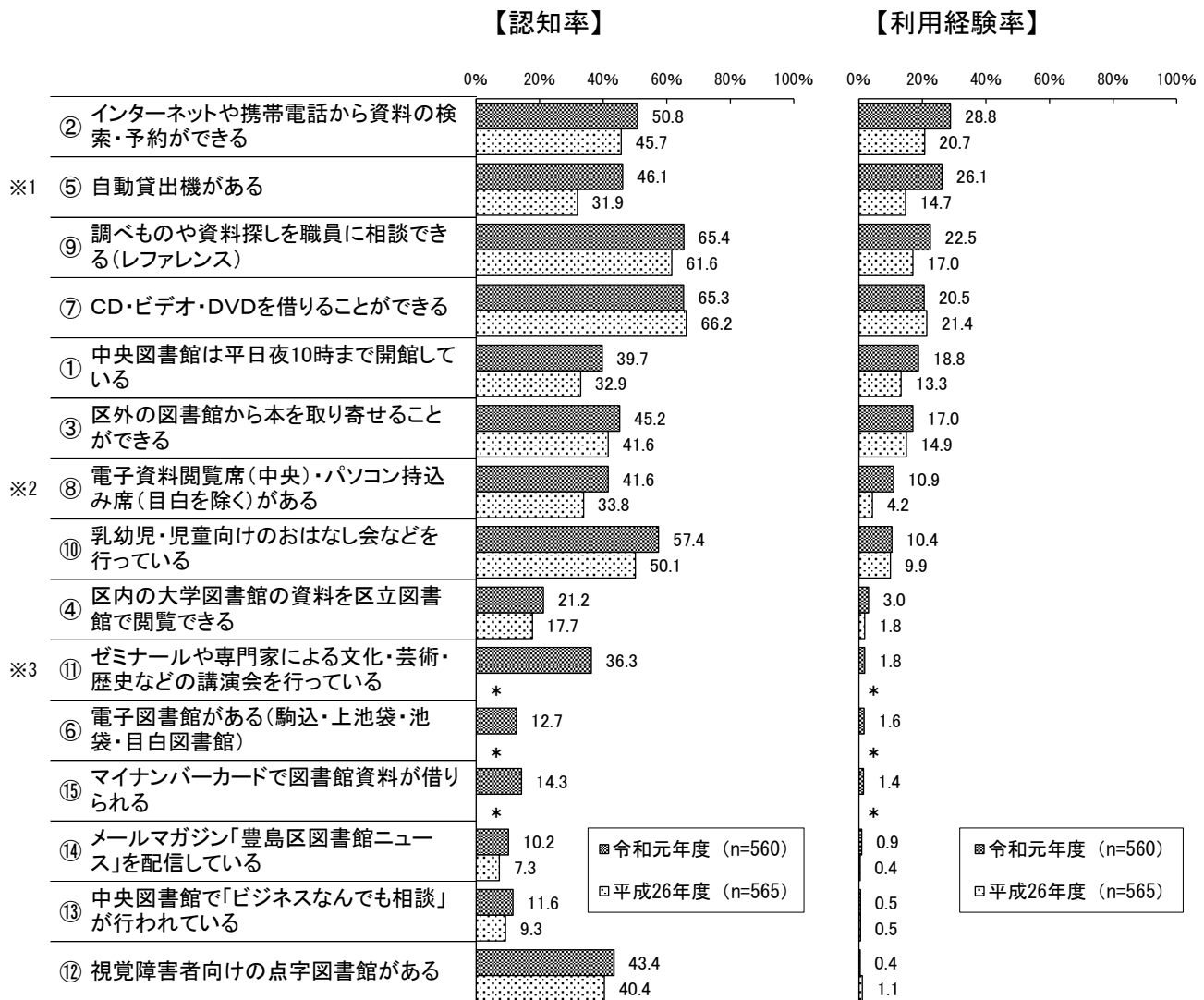
⑭メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を
配信している⑬中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が
行われている

⑫視覚障害者向けの点字図書館がある



《 豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験一経年比較 》

※令和元年度の利用意向率の上位順に掲載



※図中「*」:平成26年度は非聴取

※1:平成26年度の項目は「自動貸出機がある(中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館)」

※2:平成26年度の項目は「中央図書館に電子資料閲覧席・パソコン持込み席がある」

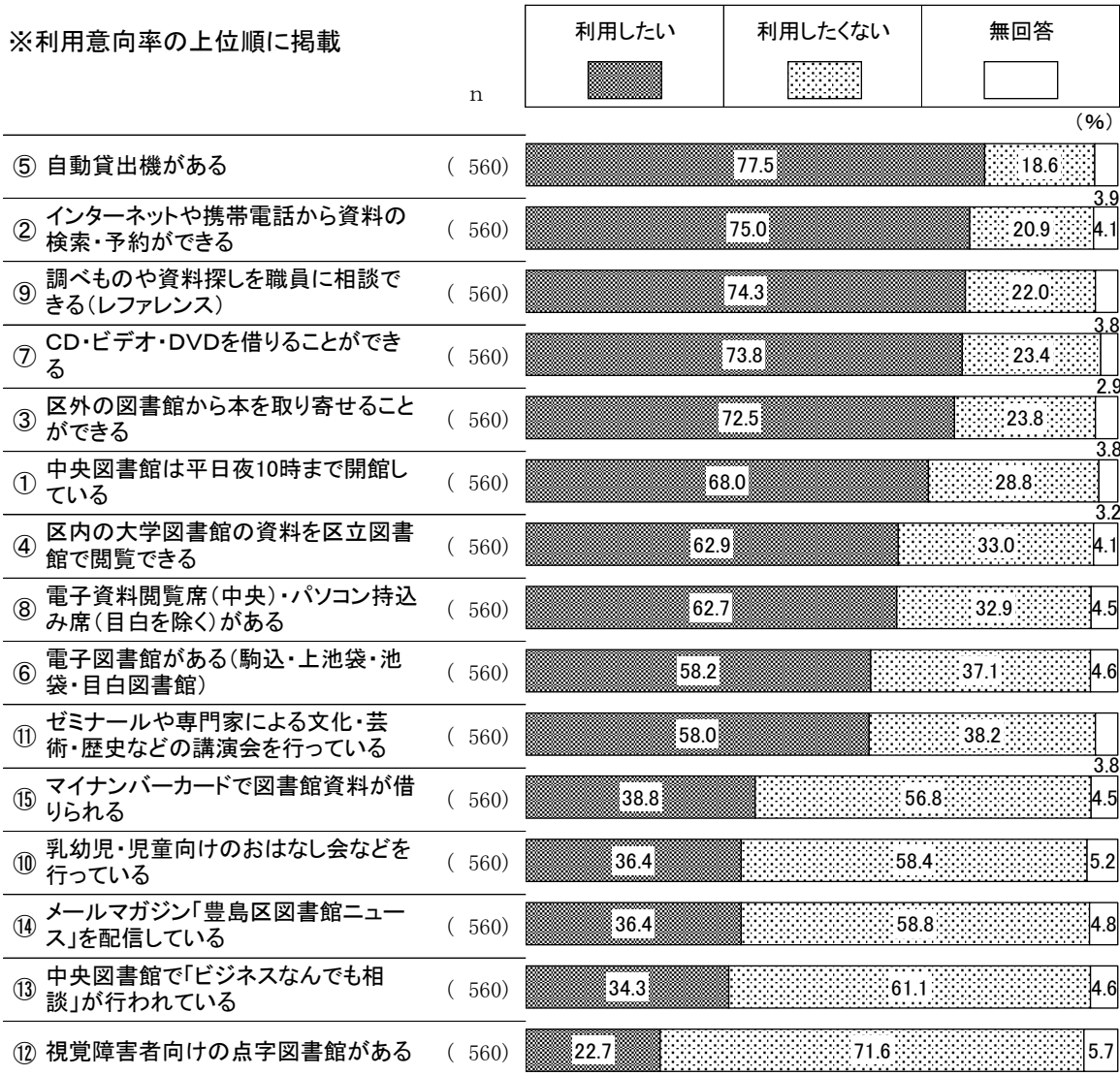
※3:平成26年度の項目は「区に関連するテーマを学習するゼミナールを行っている」と「文化・芸術・歴史などの専門家の講演会を行っている」を分けて聴取

前回調査(平成26年度)と比較すると、認知率は⑤自動貸出機があるが14.2ポイント、⑧電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席(目白を除く)があるが7.8ポイント、⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っているが7.3ポイント、①中央図書館は平日夜10時まで開館しているが6.8ポイント増加している。

利用経験率は⑤自動貸出機があるが11.4ポイント、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができるが8.1ポイント、⑧電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席(目白を除く)があるが6.7ポイント、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)、①中央図書館は平日夜10時まで開館しているが5.5ポイント増加している。

(2) 豊島区立図書館のサービス利用意向

問9 豊島区立図書館が行っている以下の①～⑮のサービスについて、今後（今後も）利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

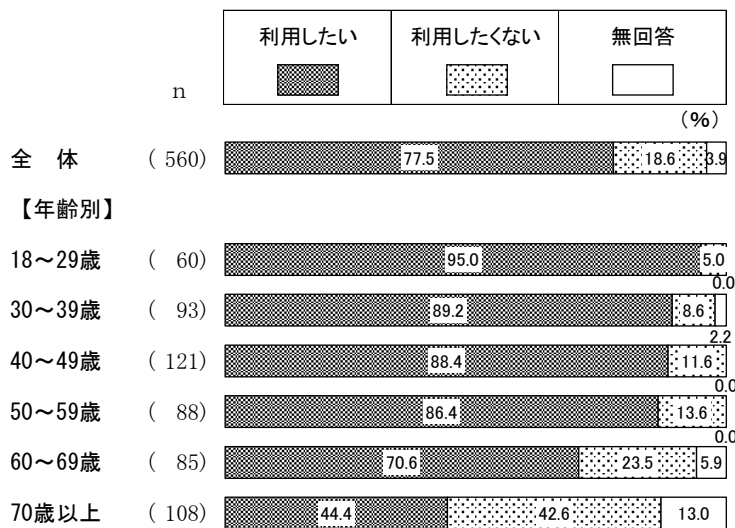


豊島区立図書館のサービス利用意向をたずねたところ、「利用したい」は⑤自動貸出機がある(77.5%)が8割近くと最も多く、次いで②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる(75.0%)、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)(74.3%)、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる(73.8%)、③区外の図書館から本を取り寄せることができる(72.5%)などが7割台で続いている。

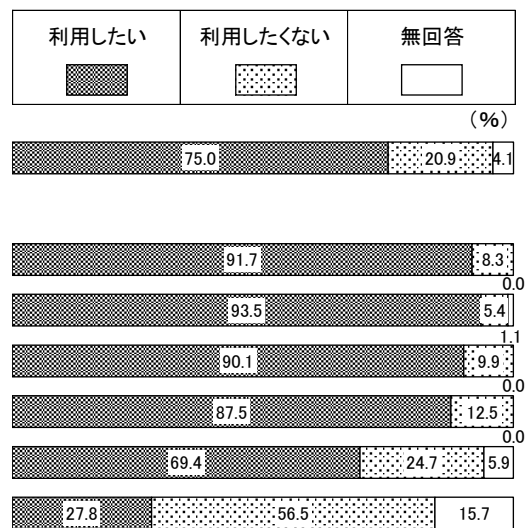
《 豊島区立図書館のサービス利用意向一年齢別 》

※全体での利用意向率の上位順に掲載

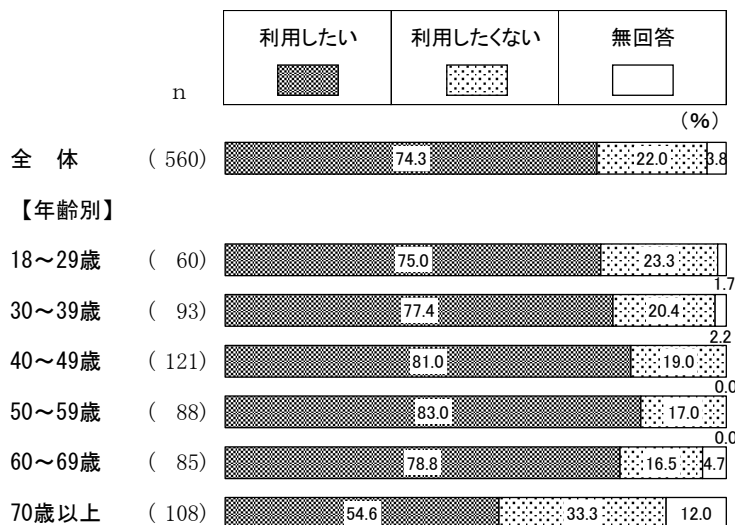
⑤自動貸出機がある



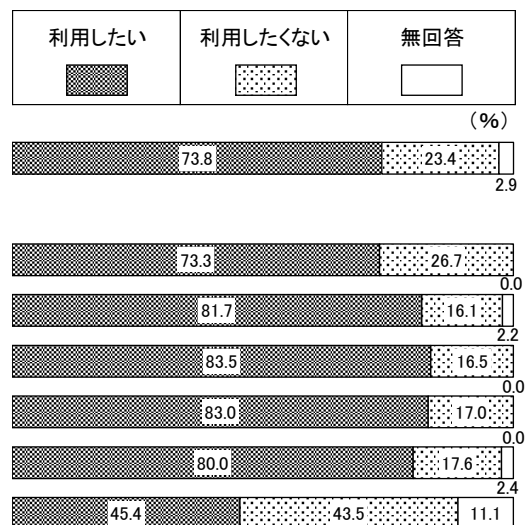
②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる



⑨調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）



⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる

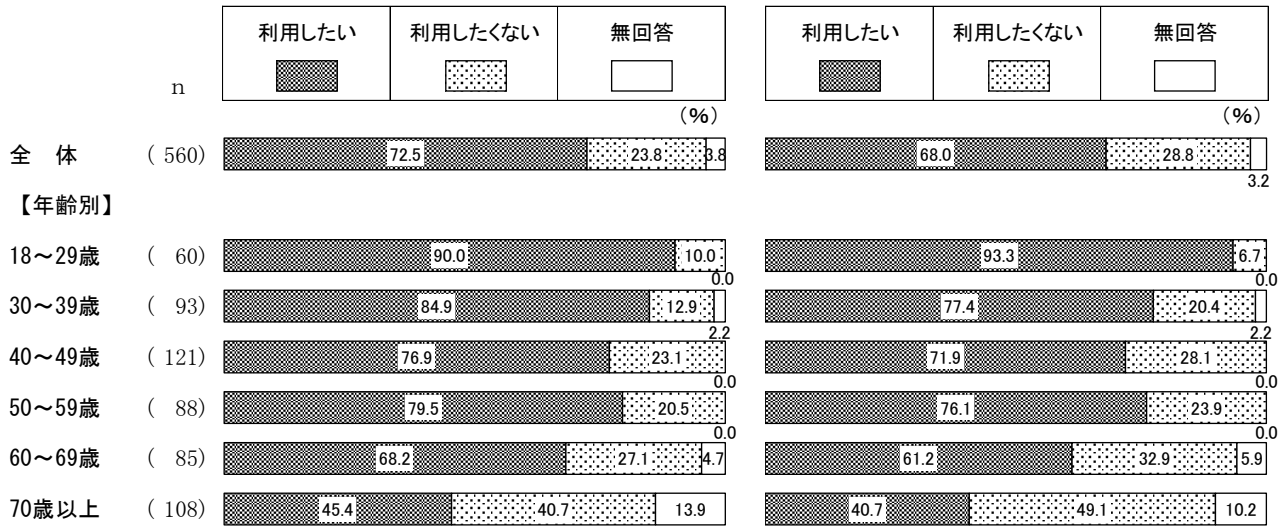


年齢別でみると、「利用したい」は⑤自動貸出機がある、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる、③区外の図書館から本を取り寄せることができる、①中央図書館は平日夜10時まで開館している、④区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる、⑧電子資料閲覧席（中央）・パソコン持込み席（目白を除く）がある、⑥電子図書館がある（駒込・上池袋・池袋・目白図書館）などは概ね年齢が低いほど多い傾向となっている。⑨調べものや資料探しを職員に相談できる（レファレンス）、⑪ゼミナールや専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っているは50～59歳までの年齢で年齢が高いほど多い傾向となっている。

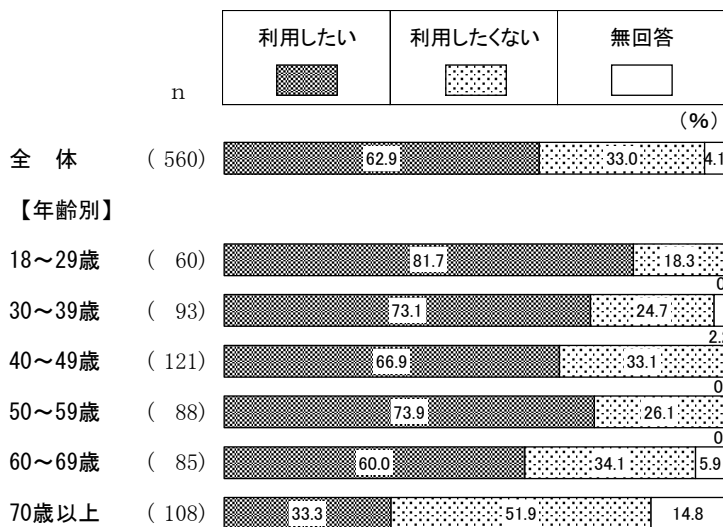
《 豊島区立図書館のサービス利用意向一年齢別 》

※全体での利用意向率の上位順に掲載

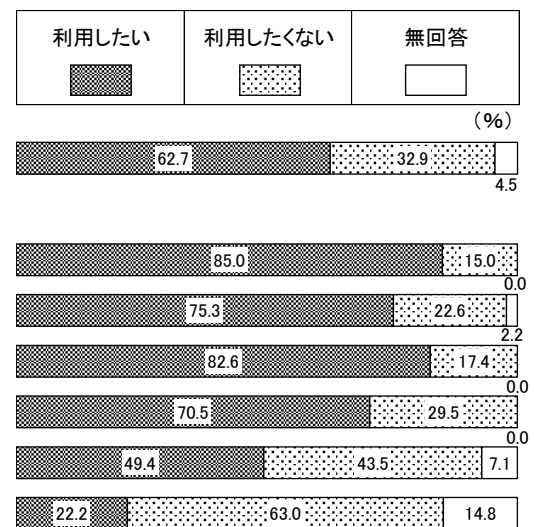
③区外の図書館から本を取り寄せることができる ①中央図書館は平日夜10時まで開館している



④区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる



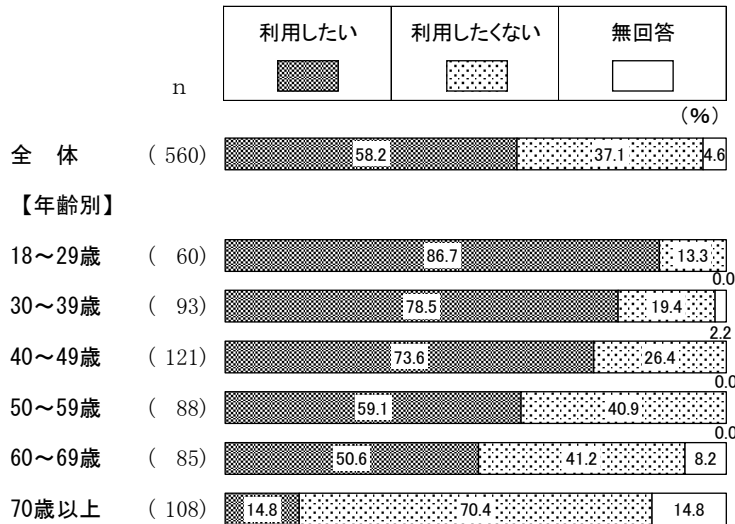
⑧電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席(目白を除く)がある



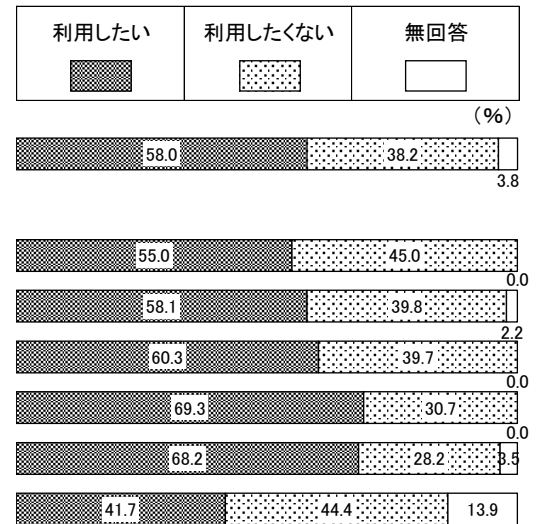
《 豊島区立図書館のサービス利用意向一年齢別 》

※全体での利用意向率の上位順に掲載

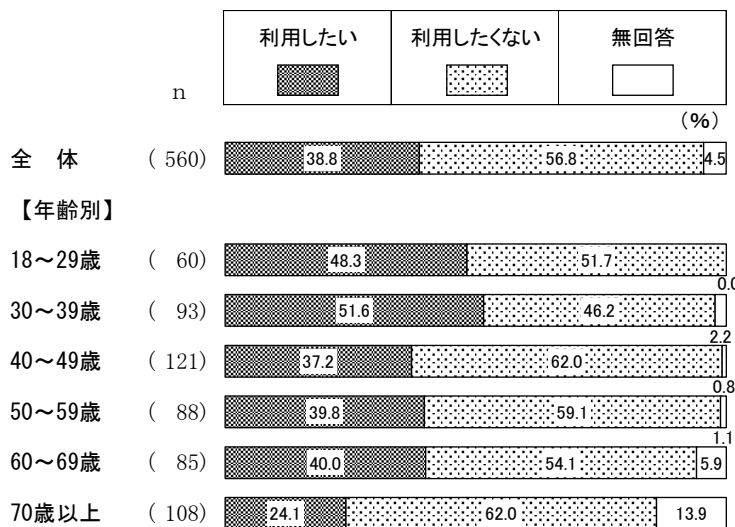
⑥電子図書館がある(駒込・上池袋・池袋・目白図書館)



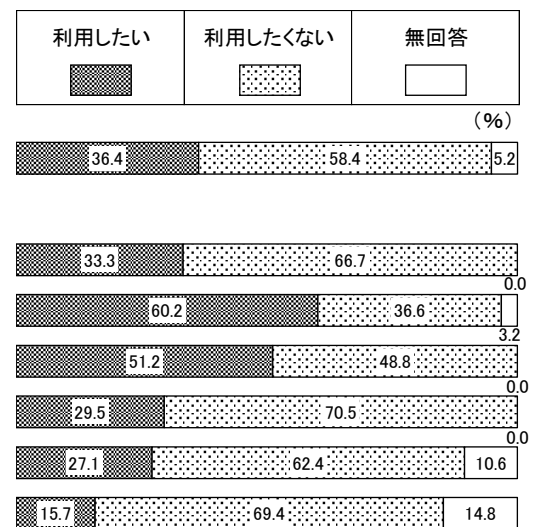
⑪ゼミナールや専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っている



⑮マイナンバーカードで図書館資料が借りられる



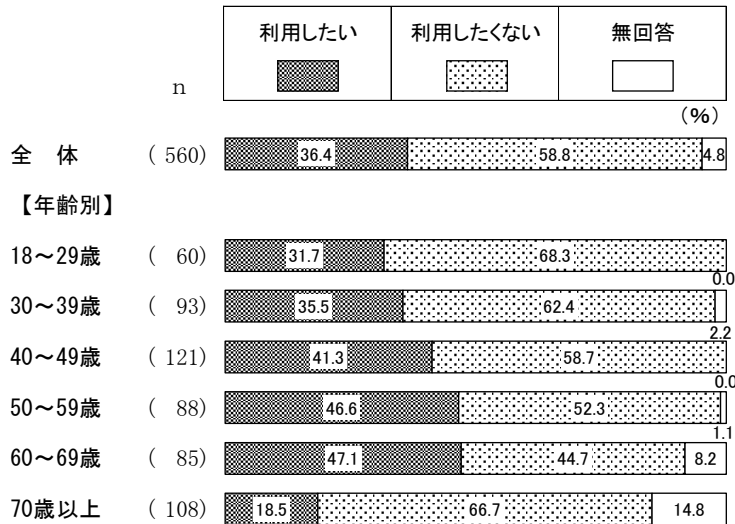
⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている



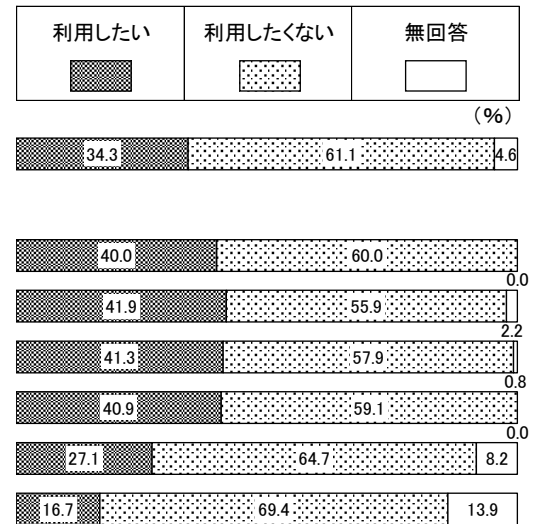
《 豊島区立図書館のサービス利用意向一年齢別 》

※全体での利用意向率の上位順に掲載

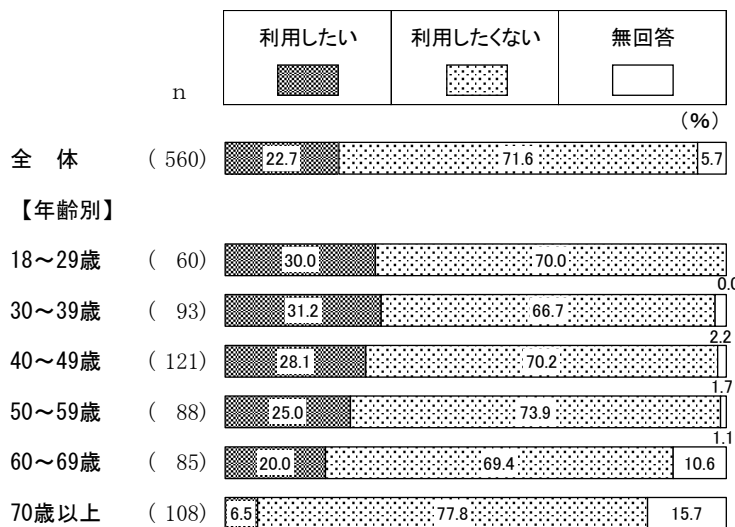
⑭メールマガジン「豊島区図書館ニュース」を配信している



⑬中央図書館で「ビジネスなんでも相談」が行われている



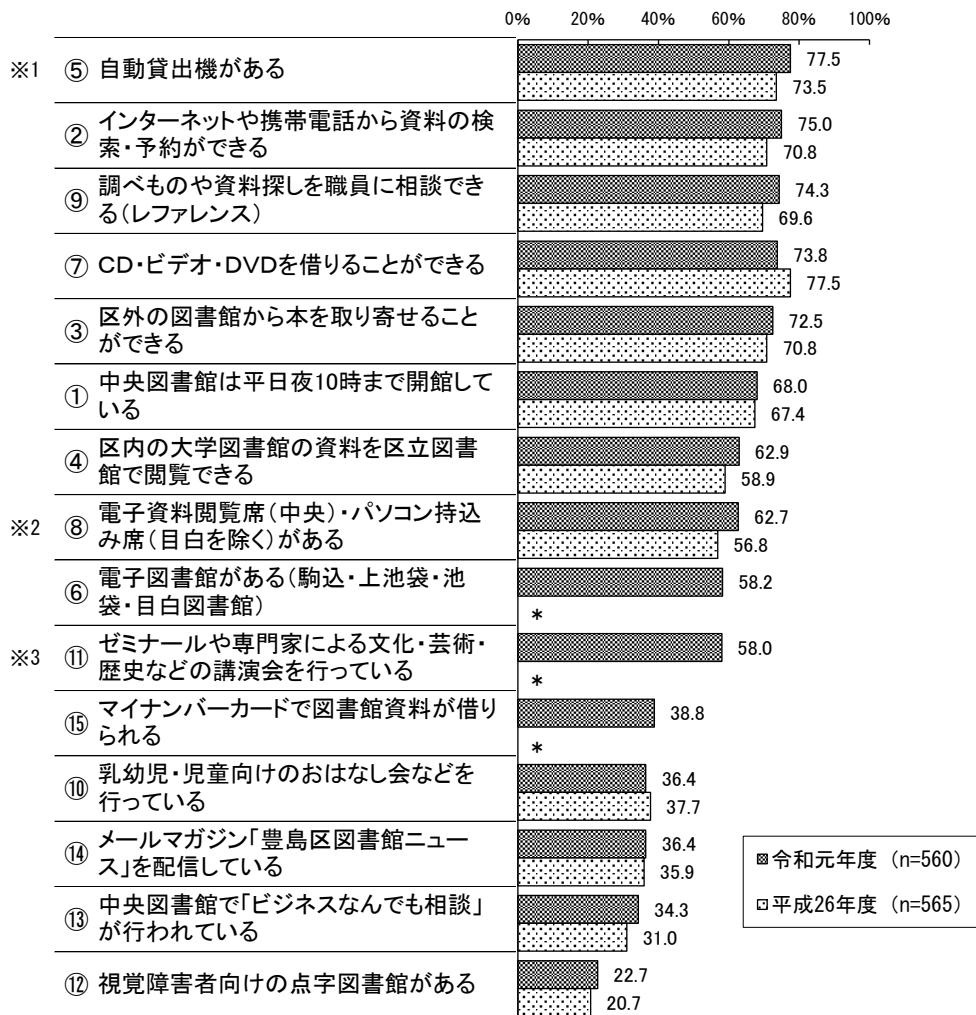
⑫視覚障害者向けの点字図書館がある



《 豊島区立図書館のサービス利用意向一経年比較 》

※令和元年度の利用意向率の上位順に掲載

【利用意向率】



※図中「*」:平成26年度は非聴取

※1:平成26年度の項目は「自動貸出機がある(中央・巣鴨・上池袋・池袋・目白図書館)」

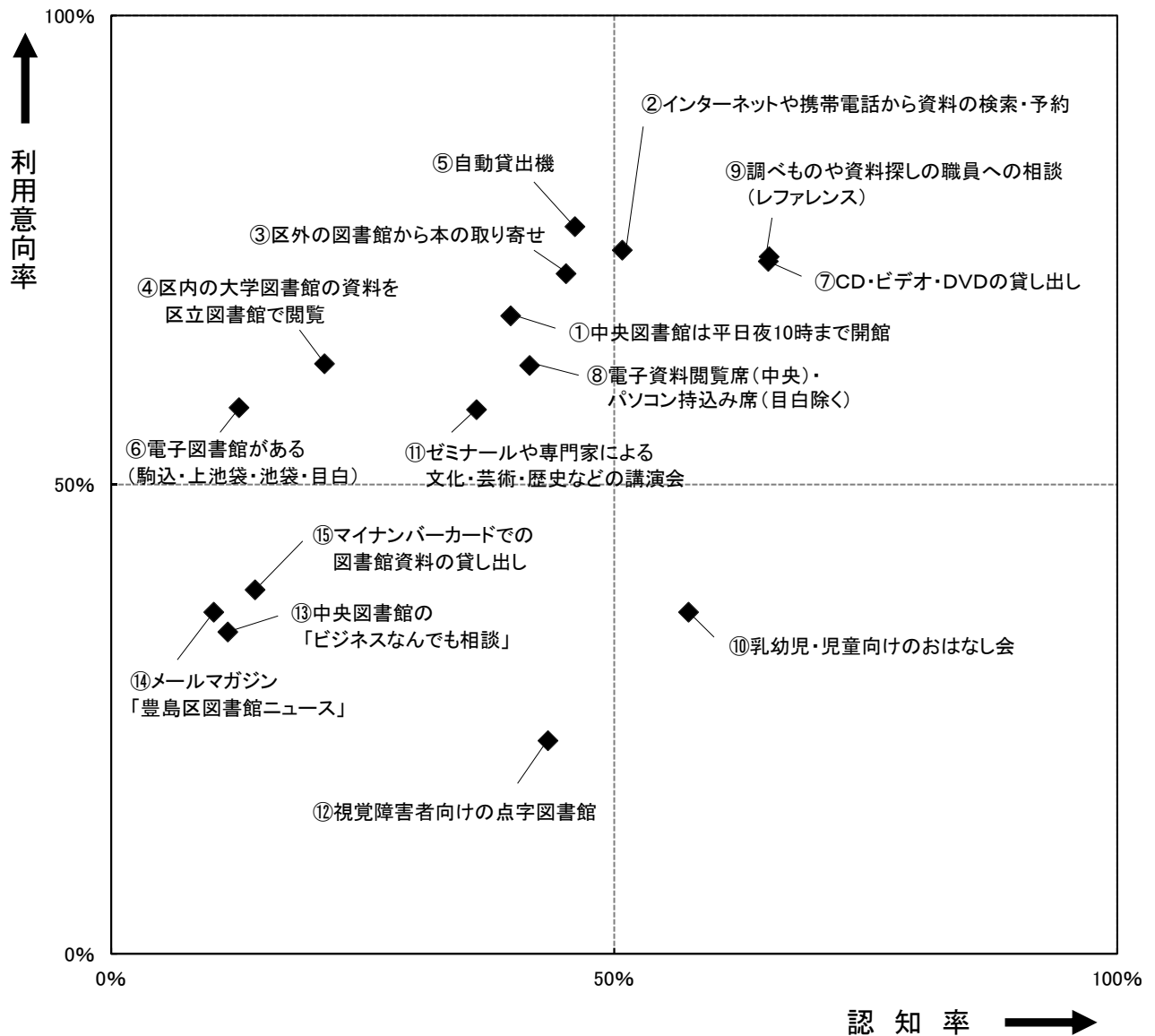
※2:平成26年度の項目は「中央図書館に電子資料閲覧席・パソコン持込み席がある」

※3:平成26年度の項目は「区に関連するテーマを学習するゼミナールを行っている」と「文化・芸術・歴史などの専門家の講演会を行っている」を分けて聴取

前回調査(平成26年度)と比較すると、利用意向率は⑧電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み(目白を除く)があるが5.9ポイント、⑨調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)が4.7ポイント、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができるが4.2ポイント、⑤自動貸出機がある、④区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できるが4.0ポイント増加している。

(3) 豊島区立図書館のサービスの認知率と利用意向率

(n=560)



豊島区立図書館のサービスについて、認知率を横軸に、利用意向率を縦軸に分布すると上記の通りである。

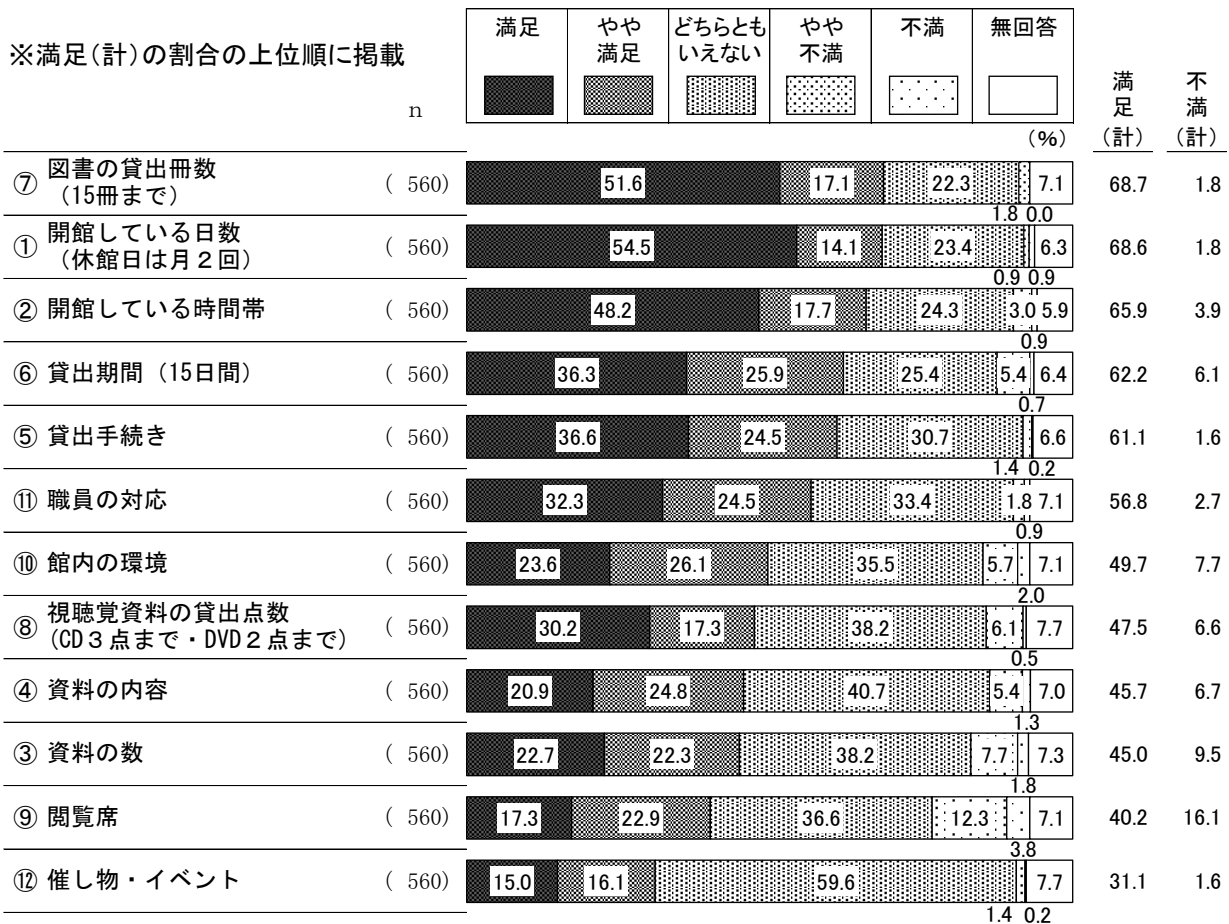
認知率、利用意向率ともに比較的高いのは、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約、⑦CD・ビデオ・DVDの貸し出し、⑨調べものや資料探しの職員への相談 (レファレンス) などとなっている。

認知率は比較的低いが、利用意向率が比較的高いのは、⑤自動貸出機、③区外の図書館からの本の取り寄せ、①中央図書館は平日夜10時まで開館、などであり、これらのサービスについては認知率をより高めることで利用者がより増えることが示唆される。

(4) 豊島区立図書館のサービス等の満足度

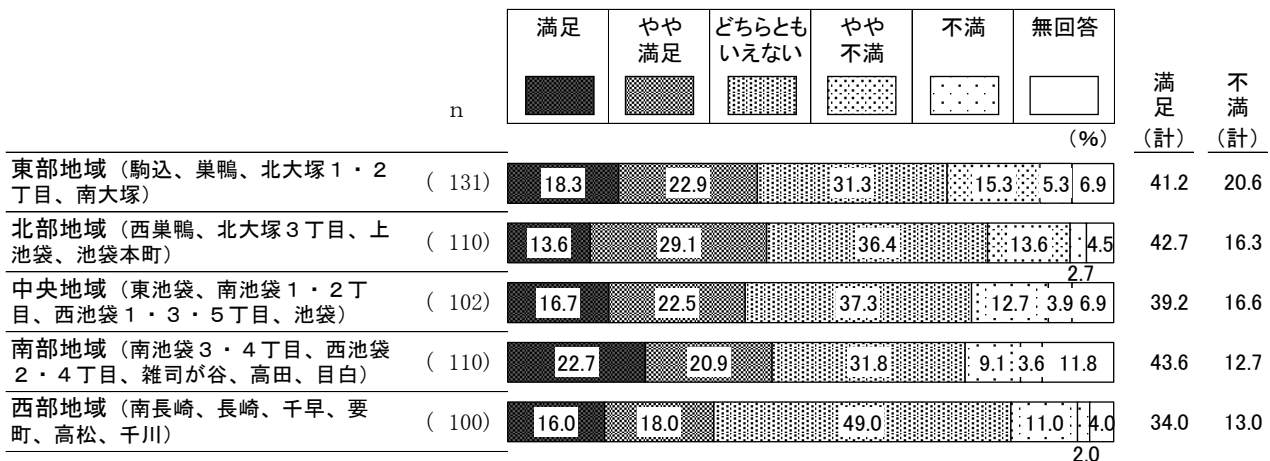
問10 豊島区立図書館の以下の点について、あなたはどの程度満足していますか。

①～⑫の各サービスについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。



豊島区立図書館のサービス等の満足度をたずねたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は⑦貸出冊数(15冊まで)(68.7%)、①開館している日数(休館日は月2回)(68.6%)が7近くと多く、次いで②開館している時間帯(65.9%)が6割台半ば、⑥貸出期間(15日間)(62.2%)、⑤貸出手続き(61.1%)が6割台前半となっている。一方、『不満』が高い順に⑨閲覧席(16.1%)③資料の数(9.5%)⑩館内の環境(7.7%)となっている。

《 ⑨閲覧席の満足度－居住地域別 》

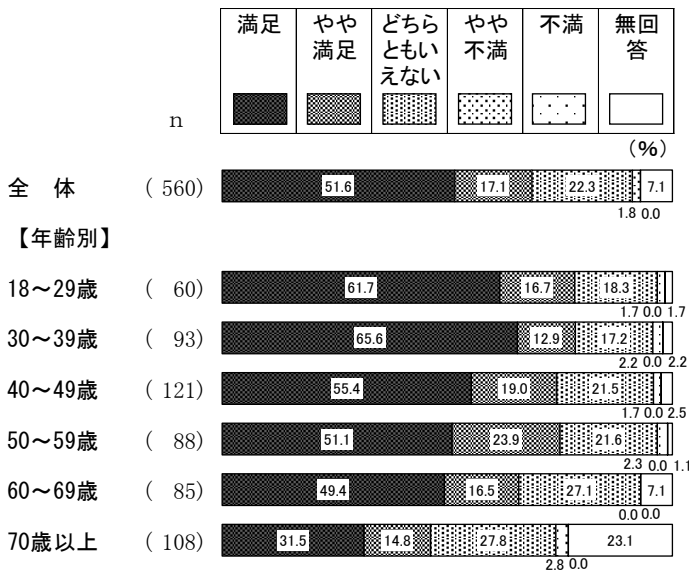


⑨閲覧席の満足度を居住地域別でみると、『満足』が最も多いのは南部地域(43.6%)、最も少ないのは西部地域(34.0%)となっている。

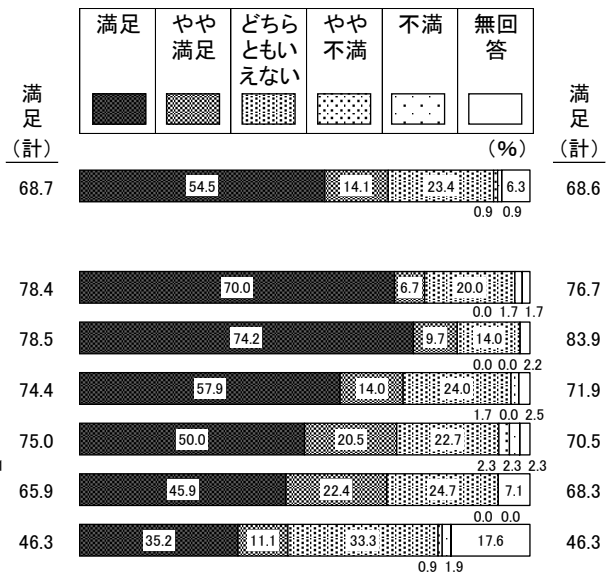
《 豊島区立図書館のサービス等の満足度一年齢別 》

※全体での満足（計）の割合の上位順に掲載

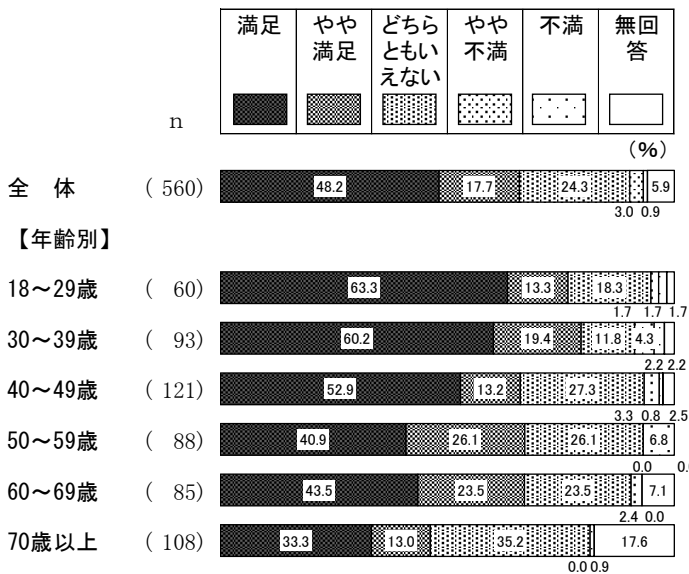
⑦ 図書の貸出冊数(15冊まで)



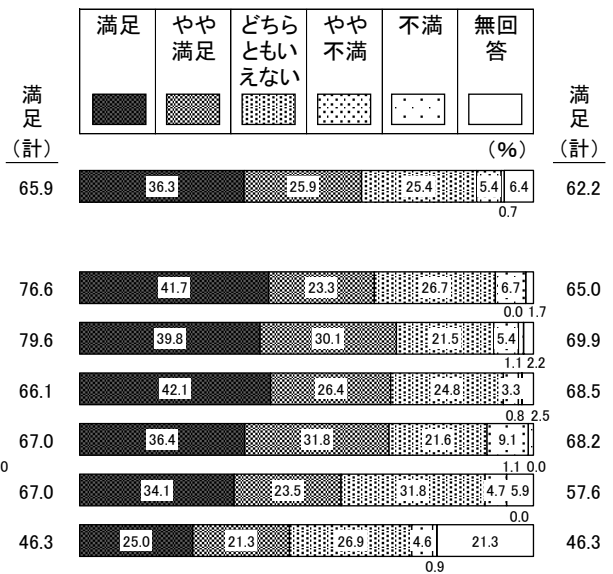
① 開館している日数(休館日は月2回)



② 開館している時間帯



⑥ 貸出期間(15日間)

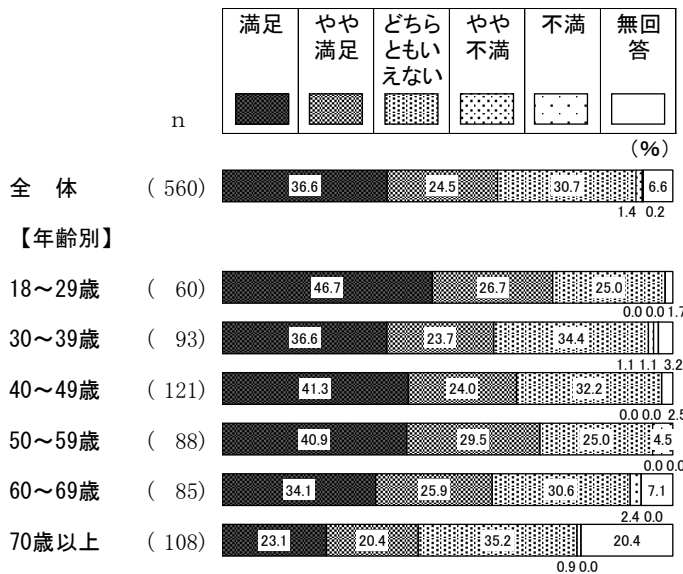


年齢別でみると、一部のサービス等を除き、概ね年齢が低いほど『満足』の割合が多い傾向となっている。

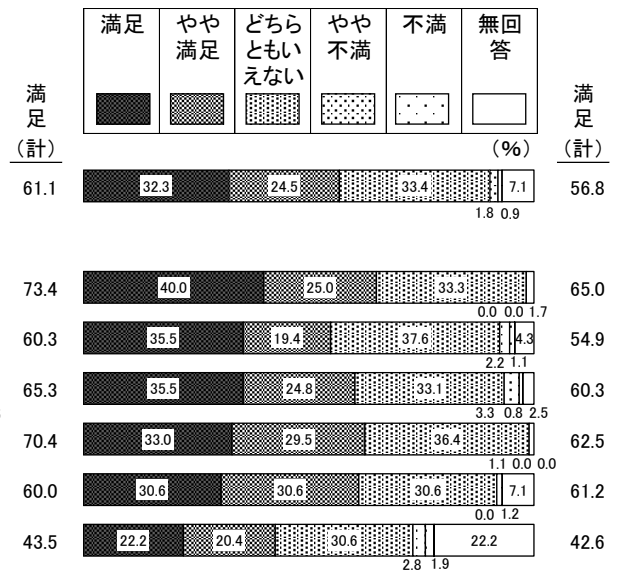
《 豊島区立図書館のサービス等の満足度一年齢別 》

※全体での満足（計）の割合の上位順に掲載

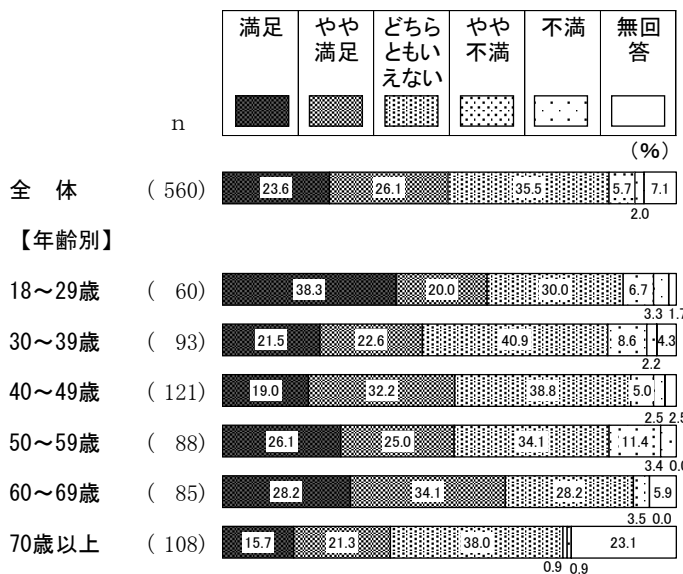
⑤貸出手続き



⑪職員の対応

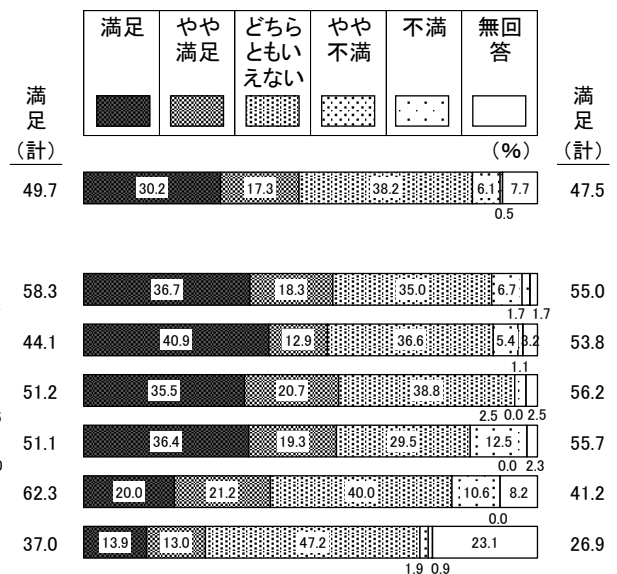


⑩館内の環境



⑧視聴覚資料の貸出点数

(CD3点まで・DVD2点まで)

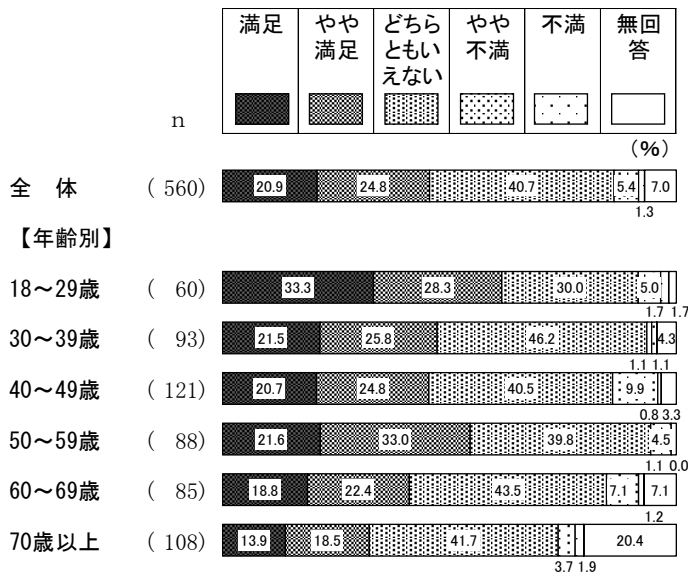


年齢別でみると、一部のサービス等を除き、概ね年齢が低いほど『満足』の割合が多い傾向となっている。

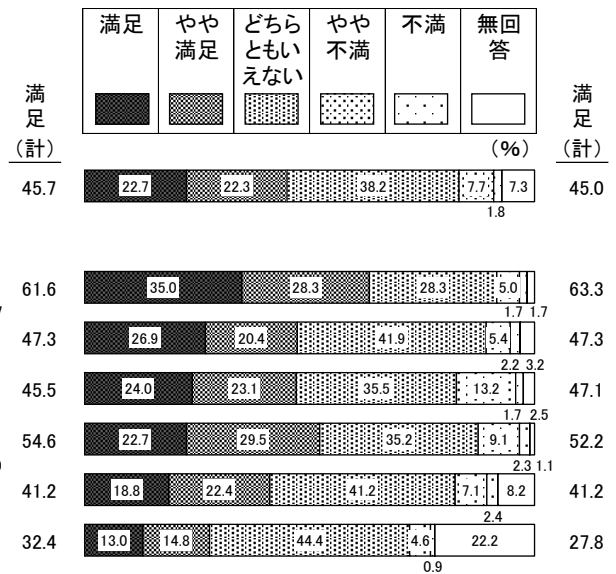
《 豊島区立図書館のサービス等の満足度一年齢別 》

※全体での満足（計）の割合の上位順に掲載

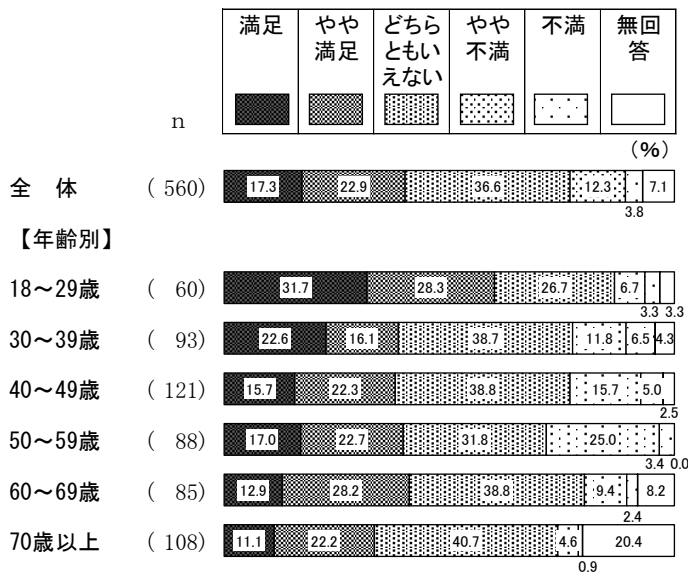
④資料の内容



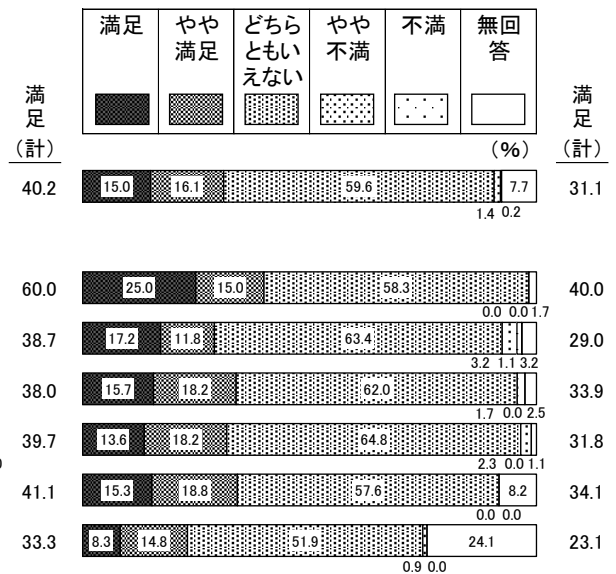
③資料の数



⑨閲覧席



⑫催し物・イベント

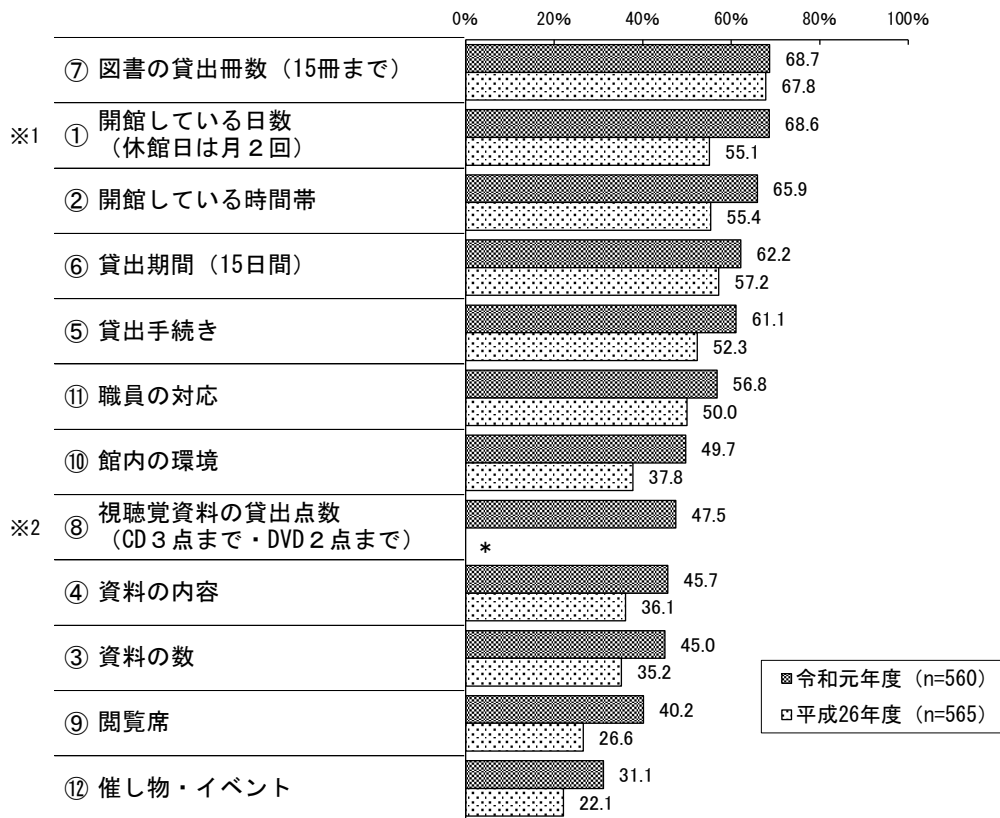


年齢別でみると、一部のサービス等を除き、概ね年齢が低いほど『満足』の割合が多い傾向となっている。

《 豊島区立図書館のサービス等の満足度一経年比較 》

※令和元年度の満足（計）の割合の上位順に掲載

【『満足』（満足＋やや満足）の割合】



※図中「*」:平成26年度は非聴取

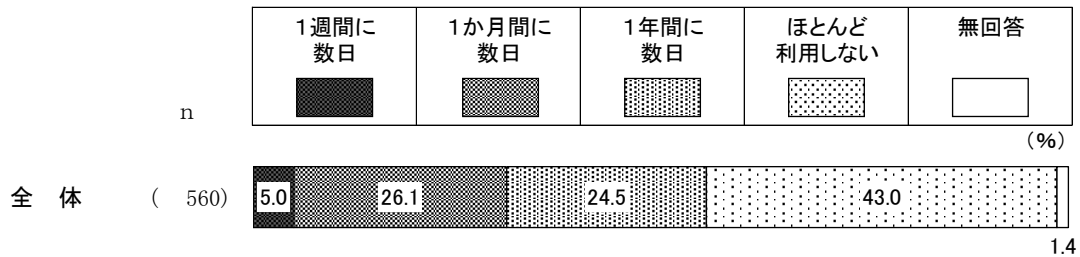
※1:平成26年度の項目は「開館している曜日」

※2:平成26年度の項目は「CDの貸出点数（3点まで）」と「ビデオ・DVDの貸出点数（2点まで）」を分けて聴取

前回調査（平成26年度）と比較すると、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合は全般に増加しており、⑨閲覧席が13.6ポイント、①開館している日数（休館日は月2回）（平成26年度は「開館している曜日」が13.5ポイント、⑩館内の環境が11.9ポイント、②開館している時間帯が10.5ポイント、③資料の数が9.8ポイント、④資料の内容が9.6ポイント増加している。

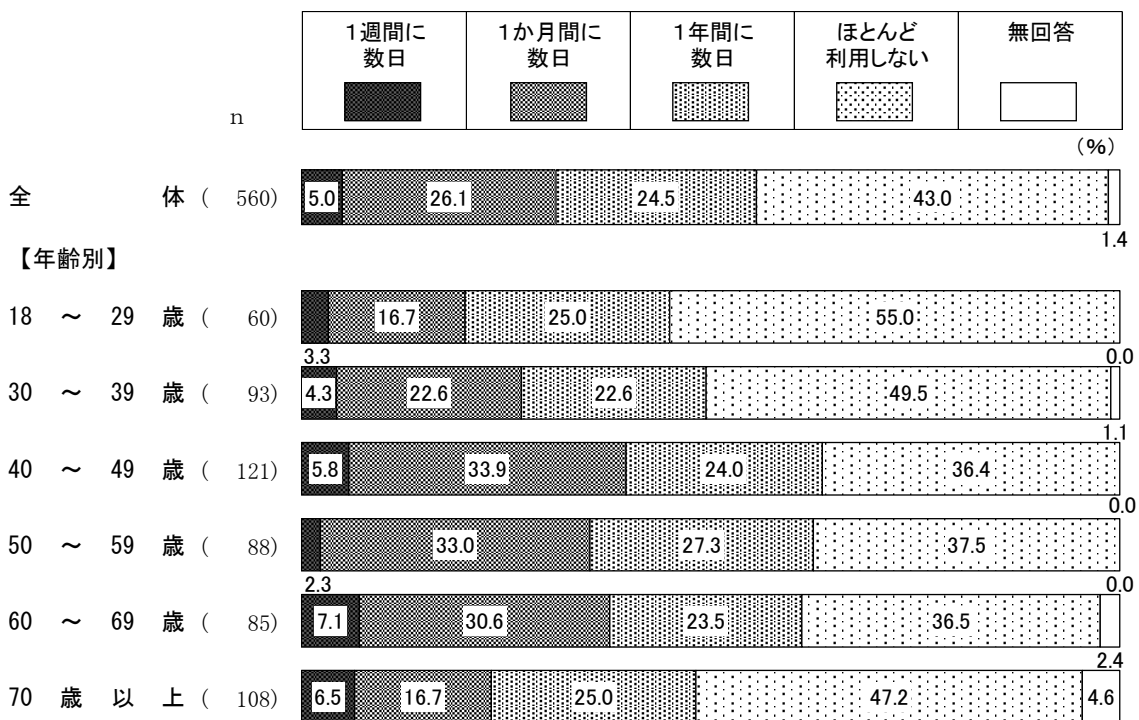
(5) 豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度

問11 あなたは過去1年間に、どのくらいの頻度で豊島区立図書館を利用しましたか。
(あてはまる番号1つに○)



豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度をたずねたところ、「1週間に数日」(5.0%)が1割を下回り、「1か月間に数日」(26.1%)、「1年間に数日」(24.5%)が2割台半ば、「ほとんど利用しない」(43.0%)が4割を超えている。

《 豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度一年齢別 》

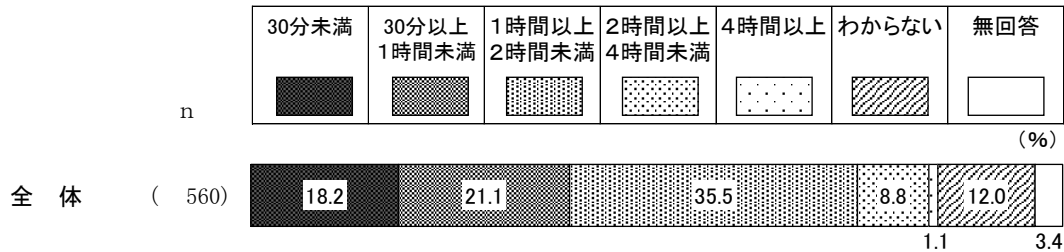


年齢別でみると、「1週間に数日」はいずれの年齢も1割を下回っている。「1か月に数日」は40～49歳、50～59歳、60～69歳で3割を超えている。「1年間に数日」はいずれの年齢も2割台となっている。「ほとんど利用しない」は18～29歳で5割台半ば、30～39歳で約5割、70歳以上で5割近くとなっている。

(6) 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間

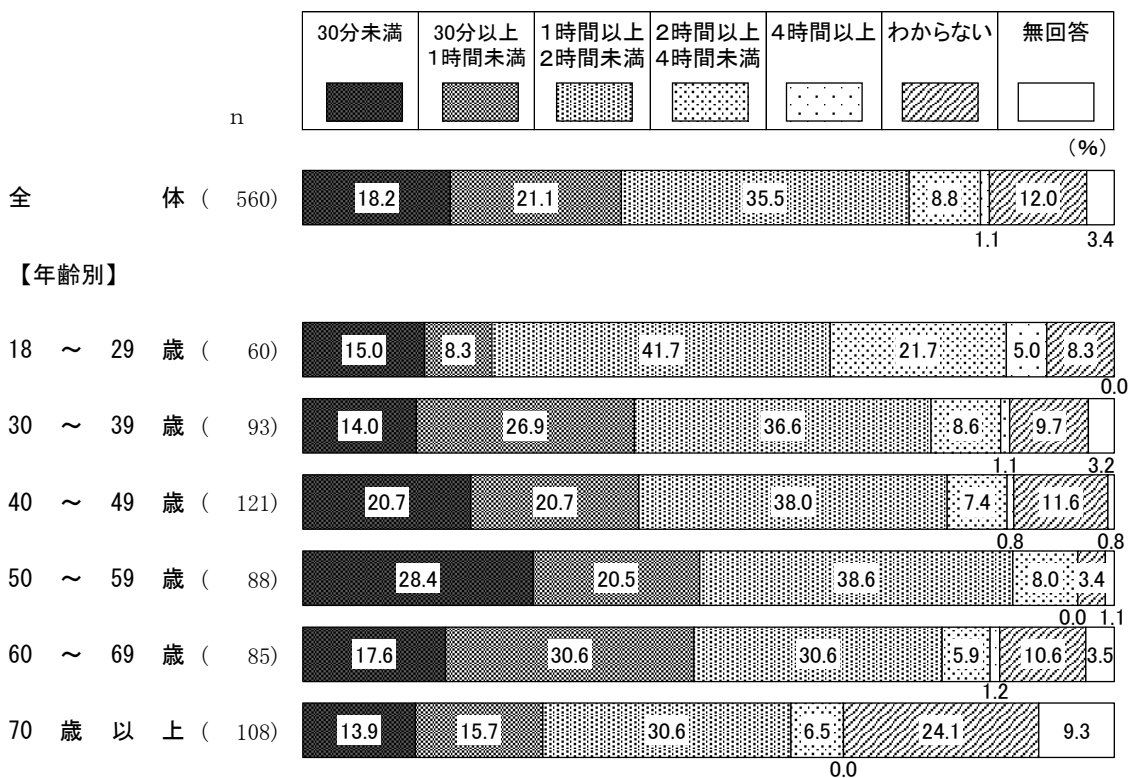
問12 豊島区立図書館を利用する、または利用するとしたら、1回あたりの利用時間はおよそどのくらいですか。

(あてはまる番号1つに○)



豊島区立図書館の1回あたりの利用時間をたずねたところ、「1時間以上2時間未満」(35.5%)が3割台半ばと最も多く、「30分以上1時間未満」(21.1%)が約2割、「30分未満」(18.2%)が2割近くとなっている。

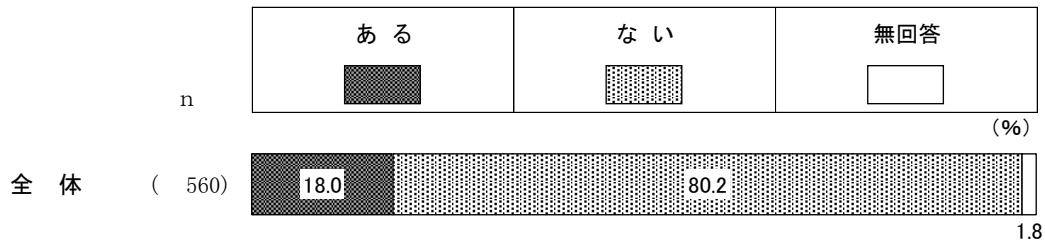
《 豊島区立図書館の1回あたりの利用時間一年齢別 》



年齢別でみると、「30分未満」は50～59歳で3割近くとなっている。「30分以上1時間未満」は60～69歳で約3割となっている。「1時間以上2時間未満」は18～29歳で約4割、「2時間以上4時間未満」は18～29歳で約2割となっている。

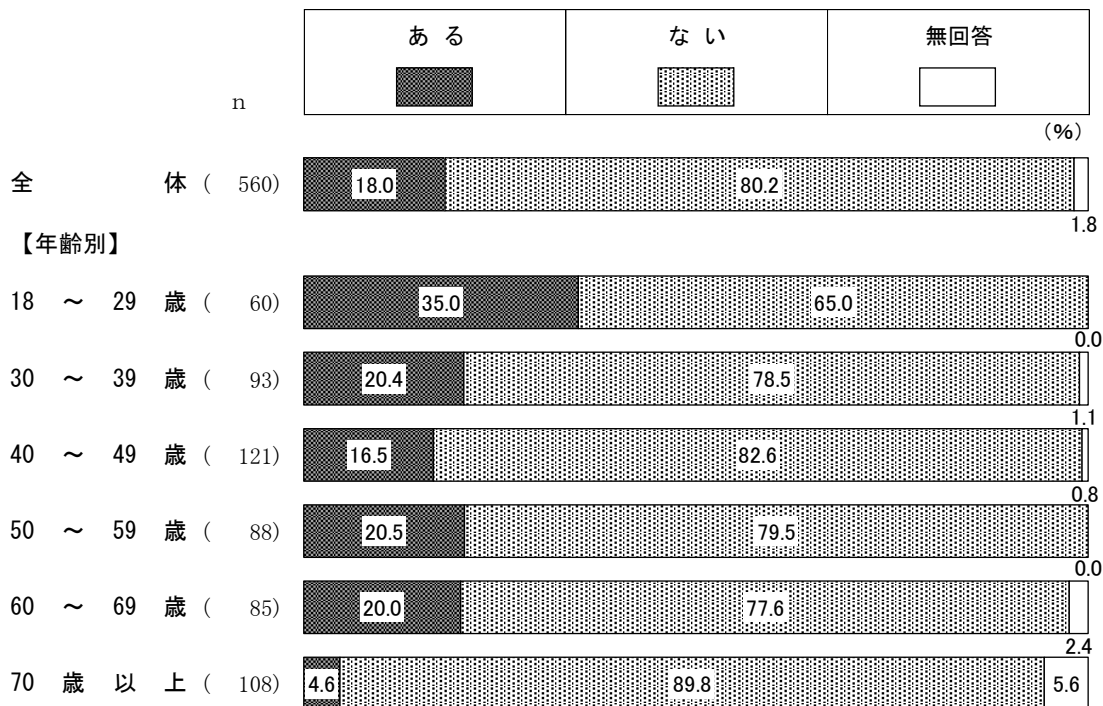
(7) 豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験

問13 あなたは、平日の夜間（19時～22時）に、豊島区立図書館を利用したことがありますか。
（あてはまる番号1つに○）



豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験をたずねたところ、「ある」（18.0%）が2割近く、「ない」（80.2%）が約8割となっている。

《 豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験—年齢別／図書館の利用頻度別 —》

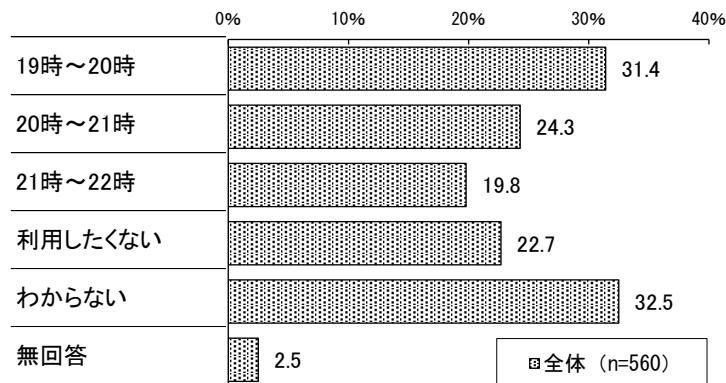


年齢別でみると、「ある」は18～29歳で3割台半ばとなっている。

図書館の利用頻度別でみると、利用頻度が高いほど夜間に利用している傾向となっており、1か月に数日以上の利用者で「ある」が3割台半ばとなっている。

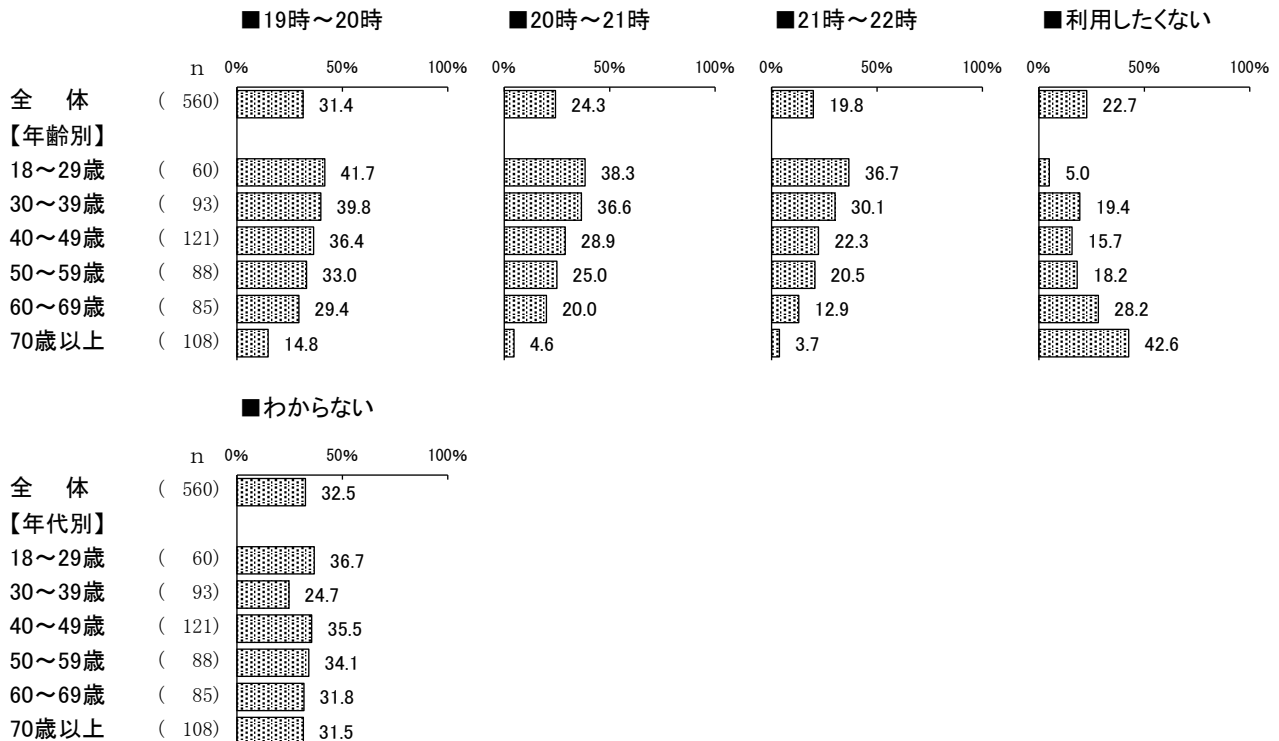
(8) 豊島区立図書館を平日の夜間(19時～22時)に利用したい時間帯

問14 あなたは今後(今後も)、平日の夜間(19時～22時)に豊島区立図書館を利用したいと思いますか。利用したいと思う夜間の時間帯をお選びください。
(あてはまる番号すべてに○)



豊島区立図書館を平日の夜間(19時～22時)に利用したい時間帯をたずねたところ、「19時～20時」(31.4%)が約3割、「20時～21時」(24.3%)が2割台半ば、「21時～22時」(19.8%)が約2割となっている。一方、「利用したくない」(22.7%)は2割台前半となっている。

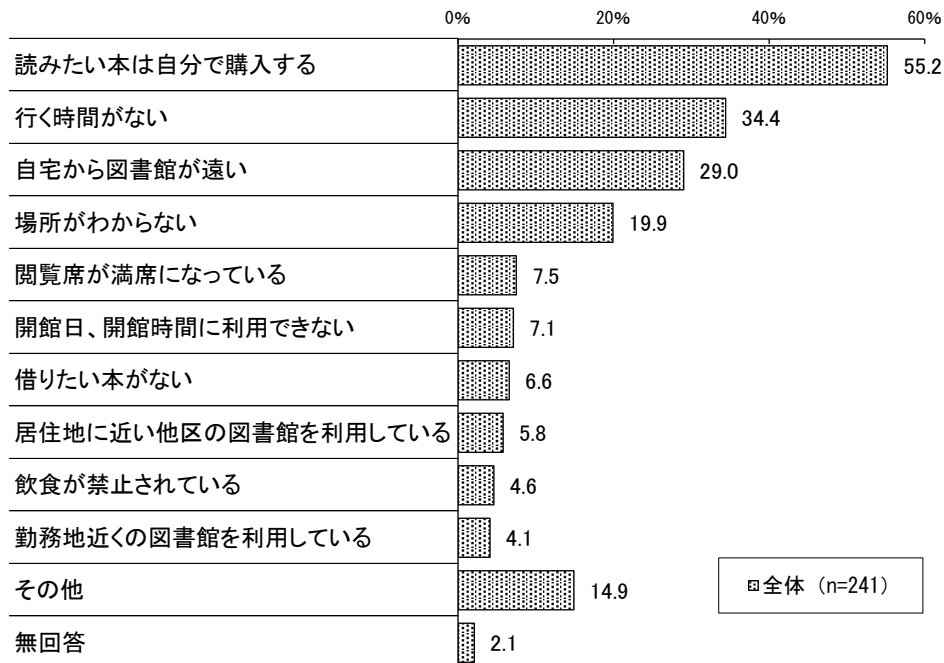
《 豊島区立図書館を平日の夜間(19時～22時)に利用したい時間帯一年齢別 》



年齢別でみると、いずれの時間帯も年齢が低いほど多くなっており、「19時～20時」は18～29歳、30～39歳で4割前後、「20時～21時」は18～29歳で4割近く、30～39歳で3割台半ば、「21時～22時」は18～29歳で3割台半ば、30～39歳で約3割となっている。

(9) 豊島区立図書館をこの1年間に利用していない理由

【問11で「4. ほとんど利用しない」と回答した方におたずねします】

問15 あなたが豊島区立図書館をこの1年間に利用していないのはなぜですか。
(あてはまる番号すべてに○)

豊島区立図書館を1年間にほとんど利用しないと回答した方に利用していない理由をたずねたところ、「読みたい本は自分で購入する」(55.2%)が5割台半ばと最も多く、次いで「行く時間がない」(34.4%)、「自宅から図書館が遠い」(29.0%)、「場所がわからない」(19.9%)の順となっている。

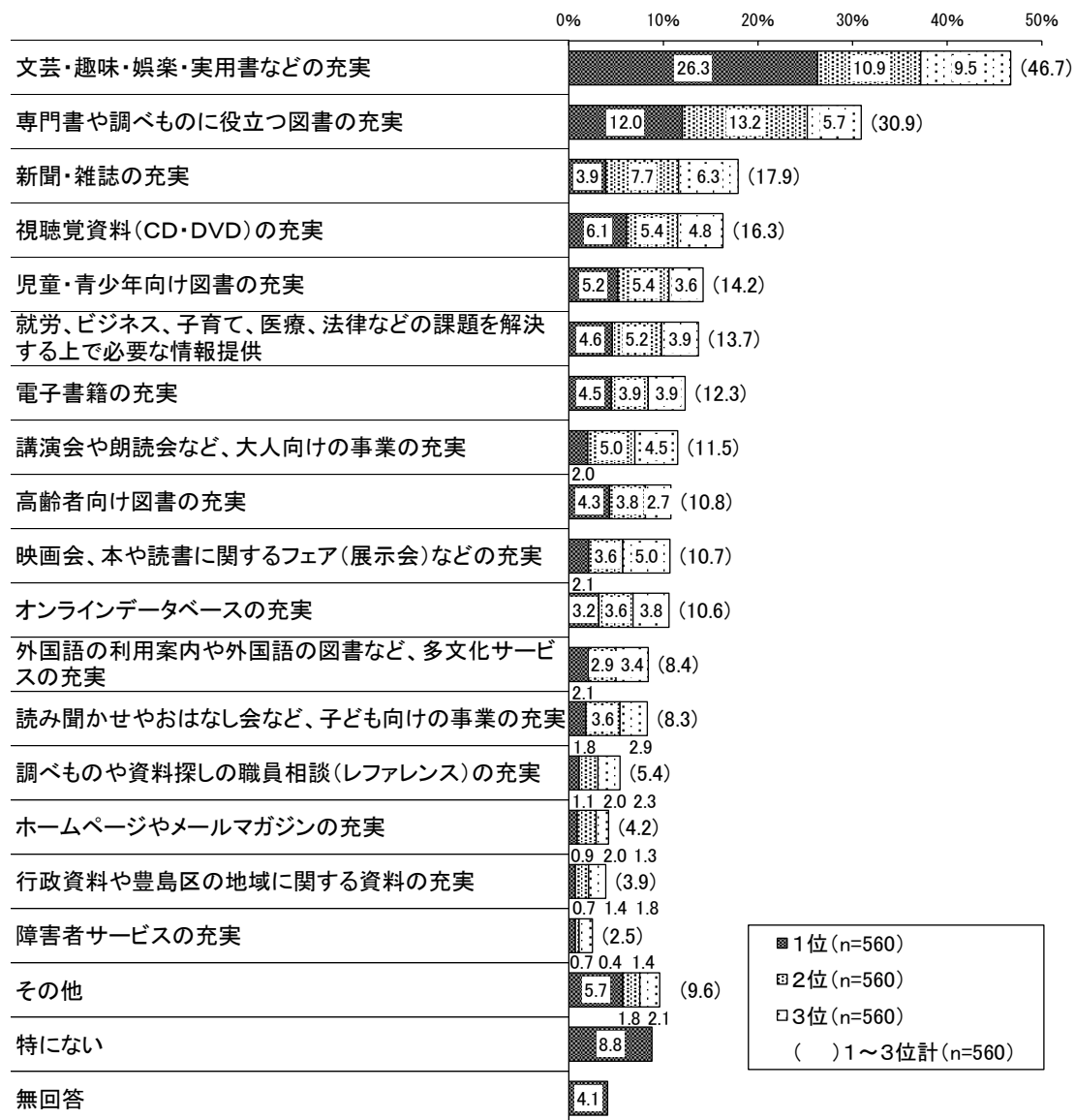
《 「自宅から図書館が遠い」回答の割合－居住地域別 》



「自宅から図書館が遠い」回答の割合を居住地域別でみると、西部地域(38.3%)が4割近くと他の地域より多くなっている。

(10) 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス

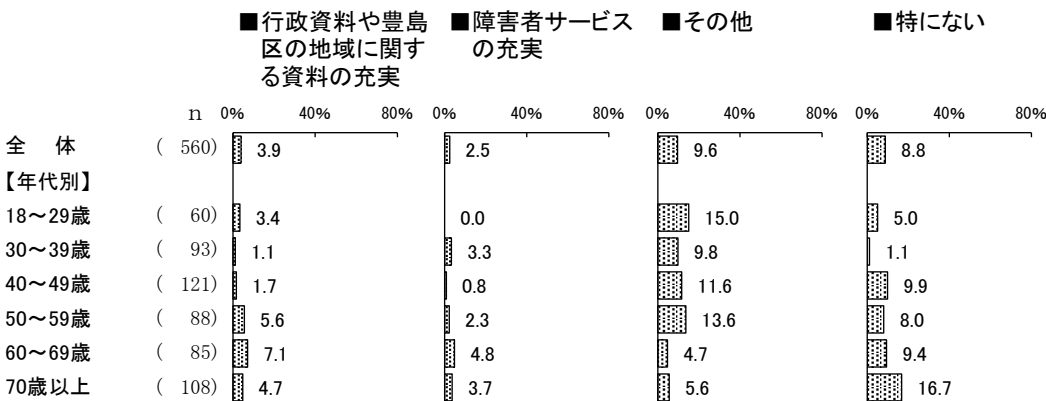
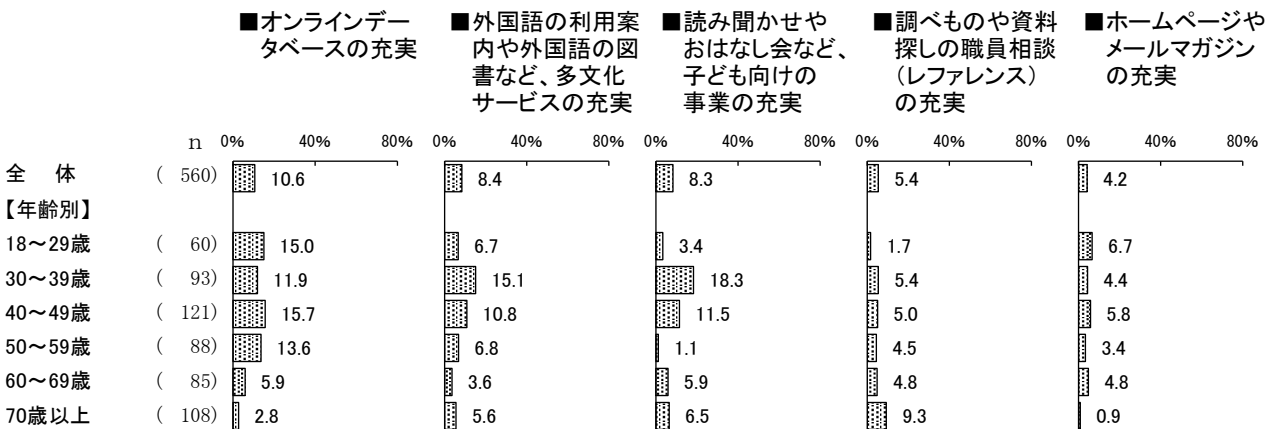
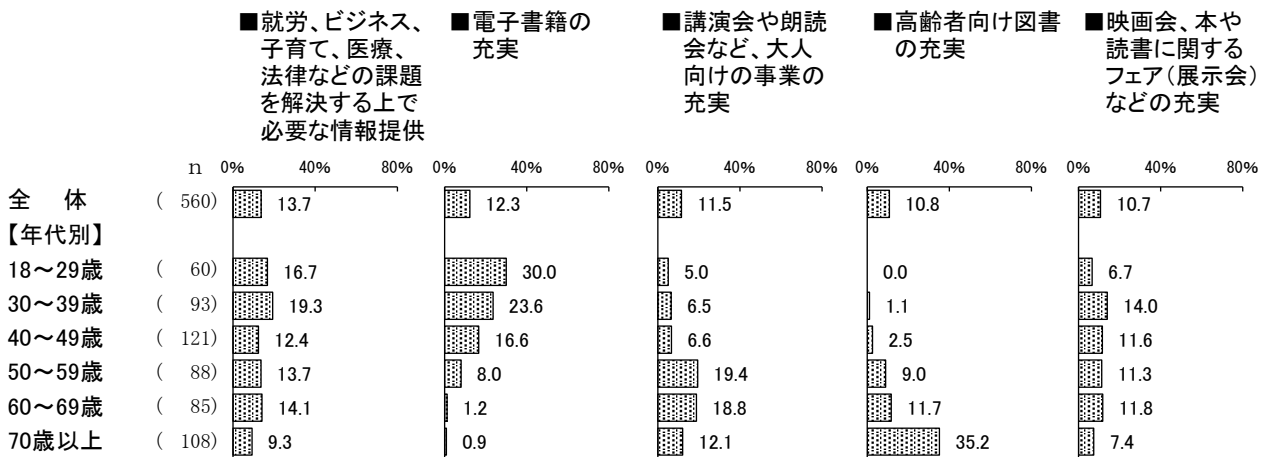
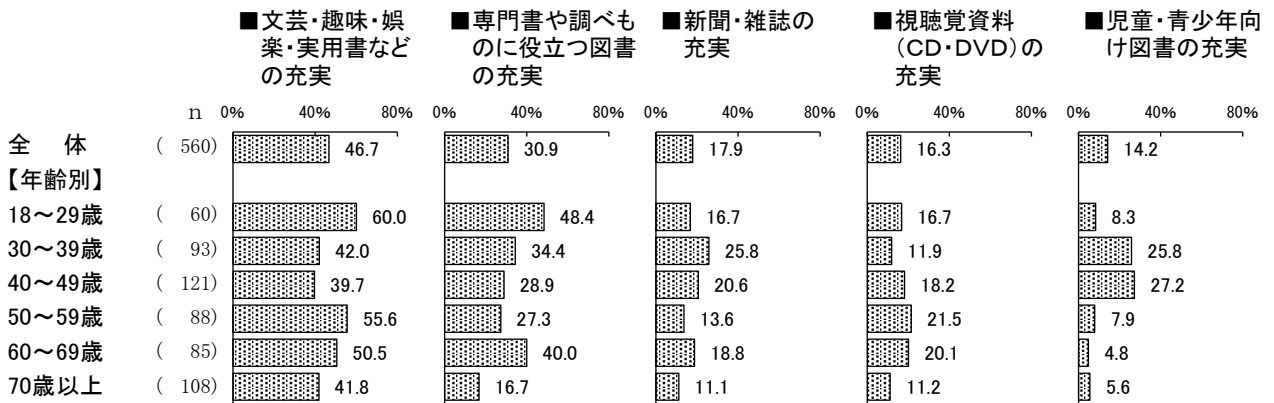
問17 今後、豊島区立図書館で取り組んでほしいサービスは何ですか。
次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。



- 「その他」の主な内容
- ・ 予約方法や制限の改善/図書館の連携(区内・区外含め)
 - ・ 蔵書数の充実
 - ・ おすすめコーナー、人気の本、新刊・話題の本などの充実
 - ・ インターネットでの手続きの充実(本の貸し出し、予約、リクエスト、イベント参加など)
 - ・ 閲覧スペースの充実
 - ・ 開館時間の充実(平日以外、)
 - ・ 図書館ごとのサービスの差をなくす
 - ・ 館内環境の充実(雰囲気、空気清浄、インテリアなど)
 - ・ 設備の充実(飲食可の休憩スペース、カフェ併設、書店併設など) など

豊島区立図書館に取り組んでほしいサービスをたずねたところ、1位は「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」(26.3%)が2割台半ばと最も多く、次いで「専門書や調べものに役立つ図書の充実」(12.0%)、「視聴覚資料(CD・DVD)の充実」(6.1%)の順となっている。1位～3位計は「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」(46.7%)が4割台半ばと最も多く、次いで「専門書や調べものに役立つ図書の充実」(30.9%)、「新聞・雑誌の充実」(17.9%)、「視聴覚資料(CD・DVD)の充実」(16.3%)の順となっている。

《 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス－年齢別 》

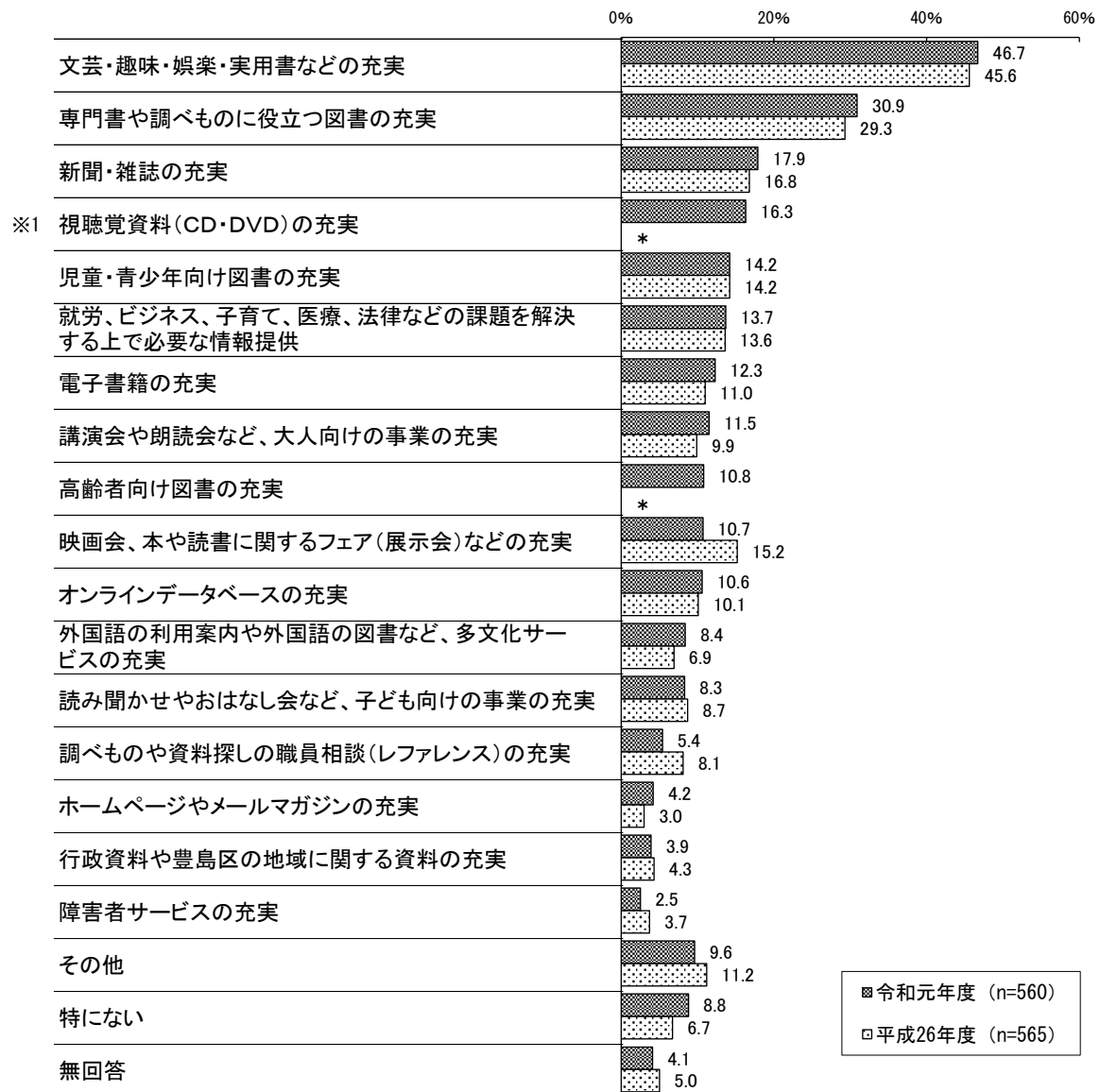


年齢別でみると、「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」は18～29歳で6割、50～59歳で5割台半ば、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」は18～29歳で5割近く、60～69歳で4割となっている。「児童・青少年向け図書の充実」は30～39歳、40～49歳で2割台後半となっている。「電子書籍の充実」は年齢が低いほど多く、18～29歳で3割となっている。「高齢者向け図書の充実」は年齢が高いほど多く、70歳以上で3割台半ばとなっている。

図書館の利用頻度別でみると、「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」、「視聴覚資料（CD・DVD）の充実」、「児童・青少年向け図書の充実」などは図書館の利用頻度が高いほど多い傾向となっている。一方、「電子書籍の充実」は図書館の利用頻度が低いほど多い傾向となっている。

《 豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス－経年比較 》

【 1 ～ 3 位計 】



※図中「*」: 平成26年度は非聴取

※1: 平成26年度の項目は「CDの充実」と「DVDの充実」を分けて聴取

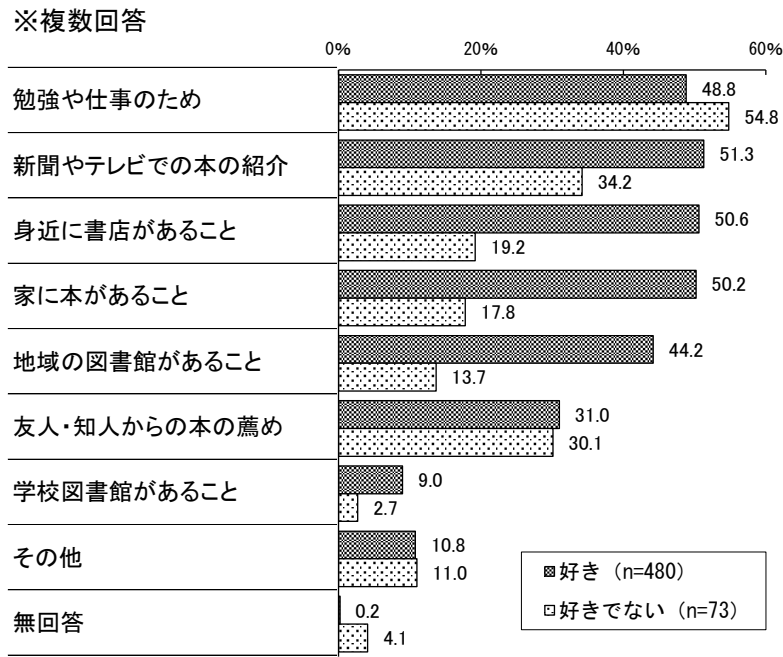
前回調査（平成26年度）と比較すると、1～3位計に大きな変化はみられない。

3 相関関係（クロス集計）

（１）読書の嗜好別

※「好き」＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計、「好きでない」＝「どちらかといえば好きでない」＋「好きでない」の計

問２：本を読むきっかけ

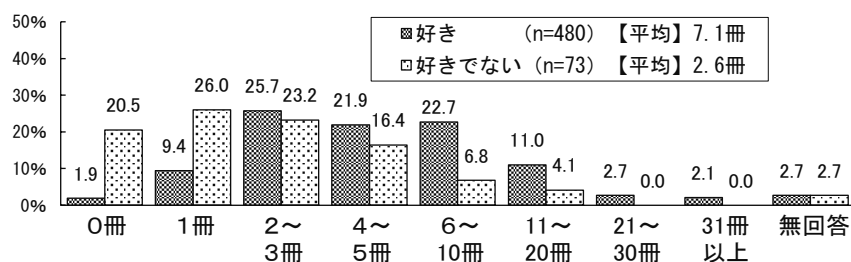


本を読むきっかけを読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は嫌いと回答した人より「身近に書店があること」、「家に本があること」、「地域の図書館があること」などが多くなっており、「勉強や仕事のため」、「友人・知人からの本の薦め」は読書の嗜好による差はあまりみられない。

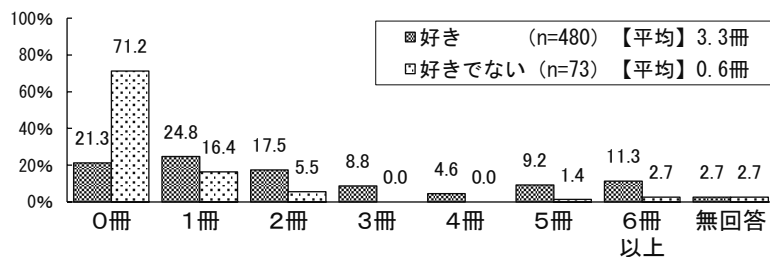
問3：1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】

【紙の本】

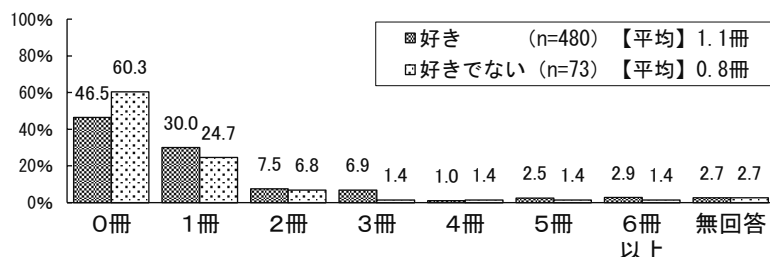
<合計>



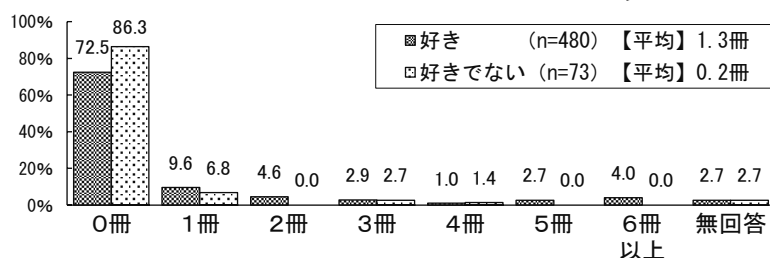
①書籍・絵本



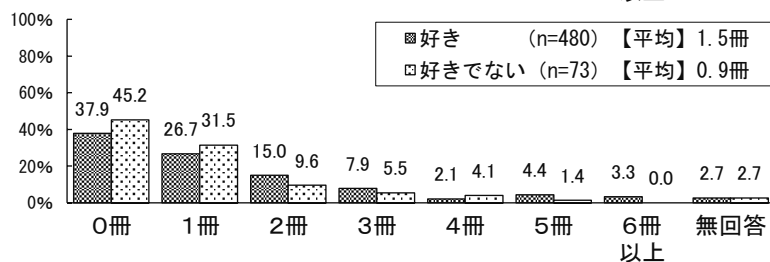
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



④雑誌

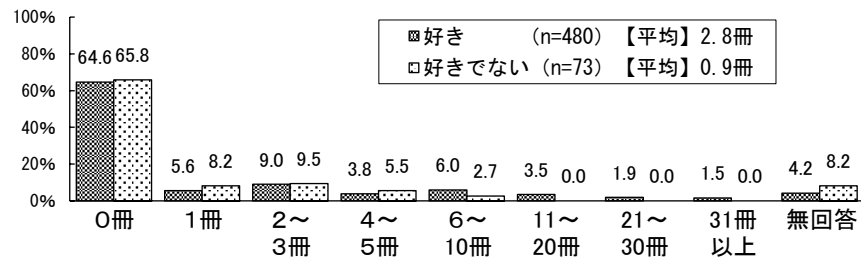


紙の本の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、合計は読書が好きと回答した人（7.1冊）は好きでないと回答した人（2.6冊）より4.5冊多くなっている。①書籍・絵本は読書が好きと回答した人（3.3冊）は好きでないと回答した人（0.6冊）より2.7冊多くなっている。また、合計「0冊」（不読率）を嗜好別でみると、好き1.9%に対し、好きでないは20.5%となっている。

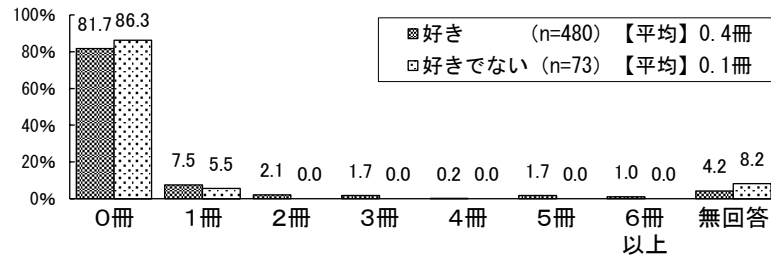
問3：1ヵ月間平均読書冊数【電子書籍】

【電子書籍】

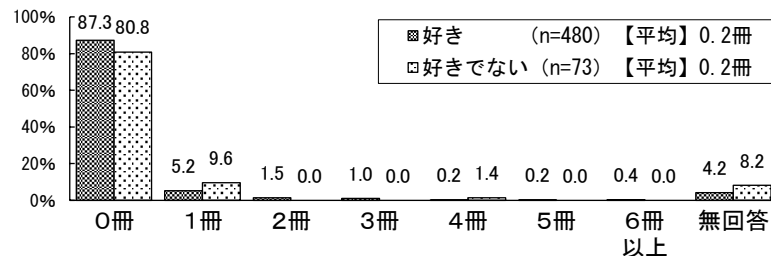
<合計>



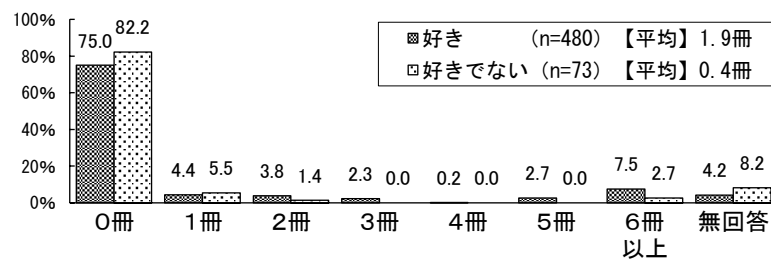
①書籍・絵本



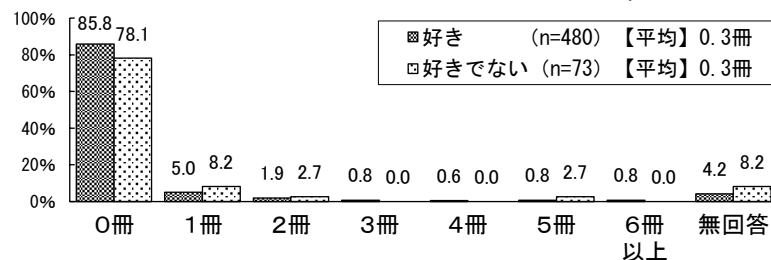
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



④雑誌

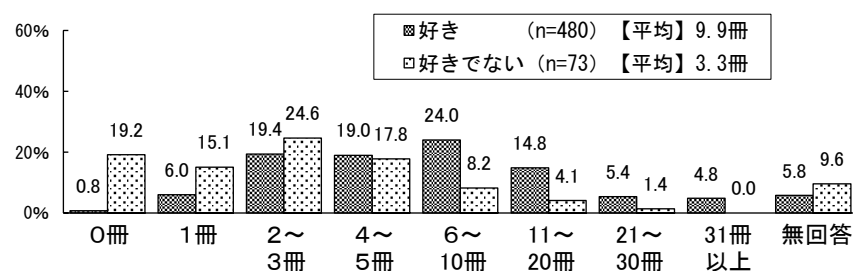


電子書籍の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、合計は読書が好きと回答した人(2.8冊)は好きでないと回答した人(0.9冊)より1.9冊多くなっている。①書籍・絵本は読書が好きと回答した人(0.4冊)は好きでないと回答した人(0.1冊)より0.3冊多く、③マンガ・コミックは読書が好きと回答した人(1.9冊)は好きでないと回答した人(0.4冊)より1.5冊多くなっている。

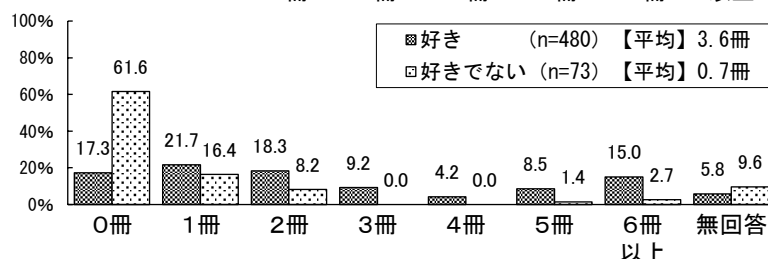
問3：1ヵ月間平均読書冊数【紙の本】＋【電子書籍】計

【紙の本】＋【電子書籍】計

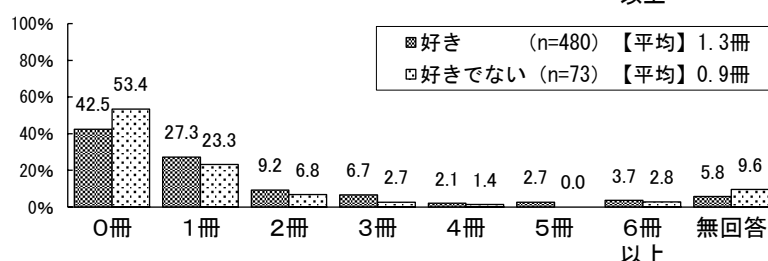
<合計>



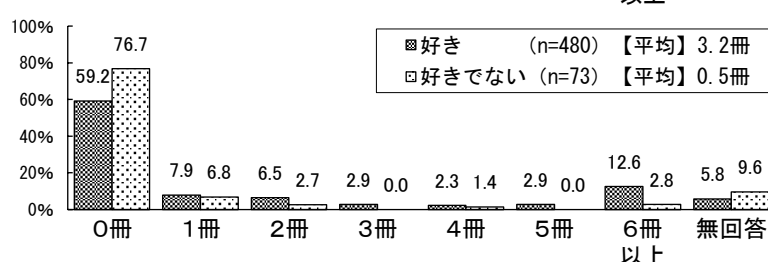
①書籍・絵本



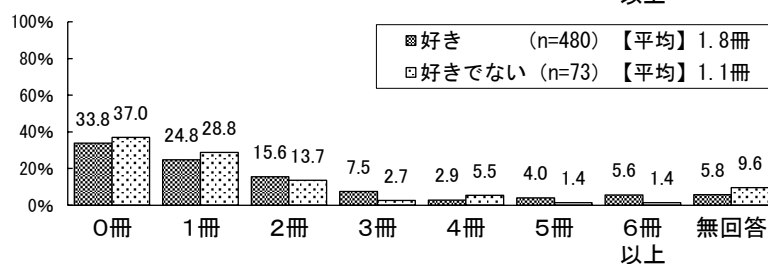
②実用書・参考書



③マンガ・コミック



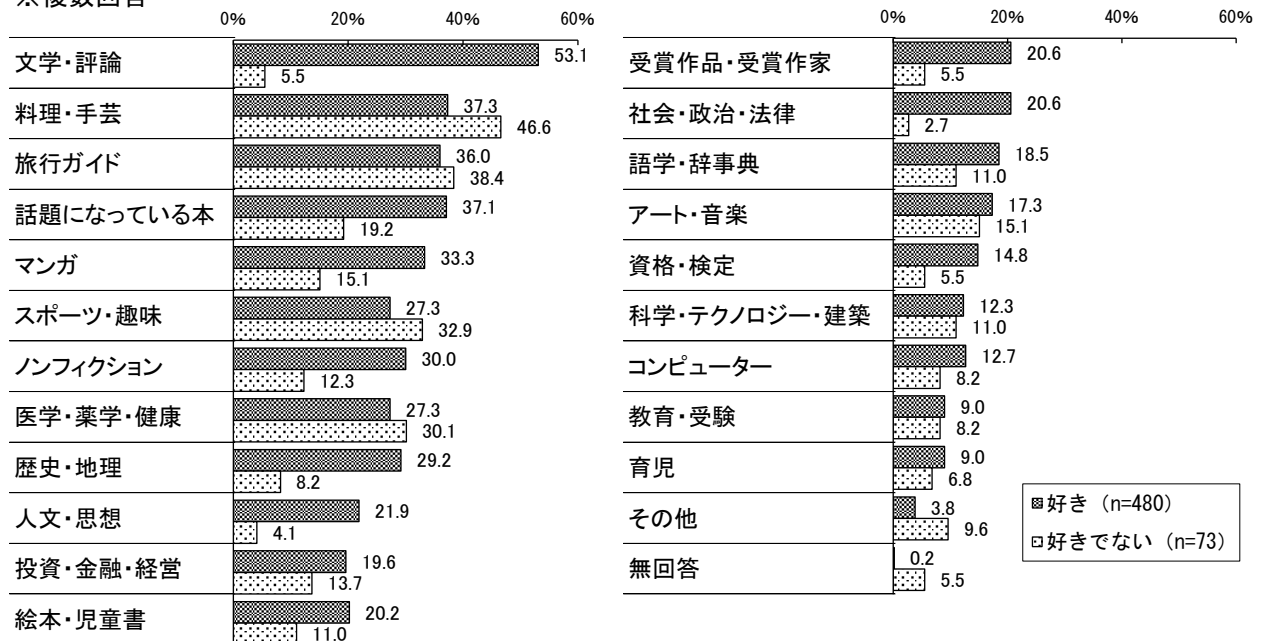
④雑誌



紙の本と電子書籍計の1ヵ月間平均読書冊数を読書の嗜好別でみると、合計は読書が好きと回答した人（9.9冊）は好きでないと回答した人（3.3冊）より6.6冊多くなっている。①書籍・絵本は読書が好きと回答した人（3.6冊）は好きでないと回答した人（0.7冊）より2.9冊多く、③マンガ・コミックは読書が好きと回答した人（3.2冊）は好きでないと回答した人（0.5冊）より2.7冊多くなっている。

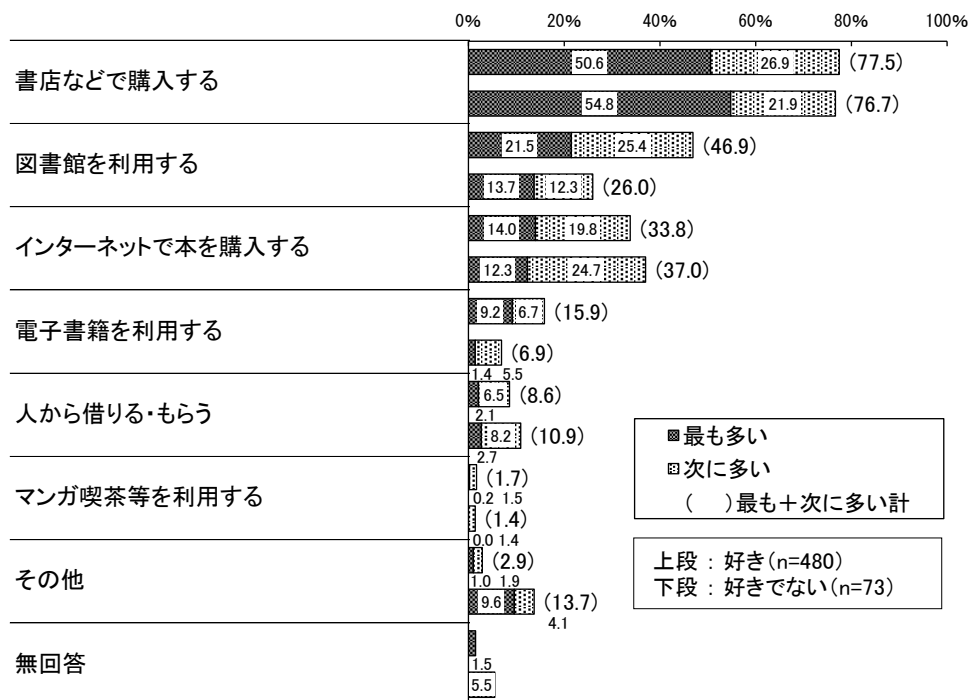
問4：普段読む本のジャンル

※複数回答



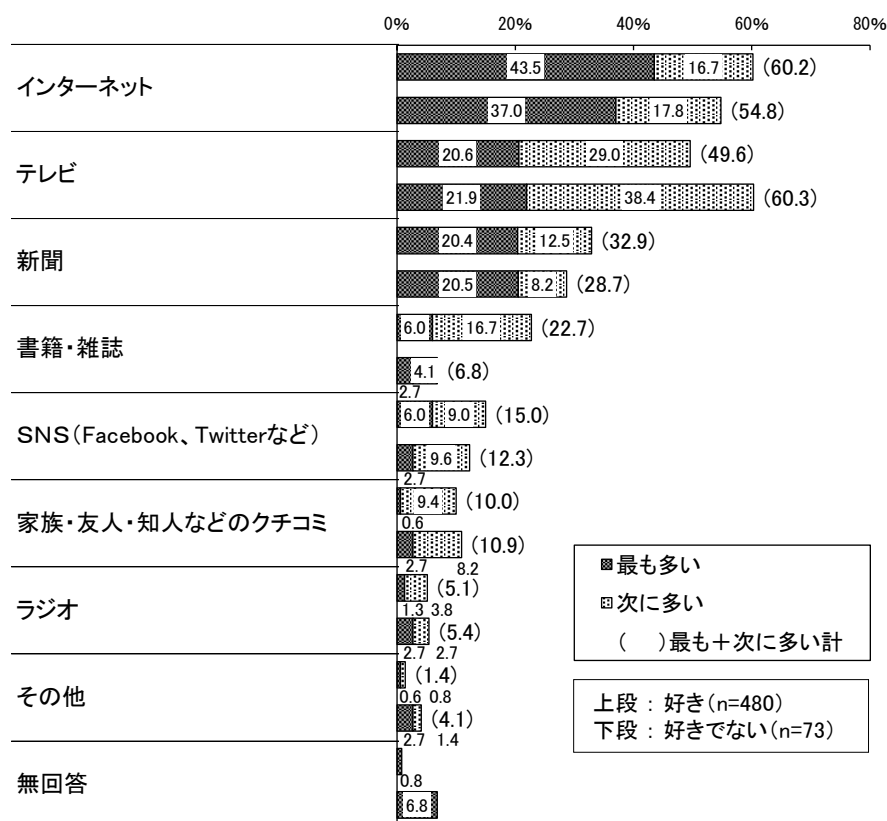
普段読む本のジャンルを読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より「文学・評論」、「歴史・地理」、「マンガ」、「話題になっている本」、「社会・政治・法律」、「人文・思想」、「ノンフィクション」、「受賞作品・受賞作家」などが多くなっている。一方、読書が好きでないと回答した人は好きと回答した人より「料理・手芸」、「旅行ガイド」、「スポーツ・趣味」、「医学・薬学・健康」などが多くなっている。

問5：読みたい本の入手方法



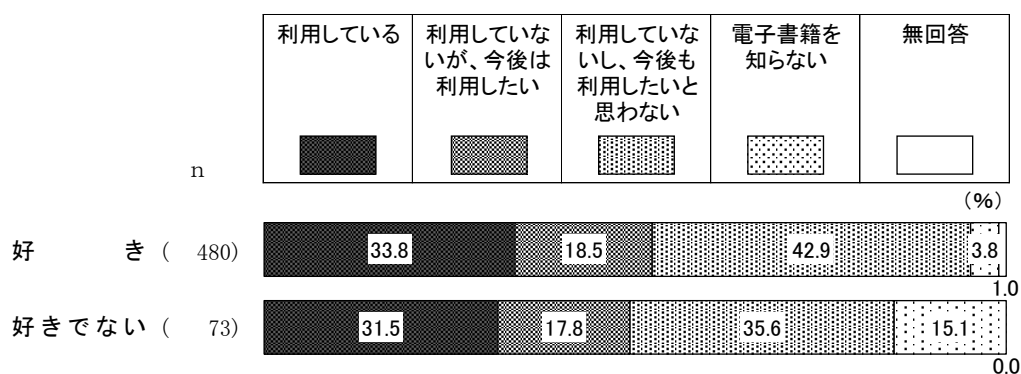
読みたい本の入手方法を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より「図書館を利用する」、「電子書籍を利用する」などが多くなっている。一方、「書店などで購入する」、「インターネットで本を購入する」、「人から借りる・もらう」は読書の嗜好による差はあまりみられない。

問6：知識や情報の入手媒体



知識や情報の入手媒体を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より「書籍・雑誌」が多くなっている。一方、読書が好きでないと回答した人は好きと回答した人より「テレビ」が多くなっている。

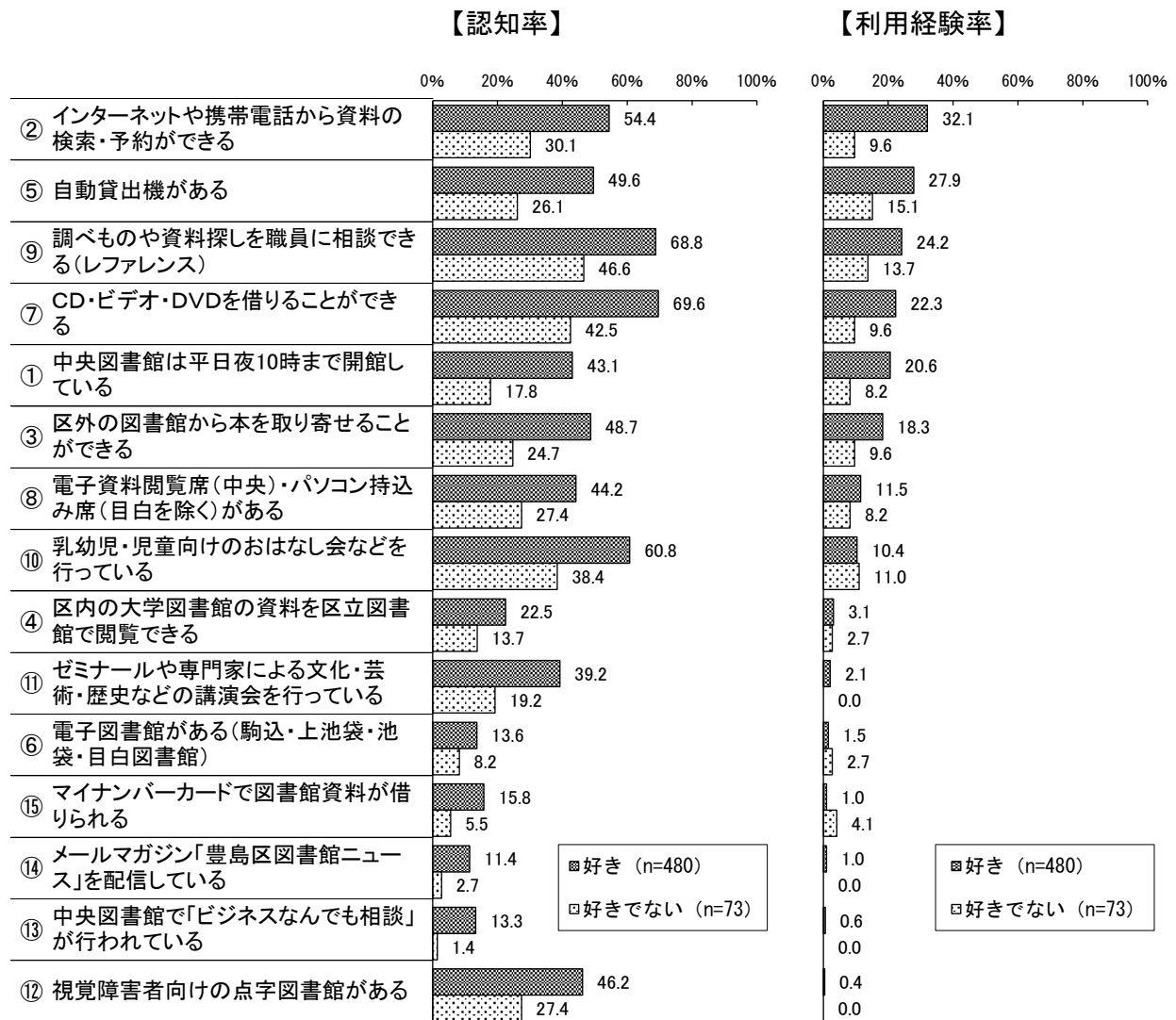
問7：『電子書籍』の利用状況



『電子書籍』の利用状況を読書の嗜好別でみると、「利用している」、「利用していないが、今後は利用したい」は読書の嗜好による差はあまりみられない。読書が好きでないと回答した人は「電子書籍を知らない」が1割台半ばとなっている。

問8：豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験

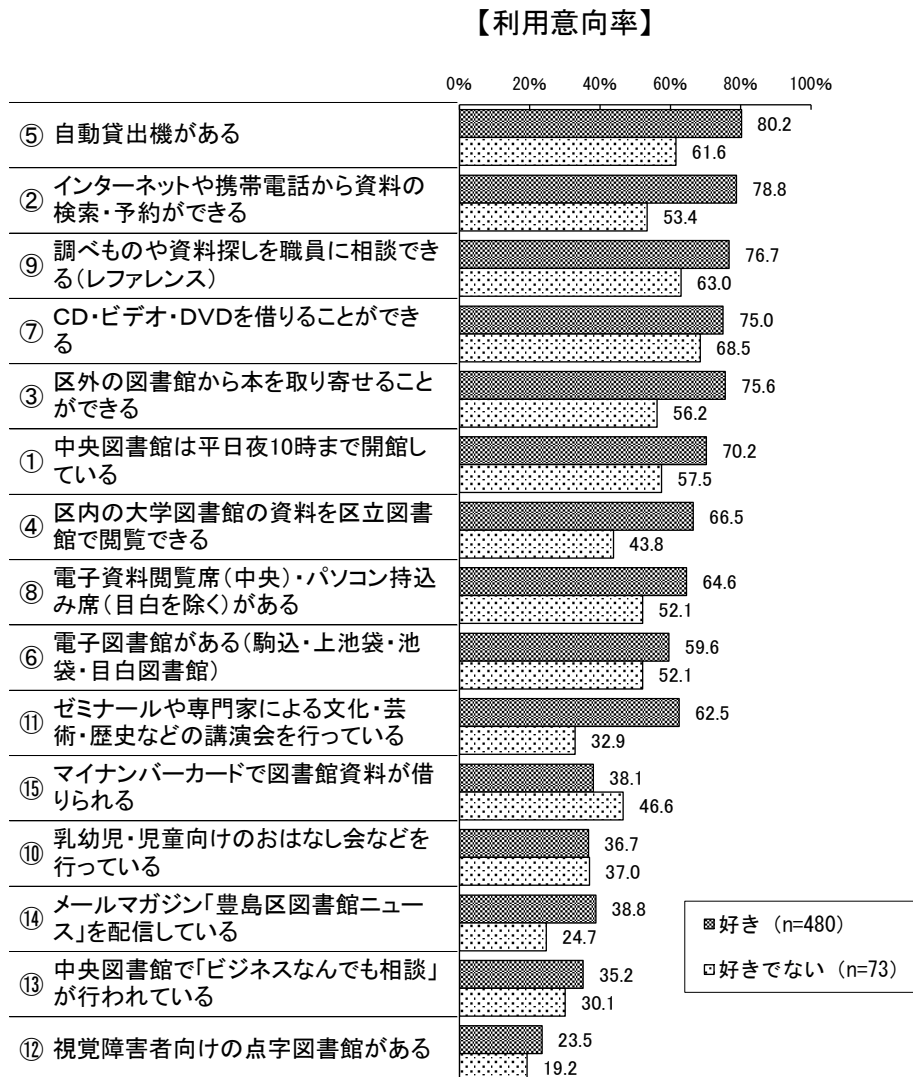
※全体での利用経験率の上位順に掲載



豊島区立図書館のサービスの認知・利用経験を読書の嗜好別でみると、認知率、利用経験率ともに読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より全般に回答の割合が多くなっている。

問9：豊島区立図書館のサービス利用意向

※全体での利用意向率の上位順に掲載

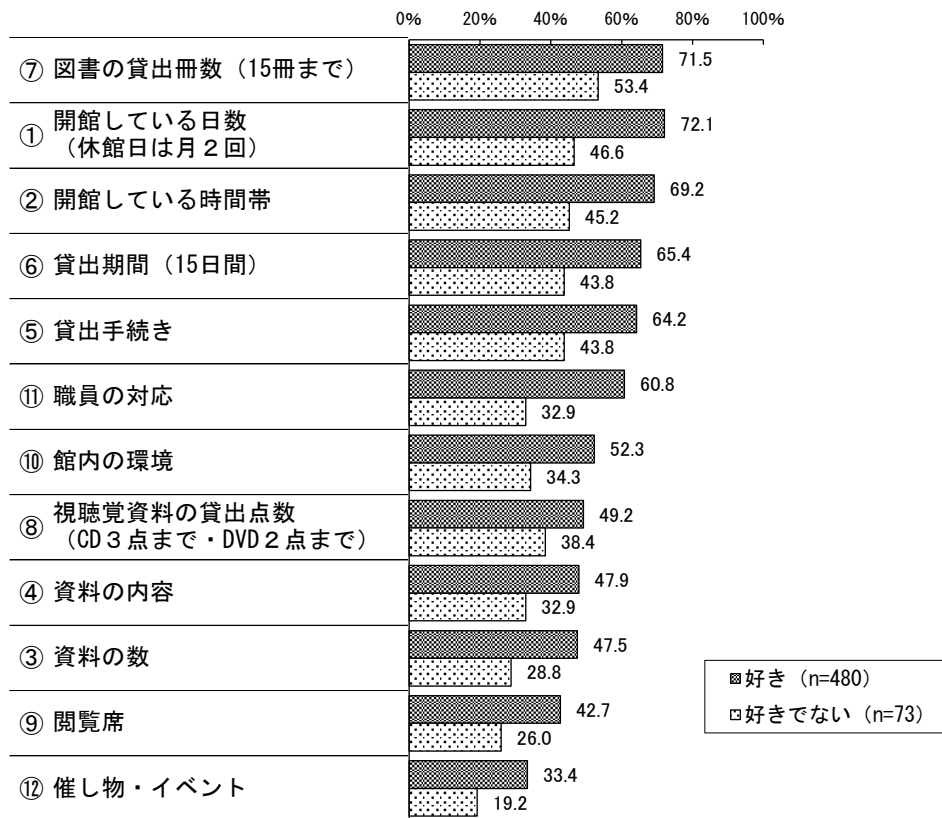


豊島区立図書館のサービス利用意向を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より全般に回答の割合が多く、②インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる、④区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる、⑪ゼミナールや専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っているなどで差が大きくなっている。一方、読書が好きでないと回答した人は好きと回答した人より⑮マイナンバーカードで図書館資料が借りられるが多くなっている。また、⑦CD・ビデオ・DVDを借りることができる、⑥電子図書館がある（駒込・上池袋・池袋・目白図書館）、⑩乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っているは読書の嗜好による差はあまりみられない。

問10：豊島区立図書館のサービス等の満足度

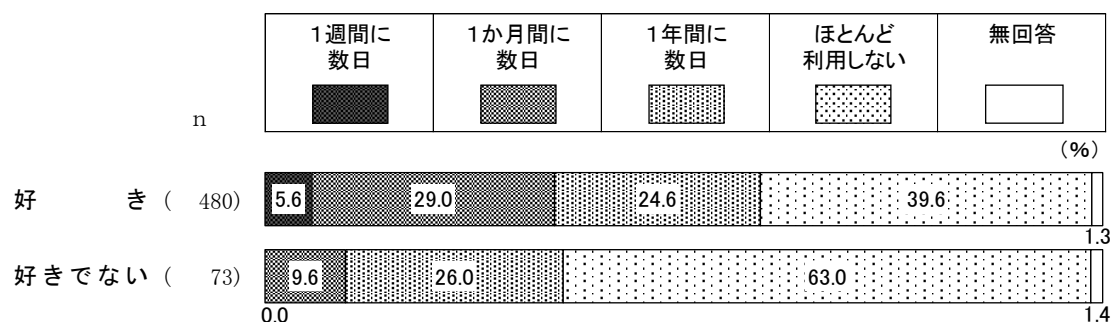
※全体の満足（計）の割合の上位順に掲載

【『満足』（満足＋やや満足）の割合】



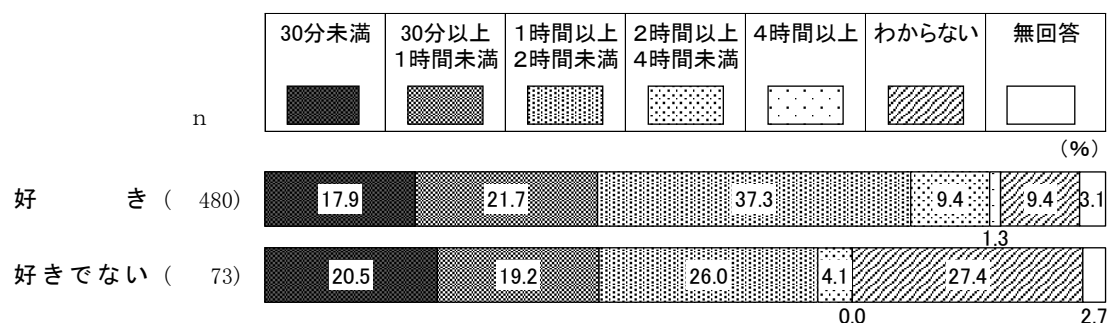
豊島区立図書館のサービス等の満足度を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より全般に回答の割合が多く、①開館している日数（休館日は月2回）、②開館している時間帯、⑪職員の対応などで差がみられる。

問11：豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度



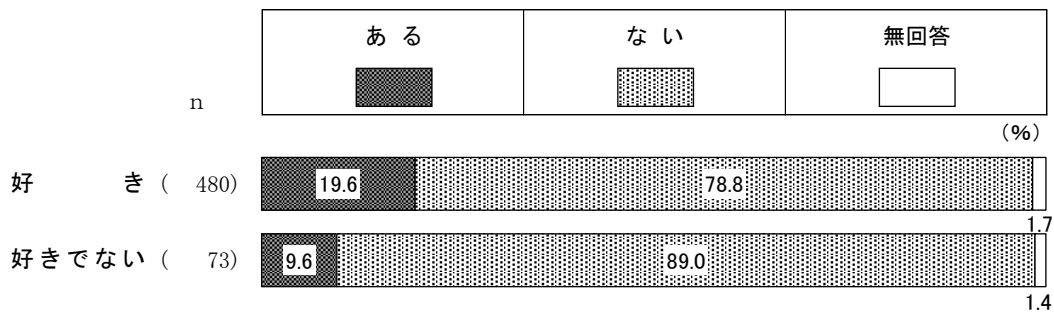
豊島区立図書館の過去1年間の利用頻度を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は「1週間に数日」が1割未満、「1か月に数日」が約3割となっている。読書が好きでないと回答した人は「1か月に数日」が約1割、「1年間に数日」が2割台半ばとなっており、「ほとんど利用しない」が6割を超えている。

問12：豊島区立図書館の1回あたりの利用時間



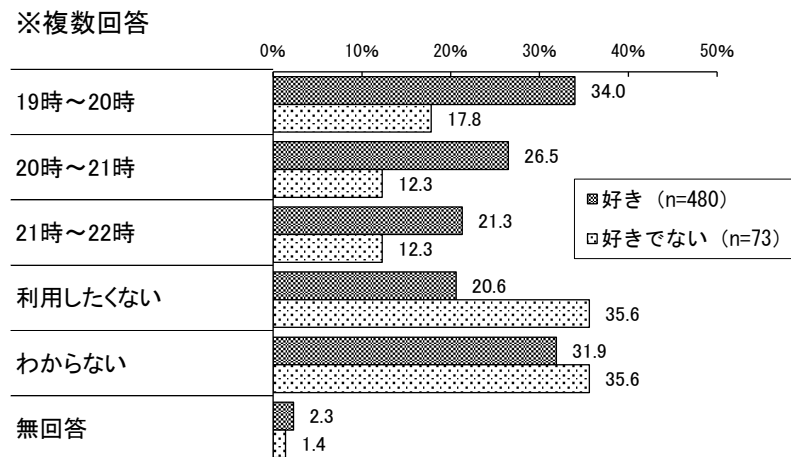
豊島区立図書館の1回あたりの利用時間を読書の嗜好別でみると、「30分未満」、「30分以上1時間未満」は読書の嗜好による差が小さくなっている。「1時間以上2時間未満」は読書が好きと回答した人が4割近くに対し、読書が好きでないと回答した人は2割半ばと少なくなっている。

問13：豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験



豊島区立図書館の平日の夜間（19時～22時）の利用経験を読書の嗜好別でみると、「ある」は読書が好きと回答した人が約2割に対し、読書が好きでないと回答した人は約1割となっている。

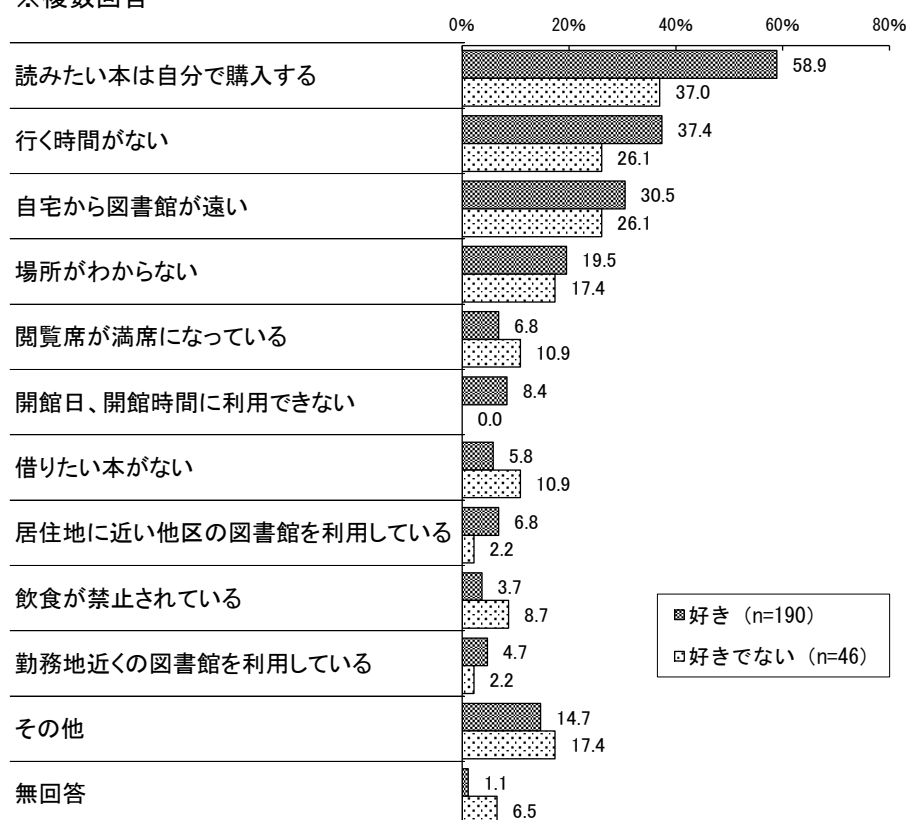
問14：豊島区立図書館を平日の夜間（19時～22時）に利用したい時間帯



豊島区立図書館を平日の夜間（19時～22時）に利用したい時間帯を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人よりいずれの時間帯も回答の割合が多くなっている。

問15：豊島区立図書館をこの1年間に利用していない理由

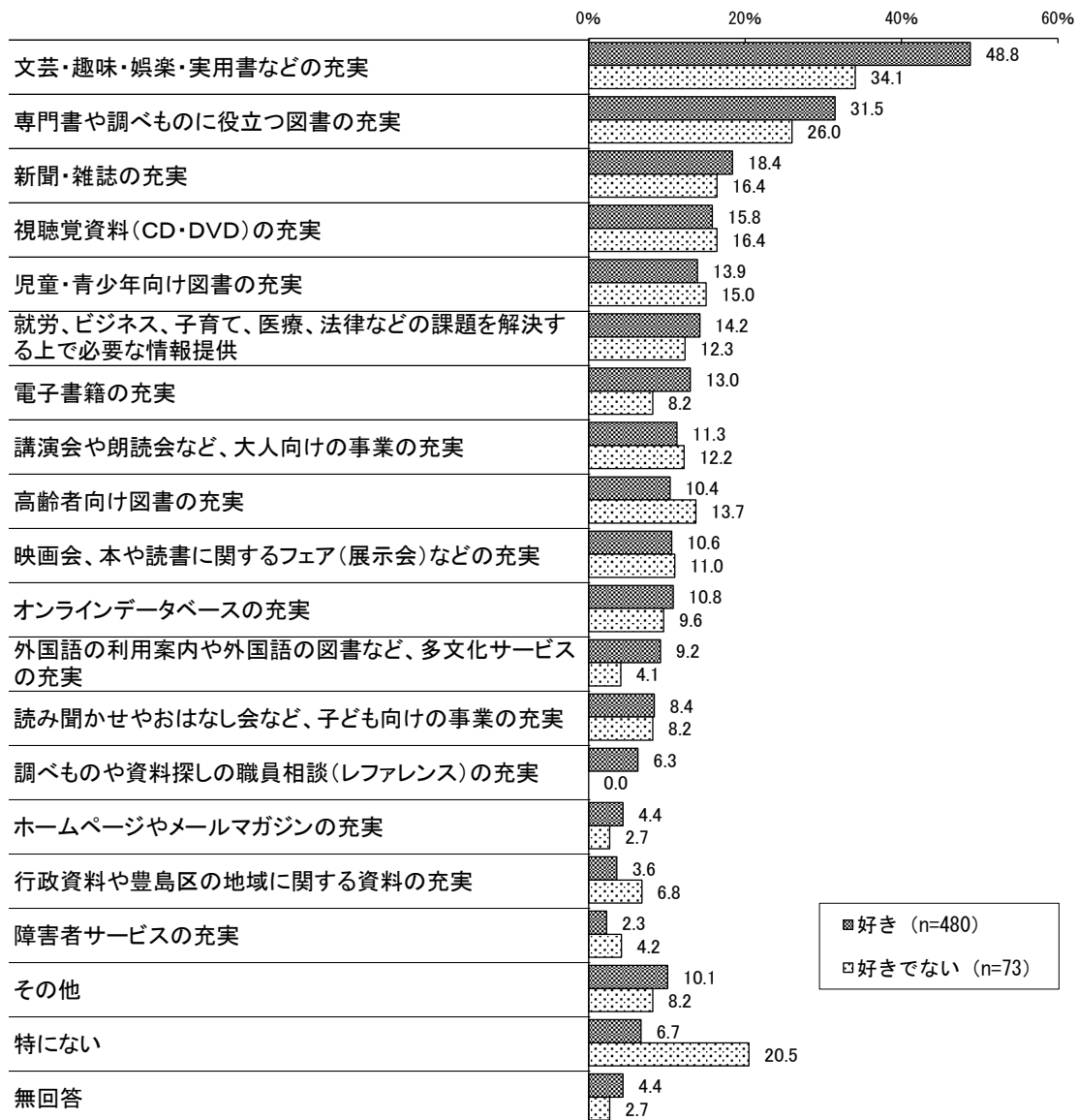
※複数回答



豊島区立図書館をこの1年間に利用していない理由を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人は好きでないと回答した人より「読みたい本は自分で購入する」、「行く時間がない」、「開館日、開館時間に利用できない」などが多くなっている。一方、読書が好きでないと回答した人は好きと回答した人より「借りたい本がない」、「飲食が禁止されている」、「閲覧席が満席になっている」などが多い傾向となっている。

問17：豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス

【1～3位計】

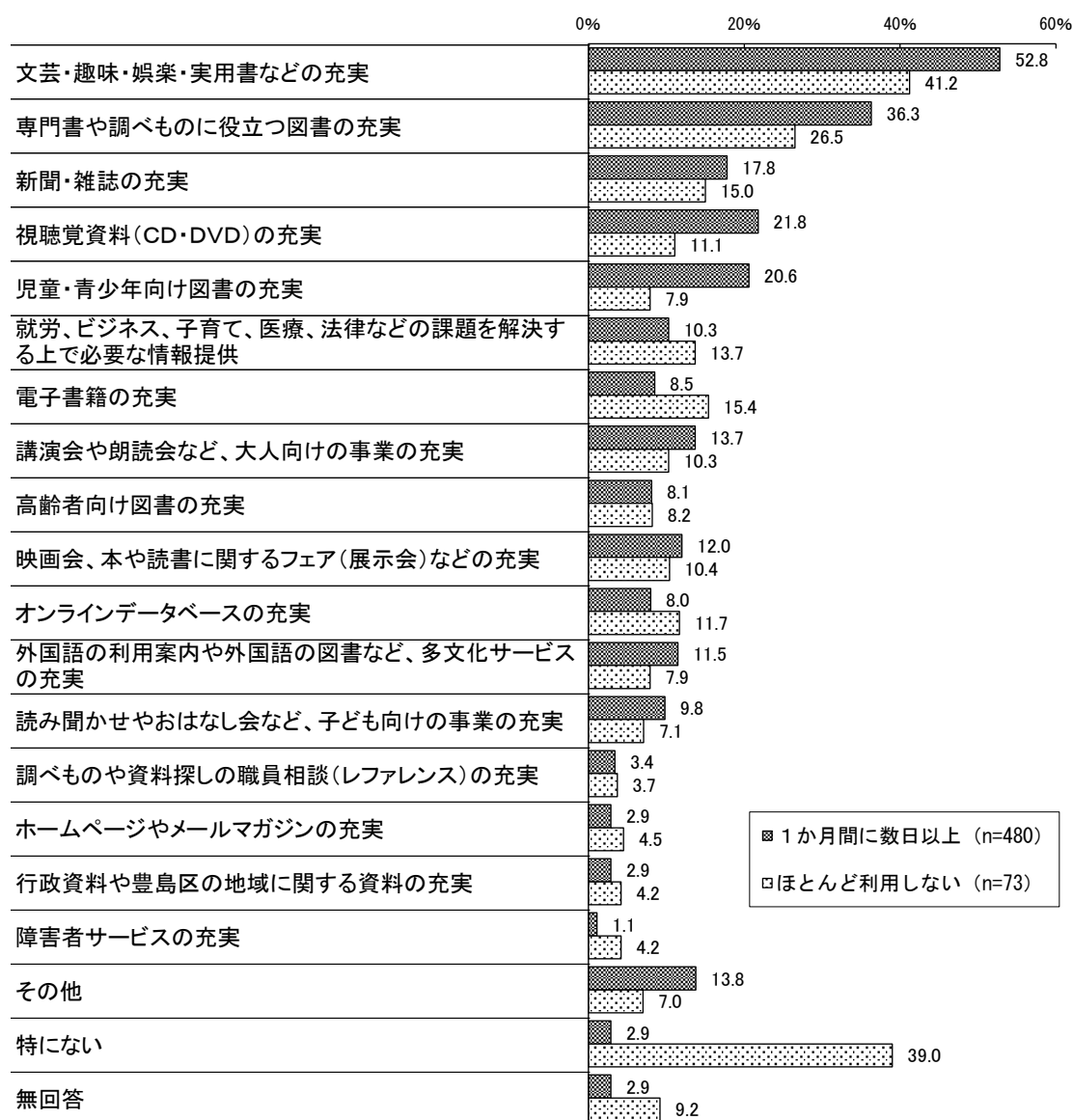


豊島区立図書館に取り組んでほしいサービスの1～3位計を読書の嗜好別でみると、読書が好きと回答した人が好きでないと回答した人より上回っている率が高い順に「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」、「調べものや資料探しの職員相談(レファレンス)の充実」、「専門書や調べものに役立つ図書の充実」となっている。一方、読書が好きでないと回答した人が好きと回答した人より上回っている率が高い順に「特にない」、「高齢者向け図書の充実」、「行政資料や豊島区の地域に関する資料の充実」となっている。

(2) 図書館の利用頻度別

問17：豊島区立図書館に取り組んでほしいサービス

【1～3位計】



豊島区立図書館に取り組んでほしいサービスの1～3位計を図書館の利用頻度別でみると、1か月に数日以上利用している人がほとんど利用しない人より上回っている率が高い順に「児童・青少年向け図書の充実」、「文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実」、「視聴覚資料(CD・DVD)の充実」となっている。一方、ほとんど利用しない人が1か月間に数日以上利用している人より上回っている率が高い順に「特にない」、「電子書籍の充実」、「オンラインデータベースの充実」となっている。

4 自由記述

(1) 豊島区立図書館を利用していない理由(問15)「その他」の内容

年代	豊島区立図書館を利用したいが利用していない理由「その他」の内容
30～39歳	1歳の子どもがいて周りのことを考えると行けない。また小さな子を連れての移動、環境が大変なため。
30～39歳	駅から遠いイメージ。
70～79歳	開館時間等の知識がなかったため、前を通るときに入ってみようと思うが手続き等が面倒なのかと思いついてしまっていた。
60～69歳	返しに行くのがめんどくさい。
40～49歳	借りた本を返すのが面倒。
40～49歳	借りても返却時期が合わない可能性が高い。
30～39歳	借りても返却するのが手間なため。駅を途中下車しなくてはならないため。
20～29歳	看護、医療の本がかなり少ない。あっても一般の人向け。家からは近いが電車の乗り継ぎが必要でめんどくさい。駐輪場にお金をかけたくない。
50～59歳	館内が暗い感じがした。以前利用したとき図書館がとても汚れていてびっくりしたため。
80歳以上	腰、背骨等4本骨折したためここ数年あまり外出できない。
70～79歳	最近読書意欲がわいてこない。
30～39歳	静かに利用しなければいけない。カフェくらいざわついていての方がいい。職員は話かけづらい人が多い。もっとフロアに出て案内したり利用者に寄り添うべき。勉強する人や子どもを優先しすぎ。子どもと一緒に席を利用しづらい。
70～79歳	自宅近くの図書館の場所を知らない。
70～79歳	職場内に図書館がある。
30～39歳	スマートフォンなどで読む機会が増えたせい。
20～29歳	蔵書数が少ないから。
80歳以上	存在を知らない。
30～39歳	存在を知らなかった。
40～49歳	大学図書館を利用している。
50～59歳	近くに大きな書店がいくつかあるのでそこで本を購入し家でゆっくり読んでいます。わざわざ図書館まで行こうとは思いません。読む本も専門書が多いというのも理由のひとつです。
50～59歳	手続きがわかりにくいです。
30～39歳	豊島区に住み始めたのが最近だから。
20～29歳	豊島区に図書館があるとは知らなかった。
40～49歳	豊島区に引っ越してきたばかりなのと妊婦なのであまり外出できない。近くの図書館に行こうと思っていたが、まだ機会がなくて行けていない。
30～39歳	どんな施設が知らなかったため主人も私も利用したことがありませんでした。自宅のすぐそばにあるということくらいしか知りません。
80歳以上	年齢のため足が不自由で利用することができません。以前元気な頃は、ほかの区でしたが大いに利用していました。
60～69歳	必要性を感じない。
70～79歳	返却の催促の電話が厳しい。1日過ぎただけですぐにと言われるので他区を利用。
60～69歳	本に印をつける癖があるため。
40～49歳	本を読まない。
30～39歳	本を読み始めると止まらないのでちょっと抑えていました。本当に失礼なのですが、忙しくて図書館の存在を忘れていました。忙しいと返却も大変なので。
30～39歳	前に何回か行ったが、借り方や本の調べ方がわからず、職員さんに声をかけられず使えないと思ったから。
20～29歳	無料休憩所として居座っている人がいそうでなんとなく嫌。汚いガラスの悪い高齢者がたくさんいそう。
70～79歳	目があまりよくないので本を読むと疲れるから。
70～79歳	目が疲れて読書したいと思わないこと。
50～59歳	目白は本が少ない感じ。

(2) 豊島区立図書館以外に利用している図書館名と施設・サービスのよい点 (問16)

図書館名	施設やサービスについてのよい点
■千代田区	
千代田区立図書館	同じ建物内にカフェがあり休憩できる。
千代田区立図書館	全体的にスペースがゆったりしている。
千代田区立図書館 /新宿区立図書館 /文京区立図書館 /台東区立図書館 /港区立図書館 (頻度順)	千代田区と板橋区の図書館には書籍消毒器が設置されている。しかし板橋区では「現在は無料」との張り紙があり有料化された場合に使用するかと言われると使用しないと思う。
千代田区立図書館 /新宿区立図書館	近くの豊島図書館は遠くかつ建物が古く居心地が悪いです。本の管理状態も悪く気分が暗くなります。
千代田区立図書館 /北区立中央図書館	勉強や本が読める席。有線LANを利用できるデスクタイプ。
千代田区立日比谷図書館 /都立中央図書館	日比谷図書館は資料、雑誌が閲覧しやすい。暇つぶしに居座っている人が比較的少ない。都立中央図書館は海外の資料や本が充実している。
千代田区立日比谷図書文化館	古文書講座が充実している。
千代田区立九段下図書館	ワンフロアで済む。勉強スペースが使いやすい。別フロアに飲食スペースがある。駅近でバス停も近くて帰りに神保町まで歩ける。
■新宿区	
新宿区立図書館	人から聞いた話ですが、子ども向けのおはなし会に参加すると出席カードのようなものにシールを貼ってもらえて、カードがいっぱいになるとプレゼントがもらえるそうです。同じようなサービスがあったら嬉しいなと思います。
新宿区立図書館 /東京工業大学大岡山図書館	small meeting roomがあること (千早図書館も利用している)。
新宿区立図書館 /千代田区立図書館	豊島区在住ですが、自宅から最寄りの施設の開館時間よりも勤務地と自宅間にある施設の方が利便性がよいから。
新宿区立図書館 /練馬区立図書館 /板橋区立図書館 /中野区立図書館	区内の図書館同士で在所から申込所へ取り寄せて貸して下さるのはありがたいです。
新宿区立図書館	(記載なし)
新宿区立中央図書館	(記載なし)
新宿区立中央図書館 /下落合図書館	(記載なし)
新宿区立中央図書館 /下落合図書館	(記載なし)
新宿区立西落合図書館	家から近いため。
新宿区立西落合図書館	きれいで近い。
新宿区立西落合図書館	(記載なし)
新宿区立西落合図書館	(記載なし)
新宿区立下落合図書館	(記載なし)
■文京区	
文京区立図書館	新刊の書籍の入庫がとても早い。豊島区より早い。
文京区立図書館	本の種類、冊数が豊富。豊島区にはなくて文京区にあるものが多い。
文京区立図書館	(記載なし)
文京区立図書館 /新宿区立図書館	婦人雑誌の種類が多い。
文京区立図書館 /国会図書館 /大学の図書館	ネットがあり仕事や勉強ができる席がある。テレワークで使えるような環境だと嬉しい。
文京区立図書館 /大学の図書館	同じ図書館の他の館から取り寄せできること。例えば豊島区立図書館であれば中央図書館以外の館にある本を中央図書館に取り寄せて借りられるようなこと。
文京区立大塚公園みどりの図書館	畳がある。椅子がある。机がある。マナーがよい人が多い。うるさい子どもがいない。
文京区立大塚公園みどりの図書室	子どもと公園に行ったついでに子どもの本を借りに行くことができる。返すときも公園い遊びに行ったついでに返せるからいい。
文京区立大塚公園みどりの図書室	(記載なし)

図書館名	施設やサービスについてのよい点
文京区立小石川図書館	オーディオ資料（CD）が充実している。一度に10点借りることができる。貸出点数は利用者数の違いによるのかもしれないが豊島区も増やしてほしい。
文京区立小石川図書館	ここ20年来館していないので最近の事情に関してはわかりませんが、当時はレコードや楽譜の貸出があったことが印象的でした。
文京区立小石川図書館 /品川区立二葉図書館	文京区は通勤経路にあるため豊島区にない資料を所蔵しているときに使用。品川区は古典文学の朗読CDが充実していた。全体的にみると豊島区中央図書館も蔵書数、サービスともにとても充実していると思います。
文京区立千石図書館 /大塚図書館 /大塚公園みどりの図書室	（記載なし）
文京区立本駒込図書館	文京区は新書が多い。早く置いてある。
文京区立目白台図書館	（記載なし）
文京区立目白台図書館	読みたい本（25年前のベストセラー）が豊島区になかったので文京区でカードを作って借りました。調べたら新宿区にもありました。汚れたか紛失したかで欠品になってしまったのですが、1冊は再購入してどこかの図書館に保管しておいてほしいです。
■北 区	
北区立図書館	30分以内無料の駐車場がある。
北区立図書館	北区は中央図書館はもちろんのこと分館もきれいで職員の対応もよい。資料も雑誌も多く利用しやすい。区が図書館に重きを置いている感じがする。
北区立図書館	自宅から近い。図書館内に飲食店があったり公園が充実している。
北区立図書館	前の学校に近い。
北区立図書館	予約はいくらでもできる。30冊まで借りられる。
北区立図書館	（記載なし）
北区立図書館 /文京区立図書館	北区立図書館は聞きたいミュージシャンのCD枚数が多い。古いものも多い。好きなマンガ家のコミックエッセイの数が多い。
北区立中央図書館	行ったことはないがカフェやフリースペースがある。
北区立中央図書館	閲覧席の配置がよく雰囲気が大変よい。開放的である。カフェが併設されており有料の軽食、スイーツがある。無料の飲食スペースもある。蔵書数が多いと思います。
北区立中央図書館	カフェがあつて軽食がとれる。周囲の環境がいい。
北区立中央図書館	子どもスペースと大人スペースの分離が素晴らしい。お互いに気にせず利用できる。飲食レストラン、スペースの充実。1日中図書館で過ごせる。
北区立中央図書館	豊島区の図書館は本が探しにくいです。
北区立中央図書館 /滝野川西図書館	視聴覚資料の上限が10枚まで。
北区立滝野川図書館 /中央図書館	滝野川図書館は本を座って読めるコーナーの椅子が多いし、全体的にきれい。雑誌などもたくさんある。中央図書館は広くて明るくて本もいっぱいある。外も芝生の公園になっていてロケーションがいい。図書館内も椅子やテーブルがあちこちにあり居心地がいい。カフェもあって楽しめる。
北区立滝野川図書館	家から近いこと。閲覧席がきれい。
北区立滝野川図書館	（記載なし）
北区立滝野川西図書館 /中央図書館	（記載なし）
北区立滝野川西図書館	（記載なし）
■その他の区・市	
目黒区立図書館	（記載なし）
目黒区立中目黒図書館	駅からとても近くて便利です。雑誌が見やすい。明るくてきれい。
目黒区立緑が丘図書館	（記載なし）
目黒区民センター内図書館	館内の雰囲気がよい。ゆったりしている。ソファが置いてありどこでも読める。図書館だけでなく周辺の環境がよい。美術館があり庭園があり、体育館プール、児童館等人の集まる環境になっているため人が集います。心情的にゆったりとしているため図書館も利用するという風になっていると思う。図書館を作ったからと言って利用しやすいか否かが。そこに足を向けたいと思うかどうかを考えてほしい。豊島区は目黒区に比べ魅力がない！頭が固すぎると思います。もっと人にやさしくね。

図書館名	施設やサービスについてのよい点
練馬区立図書館	交通の便が良い。CDが多くある。
練馬区立中央図書館	環境は明るしい閲覧のスペースも広い。座席数が多い。
練馬区立小竹図書館	広さ的にちょうどよい。CDの貸出点数が多い。
練馬区立小竹図書館 /板橋区立小茂根図書館	自宅にある程度近く開館時間が長い。
世田谷区立図書館	(記載なし)
世田谷区立図書館	世田谷区在住のときは徒歩圏内に図書館がありましたのでよく利用させていただきましたが現在は利用していません。レストランが併設されていると便利です。
世田谷区立二子玉川図書館	(記載なし)
板橋区立高島平図書館	(記載なし)
板橋区立東板橋図書館	返却日を過ぎてても待っている人がいなければ催促の電話をしてこない。気を付けてください等も言わない。
港区立みなと図書館	簡単な飲食コーナーがあるので仕事のお昼休み中に食事プラス読書で利用しています。便利です。
品川区立大崎図書館	移転したばかりなのでスペースがゆったりとしており閲覧できる場所が多い。落ち着いた空間。
中野区立図書館	入口や受付が入りやすい。職員の目が気にならないような配置。
江戸川区立西葛西図書館 /国会図書館 /千代田立図書館	利用しやすく便利。飲み物があつたり職員が親切。席がたくさんある。タバコ臭い人がいないか少ないと思います。
足立区立図書館	看護、医療の本が多いので論文を書くときに参考になる。勉強できる机がある。
葛飾区立図書館	(記載なし)
川口市立中央図書館	閲覧席が充実しており川口市民以外でも気軽に利用できる。
川口市立図書館 /朝霞市立中央図書館	豊島区では中央を利用していないので比較はできませんが、新着を含め蔵書が多く、いたるところに椅子があり落ち着いた雰囲気。貸出返却カウンターが広く待たない。児童用では畳などを敷き寝っ転がって読める。天井が高く広々している。
ふじみ野市立上福岡図書館	英語の本が多いです。
大阪府豊中市立図書館	取り寄せた資料についても自動貸出機で貸出手続きができるようになっていました。カウンターに並ぶ必要がないのでよいと思います。
明石市立あかし市民図書館	大型書店が併設されている。図書館と同じ建物に役所や子育て支援施設が入っている。館内ラウンジが広くコーヒーの販売所もある。児童書エリアが明るく清潔で広い。地域のイベントが多数開催されにぎやかな場になっている。
広島市比治山のまんが図書館	公立ではあまり見かけない、まんが専門の図書館で子どもがとても喜んでいたので紹介させていただきました。「図書館の1コーナー」ではなく、まんがのみの図書館です。シリーズ物は抜けていたり揃っていないものも多いですが、気軽に立ち寄って滞在できます。大人、子ども、男女関係なくさまざまな方が利用されていました。夏休みの子どもたちのよい「居場所」という印象でした。
徳山市立図書館	駅に直結しているので帰省時に立ち寄ります。キッズコーナーが別館にあり、孫たちが好きな本を自分で持ってきて来てすぐ読めるので助かっています。図書館にはベンチが置いてあり、1階にあるスターバックスからコーヒーなどを購入して飲みながら時間が許す限り本を読めるのでよいです。飲食OKなのは珍しいのでは。
出雲市立平田図書館	入ってすぐでなくても入口の先に見渡してわかる程度に受付があり、声をかけて聞きやすい。DVDを受付に手渡して手続きするのでその場で見られる。ヘッドフォンがあり一人ずつ区切られているので集中して見られる。
帰省先の図書館（名前は不明）	(記載なし)
(記載なし)	駅で図書の返却ボックスがある区がありました。ぜひ池袋駅に設置していただきたいです。
(記載なし)	子ども用に読書通帳を取り入れている館があり、読んだ本と値段が記帳されて子どもの読書率が上がった事例がある。豊島区でもすぐに取り入れてほしい。
(記載なし)	建物や館内のデザイン性が高くおしゃれだったりカフェコーナーもあるような図書館について、何かの雑誌で見ているなと思ったことがあります。
(記載なし)	地方の町に行った際、その土地の郷土史等のコーナーによく行きます。その土地に関連した資料をもっと充実させるとよいと思います。また、国会図書館や大学の図書館のように貸し出しを行わず、すべてその場で利用するようにした方がよいと思います。個人で買える本は自ら買うべきだと思います。子ども向けは除く。

図書館名	施設やサービスについてのよい点
■国立・都立・他	
国立国会図書館	蔵書量。
国立国会図書館	資料数が多い。
国立国会図書館	資料の数が多い。
国立国会図書館	インターネット上で蔵書している書籍の検索ができる。市場調査が図書館内でできる。
国立国会図書館	資料のコピーサービスと資料数の多さ。
国立国会図書館	待たされるが何でもある。
国立国会図書館 /大学図書館	閲覧席の多さ。
国立国会図書館 /都立中央図書館	蔵書の数。
国立国会図書館 /都立中央図書館	(記載なし)
国立国会図書館	(記載なし)
国立国会図書館	(記載なし)
国立国会図書館	(記載なし)
国立国会図書館	(記載なし)
国立女性教育会館 /女性情報センター	資料検索サービス。
都立中央図書館	出かけたついでにふらっと寄ります。フロアが広くのんびりできます。
都立中央図書館 /国会図書館	蔵書と資料数が区立図書館は制限があるのか不足している。雑誌、新聞についても各社で特徴があるので右派系の雑誌を入れてほしい。これはほかの図書館も同じ傾向がある。少数意見の雑誌も入れてほしい。
都立中央図書館 /国会図書館	(記載なし)
国際交流基金ライブラリー（独立行政法人）	英語で書かれた資料が豊富。
東京こども図書館（公益財団法人）	(記載なし)
■大学図書館・職場	
早稲田大学図書館	資料の多さ。
早稲田大学図書館	蔵書数の多さ。
早稲田大学中央図書館	施設がきれいで静か。本も雑誌もたくさん揃っている。
立教大学図書館	飲食ができる場所を増やしてほしい。どうしても一時退出しなくてはならないので。
立教大学図書館	(記載なし)
東京大学図書館	(記載なし)
学習院大学図書館 /慶應義塾大学図書館	飲み物を持ち込める。大きな図書館でも閲覧席が空いている。
上智大学図書館	wi-fiがありましたら助かります。今後ぜひ利用したいと思います。
順天堂大学図書館	電子書籍（専門誌）が充実している。
大正大学図書館	座席が多く作業しやすい。飲料は持ち込み可。
大学の図書館	依頼して翌日には手に入る点。科学面や経済面の資料や本が豊富。
大学図書館	(記載なし)
大学内の図書館	(記載なし)
職場内の図書館	必要な書物は職場内の図書館で借りることができる。特に専門書。

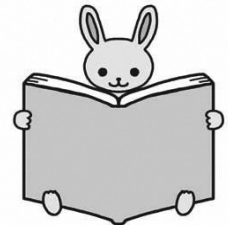
使用した調査票

【 小学2年生・5年生 】

区分

読書活動についてのアンケート

～ ご協力のお願い ～



みなさんに日頃の読書についてお聞きします。

みなさんに答えていただいた内容を、これからの読書活動を進めていく取組や区立図書館のサービスなどに活かすために行いますので、ご協力をお願いいたします。

令和元年9月

豊島区長 高野之夫

【 ご記入にあたってのお願い 】

- 答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

(例) あなたはサッカーは好きですか。

1. す き

2. ふ っ づ

3. き ら い

- 答えの○印の数は、(あてはまる番号1つに○)、(あてはまる番号すべてに○)などを書いてありますので、それに合わせてください。
- 「その他」を選んだ場合は、その後にある()の中に内容を記入してください。
- わからないことは、先生に聞いてください。

【 アンケート依頼元 】

豊島区立中央図書館

計画グループ

※本に含まれるものは、書籍、絵本、学習参考書、図鑑、マンガ、コミック、新聞、雑誌など（教科書以外の読みものすべて）で、電子書籍も含まれます。

1 あなたについてお聞きします

問1 あなたは、何年生ですか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 2年生

2. 5年生

問2 あなたは、学校が終わってから何をしていますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 地域の図書館を利用する
2. 勉強や宿題
3. 塾や習い事
4. 本やマンガや雑誌などを読む
5. テレビやDVDを見る
6. パソコンやタブレット端末でインターネットをする
7. 携帯電話やスマートフォンでSNS（通話アプリ）やメールなどをする
8. ゲームをする
9. 友達と遊ぶ
10. その他（ ）

次のページに進んでください →

問3 あなたは、学校がない日は何をしていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 地域の図書館を利用する
2. 勉強や宿題
3. 塾や習い事
4. 本やマンガや雑誌などを読む
5. テレビやDVDを見る
6. パソコンやタブレット端末でインターネットをする
7. 携帯電話やスマートフォンでSNS（通話アプリ）やメールなどをする
8. ゲームをする
9. 友達と遊ぶ
10. その他（ ）

2 読書についてお聞きします

問4 あなたは、本を読むことが好きですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)



1. すき
2. どちらかといえばすき
3. どちらかといえばきらい
4. きらい

問5 あなたは、1日にどのくらいの時間、本を読みますか。
本をまったく読まないときは、「0（ゼロ）」時間と書いてください。

時間

分くらい

次のページに進んでください →

- 問6 あなたが読むものは何ですか。また、1か月のあいだに何冊くらい読みますか。
 答えには、教科書は入れないでください。
 まったく読まないものは、「0（ゼロ）」冊と書いてください。
 （□の中に数字を書いてください）

	「紙の本」 ↓	冊	「電子書籍」(スマートフォンやタブレットの本) ↓	冊
1. ものがたり 絵本 物語・絵本		冊		冊
2. がくしゅう さんこうしょ 図鑑 学習 参考書・図鑑		冊		冊
3. マンガ・コミック		冊		冊
4. ざっし 雑誌		冊		冊

- 問7 問6で「1. 物語・絵本」を0冊と答えた方は、読まない理由をお聞かせください。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. よ 読みたい本がなかったから
2. ほん よ じかん 本を読む時間がなかったから
3. ほん よ きょうみ 本を読むことに興味がないから
4. もじ よ 文字を読むことや、文字を見ることが嫌いだから、めんどうだから
5. どれにもあてはまらない

- 問8 あなたは、どのような内容の本が好きですか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. ものがたり 物語	6. マンガ
2. でんき れきし 伝記や歴史	7. ざっし 雑誌
3. かがく よ もの 科学読み物	8. その他（ ）
4. スポーツ・趣味	9. 特にない
5. えほん 絵本	

つぎ
次のページに進んでください →

問9 あなたが本を読んでみようと思うきっかけは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家族や先生など、おとなからすすめられた
2. 学校図書館や地域の図書館で気になった
3. 学校や友達の間で流行している
4. 本屋さんなどで気になった
5. 賞を取ったり話題になっている
6. ドラマ、映画、アニメなどの原作
7. インターネットやSNS（通話アプリ）で話題になっている
8. その他（ ）
9. 特にない

問10 あなたは、小学校入学前におとなに本を読んでもらいましたか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. よく読んでもらっていた | 2. あまり読んでもらわなかった |
|----------------|------------------|

問11 読みたい本があるときはどうしていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家族に買ってもらう
2. 自分のおこづかいで買う
3. 学校図書館で借りる
4. 子どもスキップ・学童クラブで読む
5. 地域の図書館で借りる
6. 人から借りたり、もらったりする
7. その他（ ）

次のページに進んでください →

問12 あなたは、どのくらい本を読みますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 4. 1週間に1日 |
| 2. 1週間に4～5日 | 5. 1か月に数日 |
| 3. 1週間に2～3日 | 6. ほとんど読まない |

問13 あなたは、どこで本を読みますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家
2. 学校の教室や図書室
3. 子どもスキップ・学童クラブ
4. 地域の図書館
5. その他 ()

問14 本を読むのはなぜですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 楽しむため
2. 宿題について調べるため
3. 気になることやわからないことを調べるため
4. 友だちが読むから
5. 親や先生にすすめられたから
6. その他 ()

問15 あなたの家には、何冊くらい本がありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 50冊より少ない (50冊未満)
2. 50冊～100冊くらい
3. 100冊より多い (100冊以上)

次のページに進んでください →

3 ちいき としょかん 地域の図書館についてお聞きします

問16 あなたはちいき としょかん 地域の図書館へ行ったことがありますか。
(あてはまるばんごう 番号1つに○をつけてください)

1. あ る

2. な い

問17 あなたは、ちいき としょかん 地域の図書館に何回行きますか。
(□に数字を書ってください)

1 か月に

回

または

1 年に

回

問18 あなたは、としょかん 図書館へ何をしに行きますか。
(あてはまるばんごう 番号すべてに○をつけてください)

1. ほん か 本を借りる・ほん よ 本を読む

2. しら がくしゅう 調べ学習などのべんきょう 勉強をする

3. おはなし かい き 会を聞く

4. としょかん 図書館 タンテイ・こうさく かい 工作会・えいが かい 映画会などのぎょうじ ぎょうじ 行事に参加する

5. その他 ()

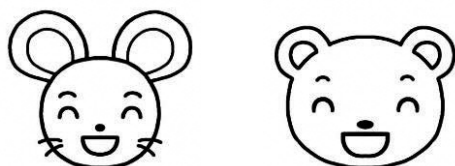
6. い 行かない

つぎ 次のページに進んでください →

問19 図書館の行事で参加したことがあるものや、図書館について知っているものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おはなし会
2. 図書館タンテイ
3. 工作会
4. 映画会
5. 「よんでみよう」(おすすめ本のブックリスト)
6. 「ようこそとしゃかんへ」(としゃかんりようあんない)
7. 読書ノート・読書通帳
8. 図書館のホームページ
9. その他()
10. ひとつもない

アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
今後とも区内の図書館をよろしくお願いします。



【 中学2年生／高校2年生 】

区分

読書活動についてのアンケート

～ ご協力をお願い ～

みなさんに日頃の読書活動についておたずねします。

みなさんに答えていただいた内容を、これからの読書活動を進めていく取組や区立図書館のサービスなどに活かすために行いますので、ご協力をお願いいたします。

令和元年9月

豊島区長 高 野 之 夫

【 ご記入にあたってのお願い 】

- ご回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字や選択肢の番号を記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、（あてはまる番号1つに○）、（あてはまる番号すべてに○）など并表示していますので、それに合わせてください。
- 「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。
- わからないことは、先生におたずねください。

【 アンケート依頼元 】

豊島区立中央図書館 計画グループ

※本に含まれるものは、書籍、絵本、学習参考書、図鑑、マンガ、コミック、新聞、雑誌など（教科書以外の読みものすべて）で、電子書籍も含みます。

1 はじめに、あなたご自身と普段のことについてお聞きします

問1 あなたは普段の生活の中で、次にあげる①～⑦を1日に平均どのくらいの時間行っていますか。

※ 学校の授業は除いてください。

※ 行っていない場合は「0」時間とご記入ください。

① 勉強や宿題をする（塾を含めて）	⇒		時間		分くらい
② 本、マンガ、雑誌などを読む	⇒		時間		分くらい
③ テレビやDVDをみる	⇒		時間		分くらい
④ インターネットをする	⇒		時間		分くらい
⑤ SNS（通話アプリ）やメールなどをする	⇒		時間		分くらい
⑥ ゲームをする	⇒		時間		分くらい
⑦ スポーツなど体を動かす	⇒		時間		分くらい

2 次に、あなたの読書活動・意識についてお聞きします

問2 あなたは、本を読むことが好きですか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 1. 好き | 2. どちらかといえば好き | 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い |
|-------|---------------|---------------|-------|

問3 あなたは、1か月間に平均何冊くらい本を読んでいますか。

紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。

※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

	紙の本 ↓		電子書籍 (スマートフォンやタブレットの本) ↓	
① 書籍・絵本		冊くらい		冊くらい
② 学習参考書・図鑑		冊くらい		冊くらい
③ マンガ・コミック		冊くらい		冊くらい
④ 雑 誌		冊くらい		冊くらい

次の問4は、問3の『①書籍・絵本』で「0冊」と答えた方にお聞きします

問4 あなたが『書籍・絵本』を読まない理由をお聞かせください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 読みたい本がなかったから 2. 本を読む時間がなかったから 3. 本を読むことに興味がないから 4. 文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから、めんどうだから 5. どれもあてはまらない |
|--|

全員の方にお聞きます

問5 あなたがお気に入りの一冊に出会えた時期はいつですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 小学校入学前 | 4. 中学生の頃 |
| 2. 小学校低学年(1～3年生)の頃 | 5. 高校生になって |
| 3. 小学校高学年(4～6年生)の頃 | 6. お気に入りの本はない |

問6 あなたは、どのような内容・ジャンル(分野)の本が好きですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 小説・ライトノベル | 6. マンガ |
| 2. 伝記・歴史 | 7. 雑誌 |
| 3. 科学・自然 | 8. その他() |
| 4. スポーツ・趣味 | 9. 特にない |
| 5. 絵本 | |

問7 あなたが本を読んでもみようと思うきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 大人(家族や先生など)からすすめられた | |
| 2. 学校図書館や地域の図書館で気になった | |
| 3. 学校や友達の間で流行している | |
| 4. 書店などで気になった | |
| 5. 受賞作品や話題になっている | |
| 6. ドラマ、映画、アニメなどの原作 | |
| 7. インターネットやSNSで話題になっている | |
| 8. その他() | |
| 9. 特にない | |

問8 あなたは普段、読みたい本があるとき、どのように入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

【紙の本】

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 書店・古書店で買う | |
| 2. 学校図書館で借りる | |
| 3. 地域の図書館で借りる | |
| 4. 友達に借りる | |
| 5. 家族(親・兄弟姉妹など)に借りる | |
| 6. その他() | |
| 7. 入手していない | |

【電子書籍】

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 専用のウェブサイト等で無料の本を入手する | |
| 2. 専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う | |
| 3. その他() | |
| 4. 入手していない | |

問9 あなたは普段、どのくらいの頻度で本を読んでいますか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 3. 1週間に2～3日 | 5. 1か月間に数日 |
| 2. 1週間に4～5日 | 4. 1週間に1日 | 6. ほとんど読まない |

問10 あなたは普段、どこで本を読んでいますか。 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 家 | |
| 2. 学校 (教室・図書館) | |
| 3. 公共の図書館 | |
| 4. 電車やバスなど乗り物の中 (駅のホームやバスの停留所も含む) | |
| 5. その他 (|) |

問11 本を読む理由をお聞かせください。 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 楽しむため | |
| 2. 課題について調べるため | |
| 3. 興味・関心・知識を高めるため | |
| 4. 友達が読むから | |
| 5. 親や先生に勧められたから | |
| 6. その他 (|) |

問12 あなたの家には、何冊くらい本がありますか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------------|----------------|-------------------------|
| 1. 50冊より少ない
(50冊未満) | 2. 50冊～100冊くらい | 3. 100冊より多い
(100冊以上) |
|------------------------|----------------|-------------------------|

問13 あなたの親(保護者)は普段、本を読んでいると思いますか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | | | | |
|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------|
| 1. よく
読んでいる | 2. たまに
読んでいる | 3. あまり
読まない | 4. まったく
読まない | 5. わからない |
|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------|

3 次に、地域の図書館についてお聞きします

問14 あなたは過去1年間に、どのくらいの頻度で地域の図書館を利用しましたか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 1週間に数日 | 3. 1年間に数日 |
| 2. 1か月間に数日 | 4. ほとんど利用しない |

問15 地域の図書館を利用する(行く)目的は何ですか。
学校がある日、学校がない日それぞれについてお聞かせください。(あてはまる番号すべてに○)

【学校がある日】

1. 本を借りる・読書する
2. 調べ学習などの勉強をする
3. 図書館の行事やイベントに参加する
4. その他 ()
5. 行かない

【学校がない日】

1. 本を借りる・読書する
2. 調べ学習などの勉強をする
3. 図書館の行事やイベントに参加する
4. その他 ()
5. 行かない

→ 問14で「1. 1週間に数日」「2. 1か月間に数日」「3. 1年間に数日」と答えた方は
7ページの問18へ

→ 問14で「4. ほとんど利用しない」と答えた方は6ページの問16へ

次の問16は、問14で「4. ほとんど利用しない」と答えた方にお聞きします

問16 地域の図書館を、過去1年間に利用していないのは、次のうちどちらにあてはまりますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 利用したいけど利用していない(できない)

→ 問17へ

2. 特に利用する必要がないから利用していない

→ 問18へ

次の問17は、問16で「1. 利用したいけど利用していない(できない)」と答えた方にお聞きします

問17 地域の図書館を利用したいけど利用していない(できない)理由をお聞かせください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 読みたい本がないから
2. 図書館が利用しにくいから
3. おしゃべりや飲食ができないから
4. 図書館が遠いから(歩いて行けない、自転車で行けない)
5. 図書館がどこにあるかわからないから
6. 家族や友だちが利用しないから
7. 忙しいから
8. 参加したい行事やイベントがないから
9. その他()

裏に続きます →

全員の方にお聞きます

問18 地域の図書館について、改善してもらいたい点やこうすればもっと利用したくなる（行きたくなる）と思う点がありますか。次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

1. 本を探しやすくしてほしい
2. 資料を充実してほしい
3. 貸出手続きをもっと簡単にしてほしい
4. 貸出期間をもっと長くしてほしい
5. 閲覧席を増やしてほしい
6. フリーWi-Fiを入れてほしい
7. 中学生や高校生向けのコーナーを充実してほしい
8. 行事やイベントの回数や種類を増やしてほしい
9. おすすめの本や図書館について、もっと情報を教えてほしい
10. ホームページやメールマガジンを充実してほしい
11. その他（ ）
12. 特にない

↓ 番号を記入

1 位
2 位
3 位

問19 あなたは、地域の図書館でどのようなイベントに参加したいと思いますか。次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

※すべて無料です。

1. 図書館のPR物（POP・ブックリスト）を作成する
2. 読書会・討論会・座談会
（本について話し合ったり、参加者同士で交流する）
3. 本についての講演会・朗読会
4. 映画会（映画やアニメの上映）
5. 本・読書に関するフェア（展示会）
6. ブックトーク
（テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介してくれる）
7. ビブリオバトル（書評合戦）
8. 職業（ボランティア）体験
9. 館内見学ツアー
10. その他（ ）
11. 特にない

↓ 番号を記入

1 位
2 位
3 位

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
今後とも豊島区立図書館をどうぞよろしくお願いします。

【保護者】

お子様の読書活動についての調査

～ ご協力をお願い ～

日頃より、豊島区の図書館運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
豊島区では子どもの読書活動の取組に活かすため、お子様とその保護者の方を対象に読書活動に関する調査を実施することといたしました。

今回の調査は、区内全校の中から調査対象の学校を選ばせていただき、小学2年生・5年生、中学2年生、高校2年生の各学年約600人を対象に実施いたします。

そのため、同じ学校に通学しているお子様でも、この調査を実施しない学年がございます。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査と同時期に、区民を対象とした調査を実施しておりますので、複数の調査をお願いする場合がありますが、ご容赦ください。

令和元年9月

豊島区長 高野之夫

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票を保護者の方に渡したお子様のことについてお答えください。
→この調査票上では、「対象のお子様」と表記しています。
- 2人以上のお子様をお持ちの方で、調査票を複数受け取った場合は、それぞれのお子様について回答をお願いいたします。
- 黒または青のボールペン、鉛筆で調査票に直接記入してください。
- ご回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字や選択肢の番号を記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、（あてはまる番号1つに○）、（あてはまる番号すべてに○）などと表示していますので、それに合わせてください。
- また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません)

ご投函締切り

9月30日(月)

【お問い合わせ先】

豊島区立中央図書館 計画グループ

〒170-8442 東京都豊島区東池袋四丁目5番2号
ライズアリーナビル5階

電 話 : 03-3983-7861

FAX : 03-3983-9904

●このアンケートは、この調査票を保護者の方に渡したお子様についておうかがいします。
この調査票を保護者の方に渡したお子様 = 対象のお子様 と表記しています。

※本に含まれるものは、書籍、絵本、学習参考書、図鑑、マンガ、コミック、
新聞、雑誌など（教科書以外の読みものすべて）で、電子書籍も含まれます。

**1 はじめに、この調査票を保護者の方に渡したお子様（対象のお子様）について
おたずねします**

問1 対象のお子様の学年をお聞かせください。 （あてはまる番号1つに○）

1. 小学2年生 2. 小学5年生 3. 中学2年生 4. 高校2年生

問2 対象のお子様が、普段の生活の中で次にあげる①～⑩のことを行っている時間について、
どのようにお感じになりますか。 （あてはまる番号1つずつに○）

※ 学校の授業は除いてください。

	非常に多い	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	非常に少ない	わからない
（記入例） 勉強や宿題をする（塾を含めて） ⇒	1	②	3	4	5	6
① 地域の図書館を利用する ⇒	1	2	3	4	5	6
② 勉強や宿題をする ⇒	1	2	3	4	5	6
③ 塾や習い事に通う ⇒	1	2	3	4	5	6
④ 本やマンガや雑誌などを読む ⇒	1	2	3	4	5	6
⑤ テレビやDVDを見る ⇒	1	2	3	4	5	6
⑥ インターネットをする ⇒	1	2	3	4	5	6
⑦ メールやSNS（通話アプリ）などをする ⇒	1	2	3	4	5	6
⑧ ゲームをする ⇒	1	2	3	4	5	6
⑨ 友達と遊ぶ ⇒	1	2	3	4	5	6
⑩ スポーツなど運動やからだを動かす ⇒	1	2	3	4	5	6

2 次に、対象のお子様の読書活動・意識についておたずねします

問3 対象のお子様は普段、どの程度本を読んでいますか。 (あてはまる番号1つに○)

1. よく 読んでいる	2. たまに 読んでいる	3. あまり 読まない	4. まったく 読まない
----------------	-----------------	----------------	-----------------

→ 問7へ

次の問4～問6は、問3で「1」「2」(読んでいる)と答えた方におたずねします

問4 対象のお子様は本をよく読んでいた時期はいつですか。 (あてはまる番号すべてに○)

1. 小学校入学前	4. 中学生の頃
2. 小学校低学年(1～3年生)の頃	5. 高校生の頃
3. 小学校高学年(4～6年生)の頃	6. 本をよく読んでいた時期はない

問5 対象のお子様は本を読む理由は何だと思いませんか。 (あてはまる番号すべてに○)

1. 楽しむため	
2. 課題について調べるため	
3. 興味・関心・知識を高めるため	
4. 友達が読むから	
5. 親や先生にすすめられたから	
6. その他()	
7. わからない	

問6 対象のお子様は読む本は、どのように入手していますか。 (あてはまる番号すべてに○)

【紙の本】	
1. 書店・古書店で買う	
2. 学校図書館で借りる	
3. 地域の図書館で借りる	
4. 友達に借りる	
5. 家族(親、兄弟姉妹など)に借りる	
6. その他()	
7. 入手していない	
【電子書籍】	
1. 専用のウェブサイト等で無料の本を入手する	
2. 専用のウェブサイト等で有料の書籍を買う	
3. その他()	
4. 入手していない	

全員の方におたずねします

問7 あなたはこれまでの間、対象のお子様にどの程度読み聞かせをしてきましたか。
(あてはまる番号1つに○)

1. よく していた (している)	2. たまに していた (している)	3. あまり してこなかった	4. まったく してこなかった
-------------------------	--------------------------	-------------------	--------------------

問9へ

次の問8は、問7で「1」「2」「3」と答えた方におたずねします

問8 対象のお子様がいつ頃まで読み聞かせをしていましたか。
現在も読み聞かせをしている場合は、対象のお子様の年齢に該当する番号をお選びください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 小学校入学前まで	3. 小学校高学年まで	5. 高校生まで
2. 小学校低学年まで	4. 中学生まで	6. 覚えていない

全員の方におたずねします

問9 対象のお子様の読書活動を促すために、どのような環境が必要と思いますか。
次の中から効果的と思う順に2つ選んで右の口の中に番号をご記入ください。

1. 家庭での読書環境を充実させる 2. 学校での読書環境を充実させる 3. 公共の図書館を充実させる 4. 学校図書館と公共の図書館の連携を強化する 5. その他 () 6. 特にない ()	↓ 番号を記入 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; padding: 5px;">最も効果的</th> <th style="width: 50%; padding: 5px;">次に効果的</th> </tr> <tr> <td style="height: 60px;"></td> <td style="height: 60px;"></td> </tr> </table>	最も効果的	次に効果的		
最も効果的	次に効果的				

問10 対象のお子様の読書活動を促すために、あなたや家族で行っていることはありますか。
また、対象のお子様がもっと本を読むように、今後は（今後も）行っていきたいと思うことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

① 普段 行っている こと	② 今後は (今後も) 行いたい こと
------------------------	---------------------------------

	↓	↓
1. 本の読み聞かせをする	1	1
2. 本をすすめる・本を読むようにすすめる	2	2
3. 誕生日や季節のイベントなどに本をプレゼントする	3	3
4. 子どもがほしいという本を買う	4	4
5. 電子書籍を買う	5	5
6. 読書をする習慣を付けさせる	6	6
7. 本で調べる習慣を付けさせる	7	7
8. 家の中の目に触れる場所に本を置く	8	8
9. 家族が本を読んでいる姿を見せる	9	9
10. 家族で読書あるいは本を話題にする	10	10
11. 家族で図書館や書店に行く	11	11
12. 他のこと（テレビ、ゲーム、インターネット、SNSなど）をする時間を制限する	12	12
13. その他（ ）	13	13
14. 特にない（本人の自発性に任せる）	14	14

問11 あなたは、本を読むことが好きですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 好き	2. どちらかといえば好き	3. どちらかといえば嫌い	4. 嫌い
-------	---------------	---------------	-------

問12 あなたは、1か月間に何冊くらい本を読んでいますか。
紙の本、電子書籍それぞれについて、①～④の分類のおおよその冊数を数字でご記入ください。
※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

紙の本



- | | | |
|------------|--|------|
| ① 書籍・絵本 | | 冊くらい |
| ② 学習参考書・図鑑 | | 冊くらい |
| ③ マンガ・コミック | | 冊くらい |
| ④ 雑 誌 | | 冊くらい |

電子書籍（スマートフォンやタブレットの本）



- | | |
|--|------|
| | 冊くらい |
| | 冊くらい |
| | 冊くらい |
| | 冊くらい |

問13 あなたは、本をよく読みますか。 (あてはまる番号1つに○)

1. よく 読んでいる	2. たまに 読んでいる	3. あまり 読まない	4. まったく 読まない
----------------	-----------------	----------------	-----------------

3 次に、地域の図書館についておたずねします

問14 あなたご自身は普段、地域の図書館を利用していますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. よく 利用している	2. たまに 利用している	3. あまり 利用していない	4. まったく 利用していない
-----------------	------------------	-------------------	--------------------

問15 対象のお子様が地域の図書館を利用するように、
あなたが普段行っていることはありますか。
また、今後は(今後も)行いたいことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

① 普段 行っている こと	② 今後は (今後も) 行いたい こと
------------------------	---------------------------------

	① 普段 行っている こと	② 今後は (今後も) 行いたい こと
1. 図書館に行くようにすすめる	1	1
2. 自分(親)が行くときに同行させる	2	2
3. 兄弟・姉妹が行くときに同行させる	3	3
4. 自分(親)と一緒にいこうと誘う	4	4
5. 兄弟・姉妹と一緒にいこうように促す	5	5
6. 友だちと一緒にいこうように促す	6	6
7. 子どもが興味のある本を選んで借りてくる	7	7
8. 図書館について、会話の話題に取り上げる	8	8
9. その他()	9	9
10. 特になし(本人の自発性に任せる)	10	10

問16 対象のお子様について、地域の図書館でどのようなイベントに参加させたいと思いますか。
次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。
※すべて無料です。

1. 図書館のPR物（POP・ブックリスト）を作成する
2. 読書会・討論会・座談会
（本について話し合ったり、参加者同士で交流する）
3. 本についての講演会・朗読会
4. 映画会（映画やアニメの上映）
5. 本・読書に関するフェア（展示会）
6. おはなし会（本の読み聞かせをしてくれる）
7. 図書館タンテイ
（図書館にあるたくさんの本の中から答えを探す、クイズ形式の催し）
8. 工作会
9. ブックトーク
（テーマにそってさまざまなジャンルから本を紹介してくれる）
10. ビブリオバトル（書評合戦）
11. 職業（ボランティア）体験
12. 館内見学ツアー
13. その他（ ）
14. 特になし（参加させたくない）

↓ 番号を記入

1 位
2 位
3 位

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、9月30日までにポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません）

集計結果は、ホームページ、図書館通信等でご報告させていただき、
これからの図書館運営に役立てさせていただきます。
今後とも豊島区立図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

【区民】

読書と図書館サービスについての調査

～ ご協力をお願い ～

区民のみなさまには、日ごろから区立図書館の運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

豊島区では、これからの図書館のサービスの検討に活かしていくため、みなさまの読書に関する意識や図書館の利用状況についての調査をさせていただきます。

調査にあたっては、区内に居住する満18歳以上の方の中から無作為に2,500人を対象に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査と同時期に、区内小・中・高校の児童生徒及びその保護者を対象とした調査を実施していますので、複数の調査をお願いする場合もございますがご容赦ください。

令和元年9月

豊島区長 高野之夫

【ご記入にあたってのお願い】

- 調査のご回答は、封筒の宛名のご本人が必ずご記入ください。
- 黒または青のボールペン、鉛筆で調査票に直接記入してください。
- ご回答は、選択肢の番号を選んで○印をつけていただく場合と、数字や選択肢の番号を記入していただく場合があります。
- ご回答の○印の数は、（あてはまる番号1つに○）、（あてはまる番号すべてに○）などと表示していますので、それに合わせてください。
- また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません)

ご投函締切り

9月30日(金)

【お問い合わせ先】

豊島区立中央図書館 計画グループ

〒170-8442 東京都豊島区東池袋四丁目5番2号
ライズアリーナビル5階

電 話 : 03-3983-7861

FAX : 03-3983-9904

1 はじめに、あなたの読書に関する意識・習慣についておたずねします

※本に含まれるものは、書籍、絵本、実用書、参考書、マンガ、コミック、新聞、雑誌など（読みものすべて）で、電子書籍も含みます。

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。
(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 好 き 2. どちらかといえば
好 き 3. どちらかといえば
好きでない 4. 好きでない

問2 あなたが本を読むきっかけとなるのはどのようなことからですか。
(あてはまる番号すべてに○)

(○はいくつでも)

1. 家に本があること
2. 地域の図書館があること
3. 学校図書館があること
4. 身近に書店があること
5. 友人・知人からの本の薦め
6. 新聞やテレビでの本の紹介
7. 勉強や仕事のため
8. その他（

5

問3 あなたは、1か月間に平均どれくらい本を読みますか。

紙の本、電子書籍それぞれについて、次の①～④の分類ごとのおおよその冊数を数字でご記入ください。

※ 読まない場合は「0」冊とご記入ください。

```

graph TD
    A[紙の本] --> B[① 書籍・絵本]
    A --> C[② 実用書・参考書]
    A --> D[③ マンガ・コミック]
    A --> E[④ 雑誌]
    F[電子書籍  
(スマートフォンやタブレットの本)] --> G[① 電子書籍]
    F --> H[② 電子辞書]
    F --> I[③ 電子辞書]
    F --> J[④ 電子辞書]
  
```

問4 あなたは、どのようなジャンルの本を読みますか。
(あてはまる番号すべてに○)

(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 文学・評論 | 9. コンピューター | 17. 料理・手芸 |
| 2. 人文・思想 | 10. アート・音楽 | 18. マンガ |
| 3. 社会・政治・法律 | 11. スポーツ・趣味 | 19. 絵本・児童書 |
| 4. ノンフィクション | 12. 資格・検定 | 20. 受賞作品・受賞作家 |
| 5. 歴史・地理 | 13. 育児 | 21. 話題になっている本 |
| 6. 投資・金融・経営 | 14. 旅行ガイド | 22. その他（ ） |
| 7. 科学・テクノロジー・建築 | 15. 語学・辞事典 | |
| 8. 医学・薬学・健康 | 16. 教育・受験 | |

問5 読みたい本があるときには、どのようにして読むことが多いですか。
次の中から多い順に2つ選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

1. 書店などで購入する
2. インターネットで本を購入する
3. 電子書籍を利用する
4. 図書館を利用する
5. 人から借りる・もらう
6. マンガ喫茶等を利用する
7. その他 ()

↓ 番号を記入

最も多い
次に多い

問6 あなたは普段、知識や情報をどの媒体から得ることが多いですか。
次の中から多い順に2つ選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

1. 新聞
2. テレビ
3. ラジオ
4. 書籍・雑誌
5. インターネット
6. SNS (Facebook、Twitterなど)
7. 家族・友人・知人などのクチコミ
8. その他 ()

↓ 番号を記入

最も多い
次に多い

問7 あなたは、『電子書籍』を利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していないが、今後は利用したい
3. 利用していないし、今後利用したいと思わない
4. 電子書籍を知らない

2 次に、豊島区立図書館についておたずねします

問8 豊島区立図書館では、下記のようなサービスを全て無料で行っています。
①～⑮の各サービスについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

		が利用 したこと	は利知 ない用 いて たい ことが	知 ら ない
(記入例) 中央図書館は平日夜10時まで開館している	⇒	1	②	3
① 中央図書館は平日夜10時まで開館している	⇒	1	2	3
② インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる	⇒	1	2	3
③ 区外の図書館から本を取り寄せることができる	⇒	1	2	3
④ 区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる	⇒	1	2	3
⑤ 自動貸出機がある	⇒	1	2	3
⑥ 電子図書館がある(駒込・上池袋・池袋・目白図書館)	⇒	1	2	3
⑦ CD・ビデオ・DVDを借りることができる	⇒	1	2	3
⑧ 電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席(目白を除く)がある	⇒	1	2	3

→ ⑨～⑮は次のページに続きます。

(問8:続き)

		が利用 したこ と	は利知 ないつ いて たい こと が	知 ら ない
⑨ 調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)	⇒	1	2	3
⑩ 乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	⇒	1	2	3
⑪ ゼミナールや専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っている	⇒	1	2	3
⑫ 視覚障害者向けの点字図書館がある	⇒	1	2	3
⑬ 中央図書館で「ビジネスなんでも相談(※1)」が行われている	⇒	1	2	3
⑭ メールマガジン「豊島区図書館ニュース(※2)」を配信している	⇒	1	2	3
⑮ マイナンバーカードで図書館資料が借りられる(※3)	⇒	1	2	3

※1「ビジネスなんでも相談」… 中小企業診断士が創業・起業・多角化・事業継承・経営など、ビジネスに関する相談に無料で応じています。

※2「豊島区図書館ニュース」… 登録されたメールアドレスへ、新着案内、特集案内、行事・催し物のお知らせなどをメールにてお送りしています(毎月1日発行)。

※3 … 事前に手続きすることで、マイナンバーカードを図書館利用カードとして利用することができます。

問9 豊島区立図書館が行っている以下の①～⑮のサービスについて、今後(今後も)利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

		利用 した い	利用 した く ない
① 中央図書館は平日夜10時まで開館している	⇒	1	2
② インターネットや携帯電話から資料の検索・予約ができる	⇒	1	2
③ 区外の図書館から本を取り寄せることができる	⇒	1	2
④ 区内の大学図書館の資料を区立図書館で閲覧できる	⇒	1	2
⑤ 自動貸出機がある	⇒	1	2
⑥ 電子図書館がある(駒込・上池袋・池袋・目白図書館)	⇒	1	2
⑦ CD・ビデオ・DVDを借りることができる	⇒	1	2
⑧ 電子資料閲覧席(中央)・パソコン持込み席(目白を除く)がある	⇒	1	2
⑨ 調べものや資料探しを職員に相談できる(レファレンス)	⇒	1	2
⑩ 乳幼児・児童向けのおはなし会などを行っている	⇒	1	2
⑪ ゼミナールや専門家による文化・芸術・歴史などの講演会を行っている	⇒	1	2
⑫ 視覚障害者向けの点字図書館がある	⇒	1	2
⑬ 中央図書館で「ビジネスなんでも相談(※1)」が行われている	⇒	1	2
⑭ メールマガジン「豊島区図書館ニュース(※2)」を配信している	⇒	1	2
⑮ マイナンバーカードで図書館資料が借りられる(※3)	⇒	1	2

問10 豊島区立図書館の以下の点について、あなたはどの程度満足していますか。

①～⑫について、あてはまる番号に1つずつ○をけてください。

(○はそれぞれ1つ)

		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
① 開館している日数(休館日は月2回)	⇒	1	2	3	4	5
② 開館している時間帯	⇒	1	2	3	4	5
③ 資料の数	⇒	1	2	3	4	5
④ 資料の内容	⇒	1	2	3	4	5
⑤ 貸出手続き	⇒	1	2	3	4	5
⑥ 貸出期間(15日間)	⇒	1	2	3	4	5
⑦ 図書の貸出冊数(15冊まで)	⇒	1	2	3	4	5
⑧ 視聴覚資料の貸出点数 (CD3点まで・DVD2点まで)	⇒	1	2	3	4	5
⑨ 閲覧席	⇒	1	2	3	4	5
⑩ 館内の環境	⇒	1	2	3	4	5
⑪ 職員の対応	⇒	1	2	3	4	5
⑫ 催し物・イベント	⇒	1	2	3	4	5

問11 あなたは過去1年間に、どのくらいの頻度で豊島区立図書館を利用しましたか。

本を読む・借りる以外の目的も含みます。

(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 1週間に数日 | 3. 1年間に数日 |
| 2. 1か月間に数日 | 4. ほとんど利用しない |

問12 豊島区立図書館を利用する、または利用するとしたら、1回あたりの利用時間はおよそどのくらいですか。

(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 30分未満 | 3. 1時間以上2時間未満 | 5. 4時間以上 |
| 2. 30分以上1時間未満 | 4. 2時間以上4時間未満 | 6. わからない |

問13 あなたは、平日の夜間(19時～22時)に、豊島区立図書館を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問14 あなたは今後(今後も)、平日の夜間(19時～22時)に豊島区立図書館を利用したいと思いますか。

利用したいと思う夜間の時間帯をお選びください。

(あてはまる番号すべてに○)

(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 19時～20時 | 3. 21時～22時 | 5. わからない |
| 2. 20時～21時 | 4. 利用したくない | |

問11で「4. ほとんど利用しない」と回答した方におたずねします

問15 あなたが豊島区立図書館をこの1年間に利用していないのはなぜですか。
(あてはまる番号すべてに○)

(○はいくつでも)

1. 読みたい本は自分で購入する
2. 借りたい本がない
3. 開館日、開館時間に利用できない
4. 閲覧席が満席になっている
5. 飲食が禁止されている
6. 行く時間がない
7. 自宅から図書館が遠い
8. 場所がわからない
9. 勤務地近くの図書館を利用している
10. 居住地に近い他区の図書館を利用している
11. その他

()

全員の方におたずねします

問16 豊島区立図書館以外に利用している図書館はありますか。
また、他の図書館の施設やサービスについて、よい点があれば参考として具体的に教えてください。

【具体的な図書館名（豊島区立図書館以外）】

【他の図書館の施設やサービスについて、よい点があれば参考として具体的に教えてください】

問17 今後、豊島区立図書館で取り組んでほしいサービスは何ですか。
次の中から上位3つまで選んで、右の口の中に番号をご記入ください。

1. 文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実
2. 専門書や調べものに役立つ図書の充実
3. 児童・青少年向け図書の充実
4. 高齢者向け図書の充実
5. 視聴覚資料（CD・DVD）の充実
6. 新聞・雑誌の充実
7. 行政資料や豊島区の地域に関する資料の充実
8. 就労、ビジネス、子育て、医療、法律などの課題を解決する上で必要な情報提供
9. 調べものや資料探しの職員相談（レファレンス）の充実
10. ホームページやメールマガジンの充実
11. オンラインデータベースの充実
12. 電子書籍の充実
13. 外国語の利用案内や外国語の図書など、多文化サービスの充実
14. 障害者サービスの充実
15. 講演会や朗読会など、大人向けの事業の充実
16. 読み聞かせやおはなし会など、子ども向けの事業の充実
17. 映画会、本や読書に関するフェア（展示会）などの充実
18. その他（
19. 特になし

↓ 番号を記入

1 位
2 位
3 位

裏へ続きます →

3 最後に、あなたご自身のことについておたずねします

F1 あなたの年齢をお聞かせください。

(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 4. 40～49歳 | 7. 70～79歳 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～69歳 | |

F2 あなたのご家族についてお聞かせください。

(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 3. 親と子ども | 5. その他 () |
| 2. 夫婦のみ | 4. 三世代家族 | |

F3 あなたのお住まいの地域をお聞かせください。

(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚) |
| 2. 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町) |
| 3. 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋) |
| 4. 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白) |
| 5. 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川) |

F4 あなたのご職業をお聞かせください。

(○は1つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 自営業・事業主 |
| 2. 会社役員・団体役員 |
| 3. 会社員・団体職員・公務員 (パート・アルバイト含む) |
| 4. 自由業・フリーランス |
| 5. 学生 |
| 6. 家事専業 |
| 7. 無職 |
| 8. その他 () |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、9月30日までにポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません)

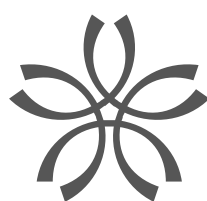
集計結果は、ホームページ、図書館通信等でご報告させていただき、これからの図書館運営に役立てさせていただきます。
今後とも豊島区立図書館をどうぞよろしくお願いします。

豊島区読書活動に関する実態調査 報 告 書

令和2年3月発行

発 行 豊島区 文化商工部 図書館課
豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル5階
電話 03-3983-7861

調 査 株式会社 綜 合 企 画
東京都台東区浅草橋1-7-2 岩崎ビル4階
電話 03-5829-6203 (代表)



豊島区
TOSHIMA CITY